

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第5601199号
(P5601199)

(45) 発行日 平成26年10月8日(2014.10.8)

(24) 登録日 平成26年8月29日(2014.8.29)

(51) Int.Cl.

F I

C O 7 C 43/225 (2006.01)	C O 7 C	43/225	C S P C
C O 7 C 69/94 (2006.01)	C O 7 C	69/94	
C O 7 C 25/18 (2006.01)	C O 7 C	25/18	
C O 7 C 69/757 (2006.01)	C O 7 C	69/757	C
C O 7 C 43/21 (2006.01)	C O 7 C	43/21	

請求項の数 30 (全 242 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2010-516818 (P2010-516818)
 (86) (22) 出願日 平成21年6月2日(2009.6.2)
 (86) 国際出願番号 PCT/JP2009/060082
 (87) 国際公開番号 W02009/150966
 (87) 国際公開日 平成21年12月17日(2009.12.17)
 審査請求日 平成24年1月18日(2012.1.18)
 (31) 優先権主張番号 特願2008-150972 (P2008-150972)
 (32) 優先日 平成20年6月9日(2008.6.9)
 (33) 優先権主張国 日本国(JP)

(73) 特許権者 311002067
 J N C株式会社
 東京都千代田区大手町二丁目2番1号
 (73) 特許権者 596032100
 J N C石油化学株式会社
 東京都千代田区大手町二丁目2番1号
 (72) 発明者 小林 雅秀
 日本国千葉県市原市五井海岸5番地の1チ
 ッソ石油化学株式会社 五井研究所内

審査官 高橋 直子

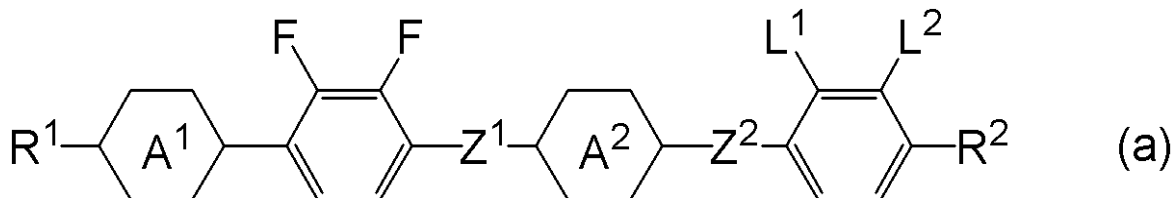
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ラテラルフッ素を有する4環液晶性化合物、液晶組成物および液晶表示素子

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(a)で表される液晶性化合物。



式(a)において、R¹およびR²は独立して、水素、炭素数1~10のアルキル、炭素数2~10のアルケニル、炭素数1~9のアルコキシ、炭素数2~9のアルコキシアルキル、または炭素数2~9のアルケニルオキシであり；

環A¹および環A²は独立して、1,4-フェニレン、トランス-1,4-シクロヘキレン、テトラヒドロピラン-2,5-ジイル、テトラヒドロピラン-3,6-ジイル、1,3-ジオキサン-2,5-ジイル、1,3-ジオキサン-3,6-ジイル、ピリミジン-2,5-ジイル、ピリミジン-3,6-ジイル、ピリジン-2,5-ジイル、またはピリミジン-3,6-ジイルであり；

L¹およびL²はともにフッ素であり；Z¹およびZ²は独立して、単結合、-(CH₂)₂-、-CH=CH-、-C=C-、-

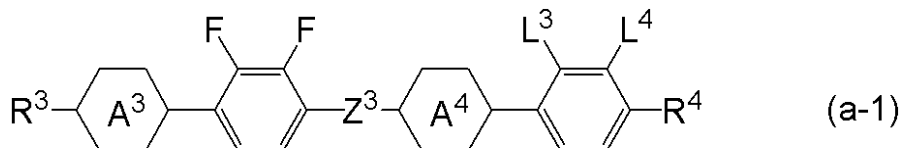
$\text{CH}_2\text{O}-$ 、 $-\text{OCH}_2-$ 、 $-\text{COO}-$ または $-\text{OCO}-$ である。

【請求項2】

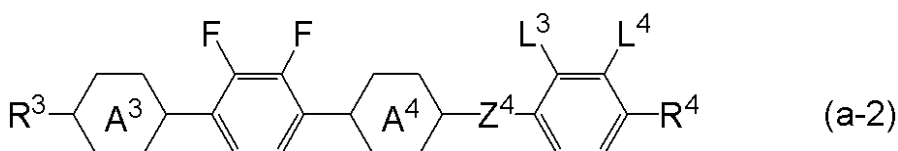
式(a)において、環 A^1 および環 A^2 が独立して、1,4-フェニレン、トランス-1,4-シクロヘキシレン、テトラヒドロピラン-2,5-ジイル、またはテトラヒドロピラン-3,6-ジイルである請求項1に記載の化合物。

【請求項3】

式(a-1)または(a-2)で表される請求項2に記載の化合物。



10



式(a-1)および(a-2)において、 R^3 および R^4 は独立して、炭素数1~10のアルキル、炭素数2~10のアルケニル、炭素数1~9のアルコキシ、炭素数2~9のアルコキシアルキル、または炭素数2~9のアルケニルオキシであり；

20

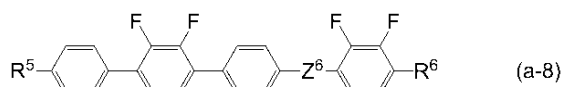
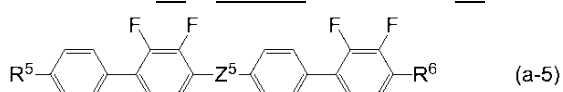
環 A^3 および環 A^4 は独立して、1,4-フェニレン、トランス-1,4-シクロヘキシレン、テトラヒドロピラン-2,5-ジイル、またはテトラヒドロピラン-3,6-ジイルであり；

L^3 および L^4 はともにフッ素であり；

Z^3 および Z^4 は独立して、 $-(\text{CH}_2)_2-$ 、 $-\text{CH}=\text{CH}-$ 、 $-\text{CH}_2\text{O}-$ 、 $-\text{OCH}_2-$ 、 $-\text{COO}-$ 、または $-\text{OCO}-$ である。

【請求項4】

式(a-5)または(a-8)で表される請求項3に記載の化合物。



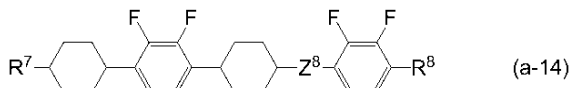
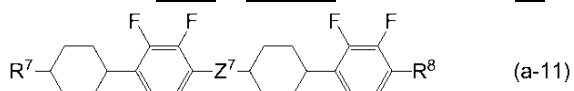
30

式(a-5)または(a-8)において、 R^5 および R^6 は独立して、炭素数1~10のアルキル、炭素数2~10のアルケニル、炭素数1~9のアルコキシ、炭素数2~9のアルコキシアルキル、または炭素数2~9のアルケニルオキシであり；

Z^5 および Z^6 は独立して、 $-(\text{CH}_2)_2-$ 、 $-\text{CH}=\text{CH}-$ 、 $-\text{CH}_2\text{O}-$ 、 $-\text{OCH}_2-$ 、 $-\text{COO}-$ 、または $-\text{OCO}-$ である。

【請求項5】

式(a-11)または(a-14)で表される請求項3に記載の化合物。



40

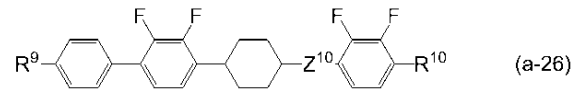
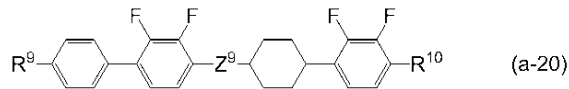
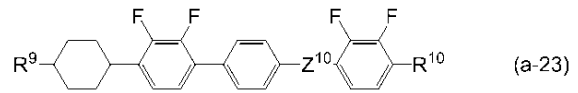
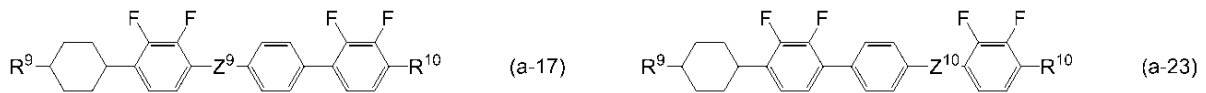
式(a-11)または(a-14)において、 R^7 および R^8 は独立して、炭素数1~10のアルキル、炭素数2~10のアルケニル、炭素数1~9のアルコキシ、炭素数2~9のアルコキシアルキル、または炭素数2~9のアルケニルオキシであり；

Z^7 および Z^8 は独立して、 $-(\text{CH}_2)_2-$ 、 $-\text{CH}=\text{CH}-$ 、 $-\text{CH}_2\text{O}-$ 、 $-\text{OCH}_2-$ 、 $-\text{COO}-$ 、または $-\text{OCO}-$ である。

【請求項6】

50

式 (a - 1 7)、(a - 2 0)、(a - 2 3)、および (a - 2 6) のいずれか 1 つで表される請求項 3 に記載の化合物。



式 (a - 1 7)、(a - 2 0)、(a - 2 3)、および (a - 2 6) において、R⁹ および R¹⁰ は独立して、炭素数 1 ~ 10 のアルキル、炭素数 2 ~ 10 のアルケニル、炭素数 1 ~ 9 のアルコキシ、炭素数 2 ~ 9 のアルコキシアルキル、または炭素数 2 ~ 9 のアルケニルオキシであり；

Z⁹ および Z¹⁰ は独立して、- (C H ₂) ₂ -、- C H = C H -、- C H ₂ O -、- O C H ₂ -、- C O O -、または - O C O - である。

【請求項 7】

式 (a - 5) または (a - 8) において、Z⁵ および Z⁶ が - C H ₂ O - である請求項 4 に記載の化合物。

【請求項 8】

式 (a - 5) または (a - 8) において、Z⁵ および Z⁶ が - O C H ₂ - である請求項 4 に記載の化合物。

【請求項 9】

式 (a - 5) または (a - 8) において、Z⁵ および Z⁶ が - (C H ₂) ₂ - である請求項 4 に記載の化合物。

【請求項 10】

式 (a - 5) または (a - 8) において、Z⁵ および Z⁶ が - C O O - である請求項 4 に記載の化合物。

【請求項 11】

式 (a - 5) または (a - 8) において、Z⁵ および Z⁶ が - O C O - である請求項 4 に記載の化合物。

【請求項 12】

式 (a - 1 1) または (a - 1 4) において、Z⁷ および Z⁸ が - C H ₂ O - である請求項 5 に記載の化合物。

【請求項 13】

式 (a - 1 1) または (a - 1 4) において、Z⁷ および Z⁸ が - O C H ₂ - である請求項 5 に記載の化合物。

【請求項 14】

式 (a - 1 1) または (a - 1 4) において、Z⁷ および Z⁸ が - (C H ₂) ₂ - である請求項 5 に記載の化合物。

【請求項 15】

式 (a - 1 1) または (a - 1 4) において、Z⁷ および Z⁸ が - C O O - である請求項 5 に記載の化合物。

【請求項 16】

式 (a - 1 1) または (a - 1 4) において、Z⁷ および Z⁸ が - O C O - である請求項 5 に記載の化合物。

【請求項 17】

式 (a - 1 7)、(a - 2 0)、(a - 2 3)、または (a - 2 6) において、Z⁹ および Z¹⁰ が - C H ₂ O - である請求項 6 に記載の化合物。

【請求項 18】

式 (a - 1 7)、(a - 2 0)、(a - 2 3)、または (a - 2 6) において、Z⁹ お

10

20

30

40

50

よび Z^{10} が $-OCH_2-$ である請求項 6 に記載の化合物。

【請求項 19】

式 (a-17)、(a-20)、(a-23)、または (a-26) において、 Z^9 および Z^{10} が $-(CH_2)_2-$ である請求項 6 に記載の化合物。

【請求項 20】

式 (a-17)、(a-20)、(a-23)、または (a-26) において、 Z^9 および Z^{10} が $-COO-$ である請求項 6 に記載の化合物。

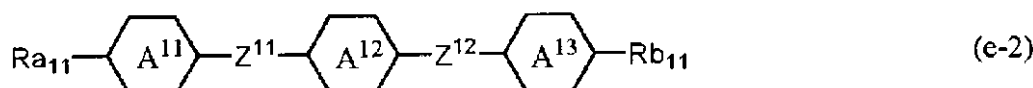
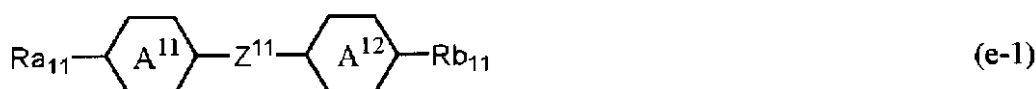
【請求項 21】

式 (a-17)、(a-20)、(a-23)、または (a-26) において、 Z^9 および Z^{10} が $-OCO-$ である請求項 6 に記載の化合物。

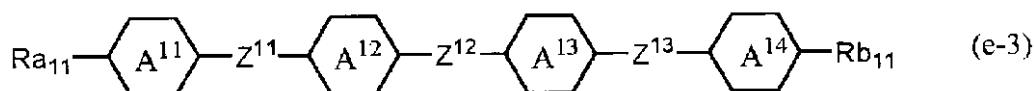
10

【請求項 22】

請求項 1 ~ 21 のいずれか 1 項に記載される化合物から選択される少なくとも 1 つの化合物である第一成分と、式 (e-1) ~ (e-3) で表される化合物群から選択される少なくとも 1 つの化合物である第二成分とを含有し、そして誘電率異方性が負である液晶組成物。



20



式 (e-1) ~ (e-3) において、 Ra_{11} および Rb_{11} は独立して、炭素数 1 ~ 10 のアルキルであるが、このアルキル中において、相隣接しない $-CH_2-$ は $-O-$ で置き換えられていてもよく、相隣接しない $-(CH_2)_2-$ は $-CH=CH-$ で置き換えられていてもよく、水素はフッ素で置き換えられていてもよく；

30

環 A^{11} 、環 A^{12} 、環 A^{13} 、および環 A^{14} は独立して、トランス-1,4-シクロヘキシレン、1,4-フェニレン、2-フルオロ-1,4-フェニレン、3-フルオロ-1,4-フェニレン、ピリミジン-2,5-ジイル、ピリミジン-3,6-ジイル、1,3-ジオキササン-2,5-ジイル、1,3-ジオキササン-3,6-ジイル、テトラヒドロピラン-2,5-ジイル、またはテトラヒドロピラン-3,6-ジイルであり；

Z^{11} 、 Z^{12} 、および Z^{13} は独立して、単結合、 $-CH_2-CH_2-$ 、 $-CH=CH-$ 、 $-CC-$ 、 $-COO-$ 、または $-CH_2O-$ である。

【請求項 23】

40

請求項 3 に記載の化合物群から選択される少なくとも 1 つの化合物である第一成分と請求項 22 に記載された式 (e-1) ~ (e-3) で表される化合物群から選択される少なくとも 1 つの化合物である第二成分とを含有し、そして誘電率異方性が負である液晶組成物。

【請求項 24】

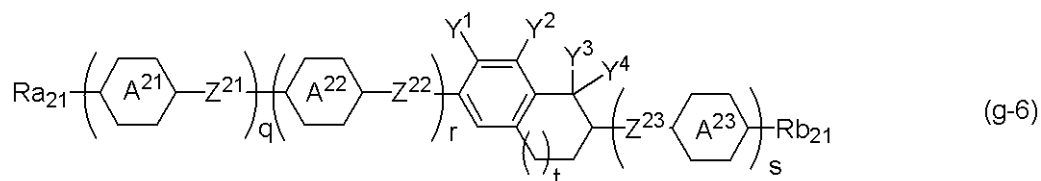
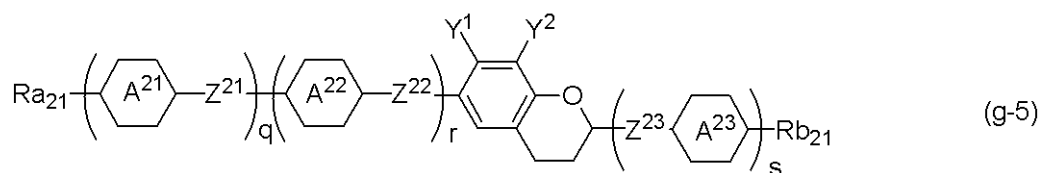
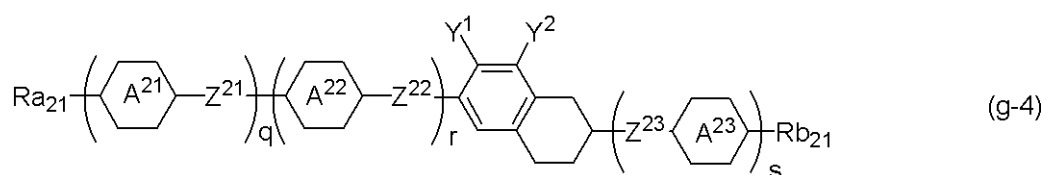
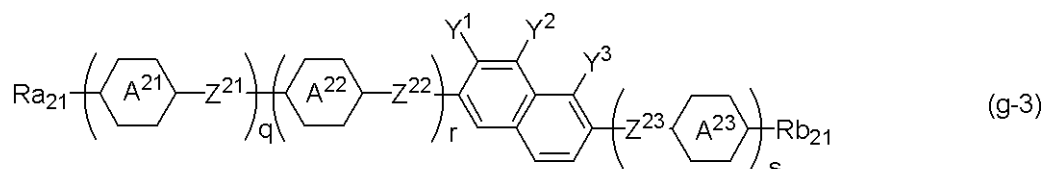
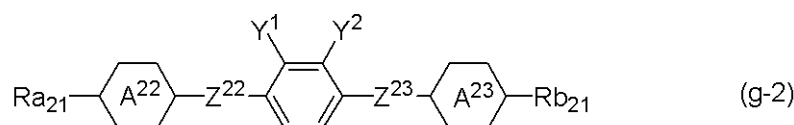
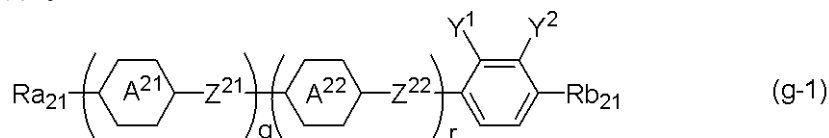
液晶組成物の全重量に基づいて、第一成分の含有割合が 5 ~ 60 重量% の範囲であり、第二成分の含有割合が 40 ~ 95 重量% の範囲である、請求項 23 に記載の液晶組成物。

【請求項 25】

第一成分、および第二成分に加えて、式 (g-1) ~ (g-6) で表される化合物群から選択される少なくとも 1 つの化合物である第三成分を含有する請求項 22 または 23 に

50

記載の液晶組成物。



式 (g-1) ~ (g-6) において、 Ra_{21} および Rb_{21} は独立して、水素、または炭素数 1 ~ 10 のアルキルであり、このアルキル中において、相隣接しない $-\text{CH}_2-$ は $-\text{O}-$ で置き換えられていてもよく、相隣接しない $-(\text{CH}_2)_2-$ は $-\text{CH}=\text{CH}-$ で置き換えられていてもよく、水素はフッ素で置き換えられていてもよく；

環 A^{21} 、環 A^{22} 、および環 A^{23} は独立して、トランス-1,4-シクロヘキシレン、1,4-フェニレン、2-フルオロ-1,4-フェニレン、3-フルオロ-1,4-フェニレン、2,3-ジフルオロ-1,4-フェニレン、ピリミジン-2,5-ジイル、ピリミジン-3,6-ジイル、1,3-ジオキサン-2,5-ジイル、1,3-ジオキサン-3,6-ジイル、テトラヒドロピラン-2,5-ジイル、テトラヒドロピラン-3,6-ジイルであり；

Z^{21} 、 Z^{22} 、および Z^{23} は独立して、単結合、 $-\text{CH}_2-\text{CH}_2-$ 、 $-\text{CH}=\text{CH}-$ 、 $-\text{C}-\text{C}-$ 、 $-\text{OCF}_2-$ 、 $-\text{CF}_2\text{O}-$ 、 $-\text{OCF}_2\text{CH}_2\text{CH}_2-$ 、 $-\text{CH}_2\text{CH}_2\text{CF}_2\text{O}-$ 、 $-\text{COO}-$ 、 $-\text{OCO}-$ 、 $-\text{OCH}_2-$ 、または $-\text{CH}_2\text{O}-$ であり；

Y^1 、 Y^2 、 Y^3 、および Y^4 は独立して、フッ素または塩素であり；

q 、 r 、および s は独立して、0、1、または 2 であり、 $q+r$ は 1 または 2 であり、 $q+r+s$ は 1、2、または 3 であり；

t は 0、1、または 2 である。

【請求項 26】

10

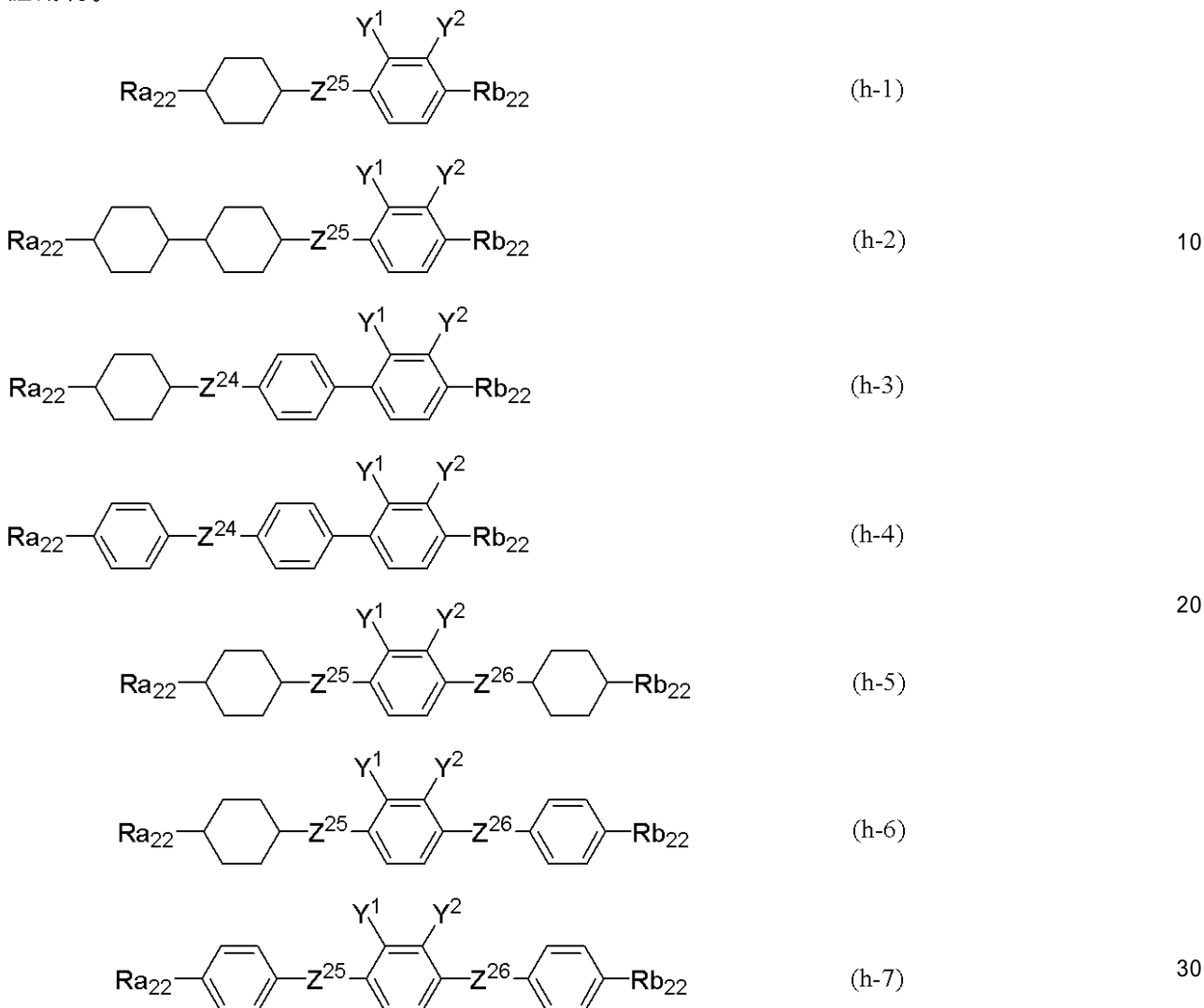
20

30

40

50

第一成分、および第二成分に加えて、式 (h-1) ~ (h-7) で表される化合物群から選択される少なくとも1つの化合物である第三成分を含有する請求項25に記載の液晶組成物。



式 (h-1) ~ (h-7) において、 Ra_{22} および Rb_{22} は独立して、炭素数 1 ~ 8 の直鎖アルキル、炭素数 2 ~ 8 の直鎖アルケニル、または炭素数 1 ~ 7 のアルコキシであり； Z^{24} 、 Z^{25} 、および Z^{26} は独立して、単結合、 $-CH_2CH_2-$ 、 $-CH_2O-$ 、または $-OCH_2-$ であり；

Y^1 、および Y^2 は、共にフッ素、または一方がフッ素で他方が塩素である。

【請求項27】

請求項3に記載される化合物から選択される少なくとも1つの化合物である第一成分、請求項22に記載される式 (e-1) ~ (e-3) で表される化合物群から選択される少なくとも1つの化合物である第二成分、および請求項26に記載される式 (h-1) ~ (h-7) で表される化合物群から選択される少なくとも1つの化合物である第三成分を含有し、そして誘電率異方性が負である液晶組成物。

【請求項28】

液晶組成物の全重量に基づいて、第一成分の含有割合が 5 ~ 60 重量% の範囲であり、第二成分の含有割合が 20 ~ 75 重量% の範囲であり、第三成分の含有割合が 20 ~ 75 重量% の範囲である、請求項25 ~ 27 のいずれか1項に記載の液晶組成物。

【請求項29】

請求項22 ~ 28 のいずれか1項に記載の液晶組成物を含有する液晶表示素子。

【請求項30】

液晶表示素子の動作モードが、VAモード、PSAモード、またはIPSモードであり、液晶表示素子の駆動方式がアクティブマトリックス方式である、請求項29に記載の液晶表示素子。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は液晶性化合物、液晶組成物および液晶表示素子に関する。さらに詳しくは液晶性化合物であるラテラル位にフッ素を有するフルオロベンゼン誘導体、この化合物を含有したネマチック相を有する液晶組成物、およびこの組成物を含有する液晶表示素子に関する。

10

【背景技術】

【0002】

液晶表示パネル、液晶表示モジュール等に代表される液晶表示素子は、液晶性化合物（本発明では、ネマチック相、スメクチック相などの液晶相を有する化合物、および液晶相を有しないが液晶組成物の成分として有用な化合物の総称を意味する。）が有する光学異方性、誘電率異方性などを利用したものであるが、この液晶表示素子の動作モードとしては、PC（phase change）モード、TN（twisted nematic）モード、STN（super twisted nematic）モード、BTN（bistable twisted nematic）モード、ECB（electrically controlled birefringence）モード、OCB（optically compensated bend）モード、IPS（in-plane switching）モード、VA（vertical alignment）モード、PSA（Polymer sustained alignment）モードなどの様々なモードが知られている。

20

【0003】

これら動作モードの中でもECBモード、IPSモード、VAモードなどは、液晶分子の垂直配向性を利用した動作モードであり、特にIPSモードおよびVAモードは、TNモード、STNモード等の従来の表示モードの欠点である視野角の狭さを改善可能であることが知られている。

【0004】

そして、従来からこれら動作モードの液晶表示素子に使用可能な、負の誘電率異方性を有する液晶組成物の成分として、ベンゼン環上の水素がフッ素で置き換えられた液晶性化合物が数多く検討されてきている（例えば、特許文献1～6参照。）。

30

【0005】

例えばベンゼン環上の水素がフッ素で置き換えられた化合物（A）および（B）が検討されている（特許文献1および2参照）。しかし、このような化合物は誘電率異方性が負に大きくない。

【0006】

また、ラテラル位にフッ素を有するターフェニル化合物（C）が検討されている（特許文献3参照）。しかし、この化合物は融点が高く、相溶性に乏しい。

【0007】

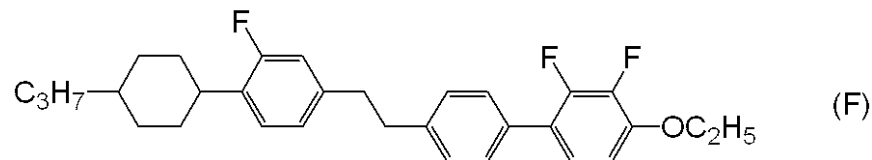
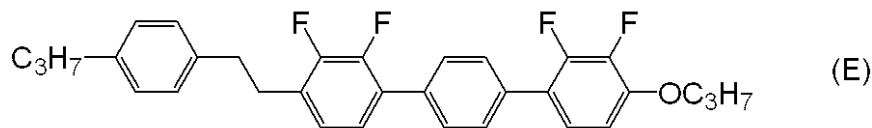
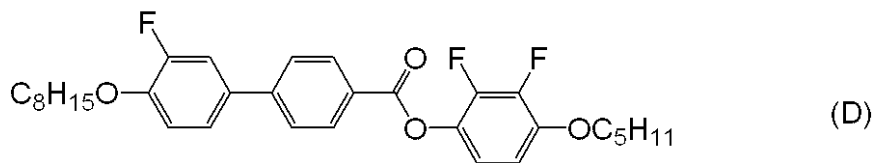
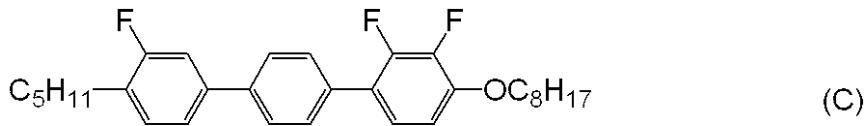
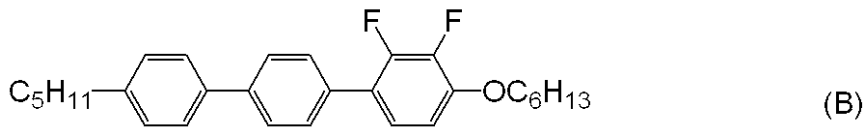
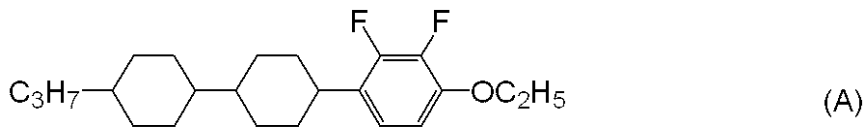
また、エステル結合基とラテラル位フッ素を持つ化合物（D）が検討されている（特許文献4参照）。しかし、化合物（D）は誘電率異方性が負に大きくない。

40

【0008】

また、エチレン結合基とラテラル位フッ素を持つ化合物（E）および（F）が検討されている（特許文献5および6参照）。しかし、化合物（E）は相溶性に乏しく、化合物（F）は誘電率異方性が負に大きくない。

【0009】



【先行技術文献】

【特許文献】

【0010】

【特許文献1】特表平02-503441号公報

【特許文献2】国際公開第89/02425号パンフレット

【特許文献3】特開平11-116512号公報

【特許文献4】国際公開第89/06678号パンフレット

【特許文献5】国際公開第98/23564号パンフレット

【特許文献6】特開2007-002132号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0011】

したがって、IPSモードおよびVAモード等の動作モードの液晶表示素子であっても、CRTと比較すれば表示素子としてはいまだ問題があり、例えば、応答速度の向上、コントラストの向上、駆動電圧の低下が望まれている。

【0012】

上述したIPSモード、あるいはVAモードで動作する表示素子は、主として、負の誘電率異方性を有する液晶組成物から構成されているが、これらの特性等をさらに向上させるためには、この液晶組成物に含まれる液晶性化合物が、以下(1)~(8)で示す特性を有することが必要である。すなわち、

(1) 化学的に安定であること、および物理的に安定であること、

10

20

30

40

50

- (2) 高い透明点（液晶相 - 等方相の転移温度）を有すること、
 - (3) 液晶相（ネマチック相、スメクチック相等）の下限温度、特にネマチック相の下限温度が低いこと、
 - (4) 粘度が小さいこと、
 - (5) 適切な光学異方性を有すること、
 - (6) 適切な負の誘電率異方性を有すること、
 - (7) 適切な弾性定数 K_{33} （ K_{33} ：ベンド弾性定数）を有すること、および
 - (8) 他の液晶性化合物との相溶性に優れること、
- である。

【0013】

(1) のように化学的、物理的に安定な液晶性化合物を含む組成物を表示素子に用いると、電圧保持率を大きくすることができる。

また、(2) および (3) のように、高い透明点、あるいは液晶相の低い下限温度を有する液晶性化合物を含む組成物ではネマチック相の温度範囲を広げることが可能となり、幅広い温度領域で表示素子として使用することが可能となる。

【0014】

さらに、(4) のように粘度の小さい化合物、および (7) のように大きな弾性定数 K_{33} を有する化合物を含む組成物を表示素子として用いると応答速度を向上することができる、(5) のように適切な光学異方性を有する化合物を含む組成物を用いた表示素子の場合、表示素子のコントラストの向上を図ることができる。素子の設計次第では、光学異方性は小さいものから大きなものまで必要である。最近ではセル厚を薄くすることにより応答速度を改善する手法が検討されており、それに伴い、大きな光学異方性を有する液晶組成物も必要となっている。

【0015】

加えて、液晶性化合物が負に大きな誘電率異方性を有する場合には、この化合物を含む液晶組成物のしきい値電圧を低くすることができるので、(6) のように適切な負の誘電率異方性を有する化合物を含む組成物を用いた表示素子の場合には、表示素子の駆動電圧を低くし、消費電力も小さくすることができる。さらに (7) のように小さな弾性定数 K_{33} を有する化合物を含む組成物を表示素子として用いることで表示素子の駆動電圧を小さくことができ、消費電力も小さくすることができる。

【0016】

液晶性化合物は、単一の化合物では発揮することが困難な特性を発現させるために、他の多くの液晶性化合物と混合して調製した組成物として用いることが一般的である。したがって、表示素子に用いる液晶性化合物は、(8) のように、他の液晶性化合物等との相溶性が良好であることが好ましい。また、表示素子は、氷点下を含め幅広い温度領域で使用することもあるので、低い温度領域から良好な相溶性を示す化合物であることが好ましい場合もある。

【0017】

本発明の第一の目的は、熱、光などに対する安定性を有し、広い温度範囲でネマチック相となり、粘度が小さく、大きな光学異方性、および適切な弾性定数 K_{33} を有し、さらに、適切な負の誘電率異方性、および他の液晶性化合物との優れた相溶性を有する液晶性化合物を提供することである。

【0018】

本発明の第二の目的は、熱、光などに対する安定性を有し、粘度が低く、大きな光学異方性、および適切な負の誘電率異方性を有し、適切な弾性定数 K_{33} を有し、しきい値電圧が低く、さらに、この化合物を含有して、ネマチック相の上限温度（ネマチック相 - 等方相の相転移温度）が高く、ネマチック相の下限温度が低い液晶組成物を提供することである。

【0019】

本発明の第三の目的は、応答時間が短く、消費電力および駆動電圧が小さく、大きなコ

10

20

30

40

50

ントラストを有し、広い温度範囲で使用可能である、上記組成物を含有する液晶表示素子を提供することである。

【課題を解決するための手段】

【0020】

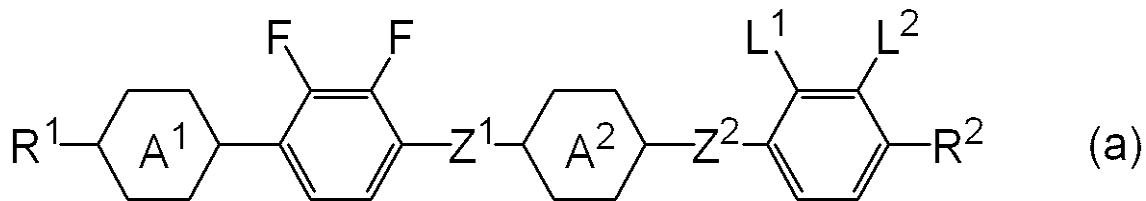
本発明者らはこれらの課題に鑑み鋭意研究を行った結果、ベンゼン環上の水素がフッ素で置き換えられたフェニレンを有する特定構造の中において、ラテラル位にフッ素を有する4環液晶性化合物が、熱、光などに対する安定性を有し、広い温度範囲でネマチック相となり、粘度が小さく、大きな光学異方性、および適切な弾性定数 K_{33} を有し、さらに、適切な負の誘電率異方性、および他の液晶性化合物との優れた相溶性を有していること、また、この化合物を含有する液晶組成物が、熱、光などに対する安定性を有し、粘度が小さく、大きな光学異方性、適切な弾性定数 K_{33} 、および適切な負の誘電率異方性を有し、しきい値電圧が低く、さらに、ネマチック相の上限温度が高く、ネマチック相の下限温度が低いこと、さらに、この組成物を含有する液晶表示素子が、応答時間が短く、消費電力および駆動電圧が小さく、コントラスト比が大きく、広い温度範囲で使用可能であることを見だし、本発明を完成するに至った。

10

【0021】

すなわち、本発明は、以下〔1〕～〔30〕などに記載された事項を有している。

〔1〕：式(a)で表される液晶性化合物。



20

【0022】

式(a)において、 R^1 および R^2 は独立して、水素、炭素数1～10のアルキル、炭素数2～10のアルケニル、炭素数1～9のアルコキシ、炭素数2～9のアルコキシアルキル、または炭素数2～9のアルケニルオキシであり；

環 A^1 および環 A^2 は独立して、1,4-フェニレン、トランス-1,4-シクロヘキシレン、1,4-シクロヘキセニレン、テトラヒドロピラン-2,5-ジイル、テトラヒドロピラン-3,6-ジイル、1,3-ジオキサン-2,5-ジイル、1,3-ジオキサン-3,6-ジイル、ピリミジン-2,5-ジイル、ピリミジン-3,6-ジイル、ピリジン-2,5-ジイル、またはピリミジン-3,6-ジイルであり；

30

L^1 および L^2 は独立して、水素またはフッ素であり、これらのうち少なくとも1つはフッ素であり；

Z^1 および Z^2 は独立して、単結合、 $-(CH_2)_2-$ 、 $-CH=CH-$ 、 $-C=C-$ 、 $-CH_2O-$ 、 $-OCH_2-$ 、 $-COO-$ または $-OCO-$ である。

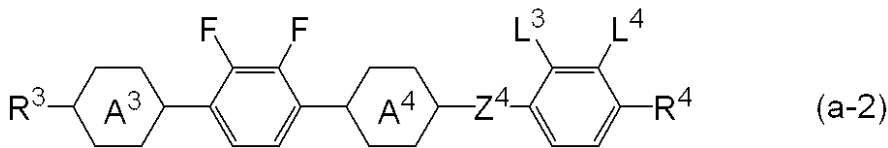
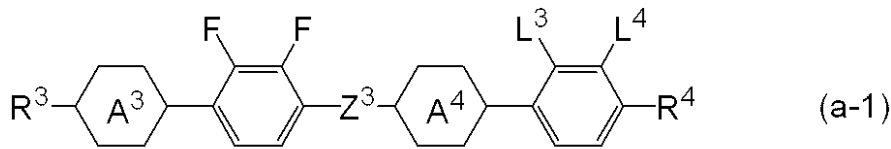
【0023】

〔2〕：式(a)において、環 A^1 および環 A^2 が独立して、1,4-フェニレン、トランス-1,4-シクロヘキシレン、テトラヒドロピラン-2,5-ジイル、またはテトラヒドロピラン-3,6-ジイルである項〔1〕に記載の化合物。

40

【0024】

〔3〕：式(a-1)または(a-2)で表される項〔2〕に記載の化合物。



10

【0025】

式(a-1)および(a-2)において、 R^3 および R^4 は独立して、炭素数1~10のアルキル、炭素数2~10のアルケニル、炭素数1~9のアルコキシ、炭素数2~9のアルコシアルキル、または炭素数2~9のアルケニルオキシであり；

環 A^3 および環 A^4 は独立して、1,4-フェニレン、トランス-1,4-シクロヘキレン、テトラヒドロピラン-2,5-ジイル、またはテトラヒドロピラン-3,6-ジイルであり；

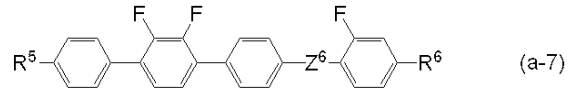
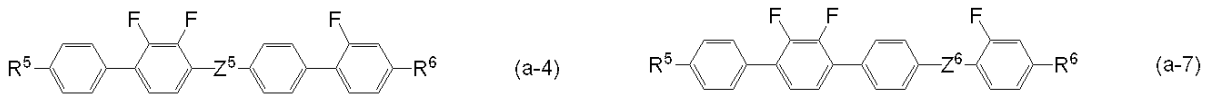
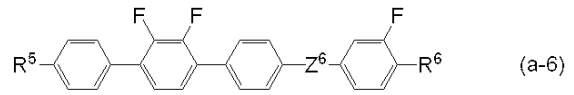
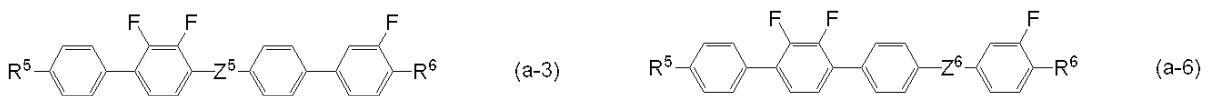
L^3 および L^4 は独立して、水素またはフッ素であり、これらのうち少なくとも1つはフッ素であり；

Z^3 および Z^4 は独立して、 $-(CH_2)_2-$ 、 $-CH=CH-$ 、 $-CH_2O-$ 、 $-OCH_2-$ 、 $-COO-$ 、または $-OCO-$ である。

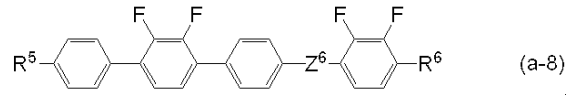
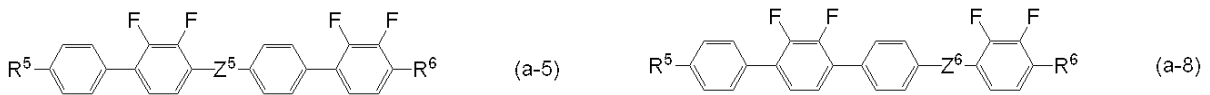
20

【0026】

〔4〕：式(a-3)~(a-8)のいずれか1つで表される項〔3〕に記載の化合物



30



【0027】

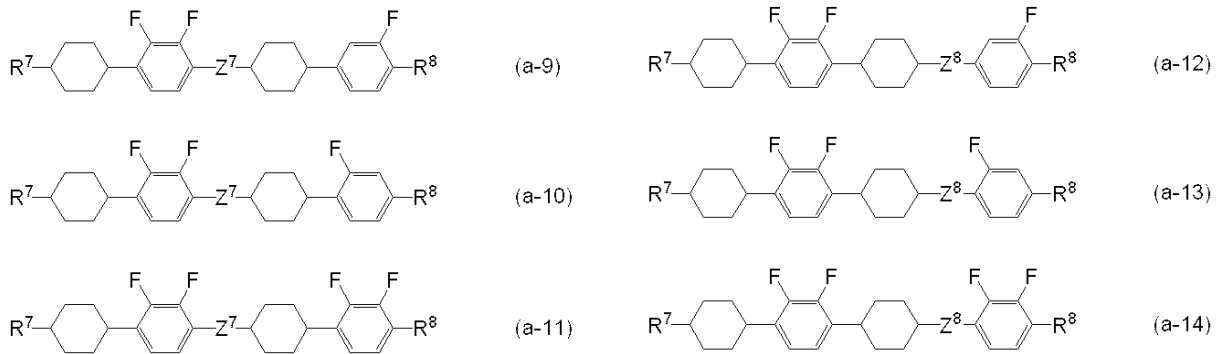
式(a-3)~(a-8)において、 R^5 および R^6 は独立して、炭素数1~10のアルキル、炭素数2~10のアルケニル、炭素数1~9のアルコキシ、炭素数2~9のアルコシアルキル、または炭素数2~9のアルケニルオキシであり；

Z^5 および Z^6 は独立して、 $-(CH_2)_2-$ 、 $-CH=CH-$ 、 $-CH_2O-$ 、 $-OCH_2-$ 、 $-COO-$ 、または $-OCO-$ である。

40

【0028】

〔5〕：式(a-9)~(a-14)のいずれか1つで表される項〔3〕に記載の化合物。



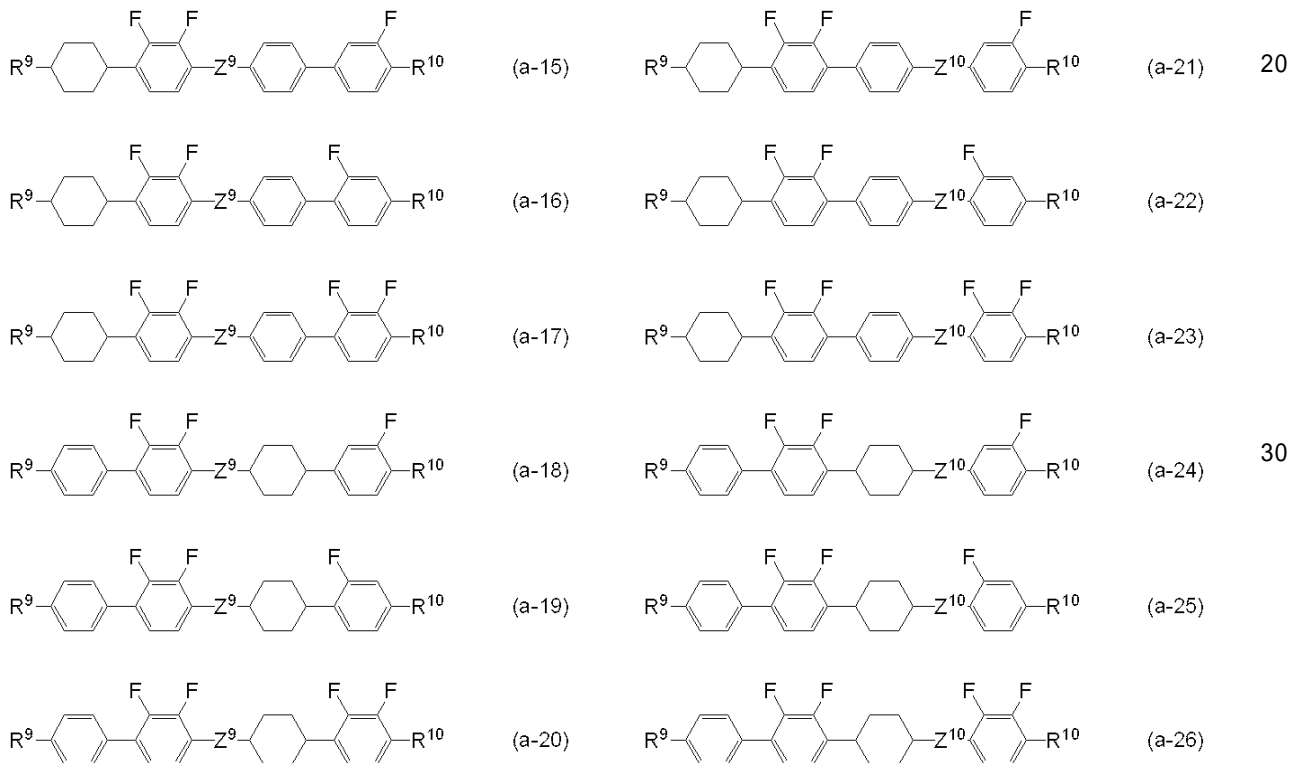
【 0 0 2 9 】

式 (a - 9) ~ (a - 1 4) において、 R ⁷ および R ⁸ は独立して、炭素数 1 ~ 1 0 のアルキル、炭素数 2 ~ 1 0 のアルケニル、炭素数 1 ~ 9 のアルコキシ、炭素数 2 ~ 9 のアルコシアルキル、または炭素数 2 ~ 9 のアルケニルオキシであり；

Z ⁷ および Z ⁸ は独立して、 - (C H ₂) ₂ - 、 - C H = C H - 、 - C H ₂ O - 、 - O C H ₂ - 、 - C O O - 、または - O C O - である。

【 0 0 3 0 】

〔 6 〕：式 (a - 1 5) ~ (a - 2 6) のいずれか 1 つで表される項〔 3 〕に記載の化合物。



【 0 0 3 1 】

式 (a - 1 5) ~ (a - 2 6) において、 R ⁹ および R ^{1 0} は独立して、炭素数 1 ~ 1 0 のアルキル、炭素数 2 ~ 1 0 のアルケニル、炭素数 1 ~ 9 のアルコキシ、炭素数 2 ~ 9 のアルコシアルキル、または炭素数 2 ~ 9 のアルケニルオキシであり；

Z ⁹ および Z ^{1 0} は独立して、 - (C H ₂) ₂ - 、 - C H = C H - 、 - C H ₂ O - 、 - O C H ₂ - 、 - C O O - 、または - O C O - である。

【 0 0 3 2 】

〔 7 〕：式 (a - 3) ~ (a - 8) において、 Z ⁵ および Z ⁶ が - C H ₂ O - である項〔 4 〕に記載の化合物。

【 0 0 3 3 】

〔 8 〕：式 (a - 3) ~ (a - 8) において、 Z ⁵ および Z ⁶ が - O C H ₂ - である項〔 4 〕に記載の化合物。

10

20

30

40

50

【 0 0 3 4 】

〔 9 〕：式 (a - 3) ~ (a - 8) において、 Z^5 および Z^6 が $-(CH_2)_2-$ である項〔 4 〕に記載の化合物。

【 0 0 3 5 】

〔 1 0 〕：式 (a - 3) ~ (a - 8) において、 Z^5 および Z^6 が $-COO-$ である項〔 4 〕に記載の化合物。

【 0 0 3 6 】

〔 1 1 〕：式 (a - 3) ~ (a - 8) において、 Z^5 および Z^6 が $-OCO-$ である項〔 4 〕に記載の化合物。

【 0 0 3 7 】

〔 1 2 〕：式 (a - 9) ~ (a - 1 4) において、 Z^7 および Z^8 が $-CH_2O-$ である項〔 5 〕に記載の化合物。

10

【 0 0 3 8 】

〔 1 3 〕：式 (a - 9) ~ (a - 1 4) において、 Z^7 および Z^8 が $-OCH_2-$ である項〔 5 〕に記載の化合物。

【 0 0 3 9 】

〔 1 4 〕：式 (a - 9) ~ (a - 1 4) において、 Z^7 および Z^8 が $-(CH_2)_2-$ である項〔 5 〕に記載の化合物。

【 0 0 4 0 】

〔 1 5 〕：式 (a - 9) ~ (a - 1 4) において、 Z^7 および Z^8 が $-COO-$ である項〔 5 〕に記載の化合物。

20

【 0 0 4 1 】

〔 1 6 〕：式 (a - 9) ~ (a - 1 4) において、 Z^7 および Z^8 が $-OCO-$ である項〔 5 〕に記載の化合物。

【 0 0 4 2 】

〔 1 7 〕：式 (a - 1 5) ~ (a - 2 6) において、 Z^9 および Z^{10} が $-CH_2O-$ である項〔 6 〕に記載の化合物。

【 0 0 4 3 】

〔 1 8 〕：式 (a - 1 5) ~ (a - 2 6) において、 Z^9 および Z^{10} が $-OCH_2-$ である項〔 6 〕に記載の化合物。

30

【 0 0 4 4 】

〔 1 9 〕：式 (a - 1 5) ~ (a - 2 6) において、 Z^9 および Z^{10} が $-(CH_2)_2-$ である項〔 6 〕に記載の化合物。

【 0 0 4 5 】

〔 2 0 〕：式 (a - 1 5) ~ (a - 2 6) において、 Z^9 および Z^{10} が $-COO-$ である項〔 6 〕に記載の化合物。

【 0 0 4 6 】

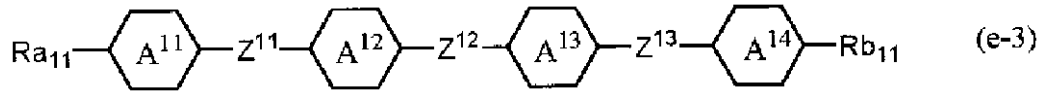
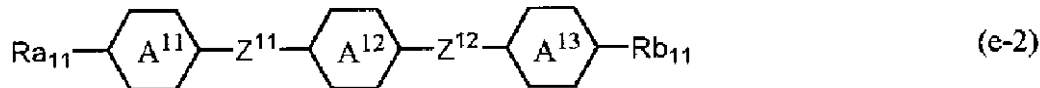
〔 2 1 〕：式 (a - 1 5) ~ (a - 2 6) において、 Z^9 および Z^{10} が $-OCO-$ である項〔 6 〕に記載の化合物。

【 0 0 4 7 】

〔 2 2 〕：項〔 1 〕 ~ 〔 2 1 〕のいずれか 1 項に記載される化合物から選択される少なくとも 1 つの化合物である第一成分と、式 (e - 1) ~ (e - 3) で表される化合物群から選択される少なくとも 1 つの化合物である第二成分とを含有し、そして誘電率異方性が負である液晶組成物。

40

【 0 0 4 8 】



10

【 0 0 4 9 】

式 (e - 1) ~ (e - 3) において、 Ra_{11} および Rb_{11} は独立して、炭素数 1 ~ 10 のアルキルであるが、このアルキル中において、相隣接しない $-\text{CH}_2-$ は $-\text{O}-$ で置き換えられていてもよく、相隣接しない $-(\text{CH}_2)_2-$ は $-\text{CH}=\text{CH}-$ で置き換えられていてもよく、水素はフッ素で置き換えられていてもよく；

環 A^{11} 、環 A^{12} 、環 A^{13} 、および環 A^{14} は独立して、トランス - 1, 4 - シクロヘキシレン、1, 4 - フェニレン、2 - フルオロ - 1, 4 - フェニレン、3 - フルオロ - 1, 4 - フェニレン、ピリミジン - 2, 5 - ジイル、ピリミジン - 3, 6 - ジイル、1, 3 - ジオキサソ - 2, 5 - ジイル、1, 3 - ジオキサソ - 3, 6 - ジイル、テトラヒドロピラン - 2, 5 - ジイル、またはテトラヒドロピラン - 3, 6 - ジイルであり；

20

Z^{11} 、 Z^{12} 、および Z^{13} は独立して、単結合、 $-\text{CH}_2-\text{CH}_2-$ 、 $-\text{CH}=\text{CH}-$ 、 $-\text{C}-\text{C}-$ 、 $-\text{COO}-$ 、または $-\text{CH}_2\text{O}-$ である。

【 0 0 5 0 】

〔 2 3 〕：項〔 3 〕に記載の化合物群から選択される少なくとも 1 つの化合物である第一成分と項〔 2 2 〕に記載された式 (e - 1) ~ (e - 3) で表される化合物群から選択される少なくとも 1 つの化合物である第二成分とを含有し、そして誘電率異方性が負である液晶組成物。

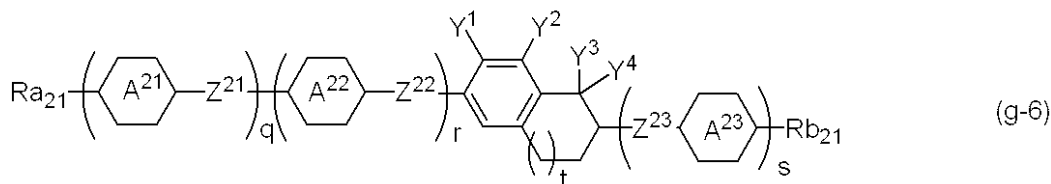
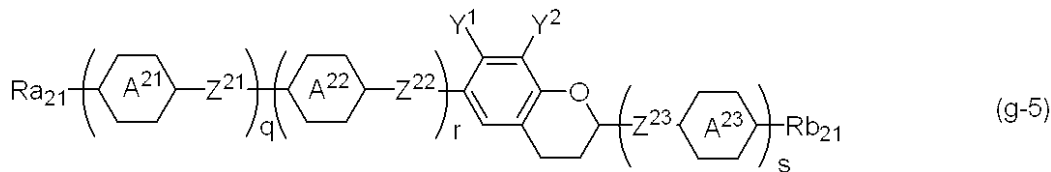
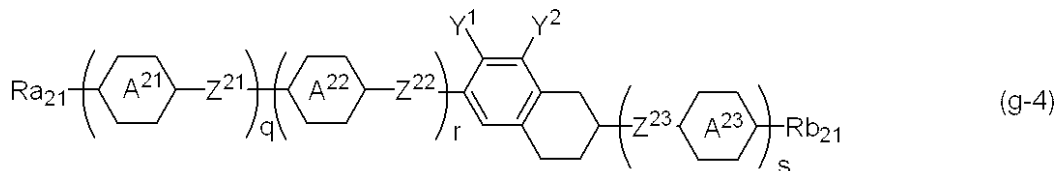
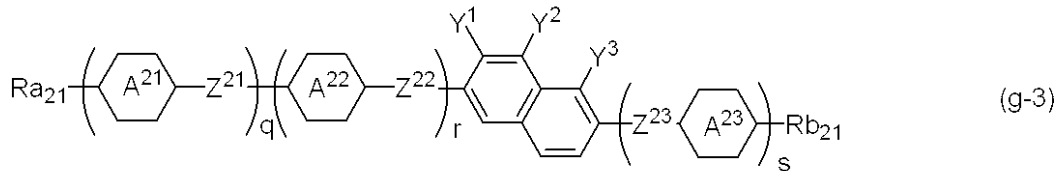
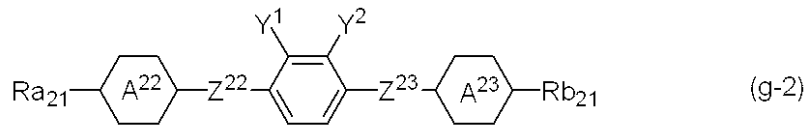
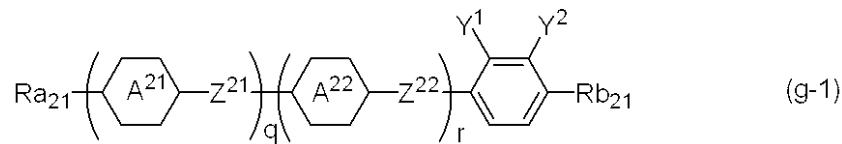
【 0 0 5 1 】

30

〔 2 4 〕：液晶組成物の全重量に基づいて、第一成分の含有割合が 5 ~ 60 重量% の範囲であり、第二成分の含有割合が 40 ~ 95 重量% の範囲である、項〔 2 3 〕に記載の液晶組成物。

【 0 0 5 2 】

〔 2 5 〕：第一成分、および第二成分に加えて、式 (g - 1) ~ (g - 6) で表される化合物群から選択される少なくとも 1 つの化合物である第三成分を含有する項〔 2 2 〕または〔 2 3 〕に記載の液晶組成物。



【 0 0 5 3 】

式 (g - 1) ~ (g - 6) において、 Ra_{21} および Rb_{21} は独立して、水素、または炭素数 1 ~ 10 のアルキルであり、このアルキル中において、相隣接しない $-\text{CH}_2-$ は $-\text{O}-$ で置き換えられていてもよく、相隣接しない $-(\text{CH}_2)_2-$ は $-\text{CH}=\text{CH}-$ で置き換えられていてもよく、水素はフッ素で置き換えられていてもよく；

環 A^{21} 、環 A^{22} 、および環 A^{23} は独立して、トランス - 1, 4 - シクロヘキシレン、1, 4 - フェニレン、2 - フルオロ - 1, 4 - フェニレン、3 - フルオロ - 1, 4 - フェニレン、2, 3 - ジフルオロ - 1, 4 - フェニレン、ピリミジン - 2, 5 - ジイル、ピリミジン - 3, 6 - ジイル、1, 3 - ジオキサン - 2, 5 - ジイル、1, 3 - ジオキサン - 3, 6 - ジイル、テトラヒドロピラン - 2, 5 - ジイル、テトラヒドロピラン - 3, 6 - ジイルであり；

Z^{21} 、 Z^{22} 、および Z^{23} は独立して、単結合、 $-\text{CH}_2-\text{CH}_2-$ 、 $-\text{CH}=\text{CH}-$ 、 $-\text{C}-\text{C}-$ 、 $-\text{OCF}_2-$ 、 $-\text{CF}_2\text{O}-$ 、 $-\text{OCF}_2\text{CH}_2\text{CH}_2-$ 、 $-\text{CH}_2\text{CH}_2\text{CF}_2\text{O}-$ 、 $-\text{COO}-$ 、 $-\text{OCO}-$ 、 $-\text{OCH}_2-$ 、または $-\text{CH}_2\text{O}-$ であり；

Y^1 、 Y^2 、 Y^3 、および Y^4 は独立して、フッ素または塩素であり；

q 、 r 、および s は独立して、0、1、または 2 であり、 $q + r$ は 1 または 2 であり、 $q + r + s$ は 1、2、または 3 であり；

t は 0、1、または 2 である。

【 0 0 5 4 】

〔 2 6 〕：第一成分、および第二成分に加えて、式 (h - 1) ~ (h - 7) で表される

10

20

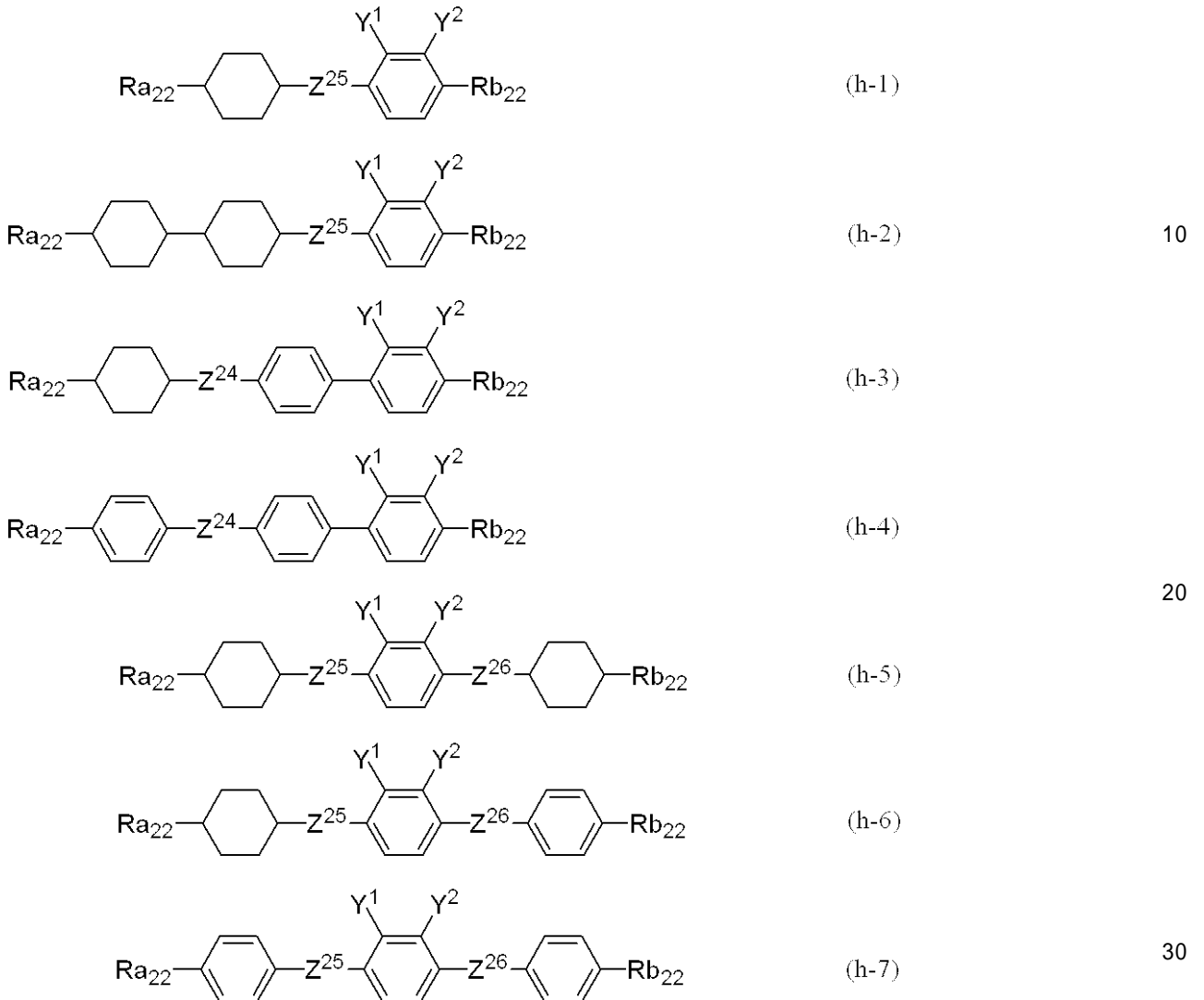
30

40

50

化合物群から選択される少なくとも1つの化合物である第三成分を含有する項〔25〕に記載の液晶組成物。

【0055】



【0056】

式(h-1)~(h-7)において、 Ra_{22} および Rb_{22} は独立して、炭素数1~8の直鎖アルキル、炭素数2~8の直鎖アルケニル、または炭素数1~7のアルコキシであり； Z^{24} 、 Z^{25} 、および Z^{26} は独立して、単結合、 $-CH_2CH_2-$ 、 $-CH_2O-$ 、または $-OCH_2-$ であり；

Y^1 、および Y^2 は、共にフッ素、または一方がフッ素で他方が塩素である。

【0057】

〔27〕：項〔3〕に記載される化合物から選択される少なくとも1つの化合物である第一成分、項〔22〕に記載される式(e-1)~(e-3)で表される化合物群から選択される少なくとも1つの化合物である第二成分、および項〔26〕に記載される式(h-1)~(h-7)で表される化合物群から選択される少なくとも1つの化合物である第三成分を含有し、そして誘電率異方性が負である液晶組成物。

【0058】

〔28〕：液晶組成物の全重量に基づいて、第一成分の含有割合が5~60重量%の範囲であり、第二成分の含有割合が20~75重量%の範囲であり、第三成分の含有割合が20~75重量%の範囲である、項〔25〕~〔27〕のいずれか1項に記載の液晶組成物。

【0059】

〔29〕：項〔22〕~〔28〕のいずれか1項に記載の液晶組成物を含有する液晶表

示素子。

〔 30 〕：液晶表示素子の動作モードが、VAモード、IPSモードまたはPSAモードであり、液晶表示素子の駆動方式がアクティブマトリックス方式である、項〔 29 〕に記載の液晶表示素子。

【発明の効果】

【 0060 】

本発明の液晶性化合物は、熱、光などに対する安定性を有し、広い温度範囲でネマチック相となり、粘度が小さく、大きな光学異方性、および適切な弾性定数 K_{33} (K_{33} ：ベンド弾性定数)を有し、さらに、適切な負の誘電率異方性、および他の液晶性化合物との優れた相溶性を有している。また、本発明の液晶性化合物は、ネマチック相の上限温度が低下せず、しかも、粘度が大きくなることなく、光学異方性が大きくなる傾向にある点で特に優れている。

10

【 0061 】

また、本発明の液晶組成物は、粘度が小さく、大きな光学異方性、適切な弾性定数 K_{33} 、および適切な負の誘電率異方性を有し、しきい値電圧が低く、さらに、ネマチック相の上限温度が高く、ネマチック相の下限温度が低い。特に、本発明の液晶組成物は大きな光学異方性を有するため、大きな光学異方性が必要な素子に有効である。

【 0062 】

さらに、本発明の液晶表示素子はこの液晶組成物を含有することを特徴とし、応答時間が短く、消費電力および駆動電圧が小さく、コントラスト比が大きく、広い温度範囲で使用可能であり、PCモード、TNモード、STNモード、ECBモード、OCBモード、IPSモード、VAモード、PSAモードなどの表示モードの液晶表示素子に好適に使用することができ、特に、IPSモード、VAモード、PSAモードの液晶表示素子に好適に使用することができる。

20

【発明を実施するための形態】

【 0063 】

以下、本発明をさらに具体的に説明する。

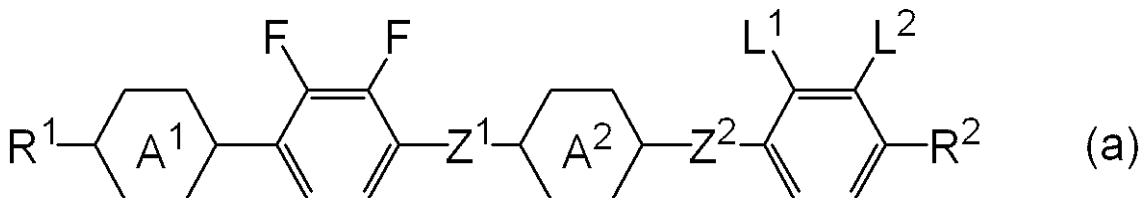
なお、以下説明中では、特に断りのない限り、百分率で表した化合物の量は組成物の全重量に基づいた重量百分率(重量%)を意味する。

〔化合物(a)〕

30

本発明の液晶性化合物は、式(a)で示される構造を有する(以下、これら化合物を「化合物(a)」ともいう。)

【 0064 】



【 0065 】

40

式(a)において、 R^1 および R^2 は独立して、水素、炭素数1~10のアルキル、炭素数2~10のアルケニル、炭素数1~9のアルコキシ、炭素数2~9のアルコキシアルキル、または炭素数2~9のアルケニルオキシである。

【 0066 】

環 A^1 および環 A^2 は独立して、1,4-フェニレン、トランス-1,4-シクロヘキシレン、1,4-シクロヘキセニレン、テトラヒドロピラン-2,5-ジイル、テトラヒドロピラン-3,6-ジイル、1,3-ジオキサソ-2,5-ジイル、1,3-ジオキサソ-3,6-ジイル、ピリミジン-2,5-ジイル、ピリミジン-3,6-ジイル、ピリジン-2,5-ジイル、またはピリジン-3,6-ジイルである。

【 0067 】

50

L^1 および L^2 は独立して、水素またはフッ素であり、これらのうち少なくとも1つはフッ素であり、 Z^1 および Z^2 は独立して、単結合、 $-(CH_2)_2-$ 、 $-CH=CH-$ 、 $-C-C-$ 、 $-CH_2O-$ 、 $-OCH_2-$ 、 $-COO-$ 、または $-OCO-$ である。

【0068】

化合物(a)は、上述のように、2位または3位の水素がフッ素で置き換えられた1,4-フェニレンと、2位および3位の水素がフッ素で置き換えられた1,4-フェニレンとを有する。このような構造を有することで、小さな粘度、適切な光学異方性、適切な弾性定数 K_{33} 、負に大きな誘電率異方性、および他の液晶性化合物との優れた相溶性を示す。特に、ネマチック相の上限温度が低下せず、しかも、粘度が大きくなることなく、誘電率異方性が負に大きい点で特に優れている。

10

【0069】

式中、 R^1 、および R^2 は、水素、炭素数1~10のアルキル、または炭素数2~10のアルケニル、炭素数1~9のアルコキシ、炭素数2~9のアルコシアルキル、または炭素数2~9のアルケニルオキシであり、例えば、 $CH_3(CH_2)_3-$ 、 $-CH_2-$ 、 $CH_3(CH_2)_2O-$ 、 $CH_3-O-(CH_2)_2-$ 、 CH_3-O-CH_2-O- 、 $H_2C=CH-(CH_2)_2-$ 、 $CH_3-CH=CH-CH_2-$ または $CH_3-CH=CH-O-$ などである。

【0070】

しかし、化合物の安定性を考慮すると、 $CH_3-O-O-CH_2-$ などの酸素と酸素とが隣接した基や $CH_3-CH=CH-CH=CH-$ などの二重結合部位が隣接した基は好ましくない。

20

【0071】

R^1 および R^2 としては、より具体的には、水素、アルキル、アルコキシ、アルコシアルキル、アルケニルおよびアルケニルオキシが挙げられる。

【0072】

これら基中の炭素-炭素結合の鎖は、直鎖であることが好ましい。炭素-炭素結合の鎖が、直鎖であると、液晶相の温度範囲を広くすることができ、粘度を小さくすることができる。また、 R^1 、および R^2 のいずれかが光学活性基である場合には、キラルドーパントとして有用であり、該化合物を液晶組成物に添加することにより、液晶表示素子に発生するリバーズ・ツイスト・ドメイン (Reverse twisted domain) を防止することができる。

30

【0073】

これら R^1 、および R^2 としては、アルキル、アルコキシ、アルコシアルキルおよびアルケニルが好ましく、アルキル、アルコキシ、およびアルケニルがさらに好ましい。

【0074】

R^1 、および R^2 がアルキル、アルコキシ、およびアルケニルである場合には、液晶性化合物の液晶相の温度範囲を広げることができる。

アルケニルには、アルケニル中の二重結合の位置に依存して、 $-CH=CH-$ の好ましい立体配置がある。

【0075】

$-CH=CHCH_3$ 、 $-CH=CHC_2H_5$ 、 $-CH=CHC_3H_7$ 、 $-CH=CHC_4H_9$ 、 $-C_2H_4CH=CHCH_3$ 、 $-C_2H_4CH=CHC_2H_5$ などのように奇数位に二重結合を有するアルケニルでは、立体配置はトランス配置が好ましい。

40

【0076】

一方、 $-CH_2CH=CHCH_3$ 、 $-CH_2CH=CHC_2H_5$ 、 $-CH_2CH=CHC_3H_7$ などのように偶数位に二重結合を有するアルケニルでは、立体配置はシス配置が好ましい。上述のような好ましい立体配置を有するアルケニル化合物は、液晶相の温度範囲が広く、大きな弾性定数比 K_{33}/K_{11} (K_{33} : ベンド弾性定数、 K_{11} : スプレイ弾性定数) を有し、化合物の粘度を小さくすることができ、さらに、この液晶性化合物を液晶組成物に添加すると、ネマチック相の上限温度 (T_{N1}) を高くすることができる。

50

【0077】

アルキルの具体例としては、 $-CH_3$ 、 $-C_2H_5$ 、 $-C_3H_7$ 、 $-C_4H_9$ 、 $-C_5H_{11}$ 、 $-C_6H_{13}$ 、 $-C_7H_{15}$ 、 $-C_8H_{17}$ 、 $-C_9H_{19}$ 、および $-C_{10}H_{21}$ を挙げることができ；
アルコキシの具体例としては、 $-OCH_3$ 、 $-OC_2H_5$ 、 $-OC_3H_7$ 、 $-OC_4H_9$ 、 $-OC_5H_{11}$ 、 $-OC_6H_{13}$ 、 $-OC_7H_{15}$ 、 $-OC_8H_{17}$ 、および $-OC_9H_{19}$ を挙げることができ；

アルコシアルキルの具体例としては、 $-CH_2OCH_3$ 、 $-CH_2OC_2H_5$ 、 $-CH_2OC_3H_7$ 、 $-(CH_2)_2OCH_3$ 、 $-(CH_2)_2OC_2H_5$ 、 $-(CH_2)_2OC_3H_7$ 、 $-(CH_2)_3OCH_3$ 、 $-(CH_2)_4OCH_3$ 、および $-(CH_2)_5OCH_3$ を挙げることができ；

アルケニルの具体例としては、 $-CH=CH_2$ 、 $-CH=CHCH_3$ 、 $-CH_2CH=CH_2$ 、 $-CH=CHC_2H_5$ 、 $-CH_2CH=CHCH_3$ 、 $-(CH_2)_2CH=CH_2$ 、 $-CH=CHC_3H_7$ 、 $-CH_2CH=CHC_2H_5$ 、 $-(CH_2)_2CH=CHCH_3$ 、および $-(CH_2)_3CH=CH_2$ を挙げることができ；

アルケニルオキシの具体例としては、 $-OCH_2CH=CH_2$ 、 $-OCH_2CH=CHCH_3$ 、および $-OCH_2CH=CHC_2H_5$ を挙げることができる。

【0078】

よって、 R^1 および R^2 の具体例の中でも、 $-CH_3$ 、 $-C_2H_5$ 、 $-C_3H_7$ 、 $-C_4H_9$ 、 $-C_5H_{11}$ 、 $-OCH_3$ 、 $-OC_2H_5$ 、 $-OC_3H_7$ 、 $-OC_4H_9$ 、 $-OC_5H_{11}$ 、 $-CH_2OCH_3$ 、 $-(CH_2)_2OCH_3$ 、 $-(CH_2)_3OCH_3$ 、 $-CH_2CH=CH_2$ 、 $-CH_2CH=CHCH_3$ 、 $-(CH_2)_2CH=CH_2$ 、 $-CH_2CH=CHC_2H_5$ 、 $-(CH_2)_2CH=CHCH_3$ 、 $-(CH_2)_3CH=CH_2$ 、 $-(CH_2)_3CH=CHCH_3$ 、 $-(CH_2)_3CH=CHC_2H_5$ 、 $-(CH_2)_3CH=CHC_3H_7$ 、 $-OCH_2CH=CH_2$ 、 $-OCH_2CH=CHCH_3$ 、 $-OCH_2CH=CHC_2H_5$ が好ましく、 $-CH_3$ 、 $-C_2H_5$ 、 $-C_3H_7$ 、 $-OCH_3$ 、 $-OC_2H_5$ 、 $-OC_3H_7$ 、 $-OC_4H_9$ 、 $-(CH_2)_2CH=CH_2$ 、 $-(CH_2)_2CH=CHCH_3$ 、および $-(CH_2)_2CH=CHC_3H_7$ がより好ましい。

【0079】

環 A^1 および環 A^2 は、1,4-フェニレン、トランス-1,4-シクロヘキシレン、シクロヘキセン-1,4-ジイル、トランス-1,3-ジオキサソ-2,5-ジイル、トランス-テトラヒドロピラン-2,5-ジイル、ピリミジン-2,5-ジイル、ピリジン-2,5-ジイルであり、これらの環において水素はフッ素で置き換えられていてもよい。

【0080】

環 A^1 および環 A^2 としては、1,4-フェニレン、トランス-1,4-シクロヘキシレン、シクロヘキセン-1,4-ジイル、トランス-1,3-ジオキサソ-2,5-ジイル、トランス-テトラヒドロピラン-2,5-ジイルが好ましい。

【0081】

これら環の中でも、1,4-フェニレン、トランス-1,4-シクロヘキシレン、がより好ましく、トランス-1,4-シクロヘキシレンが最も好ましい。

【0082】

中でも、これら環のうち少なくとも一つの環が、トランス-1,4-シクロヘキシレンであるときには、粘度を小さくすることができ、さらに、この液晶性化合物を液晶組成物に添加すると、ネマチック相の上限温度 (T_{NI}) を高くすることができる。

【0083】

L^1 および L^2 はそれぞれ独立して水素原子またはフッ素原子を示すが、これらのうち少なくとも1つはフッ素原子である。

【0084】

L^1 および L^2 のうち、一方が水素で他方がフッ素であることが化合物の融点を下げることができるため好ましい。

【0085】

L^1 および L^2 のうち、両方がフッ素であることが化合物の誘電率異方性を負に大きく

10

20

30

40

50

することができるためより好ましい。

【0086】

Z¹ および Z² は、単結合、- (CH₂)₂ -、- CH = CH -、- C C -、- CH₂ O -、- OCH₂ -、- COO -、または - OCO - である。

【0087】

Z¹ および Z² が、単結合、- (CH₂)₂ -、または - CH = CH - である場合は、化合物の粘度を小さくすることができるため好ましい。これら Z¹ および Z² の中でも、- COO -、または - OCO - である場合は、化合物のネマチック相の上限温度 (T_{N1}) を高くすることができるためより好ましい。さらに、- CH₂O -、または - OCH₂ - である場合は、化合物の誘電率異方性を負に大きくすることができるためさらに好ましい。

10

【0088】

化合物の安定性を考慮すると単結合、- (CH₂)₂ -、- CH₂O - および - OCH₂ - が好ましく、単結合および - (CH₂)₂ - がさらに好ましい。

【0089】

Z¹ および Z² が - CH = CH - の場合には、二重結合に対する他の基の立体配置は、トランス配置が好ましい。このような立体配置であることにより、この液晶性化合物の液晶相の温度範囲を広げることができ、さらに、この液晶性化合物を液晶組成物に添加すると、ネマチック相の上限温度 (T_{N1}) を高くすることができる。

【0090】

また、Z¹ および Z² 中に - CH = CH - が含まれている場合には、液晶相の温度範囲を広げること、弾性定数比 K₃₃ / K₁₁ (K₃₃: ベンド弾性定数、K₁₁: スプレイ弾性定数) を大きくすること、および化合物の粘度を小さくすることができ、さらに、この液晶性化合物を液晶組成物に添加したときにはネマチック相の上限温度 (T_{N1}) を高くすることができる。

20

【0091】

なお、化合物の物性に大きな差異がないので、液晶性化合物 (a) は²H (重水素)、¹³C などの同位体を天然存在比の量より多く含んでもよい。

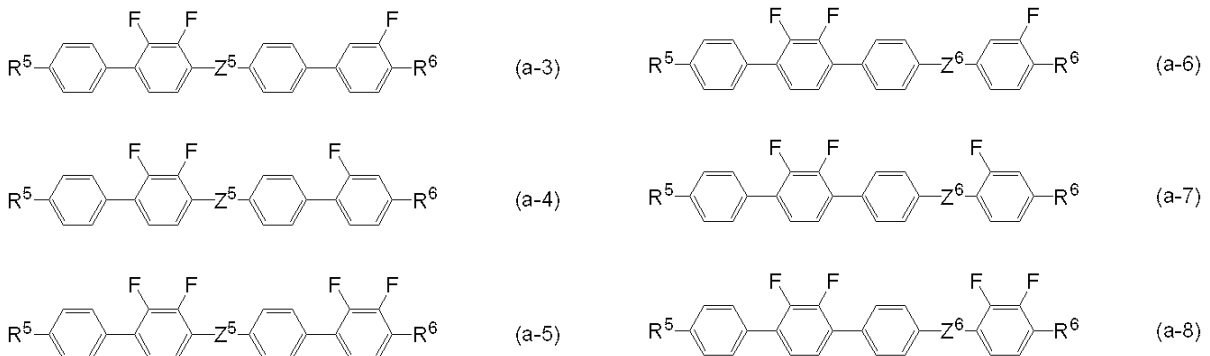
これら液晶性化合物 (a) では、R¹、R²、環 A¹、環 A²、Z¹ および Z² を適宜選択することにより、誘電率異方性などの物性を所望の物性に調整することが可能である。

30

【0092】

化合物 (a) の好ましい化合物の例として化合物 (a-3) ~ (a-26) が挙げられる。

【0093】



40

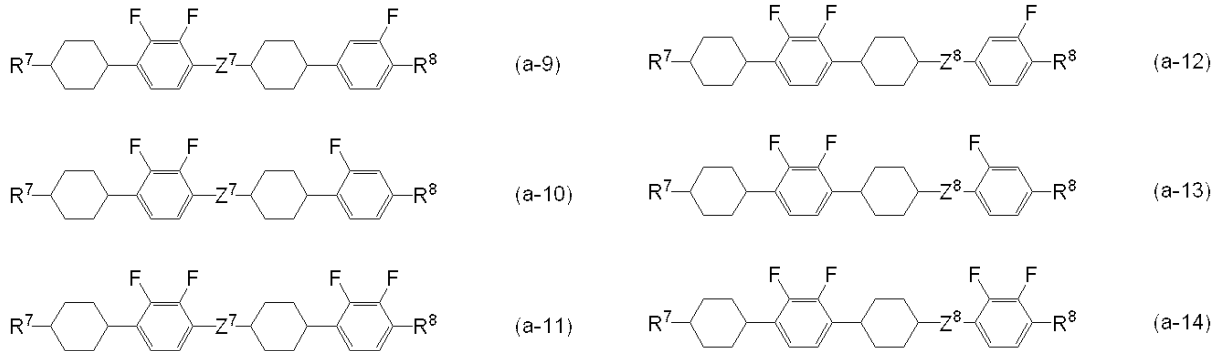
【0094】

式 (a-3) ~ (a-8) において、R⁵ および R⁶ は独立して、炭素数 1 ~ 10 のアルキル、炭素数 2 ~ 10 のアルケニル、炭素数 1 ~ 9 のアルコキシ、炭素数 2 ~ 9 のアルコキシアルキル、または炭素数 2 ~ 9 のアルケニルオキシであり、Z⁵ および Z⁶ は、単結合、- (CH₂)₂ -、- CH = CH -、- C C -、- CH₂O -、- OCH₂ -、- COO -、または - OCO - である。

50

【 0 0 9 5 】

化合物 (a - 3) ~ (a - 8) 物は、 1 , 4 - フェニレン基を持つため、熱や光に対する安定性を有し、ネマチック相の上限温度をより高く、適切な弾性定数 K_{33} を有するという観点でより好ましい。



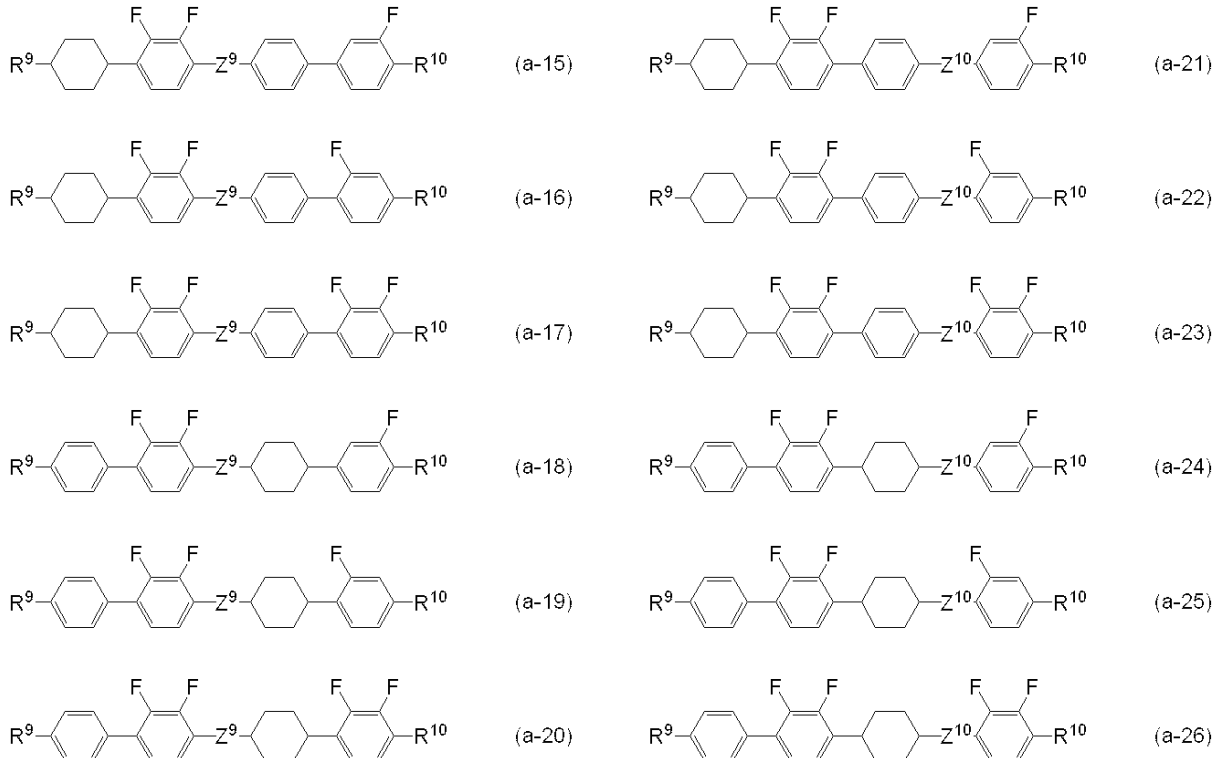
【 0 0 9 6 】

式 (a - 9) ~ (a - 1 4) において、 R^7 および R^8 は独立して、炭素数 1 ~ 1 0 のアルキル、炭素数 2 ~ 1 0 のアルケニル、炭素数 1 ~ 9 のアルコキシ、炭素数 2 ~ 9 のアルコシアルキル、または炭素数 2 ~ 9 のアルケニルオキシであり、
 Z^7 および Z^8 は、単結合、 $-(CH_2)_2-$ 、 $-CH=CH-$ 、 $-C=C-$ 、 $-CH_2O-$ 、 $-OCH_2-$ 、 $-COO-$ 、または $-OCO-$ である。

【 0 0 9 7 】

化合物 (a - 9) ~ (a - 1 4) は、 1 , 4 - シクロヘキシレン基を 2 つ持つため、熱や光に対する安定性を有し、液晶相の下限温度をより低く、ネマチック相の上限温度をより高く、適切な光学異方性および適切な弾性定数 K_{33} を有し、粘度を小さくできるという観点でより好ましい。

【 0 0 9 8 】



【 0 0 9 9 】

式 (a - 1 5) ~ (a - 2 6) において、 R^9 および R^{10} は独立して、炭素数 1 ~ 1 0 のアルキル、炭素数 2 ~ 1 0 のアルケニル、炭素数 1 ~ 9 のアルコキシ、炭素数 2 ~ 9 のアルコシアルキル、または炭素数 2 ~ 9 のアルケニルオキシであり、

Z⁹ および Z¹⁰ は、単結合、 $-(CH_2)_2-$ 、 $-CH=CH-$ 、 $-C=C-$ 、 $-CH_2O-$ 、 $-OCH_2-$ 、 $-COO-$ 、または $-OCO-$ である。

【0100】

化合物 (a-15) ~ (a-26) では、1,4-シクロヘキシレン基を化合物全体に対して非対称に持つため、熱や光に対する安定性を有し、液晶相の下限温度をより低く、適切な弾性定数 K_{33} を有し、粘度を小さくできるという観点でより好ましい。

【0101】

化合物 (a-3) ~ (a-26) は、大きな負の誘電率異方性を有し、熱や光に対する安定性を有し、広い温度範囲でネマチック相となり、適切な光学異方性および適切な弾性定数 K_{33} を有する。このうち、Z⁵ ~ Z¹⁰ が $-CH=CH-$ である化合物は、液晶相の下限温度をより低く、ネマチック相の上限温度をほとんど下げることなく、粘度をより小さくできるという観点で好ましい。また、Z⁵ ~ Z¹⁰ が $-COO-$ 、または $-OCO-$ である化合物は化合物のネマチック相の上限温度を高くすることができるためより好ましい。また、Z⁵ ~ Z¹⁰ が $-(CH_2)_2-$ である化合物は、液晶相の下限温度をより低く、相溶性をより高く、粘度をより小さくできるという観点でさらに好ましい。さらに、Z⁵ ~ Z¹⁰ が $-CH_2O-$ または $-OCH_2-$ である化合物は負の誘電率異方性を負により大きく、粘度をより小さくできるという観点で最も好ましい。

【0102】

液晶性化合物がこれら化合物 (a-3) ~ (a-26) である場合には、負に大きな誘電率異方性を有し、他の液晶性化合物との相溶性が極めてよい。さらに、熱、光などに対する安定性を有し、粘度が小さく、大きな光学異方性、および適切な弾性定数 K_{33} を有している。また、この化合物 (a) を含有する液晶組成物は、液晶表示素子が通常使用される条件下で安定であり、低い温度で保管してもこの化合物が結晶 (またはスメクチック相) として析出することがない。

【0103】

したがって、化合物 (a) は、PC、TN、STN、ECB、OCB、IPS、VA、PSA などの表示モードの液晶表示素子に用いる液晶組成物に好適に適用することができる。IPS、VA、PSA などの表示モードの液晶表示素子に用いる液晶組成物に、特に好適に適用することができる。

【0104】

〔化合物 (a) の合成〕

液晶性化合物 (a) は、有機合成化学の合成手法を適切に組み合わせることにより合成することができる。出発物に目的の末端基、環、および結合基を導入する方法は、例えば、オーガニックシンセシス (Organic Syntheses, John Wiley & Sons, Inc)、オーガニック・リアクションズ (Organic Reactions, John Wiley & Sons, Inc)、コンプリヘンシブ・オーガニック・シンセシス (Comprehensive Organic Synthesis, Pergamon Press)、新実験化学講座 (丸善) などの成書に記載されている。

【0105】

< 結合基 Z¹ または Z² の形成 >

結合基 Z¹ または Z² (Z³ ~ Z¹⁰ も同様) を形成する方法の一例を示す。結合基を形成するスキームを以下示す。このスキームにおいて、MSG¹ または MSG² は 1 価の有機基である。スキームで用いた複数の MSG¹ (または MSG²) は、同一であってもよいし、または異なってもよい。化合物 (1A) から (1E) は化合物 (a) に相当する。

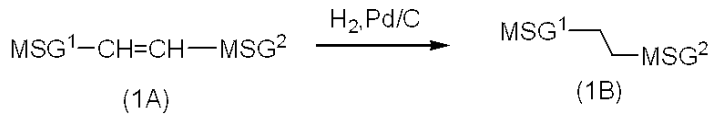
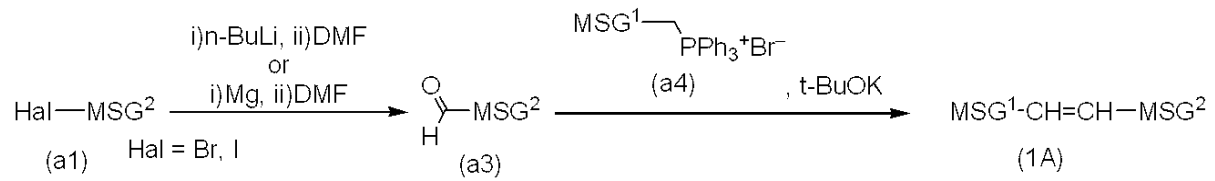
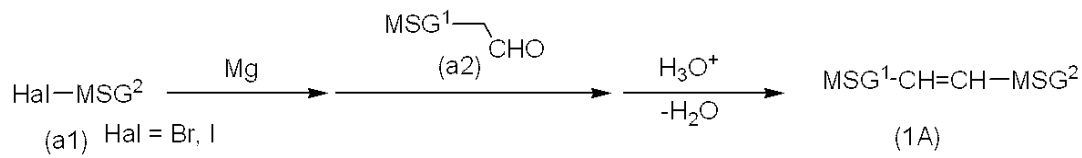
【0106】

10

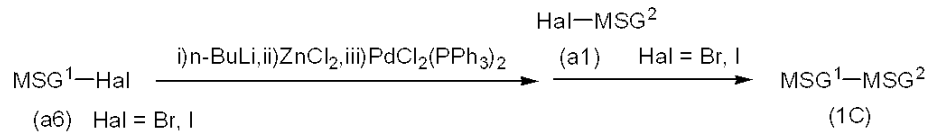
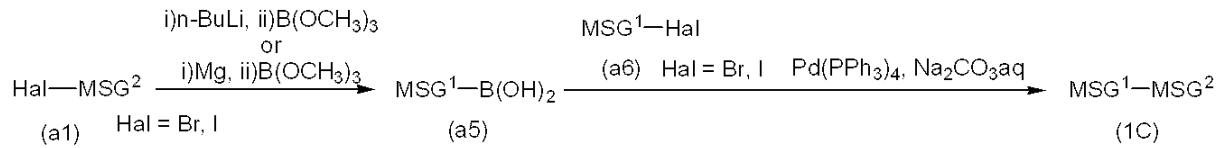
20

30

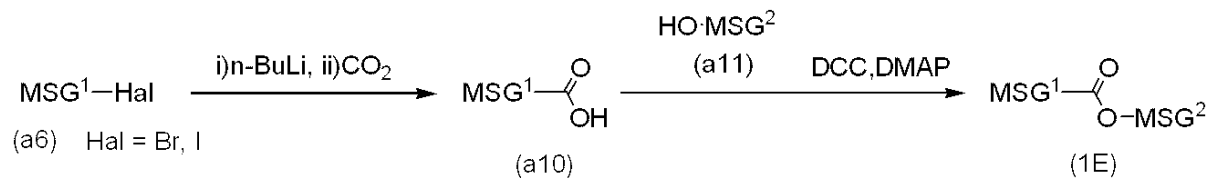
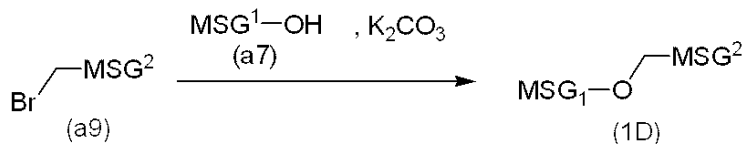
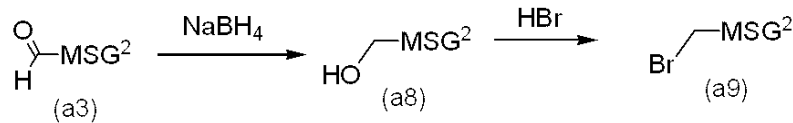
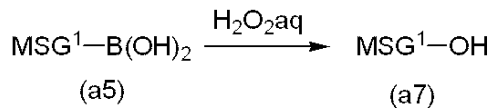
40



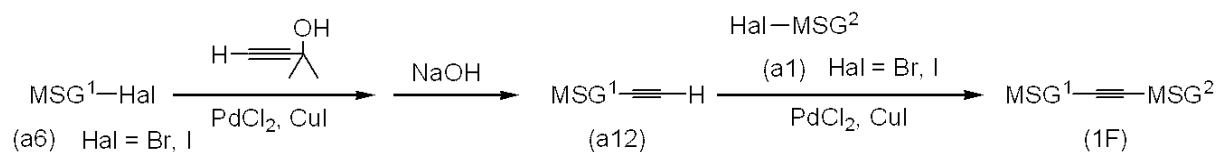
【 0 1 0 7 】



【 0 1 0 8 】



【 0 1 0 9 】



【 0 1 1 0 】

< 2重結合の生成 >

一価の有機基MSG²を有する有機ハロゲン化合物(a1)とマグネシウムとを反応させ、グリニャール試薬を調製する。これら調製したグリニャール試薬あるいはリチウム塩

10

20

30

40

50

と、アルデヒド誘導体 (a 2) とを反応させることにより、対応するアルコール誘導体を合成する。ついで、p - トルエンスルホン酸等の酸触媒を用いて、得られたアルコール誘導体の脱水反応を行うことにより、対応する化合物 (1 A) を合成することができる。

【 0 1 1 1 】

有機ハロゲン化合物 (a 1) を、ブチルリチウム、もしくはマグネシウムで処理して得られた化合物を、N , N - ジメチルホルムアミド (DMF) などのホルムアミドと反応させて、アルデヒド誘導体 (a 3) を得る。ついで、得られたアルデヒド (a 3) と、ホスホニウム塩 (a 4) をカリウム t - ブトキシド等の塩基で処理して得られるリンイリドとを反応させ、対応する 2 重結合を有する化合物 (1 A) を合成することができる。なお、この反応では、反応条件によってシス体が生成する場合もあるので、トランス体を得る必要がある場合には、必要に応じて公知の方法によりシス体をトランス体に異性化する。

10

【 0 1 1 2 】

< - (C H ₂) ₂ - の生成 >

化合物 (1 A) を炭素担持パラジウム (Pd / C) のような触媒の存在下で水素化することにより、化合物 (1 B) を合成することができる。

【 0 1 1 3 】

< 単結合の生成 >

有機ハロゲン化合物 (a 1) とマグネシウム、またはブチルリチウムとを反応させ、グリニャール試薬、またはリチウム塩を調製する。この調製したグリニャール試薬、またはリチウム塩とホウ酸トリメチルなどのホウ酸エステルを反応させ、塩酸などの酸で加水分解することによりジヒドロキシボラン誘導体 (a 5) を合成する。そのジヒドロキシボラン誘導体 (a 5) と有機ハロゲン化合物 (a 6) とを、例えば、炭酸塩水溶液とテトラキス (トリフェニルホスフィン) パラジウム (Pd (P P h ₃) ₄) とからなる触媒の存在下で反応させることにより、化合物 (1 C) を合成することができる。

20

【 0 1 1 4 】

また、一価の有機基 M S G ¹ を有する有機ハロゲン化合物 (a 6) にブチルリチウムを反応させ、さらに塩化亜鉛を反応させた後、得られた化合物を、例えば、ビストリフェニルホスフィンジクロロパラジウム (Pd (P P h ₃) ₂ C l ₂) 触媒の存在下で化合物 (a 1) と反応させることにより、化合物 (1 C) を合成することもできる。

30

【 0 1 1 5 】

< - C H ₂ O - または - O C H ₂ - の生成 >

ジヒドロキシボラン誘導体 (a 5) を過酸化水素等の酸化剤により酸化し、アルコール誘導体 (a 7) を得る。別途、アルデヒド誘導体 (a 3) を水素化ホウ素ナトリウムなどの還元剤で還元してアルコール誘導体 (a 8) を得る。得られたアルコール誘導体 (a 8) を臭化水素酸等でハロゲン化して有機ハロゲン化合物 (a 9) を得る。このようにして得られたアルコール誘導体 (a 7) と有機ハロゲン化合物 (a 9) とを炭酸カリウムなどの存在下で反応させることにより化合物 (1 D) を合成することができる。

【 0 1 1 6 】

< - C O O - と - O C O - の生成 >

化合物 (a 6) に n - ブチルリチウムを、続いて二酸化炭素を反応させてカルボン酸誘導体 (a 1 0) を得る。カルボン酸誘導体 (a 1 0) と、フェノール誘導体 (a 1 1) とを D D C (1 , 3 - ジシクロヘキシルカルボジイミド) と D M A P (4 - ジメチルアミノピリジン) の存在下で脱水させて - C O O - を有する化合物 (1 E) を合成することができる。この方法によって - O C O - を有する化合物も合成することができる。

40

【 0 1 1 7 】

< - C C - の生成 >

ジクロロパラジウムとハロゲン化銅との触媒存在下で、化合物 (a 6) に 2 - メチル - 3 - ブチン - 2 - オールを反応させたのち、塩基性条件下で脱保護して化合物 (a 1 2) を得る。ジクロロパラジウムとハロゲン化銅との触媒存在下、化合物 (a 1 2) を化合物 (a 1) と反応させて、化合物 (1 F) を合成する。

50

【 0 1 1 8 】

< 環 A¹ または環 A² の形成 >

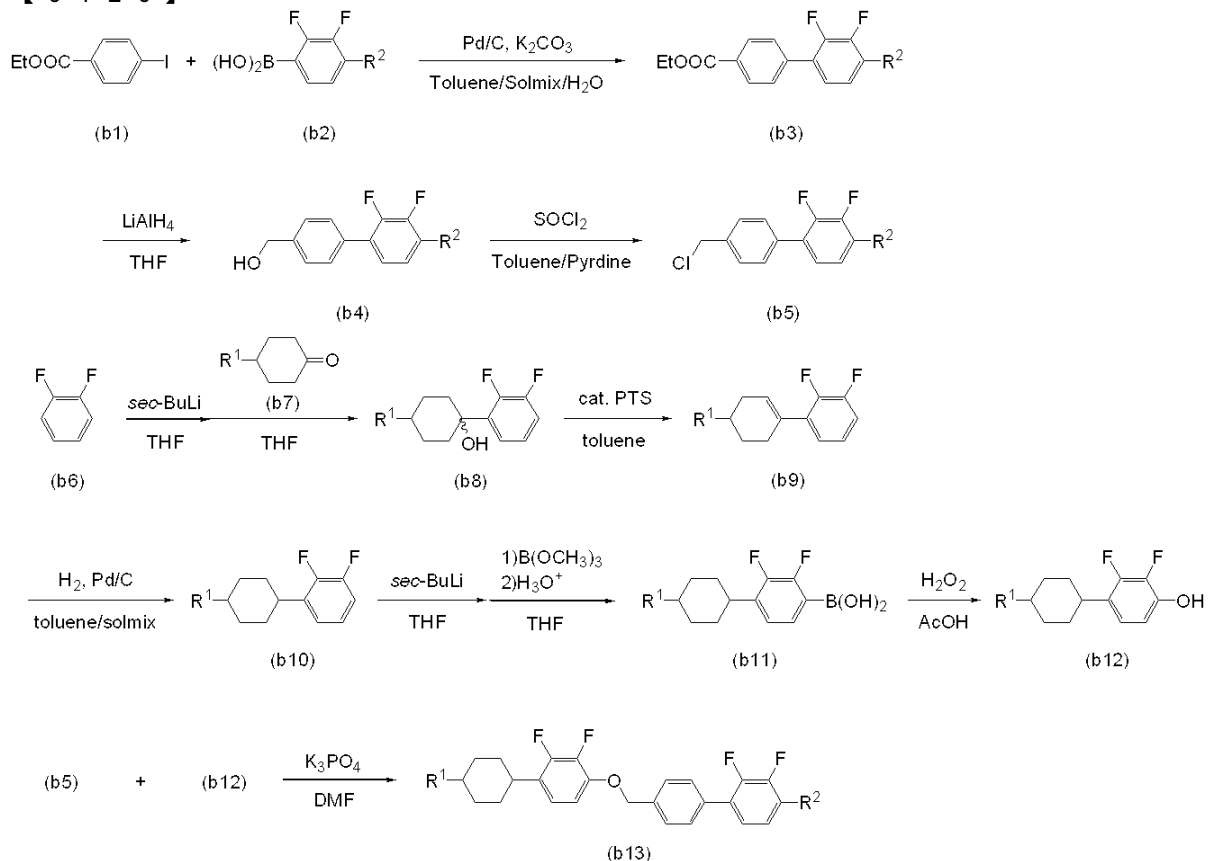
1, 4 - フェニレン、トランス - 1, 4 - シクロヘキシレン、1, 4 - シクロヘキセニレン、テトラヒドロピラン - 2, 5 - ジイル、テトラヒドロピラン - 3, 6 - ジイル、1, 3 - ジオキサソ - 2, 5 - ジイル、1, 3 - ジオキサソ - 3, 6 - ジイル、ピリミジン - 2, 5 - ジイル、ピリミジン - 3, 6 - ジイル、ピリジン - 2, 5 - ジイル、ピリジン - 3, 6 - ジイルなどの環に関しては出発物が市販されているか、または合成法がよく知られている。

【 0 1 1 9 】

[化合物 (a) の合成方法]

以下、液晶性化合物 (a)、すなわち一般式 (a) で示される液晶性化合物の合成例を示す。

【 0 1 2 0 】



【 0 1 2 1 】

まず、4 - ヨード安息香酸エチル (b 1) とジヒドロキシボラン誘導体 (b 2) とを炭酸カリウム、Pd / C 等の触媒の存在下、反応させることにより化合物 (b 3) を得る。次いで、化合物 (b 3) を水素化リチウムアルミニウム等で還元して化合物 (b 4) を得る。ついで塩化チオニル等で塩素化することにより (b 5) を得る。

別途、1, 2 - ジフルオロベンゼン (b 6) と sec - BuLi とを反応させリチウム塩を調製する。このリチウム塩とカルボニル誘導体 (b 7) とを反応させて、アルコール誘導体 (b 8) を得る。p - トルエンスルホン酸等の酸触媒の存在下、得られたアルコール誘導体 (b 8) の脱水反応を行い、シクロヘキセン誘導体 (b 9) を得る。この化合物 (b 9) を、Pd / C 等の触媒存在下、水素添加反応を行うことにより、化合物 (b 10) を得る。得られた化合物 (b 10) と s - ブチルリチウムとを反応させリチウム塩を調製する。このリチウム塩とトリメトキシボランとを反応させて、ジヒドロキシボラン誘導体 (b 11) を得る。得られた化合物 (b 11) と過酸化水素水とを反応させてフェノール誘導体 (b 12) を得る。

上述の操作で得られた化合物 (b 5) とフェノール誘導体 (b 12) とを炭酸カリウム等

10

20

30

40

50

の塩基の存在下、エーテル化反応させることにより、本発明の化合物 (a) の一例である (b 1 3) を合成することができる。

【 0 1 2 2 】

〔液晶組成物〕

以下、本発明の液晶組成物について説明をする。この液晶組成物の成分は、少なくとも一種の化合物 (a) を含むことを特徴とするが、化合物 (a) を 2 種以上含んでもよく、化合物 (a) のみから構成されていてもよい。また本発明の液晶組成物を調製するときには、例えば、化合物 (a) の誘電率異方性を考慮して成分を選択することもできる。成分を選択した液晶組成物は、粘度が低く、適切な負の誘電率異方性を有し、適切な弾性定数 K_{33} を有し、しきい値電圧が低く、さらに、ネマチック相の上限温度 (ネマチック相 - 等方相の相転移温度) が高く、ネマチック相の下限温度が低い。

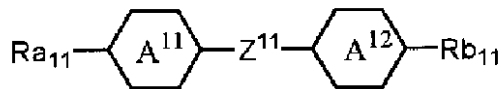
10

【 0 1 2 3 】

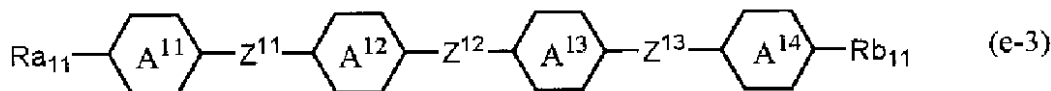
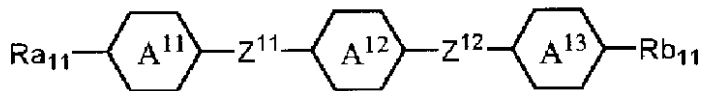
〔液晶組成物 (1) 〕

本発明の液晶組成物は化合物 (a) に加え、第二成分として式 (e - 1) ~ (e - 3) で表される液晶性化合物 (以下、それぞれ化合物 (e - 1) ~ (e - 3) ともいう。) の群から選択された少なくとも 1 つの化合物をさらに含有する組成物が好ましい (以下、液晶組成物 (1) ともいう。) 。

【 0 1 2 4 】



20



30

【 0 1 2 5 】

式 (e - 1) ~ (e - 3) 中、 Ra_{11} 、および Rb_{11} は、独立して、炭素数 1 ~ 10 のアルキルであるが、アルキルにおいて、相隣接しない $-\text{CH}_2-$ は $-\text{O}-$ で置き換えられていてもよく、相隣接しない $-(\text{CH}_2)_2-$ は $-\text{CH}=\text{CH}-$ で置き換えられていてもよく、水素はフッ素で置き換えられていてもよい。

【 0 1 2 6 】

式 (e - 1) ~ (e - 3) 中、環 A^{11} 、環 A^{12} 、環 A^{13} 、および環 A^{14} は、独立して、1, 4 - フェニレン、トランス - 1, 4 - シクロヘキシレン、1, 4 - シクロヘキセニレン、テトラヒドロピラン - 2, 5 - ジイル、テトラヒドロピラン - 3, 6 - ジイル、1, 3 - ジオキサン - 2, 5 - ジイル、1, 3 - ジオキサン - 3, 6 - ジイル、ピリミジン - 2, 5 - ジイル、ピリミジン - 3, 6 - ジイル、ピリジン - 2, 5 - ジイル、またはピリジン - 3, 6 - ジイルである。

40

【 0 1 2 7 】

式 (e - 1) ~ (e - 3) 中、 Z^{11} 、 Z^{12} 、および Z^{13} は、独立して、単結合、 $-\text{CH}_2-\text{CH}_2-$ 、 $-\text{CH}=\text{CH}-$ 、 $-\text{C}(\text{C})-\text{C}-$ 、 $-\text{COO}-$ 、または $\text{CH}_2\text{O}-$ である。

【 0 1 2 8 】

化合物 (a) に、第二成分を含有させることにより、その液晶組成物の粘度を小さくすることができ、ネマチック相の下限温度を低くすることができる。また、化合物 (e - 1) ~ (e - 3) の誘電率異方性はほぼ 0 であるため、それを含む液晶組成物の誘電率異方性を 0 に近づくように調整することができる。

50

【 0 1 2 9 】

化合物 (e - 1) または (e - 2) は、それを含有する液晶組成物の粘度を小さく、電圧保持率を高くすることに有効な化合物である。さらに、化合物 (e - 3) は、それを含有する液晶組成物のネマチック相の上限温度を高くし、電圧保持率を高くすることに有効な化合物である。

【 0 1 3 0 】

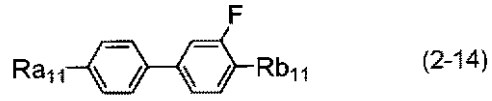
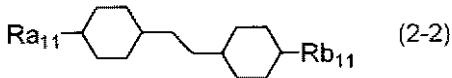
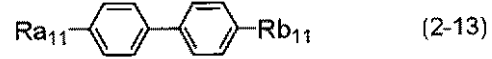
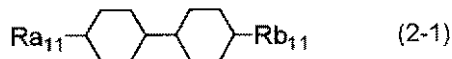
環 A¹¹、環 A¹²、環 A¹³、および環 A¹⁴において、2つ以上の環がトランス - 1, 4 - シクロヘキシレンの場合は、それを含有する液晶組成物のネマチック相の上限温度を高くすることができ、2つ以上の環が 1, 4 - フェニレンの場合は、それを含有する組成物の光学異方性を大きくすることができる。

10

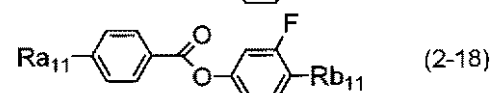
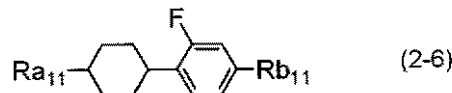
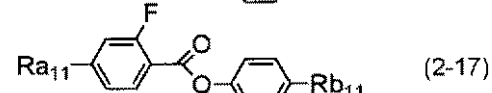
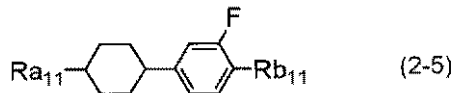
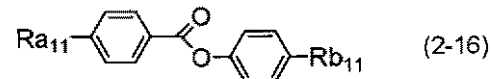
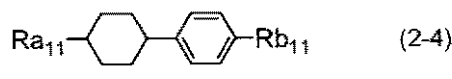
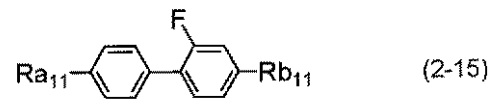
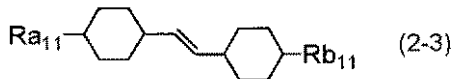
【 0 1 3 1 】

第二成分の中でもより好ましい化合物は、式 (2 - 1) ~ (2 - 7 4) で示される化合物である (以下、それぞれ化合物 (2 - 1) ~ (2 - 7 4) ともいう。)。これらの化合物において R a₁₁、および R b₁₁ は、化合物 (e - 1) ~ (e - 3) の場合と同一の意味である。

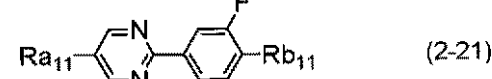
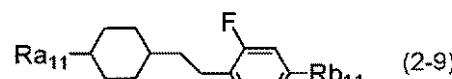
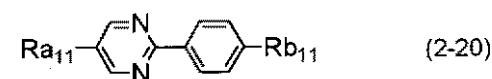
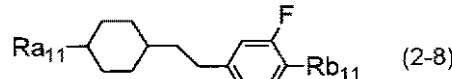
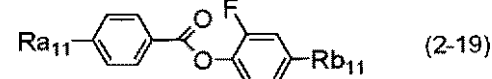
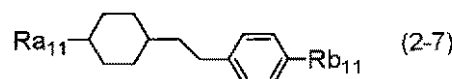
【 0 1 3 2 】



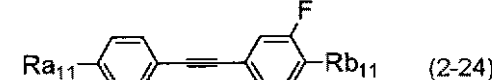
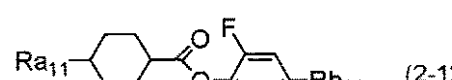
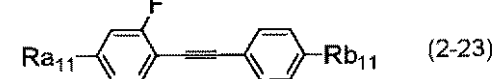
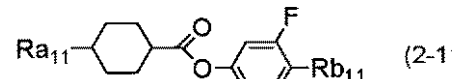
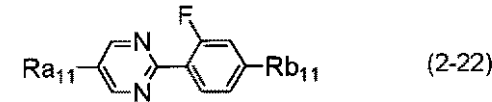
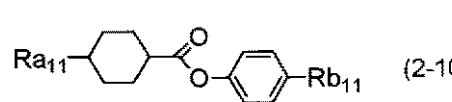
20



30

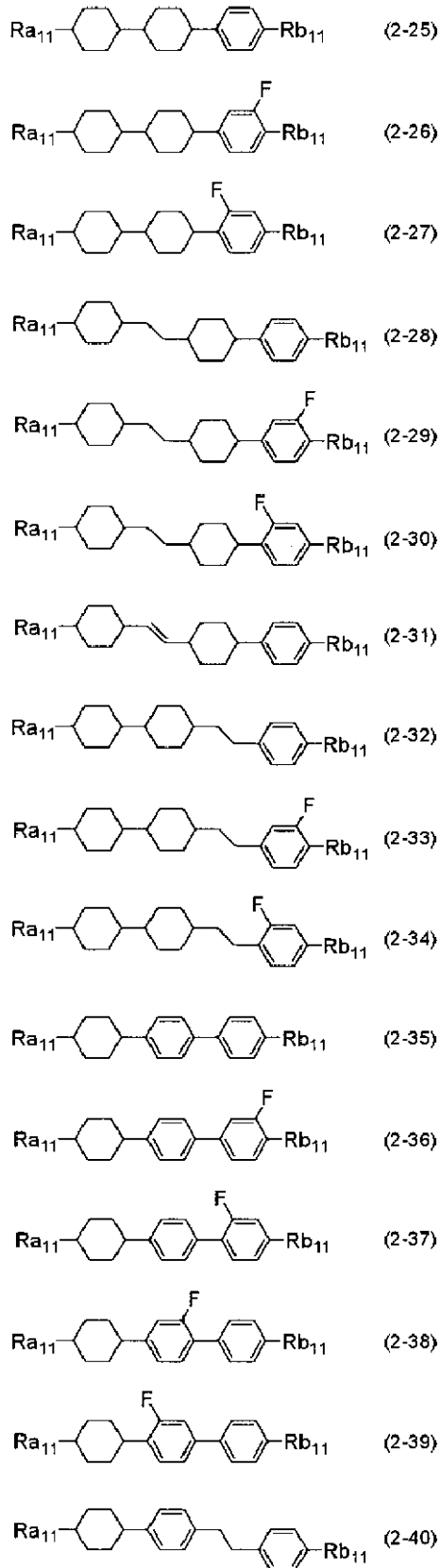


40

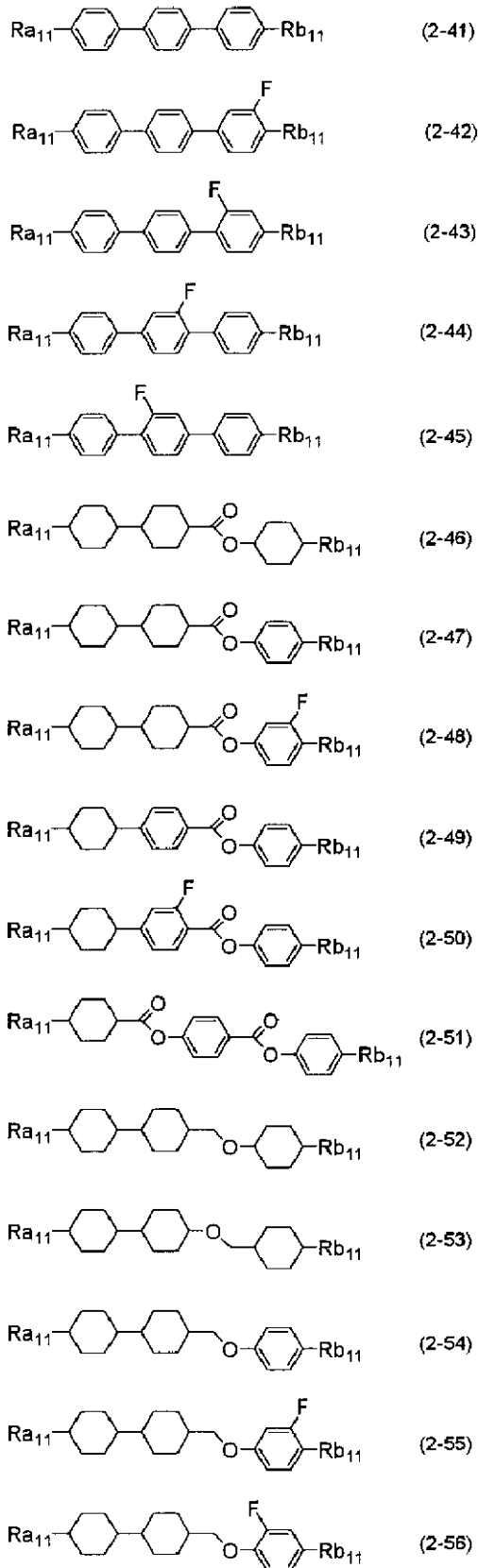


【 0 1 3 3 】

50



【 0 1 3 4 】

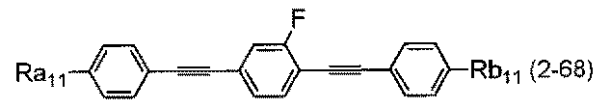
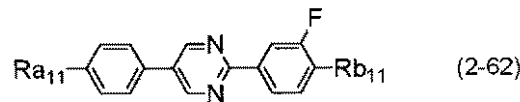
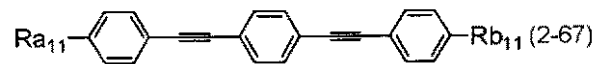
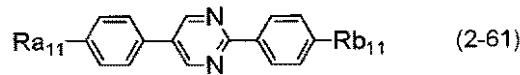
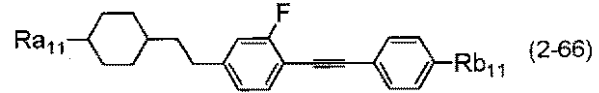
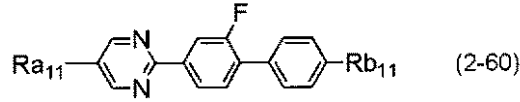
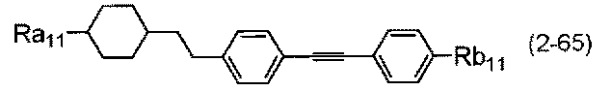
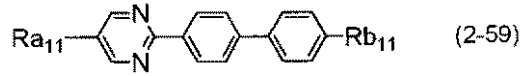
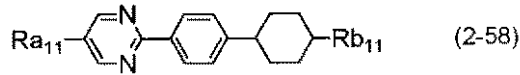
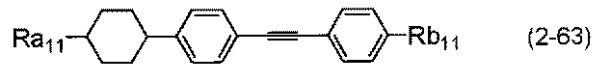
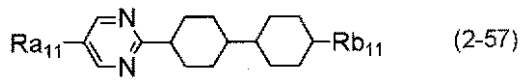


10

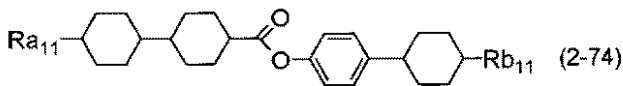
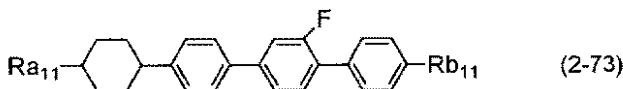
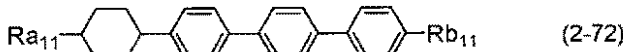
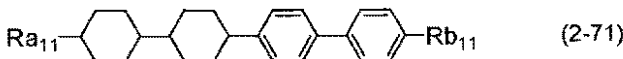
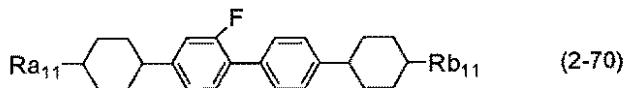
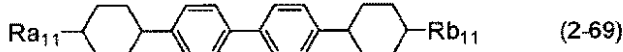
20

30

40



【 0 1 3 5 】



【 0 1 3 6 】

第二成分が化合物(2-1)~(2-74)である場合には、耐熱性、および耐光性に優れ、より高い比抵抗値を有し、ネマチック相の広い液晶組成物を調製することができる。

【 0 1 3 7 】

特に、第一成分が、式(a-2)~(a-11)で表される化合物である化合物群から選択される少なくとも1つの化合物であり、第二成分が化合物(e-1)~(e-3)で表される化合物群から選択される少なくとも1つの化合物である液晶組成物(1)は、耐熱性、および耐光性により優れ、より幅広いネマチック相を有し、より電圧保持率が大きく、より粘度が小さく、そして、適切な弾性定数 K_{33} を示す。

【 0 1 3 8 】

本発明の液晶組成物(1)中の第二成分の含有量は特に制限はないが、粘度を低くする観点からは含有量を多くすることが好ましい。ただし第二成分の含有量を多くすると液晶

10

20

30

40

50

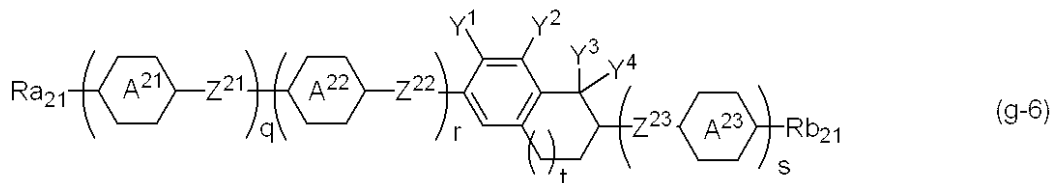
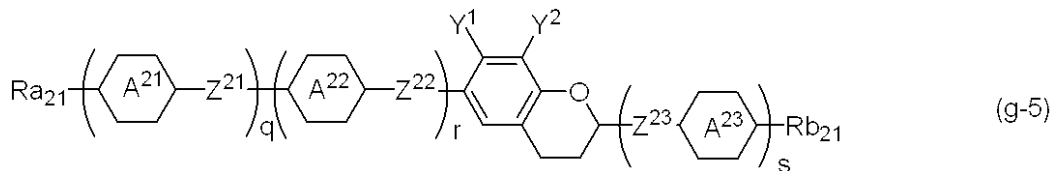
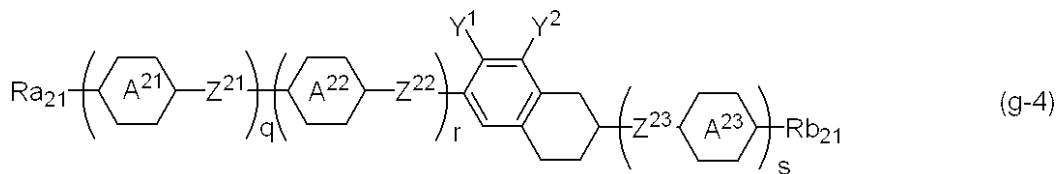
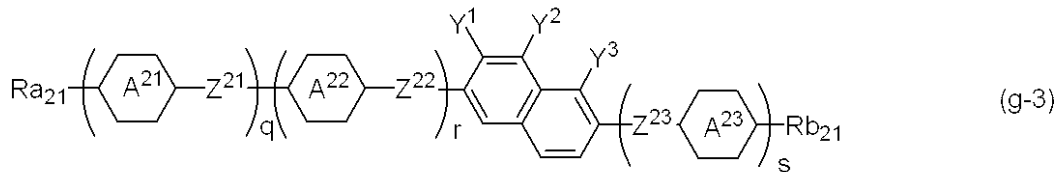
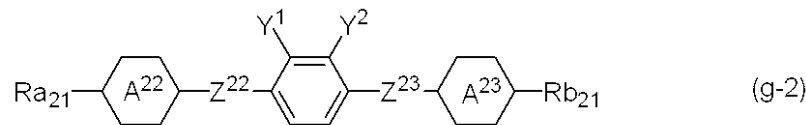
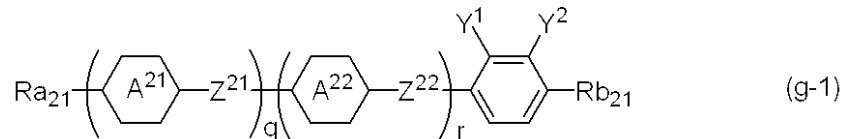
組成物のしきい値電圧が高くなる傾向にあるので、例えば、本発明の液晶組成物をVAモードの液晶素子に使用する場合には、第二成分の含有量は、液晶組成物(1)中に含まれる液晶性化合物の全重量に対して、40~95重量%の範囲であり、第一成分の含有量は、液晶組成物(1)中に含まれる液晶性化合物の全重量に対して、5~60重量%の範囲がより好ましい。

【0139】

〔液晶組成物(2)〕

本発明の液晶組成物としては、第一成分および第二成分に加えてさらに、第三成分として式(g-1)~(g-6)で表される液晶性化合物(以下、それぞれ化合物(g-1)~(g-6)ともいう。)の群から選択される少なくとも1つの化合物を含有させた液晶組成物も好ましい(以下、液晶組成物(2)ともいう。)

【0140】



【0141】

式(g-1)~(g-6)中、 Ra_{21} 、および Rb_{21} は、独立して、水素、または炭素数1~10のアルキルであるが、アルキルにおいて、相隣接しない $-\text{CH}_2-$ は $-\text{O}-$ で置き換えられていてもよく、相隣接しない $-(\text{CH}_2)_2-$ は $-\text{CH}=\text{CH}-$ で置き換えられていてもよく、水素はフッ素で置き換えられていてもよい。

【0142】

式(g-1)~(g-6)中、環 A^{21} 、 A^{22} 、および A^{23} は、独立して、トランス-1,4-シクロヘキシレン、1,4-フェニレン、2-フルオロ-1,4-フェニレン、3

10

20

30

40

50

-フルオロ-1,4-フェニレン、2,3-ジフルオロ-1,4-フェニレン、ピリミジン-2,5-ジイル、ピリミジン-3,6-ジイル、1,3-ジオキサン-2,5-ジイル、1,3-ジオキサン-3,6-ジイル、テトラヒドロピラン-2,5-ジイル、テトラヒドロピラン-3,6-ジイルである。

【0143】

式(g-1)~(g-6)中、Z²¹、Z²²、およびZ²³は、独立して、単結合、-CH₂-CH₂-、-CH=CH-、-C=C-、-OCF₂-、-CF₂O-、-OCF₂CH₂CH₂-、-CH₂CH₂CF₂O-、-COO-、-OCO-、-OCH₂-、または-CH₂O-であり、Y¹、Y²、Y³、およびY⁴は独立して、フッ素または塩素である。

【0144】

式(g-1)~(g-6)中、q、r、およびsは独立して、0、1、または2であるが、q+rは1または2であり、q+r+sは1、2、または3であり、tは0、1、または2である。

qが2である時の2つ環A²¹は同じであっても、異なってもよく、2つのZ²¹は同じであっても、異なってもよい。

rが2である時の2つ環A²²は同じであっても、異なってもよく、2つのZ²²は同じであっても、異なってもよい。

sが2である時の2つ環A²³は同じであっても、異なってもよく、2つのZ²³は同じであっても、異なってもよい。

第三成分をさらに含有する液晶組成物(2)は誘電率異方性が負に大きい。

【0145】

また、第三成分を含有させると、液晶組成物のネマチック相の温度範囲が広く、粘度が小さく、誘電率異方性が負に大きく、比抵抗値が大きな液晶組成物が得られ、さらにこれら物性が適切にバランスした液晶組成物が得られる。

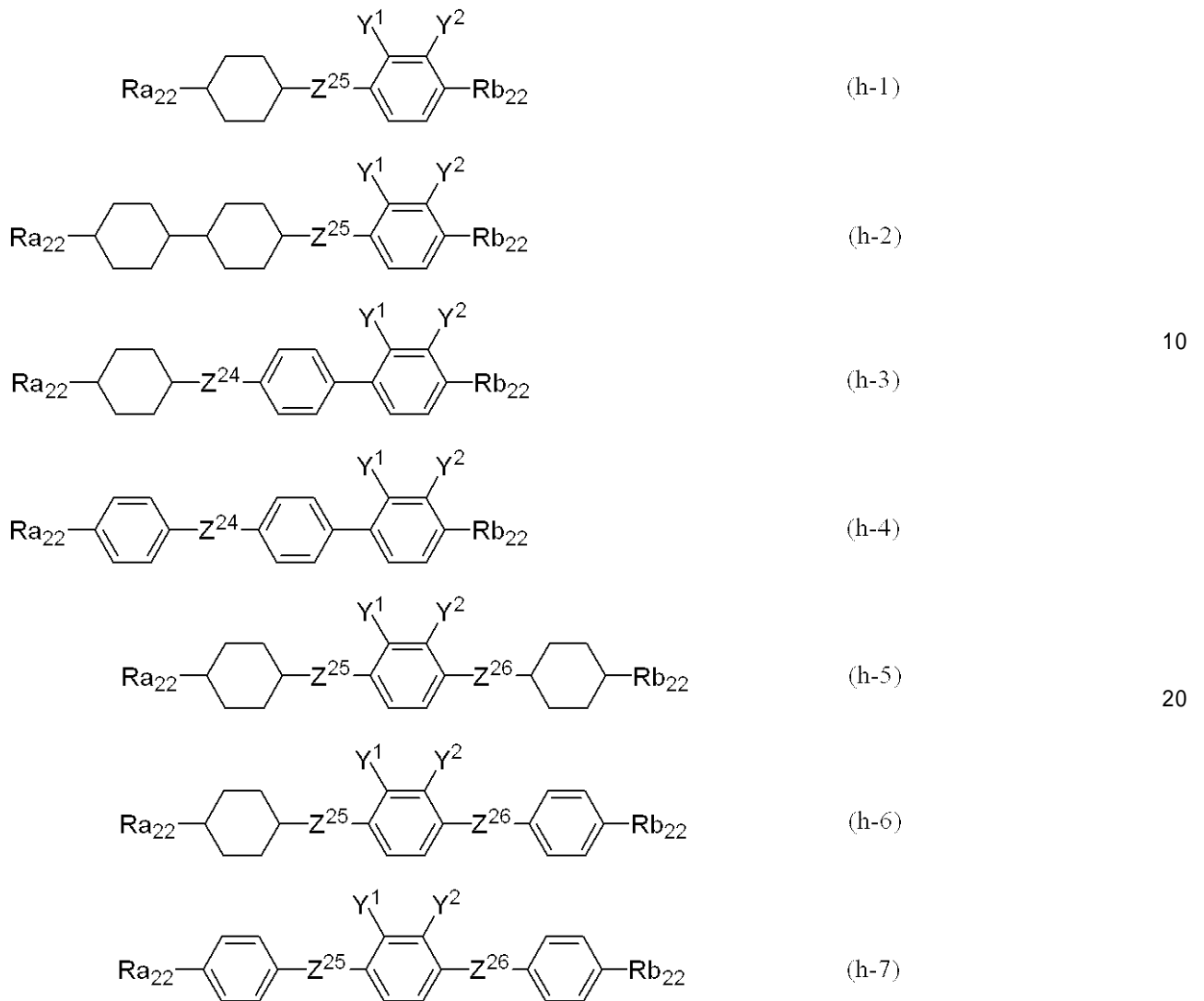
【0146】

そして、第三成分の中でも、低粘性、耐熱性、および耐光性という観点からは、式(h-1)~(h-7)で表される化合物(以下、それぞれ化合物(h-1)~(h-7)ともいう。)の群から選択される少なくとも1つの化合物がより好ましい。

【0147】

10

20



【 0 1 4 8 】

式 (h - 1) ~ (h - 7) において、 R a ₂₂ および R b ₂₂ は、独立して、炭素数 1 ~ 8 の直鎖アルキル、炭素数 2 ~ 8 の直鎖アルケニル、または炭素数 1 ~ 7 のアルコキシであり、 Z ²⁴、Z ²⁵、および Z ²⁶ は、単結合、- C H ₂ C H ₂ -、- C H ₂ O -、- O C H ₂ -、- C O O -、または - O C O - であり、 Y ¹、および Y ² は、共にフッ素、または一方がフッ素で他方が塩素である。

30

【 0 1 4 9 】

例えば、化合物 (h - 1) および (h - 2) は、それを含有する液晶組成物の粘度を小さくし、しきい値電圧値をより低くすることができ、ネマチック相の下限温度を低くすることができる。化合物 (h - 2)、(h - 3) および (h - 4) は、それを含有する液晶組成物のネマチック相の上限温度を下げることなく、しきい値電圧値を低くすることができる。

40

【 0 1 5 0 】

化合物 (h - 3) および (h - 6) は、光学異方性を大きくすることができ、化合物 (h - 4) および (h - 7) は、光学異方性をより大きくすることができる。

【 0 1 5 1 】

化合物 (h - 5)、(h - 6) および (h - 7) は、それを含有する液晶組成物のネマチック相の下限温度を低くすることができる。

【 0 1 5 2 】

特に、液晶組成物 (2) の中でも、式 (a - 1) ~ (a - 2 6) である化合物群から選択される少なくとも 1 つの化合物である第一成分と、式 (e - 1) ~ (e - 3) からなる化合物群から選択される少なくとも 1 つの化合物である第二成分と、式 (h - 1) ~ (h

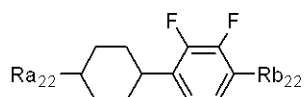
50

- 7) で表される化合物群から選択される少なくとも1つの化合物である第三成分を含有する液晶組成物は、耐熱性および耐光性に優れ、ネマチック相の温度範囲が広く、粘度が小さく、電圧保持率が高く、適切な光学異方性、適切な誘電率異方性、適切な弾性定数 K_{33} を示す。さらにこれら物性が適切にバランスした液晶組成物という点で好ましい。

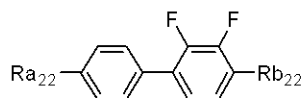
【0153】

第三成分、すなわち化合物 (g - 1) ~ (g - 6) の群の中でもより好ましい化合物は、化合物 (3 - 1) ~ (3 - 118) である。これらの化合物において $R_{a_{22}}$ 、および $R_{b_{22}}$ は独立して、炭素数 1 ~ 8 の直鎖アルキル、炭素数 2 ~ 8 の直鎖アルケニル、または炭素数 1 ~ 7 のアルコキシである。

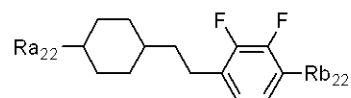
【0154】



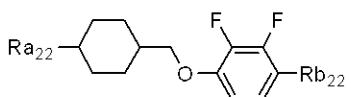
(3-1)



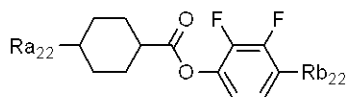
(3-2)



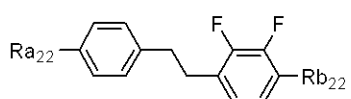
(3-3)



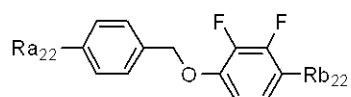
(3-4)



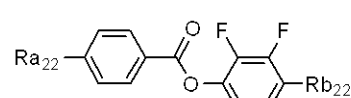
(3-5)



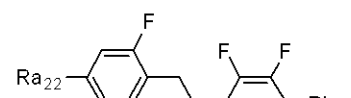
(3-6)



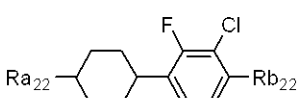
(3-7)



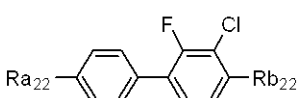
(3-8)



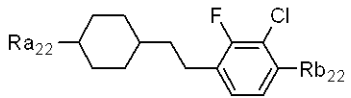
(3-9)



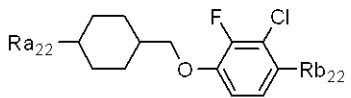
(3-10)



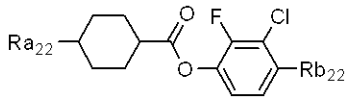
(3-11)



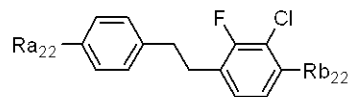
(3-12)



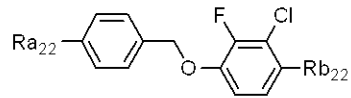
(3-13)



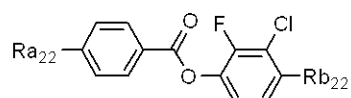
(3-14)



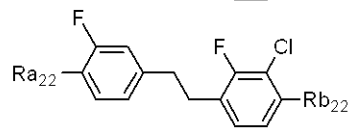
(3-15)



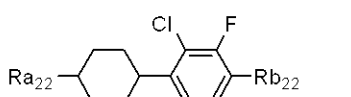
(3-16)



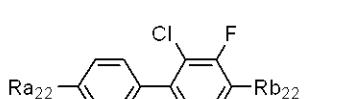
(3-17)



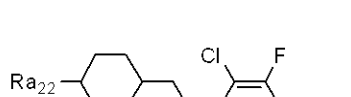
(3-18)



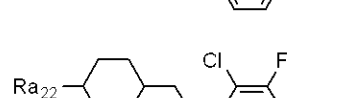
(3-19)



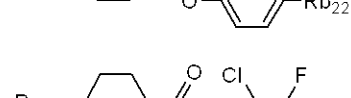
(3-20)



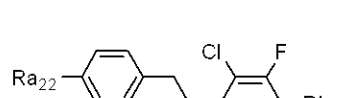
(3-21)



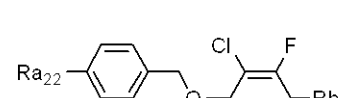
(3-22)



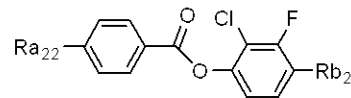
(3-23)



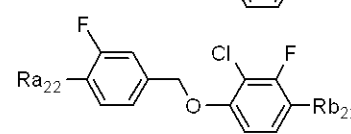
(3-24)



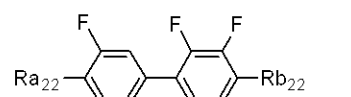
(3-25)



(3-26)



(3-27)



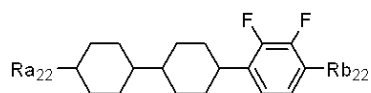
(3-28)

10

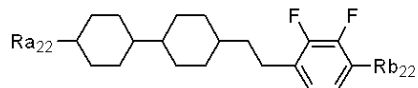
20

30

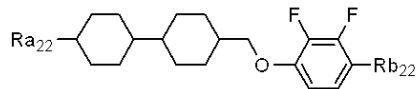
40



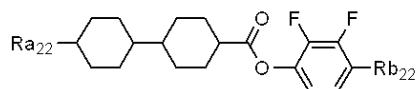
(3-29)



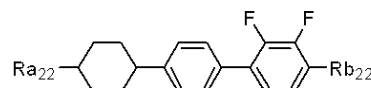
(3-30)



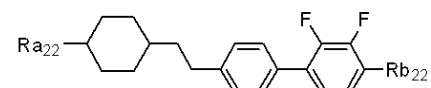
(3-31)



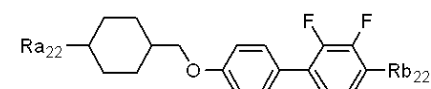
(3-32)



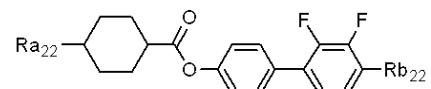
(3-33)



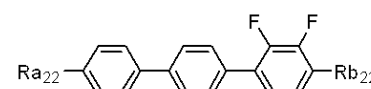
(3-34)



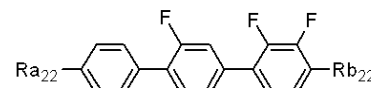
(3-35)



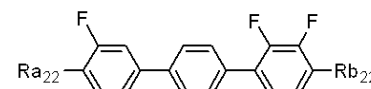
(3-36)



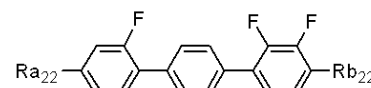
(3-37)



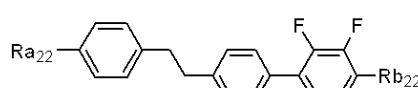
(3-38)



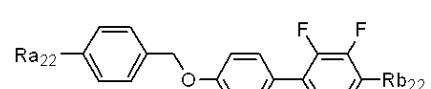
(3-39)



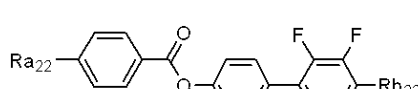
(3-40)



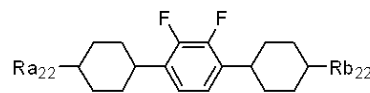
(3-41)



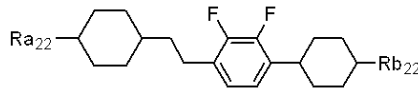
(3-42)



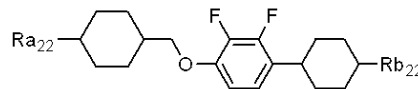
(3-43)



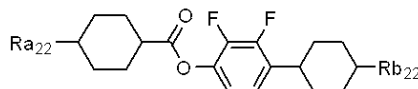
(3-44)



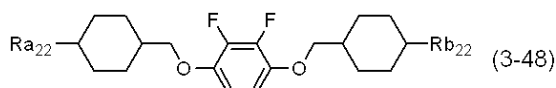
(3-45)



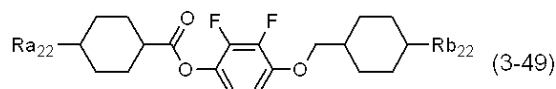
(3-46)



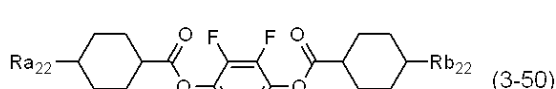
(3-47)



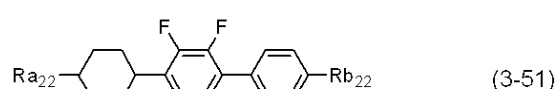
(3-48)



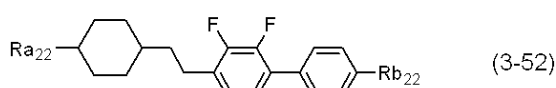
(3-49)



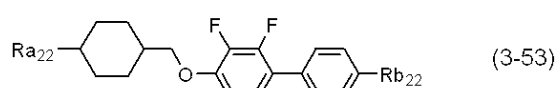
(3-50)



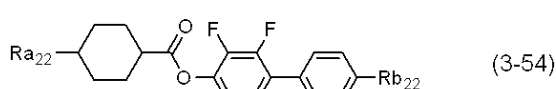
(3-51)



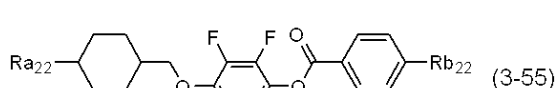
(3-52)



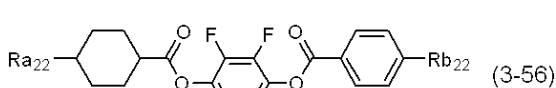
(3-53)



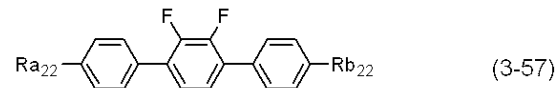
(3-54)



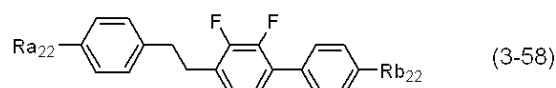
(3-55)



(3-56)



(3-57)



(3-58)

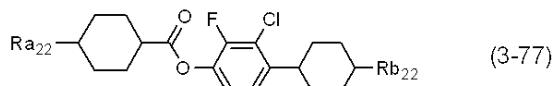
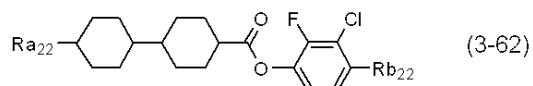
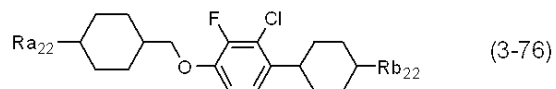
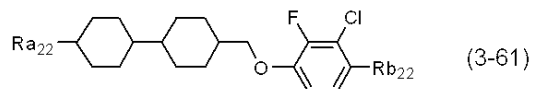
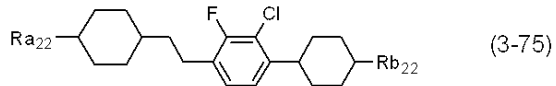
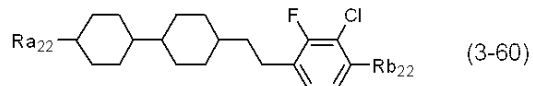
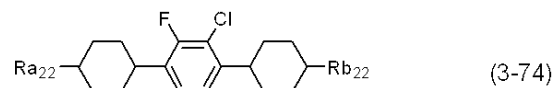
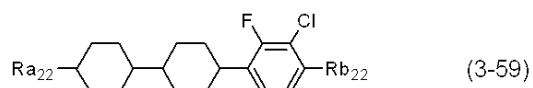
10

20

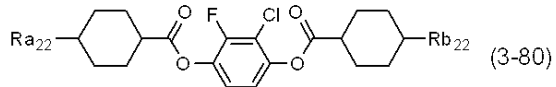
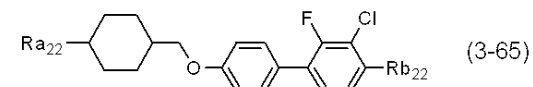
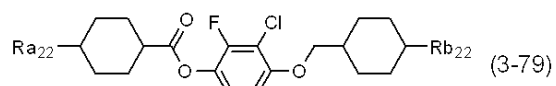
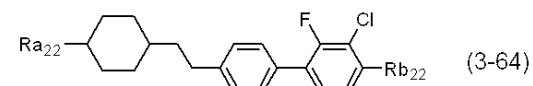
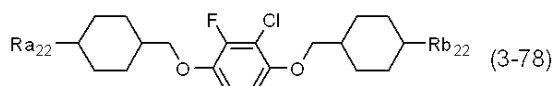
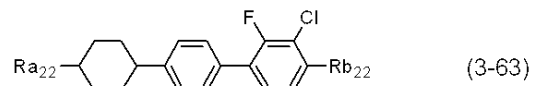
30

40

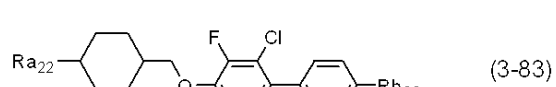
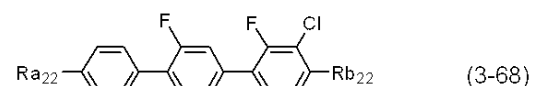
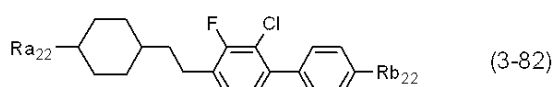
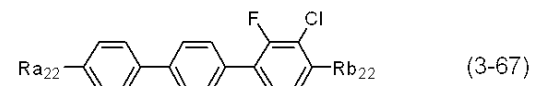
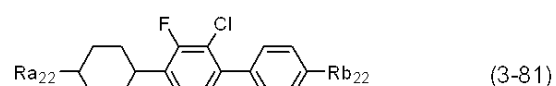
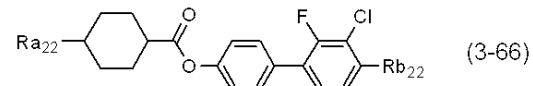
【 0 1 5 6 】



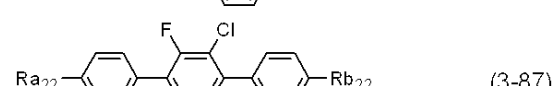
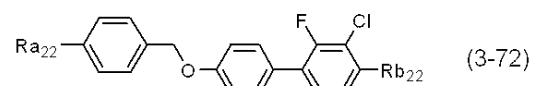
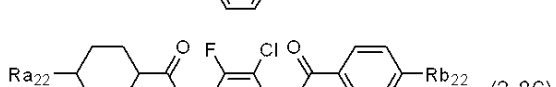
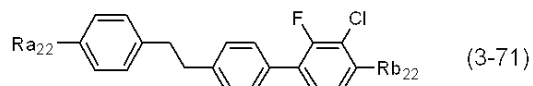
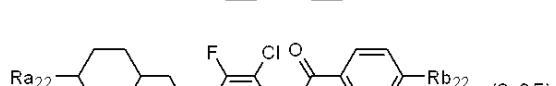
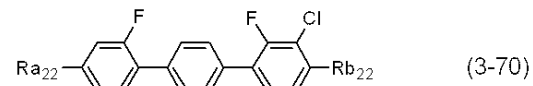
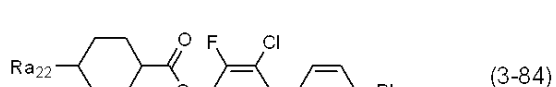
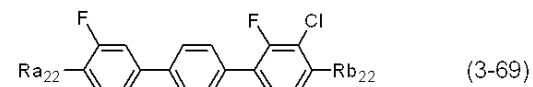
10



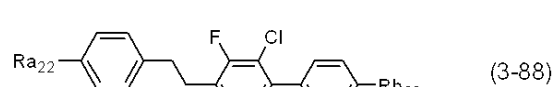
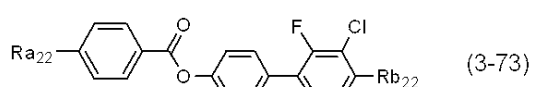
20

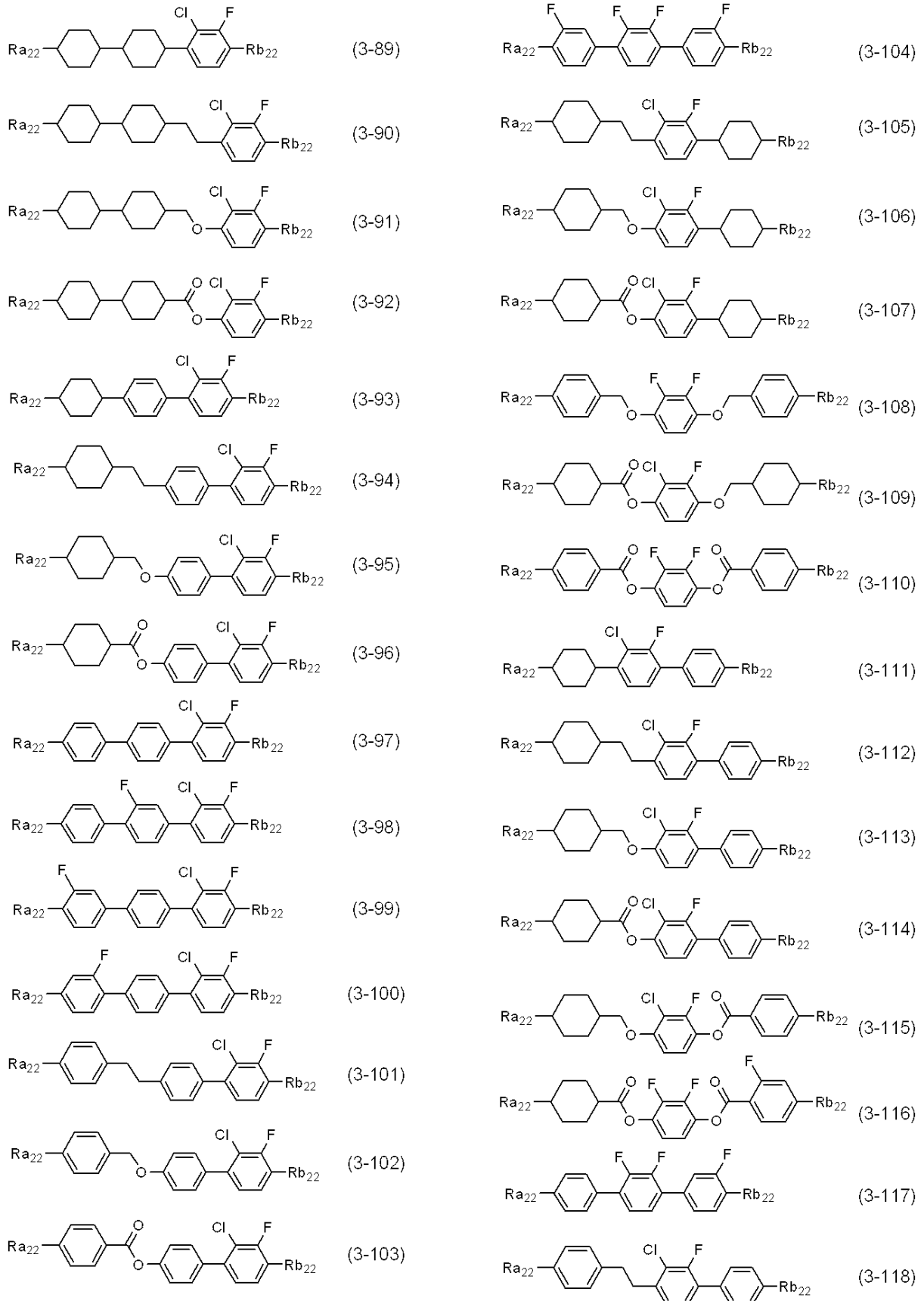


30



40





【 0 1 5 8 】

例えば、化合物 (g - 3) ~ (g - 6) のような縮合環を有する化合物は、しきい値電圧値を低くすることができ、耐熱性、または耐光性といった観点から、化合物 (3 - 119) ~ (3 - 144) が好ましい。これらの化合物において R_{a22} 、および R_{b22} は、化合物 (g - 3) ~ (g - 6) の場合と同一の意味である。

10

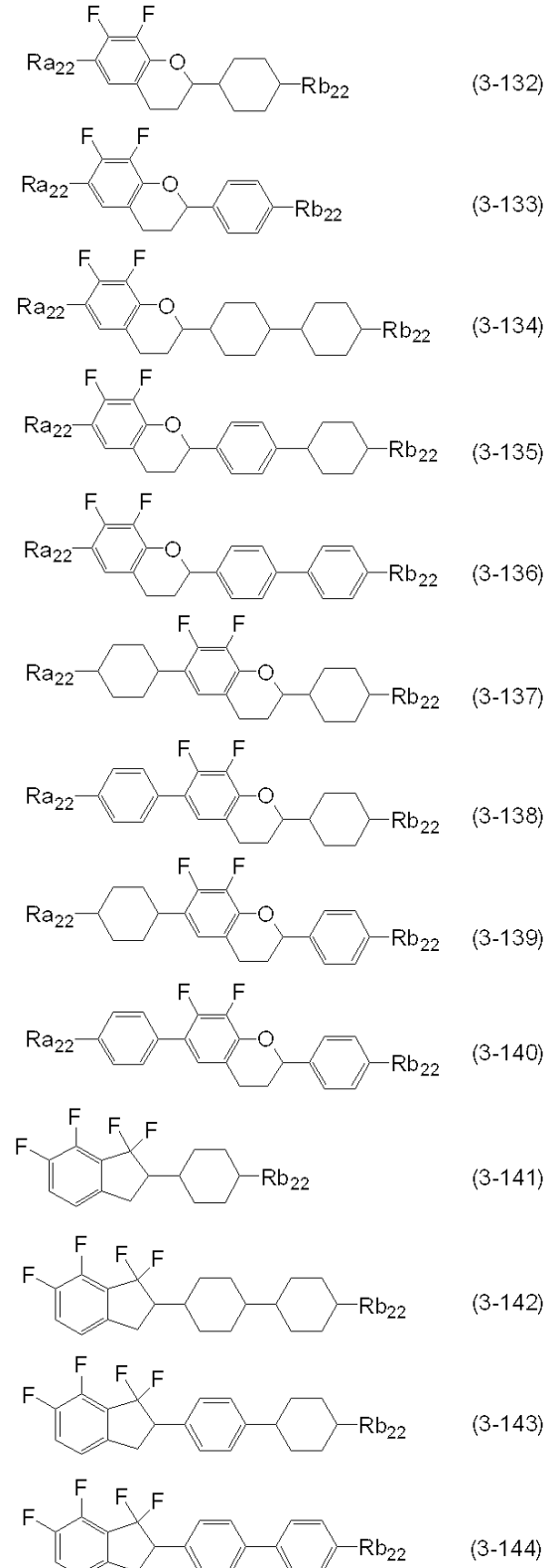
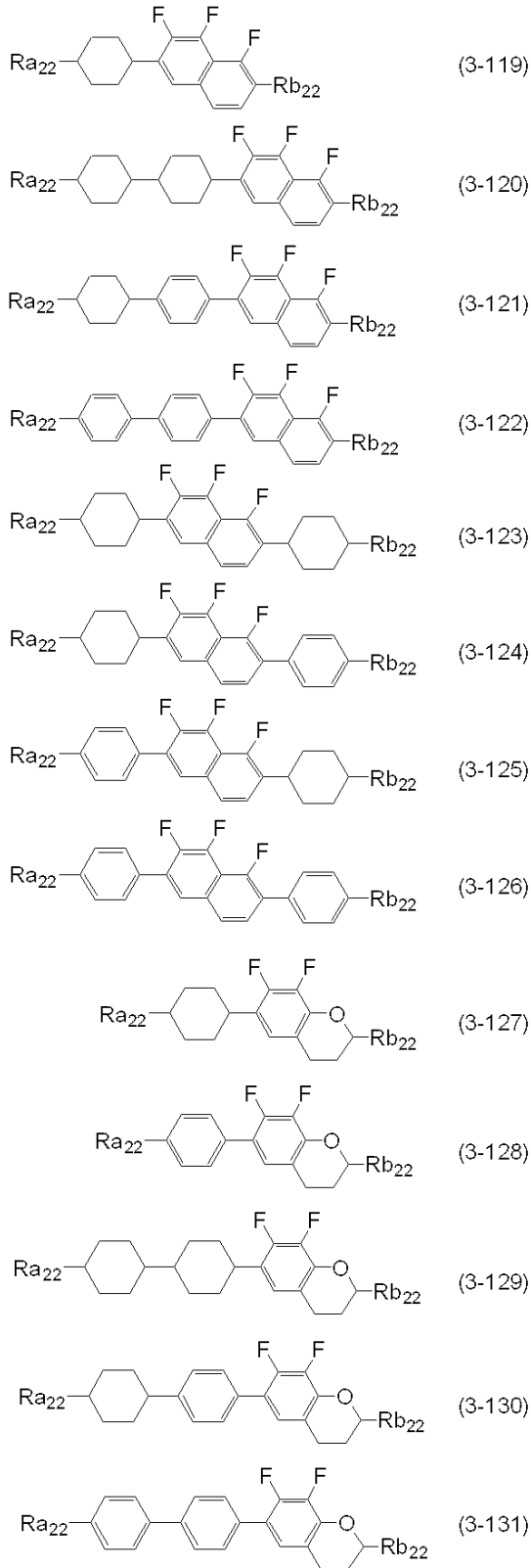
20

30

40

50

【 0 1 5 9 】



10

20

30

40

【 0 1 6 0 】

本発明の液晶組成物における第三成分の含有量に特に制限はないが、負の誘電率異方性の絶対値を小さくしないといった観点からは、含有量を多くすることが好ましい。

本発明に係る液晶組成物(2)の第一成分、第二成分、および第三成分の含有割合は特に制限はされないが、液晶組成物(2)の全重量に基づいて、液晶性化合物(a)の含有割合が5~60重量%の範囲、第二成分の含有割合が20~75重量%の範囲、第三成分の含有割合が20~75重量%の範囲であることが好ましい。

50

【0161】

液晶組成物(2)の第一成分、第二成分、および第三成分の含有割合がこの範囲にある場合には、耐熱性、耐光性に優れ、ネマチック相の温度範囲が広く、粘度が小さく、電圧保持率が高く、適切な光学異方性、適切な誘電率異方性、適切な弾性定数 K_{33} を示す。さらにこれら物性がより適切にバランスした液晶組成物が得られる。

【0162】

〔液晶組成物の態様等〕

本発明に係る液晶組成物では、第一成分、第二成分、および必要に応じて添加する第三成分を構成する液晶性化合物に加えて、例えば液晶組成物の特性をさらに調整する目的で、さらに他の液晶性化合物を添加して使用する場合がある。また、例えばコストの観点から、本発明の液晶組成物では、第一成分、第二成分、および必要に応じて添加する第三成分を構成する液晶性化合物以外の液晶性化合物は添加せずに使用する場合もある。

10

【0163】

また本発明に係る液晶組成物には、さらに、光学活性化合物、色素、消泡剤、紫外線吸収剤、酸化防止剤、重合可能な化合物、重合開始剤等の添加物を添加してもよい。

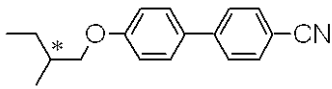
光学活性化合物を本発明に係る液晶組成物に添加した場合には、液晶にらせん構造を誘起して、ねじれ角を与えることなどができる。

【0164】

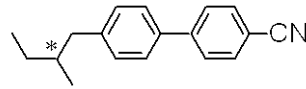
光学活性化合物として、公知のキラルド - プ剤を添加する。このキラルド - プ剤は液晶のらせん構造を誘起して必要なねじれ角を調整し、逆ねじれを防ぐといった効果を有する。キラルド - プ剤の例として、光学活性化合物(Op - 1) ~ (Op - 13)を挙げる事ができる。

20

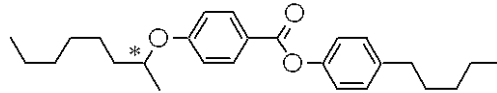
【0165】



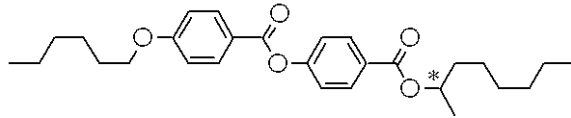
(Op-1)



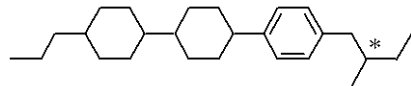
(Op-2)



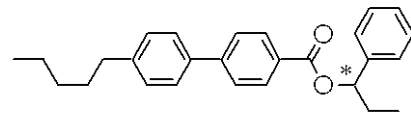
(Op-3)



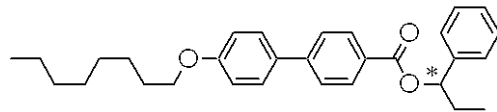
(Op-4)



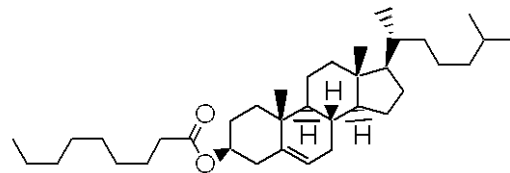
(Op-5)



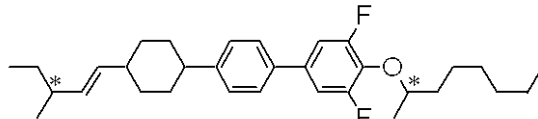
(Op-6)



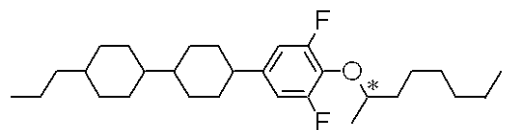
(Op-7)



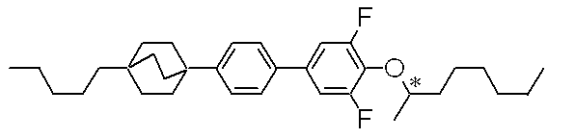
(Op-8)



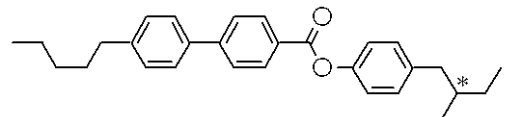
(Op-9)



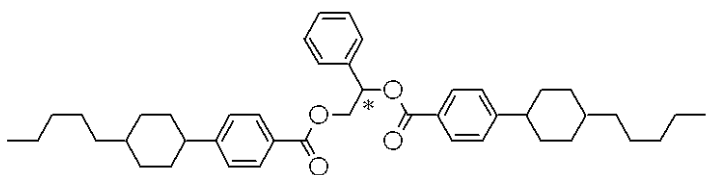
(Op-10)



(Op-11)



(Op-12)



(Op-13)

【 0 1 6 6 】

色素を本発明に係る液晶組成物に添加した場合には、液晶組成物を G H (guest host) モードを有する液晶表示素子に適用することなどが可能となる。

10

20

30

40

50

消泡剤を本発明に係る液晶組成物に添加した場合には、液晶組成物の運搬中、あるいは該液晶組成物から液晶表示素子を合成工程中で、発泡を抑制することなどが可能となる。

【0167】

紫外線吸収剤、あるいは酸化防止剤を本発明に係る液晶組成物に添加した場合には、液晶組成物や該液晶組成物を含む液晶表示素子の劣化を防止することなどが可能となる。例えば酸化防止剤は、液晶組成物を加熱したときに比抵抗の低下を抑制することが可能である。

【0168】

紫外線吸収剤としては、ベンゾフェノン系紫外線吸収剤、ベンゾエート系紫外線吸収剤、トリアゾール系紫外線吸収剤などを挙げることができる。

ベンゾフェノン系紫外線吸収剤の具体例は、2-ヒドロキシ-4-n-オクトキシベンゾフェノンである。

【0169】

ベンゾエート系紫外線吸収剤の具体例は、2,4-ジ-t-ブチルフェニル-3,5-ジ-t-ブチル-4-ヒドロキシベンゾエートである。

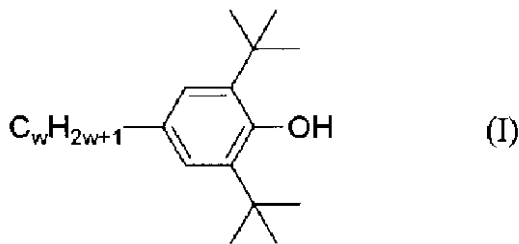
トリアゾール系紫外線吸収剤の具体例は、2-(2-ヒドロキシ-5-メチルフェニル)ベンゾトリアゾール、2-[2-ヒドロキシ-3-(3,4,5,6-テトラヒドロキシフタルイミド-メチル)-5-メチルフェニル]ベンゾトリアゾール、および2-(3-t-ブチル-2-ヒドロキシ-5-メチルフェニル)-5-クロロベンゾトリアゾールである。

【0170】

酸化防止剤としては、フェノール系酸化防止剤、有機硫黄系酸化防止剤などを挙げることができる。

特に、液晶組成物の物性を変化させずに酸化防止効果が高いという観点からは、式(I)で表される酸化防止剤が好ましい。

【0171】



式(I)中、wは1から15の整数を示す。

【0172】

フェノール系酸化防止剤の具体例は、2,6-ジ-t-ブチル-4-メチルフェノール、2,6-ジ-t-ブチル-4-エチルフェノール、2,6-ジ-t-ブチル-4-プロピルフェノール、2,6-ジ-t-ブチル-4-ブチルフェノール、2,6-ジ-t-ブチル-4-ペンチルフェノール、2,6-ジ-t-ブチル-4-ヘキシルフェノール、2,6-ジ-t-ブチル-4-ヘプチルフェノール、2,6-ジ-t-ブチル-4-オクチルフェノール、2,6-ジ-t-ブチル-4-ノニルフェノール、2,6-ジ-t-ブチル-4-デシルフェノール、2,6-ジ-t-ブチル-4-ウンデシルフェノール、2,6-ジ-t-ブチル-4-ドデシルフェノール、2,6-ジ-t-ブチル-4-トリデシルフェノール、2,6-ジ-t-ブチル-4-テトラデシルフェノール、2,6-ジ-t-ブチル-4-ペンタデシルフェノール、2,2'-メチレンビス(6-t-ブチル-4-メチルフェノール)、4,4'-ブチリデンビス(6-t-ブチル-3-メチルフェノール)、2,6-ジ-t-ブチル-4-(2-オクタデシルオキシカルボニル)エチルフェノール、およびペンタエリスリトールテトラキス[3-(3,5-ジ-t-ブチル-4

- ヒドロキシフェニル) プロピオネート] である。

【0173】

有機硫黄系酸化防止剤の具体例は、ジラウリル-3,3'-チオプロピオネート、ジミリスチル-3,3'-チオプロピオネート、ジステアリル-3,3'-チオプロピオネート、ペンタエリスリトールテトラキス(3-ラウリルチオプロピオネート)、および2-メルカプトベンズイミダゾールである。

【0174】

紫外線吸収剤、酸化防止剤などに代表される添加物の添加量は、本発明の目的を損なわず、かつ添加物を添加する目的を達成できる量の範囲で添加して用いることができる。

【0175】

例えば、紫外線吸収剤、あるいは酸化防止剤を添加する場合には、その添加割合は、本発明に係る液晶組成物の全重量に基づいて、通常10ppm~500ppmの範囲、好ましくは30~300ppmの範囲、より好ましくは40~200ppmの範囲である。

【0176】

なお、本発明に係る液晶組成物は、液晶組成物を構成する各化合物の合成工程、液晶組成物の調製工程等において混入する合成原料、副生成物、反応溶媒、合成触媒等の不純物を含んでいる場合もある。

【0177】

P S A (polymer sustained alignment) モードの素子に適合させるために重合可能な化合物が組成物に混合される。重合可能な化合物の好ましい例は、アクリレート、メタクリレート、ビニル化合物、ビニルオキシ化合物、プロペニルエーテル、エポキシ化合物(オキシラン、オキセタン)などの重合可能な基を有する化合物である。特に好ましい例は、アクリレート、またはメタクリレートの誘導体である。重合可能な化合物の好ましい割合は、その効果を得るために、0.05重量%以上であり、不良表示を防ぐために10重量%以下である。さらに好ましい割合は、0.1重量%から2重量%の範囲である。重合可能な化合物は、好ましくは光重合開始剤などの適切な開始剤存在下でUV照射などにより重合する。重合のための適切な条件、開始剤の適切なタイプ、および適切な量は、当業者には既知であり、文献に記載されている。例えば光開始剤であるIrgacure 651(登録商標)、Irgacure 184(登録商標)、またはDarocure 1173(登録商標)(Ciba Geigy AG)がラジカル重合に対して適切である。重合可能な化合物は、好ましくは光重合開始剤を0.1重量%から5重量%の範囲で含む。特に好ましくは、光重合開始剤を1重量%から3重量%の範囲で含む

【0178】

〔液晶組成物の調製方法〕

本発明に係る液晶組成物は、例えば、各成分を構成する化合物が液体の場合には、それぞれの化合物を混合し振とうさせることにより、また固体を含む場合には、それぞれの化合物を混合し、加熱溶解によってお互い液体にしてから振とうさせることにより調製することができる。また、本発明に係る液晶組成物はその他の公知の方法により調製することも可能である。

【0179】

〔液晶組成物の特性〕

本発明に係る液晶組成物では、ネマチック相の上限温度を70以上とすること、ネマチック相の下限温度は-20以下とすることができ、ネマチック相の温度範囲が広い。したがって、この液晶組成物を含む液晶表示素子は広い温度領域で使用することが可能である。

【0180】

本発明に係る液晶組成物では、組成等を適宜調整することで、光学異方性を0.10~0.13の範囲、0.05~0.18の範囲とすることもできる。

また、本発明に係る液晶組成物では、通常、-5.0~-2.0の範囲の誘電率異方性、好ましくは、-4.5~-2.5の範囲の誘電率異方性を有する液晶組成物を得ること

10

20

30

40

50

ができる。 - 4 . 5 ~ - 2 . 5 の範囲の誘電率異方性を有する液晶組成物は、IPSモード、VAモード、またはPSAモードで動作する液晶表示素子として好適に使用することができる。

【0181】

〔液晶表示素子〕

本発明に係る液晶組成物は、PCモード、TNモード、STNモード、OCBモード、PSAモード等の動作モードを有し、AM方式で駆動する液晶表示素子だけでなく、PCモード、TNモード、STNモード、OCBモード、VAモード、IPSモード等の動作モードを有しパッシブマトリクス(PM)方式で駆動する液晶表示素子にも使用することができる。

10

【0182】

これらAM方式、およびPM方式の液晶表示素子は、反射型、透過型、半透過型、いずれの液晶ディスプレイ等にも適用ができる。

また、本発明に係る液晶組成物は、導電剤を添加させた液晶組成物を用いたDS(dynamic scattering)モード素子や、液晶組成物をマイクロカプセル化して作製したNCA P(nematic curvilinear aligned phase)素子や、液晶組成物中に三次元の網目状高分子を形成させたPD(polymer dispersed)素子、例えばPN(polymer network)素子にも使用できる。

【0183】

中でも本発明に係る液晶組成物では、上述のような特性を有するので、VAモード、IPS、またはPSAモードなどの負の誘電率異方性を有する液晶組成物を利用した動作モードで駆動するAM方式の液晶表示素子に好適に用いることができ、特に、VAモードで駆動するAM方式の液晶表示素子に好適に用いることができる。

20

【0184】

なお、TNモード、VAモード等で駆動する液晶表示素子においては、電場の方向は、液晶層に対して垂直である。一方、IPSモード等で駆動する液晶表示素子においては、電場の方向は、液晶層に対して平行である。なお、VAモードで駆動する液晶表示素子の構造は、K. Ohmuro, S. Kataoka, T. Sasaki and Y. Koike, SID '97 Digest of Technical Papers, 28, 845 (1997)に報告されており、IPSモードで駆動する液晶表示素子の構造は、国際公開91/10936号パンフレット(ファミリー:US5576867)に報告されている。

30

〔実施例〕

【0185】

〔化合物(a)の実施例〕

以下、実施例により本発明をさらに詳しく説明するが、本発明はこれら実施例によっては制限されない。なお特に断りのない限り、「%」は「重量%」を意味する。

【0186】

得られた化合物は、¹H-NMR分析で得られる核磁気共鳴スペクトル、ガスクロマトグラフィー(GC)分析で得られるガスクロマトグラムなどにより同定したので、まず分析方法について説明をする。

40

【0187】

¹H-NMR分析

測定装置は、DRX-500(ブルカーバイオスピン(株)社製)を用いた。測定は、実施例等で合成したサンプルを、CDCl₃等のサンプルが可溶性な重水素化溶媒に溶解し、室温で、500MHz、積算回数32回の条件で行った。なお、得られた核磁気共鳴スペクトルの説明において、sはシングレット、dはダブルット、tはトリプレット、qはカルテット、quinはクインテット、sexはセクステット、mはマルチプレット、brはブロードであることを意味する。また、化学シフト 値のゼロ点の基準物質としてはテトラメチルシラン(TMS)を用いた。

【0188】

50

GC分析

測定装置は、島津製作所製のGC-14B型ガスクロマトグラフを用いた。カラムは、島津製作所製のキャピラリーカラムCBP1-M25-025（長さ25m、内径0.22mm、膜厚0.25 μ m）；固定液相はジメチルポリシロキサン；無極性）を用いた。キャリアーガスとしてはヘリウムを用い、流量は1ml/分に調整した。試料気化室の温度を280、検出器（FID）部分の温度を300に設定した。

【0189】

試料はトルエンに溶解して、1重量%の溶液となるように調製し、得られた溶液1 μ lを試料気化室に注入した。

記録計としては島津製作所製のC-R6A型Chromatopac、またはその同等品を用いた。得られたガスクロマトグラムには、成分化合物に対応するピークの保持時間およびピークの面積値が示されている。

【0190】

なお、試料の希釈溶媒としては、例えば、クロロホルム、ヘキサンを用いてもよい。また、カラムとしては、Agilent Technologies Inc.製のキャピラリーカラムDB-1（長さ30m、内径0.32mm、膜厚0.25 μ m）、Agilent Technologies Inc.製のHP-1（長さ30m、内径0.32mm、膜厚0.25 μ m）、Restek Corporation製のRtx-1（長さ30m、内径0.32mm、膜厚0.25 μ m）、SGE International Pty.Ltd製のBP-1（長さ30m、内径0.32mm、膜厚0.25 μ m）などを用いてもよい。

【0191】

ガスクロマトグラムにおけるピーク的面積比は成分化合物の割合に相当する。一般には、分析サンプルの成分化合物の重量%は、分析サンプルの各ピーク的面積%と完全に同一ではないが、本発明において上述したカラムを用いる場合には、実質的に補正係数は1であるので、分析サンプル中の成分化合物の重量%は、分析サンプル中の各ピーク的面積%とほぼ対応している。成分の液晶性化合物における補正係数に大きな差異がないからである。ガスクロマトグラムにより液晶組成物中の液晶性化合物の組成比をより正確に求めるには、ガスクロマトグラムによる内部標準法を用いる。一定量正確に秤量された各液晶性化合物成分（被検成分）と基準となる液晶性化合物（基準物質）を同時にガスクロ測定して、得られた被検成分のピークと基準物質のピークとの面積比の相対強度をあらかじめ算出する。基準物質に対する各成分のピーク面積の相対強度を用いて補正すると、液晶組成物中の液晶性化合物の組成比をガスクロ分析からより正確に求めることができる。

【0192】

〔化合物等の物性の測定試料〕

化合物の物性を測定する試料としては、化合物そのものを試料とする場合、化合物を母液晶と混合して試料とする場合の2種類がある。

【0193】

化合物を母液晶と混合した試料を用いる後者の場合には、以下の方法で測定を行う。まず、得られた液晶性化合物15重量%と母液晶85重量%とを混合して試料を作製する。そして、得られた試料の測定値から、下記式に示す式に示す外挿法にしたがって、外挿値を計算する。この外挿値をこの化合物の物性値とする。

【0194】

外挿値 = (100 × 試料の測定値 - 母液晶の重量% × 母液晶の測定値) / 化合物の重量%

化合物と母液晶との割合がこの割合であっても、スメクチック相、または結晶が25で析出する場合には、化合物と母液晶との割合を10重量%：90重量%、5重量%：95重量%、1重量%：99重量%の順に変更をしていき、スメクチック相、または結晶が25で析出しなくなった組成で試料の物性を測定しこの式にしたがって外挿値を求めて、これを化合物の物性値とする。

【0195】

10

20

30

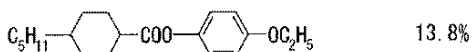
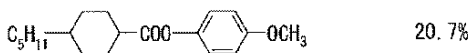
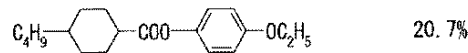
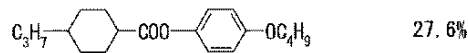
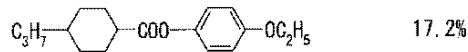
40

50

本測定に用いる母液晶としては様々な種類が存在するが、例えば、母液晶 i の組成は以下のとおりである。

母液晶 i :

【 0 1 9 6 】



10

【 0 1 9 7 】

なお、液晶組成物の物性を測定する試料としては、液晶組成物そのものを用いた。

20

〔化合物等の物性の測定方法〕

物性の測定は後述する測定方法で行った。これらの多くは、日本電子機械工業会規格 (Standard of Electric Industries Association of Japan) E I A J ・ E D - 2 5 2 1 A に記載された方法、またはこれを修飾した方法である。また、測定に用いた T N 素子または V A 素子には、T F T を取り付けなかった。

【 0 1 9 8 】

測定値のうち、化合物単体そのものを試料として得られた値と、液晶組成物そのものを試料として得られた値は、そのままの値を実験データとして記載した。化合物を母液晶に混合し試料として得られた場合には、外挿法で得られた値を物性値とした。

【 0 1 9 9 】

相構造および転移温度 ()

以下 (1)、および (2) の方法で測定を行った。

(1) 偏光顕微鏡を備えた融点測定装置のホットプレート (メトラー社 F P - 5 2 型ホットステージ) に化合物を置き、3 / 分の速度で加熱しながら相状態とその変化を偏光顕微鏡で観察し、相の種類を特定した。

(2) パーキンエルマー社製走査熱量計 D S C - 7 システム、または D i a m o n d D S C システムを用いて、3 / 分速度で昇降温し、試料の相変化に伴う吸熱ピーク、または発熱ピークの開始点を外挿により求め (o n s e t)、転移温度を決定した。

【 0 2 0 0 】

以下、結晶は C と表した。結晶の区別がつく場合は、それぞれ C₁ または C₂ と表した。また、スメクチック相は S、ネマチック相は N と表した。液体 (アイソトロピック) は I と表した。スメクチック相の中で、スメクチック B 相、またはスメクチック A 相の区別がつく場合は、それぞれ S_B、または S_A と表した。転移温度の表記として、例えば、「C 5 0 . 0 N 1 0 0 . 0 I」とは、結晶からネマチック相への転移温度 (C N) が 5 0 . 0 であり、ネマチック相から液体への転移温度 (N I) が 1 0 0 . 0 であることを示す。他の表記も同様である。

40

【 0 2 0 1 】

ネマチック相の上限温度 (T_{N I} ;)

偏光顕微鏡を備えた融点測定装置のホットプレート (メトラー社 F P - 5 2 型ホットステージ) に、試料 (液晶組成物、または化合物と母液晶との混合物) を置き、1 / 分の

50

速度で加熱しながら偏光顕微鏡を観察した。試料の一部がネマチック相から等方性液体に変化したときの温度をネマチック相の上限温度とした。以下、ネマチック相の上限温度を、単に「上限温度」と略すことがある。

【0202】

低温相溶性

母液晶と化合物とを、化合物が、20重量%、15重量%、10重量%、5重量%、3重量%、および1重量%の量となるように混合した試料を作製し、試料をガラス瓶に入れる。このガラス瓶を、-10 または -20 のフリーザー中に一定期間保管したあと、結晶もしくはスメクチック相が析出しているかどうかを観察をした。

【0203】

粘度(バルク粘度; ; 20 で測定; mPa・s)

E型回転粘度計を用いて測定した。

【0204】

粘度(回転粘度; 1; 25 で測定; mPa・s)

測定はM. Imai et al., Molecular Crystals and Liquid Crystals, Vol. 259, 37 (1995) に記載された方法に従った。2枚のガラス基板の間隔(セルギャップ)が20 μmのVA素子に試料(液晶組成物、または化合物と母液晶との混合物)を入れた。この素子に30ボルトから50ボルトの範囲で1ボルト毎に段階的に印加した。0.2秒の無印加のあと、ただ1つの矩形波(矩形パルス; 0.2秒)と無印加(2秒)の条件で印加を繰り返した。この印加によって発生した過渡電流(transient current)のピーク電流(peak current)とピーク時間(peak time)を測定した。これらの測定値とM. Imaiらの論文、40頁の計算式(8)とから回転粘度の値を得た。なお、この計算に必要な誘電率異方性は、下記誘電率異方性で測定した値を用いた。

【0205】

光学異方性(屈折率異方性; 25 で測定; n)

測定は、25 の温度下で、波長589 nmの光を用い、接眼鏡に偏光板を取り付けたアッペ屈折計により行なった。主プリズムの表面を一方方向にラビングしたあと、試料(液晶組成物、または化合物と母液晶との混合物)を主プリズムに滴下した。屈折率(n)は偏光の方向がラビングの方向と平行であるときに測定した。屈折率(n)は偏光の方向がラビングの方向と垂直であるときに測定した。光学異方性(n)の値は、 $n = n - n$ の式から計算した。

【0206】

誘電率異方性(; 25 で測定)

誘電率異方性は以下の方法によって測定した。

よく洗浄したガラス基板にオクタデシルトリエトキシシラン(0.16 mL)のエタノール(20 mL)溶液を塗布した。ガラス基板をスピナーで回転させたあと、150で1時間加熱した。2枚のガラス基板から、間隔(セルギャップ)が20 μmであるVA素子を組み立てた。

【0207】

同様の方法で、ガラス基板にポリイミドの配向膜を調製した。得られたガラス基板の配向膜にラビング処理をした後、2枚のガラス基板の間隔が9 μmであり、ツイスト角が80度であるTN素子を組み立てた。

【0208】

得られたVA素子に試料(液晶組成物、または化合物と母液晶との混合物)を入れ、0.5 V(1 kHz、サイン波)を印加して、液晶分子の長軸方向における誘電率()を測定した。

【0209】

また、得られたTN素子に試料(液晶組成物、または化合物と母液晶との混合物)を入れ、0.5 V(1 kHz、サイン波)を印加して、液晶分子の短軸方向における誘電率()を測定した。

10

20

30

40

50

誘電率異方性の値は、 $=$ - の式から計算した。

【0210】

電圧保持率 (VHR; 25 で測定; %)

測定に用いたTN素子はポリイミド配向膜を有し、そして2枚のガラス基板の間隔(セルギャップ)は6 μ mである。この素子は試料(液晶組成物、または化合物と母液晶との混合物)を入れたあと紫外線によって重合する接着剤で密閉した。このTN素子にパルス電圧(5Vで60マイクロ秒)を印加して充電した。減衰する電圧を、高速電圧計で16.7ミリ秒のあいだ測定し、単位周期における電圧曲線と横軸との間の面積Aを求めた。面積Bは減衰しなかったときの面積である。電圧保持率は面積Bに対する面積Aの百分率(%)で表現したものである。

10

【0211】

弾性定数 (K_{11} 、 K_{33} ; 25 で測定)

測定には株式会社東陽テクニカ製のEC-1型弾性定数測定器を用いた。2枚のガラス基板の間隔(セルギャップ)が20 μ mである垂直配向セルに試料を入れた。このセルに20ボルトから0ボルト電荷を印加し、静電容量および印加電圧を測定した。測定した静電容量(C)と印加電圧(V)の値を『液晶デバイスハンドブック』(日刊工業新聞社)、75頁にある式(2.98)、式(2.101)を用いてフィッティングし、式(2.100)から弾性定数の値を得た。

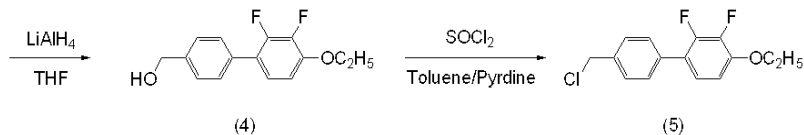
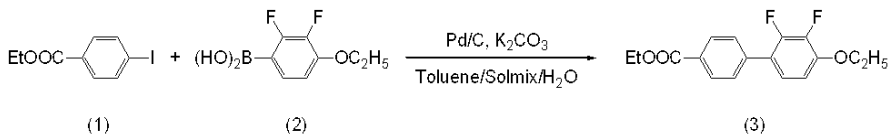
【実施例1】

【0212】

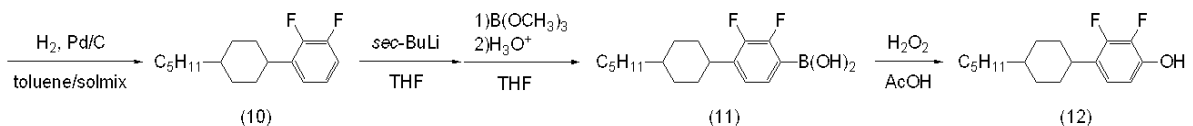
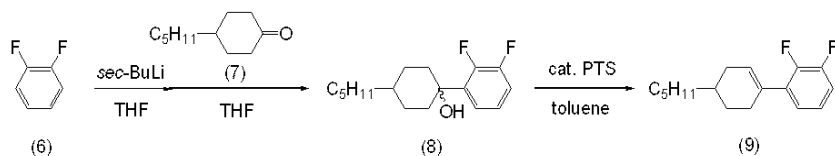
20

4-エトキシ-2,3-ジフルオロ-4'-[2,3-ジフルオロ-4-(4-ペンチルシクロヘキシル)フェノキシメチル]-1,1'-ビフェニル(No. 1123)の合成

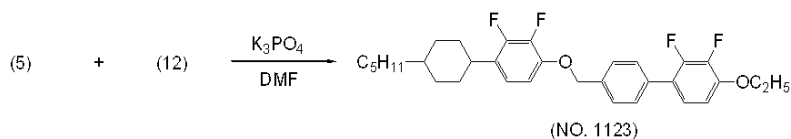
【0213】



30



40



【0214】

第1工程

窒素雰囲気下、反応器へ4-ヨード安息香酸エチル(1) 25.0g、4-エトキシ-2,3-ジフルオロフェニル硼酸(2) 20.1g、炭酸カリウム 25.0g、炭素担持パラジウム(5% Pd/CのNXタイプ(50%湿潤品)); エヌ・イー・ケム

50

キャット製) (以下、Pd/Cと表す。) 0.25 g、トルエン 100 ml、エタノール 100 ml および水 100 ml を加え、2時間加熱還流させた。反応液を25まで冷却後、水 500 ml およびトルエン 500 ml へ注ぎ込み、混合した。その後、静置して有機層と水層の2層に分離させて、有機層への抽出操作を行った。得られた有機層を分取して、水で洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。得られた溶液を減圧下、濃縮し、得られた残渣を、トルエンを展開溶媒とし、シリカゲルを充填剤として用いたカラムクロマトグラフィーによる分取操作で精製した。さらにエタノールからの再結晶により精製し、乾燥させ、4-エトキシ-2,3-ジフルオロ-4'-ビフェニル安息香酸エチル(3) 18.8 g を得た。化合物(1)からの収率は67.9%であった。

【0215】

10

第2工程

水素化リチウムアルミニウム 1.4 g を THF 100 ml に懸濁した。この懸濁液に化合物(3) 18.8 g を、-20 から -10 の温度範囲で滴下し、さらにこの温度範囲で2時間攪拌した。GC分析により反応終了を確認後、氷冷下、反応混合物に、順次、酢酸エチル、飽和アンモニア水溶液を加えていき、析出物をセライト濾過により除去した。濾液を酢酸エチルにより抽出した。得られた有機層を、水、飽和食塩水で順次洗浄して、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。さらにヘプタンからの再結晶により精製し、乾燥させ、減圧下濃縮をして、(4-エトキシ-2,3-ジフルオロ-4'-ビフェニル)メタノール(4) 12.0 g を得た。化合物(3)からの収率は74.0%であった。

【0216】

20

第3工程

窒素雰囲気下、反応器へ化合物(4) 12.0 g、トルエン 50 ml およびピリジン 0.12 ml を加え、45 で1時間攪拌した。その後、塩化チオニル 3.6 ml を45 から55 の温度範囲で加え、2時間加熱還流させた。反応液を25まで冷却後、水 200 ml およびトルエン 200 ml へ注ぎ込み、混合した。その後、静置して有機層と水層の2層に分離させて、有機層への抽出操作を行った。得られた有機層を分取して、飽和重曹水で2回、水で3回洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。得られた溶液を減圧下で濃縮し、得られた残渣を、トルエンとヘプタンとの混合溶媒(体積比 トルエン:ヘプタン=1:1)を展開溶媒とし、シリカゲルを充填剤として用いたカラムクロマトグラフィーによる分取操作で精製した。さらにソルミックスA-11からの再結晶により精製し、乾燥させ、4'-クロロメチル-4-エトキシ-2,3-ジフルオロ-ビフェニル(5) 9.4 g を得た。化合物(4)からの収率は73.2%であった。

30

【0217】

第4工程

窒素雰囲気下の反応器へ、1,2-ジフルオロベンゼン(6) 100.0 g と THF 500 ml とを加えて、-74 まで冷却した。そこへ、1.00 M sec-ブチルリチウム、n-ヘキサン、シクロヘキサン溶液 876.5 ml を -74 から -70 の温度範囲で滴下し、さらに2時間攪拌した。続いて4-ペンチルシクロヘキサノン(7) を177.0 g 含んだ THF 200 ml 溶液を -75 から -70 の温度範囲で滴下し、25 に戻しつつ8時間攪拌した。得られた反応混合物を1N HCl 水溶液 500 ml と酢酸エチル 500 ml とが入った容器中に添加して混合した後、静置して、有機層と水層とに分離させ抽出操作を行った。得られた有機層を分取し、水、飽和重曹水、および水で洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。その後、減圧下、溶媒を留去し、4-ペンチル-(2,3-ジフルオロフェニル)シクロヘキサノール(8) 215.1 g を得た。得られた化合物(8)は黄色油状物であった。

40

【0218】

第5工程

化合物(8) 215.1 g、p-トルエンスルホン酸 6.5 g、およびトルエン 500 ml を混合し、この混合物を、留出する水を抜きながら2時間加熱還流させた。反

50

応混合物を30℃まで冷却した後、得られた液に水 500 ml とトルエン 500 ml とを加え混合した後、静置して有機層と水層の2層に分離させて、有機層への抽出操作を行った。得られた有機層を分取して、飽和重曹水、および水で洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。得られた溶液を、ヘプタンを展開溶媒とし、シリカゲルを充填剤として用いたカラムクロマトグラフィーによる分取操作で精製し、乾燥させ、4 - ペンチル - (2, 3 - ジフルオロフェニル) シクロヘキセン (9) 186.6 g を得た。化合物 (8) からの収率は92.7%であった。

【0219】

第6工程

トルエン 150 ml、ソルミックスA - 11 150 ml との混合溶媒に化合物 (9) 50.0 g を溶解させ、さらにPd/Cを0.5 g 加え、水素雰囲気下、水素を吸収しなくなるまで室温で攪拌した。反応終了後、Pd/Cを除去して、さらに溶媒を留去して、得られた残渣をヘプタンを展開溶媒とし、シリカゲルを充填剤として用いたカラムクロマトグラフィーによる分取操作で精製し、さらにソルミックスA - 11からの再結晶により精製し、乾燥させ、4 - ペンチル - (2, 3 - ジフルオロフェニル) シクロヘキサン (10) 47.0 g を得た。化合物 (9) からの収率は94.0%であった。

【0220】

第7工程

窒素雰囲気下の反応器へ、4 - ペンチル - (2, 3 - ジフルオロフェニル) シクロヘキサン (10) 20.0 g とTHF 100 ml とを加えて、-74℃まで冷却した。そこへ、1.00 M sec - ブチルリチウム, n - ヘキサン、シクロヘキサン溶液 82.6 ml を-74℃から-70℃の温度範囲で滴下し、さらに2時間攪拌した。続いて、ホウ酸トリメチル 9.4 g のTHF 50 ml 溶液に-74℃から-65℃の温度範囲で滴下し、25℃に戻しつつ、さらに8時間攪拌した。その後、反応混合物を1 N塩酸 100 ml 氷水 500 ml とが入った容器中に注ぎ込み、混合した。酢酸エチル 300 ml を加えて、有機層と水層とに分離させ抽出操作を行った。得られた有機層を分取し、水、飽和炭酸水素ナトリウム水溶液、食塩水で順次洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。その後、減圧下、溶媒を留去し、2, 3 - ジフルオロ - 4 - (4 - プロピルシクロヘキシル) - ボロン酸 (11) 18.7 g を得た。化合物 (10) からの収率は80.3%であった。

【0221】

第8工程

窒素雰囲気下の反応器へ、化合物 (11) 18.7 g と酢酸 100 ml とを加えて、室温下、3.1%過酸化水素水 14.5 ml を25℃から30℃の温度範囲で滴下し、さらに2時間攪拌した。その後、反応混合物を亜硫酸水素ナトリウム水溶液 100 ml、酢酸エチル 300 ml が入った容器中に注ぎ込み、混合した。その後、静置して有機層と水層とに分離させ抽出操作を行った。得られた有機層を分取し、水、食塩水で順次洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。その後、減圧下、溶媒を留去し、2, 3 - ジフルオロ - 4 - (4 - プロピルシクロヘキシル) フェノール (12) 17.4 g を得た。化合物 (11) からの収率は99.0%であった。

【0222】

第9工程

窒素雰囲気下、DMF 100 ml に2, 3 - ジフルオロ - 4 - (4 - プロピルシクロヘキシル) フェノール (12) 3.0 g、およびリン酸三カリウム (K_3PO_4) 7.5 g を加え、70℃で攪拌した。そこへ化合物 (5) 2.0 g を加え、70℃で、7時間攪拌した。得られた反応混合物を30℃まで冷却し、ろ過によって固形物と分離した後、トルエン 100 ml、および水 100 ml を加え混合した。その後、静置して有機層と水層の2層に分離させて、有機層への抽出操作を行った。得られた有機層を分取して、食塩水で洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。その後、減圧下、溶媒を留去し、得られた残渣をヘプタンとトルエンの混合溶媒 (体積比 ヘプタン : トルエン = 1 : 2) を

10

20

30

40

50

展開溶媒、シリカゲルを充填剤として用いたカラムクロマトグラフィーによる分取操作で精製した。さらにソルミックス A - 11 とヘプタンの混合溶媒（体積比 ソルミックス A - 11 : ヘプタン = 1 : 2）からの再結晶により精製し、乾燥させ、4 - エトキシ - 2, 3 - ジフルオロ - 4' - [2, 3 - ジフルオロ - 4 - (4 - ペンチルシクロヘキシル) フェノキシメチル] - 1, 1' - ビフェニル (No. 1123) 2.2 g を得た。化合物 (5) からの収率は 42.5 % であった。

¹H - NMR 分析の化学シフト (ppm) は以下の通りであり、得られた化合物が、4 - エトキシ - 2, 3 - ジフルオロ - 4' - [2, 3 - ジフルオロ - 4 - (4 - ペンチルシクロヘキシル) フェノキシメチル] - 1, 1' - ビフェニル (No. 1123) であることが同定できた。なお、測定溶媒は CDCl₃ である。

【0223】

化学シフト (ppm) ; 7.51 (dd, 4H), 7.09 (td, 1H), 6.84 (td, 1H), 6.80 (td, 1H), 6.73 (td, 1H), 5.15 (s, 2H), 4.16 (q, 2H), 2.74 (td, 1H), 1.88 - 1.80 (m, 4H), 1.49 (t, 3H), 1.44 (td, 2H), 1.35 - 1.18 (m, 9H), 1.11 - 1.01 (m, 2H), 0.89 (t, 3H) .

【0224】

転移温度は化合物自体の測定値とし、上限温度 (T_{NI})、誘電率異方性 ()、および光学異方性 (n) は、化合物を母液晶 (i) に混合した試料の測定値を、上記外挿法に従って換算した、化合物 (No. 1123) の物性値は以下の通りであった。

転移温度 : C 130.1 N 197.5 I

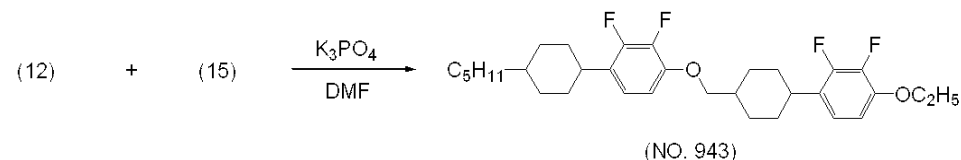
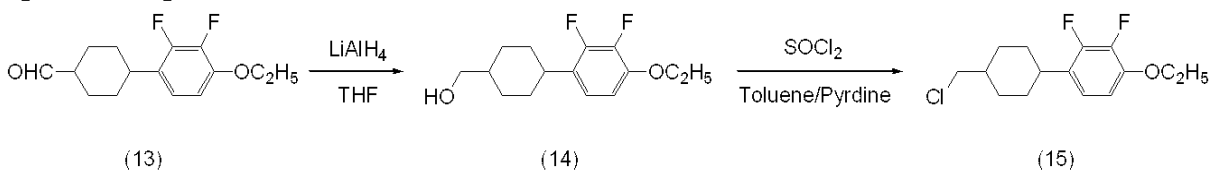
T_{NI} = 192.6 , = -7.40 , n = 0.207 .

【実施例 2】

【0225】

トランス - 4 - (2, 3 - ジフルオロ - 4 - エトキシフェニル) - 4 - [2, 3 - ジフルオロ - 4 - (4 - ペンチルシクロヘキシル) フェノキシメチル] シクロヘキサン (No. 943) の合成

【0226】



【0227】

第 1 工程

水素化リチウムアルミニウム 4.2 g を THF 300 ml に懸濁した。この懸濁液に 4 - (4 - エトキシ - 2, 3 - ジフルオロフェニル) - シクロヘキサンカルボアルデヒド (13) 50.0 g を、-20 から -10 の温度範囲で滴下し、さらにこの温度範囲で 2 時間攪拌した。GC 分析により反応終了を確認後、氷冷下、反応混合物に、順次、酢酸エチル、飽和アンモニア水溶液を加えていき、析出物をセライト濾過により除去した。濾液を酢酸エチルにより抽出した。得られた有機層を、水、飽和食塩水で順次洗浄して、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。さらにヘプタンからの再結晶により精製し、乾燥させ、減圧下濃縮をして、4 - ヒドロキシメチル - (4 - エトキシ - 2, 3 - ジフルオロ) シクロヘキサン (14) 47.6 g を得た。化合物 (13) からの収率は 94.5 % であった。

【0228】

第2工程

窒素雰囲気下、反応器へ化合物(14) 47.6 g、トルエン 300 ml およびピリジン 0.5 ml を加え、45 で1時間攪拌した。その後、塩化チオニル 14.0 ml を45 から55 の温度範囲で加え、2時間加熱還流させた。反応液を25 まで冷却後、水 300 ml およびトルエン 300 ml へ注ぎ込み、混合した。その後、静置して有機層と水層の2層に分離させて、有機層への抽出操作を行った。得られた有機層を分取して、飽和重曹水で2回、水で3回洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。得られた溶液を減圧下で濃縮し、得られた残渣を、トルエンとヘプタンとの混合溶媒(体積比 トルエン：ヘプタン=1：1)を展開溶媒とし、シリカゲルを充填剤として用いたカラムクロマトグラフィーによる分取操作で精製した。さらにソルミックスA-11からの再結晶により精製し、乾燥させ、4-クロロメチル-(4-エトキシ-2,3-ジフルオロフェニル)-シクロヘキサン(15) 47.6 g を得た。化合物(14)からの収率は93.6%であった。

10

【0229】

第3工程

窒素雰囲気下、DMF 100 ml に4-エトキシ-2,3-ジフルオロフェノール(12) 2.4 g、およびリン酸三カリウム(K_3PO_4) 7.4 g を加え、70 で攪拌した。そこへ化合物(15) 2.0 g を加え、70 で、7時間攪拌した。得られた反応混合物を30 まで冷却し、ろ過によって固形物と分離した後、トルエン 100 ml、および水 100 ml を加え混合した。その後、静置して有機層と水層の2層に分離させて、有機層への抽出操作を行った。得られた有機層を分取して、食塩水で洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。その後、減圧下、溶媒を留去し、得られた残渣をヘプタンとトルエンの混合溶媒(体積比 ヘプタン：トルエン=1：2)を展開溶媒、シリカゲルを充填剤として用いたカラムクロマトグラフィーによる分取操作で精製した。さらにソルミックスA-11とヘプタンの混合溶媒(体積比 ソルミックスA-11：ヘプタン=1：2)からの再結晶により精製し、乾燥させ、トランス-4-(2,3-ジフルオロ-4-エトキシフェニル)-4-[2,3-ジフルオロ-4-(4-ペンチルシクロヘキシル)フェノキシメチル]シクロヘキサン(No. 943) 2.3 g を得た。化合物(15)からの収率は62.2%であった。

20

30

【0230】

1H -NMR分析の化学シフト(ppm)は以下の通りであり、得られた化合物が、トランス-4-(2,3-ジフルオロ-4-エトキシフェニル)-4-[2,3-ジフルオロ-4-(4-ペンチルシクロヘキシル)フェノキシメチル]シクロヘキサン(No. 943)であることが同定できた。なお、測定溶媒は $CDCl_3$ である。

【0231】

化学シフト(ppm); 6.84(td, 2H), 6.67(td, 2H), 4.09(q, 2H), 3.85(d, 2H), 2.80(tt, 1H), 2.74(tt, 1H), 2.03(d, 2H), 1.96-1.81(m, 7H), 1.56-1.38(m, 7H), 1.36-1.18(m, 11H), 1.12-1.02(m, 2H), 0.89(t, 3H).

40

【0232】

転移温度は化合物自体の測定値とし、上限温度(T_{NI})、誘電率異方性()、および光学異方性(n)は、化合物を母液晶(i)に混合した試料の測定値を、上記外挿法に従って換算した、化合物(No. 943)の物性値は以下の通りであった。

転移温度 : C 101.8 N 204.0 I

$T_{NI} = 187.3$, $\epsilon = -6.15$, $n = 0.134$.

【実施例3】

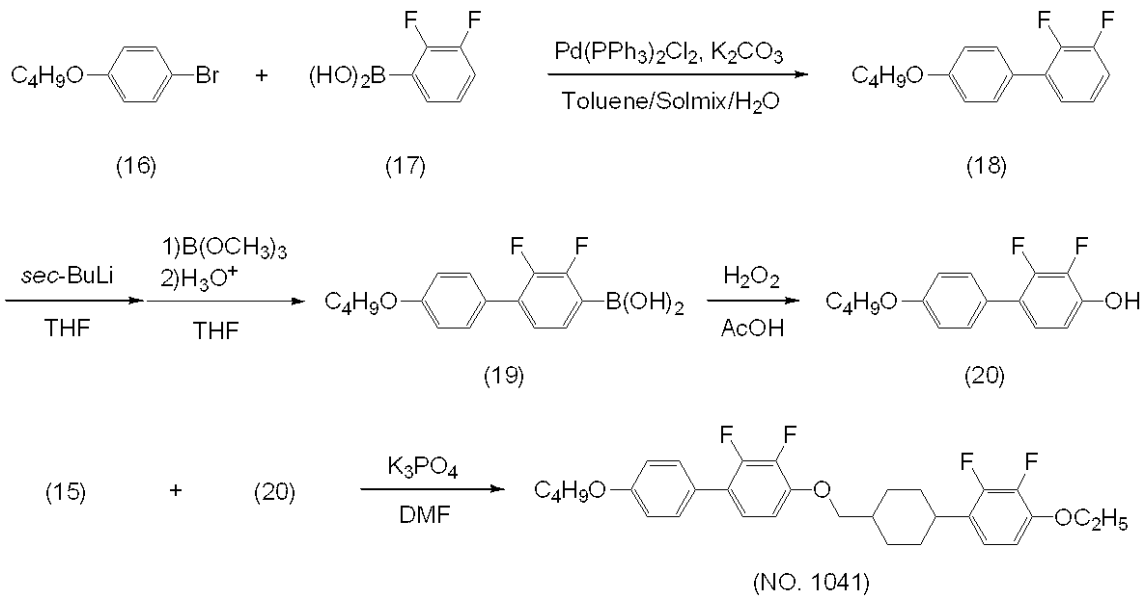
【0233】

トランス-4-(2,3-ジフルオロ-4-エトキシフェニル)-4-[2,3-ジフ

50

ルオロ - 4' - ブトキシ - 1, 1' - ビフェノキシメチル] シクロヘキサン (No . 1041) の合成

【 0234 】



10

【 0235 】

20

第 1 工程

窒素雰囲気下、反応器へ 4 - ブロモブトキシベンゼン (16) 50.0 g、2, 3 - ジフルオロフェニルボロン酸 (17) 37.9 g、炭酸カリウム 90.5 g、 $\text{Pd}(\text{PPh}_3)_2\text{Cl}_2$ 4.6 g、トルエン 200 ml、ソルミックス A - 11 200 ml および水 200 ml を加え、2 時間加熱還流させた。反応液を 25 まで冷却後、水 500 ml およびトルエン 500 ml へ注ぎ込み、混合した。その後、静置して有機層と水層の 2 層に分離させて、有機層への抽出操作を行った。得られた有機層を分取して、水で洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。得られた溶液を減圧下、濃縮し、得られた残渣を、トルエンを展開溶媒とし、シリカゲルを充填剤として用いたカラムクロマトグラフィーによる分取操作で精製した。さらにソルミックス A - 11 からの再結晶により精製し、乾燥させ、4' - ブトキシ - 2, 3 - ジフルオロ - 1, 1' - ビフェニル (18) 44.7 g を得た。化合物 (16) からの収率は 78.1 % であった。

30

【 0236 】

第 2 工程

窒素雰囲気下の反応器へ、4' - ブトキシ - 2, 3 - ジフルオロ - 1, 1' - ビフェニル (18) 20.0 g と THF 200 ml とを加えて、- 74 まで冷却した。そこへ、1.00 M sec-BuLi 、 n -ヘキサン、シクロヘキサン溶液 83.9 ml を - 74 から - 70 の温度範囲で滴下し、さらに 2 時間攪拌した。続いて、ホウ酸トリメチル 9.5 g の THF 50 ml 溶液に - 74 から - 65 の温度範囲で滴下し、25 に戻しつつ、さらに 8 時間攪拌した。その後、反応混合物を 1 N 塩酸 100 ml 氷水 500 ml とが入った容器中に注ぎ込み、混合した。酢酸エチル 300 ml を加えて、有機層と水層とに分離させ抽出操作を行った。得られた有機層を分取し、水、飽和炭酸水素ナトリウム水溶液、食塩水で順次洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。その後、減圧下、溶媒を留去し、4' - ブトキシ - 2, 3 - ジフルオロ - 1, 1' - ビフェニル - 4 - ボロン酸 (19) 21.3 g を得た。化合物 (18) からの収率は 91.3 % であった。

40

【 0237 】

第 3 工程

窒素雰囲気下の反応器へ、化合物 (19) 10.0 g と酢酸 50 ml とを加えて、室温下、31% 過酸化水素水 4.5 ml を 25 から 30 の温度範囲で滴下し、さら

50

に2時間攪拌した。その後、反応混合物を亜硫酸水素ナトリウム水溶液100ml、酢酸エチル200mlが入った容器中に注ぎ込み、混合した。その後、静置して有機層と水層とに分離させ抽出操作を行った。得られた有機層を分取し、水、食塩水で順次洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。その後、減圧下、溶媒を留去し、4'-プトキシ-4-ヒドロキシ-2,3-ジフルオロ-1,1'-ビフェニル(20) 8.9gを得た。化合物(19)からの収率は97.9%であった。

【0238】

第4工程

窒素雰囲気下、DMF 100mlに化合物(20) 2.3g、およびリン酸三カリウム(K_3PO_4) 7.4gを加え、70℃で攪拌した。そこへ化合物(15) 2.0gを加え、70℃で、7時間攪拌した。得られた反応混合物を30℃まで冷却し、ろ過によって固形物と分離した後、トルエン 100ml、および水 100mlを加え混合した。その後、静置して有機層と水層の2層に分離させて、有機層への抽出操作を行った。得られた有機層を分取して、食塩水で洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。その後、減圧下、溶媒を留去し、得られた残渣をトルエンを展開溶媒、シリカゲルを充填剤として用いたカラムクロマトグラフィーによる分取操作で精製した。さらにソルミックスA-11と酢酸エチルの混合溶媒(体積比 ソルミックスA-11:酢酸エチル=2:1)からの再結晶により精製し、乾燥させ、トランス-4-(2,3-ジフルオロ-4-エトキシフェニル)-4-[2,3-ジフルオロ-4'-プトキシ-1,1'-ビフェノキシメチル]シクロヘキサン(No.1041) 2.0gを得た。化合物(15)からの収率は54.4%であった。

【0239】

1H -NMR分析の化学シフト(ppm)は以下の通りであり、得られた化合物が、トランス-4-(2,3-ジフルオロ-4-エトキシフェニル)-4-[2,3-ジフルオロ-4'-プトキシ-1,1'-ビフェノキシメチル]シクロヘキサン(No.1041)であることが同定できた。なお、測定溶媒は $CDCl_3$ である。

【0240】

化学シフト(ppm); 7.42(d, 2H), 7.07(td, 1H), 6.96(d, 2H), 6.86(td, 1H), 6.78(td, 1H), 6.68(td, 1H), 4.09(q, 2H), 4.00(t, 2H), 3.91(d, 2H), 2.82(tt, 1H), 2.07(m, 2H), 1.94(m, 3H), 1.79(quint, 2H), 1.55-1.48(m, 4H), 1.44(t, 3H), 1.34-1.23(m, 2H), 0.99(t, 3H)。

【0241】

転移温度は化合物自体の測定値とし、上限温度(T_{NI})、誘電率異方性()、および光学異方性(n)は、化合物を母液晶(i)に混合した試料の測定値を、上記外挿法に従って換算した、化合物(No.1041)の物性値は以下の通りであった。

転移温度 : C 124.4 N 223.8 I

$T_{NI} = 202.6$, $\epsilon = -6.44$, $n = 0.167$

【実施例4】

【0242】

トランス-4-(2,3-ジフルオロ-4-エトキシフェニル)-4-[2,3-ジフルオロ-4-(4-プトキシシクロヘキセニル)フェノキシメチル]シクロヘキサン(No.951)の合成

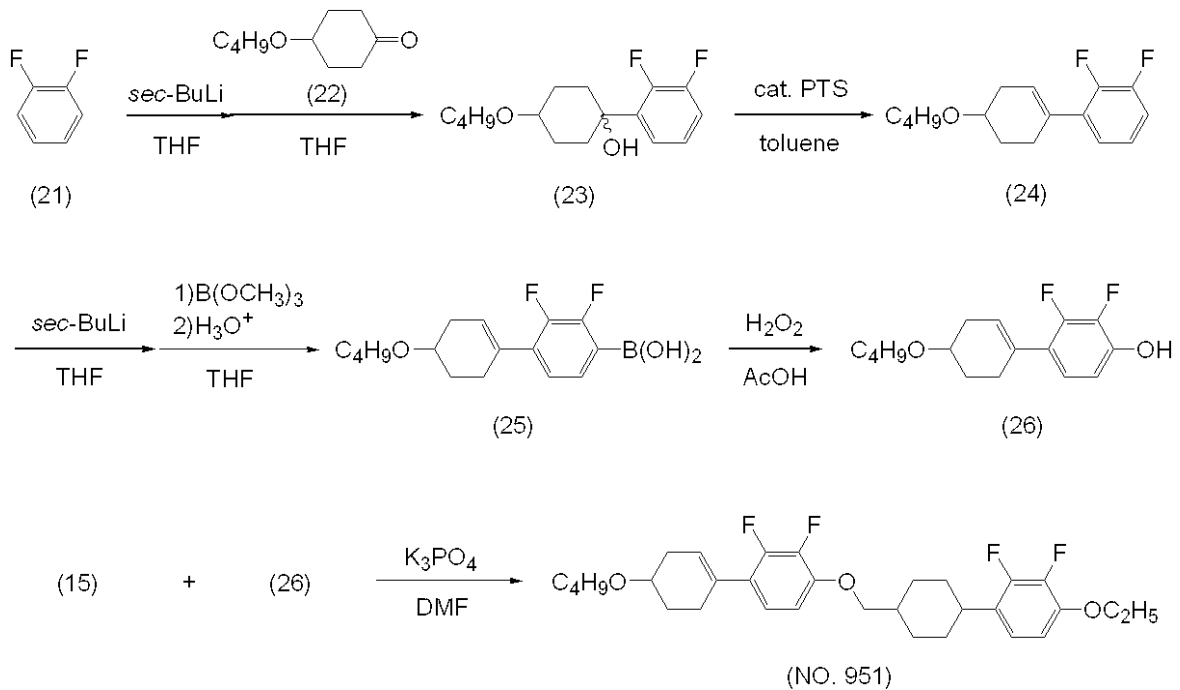
【0243】

10

20

30

40



10

【 0 2 4 4 】

第 1 工程

窒素雰囲気下の反応器へ、1, 2 - ジフルオロベンゼン (2 1) 5 7 . 0 g と THF 1 0 0 0 m l とを加えて、 $- 7 4$ まで冷却した。そこへ、1 . 0 0 M *sec* - ブチルリチウム、*n* - ヘキサン、シクロヘキサン溶液 5 0 0 . 0 m l を $- 7 4$ から $- 7 0$ の温度範囲で滴下し、さらに 2 時間攪拌した。続いて 4 - ブトキシシクロヘキサノン (2 2) を 8 5 . 1 g 含んだ THF 2 0 0 m l 溶液を $- 7 5$ から $- 7 0$ の温度範囲で滴下し、2 5 に戻しつつ 8 時間攪拌した。得られた反応混合物を 1 N H C l 水溶液 5 0 0 m l と酢酸エチル 5 0 0 m l とが入った容器中に添加して混合した後、静置して、有機層と水層とに分離させ抽出操作を行った。得られた有機層を分取し、水、飽和重曹水、および水で洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。その後、減圧下、溶媒を留去し、4 - ブトキシ - (2 , 3 - ジフルオロフェニル) シクロヘキサノール (2 3) 1 3 0 . 1 g を得た。得られた化合物 (2 3) は黄色油状物であった。

30

【 0 2 4 5 】

第 2 工程

化合物 (2 3) 1 3 0 . 1 g 、 *p* - トルエンスルホン酸 1 . 3 g 、 およびトルエン 5 0 0 m l を混合し、この混合物を、留出する水を抜きながら 2 時間加熱還流させた。反応混合物を 3 0 まで冷却した後、得られた液に水 5 0 0 m l とトルエン 5 0 0 m l とを加え混合した後、静置して有機層と水層の 2 層に分離させて、有機層への抽出操作を行った。得られた有機層を分取して、飽和重曹水、および水で洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。得られた溶液を、トルエンを展開溶媒とし、シリカゲルを充填剤として用いたカラムクロマトグラフィーによる分取操作で精製し、乾燥させ、4 - ブトキシ - (2 , 3 - ジフルオロフェニル) シクロヘキセン (2 4) 7 1 . 6 g を得た。得られた化合物 (2 4) は無色液体、沸点は $1 3 1 \sim 1 3 2 / 3$ m m H g であり、化合物 (6) からの収率は 6 6 . 5 % であった。

40

【 0 2 4 6 】

第 3 工程

窒素雰囲気下の反応器へ、4 - ブトキシ - (2 , 3 - ジフルオロフェニル) シクロヘキセン (2 4) 1 1 . 0 g と THF 2 0 0 m l とを加えて、 $- 7 4$ まで冷却した。そこへ、1 . 0 0 M *sec* - ブチルリチウム、*n* - ヘキサン、シクロヘキサン溶液 5 0 . 0 m l を $- 7 4$ から $- 7 0$ の温度範囲で滴下し、さらに 2 時間攪拌した。続いて、ホウ酸トリメチル 5 . 2 g の THF 5 0 m l 溶液に $- 7 4$ から $- 6 5$ の温度範

50

罎で滴下し、25 に戻しつつ、さらに8時間攪拌した。その後、反応混合物を1N塩酸 100ml 氷水 500ml とが入った容器中に注ぎ込み、混合した。酢酸エチル 300ml を加えて、有機層と水層とに分離させ抽出操作を行った。得られた有機層を分取し、水、飽和炭酸水素ナトリウム水溶液、食塩水で順次洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。その後、減圧下、溶媒を留去し、4-(4-ブトキシシクロヘキセニル)-2,3-ジフルオロフェニル ボロン酸(25) 10.7g を得た。化合物(24)からの収率は83.6%であった。

【0247】

第4工程

窒素雰囲気下の反応器へ、化合物(25) 8.5g と酢酸 50ml とを加えて、室温下、31%過酸化水素水 4.9ml を25 から30 の温度範囲で滴下し、さらに2時間攪拌した。その後、反応混合物を亜硫酸水素ナトリウム水溶液100ml、酢酸エチル200mlが入った容器中に注ぎ込み、混合した。その後、静置して有機層と水層とに分離させ抽出操作を行った。得られた有機層を分取し、水、食塩水で順次洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。その後、減圧下、溶媒を留去し、4-(4-ブトキシシクロヘキセニル)-2,3-ジフルオロフェニル (26) 2.8g を得た。化合物(25)からの収率は49.1%であった。

【0248】

第5工程

窒素雰囲気下、DMF 100ml に化合物(25) 2.8g、およびリン酸三カリウム(K_3PO_4) 7.4g を加え、70 で攪拌した。そこへ化合物(15) 2.6g を加え、70 で、7時間攪拌した。得られた反応混合物を30 まで冷却し、ろ過によって固形物と分離した後、トルエン 100ml、および水 100ml を加え混合した。その後、静置して有機層と水層の2層に分離させて、有機層への抽出操作を行った。得られた有機層を分取して、食塩水で洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。その後、減圧下、溶媒を留去し、得られた残渣をトルエンを展開溶媒、シリカゲルを充填剤として用いたカラムクロマトグラフィーによる分取操作で精製した。さらにソルミックスA-11 と酢酸エチルの混合溶媒(体積比 ソルミックスA-11:酢酸エチル=2:1)からの再結晶により精製し、乾燥させ、トランス-4-(2,3-ジフルオロ-4-エトキシフェニル)-4-[2,3-ジフルオロ-4-(4-ブトキシシクロヘキセニル)フェノキシメチル]シクロヘキサン(No.951) 1.6g を得た。化合物(15)からの収率は33.4%であった。

【0249】

1H -NMR分析の化学シフト (ppm) は以下の通りであり、得られた化合物が、トランス-4-(2,3-ジフルオロ-4-エトキシフェニル)-4-[2,3-ジフルオロ-4-(4-ブトキシシクロヘキセニル)フェノキシメチル]シクロヘキサン(No.951)であることが同定できた。なお、測定溶媒は $CDCl_3$ である。

【0250】

化学シフト (ppm); 6.89 (td, 1H), 6.85 (td, 1H), 6.68 (td, 1H), 6.67 (td, 1H), 5.82 (m, 1H), 4.09 (q, 2H), 3.86 (d, 2H), 3.62 (m, 1H), 3.51 (m, 2H), 2.81 (tt, 1H), 2.59-2.38 (m, 3H), 2.23-2.14 (m, 1H), 2.08-2.00 (m, 3H), 1.96-1.84 (m, 3H), 1.79-1.70 (m, 1H), 1.62-1.34 (m, 9H), 1.26 (qd, 2H), 0.93 (t, 3H).

【0251】

転移温度は化合物自体の測定値とし、上限温度(T_{NI})、誘電率異方性()、および光学異方性(n)は、化合物を母液晶(i)に混合した試料の測定値を、上記外挿法に従って換算した、化合物(No.951)の物性値は以下の通りであった。

転移温度 : C 96.0 N 158.4 I

10

20

30

40

50

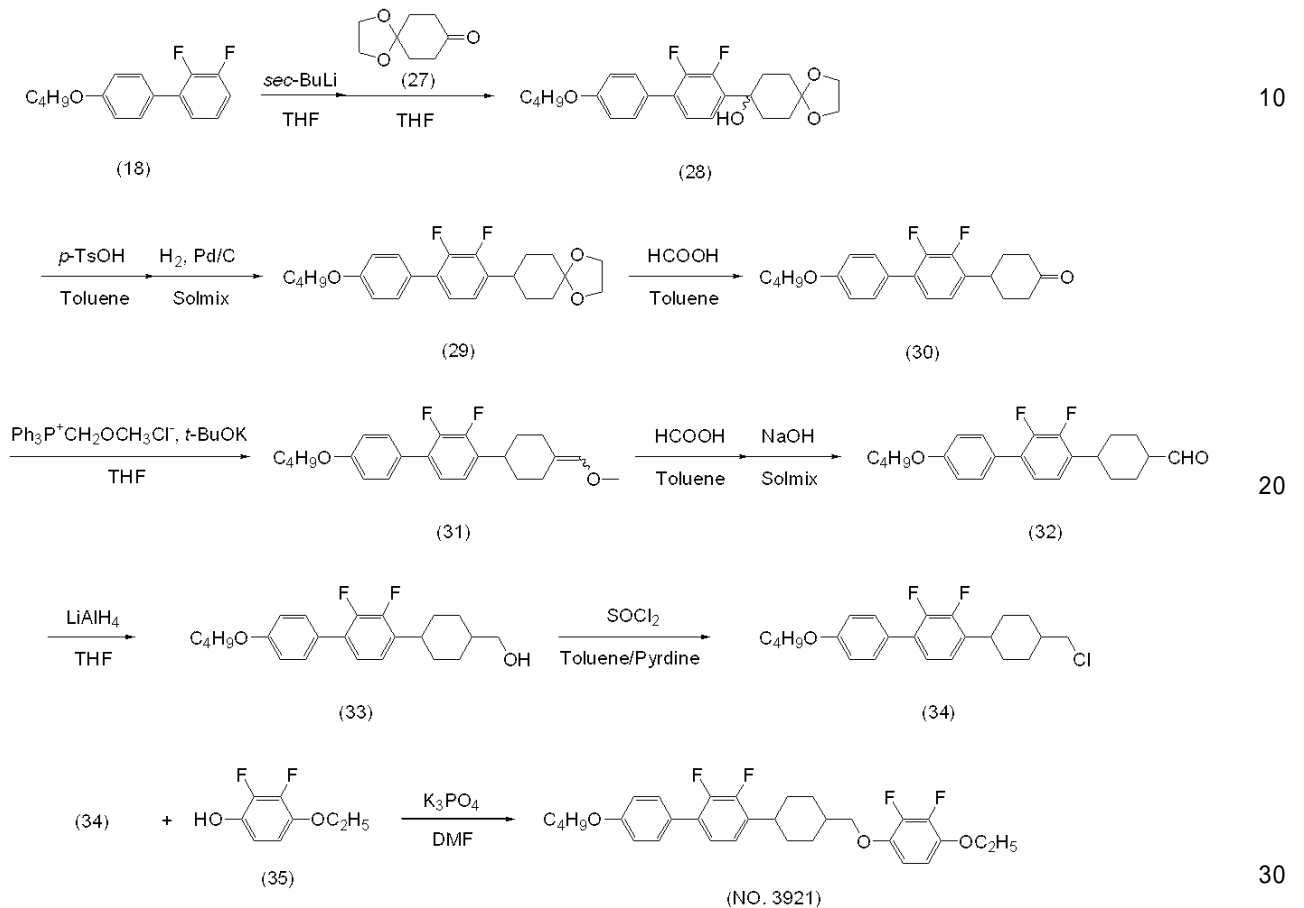
$T_{NI} = 147.9$, $\Delta T = -6.90$, $n = 0.154$

【実施例 5】

【0252】

2,3-ジフルオロ-4-エトキシ-[トランス-4-(4'-ブトキシ-2,3-ジフルオロ-1,1'-ビフェニル)シクロヘキシルメチル]ベンゼン(No.3921)の合成

【0253】



【0254】

第1工程

窒素雰囲気下の反応器へ、4'-ブトキシ-2,3-ジフルオロ-1,1'-ビフェニル(18) 10.0gとTHF 100mlとを加えて、-74℃まで冷却した。そこへ、1.00M *sec*-ブチルリチウム、*n*-ヘキサン、シクロヘキサン溶液 46.0mlを-74℃から-70℃の温度範囲で滴下し、さらに2時間攪拌した。その後、THF 150mlに溶解した1,4-ジオキサスピロ[4.5]デカン-8-オン(27) 6.0gを、-74℃から-70℃の温度範囲でゆっくり滴下し、25℃に戻しつつ8時間攪拌した。得られた反応混合物を、0℃に冷却した3%塩化アンモニウム水溶液 500mlとトルエン 300mlとが入った容器中に添加して混合した後、静置して、有機層と水層とに分離させ抽出操作を行った。得られた有機層を分取し、水、飽和重曹水、および水で洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。その後、減圧下、溶媒を留去し、8-(4'-ブトキシ-2,3-ジフルオロ-1,1'-ビフェニル)-1,4-ジオキサスピロ[4.5]デカ-8-オール(28) 15.9gを得た。得られた化合物(28)は黄色油状物であった。

【0255】

第2工程

化合物(28) 15.9g、*p*-トルエンスルホン酸 0.49g、エチレングリコール 0.81g、およびトルエン 250mlを混合し、この混合物を、留出する水を抜

10

20

30

40

50

きながら2時間加熱還流させた。反応混合物を30℃まで冷却した後、得られた液に水200mlとトルエン300mlとを加え混合した後、静置して有機層と水層の2層に分離させて、有機層への抽出操作を行った。得られた有機層を分取して、飽和重曹水、および水で洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。得られた溶液を、トルエンを展開溶媒とし、シリカゲルを充填剤として用いたカラムクロマトグラフィーによる分取操作で精製した。それを、トルエン150ml、ソルミックスA-11150mlとの混合溶媒に溶解させ、さらにPd/Cを0.15g加え、水素雰囲気下、水素を吸収しなくなるまで室温で攪拌した。反応終了後、Pd/Cを除去して、さらに溶媒を留去して、得られた残渣を、ヘプタンを展開溶媒とし、シリカゲルを充填剤として用いたカラムクロマトグラフィーによる分取操作で精製し、さらにソルミックスA-11からの再結晶により精製し、乾燥させ、8-(4'-ブトキシ-2,3-ジフルオロ-1,1'-ビフェニル)-1,4-ジオキサスピロ[4.5]デカン(29)10.6gを得た。得られた化合物(29)は黄色油状物であった。

10

【0256】

第3工程

化合物(29)10.6g、87%蟻酸20ml、およびトルエン200mlを混合し、この混合物を、2時間加熱還流させた。反応混合物を30℃まで冷却した後、得られた液に水200mlとトルエン300mlとを加え混合した後、静置して有機層と水層の2層に分離させて、有機層への抽出操作を行った。得られた有機層を分取して、水、飽和重曹水、および水で洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。その後、減圧下、溶媒を留去し、得られた残渣を、トルエンを展開溶媒とし、シリカゲルを充填剤として用いたカラムクロマトグラフィーによる分取操作で精製し、さらにヘプタンからの再結晶により精製し、乾燥させ、1-(4'-ブトキシ-2,3-ジフルオロ-1,1'-ビフェニル)-シクロヘキサン-4-オン(30)6.6gを得た。化合物(29)からの収率は69.9%であった。

20

【0257】

第4工程

窒素雰囲気下、良く乾燥させたメトキシメチルトリフェニルホスホニウムクロリド7.6gとTHF100mlを混合し、-30℃まで冷却した。その後、カリウムt-ブトキシド(t-BuOK)2.5gを-30℃~-20℃の温度範囲で、2回に分けて投入した。-20℃で30分攪拌した後、THF100mlに溶解した化合物(29)6.6gを-30℃~-20℃の温度範囲で滴下した。-10℃で30分攪拌した後、反応液を水200mlとトルエン200mlの混合液へ注ぎ込み、混合した後、静置して有機層と水層の2層に分離させて、有機層への抽出操作を行った。得られた有機層を分取して、水で洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。得られた溶液を減圧下、濃縮し得られた残渣をトルエンを展開溶媒、シリカゲルを充填剤として用いたカラムクロマトグラフィーによる分取操作で精製した。得られた溶離液を減圧下、濃縮し、1-(4'-ブトキシ-2,3-ジフルオロ-1,1'-ビフェニル)-4-メトキシメチレンシクロヘキサン(31)6.6gを得た。化合物(30)からの収率は92.7%であった。

30

【0258】

第5工程

化合物(31)6.6g、87%蟻酸8.0g、およびトルエン100mlを混合し、この混合物を、2時間加熱還流させた。反応混合物を30℃まで冷却した後、得られた液に水100mlとトルエン200mlとを加え混合した後、静置して有機層と水層の2層に分離させて、有機層への抽出操作を行った。得られた有機層を分取して、水、飽和重曹水、および水で洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。その後、減圧下、溶媒を留去し、淡黄色固体6.3gを得た。この残渣をトルエン50mlに溶解し、7℃に冷却した95%水酸化ナトリウム0.5gとソルミックスA-1132mlの混合液へ添加し、10℃で2時間攪拌した。その後、2N水酸化ナトリウム水溶液12.8mlを添加し、5℃で2時間攪拌した。得られた反応液を水200mlとトルエン200

40

50

m l の混合液へ注ぎ込み、混合した後、静置して有機層と水層の 2 層に分離させて、有機層への抽出操作を行った。得られた有機層を分取して、水で洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。その後、減圧下、溶媒を留去し、得られた残渣を濃縮し、トルエンを展開溶媒、シリカゲルを充填剤として用いたカラムクロマトグラフィーによる分取操作で精製し、乾燥させ、1 - (4 ' - ブトキシ - 2 , 3 - ジフルオロ - 1 , 1 ' - ビフェニル) - シクロヘキサンカルボアルデヒド (3 2) 6 . 3 g を得た。化合物 (3 1) からの収率は 9 9 . 1 % であった。

【 0 2 5 9 】

第 6 工程

水素化リチウムアルミニウム 0 . 4 g を T H F 3 0 0 m l に懸濁した。この懸濁液に化合物 (3 2) 6 . 4 g を、 - 2 0 から - 1 0 の温度範囲で滴下し、さらにこの温度範囲で 2 時間攪拌した。G C 分析により反応終了を確認後、氷冷下、反応混合物に、順次、酢酸エチル、飽和アンモニア水溶液を加えていき、析出物をセライト濾過により除去した。濾液を酢酸エチルにより抽出した。得られた有機層を、水、飽和食塩水で順次洗浄して、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。さらにヘプタンからの再結晶により精製し、乾燥させ、減圧下濃縮をして、4 - ヒドロキシメチル - (4 ' - ブトキシ - 2 , 3 - ジフルオロ - 1 , 1 ' - ビフェニル) シクロヘキサン (3 3) 5 . 9 g を得た。化合物 (3 2) からの収率は 9 1 . 8 % であった。

【 0 2 6 0 】

第 7 工程

窒素雰囲気下、反応器へ化合物 (3 3) 5 . 9 g 、トルエン 1 0 0 m l およびピリジン 0 . 5 m l を加え、4 5 で 1 時間攪拌した。その後、塩化チオニル 1 . 4 m l を 4 5 から 5 5 の温度範囲で加え、2 時間加熱還流させた。反応液を 2 5 まで冷却後、水 2 0 0 m l およびトルエン 2 0 0 m l へ注ぎ込み、混合した。その後、静置して有機層と水層の 2 層に分離させて、有機層への抽出操作を行った。得られた有機層を分取して、飽和重曹水で 2 回、水で 3 回洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。得られた溶液を減圧下で濃縮し、得られた残渣を、トルエンとヘプタンとの混合溶媒 (体積比 トルエン : ヘプタン = 1 : 1) を展開溶媒とし、シリカゲルを充填剤として用いたカラムクロマトグラフィーによる分取操作で精製した。さらにソルミックス A - 1 1 からの再結晶により精製し、乾燥させ、4 - クロロメチル - (4 ' - ブトキシ - 2 , 3 - ジフルオロ - 1 , 1 ' - ビフェニル) - シクロヘキサン (3 4) 4 . 9 g を得た。化合物 (3 1) からの収率は 7 8 . 5 % であった。

【 0 2 6 1 】

第 8 工程

窒素雰囲気下、D M F 1 0 0 m l に 4 - エトキシ - 2 , 3 - ジフルオロフェノール (3 5) 0 . 9 6 g 、およびリン酸三カリウム (K_3PO_4) 7 . 4 g を加え、7 0 で攪拌した。そこへ化合物 (3 4) 2 . 0 g を加え、7 0 で、7 時間攪拌した。得られた反応混合物を 3 0 まで冷却し、ろ過によって固形物と分離した後、トルエン 1 0 0 m l 、および水 1 0 0 m l を加え混合した。その後、静置して有機層と水層の 2 層に分離させて、有機層への抽出操作を行った。得られた有機層を分取して、食塩水で洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。その後、減圧下、溶媒を留去し、得られた残渣をトルエンを展開溶媒、シリカゲルを充填剤として用いたカラムクロマトグラフィーによる分取操作で精製した。さらにソルミックス A - 1 1 と酢酸エチルの混合溶媒 (体積比 ソルミックス A - 1 1 : 酢酸エチル = 2 : 1) からの再結晶により精製し、乾燥させ、トランス - 4 - (4 - エトキシ - 2 , 3 - ジフルオロフェニル) - 4 - [4 ' - ブトキシ - 2 , 3 - ジフルオロ - 1 , 1 ' - ビフェノキシメチル] シクロヘキサン (N o . 3 9 2 1) 1 . 4 g を得た。化合物 (1 5) からの収率は 5 0 . 7 % であった。

【 0 2 6 2 】

1H - N M R 分析の化学シフト (p p m) は以下の通りであり、得られた化合物が、トランス - 4 - (4 - エトキシ - 2 , 3 - ジフルオロフェニル) - 4 - [4 ' - ブトキシ

10

20

30

40

50

- 2, 3 - ジフルオロ - 1, 1' - ビフェノキシメチル]シクロヘキサン (No. 3921) であることが同定できた。なお、測定溶媒は $CDCl_3$ である。

【0263】

化学シフト (ppm); 7.46 (d, 1H), 7.11 (t, 1H), 7.01 (t, 1H), 6.97 (d, 2H), 6.64 (m, 2H), 4.06 (q, 2H), 4.01 (t, 2H), 3.84 (d, 2H), 2.92 (tt, 1H), 2.10 - 2.03 (m, 2H), 2.03 - 1.87 (m, 3H), 1.79 (quint, 2H), 1.63 - 1.46 (m, 5H), 1.43 (t, 3H), 1.29 (qd, 2H), 0.99 (t, 3H)。

【0264】

転移温度は化合物自体の測定値とし、上限温度 (T_{NI})、誘電率異方性 ()、および光学異方性 (n) は、化合物を母液晶 (i) に混合した試料の測定値を、上記外挿法に従って換算した、化合物 (No. 3921) の物性値は以下の通りであった。

転移温度 : C_1 85.4 C_2 96.2 N 228.4 I

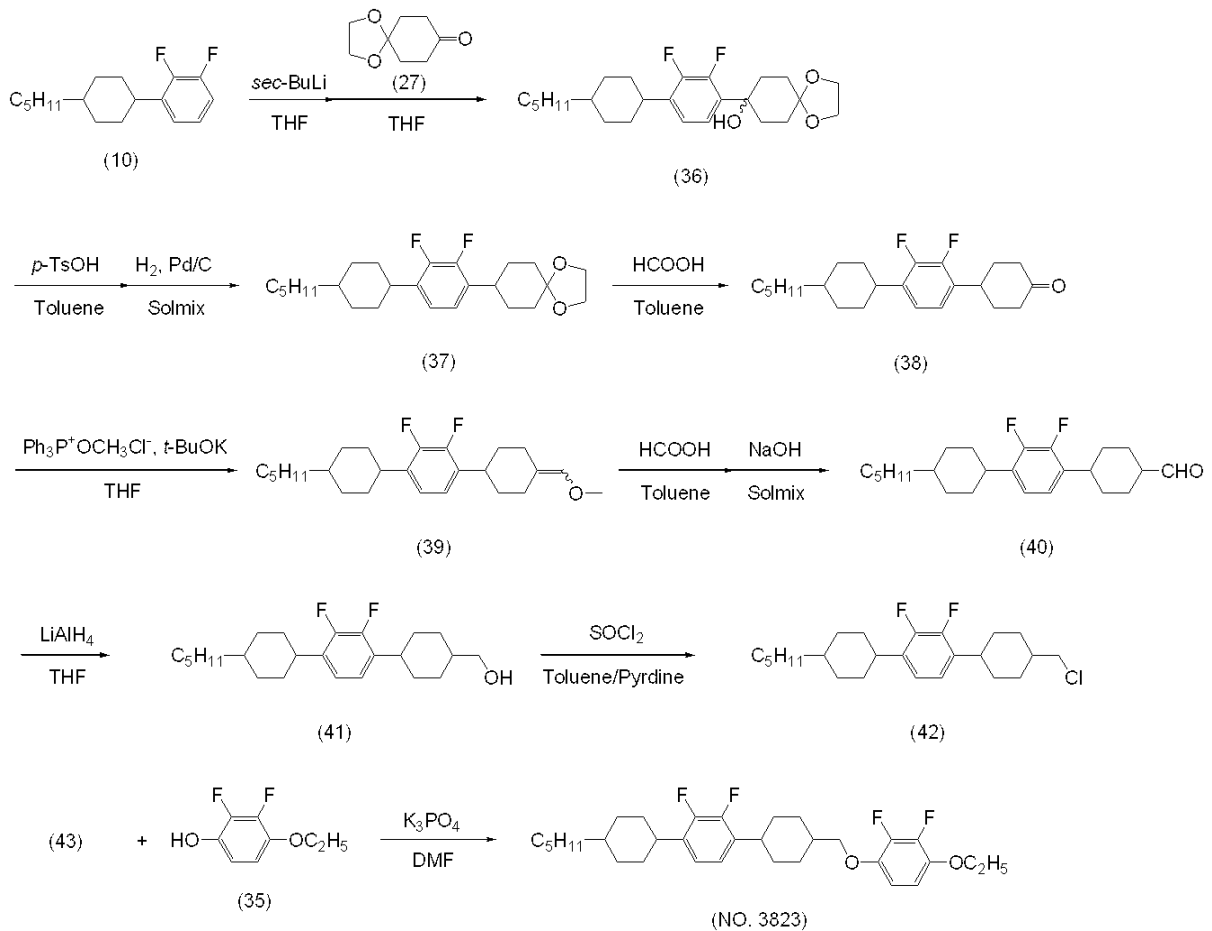
$T_{NI} = 204.6$, $\epsilon = -6.93$, $n = 0.217$

【実施例6】

【0265】

2, 3 - ジフルオロ - 4 - エトキシ - [トランス - 4 - { (トランス - 4 - ペンチルシクロヘキシル) - 2, 3 - ジフルオロフェニル}シクロヘキシルメチル]ベンゼン (No. 3823) の合成

【0266】



【0267】

第1工程

窒素雰囲気下の反応器へ、4 - ペンチル - (2, 3 - ジフルオロフェニル) シクロヘキサン (10) 10.0 g と THF 100 ml とを加えて、 -74 まで冷却した。そこへ、1.00 M *sec*-ブチルリチウム、*n*-ヘキサン、シクロヘキサン溶液 4

10

20

30

40

50

5.0 ml を -74 から -70 の温度範囲で滴下し、さらに2時間攪拌した。その後、THF 150 ml に溶解した1,4-ジオキサスピロ[4.5]デカン-8-オン(26) 5.9 g を、-74 から -70 の温度範囲でゆっくり滴下し、25 に戻しつつ8時間攪拌した。得られた反応混合物を、0 に冷却した3%塩化アンモニウム水溶液 500 ml とトルエン 300 ml とが入った容器中に添加して混合した後、静置して、有機層と水層とに分離させ抽出操作を行った。得られた有機層を分取し、水、飽和重曹水、および水で洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。その後、減圧下、溶媒を留去し、8-[4-ペンチル-(2,3-ジフルオロフェニル)シクロヘキシル]-1,4-ジオキサスピロ[4.5]デカン-8-オール(36) 15.7 g を得た。得られた化合物(36)は黄色油状物であった。

10

【0268】

第2工程

化合物(36) 15.7 g、p-トルエンスルホン酸 0.47 g、エチレングリコール 0.79 g、およびトルエン 200 ml を混合し、この混合物を、留出する水を抜きながら2時間加熱還流させた。反応混合物を30 まで冷却した後、得られた液に水 200 ml とトルエン 300 ml とを加え混合した後、静置して有機層と水層の2層に分離させて、有機層への抽出操作を行った。得られた有機層を分取して、飽和重曹水、および水で洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。得られた溶液を、トルエンを展開溶媒とし、シリカゲルを充填剤として用いたカラムクロマトグラフィーによる分取操作で精製した。それを、トルエン 150 ml、ソルミックスA-11 150 ml との混合溶媒に溶解させ、さらにPd/Cを0.16 g 加え、水素雰囲気下、水素を吸収しなくなるまで室温で攪拌した。反応終了後、Pd/Cを除去して、さらに溶媒を留去して、得られた残渣を、ヘプタンを展開溶媒とし、シリカゲルを充填剤として用いたカラムクロマトグラフィーによる分取操作で精製し、さらにソルミックスA-11からの再結晶により精製し、乾燥させ、8-[4-ペンチル-(2,3-ジフルオロフェニル)シクロヘキシル]-1,4-ジオキサスピロ[4.5]デカン(37) 13.2 g を得た。化合物(36)からの収率は87.8%であった。

20

【0269】

第3工程

化合物(37) 13.2 g、87%蟻酸 15 ml、およびトルエン 100 ml を混合し、この混合物を、2時間加熱還流させた。反応混合物を30 まで冷却した後、得られた液に水 200 ml とトルエン 300 ml とを加え混合した後、静置して有機層と水層の2層に分離させて、有機層への抽出操作を行った。得られた有機層を分取して、水、飽和重曹水、および水で洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。その後、減圧下、溶媒を留去し、得られた残渣を、トルエンを展開溶媒とし、シリカゲルを充填剤として用いたカラムクロマトグラフィーによる分取操作で精製し、さらにヘプタンからの再結晶により精製し、乾燥させ、1-[4-ペンチル-(2,3-ジフルオロフェニル)シクロヘキシル]-シクロヘキサン-4-オン(38) 7.6 g を得た。化合物(37)からの収率は64.6%であった。

30

【0270】

第4工程

窒素雰囲気下、良く乾燥させたメトキシメチルトリフェニルホスホニウムクロリド 8.6 g とTHF 100 ml を混合し、-30 まで冷却した。その後、カリウムt-ブトキシド(t-BuOK) 2.8 g を -30 ~ -20 の温度範囲で、2回に分けて投入した。-20 で30分攪拌した後、THF 100 ml に溶解した化合物(38) 7.6 g を -30 ~ -20 の温度範囲で滴下した。-10 で30分攪拌した後、反応液を水 200 ml とトルエン 200 ml の混合液へ注ぎ込み、混合した後、静置して有機層と水層の2層に分離させて、有機層への抽出操作を行った。得られた有機層を分取して、水で洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。得られた溶液を減圧下、濃縮し得られた残渣をトルエンを展開溶媒、シリカゲルを充填剤として用いたカラムクロマトグラフ

40

50

ィーによる分取操作で精製した。得られた溶離液を減圧下、濃縮し、1 - [4 - ペンチル - (2, 3 - ジフルオロフェニル) シクロヘキシル] - 4 - メトキシメチレンシクロヘキサン (39) 8.1 g を得た。化合物 (38) からの収率は99.0%であった。

【0271】

第5工程

化合物 (39) 8.1 g、87% 蟻酸 9.5 g、およびトルエン 100 ml を混合し、この混合物を、2時間加熱還流させた。反応混合物を30℃まで冷却した後、得られた液に水 100 ml とトルエン 200 ml とを加え混合した後、静置して有機層と水層の2層に分離させて、有機層への抽出操作を行った。得られた有機層を分取して、水、飽和重曹水、および水で洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。その後、減圧下、溶媒を留去し、白色固体を得た。この残渣をトルエン 50 ml に溶解し、7℃に冷却した95%水酸化ナトリウム 0.5 g とソルミックス A - 11 32 ml の混合液へ添加し、10℃で2時間攪拌した。その後、2N 水酸化ナトリウム水溶液 16 ml を添加し、5℃で2時間攪拌した。得られた反応液を水 200 ml とトルエン 200 ml の混合液へ注ぎ込み、混合した後、静置して有機層と水層の2層に分離させて、有機層への抽出操作を行った。得られた有機層を分取して、水で洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。その後、減圧下、溶媒を留去し、得られた残渣を濃縮し、トルエンを展開溶媒、シリカゲルを充填剤として用いたカラムクロマトグラフィーによる分取操作で精製し、乾燥させ、1 - [4 - ペンチル - (2, 3 - ジフルオロフェニル) シクロヘキシル] - シクロヘキサンカルボアルデヒド (40) 7.5 g を得た。化合物 (39) からの収率は97.1%であった。

10

20

【0272】

第6工程

水素化リチウムアルミニウム 0.45 g を THF 100 ml に懸濁した。この懸濁液に THF 100 ml に溶解した化合物 (40) 7.5 g を、-20℃から-10℃の温度範囲で滴下し、さらにこの温度範囲で2時間攪拌した。GC 分析により反応終了を確認後、氷冷下、反応混合物に、順次、酢酸エチル、飽和アンモニア水溶液を加えていき、析出物をセライト濾過により除去した。濾液を酢酸エチルにより抽出した。得られた有機層を、水、飽和食塩水で順次洗浄して、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。さらにヘプタンからの再結晶により精製し、乾燥させ、減圧下濃縮をして、4 - ヒドロキシメチル - [4 - ペンチル - (2, 3 - ジフルオロフェニル) シクロヘキシル] - シクロヘキサン (41) 7.4 g を得た。化合物 (40) からの収率は98.1%であった。

30

【0273】

第7工程

窒素雰囲気下、反応器へ化合物 (41) 7.4 g、トルエン 100 ml およびピリジン 0.5 ml を加え、45℃で1時間攪拌した。その後、塩化チオニル 1.7 ml を45℃から55℃の温度範囲で加え、2時間加熱還流させた。反応液を25℃まで冷却後、水 200 ml およびトルエン 200 ml へ注ぎ込み、混合した。その後、静置して有機層と水層の2層に分離させて、有機層への抽出操作を行った。得られた有機層を分取して、飽和重曹水で2回、水で3回洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。得られた溶液を減圧下で濃縮し、得られた残渣を、ヘプタンを展開溶媒とし、シリカゲルを充填剤として用いたカラムクロマトグラフィーによる分取操作で精製し、乾燥させ、4 - クロロメチル - [4 - ペンチル - (2, 3 - ジフルオロフェニル) シクロヘキシル] - シクロヘキサン (42) 7.3 g を得た。化合物 (41) からの収率は94.1%であった。

40

【0274】

第8工程

窒素雰囲気下、DMF 100 ml に4 - エトキシ - 2, 3 - ジフルオロフェノール (34) 0.96 g、およびリン酸三カリウム (K_3PO_4) 7.4 g を加え、70℃で攪拌した。そこへ化合物 (41) 2.0 g を加え、70℃で、7時間攪拌した。得られ

50

た反応混合物を30℃まで冷却し、ろ過によって固形物と分離した後、トルエン 100 ml、および水 100 ml を加え混合した。その後、静置して有機層と水層の2層に分離させて、有機層への抽出操作を行った。得られた有機層を分取して、食塩水で洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。その後、減圧下、溶媒を留去し、得られた残渣をトルエンを展開溶媒、シリカゲルを充填剤として用いたカラムクロマトグラフィーによる分取操作で精製した。さらにソルミックスA-11と酢酸エチルの混合溶媒(体積比 ソルミックスA-11:酢酸エチル=2:1)からの再結晶により精製し、乾燥させ、2,3-ジフルオロ-4-エトキシ-[トランス-4-{(トランス-4-ペンチルシクロヘキシル)-2,3-ジフルオロフェニル}シクロヘキシルメチル]ベンゼン(No. 3823) 1.8 g を得た。化合物(42)からの収率は65.3%であった。

10

【0275】

¹H-NMR分析の化学シフト(ppm)は以下の通りであり、得られた化合物が、2,3-ジフルオロ-4-エトキシ-[トランス-4-{(トランス-4-ペンチルシクロヘキシル)-2,3-ジフルオロフェニル}シクロヘキシルメチル]ベンゼン(No. 3823)であることが同定できた。なお、測定溶媒はCDCl₃である。

【0276】

化学シフト(ppm); 6.88(m, 2H), 6.62(m, 2H), 4.06(q, 2H), 3.83(d, 2H), 2.86(tt, 1H), 2.79(tt, 1H), 2.04(m, 2H), 1.93(m, 2H), 1.85(m, 5H), 1.59-1.38(m, 7H), 1.36-1.27(m, 11H), 1.04(m, 2H), 0.89(t, 3H).

20

【0277】

転移温度は化合物自体の測定値とし、上限温度(T_{NI})、誘電率異方性(Δε)、および光学異方性(Δn)は、化合物を母液晶(i)に混合した試料の測定値を、上記外挿法に従って換算した、化合物(No. 3823)の物性値は以下の通りであった。

転移温度: C₁ = 33.1 C₂ = 91.5 N = 209.3 I

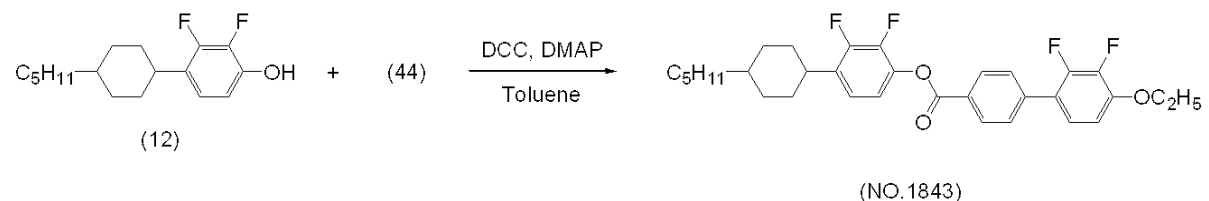
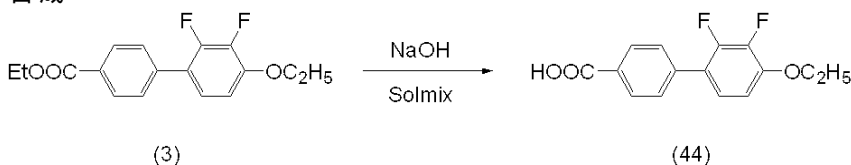
T_{NI} = 179.3 Δε = -6.10 Δn = 0.134

【実施例7】

【0278】

4-エトキシ-2,3-ジフルオロ-1,1'-ビフェニル安息香酸-トランス-4-ペンチルシクロヘキシル-2,3-ジフルオロフェニル エステル(No. 1843)の合成

30



40

【0279】

第1工程

化合物(3) 29.1 g、水酸化ナトリウム 11.4 g、ソルミックスA-11 100 ml、水 100 ml を混合し、この混合物を、2時間加熱還流させた。反応混合物を30℃まで冷却した後、得られた液に6N塩酸水溶液 100 ml とトルエン 200 ml とを加え混合した後、静置して有機層と水層の2層に分離させて、有機層への抽出操作を行った。得られた有機層を分取して、水、飽和重曹水、および水で洗浄し、無水硫酸マグ

50

ネシウムで乾燥させ、4 - エトキシ - 2 , 3 - ジフルオロ - 4 ' - ビフェニル安息香酸 (44) 13 . 0 g を得た。化合物 (3) からの収率は 49 . 2 % であった。

【 0280 】

第 2 工程

窒素雰囲気下、化合物 (44) 1 . 97 g、2 , 3 - ジフルオロ - 4 - (4 - プロピルシクロヘキシル) フェノール (12) 2 . 0 g、1 , 3 - ジシクロカルボジイミド (DCC) 1 . 5 g、および 4 - ジメチルアミノピリジン (DMAPI) 0 . 09 g をトルエン 100 ml 中に加え、25 で 20 時間攪拌した。GC 分析により反応が終了していることを確認後、トルエン 100 ml および水 100 ml を加え、混合した。その後、静置して有機層と水層の 2 層に分離させて、有機層への抽出操作を行った。得られた有機層を分取して、水で洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。得られた溶液を減圧下、濃縮し、残渣をトルエンを展開溶媒、シリカゲルを充填剤として用いたカラムクロマトグラフィーによる分取操作で精製した。さらにヘプタンと THF の混合溶媒 (体積比 ヘプタン : THF = 2 : 1) からの再結晶により精製し、乾燥させ、4 - エトキシ - 2 , 3 - ジフルオロ - 1 , 1 ' - ビフェニル安息香酸 - トランス - 4 - ペンチルシクロヘキシル - 2 , 3 - ジフルオロフェニル エステル (No . 1843) 2 . 65 g を得た。化合物 (12) からの収率は 69 . 0 % であった。

10

【 0281 】

¹H - NMR 分析の化学シフト (ppm) は以下の通りであり、得られた化合物が、4 - エトキシ - 2 , 3 - ジフルオロ - 1 , 1 ' - ビフェニル安息香酸 - トランス - 4 - ペンチルシクロヘキシル - 2 , 3 - ジフルオロフェニル エステル (No . 1843) であることが同定できた。なお、測定溶媒は CDCl₃ である。

20

【 0282 】

化学シフト (ppm) ; 8 . 26 (d , 2H) , 7 . 66 (d , 2H) , 7 . 16 (td , 1H) , 7 . 03 (td , 1H) , 6 . 99 (td , 1H) , 6 . 84 (td , 1H) , 4 . 18 (q , 2H) , 2 . 85 (tt , 1H) , 1 . 89 (m , 4H) , 1 . 53 - 1 . 43 (m , 5H) , 1 . 37 - 1 . 19 (m , 9H) , 1 . 14 - 1 . 04 (m , 2H) , 0 . 90 (t , 3H) .

【 0283 】

転移温度は化合物自体の測定値とし、上限温度 (T_{NI})、誘電率異方性 ()、および光学異方性 (n) は、化合物を母液晶 (i) に混合した試料の測定値を、上記外挿法に従って換算した外挿値とした、化合物 (No . 1843) の物性値は以下の通りであった。

30

転移温度 : C 90 . 9 N 304 . 5 I

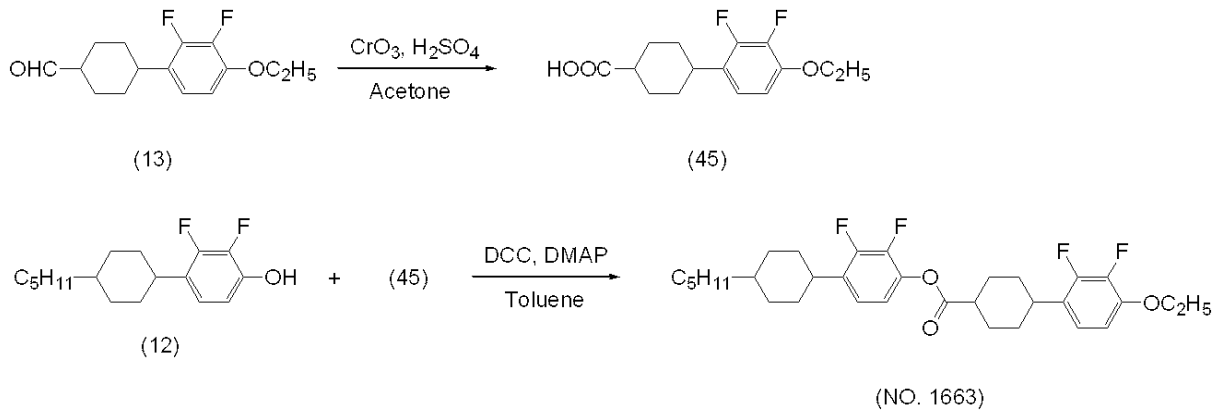
T_{NI} = 247 . 9 , = - 5 . 82 , n = 0 . 227

【 実施例 8 】

【 0284 】

トランス - (4 - エトキシ - 2 , 3 - ジフルオロフェニル) シクロヘキシル安息香酸 - トランス - 4 - ペンチルシクロヘキシル - 2 , 3 - ジフルオロフェニル エステル (No . 1663) の合成

40



10

【 0 2 8 5 】

第 1 工程

化合物 (1 3) 1 0 . 0 g、アセトン 5 0 m l を混合し、この混合物を、3 5 °C で 3 0 分攪拌した。この混合物に J o n e s 試薬 (8 N) を 4 . 7 m l を 3 0 ~ 4 0 °C の温度範囲で加えた後、3 5 °C で 2 時間攪拌させた。反応混合物を 3 0 °C まで冷却した後、得られた液にトルエン 2 0 0 m l と水 2 0 0 m l を加え混合した後、静置して有機層と水層の 2 層に分離させて、有機層への抽出操作を行った。得られた有機層を分取して、水、チオ硫酸ナトリウム水溶液、および水で洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥させ、4 - エトキシ - 2 , 3 - ジフルオロ - (トランス - 4 - シクロヘキシル) - カルボン酸 (4 5) 8 . 8 g を得た。化合物 (1 3) からの収率は 8 3 . 1 % であった。

20

【 0 2 8 6 】

第 2 工程

窒素雰囲気下、化合物 (4 5) 1 . 0 g、2 , 3 - ジフルオロ - 4 - (4 - プロピルシクロヘキシル) フェノール (1 2) 1 . 0 g、1 , 3 - ジシクロカルボジイミド (D C C) 0 . 7 5 g、および 4 - ジメチルアミノピリジン (D M A P) 0 . 0 4 g をトルエン 1 0 0 m l 中に加え、2 5 °C で 2 0 時間攪拌した。G C 分析により反応が終了していることを確認後、トルエン 1 0 0 m l および水 1 0 0 m l を加え、混合した。その後、静置して有機層と水層の 2 層に分離させて、有機層への抽出操作を行った。得られた有機層を分取して、水で洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。得られた溶液を減圧下、濃縮し、残渣をトルエンを展開溶媒、シリカゲルを充填剤として用いたカラムクロマトグラフィーによる分取操作で精製した。さらにヘプタンと T H F の混合溶媒 (体積比 ヘプタン : T H F = 2 : 1) からの再結晶により精製し、乾燥させ、トランス - (4 - エトキシ - 2 , 3 - ジフルオロフェニル) シクロヘキシル安息香酸 - トランス - 4 - ベンチルシクロヘキシル - 2 , 3 - ジフルオロフェニル エステル (N o . 1 6 6 3) 1 . 3 9 g を得た。化合物 (1 2) からの収率は 7 1 . 5 % であった。

30

【 0 2 8 7 】

¹H - N M R 分析の化学シフト (p p m) は以下の通りであり、得られた化合物が、トランス - (4 - エトキシ - 2 , 3 - ジフルオロフェニル) シクロヘキシル安息香酸 - トランス - 4 - ベンチルシクロヘキシル - 2 , 3 - ジフルオロフェニル エステル (N o . 1 6 6 3) であることが同定できた。なお、測定溶媒は C D C l ₃ である。

40

【 0 2 8 8 】

化学シフト (p p m) ; 6 . 8 8 (m , 2 H) , 6 . 6 2 (m , 2 H) , 4 . 0 6 (q , 2 H) , 3 . 8 3 (d , 2 H) , 2 . 8 6 (t t , 1 H) , 2 . 7 9 (t t , 1 H) , 2 . 0 4 (m , 2 H) , 1 . 9 3 (m , 2 H) , 1 . 8 5 (m , 5 H) , 1 . 5 9 - 1 . 3 8 (m , 7 H) , 1 . 3 6 - 1 . 2 7 (m , 1 1 H) , 1 . 0 4 (m , 2 H) , 0 . 8 9 (t , 3 H) .

【 0 2 8 9 】

転移温度は化合物自体の測定値とし、上限温度 (T_{NI})、誘電率異方性 ()、および光学異方性 (n) は、化合物を母液晶 (i) に混合した試料の測定値を、上記外挿法

50

に従って換算した、化合物 (No. 1663) の物性値は以下の通りであった。

転移温度 : C 92.6 N 289.4 I

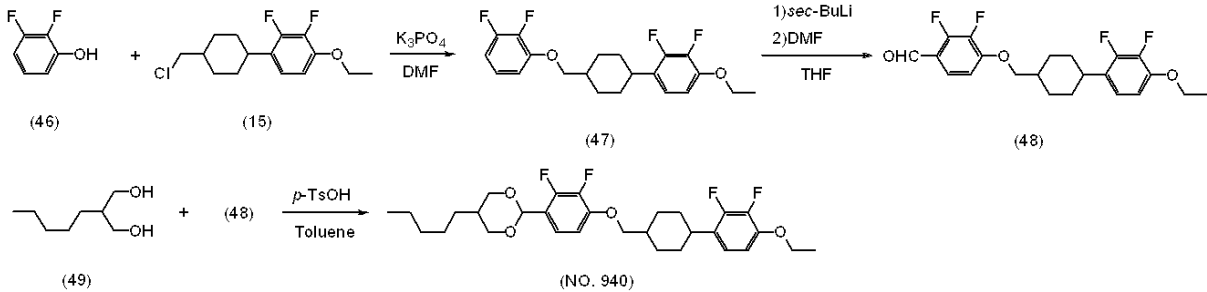
$T_{NI} = 219.9$, $\Delta T = -7.37$, $n = 0.140$

【実施例 9】

【0290】

2 - (4 - ((トランス - 4 - (4 - エトキシ - 2, 3 - ジフルオロフェニル) シクロヘキシル) メトキシ) - 2, 3 - ジフルオロフェニル) - 5 - ペンチル - 1, 3 - ジオキサン (No. 940) の合成

【0291】



10

【0292】

第 1 工程

窒素雰囲気下、DMF 200 ml に 2, 3 - ジフルオロフェノール (46) 13.8 g、およびリン酸三カリウム (K_3PO_4) 73.4 g を加え、70 で攪拌した。そこへ化合物 (15) 20.0 g を加え、70 で、7 時間攪拌した。得られた反応混合物を 30 まで冷却し、ろ過によって固形物と分離した後、トルエン 300 ml、および水 300 ml を加え混合した。その後、静置して有機層と水層の 2 層に分離させて、有機層への抽出操作を行った。得られた有機層を分取して、食塩水で洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。その後、減圧下、溶媒を留去し、得られた残渣をトルエンを展開溶媒、シリカゲルを充填剤として用いたカラムクロマトグラフィーによる分取操作で精製した。さらにソルミックス A - 11 と酢酸エチルの混合溶媒 (体積比 ソルミックス A - 11 : 酢酸エチル = 2 : 1) からの再結晶により精製し、乾燥させ、2, 3 - ジフルオロ - 4 - エトキシ - [トランス - 4 - (2, 3 - ジフルオロフェノキシメチル) シクロヘキシル] ベンゼン (47) 19.8 g を得た。化合物 (15) からの収率は 74.8 % であ

20

30

【0293】

第 2 工程

窒素雰囲気下の反応器へ、化合物 (47) 18.1 g と THF 200 ml とを加えて、-74 まで冷却した。そこへ、1.00 M sec - ブチルリチウム、n - ヘキサン、シクロヘキサン溶液 52.1 ml を -74 から -70 の温度範囲で滴下し、さらに 2 時間攪拌した。その後、THF 150 ml に溶解した DMF 3.8 g を、-74 から -70 の温度範囲でゆっくり滴下し、25 に戻しつつ 8 時間攪拌した。得られた反応混合物を、0 に冷却した 3% 塩化アンモニウム水溶液 300 ml とトルエン 200 ml とが入った容器中に添加して混合した後、静置して、有機層と水層とに分離させ抽出操作を行った。得られた有機層を分取し、水、飽和重曹水、および水で洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。その後、減圧下、溶媒を留去し、得られた残渣を THF とヘプタンの混合溶媒 (体積比 THF : ヘプタン = 1 : 5) からの再結晶により精製し、乾燥させ、2, 3 - ジフルオロ - 4 - エトキシ - [トランス - 4 - (2, 3 - ジフルオロフェノキシメチル) シクロヘキシル] ベンズアルデヒド (48) 16.0 g を得た。化合物 (47) からの収率は 82.4 % であった。

40

【0294】

第 3 工程

化合物 (48) 3.0 g、2 - ペンチルプロパン - 1, 3 - ジオール 1.6 g、p

50

- トルエンスルホン酸 0.02 g、およびトルエン 100 ml を混合し、この混合物を、2 時間加熱還流させた。反応混合物を 30 °C まで冷却した後、得られた液に水 100 ml とトルエン 100 ml とを加え混合した後、静置して有機層と水層の 2 層に分離させて、有機層への抽出操作を行った。得られた有機層を分取して、飽和重曹水、および水で洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。得られた溶液を、トルエンを展開溶媒とし、シリカゲルを充填剤として用いたカラムクロマトグラフィーによる分取操作で精製した。その後、減圧下、溶媒を留去し、得られた残渣を THF とヘプタンの混合溶媒（体積比 THF : ヘプタン = 1 : 5）からの再結晶により精製し、乾燥させ、2 - (4 - (トランス - 4 - (4 - エトキシ - 2,3 - ジフルオロフェニル)シクロヘキシル)メトキシ) - 2,3 - ジフルオロフェニル) - 5 - ペンチル - 1,3 - ジオキサン (No. 940) 1.9 g を得た。化合物 (48) からの収率は 48.3% であった。

10

【0295】

¹H - NMR 分析の化学シフト (ppm) は以下の通りであり、得られた化合物が、2 - (4 - (トランス - 4 - (4 - エトキシ - 2,3 - ジフルオロフェニル)シクロヘキシル)メトキシ) - 2,3 - ジフルオロフェニル) - 5 - ペンチル - 1,3 - ジオキサン (No. 940) であることが同定できた。なお、測定溶媒は CDCl₃ である。

【0296】

化学シフト (ppm) ; 7.28 (m, 2H), 6.84 (t, 1H), 6.74 (t, 1H), 6.67 (t, 1H), 5.63 (s, 1H), 4.21 (dd, 2H), 4.12 (q, 2H), 3.88 (d, 2H), 3.54 (t, 2H), 2.80 (tt, 1H), 2.12 (m, 1H), 2.02 (m, 2H), 1.91 (m, 3H), 1.55 - 1.48 (m, 2H), 1.44 (t, 3H), 1.36 - 1.20 (m, 8H), 1.10 (m, 2H), 0.89 (t, 3H) .

20

【0297】

転移温度は化合物自体の測定値とし、上限温度 (T_{NI})、誘電率異方性 (ε_a)、および光学異方性 (n) は、化合物を母液晶 (i) に混合した試料の測定値を、上記外挿法に従って換算した、化合物 (No. 940) の物性値は以下の通りであった。

転移温度 : C 102.5 N 185.8 I

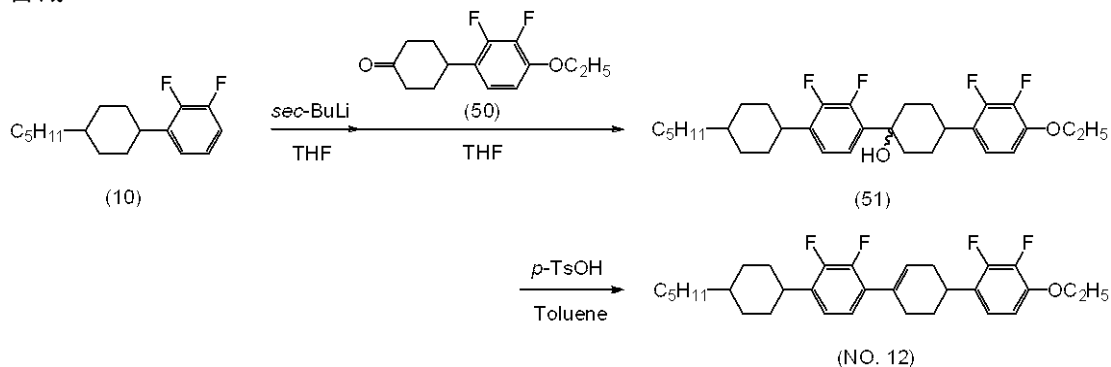
T_{NI} = 174.6 , ε_a = -3.69 , n = 0.137

【実施例 10】

30

【0298】

1 - (4 - (2,3 - ジフルオロ - 4 - (4 - ペンチルシクロヘキシル)フェニル)シクロヘキサ - 3 - エニル) - 4 - エトキシ - 2,3 - ジフルオロベンゼン (No. 12) の合成



40

【0299】

第 1 工程

窒素雰囲気下の反応器へ、4 - ペンチル - (2,3 - ジフルオロフェニル)シクロヘキサン (10) 5.0 g と THF 100 ml とを加えて、-74 °C まで冷却した。そこへ、1.00 M sec - ブチルリチウム、n - ヘキサン、シクロヘキサン溶液 23.0 ml を -74 °C から -70 °C の温度範囲で滴下し、さらに 2 時間攪拌した。その後、

50

THF 150 ml に溶解した 1 - (4 - エトキシ - 2 , 3 - ジフルオロフェニル) - シクロヘキサン - 4 - オン (50) 4 . 8 g を、 - 74 から - 70 の温度範囲でゆっくり滴下し、25 に戻しつつ8時間攪拌した。得られた反応混合物を、0 に冷却した3% 塩化アンモニウム水溶液 500 ml とトルエン 300 ml とが入った容器中に添加して混合した後、静置して、有機層と水層とに分離させ抽出操作を行った。得られた有機層を分取し、水、飽和重曹水、および水で洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。その後、減圧下、溶媒を留去し、1 - (2 , 3 - ジフルオロ - 4 - (4 - ペンチルシクロヘキシル) フェニル) - 4 - (4 - エトキシ - 2 , 3 - ジフルオロフェニル) シクロヘキサノール (51) 9 . 7 g を得た。得られた化合物 (51) は黄色固形物であった。

【 0 3 0 0 】

10

第2工程

化合物 (51) 9 . 7 g、p - トルエンスルホン酸 0 . 15 g、およびトルエン 200 ml を混合し、この混合物を、留出する水を抜きながら2時間加熱還流させた。反応混合物を30 まで冷却した後、得られた液に水 200 ml とトルエン 300 ml とを加え混合した後、静置して有機層と水層の2層に分離させて、有機層への抽出操作を行った。得られた有機層を分取して、飽和重曹水、および水で洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。得られた溶液を、ヘプタンとトルエンの混合溶媒 (体積比 ヘプタン : トルエン = 2 : 3) を展開溶媒とし、シリカゲルを充填剤として用いたカラムクロマトグラフィーによる分取操作で精製した。溶媒を留去して、得られた残渣を、トルエンを展開溶媒とし、シリカゲルを充填剤として用いたカラムクロマトグラフィーによる分取操作で精製し、さらにソルミックス A - 11 と酢酸エチルの混合溶媒 (体積比 ソルミックス A - 11 : 酢酸エチル = 2 : 1) からの再結晶により精製し、乾燥させ、1 - (4 - (2 , 3 - ジフルオロ - 4 - (4 - ペンチルシクロヘキシル) フェニル) シクロヘキサ - 3 - エニル) - 4 - エトキシ - 2 , 3 - ジフルオロベンゼン (No . 12) 4 . 7 g を得た。化合物 (10) からの収率は49 . 8 %であった。

20

【 0 3 0 1 】

^1H - NMR 分析の化学シフト (ppm) は以下の通りであり、得られた化合物が、1 - (4 - (2 , 3 - ジフルオロ - 4 - (4 - ペンチルシクロヘキシル) フェニル) シクロヘキサ - 3 - エニル) - 4 - エトキシ - 2 , 3 - ジフルオロベンゼン (No . 12) であることが同定できた。なお、測定溶媒は CDCl_3 である。

30

【 0 3 0 2 】

化学シフト (ppm) ; 6 . 98 - 6 . 88 (m , 3 H) , 6 . 70 (t , 1 H) , 6 . 02 (m , 1 H) , 4 . 11 (q , 2 H) , 3 . 20 (m , 1 H) , 2 . 82 (tt , 1 H) , 2 . 65 - 2 . 40 (m , 3 H) , 2 . 36 - 2 . 27 (m , 1 H) , 2 . 05 - 2 . 00 (m , 1 H) , 2 . 00 - 1 . 84 (m , 5 H) , 1 . 55 - 1 . 42 (m , 5 H) , 1 . 38 - 1 . 20 (m , 9 H) , 1 . 14 - 1 . 03 (m , 2 H) , 0 . 90 (t , 3 H) .

【 0 3 0 3 】

転移温度は化合物自体の測定値とし、上限温度 (T_{NI})、誘電率異方性 ()、および光学異方性 (n) は、化合物を母液晶 (i) に混合した試料の測定値を、上記外挿法に従って換算した、化合物 (No . 12) の物性値は以下の通りであった。

40

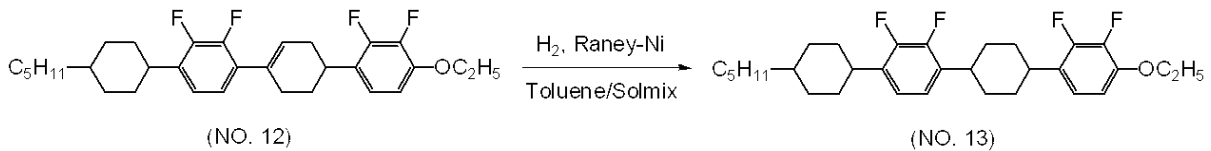
転移温度 : C 83 . 1 N 218 . 4 I

$T_{NI} = 184 . 6$, $\epsilon = -6 . 46$, $n = 0 . 140$

【実施例 11】

【 0 3 0 4 】

1 - (4 - (2 , 3 - ジフルオロ - 4 - (4 - ペンチルシクロヘキシル) フェニル) シクロヘキシル) - 4 - エトキシ - 2 , 3 - ジフルオロベンゼン (No . 13) の合成



【0305】

第1工程

トルエン 150 ml、ソルミックスA - 11 150 mlとの混合溶媒に化合物 (No. 832) 3.5 gを溶解させ、さらにラネーニッケルを0.35 g加え、水素雰囲気下、水素を吸収しなくなるまで室温で攪拌した。反応終了後、ラネーニッケルを除去して、さらに溶媒を留去して、得られた残渣をヘプタンとトルエンの混合溶媒 (体積比 ヘプタン:トルエン = 2:3) を展開溶媒、シリカゲルを充填剤として用いたカラムクロマトグラフィーによる分取操作で精製し、さらに得られた残渣を酢酸エチルとソルミックスA - 11の混合溶媒 (体積比 酢酸エチル:ソルミックス = 1:2) からの再結晶により精製し、乾燥させ、1 - (4 - (2, 3 - ジフルオロ - 4 - (4 - ペンチルシクロヘキシル) フェニル) シクロヘキシル) - 4 - エトキシ - 2, 3 - ジフルオロベンゼン (No. 13) 3.1 gを得た。化合物 (No. 12) からの収率は85.4%であった。

10

【0306】

$^1\text{H-NMR}$ 分析の化学シフト (ppm) は以下の通りであり、得られた化合物が、1 - (4 - (2, 3 - ジフルオロ - 4 - (4 - ペンチルシクロヘキシル) フェニル) シクロヘキシル) - 4 - エトキシ - 2, 3 - ジフルオロベンゼン (No. 13) であることが同定できた。なお、測定溶媒は CDCl_3 である。

20

【0307】

化学シフト (ppm); 6.96 - 6.86 (m, 3H), 6.70 (t, 1H), 4.10 (q, 2H), 2.97 - 2.85 (m, 2H), 2.80 (tt, 1H), 1.98 (d, 4H), 1.86 (d, 4H), 1.65 (m, 4H), 1.53 - 1.41 (m, 5H), 1.36 - 1.18 (m, 9H), 1.13 - 1.02 (m, 2H), 0.89 (t, 3H).

【0308】

転移温度は化合物自体の測定値とし、上限温度 (T_{NI})、誘電率異方性 ()、および光学異方性 (n) は、化合物を母液晶 (i) に混合した試料の測定値を、上記外挿法に従って換算した、化合物 (No. 13) の物性値は以下の通りであった。

30

転移温度 : C 144.9 N 263.2 I

$T_{NI} = 191.6$, $\epsilon = -4.22$, $n = 0.137$

【実施例12】

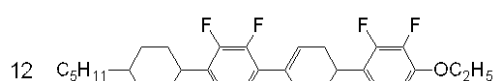
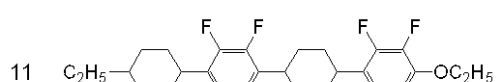
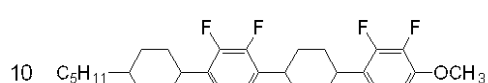
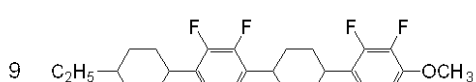
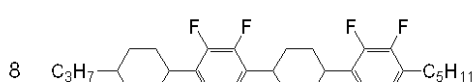
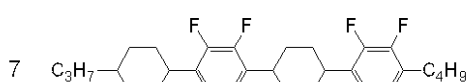
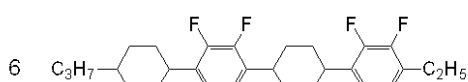
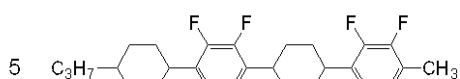
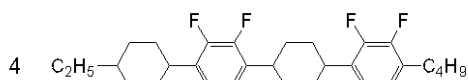
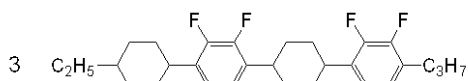
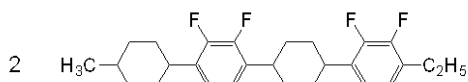
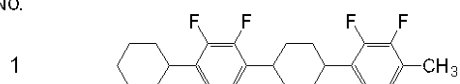
【0309】

実施例1 ~ 11に記載された合成方法と同様の方法により以下に示す、化合物 (No. 1) ~ (No. 4890) を合成することができる。付記したデータは前記した手法に従い、測定した値である。転移温度は化合物自体の測定値であり、上限温度 (T_{NI})、誘電率異方性 ()、および光学異方性 (n) は、化合物を母液晶 (i) に混合した試料の測定値を、上記外挿法に従って換算した値である。なお、化合物 No. 940、951、1041、1123 は母液晶95重量%、化合物5重量%とからなる液晶組成物を調製し、得られた液晶組成物の物性を測定し、測定値を外挿したもの、化合物 No. 13、3921 は母液晶90重量%、化合物10重量%とからなる液晶組成物を調製し、得られた液晶組成物の物性を測定し、測定値を外挿したもの、化合物 No. 12、943、1663、1843、3823 は母液晶85重量%、化合物15重量%とからなる液晶組成物を調製し、得られた液晶組成物の物性を測定し、測定値を外挿したものである。

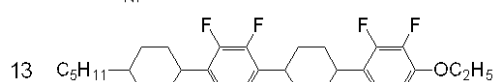
40

【0310】

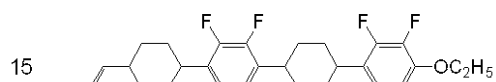
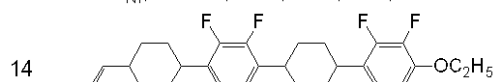
No.



C 83.1 N 218.4 I

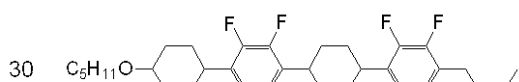
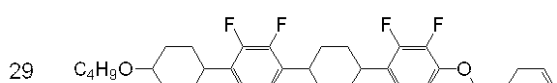
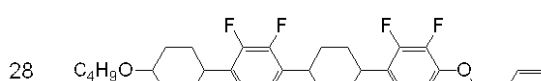
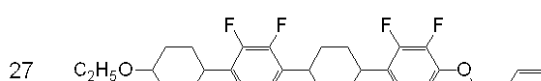
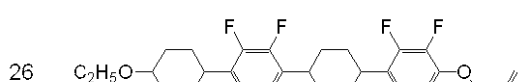
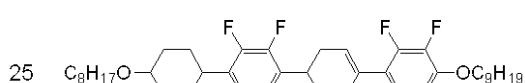
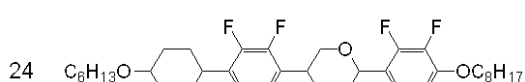
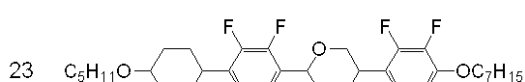
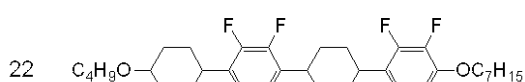
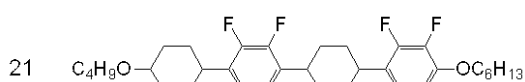
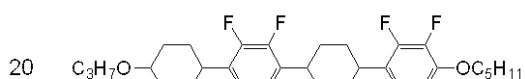
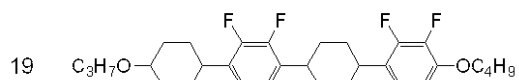
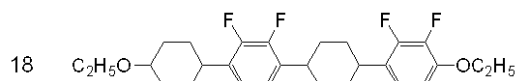
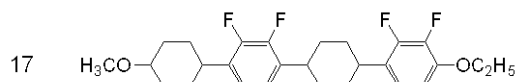
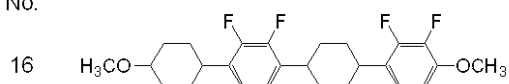
 $T_{NI}; 184.6^{\circ}\text{C}, \Delta \epsilon; -6.46, \Delta n; 0.140$ 

C 144.9 N 263.2 I

 $T_{NI}; 191.6^{\circ}\text{C}, \Delta \epsilon; -4.22, \Delta n; 0.137$ 

【 0 3 1 1 】

No.



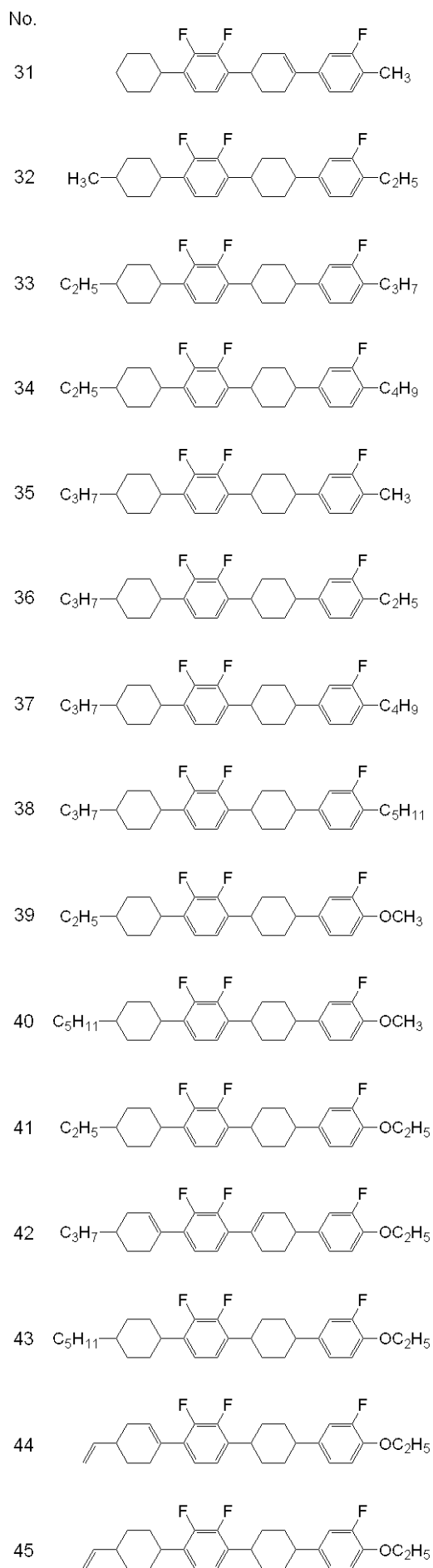
10

20

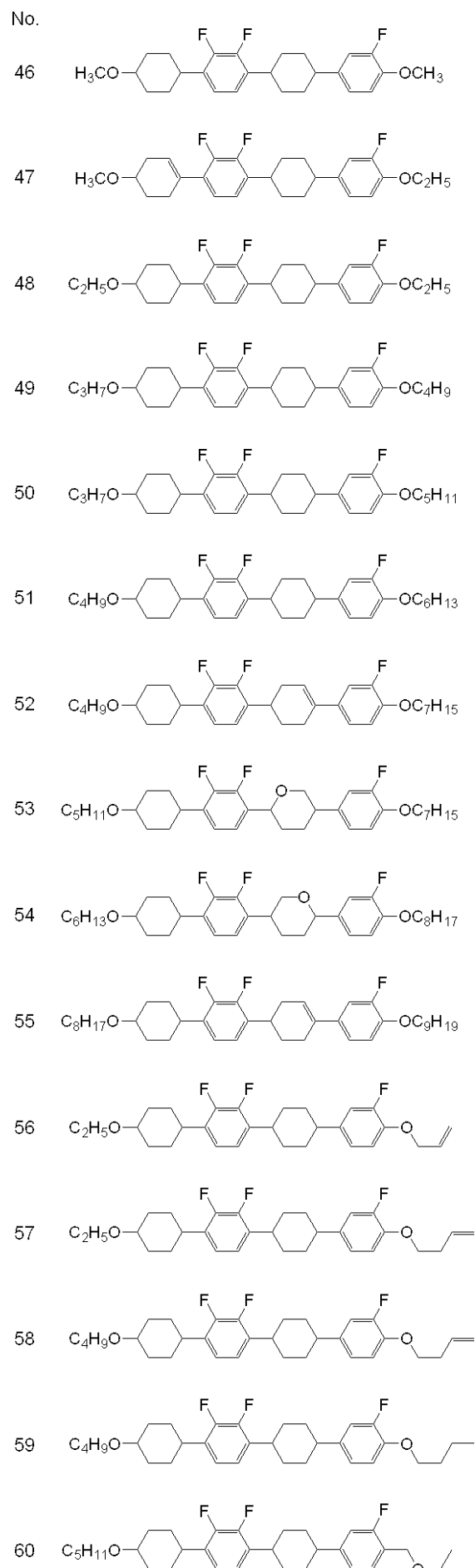
30

40

50



【 0 3 1 2 】



10

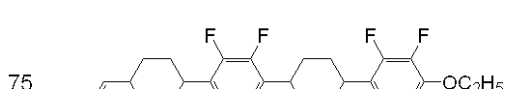
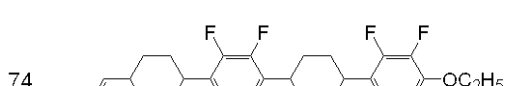
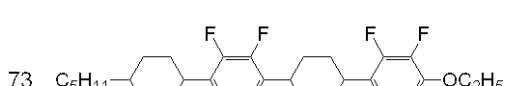
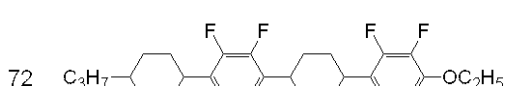
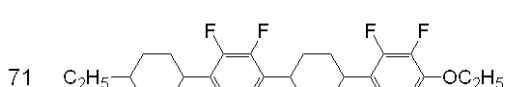
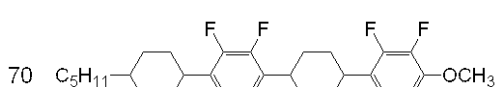
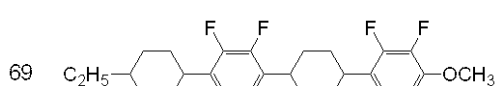
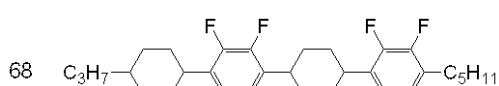
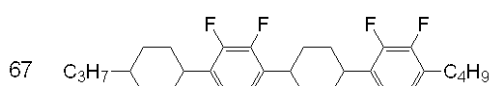
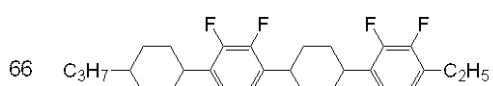
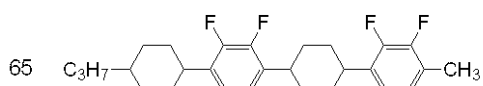
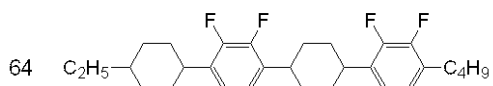
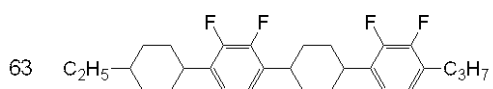
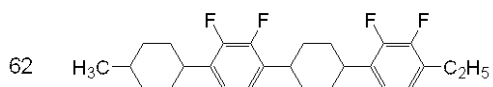
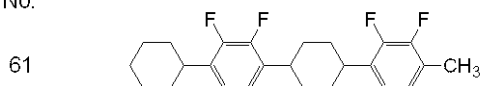
20

30

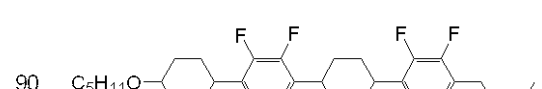
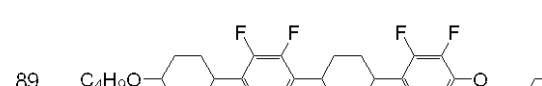
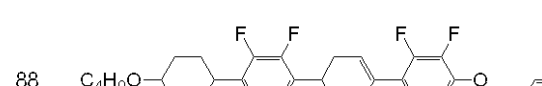
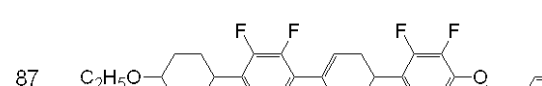
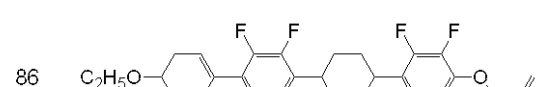
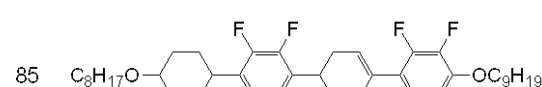
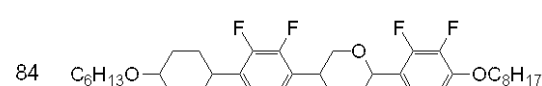
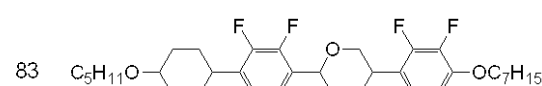
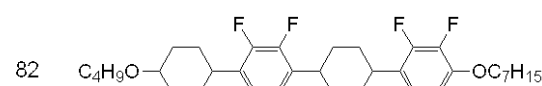
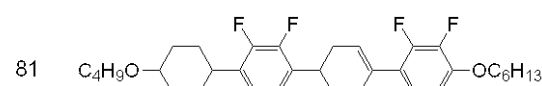
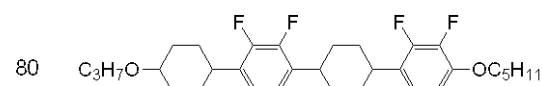
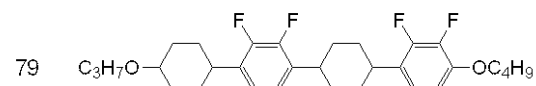
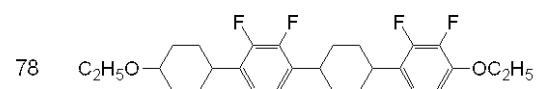
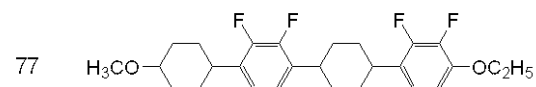
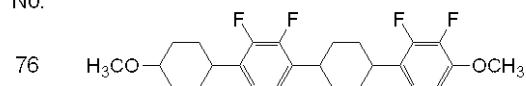
40

50

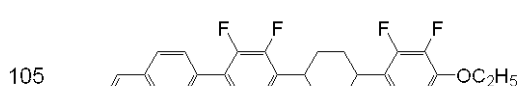
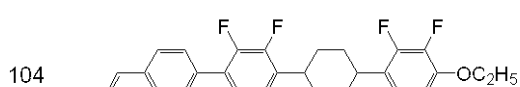
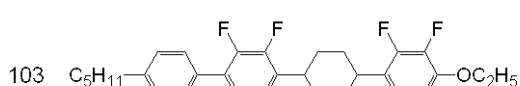
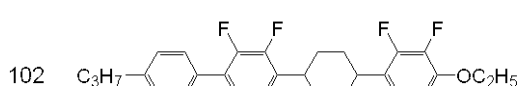
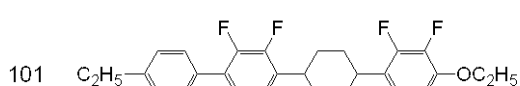
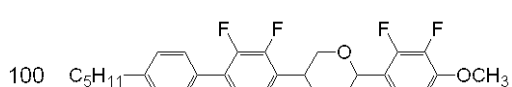
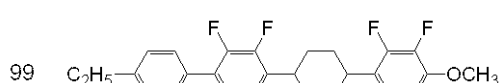
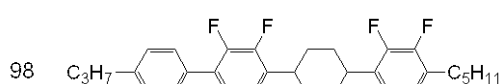
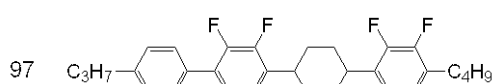
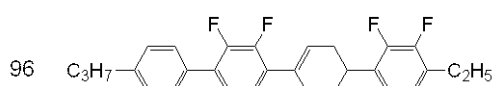
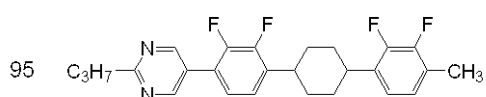
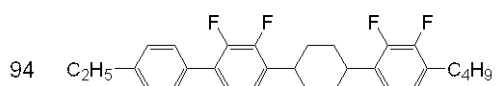
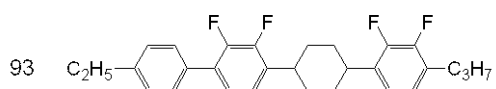
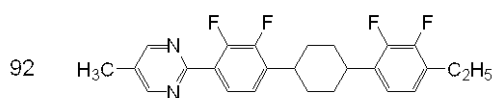
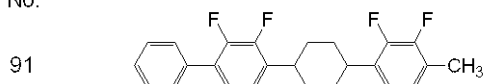
No.



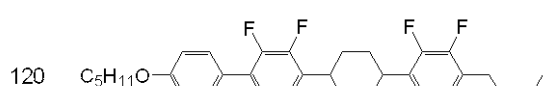
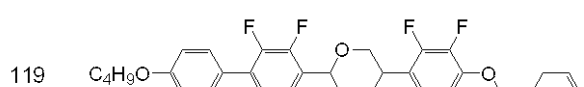
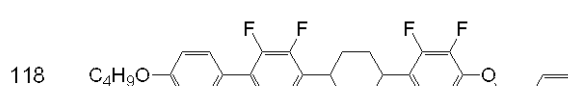
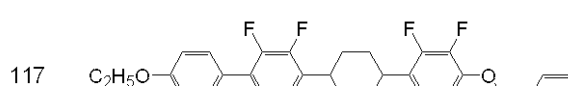
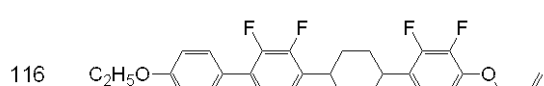
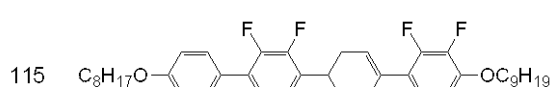
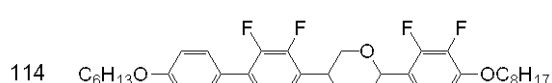
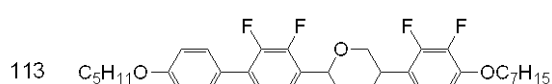
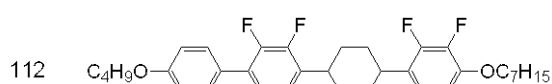
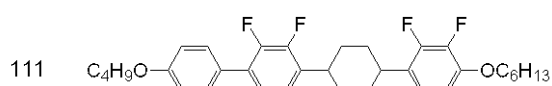
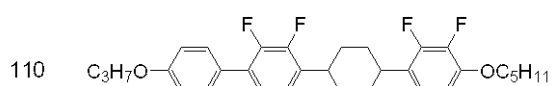
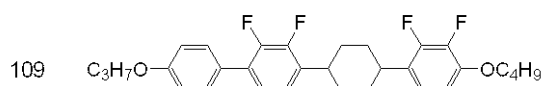
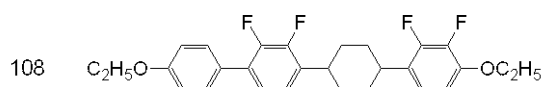
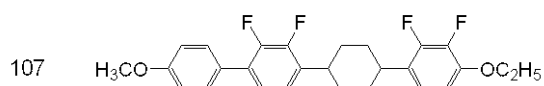
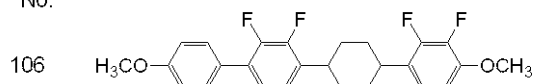
No.



No.



No.



【 0 3 1 4 】

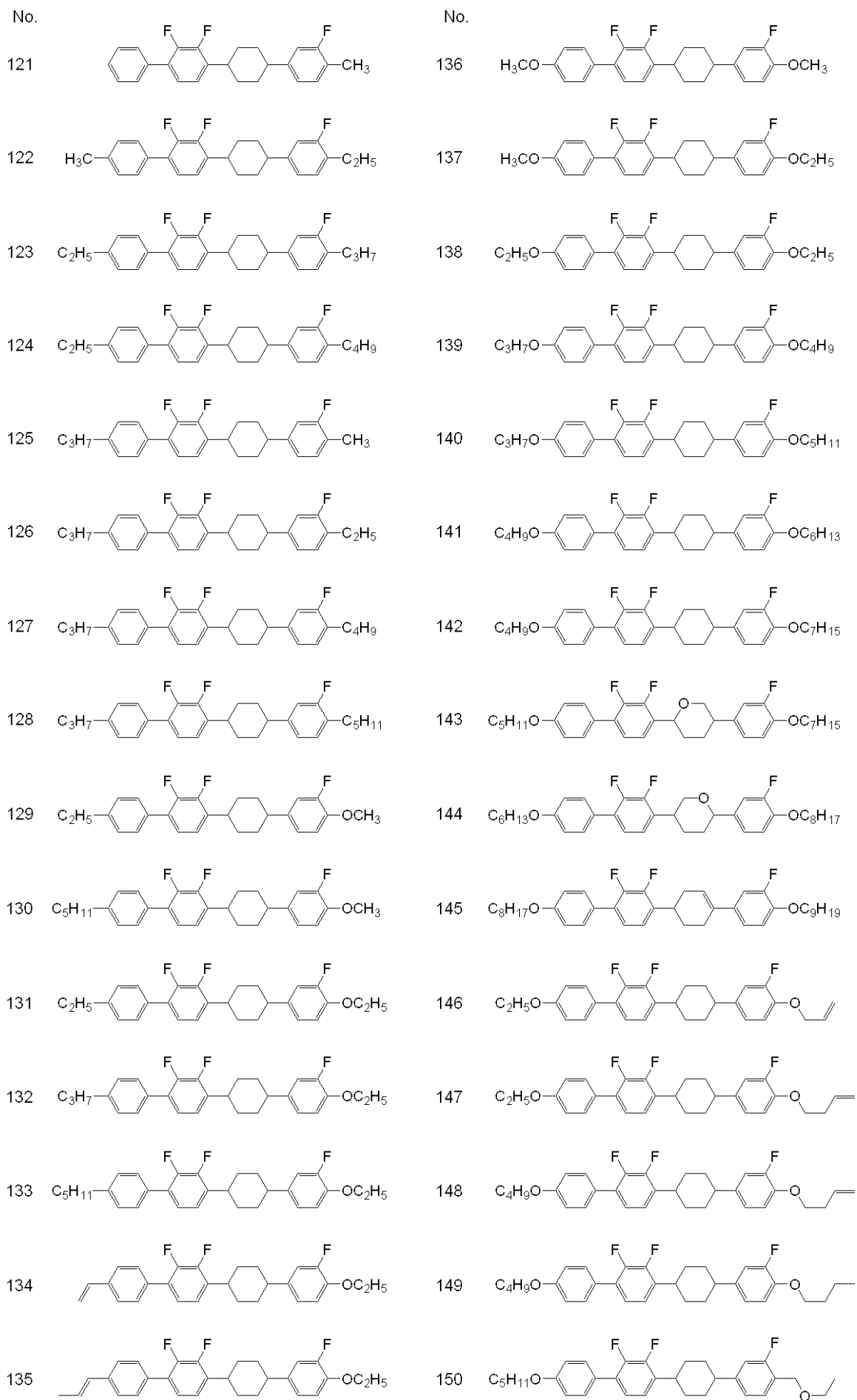
10

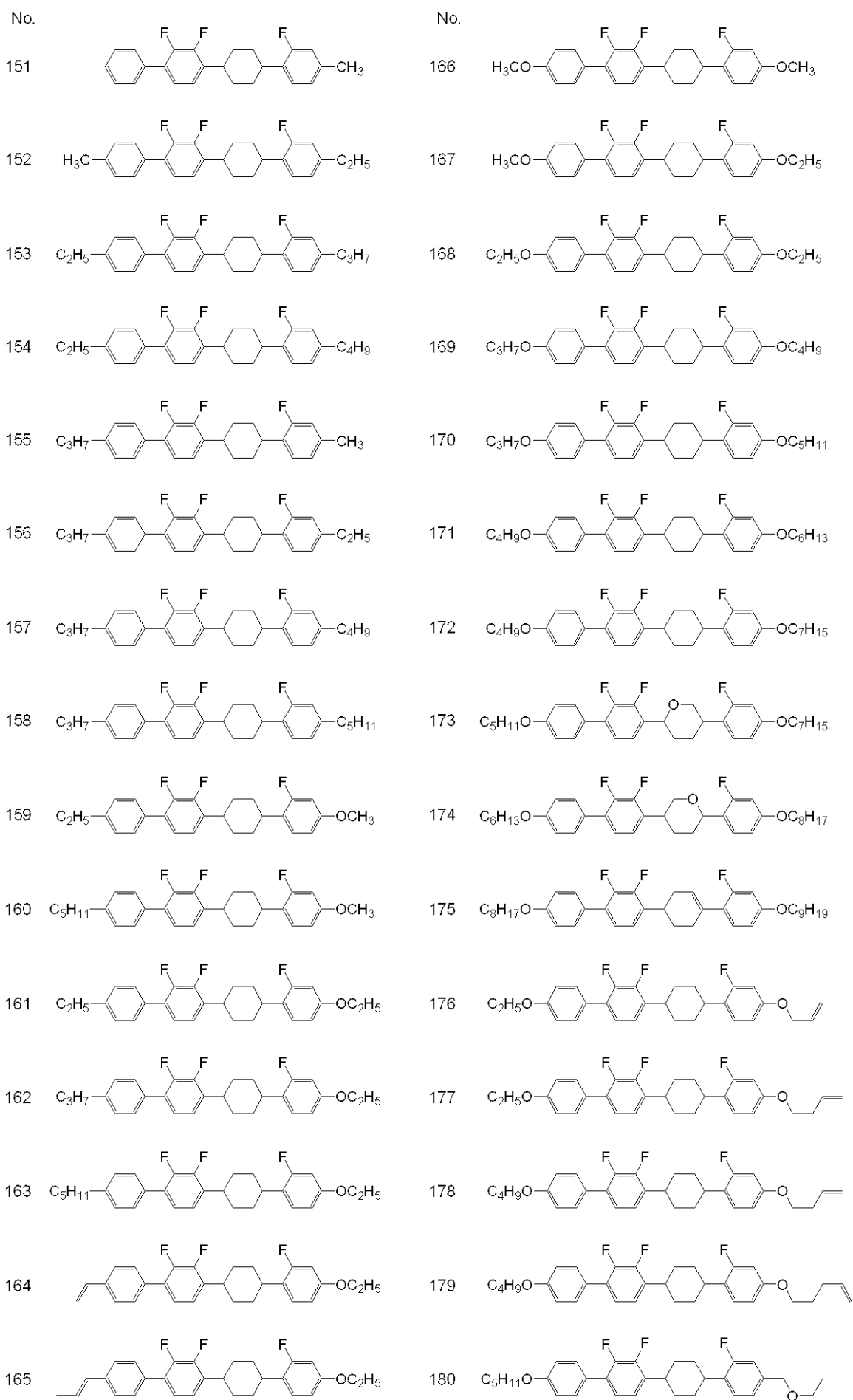
20

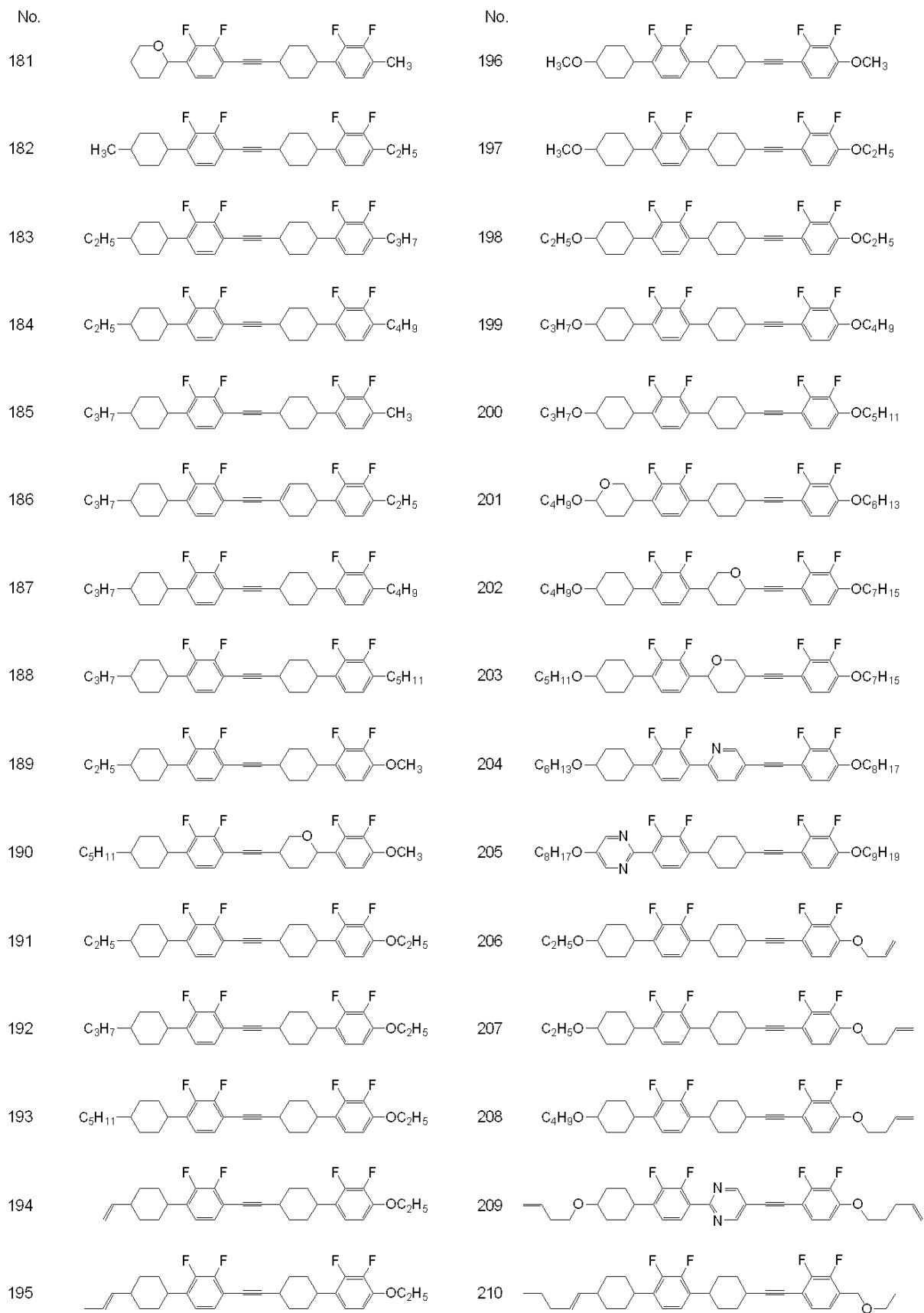
30

40

50







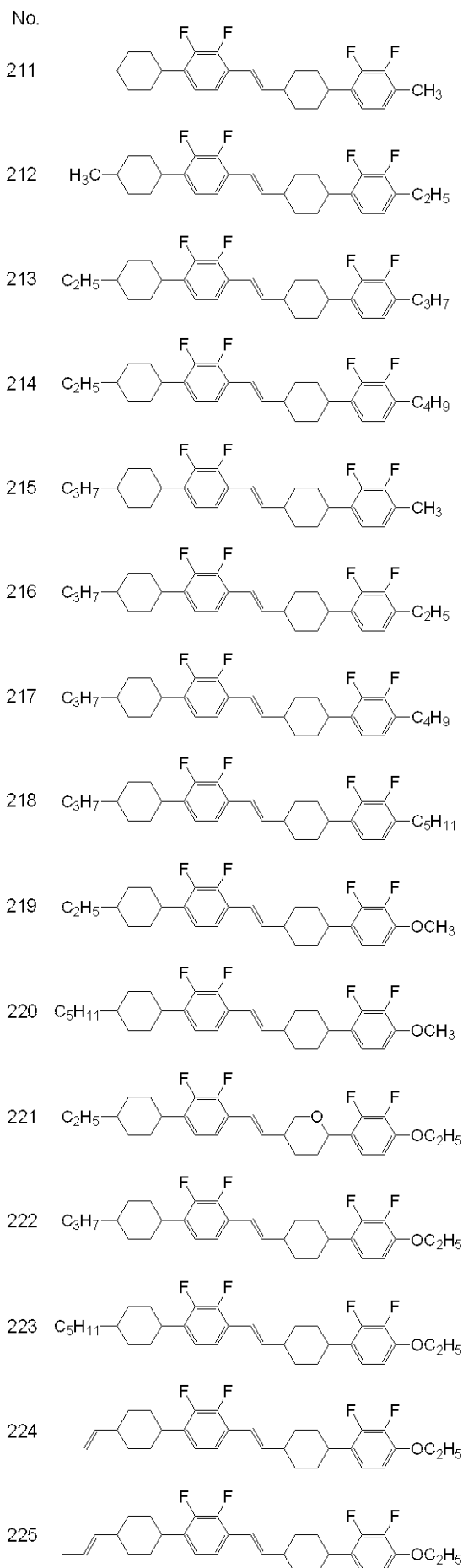
【 0 3 1 7 】

10

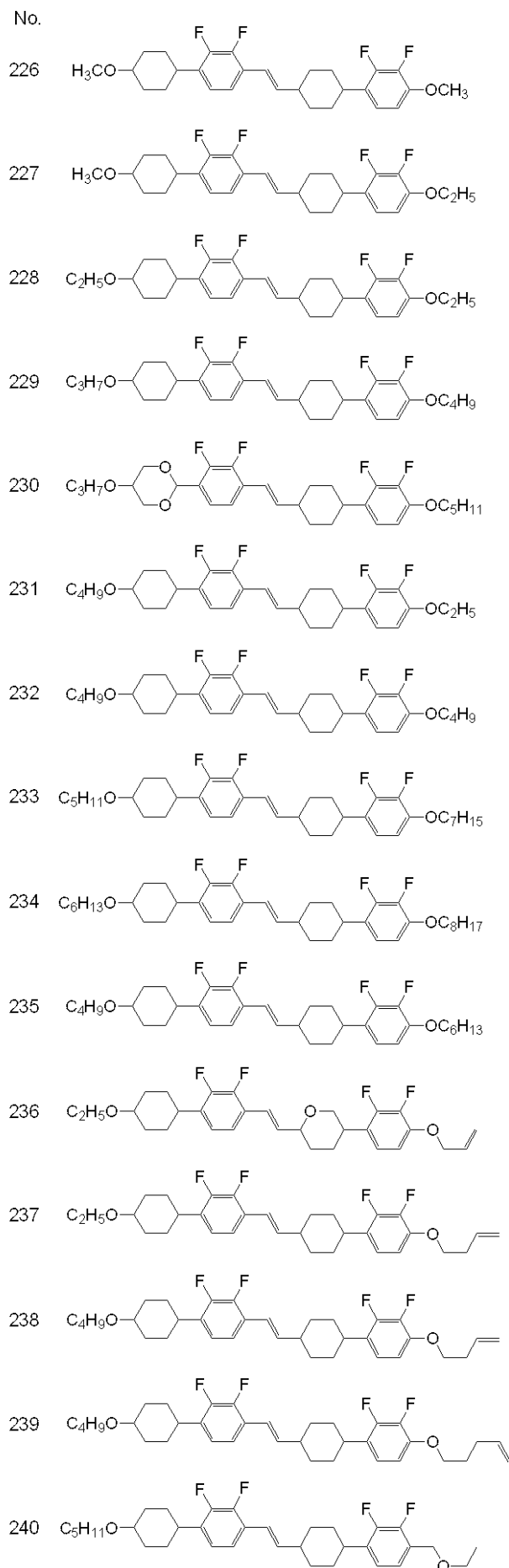
20

30

40



【 0 3 1 8 】



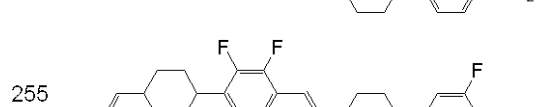
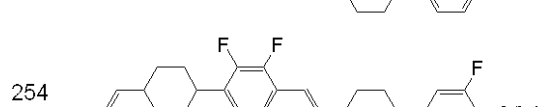
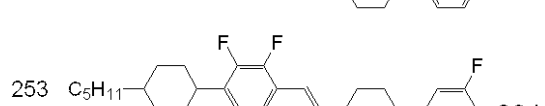
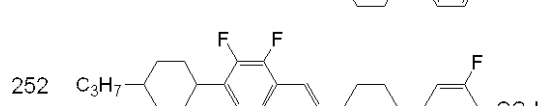
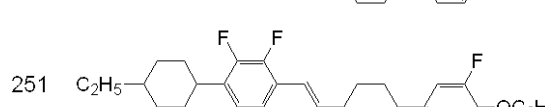
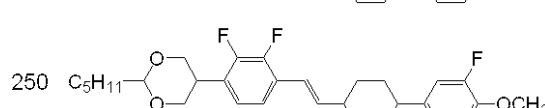
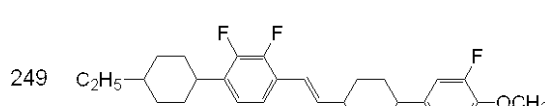
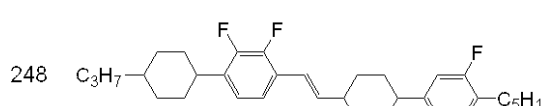
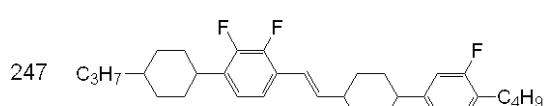
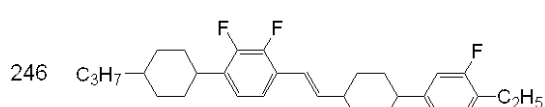
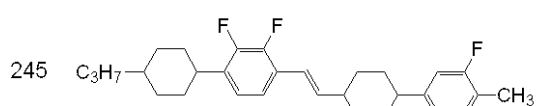
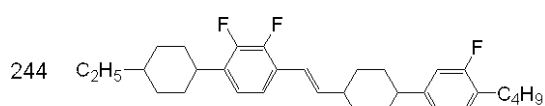
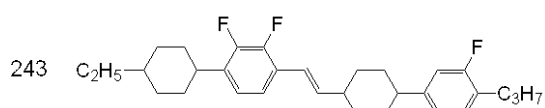
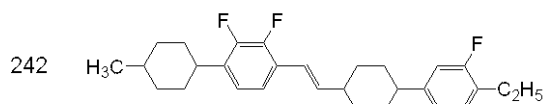
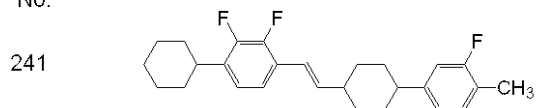
10

20

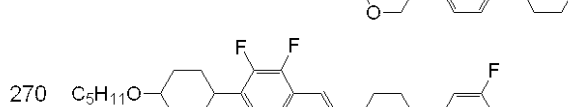
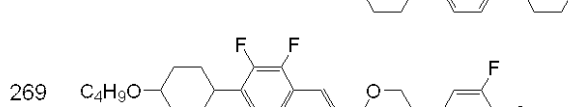
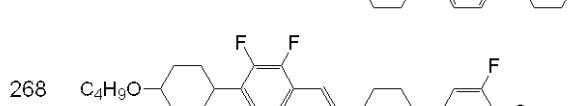
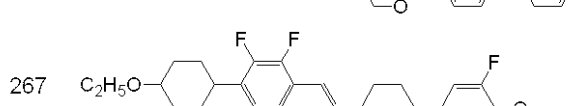
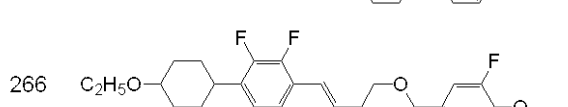
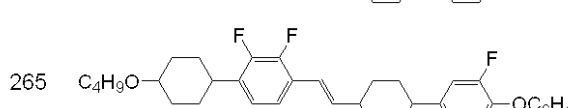
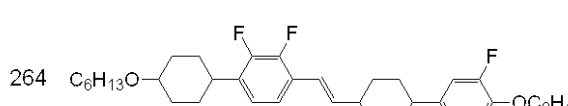
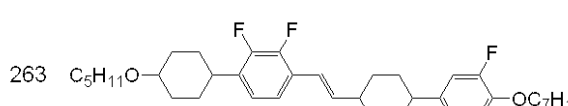
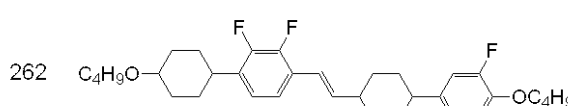
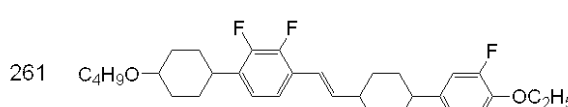
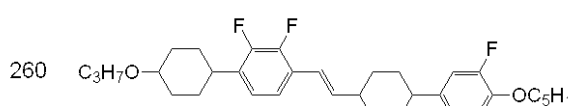
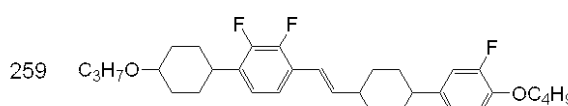
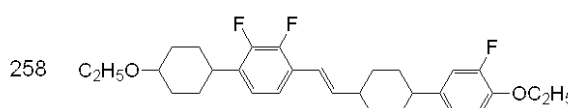
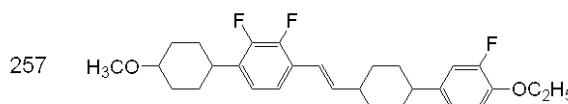
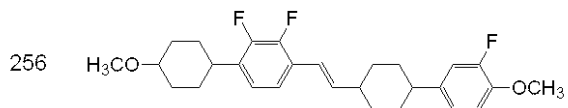
30

40

No.



No.



【 0 3 1 9 】

10

20

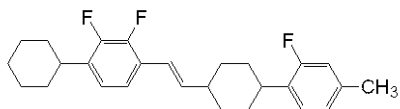
30

40

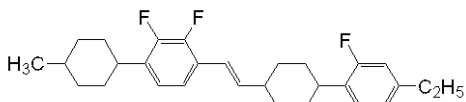
50

No.

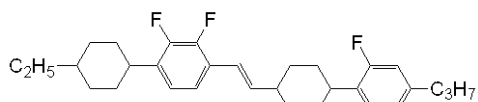
271



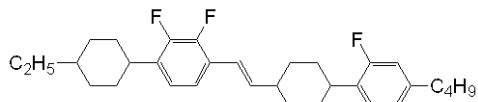
272



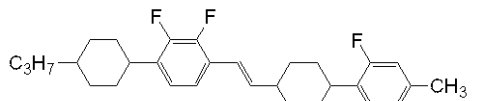
273



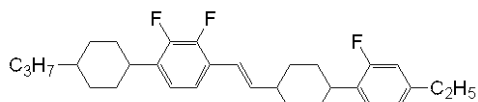
274



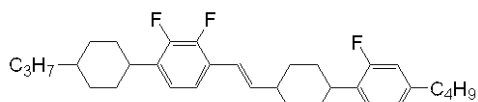
275



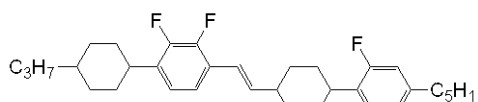
276



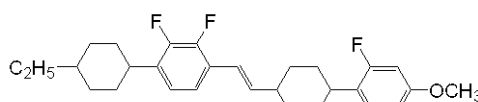
277



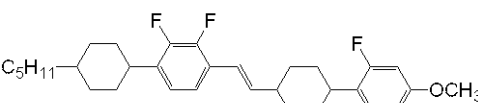
278



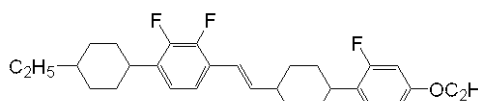
279



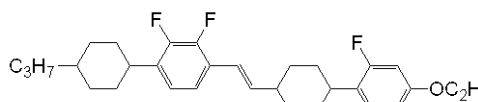
280



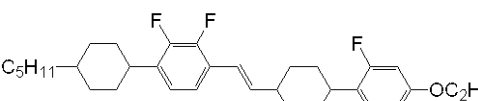
281



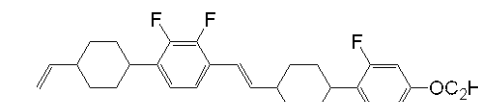
282



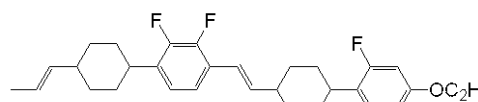
283



284

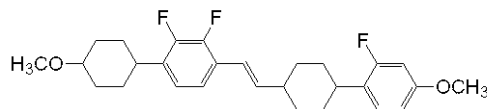


285

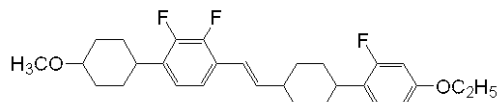


No.

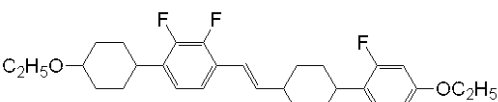
286



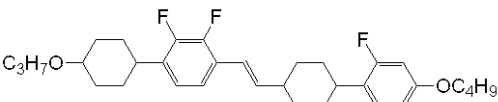
287



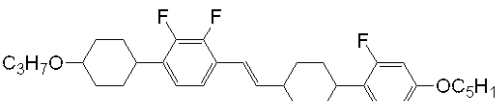
288



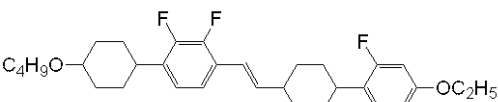
289



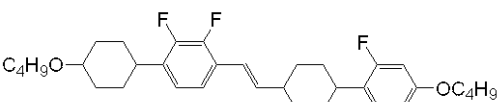
290



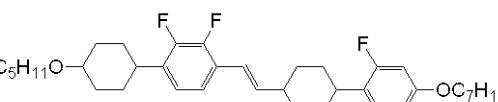
291



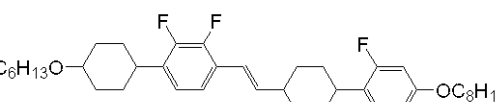
292



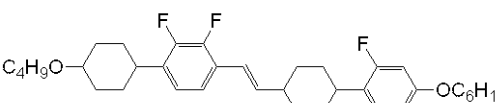
293



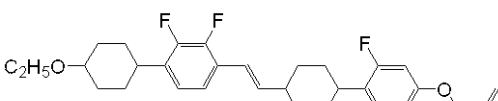
294



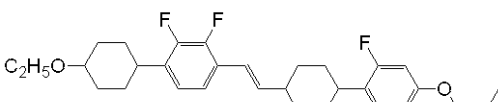
295



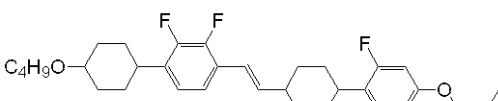
296



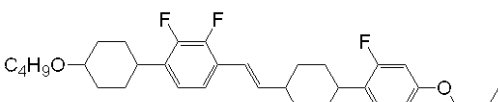
297



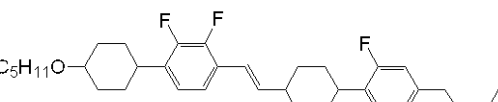
298

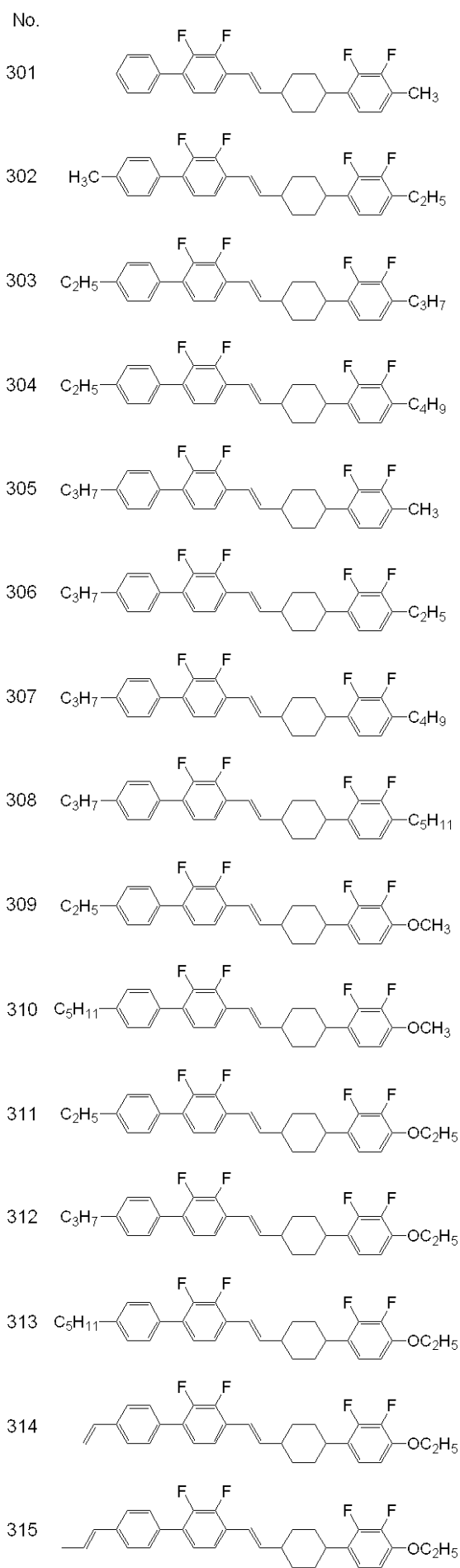


299

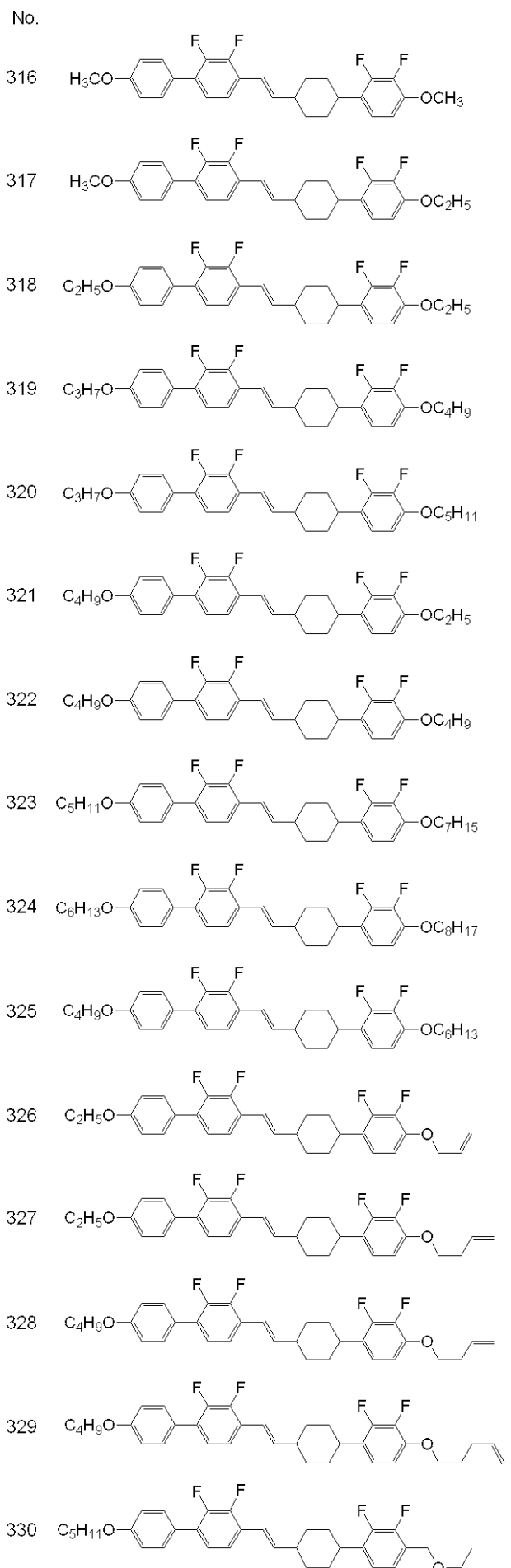


300





【 0 3 2 1 】



10

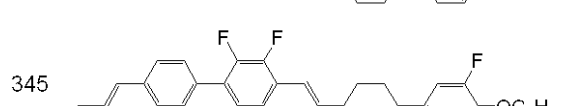
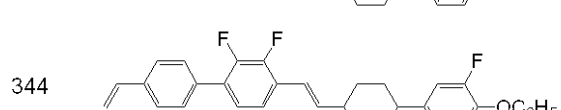
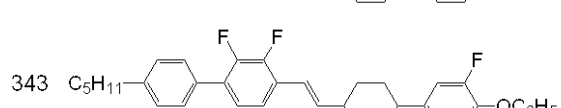
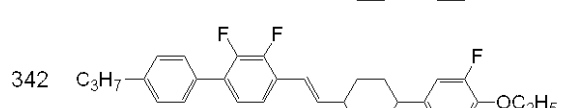
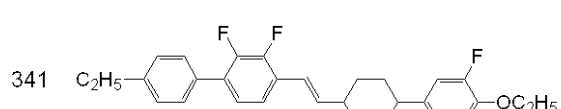
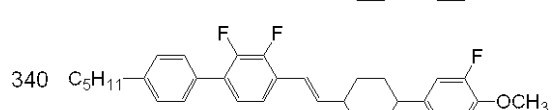
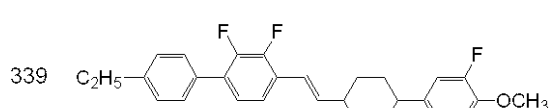
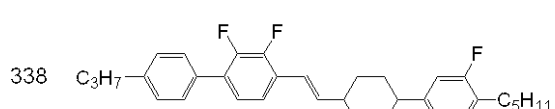
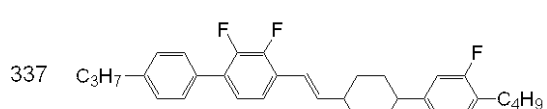
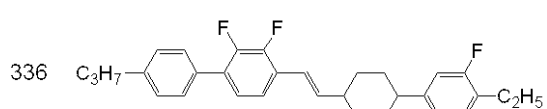
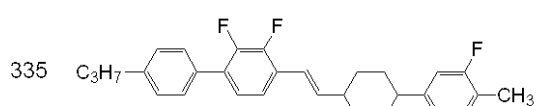
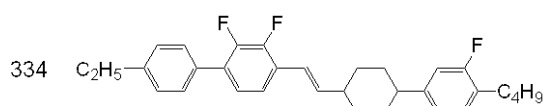
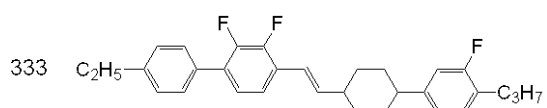
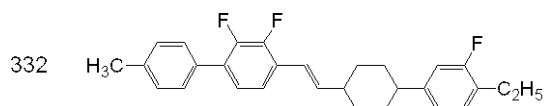
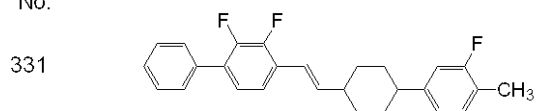
20

30

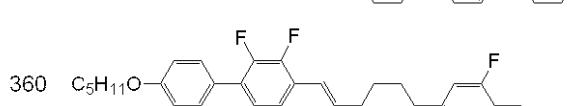
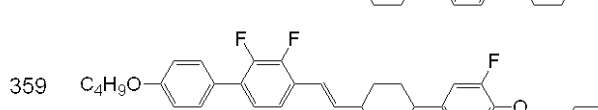
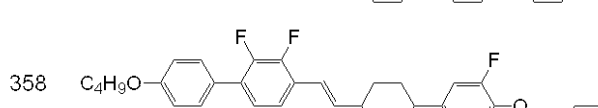
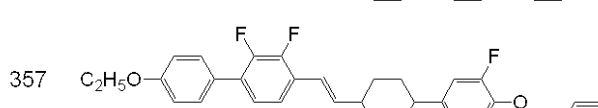
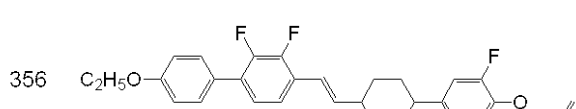
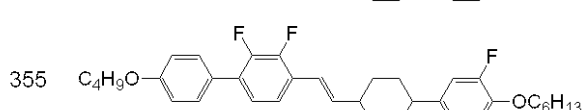
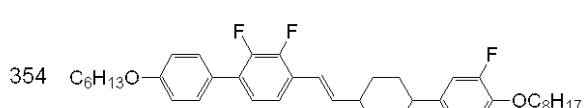
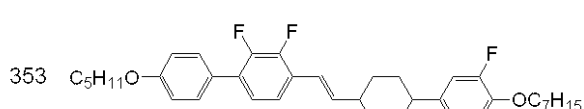
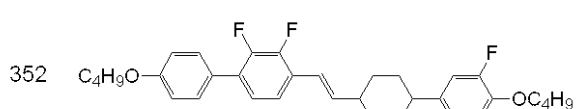
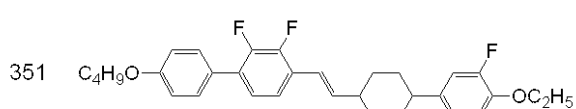
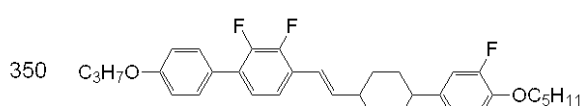
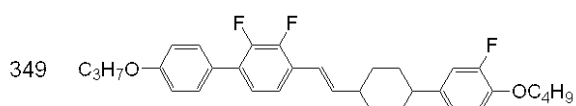
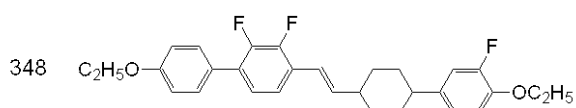
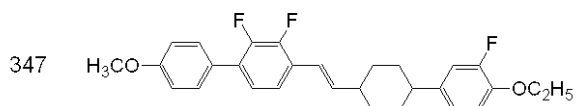
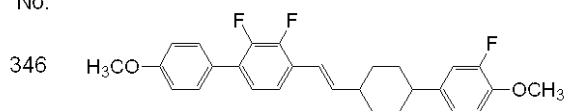
40

50

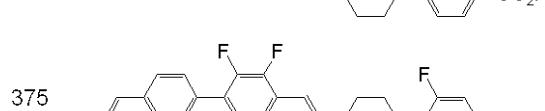
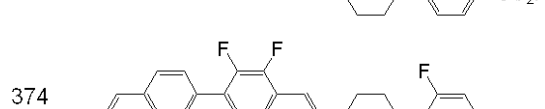
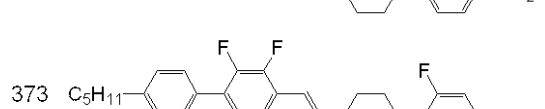
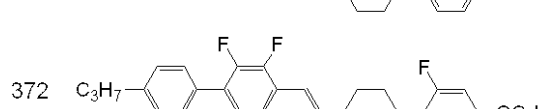
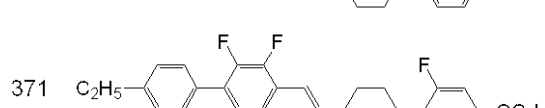
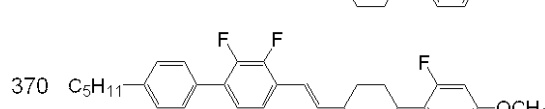
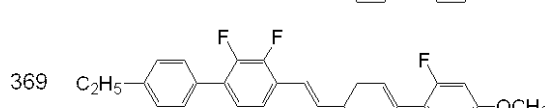
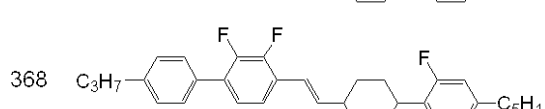
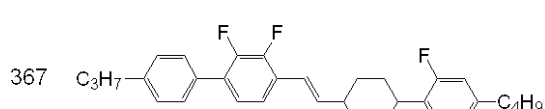
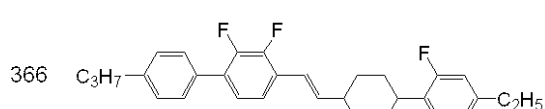
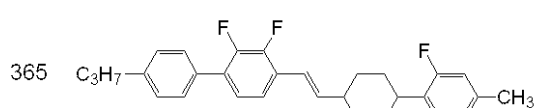
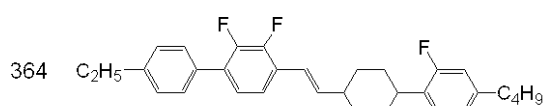
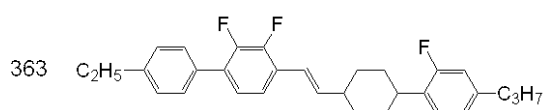
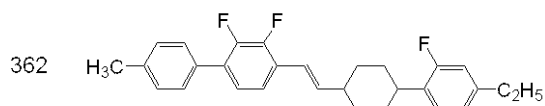
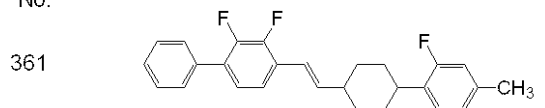
No.



No.

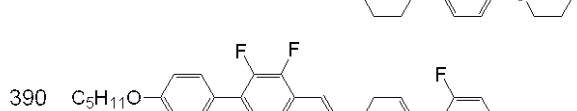
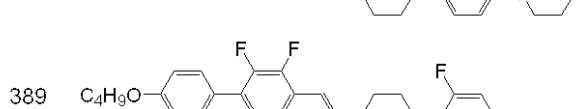
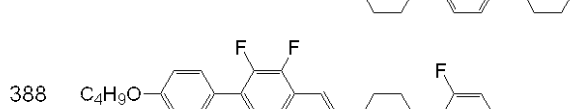
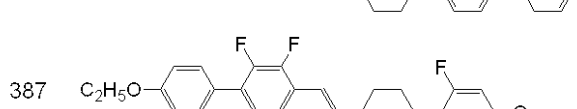
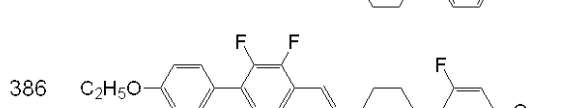
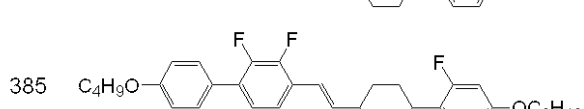
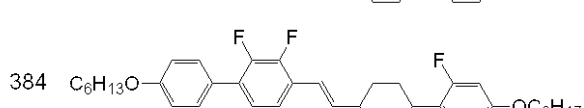
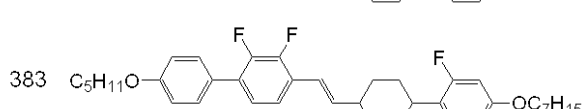
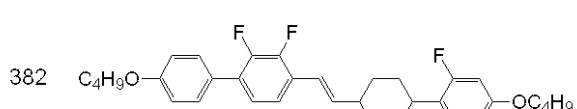
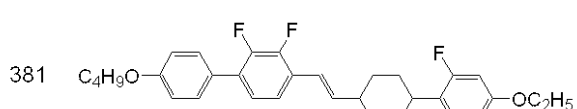
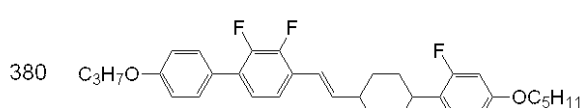
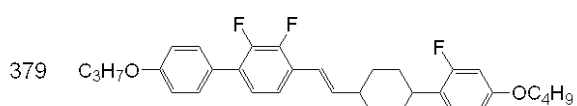
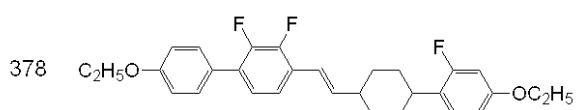
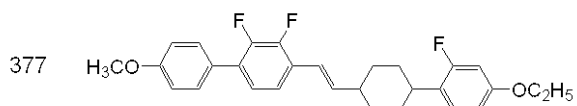
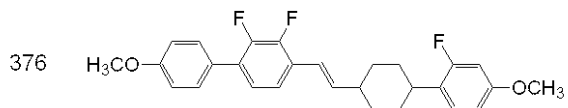


No.



【 0 3 2 3 】

No.



10

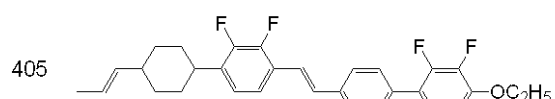
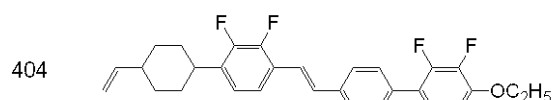
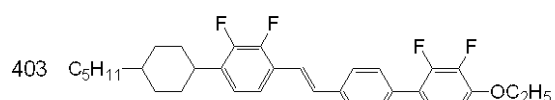
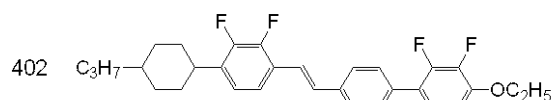
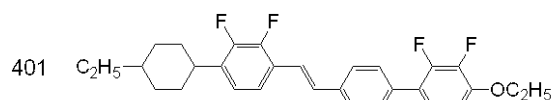
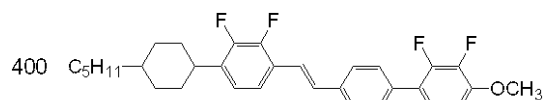
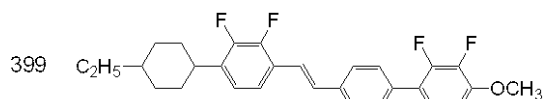
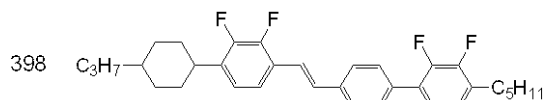
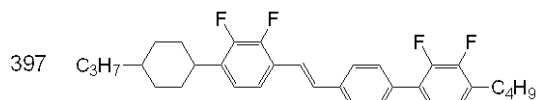
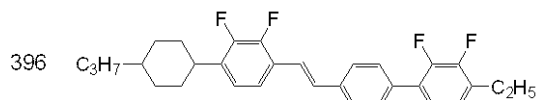
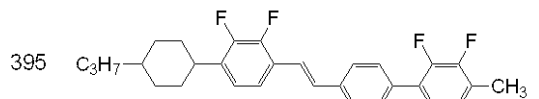
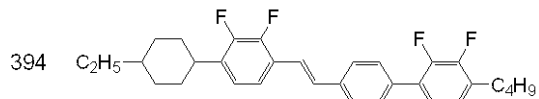
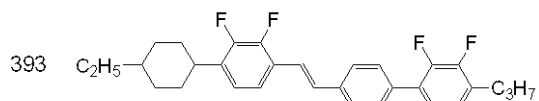
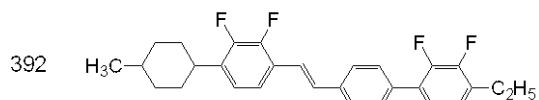
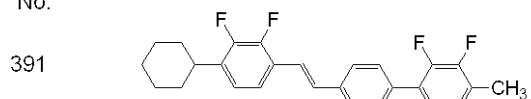
20

30

40

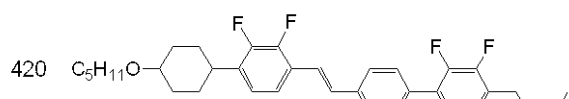
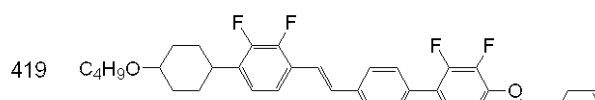
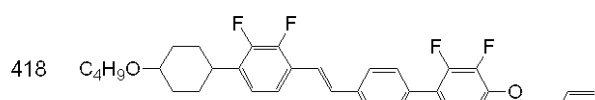
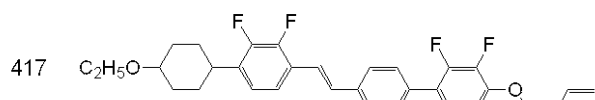
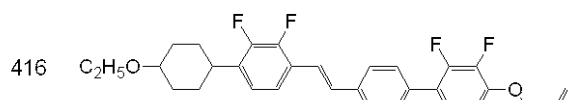
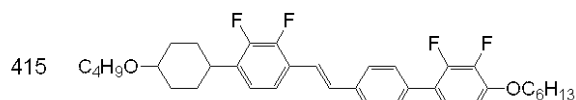
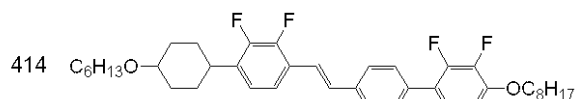
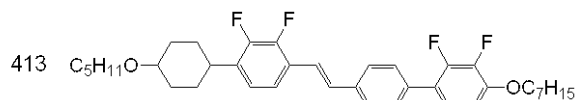
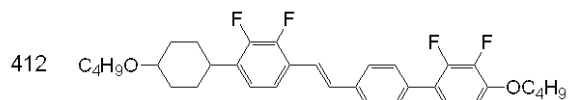
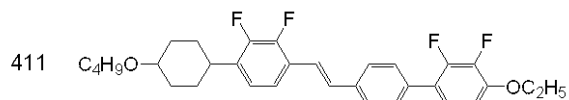
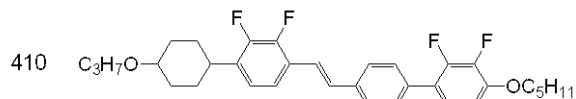
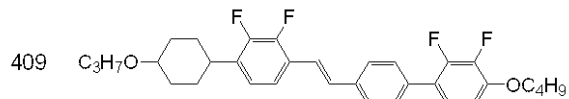
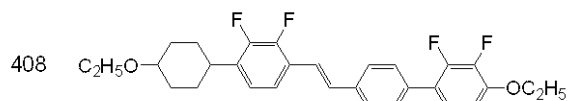
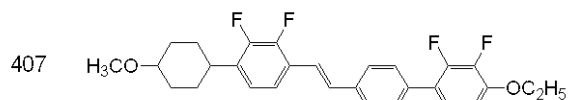
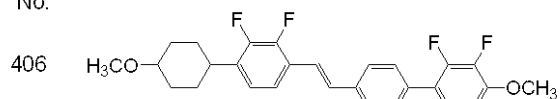
50

No.



【 0 3 2 4 】

No.

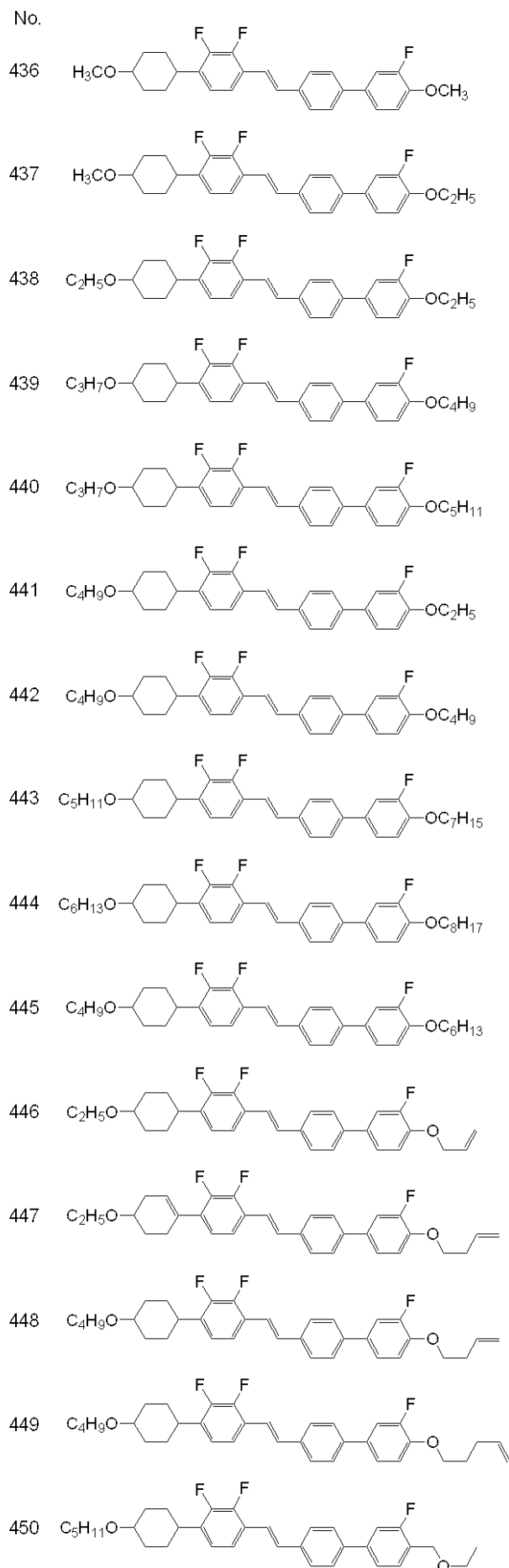
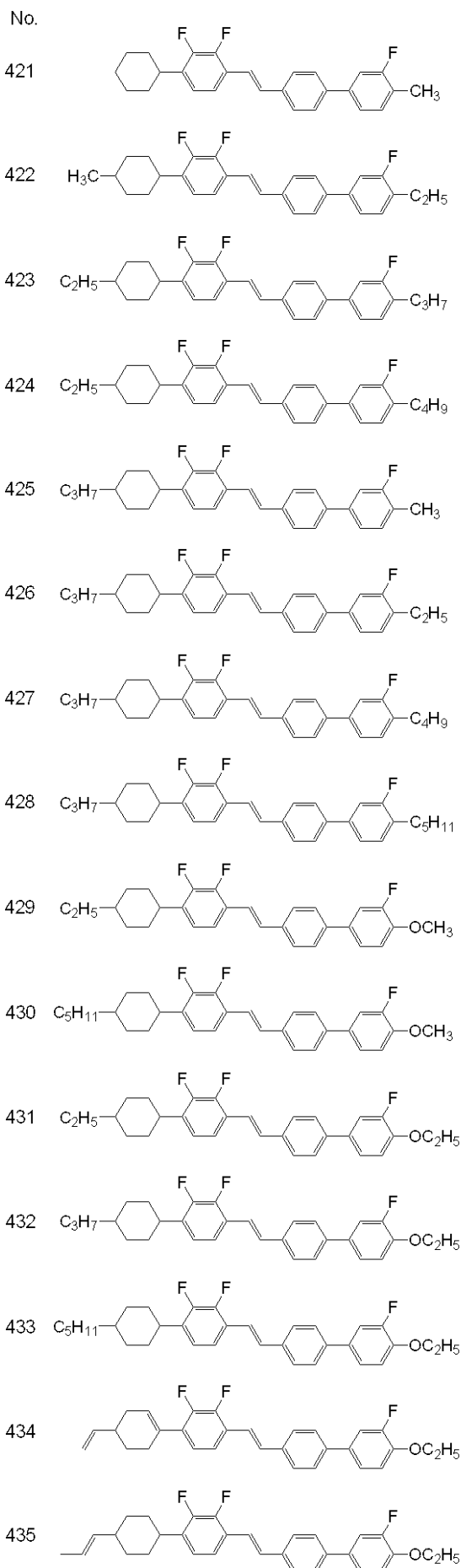


10

20

30

40



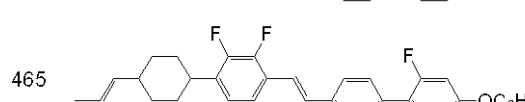
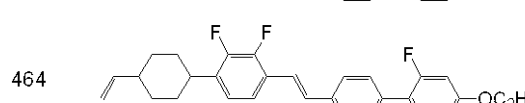
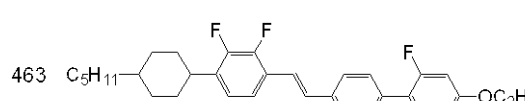
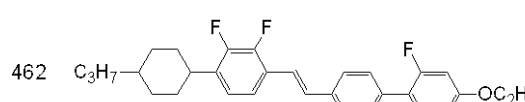
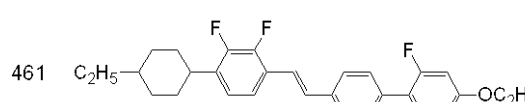
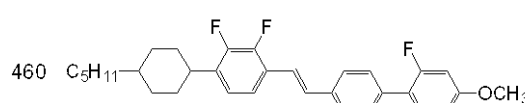
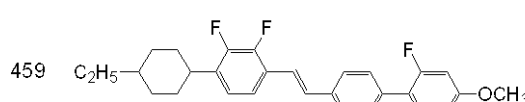
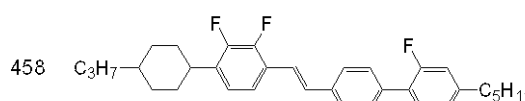
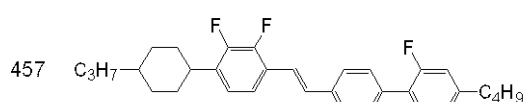
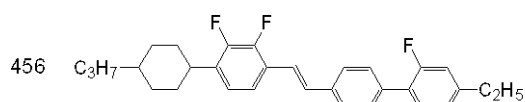
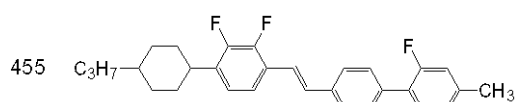
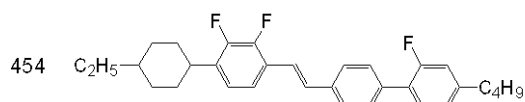
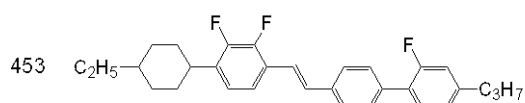
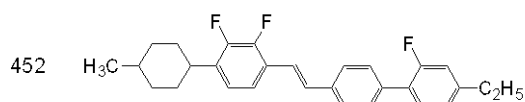
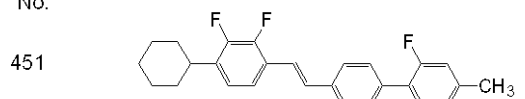
10

20

30

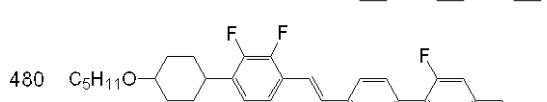
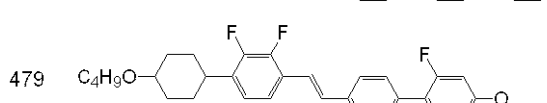
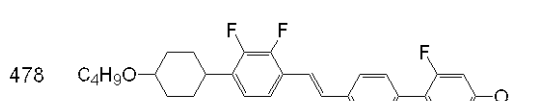
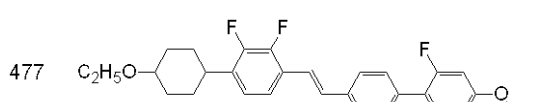
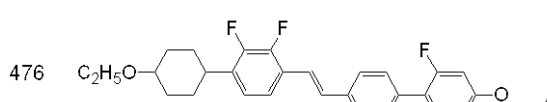
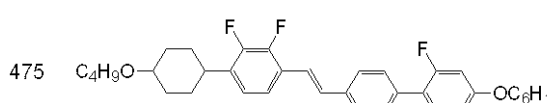
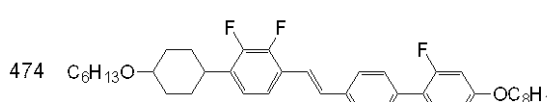
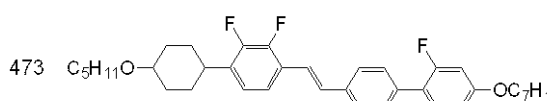
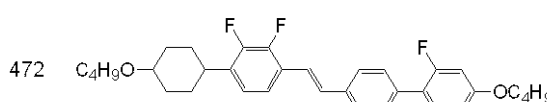
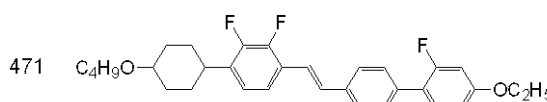
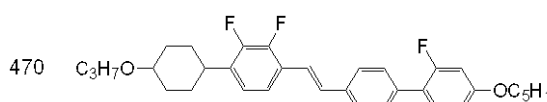
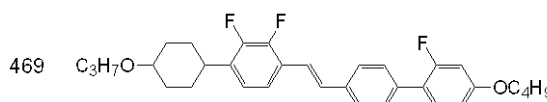
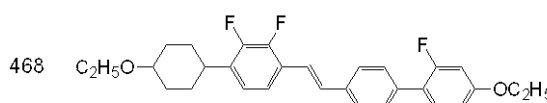
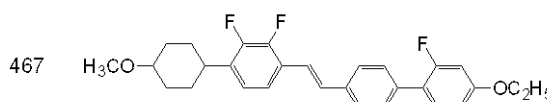
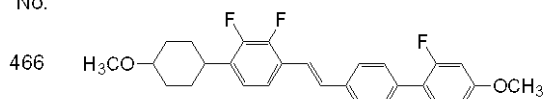
40

No.



【 0 3 2 6 】

No.



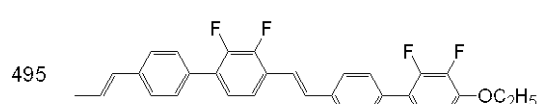
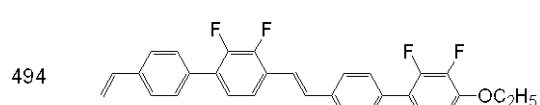
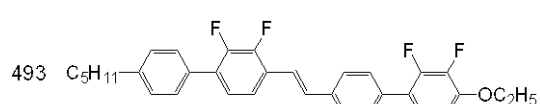
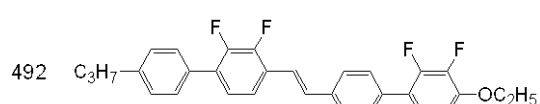
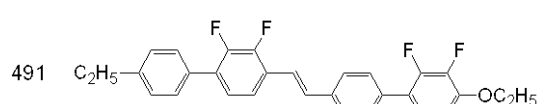
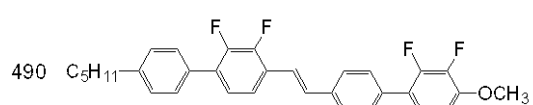
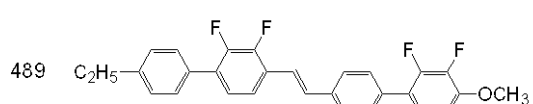
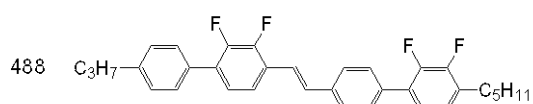
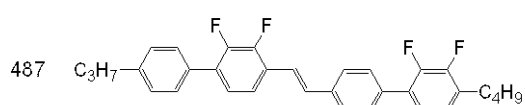
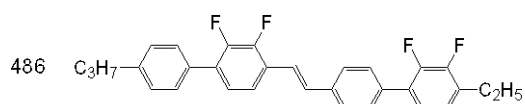
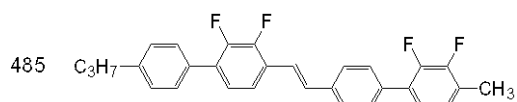
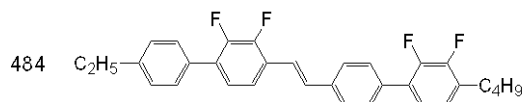
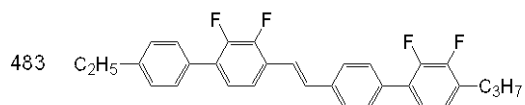
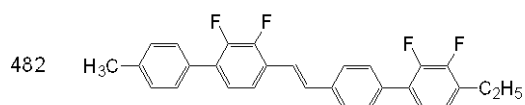
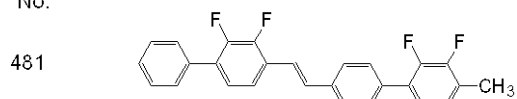
10

20

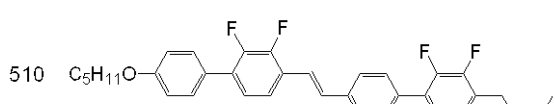
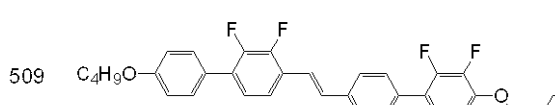
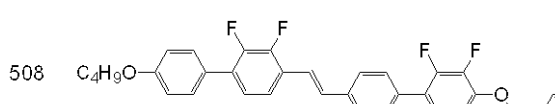
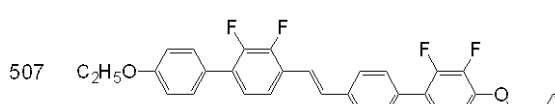
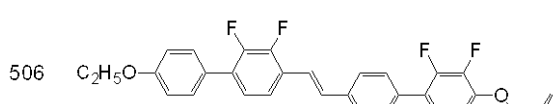
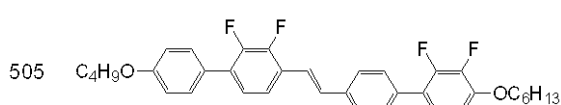
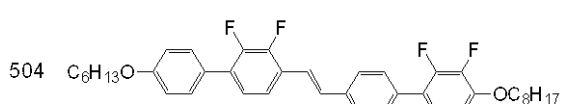
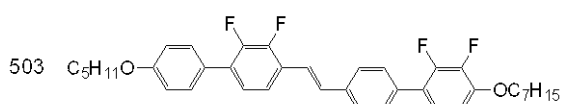
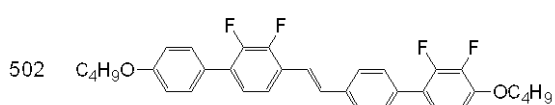
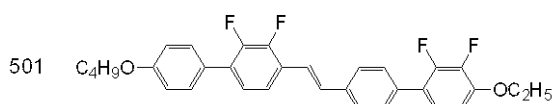
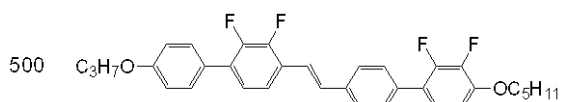
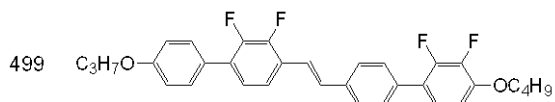
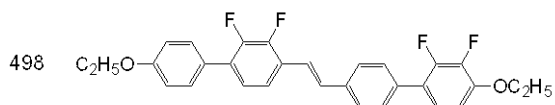
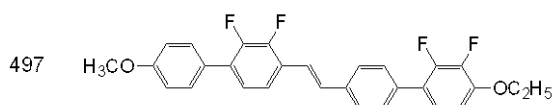
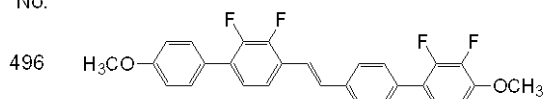
30

40

No.



No.



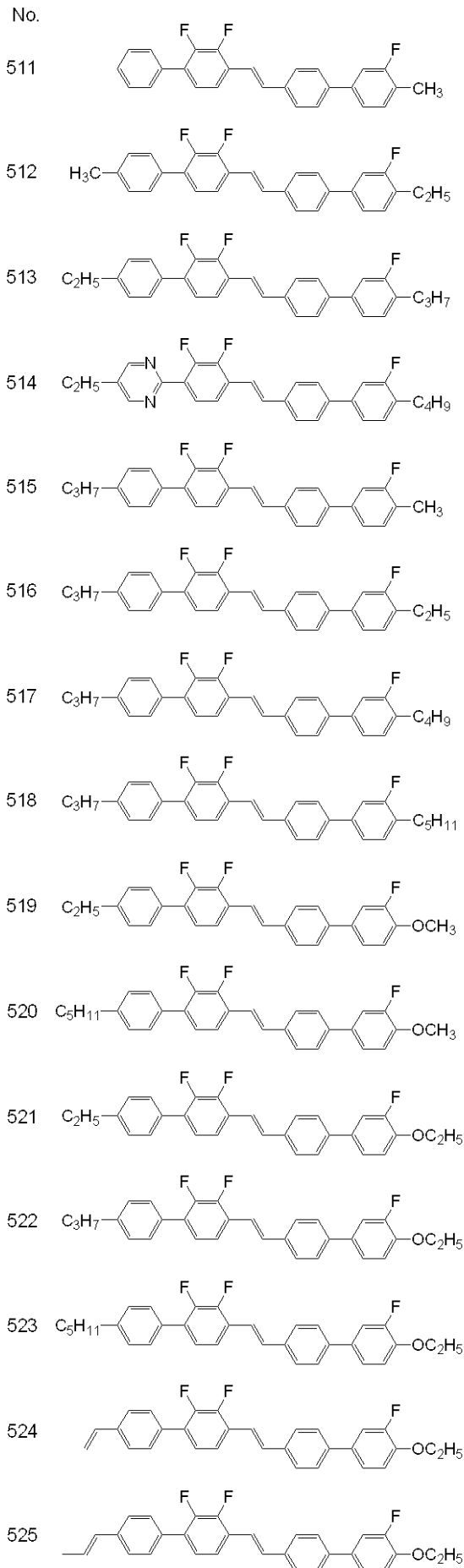
【 0 3 2 7 】

10

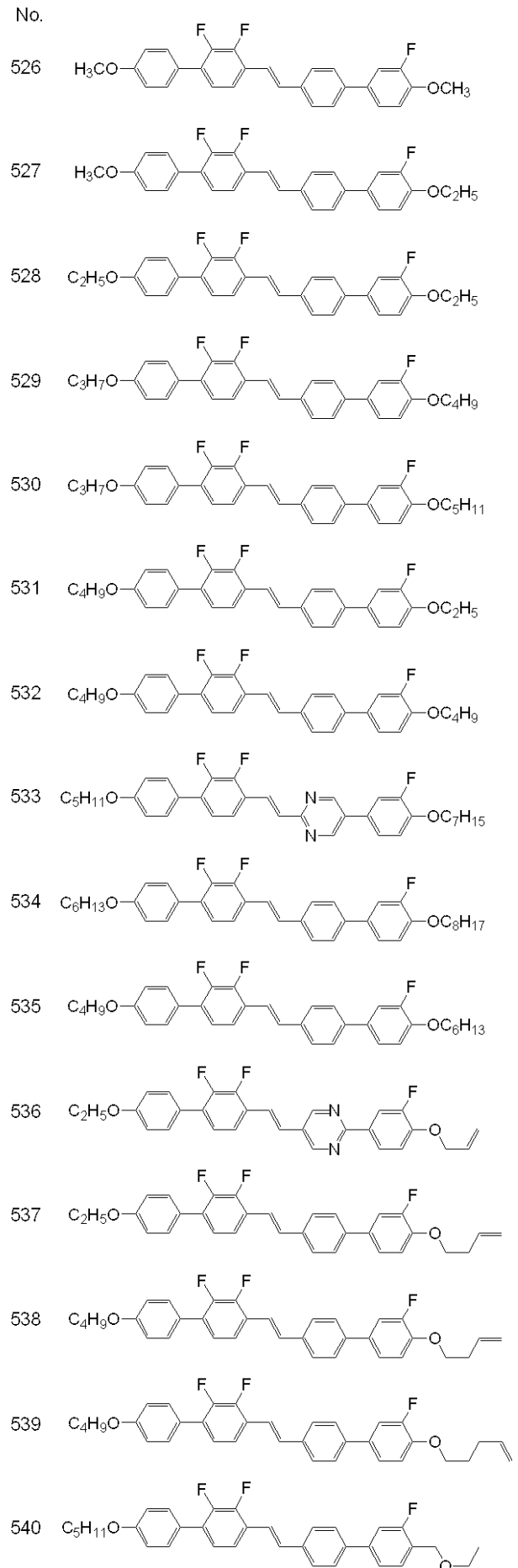
20

30

40



【 0 3 2 8 】

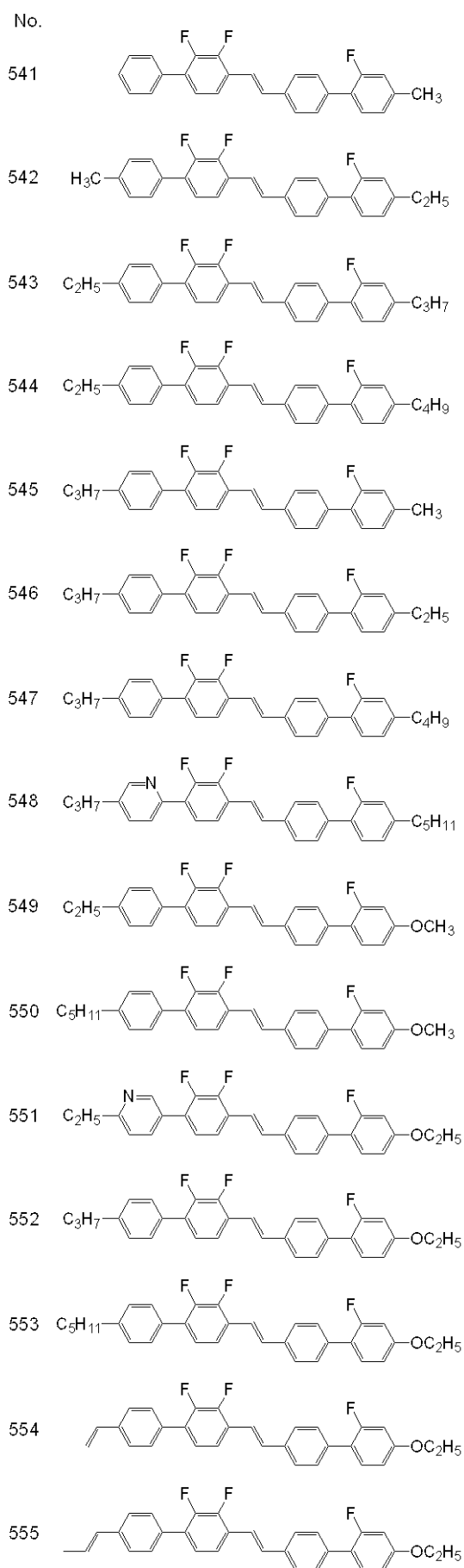


10

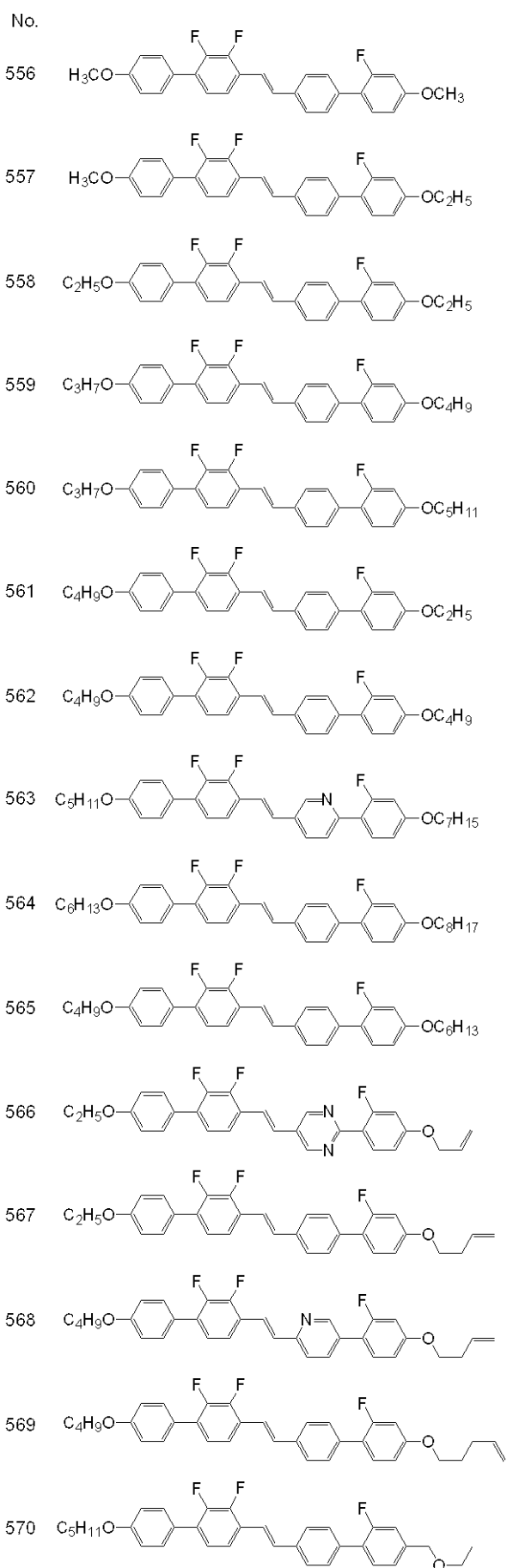
20

30

40



【 0 3 2 9 】



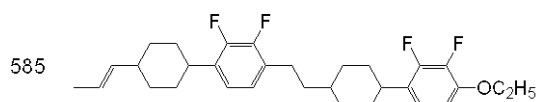
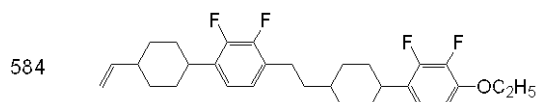
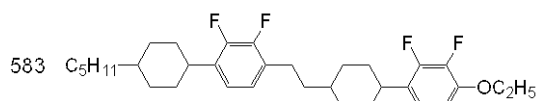
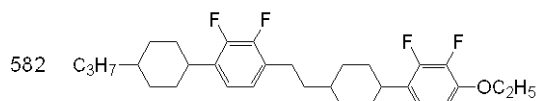
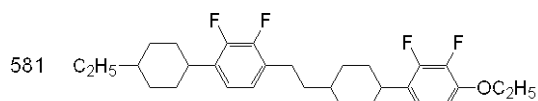
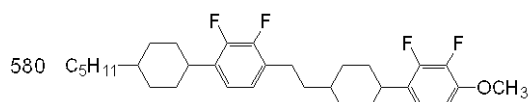
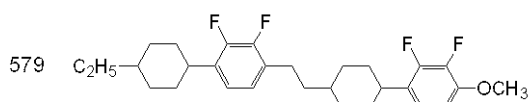
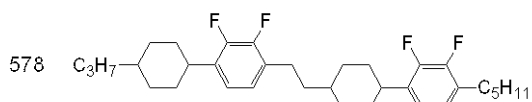
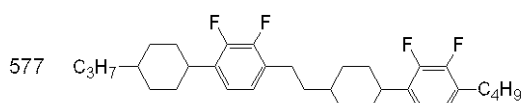
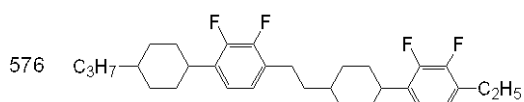
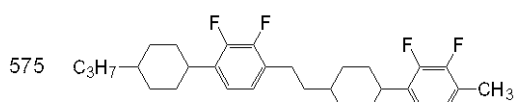
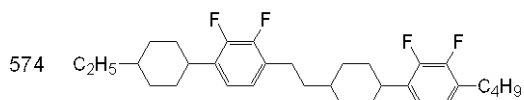
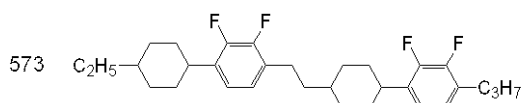
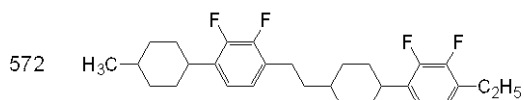
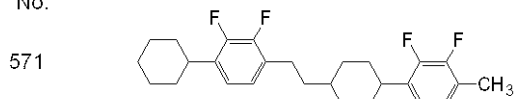
10

20

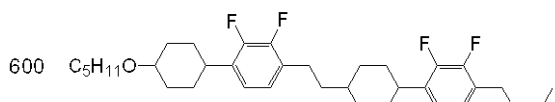
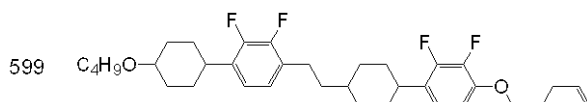
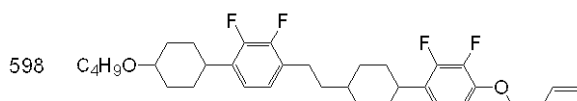
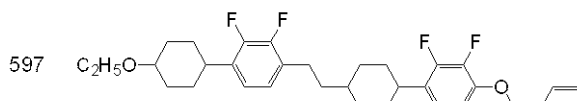
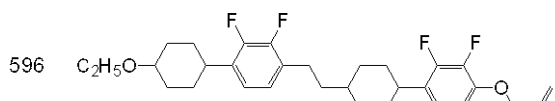
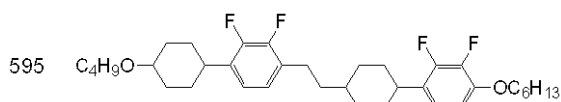
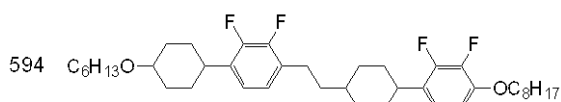
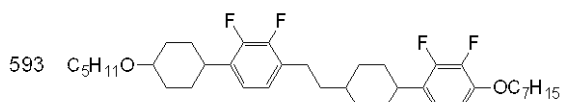
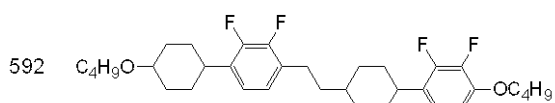
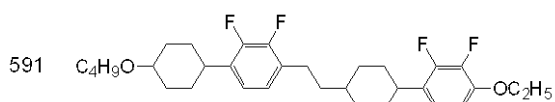
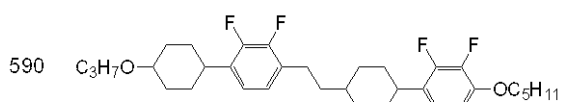
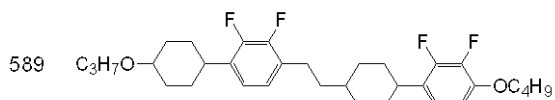
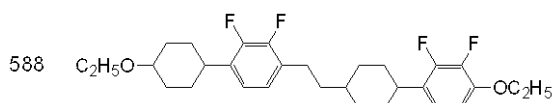
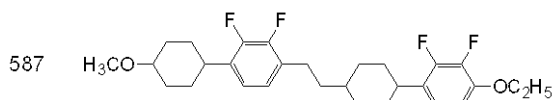
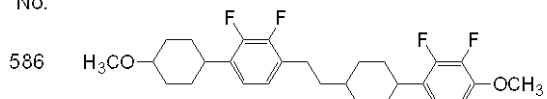
30

40

No.



No.



10

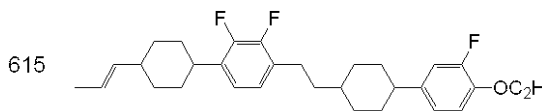
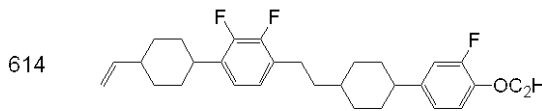
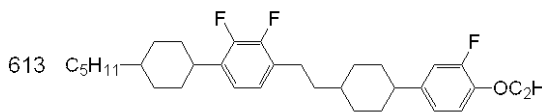
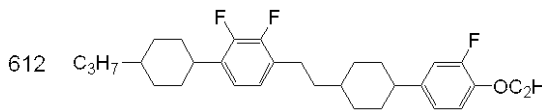
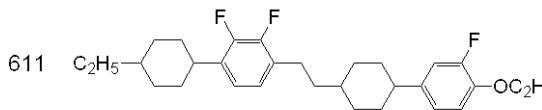
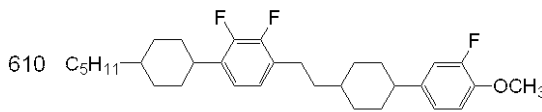
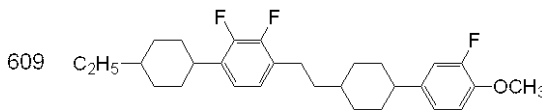
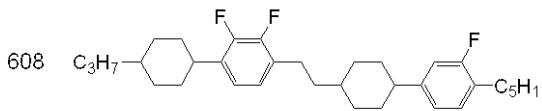
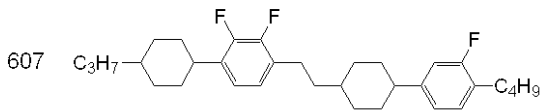
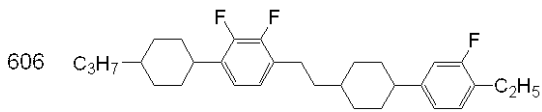
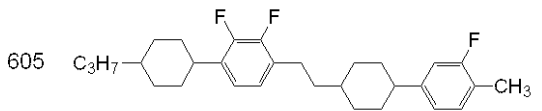
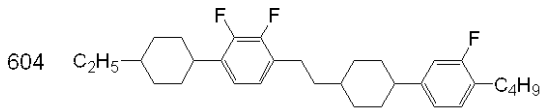
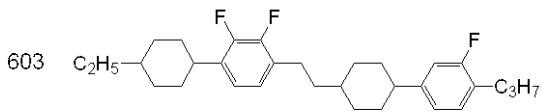
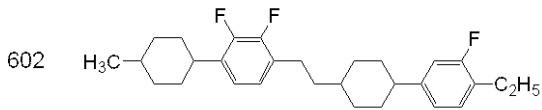
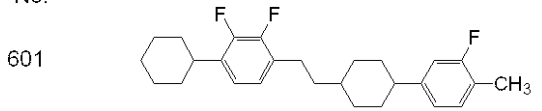
20

30

40

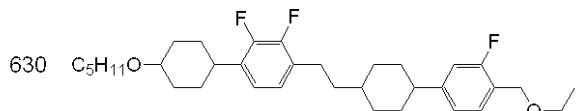
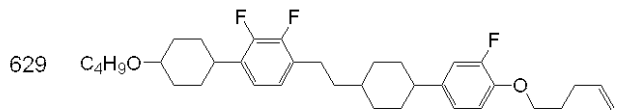
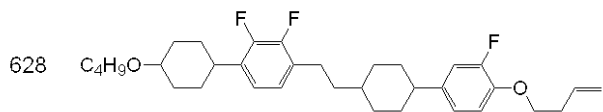
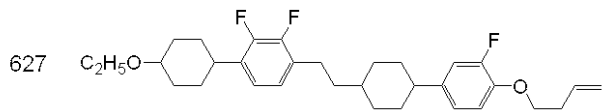
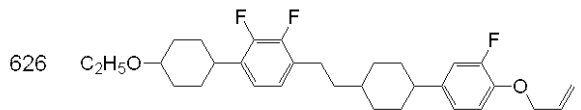
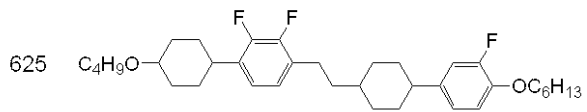
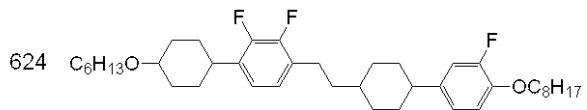
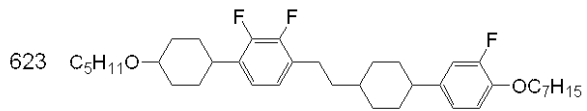
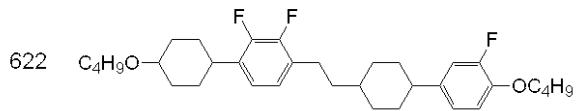
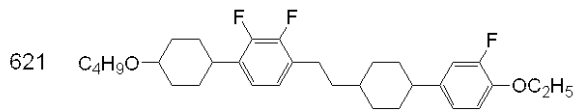
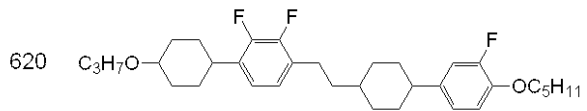
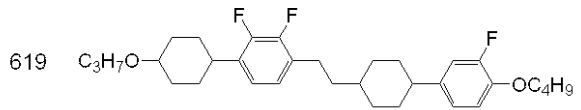
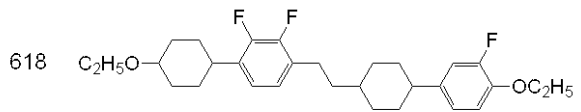
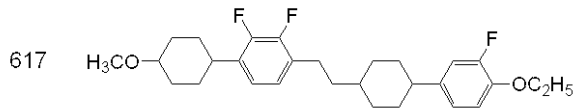
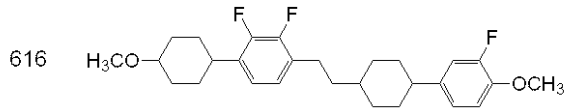
【 0 3 3 0 】

No.



【 0 3 3 1 】

No.



10

20

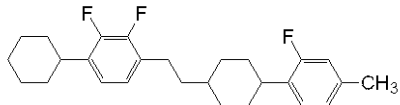
30

40

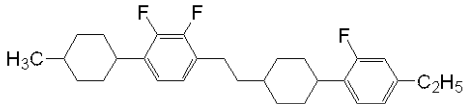
50

No.

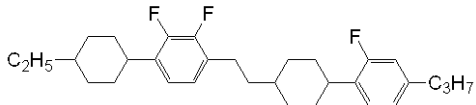
631



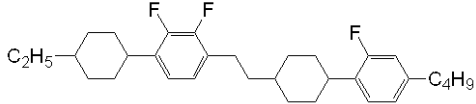
632



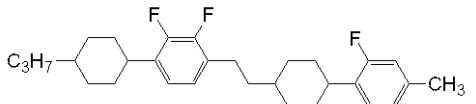
633



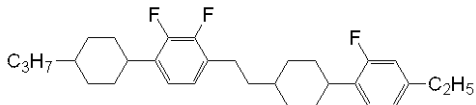
634



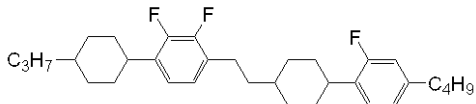
635



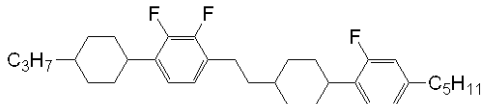
636



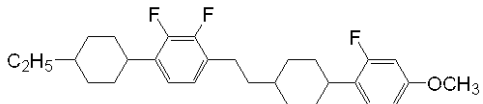
637



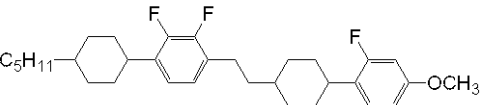
638



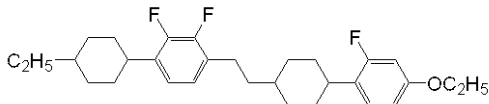
639



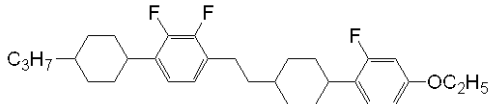
640



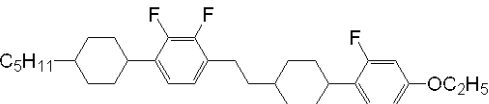
641



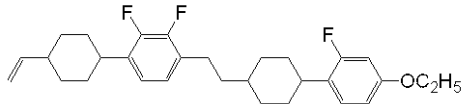
642



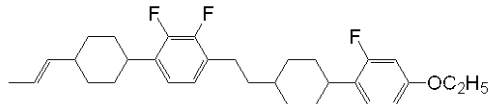
643



644

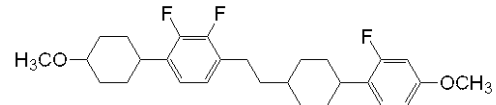


645

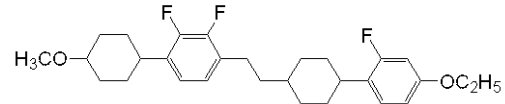


No.

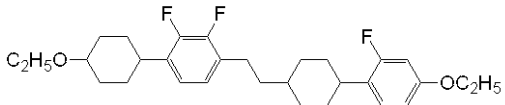
646



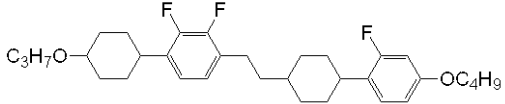
647



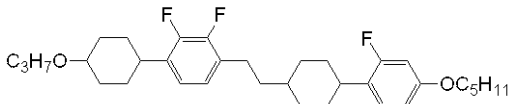
648



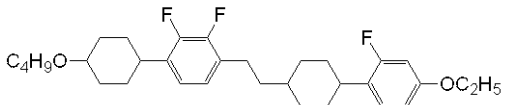
649



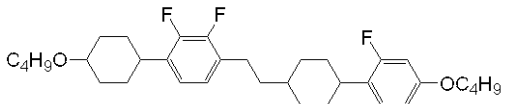
650



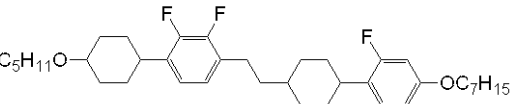
651



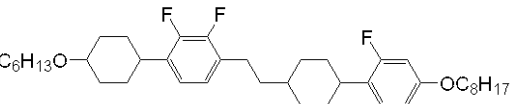
652



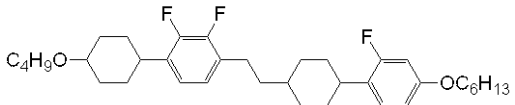
653



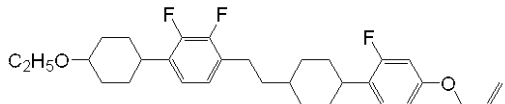
654



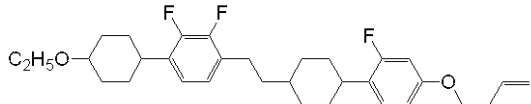
655



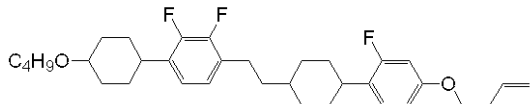
656



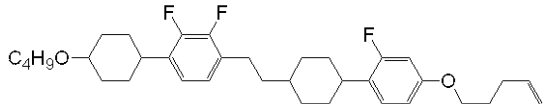
657



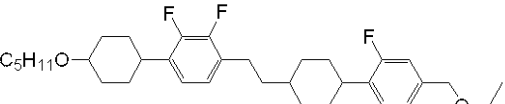
658

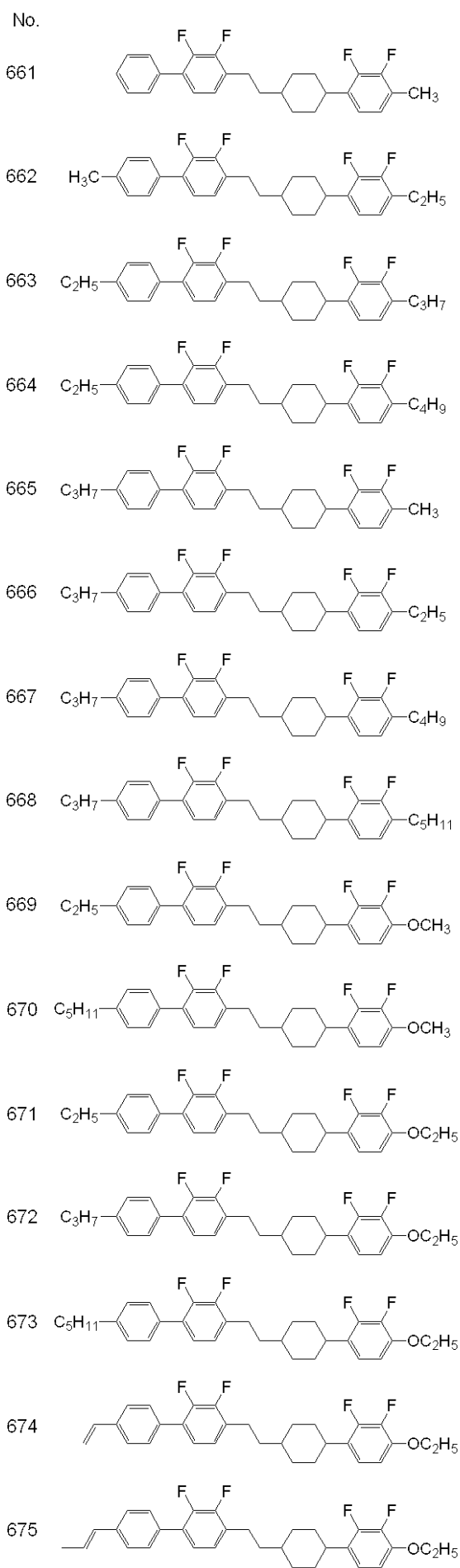


659

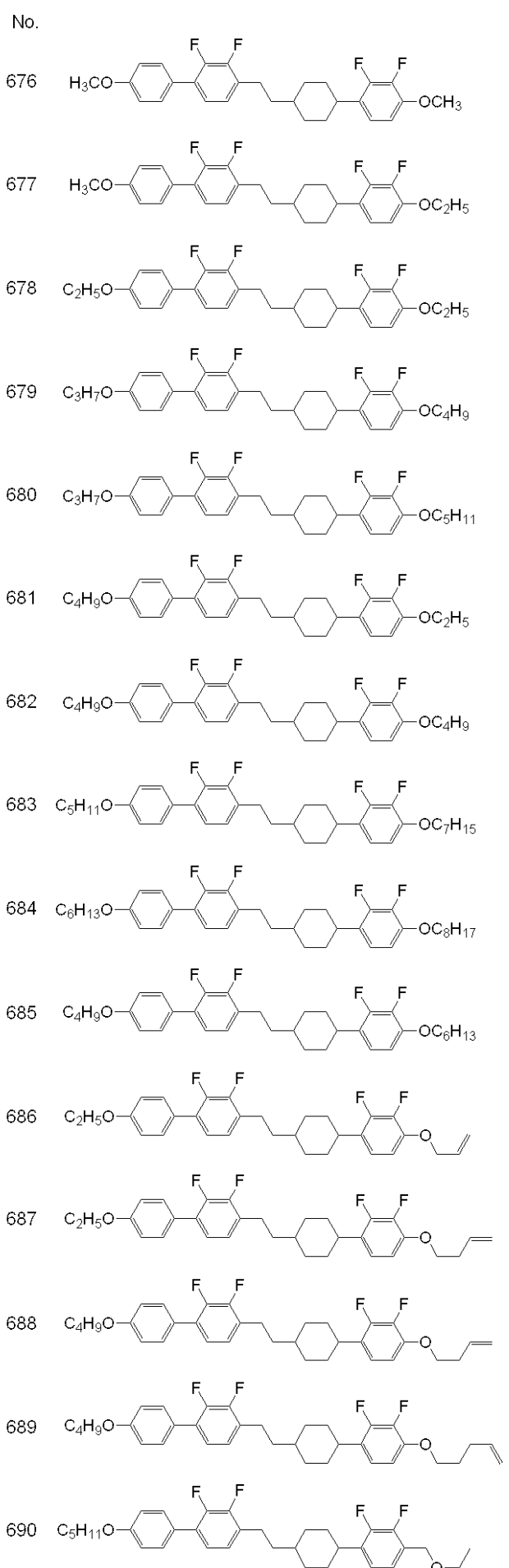


660





【 0 3 3 3 】



10

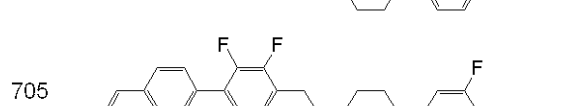
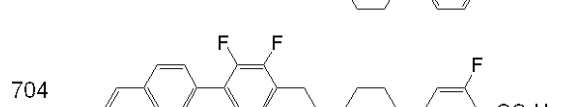
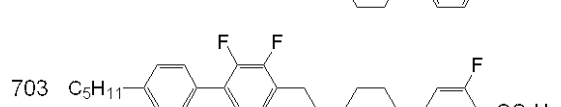
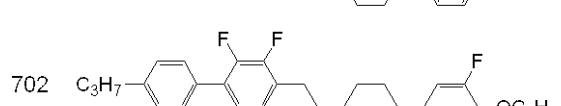
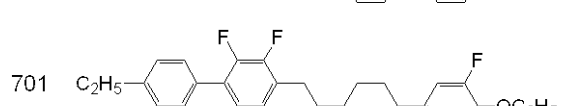
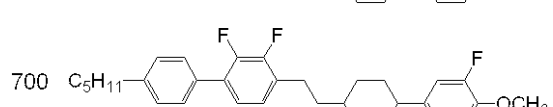
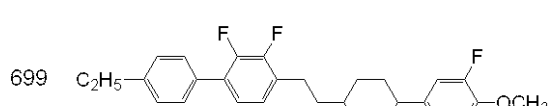
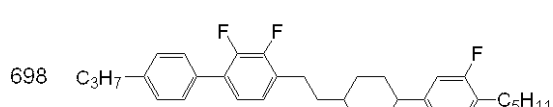
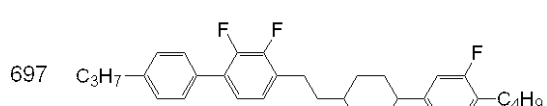
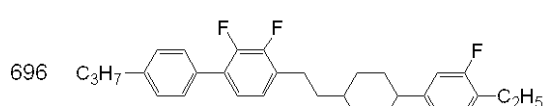
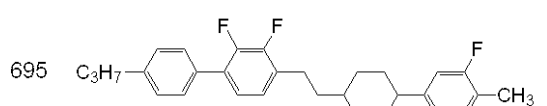
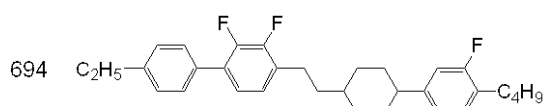
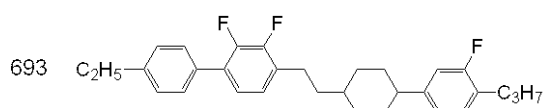
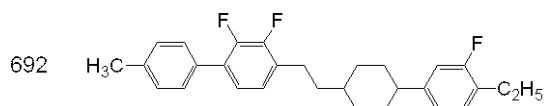
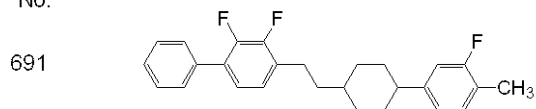
20

30

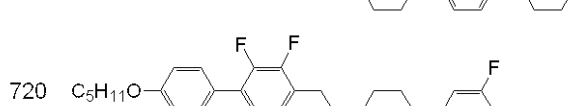
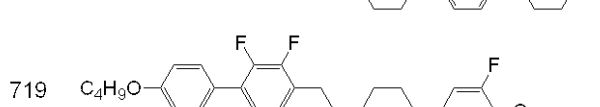
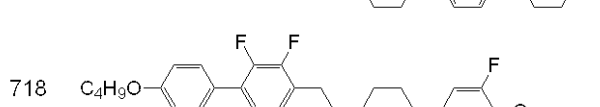
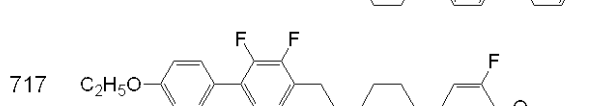
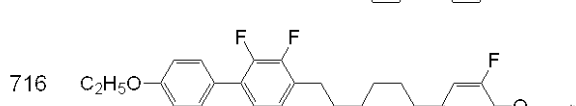
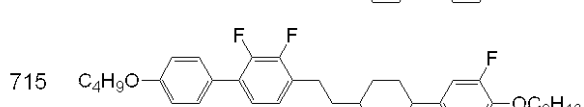
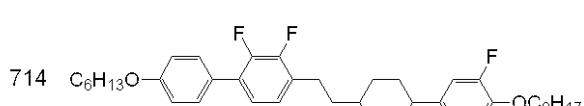
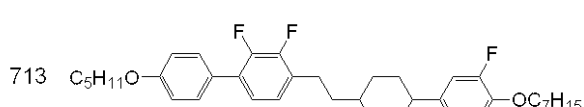
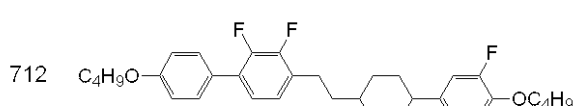
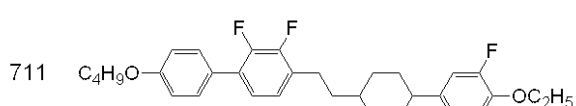
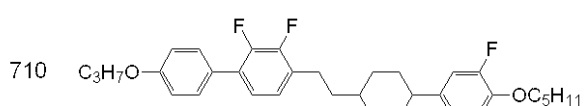
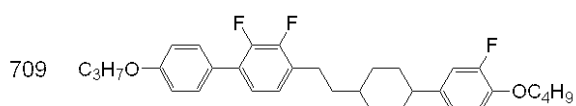
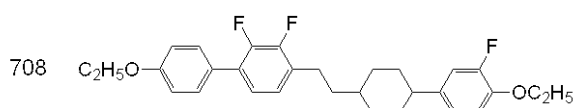
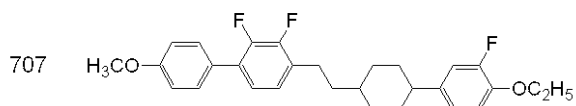
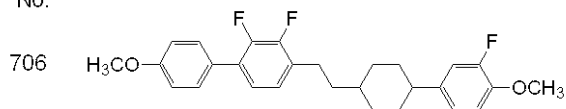
40

50

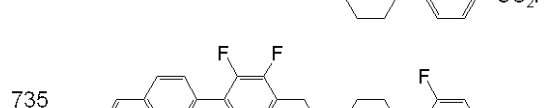
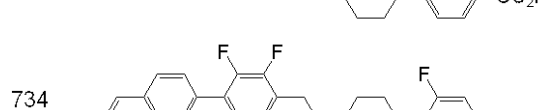
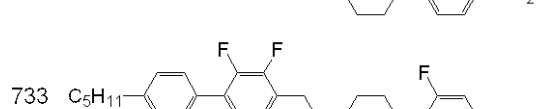
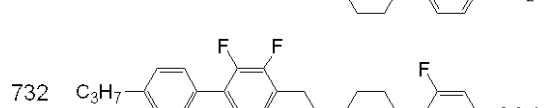
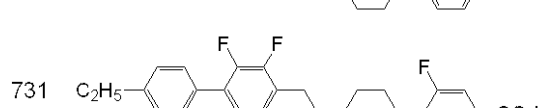
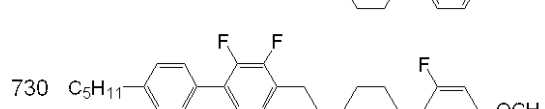
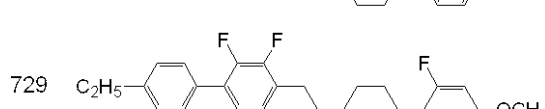
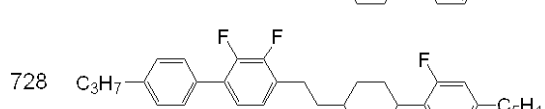
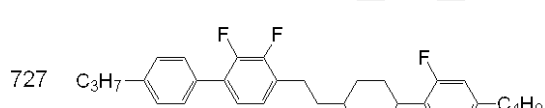
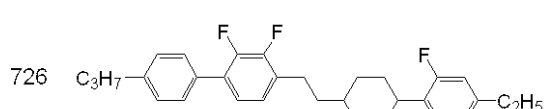
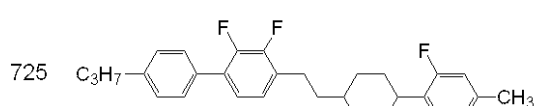
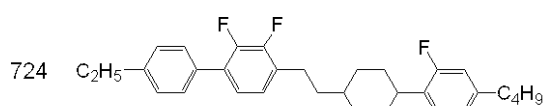
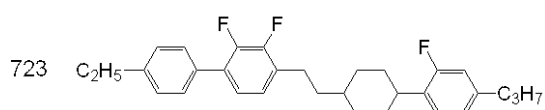
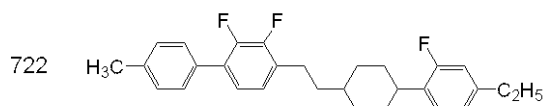
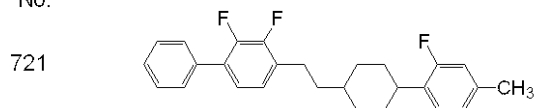
No.



No.

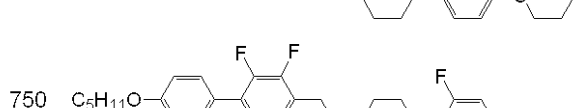
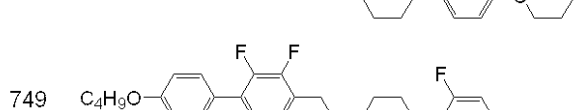
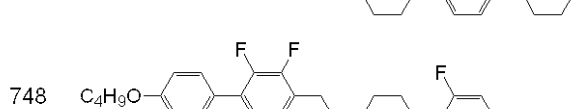
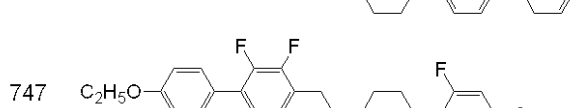
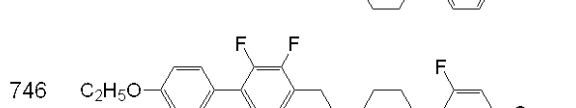
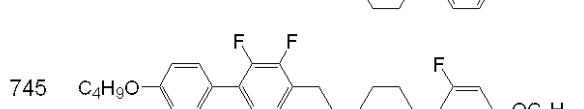
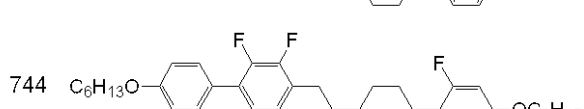
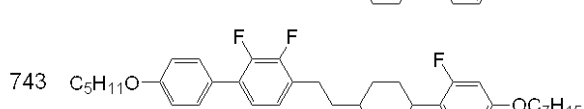
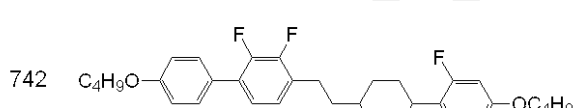
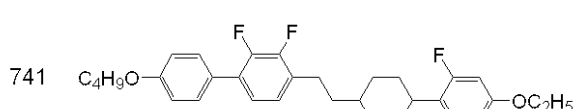
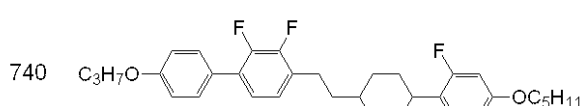
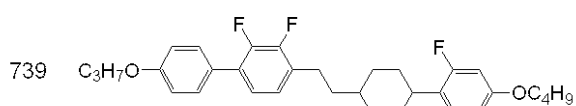
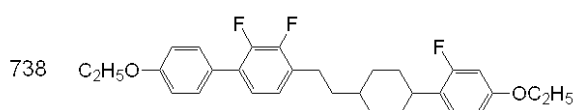
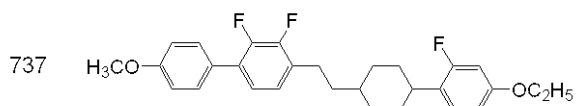
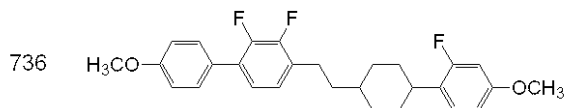


No.



【 0 3 3 5 】

No.



10

20

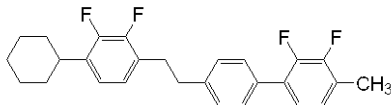
30

40

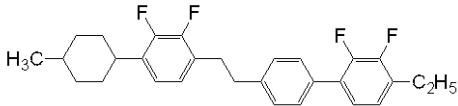
50

No.

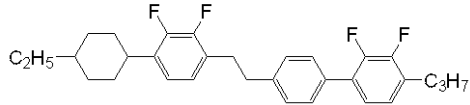
751



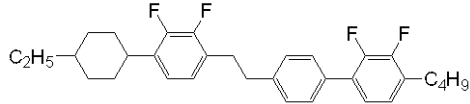
752



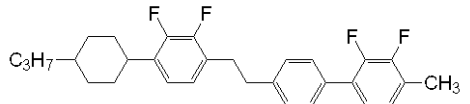
753



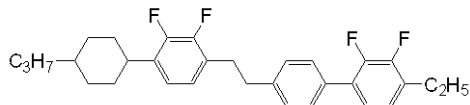
754



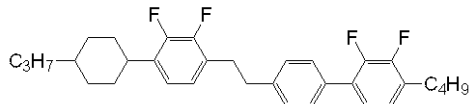
755



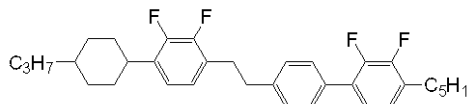
756



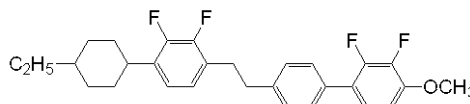
757



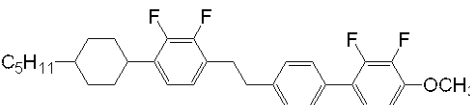
758



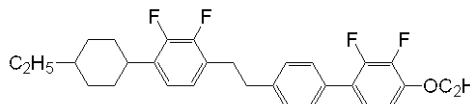
759



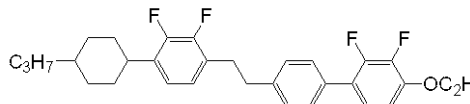
760



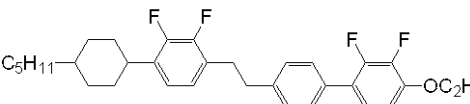
761



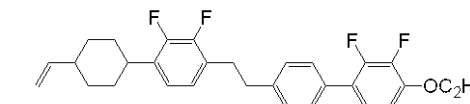
762



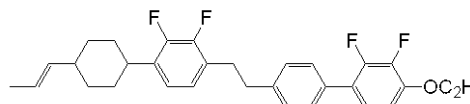
763



764

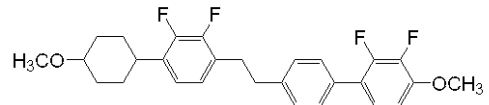


765

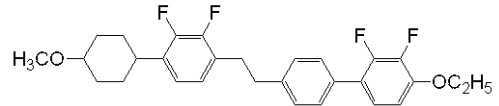


No.

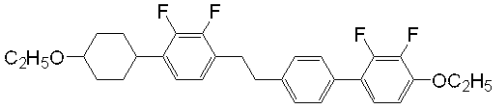
766



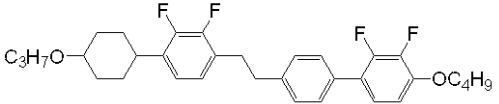
767



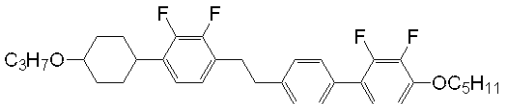
768



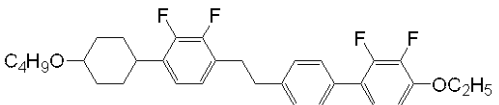
769



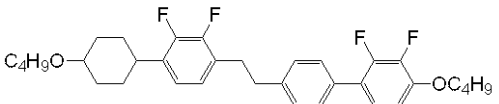
770



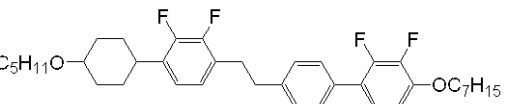
771



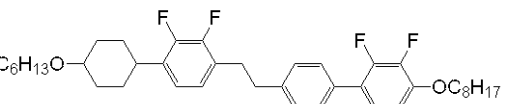
772



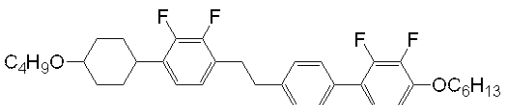
773



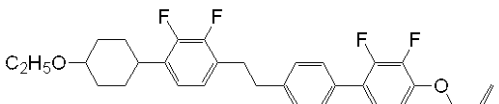
774



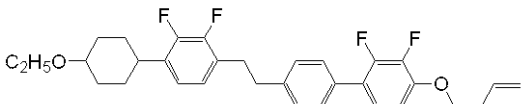
775



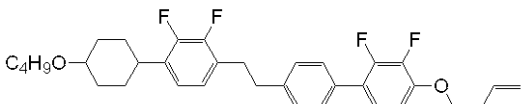
776



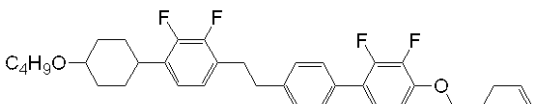
777



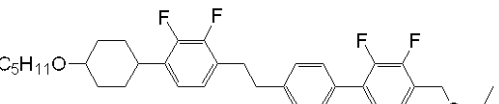
778

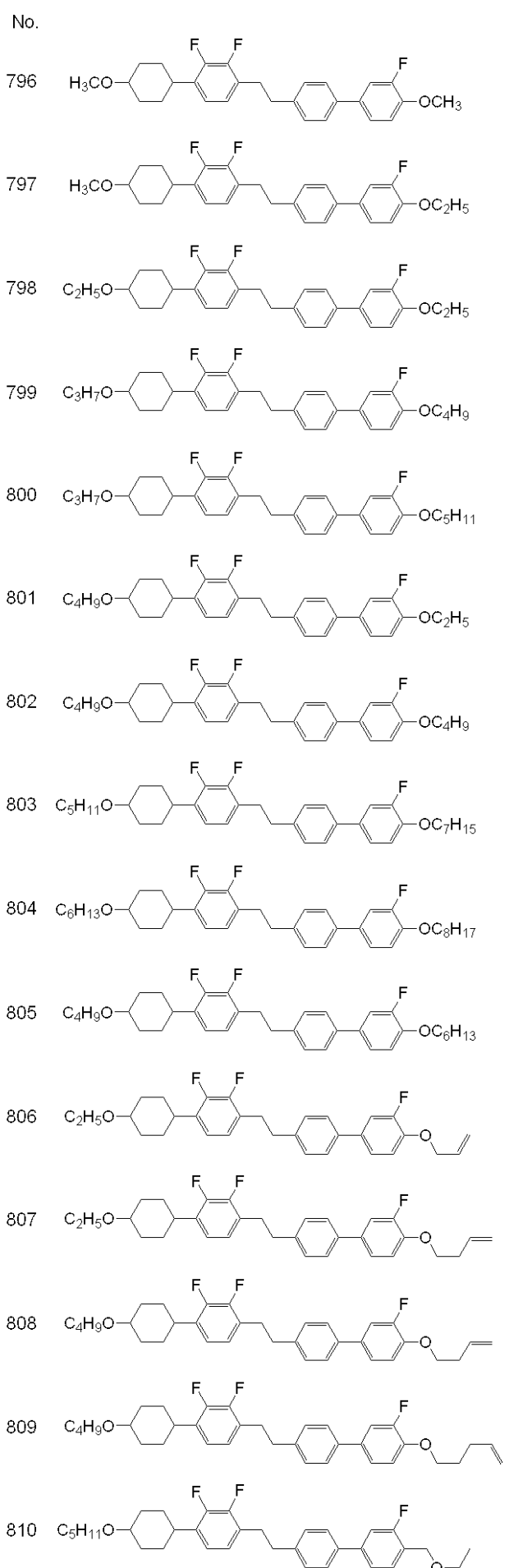
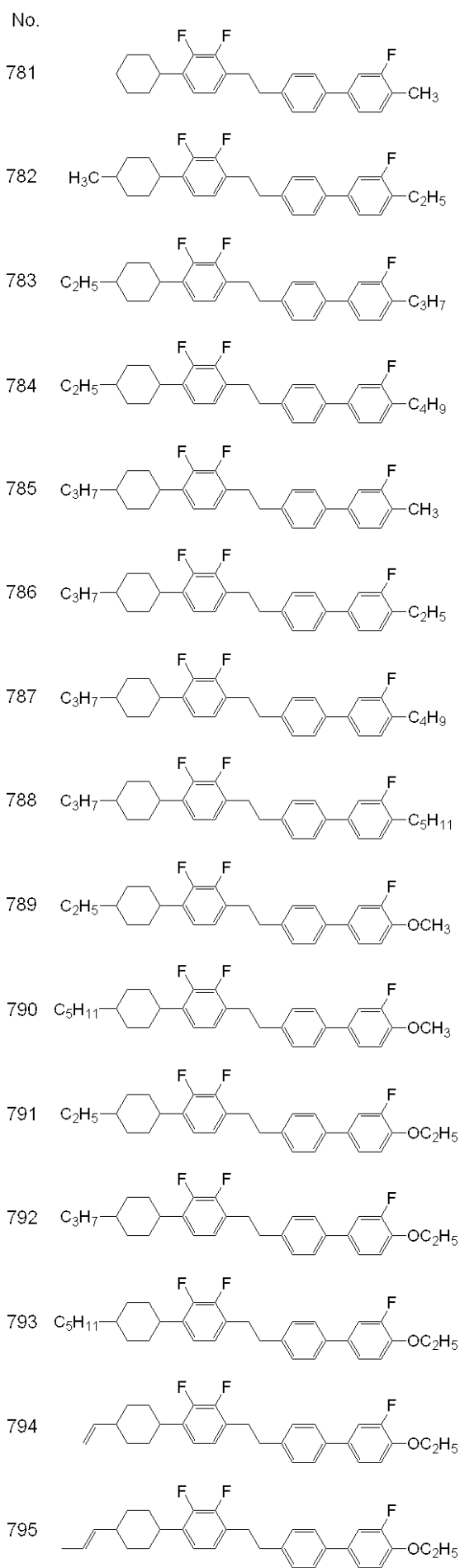


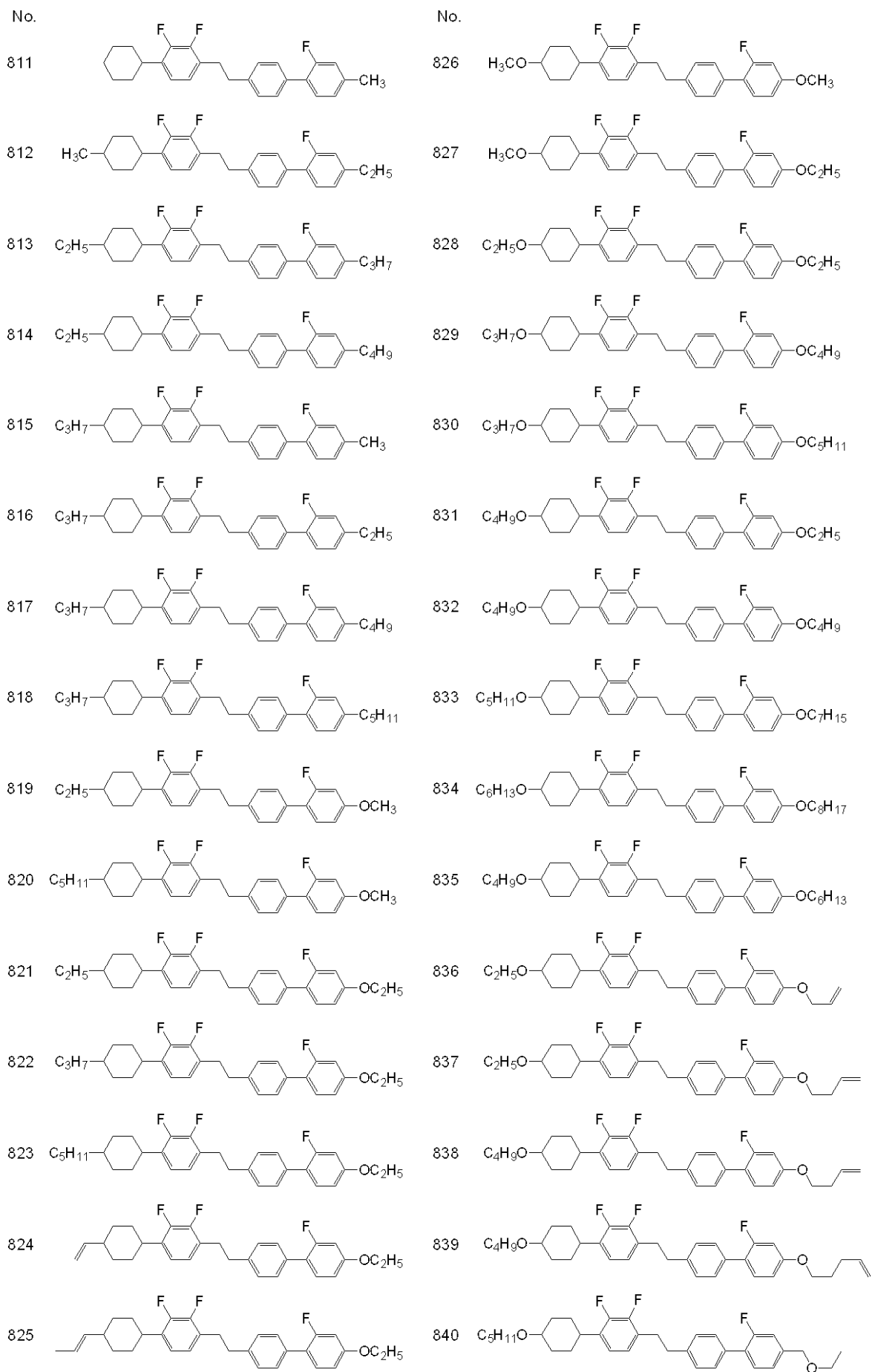
779



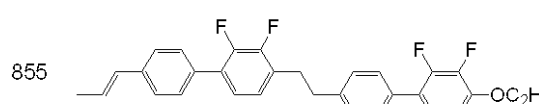
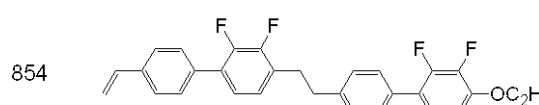
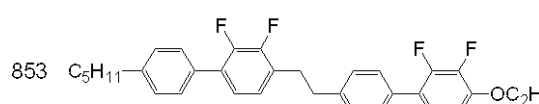
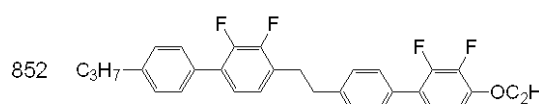
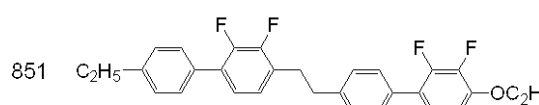
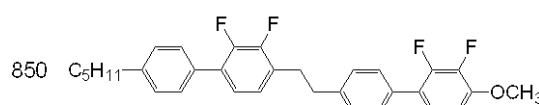
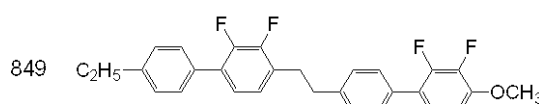
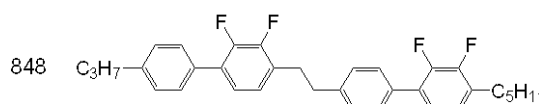
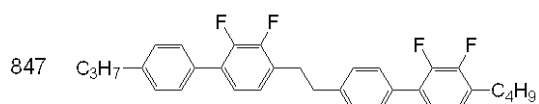
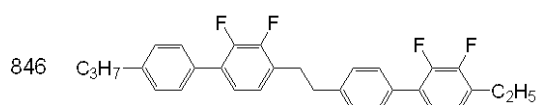
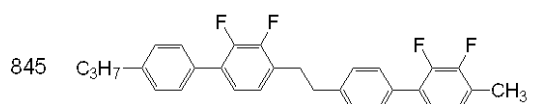
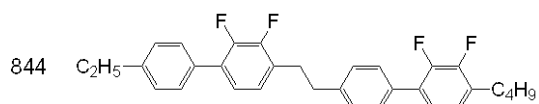
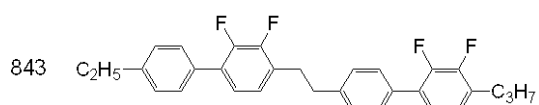
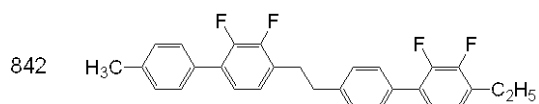
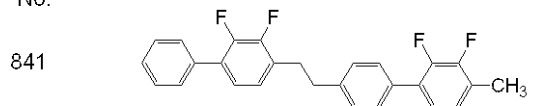
780



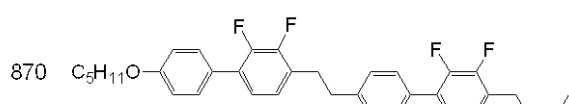
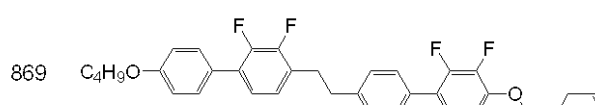
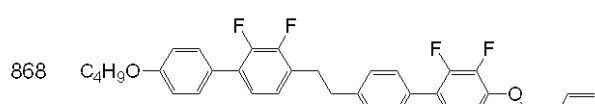
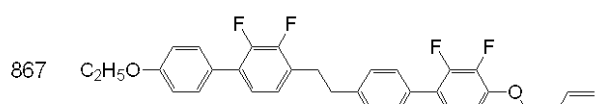
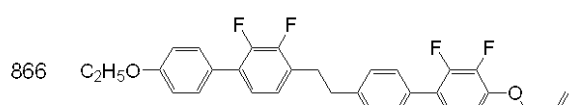
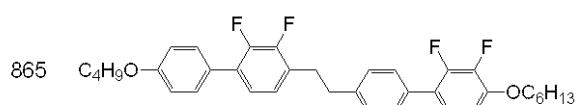
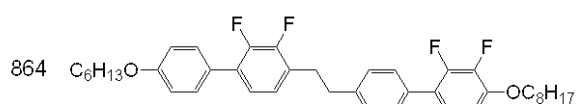
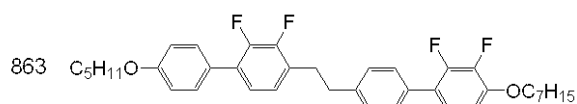
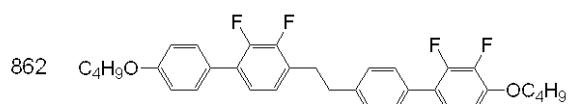
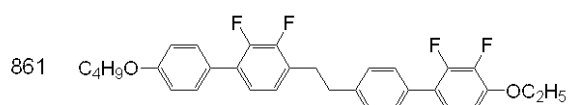
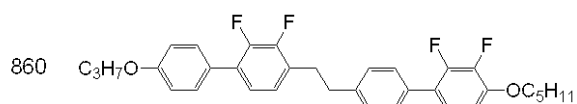
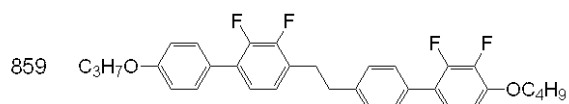
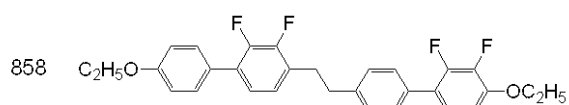
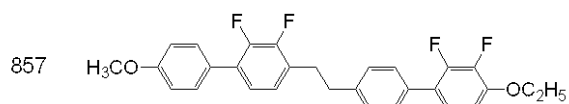
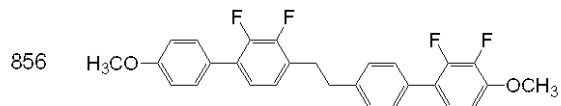


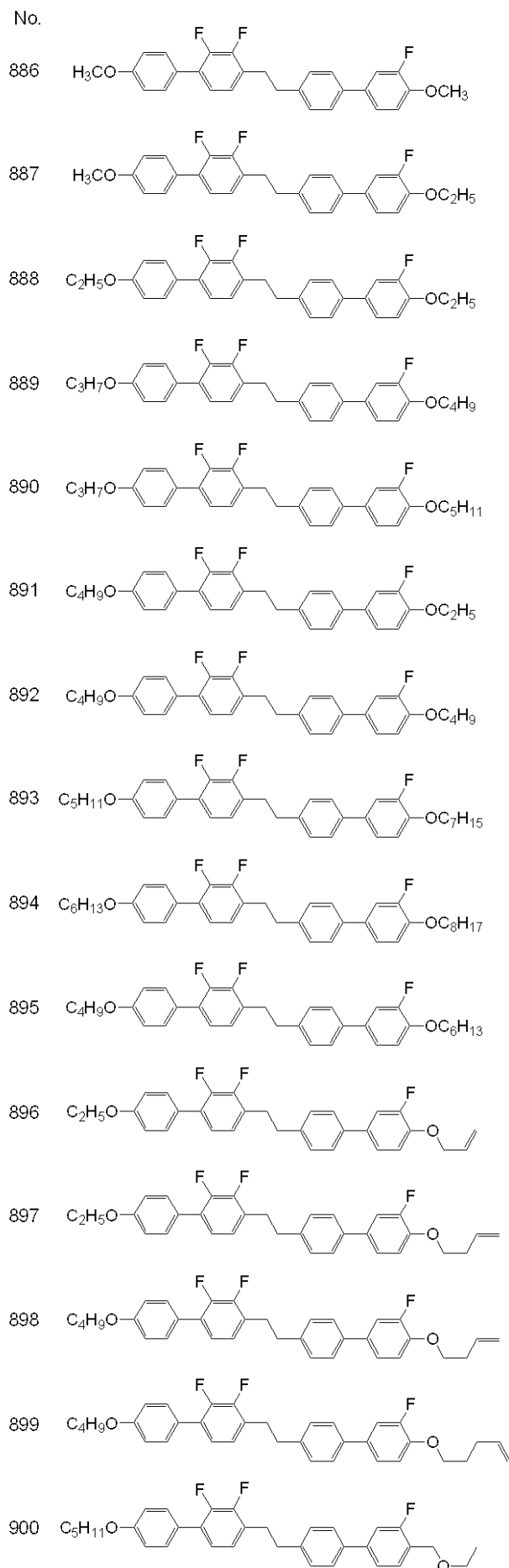
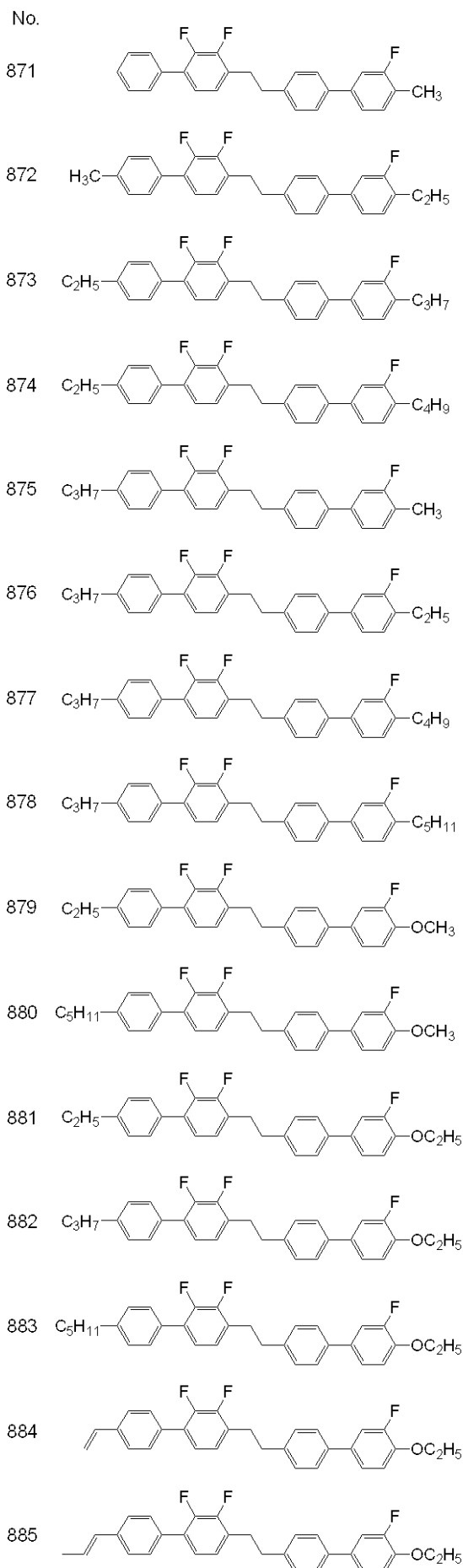


No.



No.





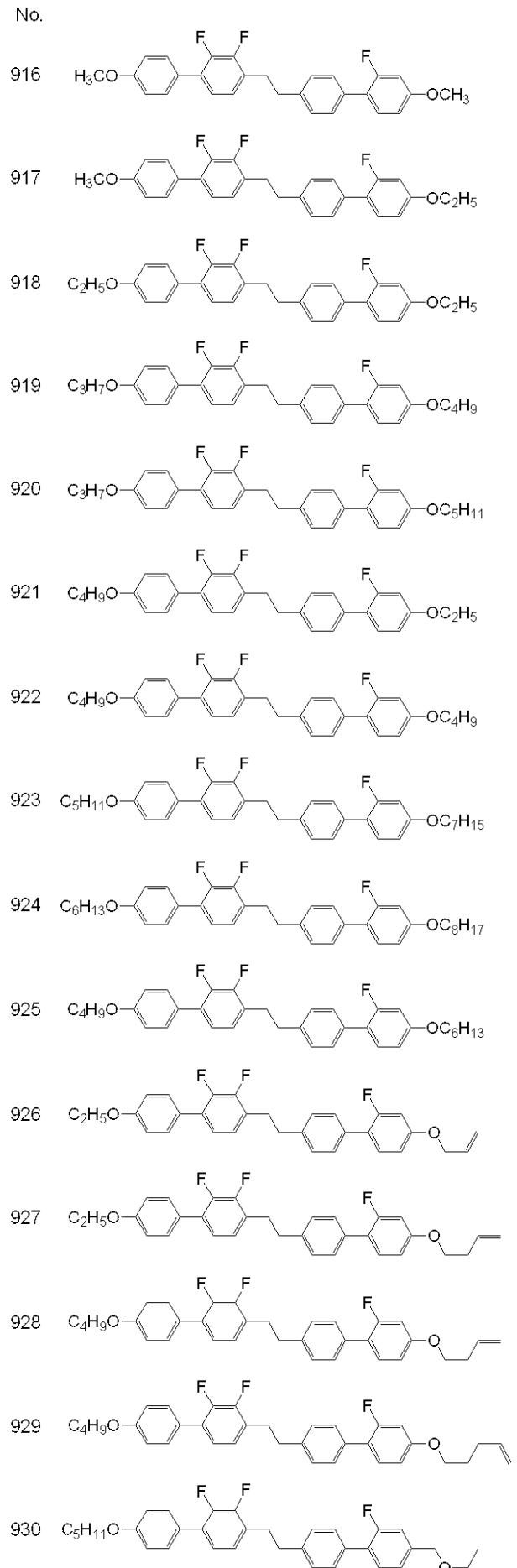
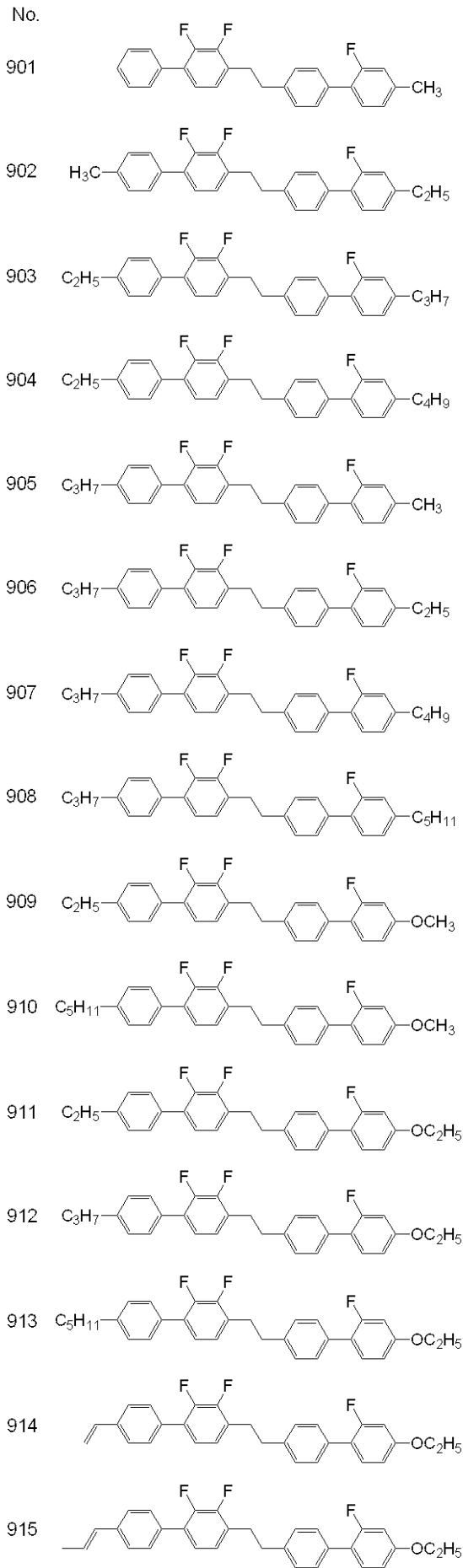
10

20

30

40

【 0 3 4 0 】



10

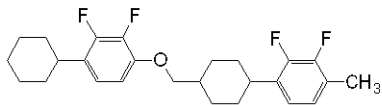
20

30

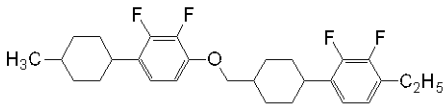
40

No.

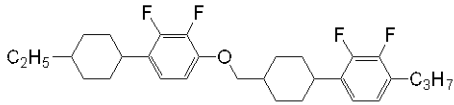
931



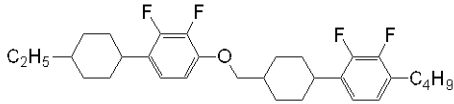
932



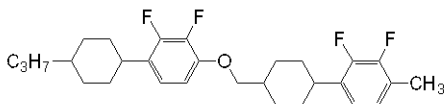
933



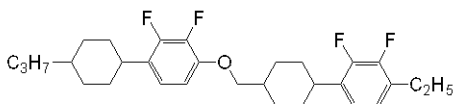
934



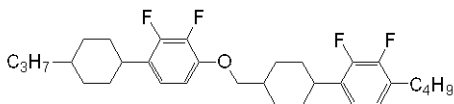
935



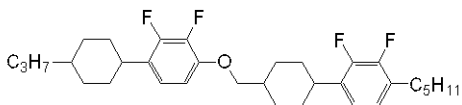
936



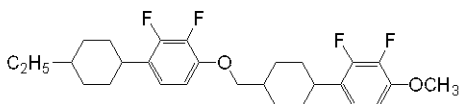
937



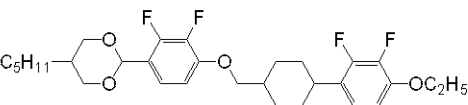
938



939



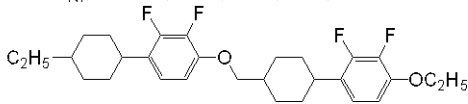
940



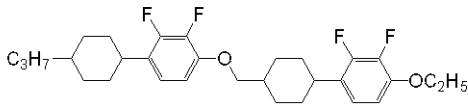
C 102.5 N 185.8 I

 $T_{NI}: 174.6^{\circ}\text{C}, \Delta \varepsilon: -3.69, \Delta n: 0.137$

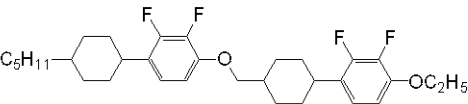
941



942



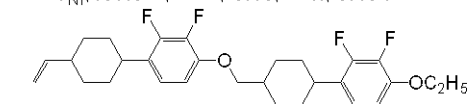
943



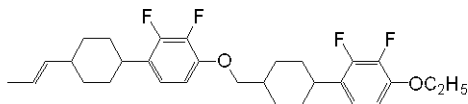
C 101.8 N 204.0 I

 $T_{NI}: 187.3^{\circ}\text{C}, \Delta \varepsilon: -6.15, \Delta n: 0.134$

944

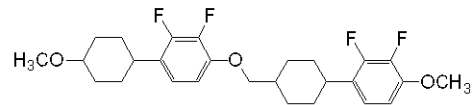


945

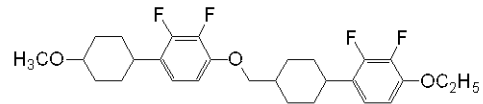


No.

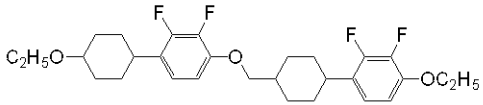
946



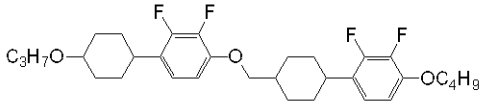
947



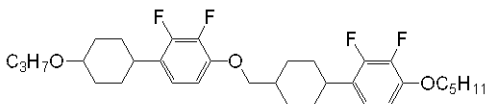
948



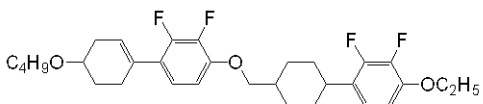
949



950



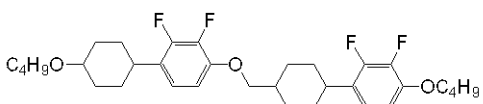
951



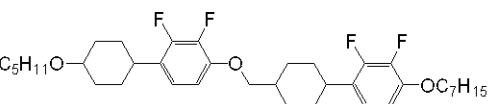
C 96.0 N 158.4 I

 $T_{NI}: 147.9^{\circ}\text{C}, \Delta \varepsilon: -6.90, \Delta n: 0.154$

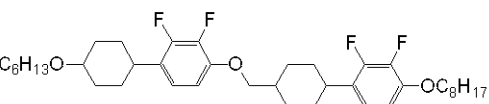
952



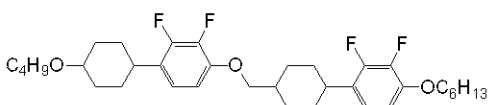
953



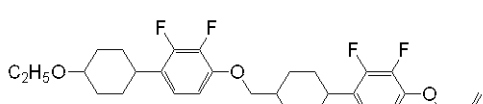
954



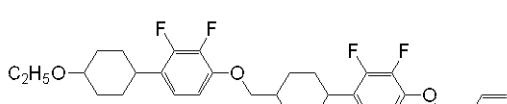
955



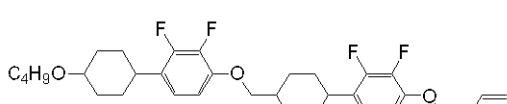
956



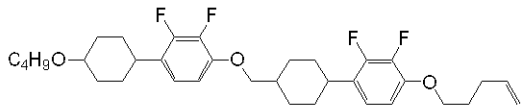
957



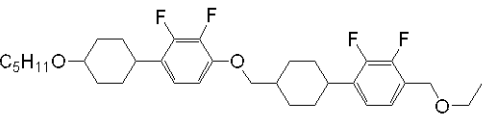
958

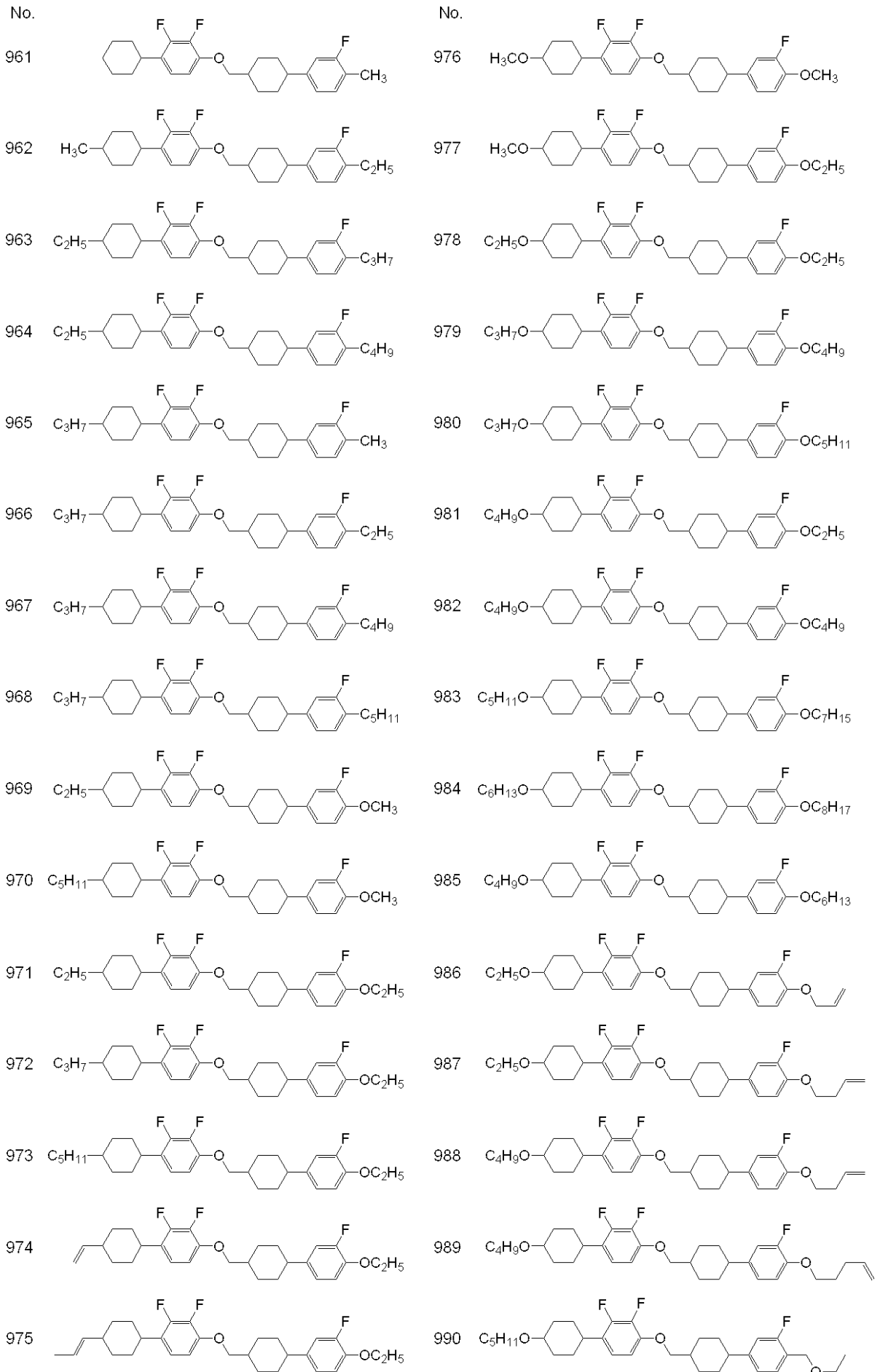


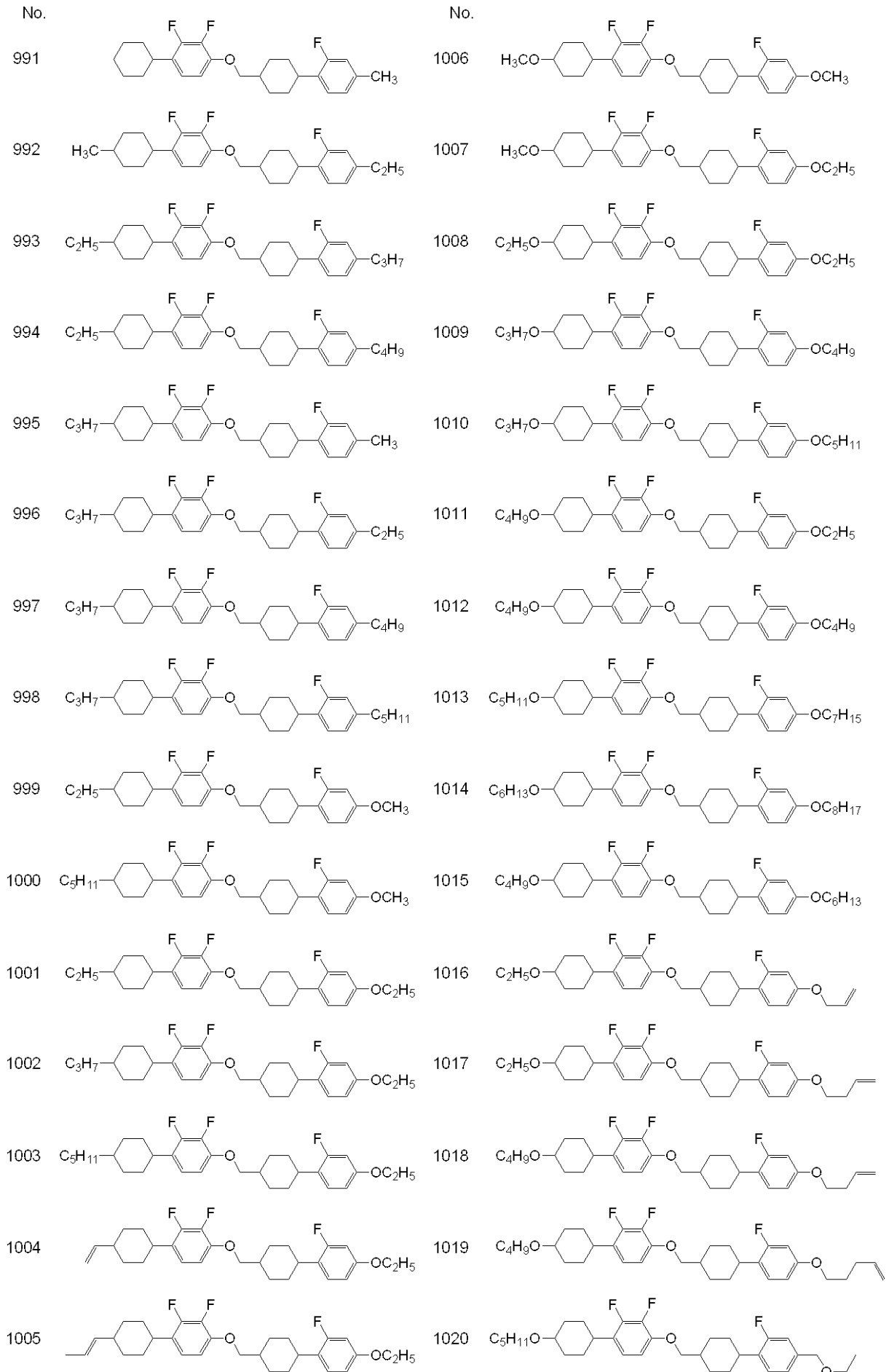
959

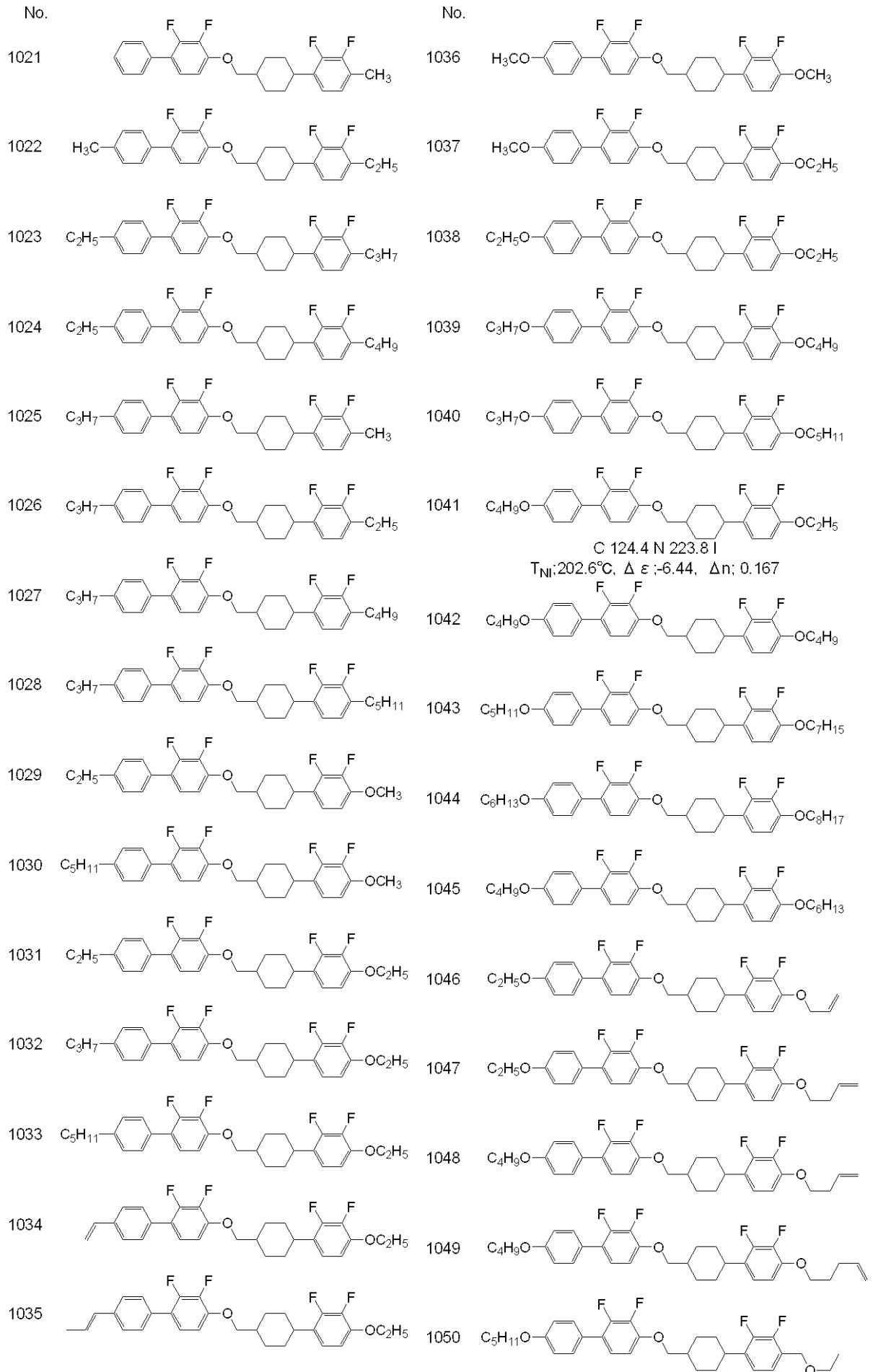


960

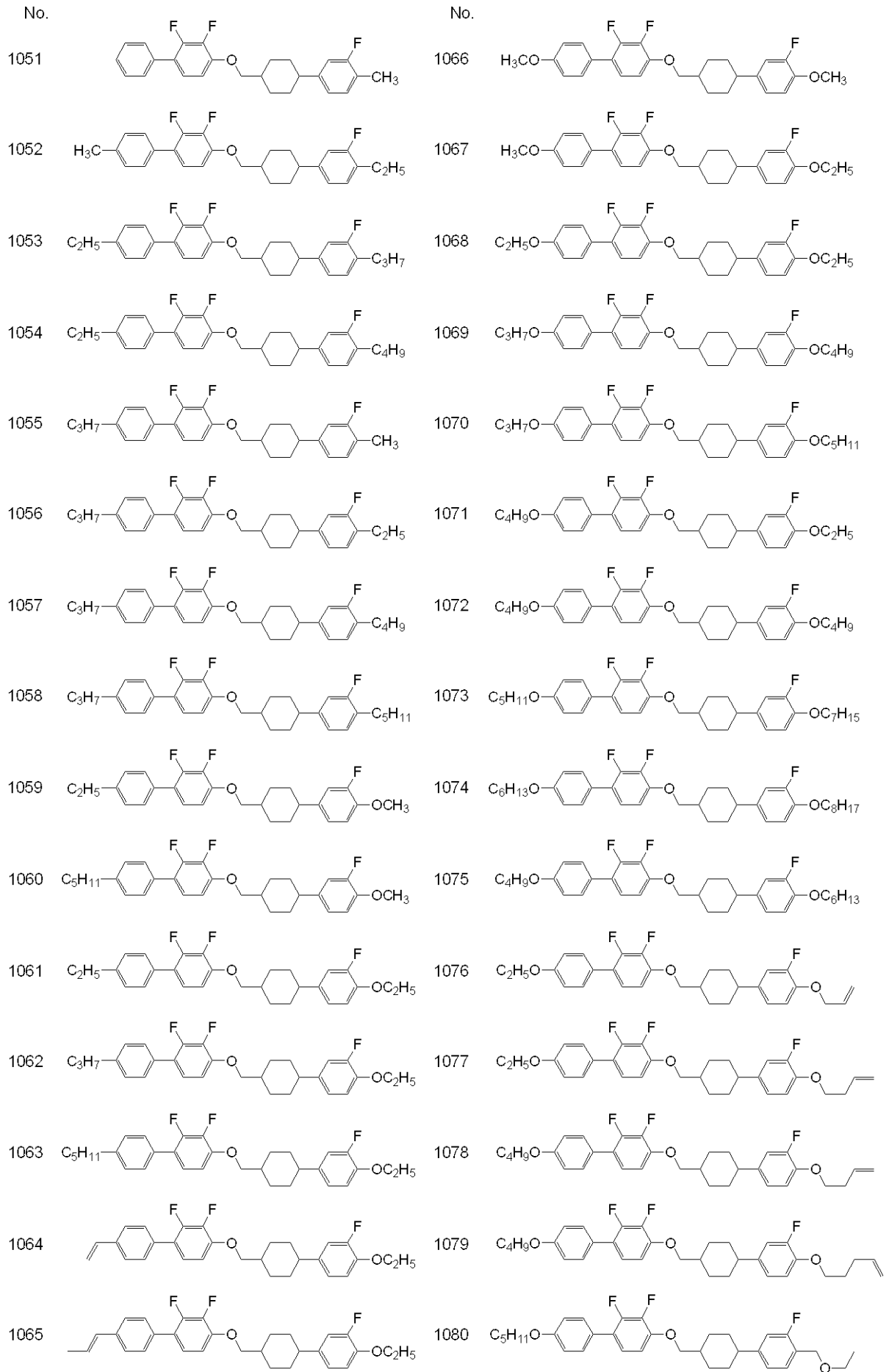


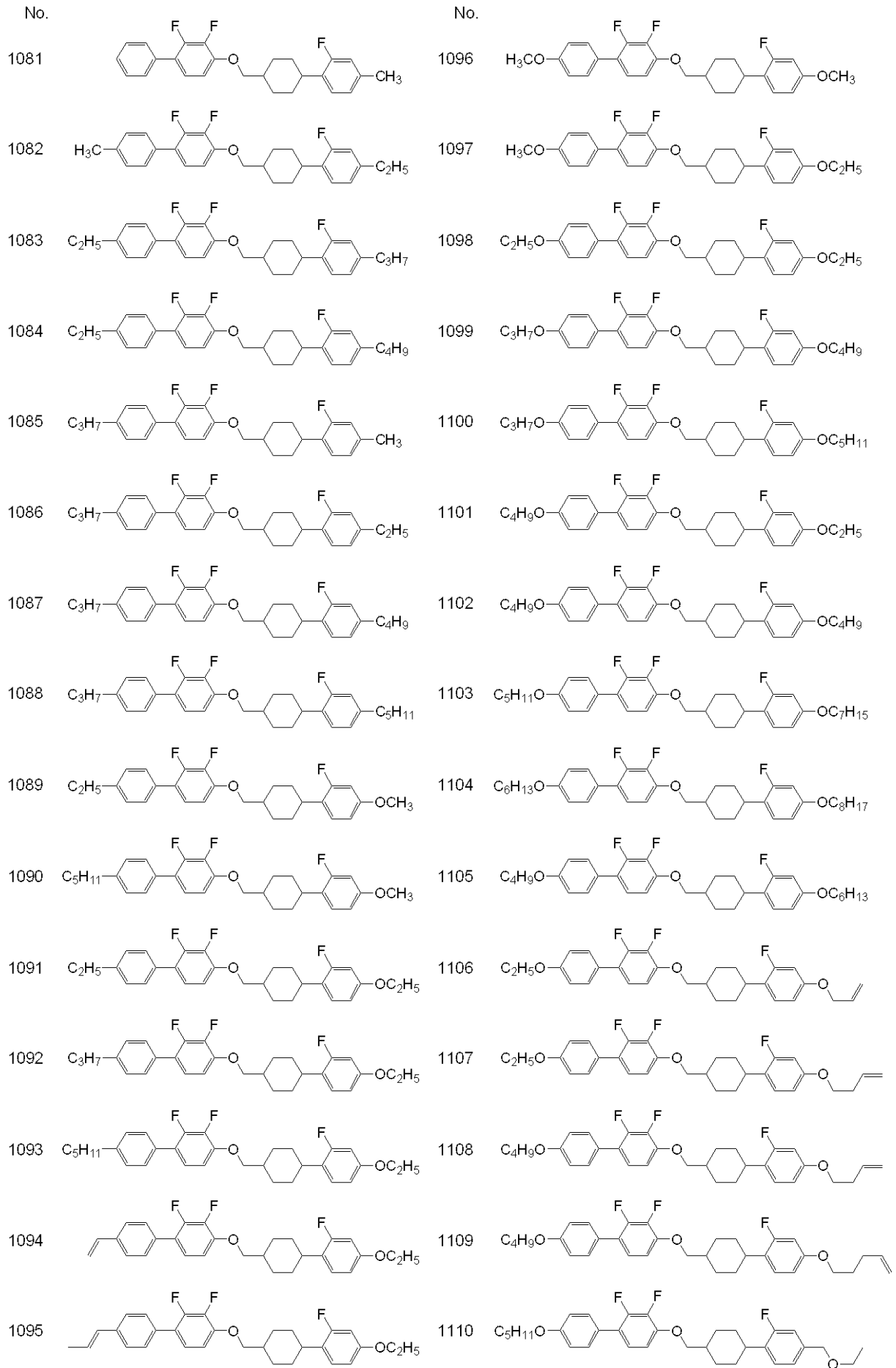


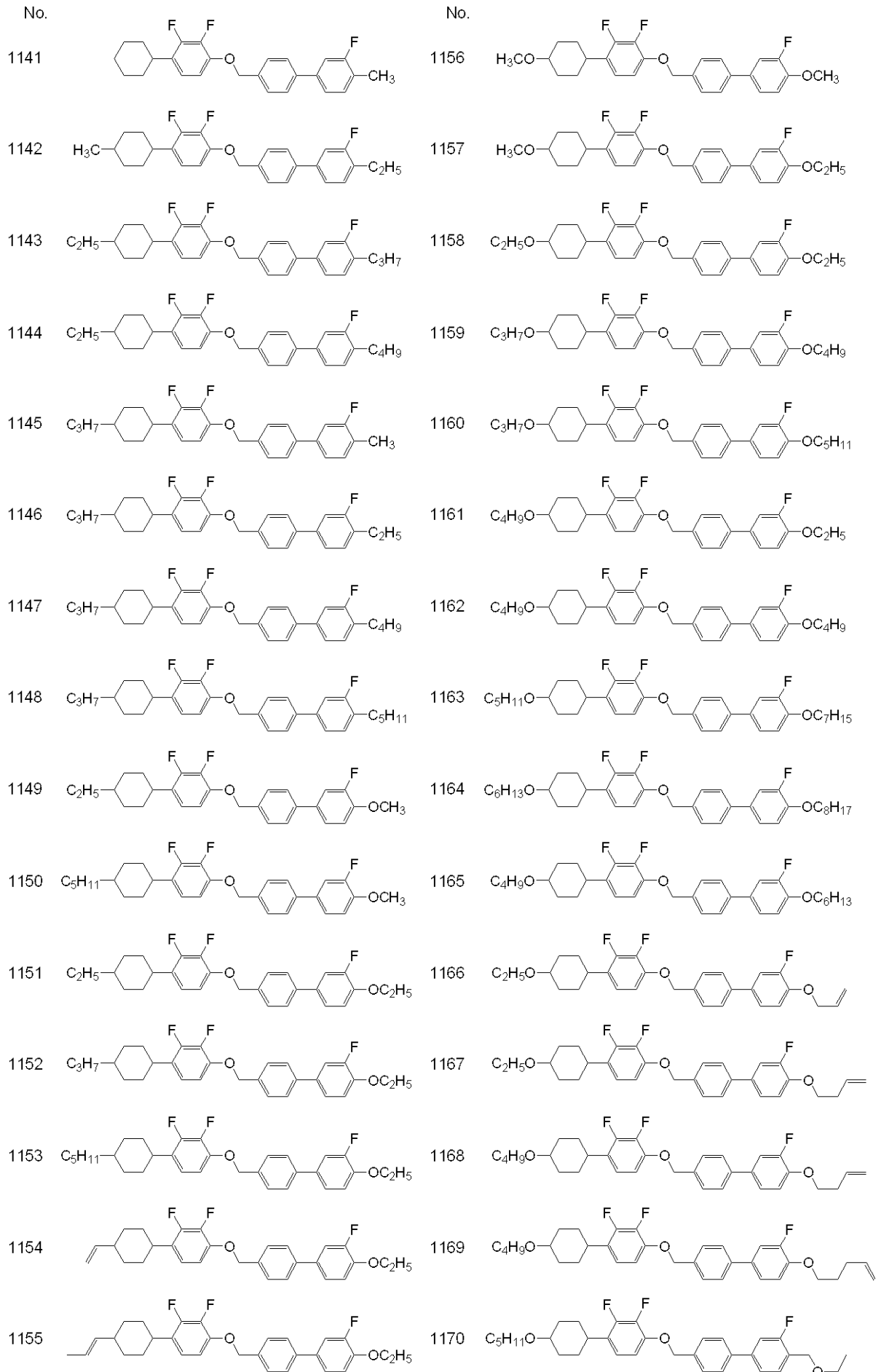


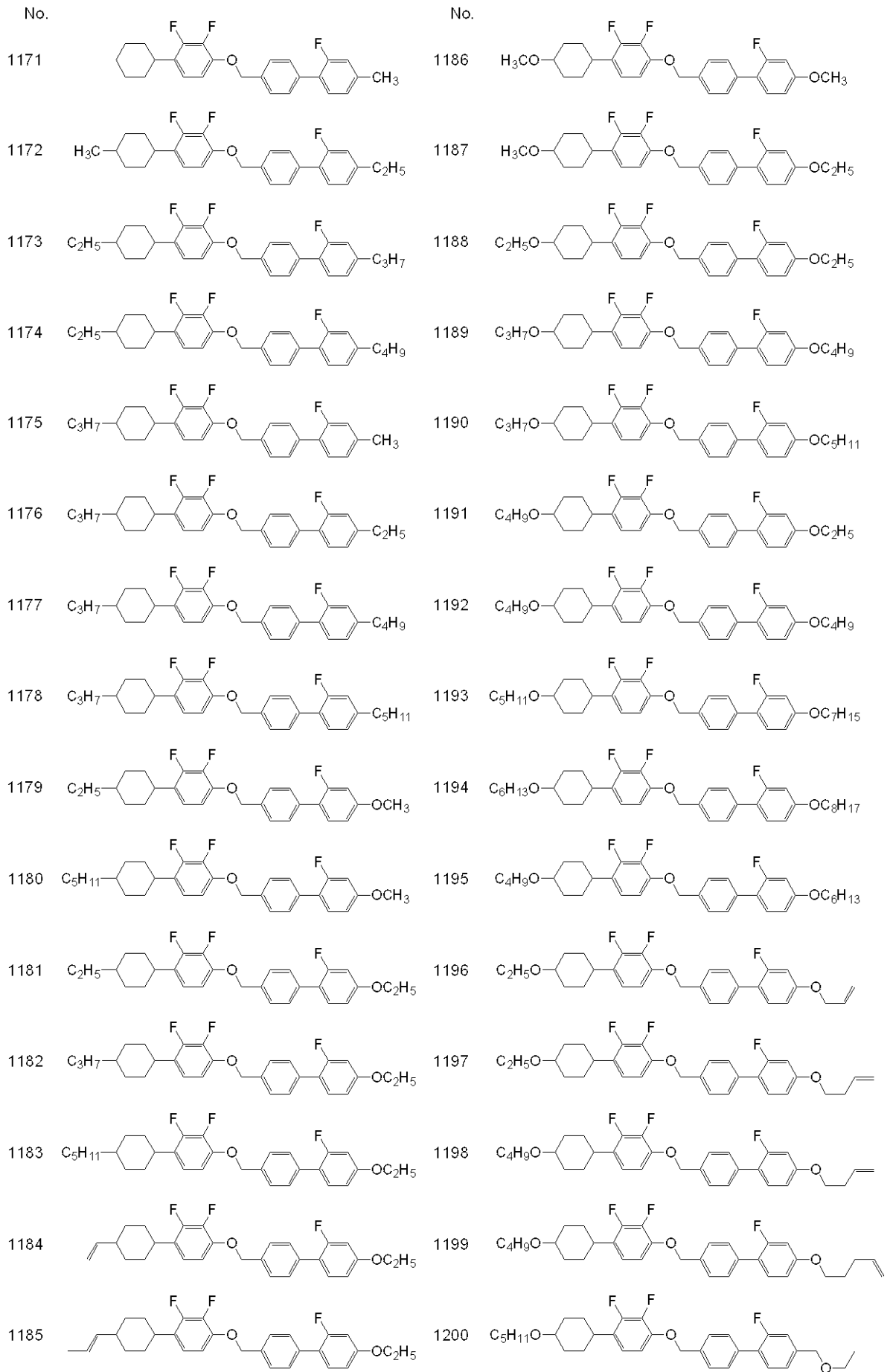


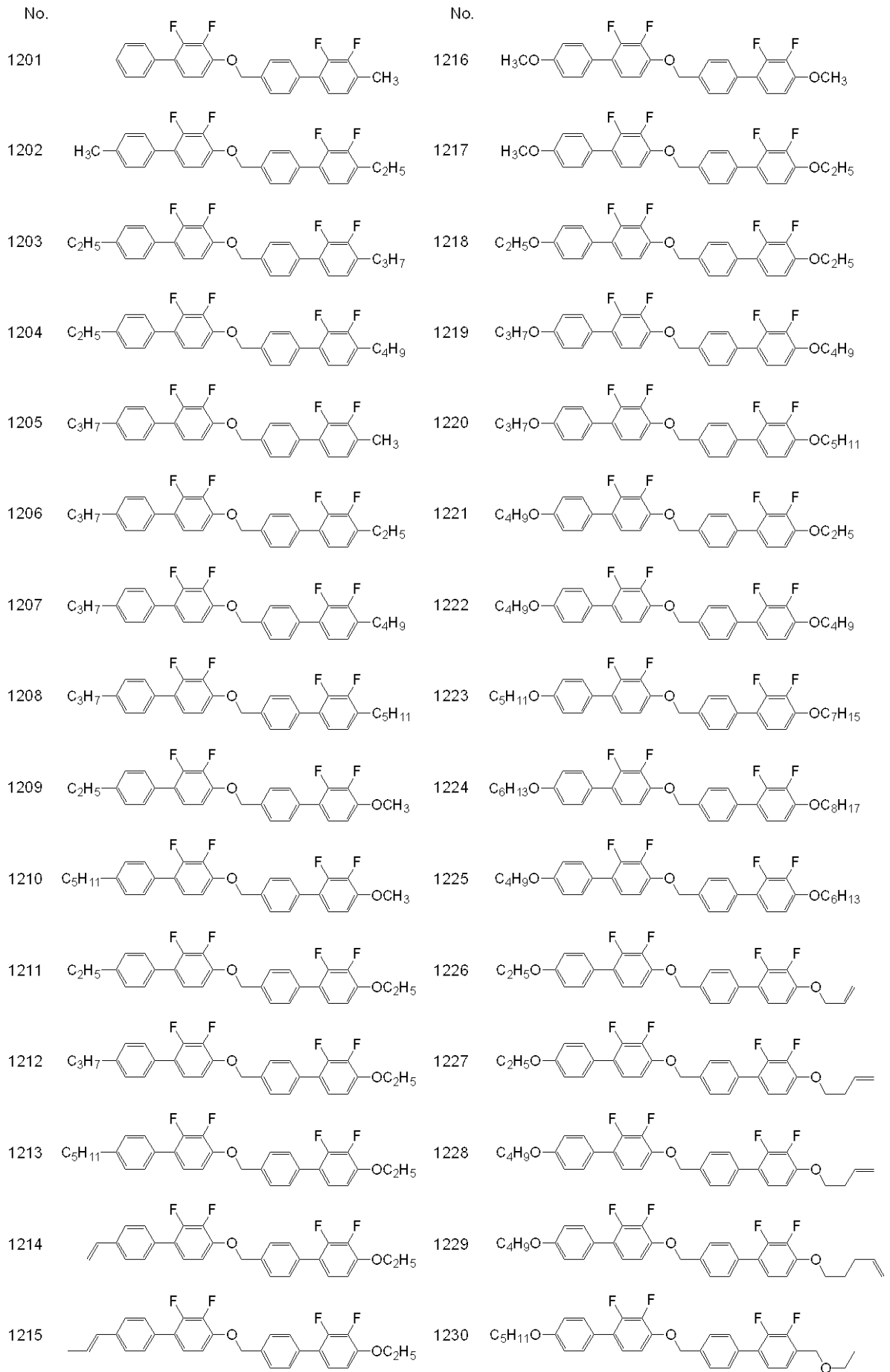
C 124.4 N 223.8 I
 $T_{Nj}: 202.6^{\circ}\text{C}$, $\Delta \varepsilon: -6.44$, $\Delta n: 0.167$

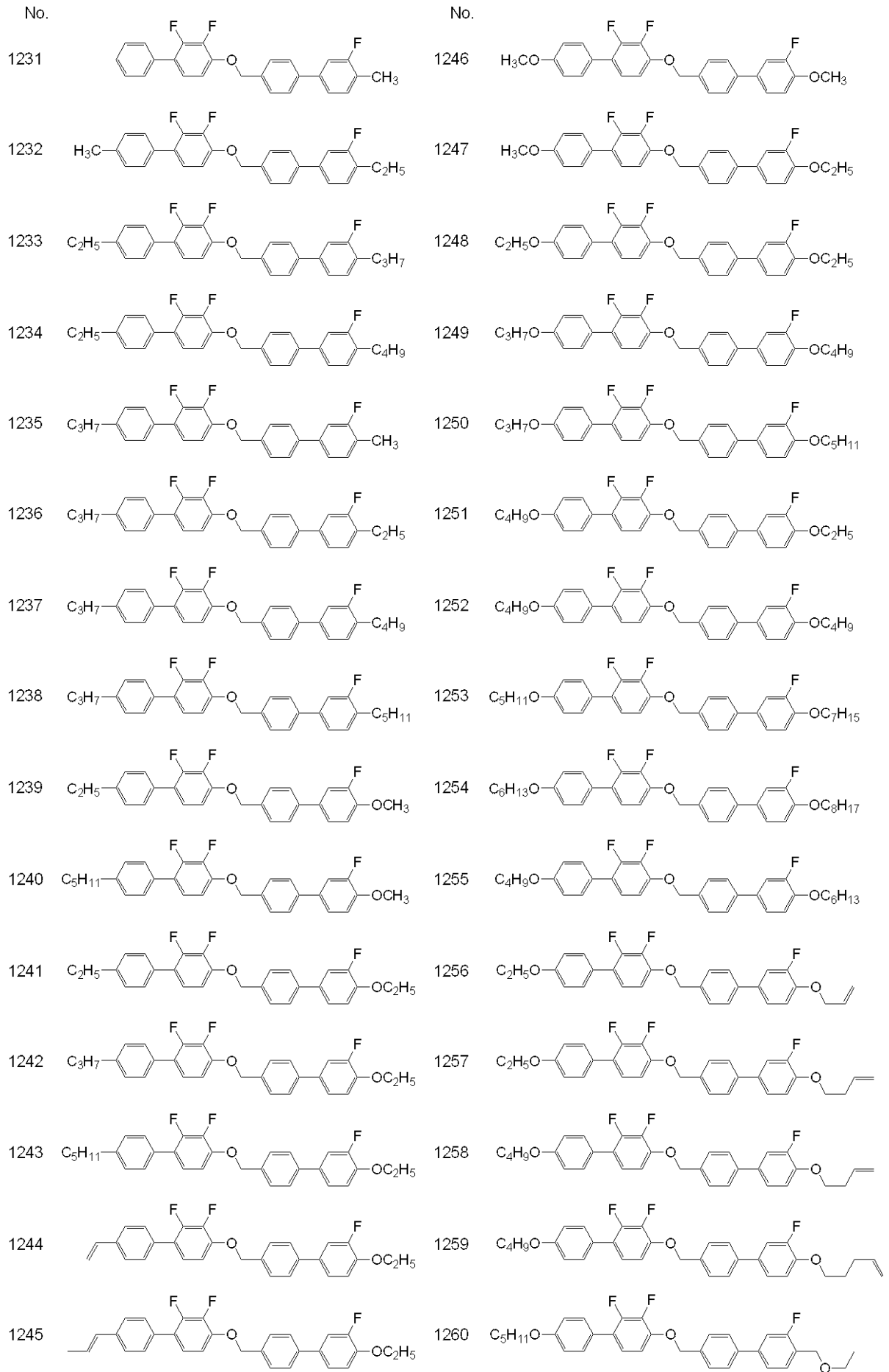




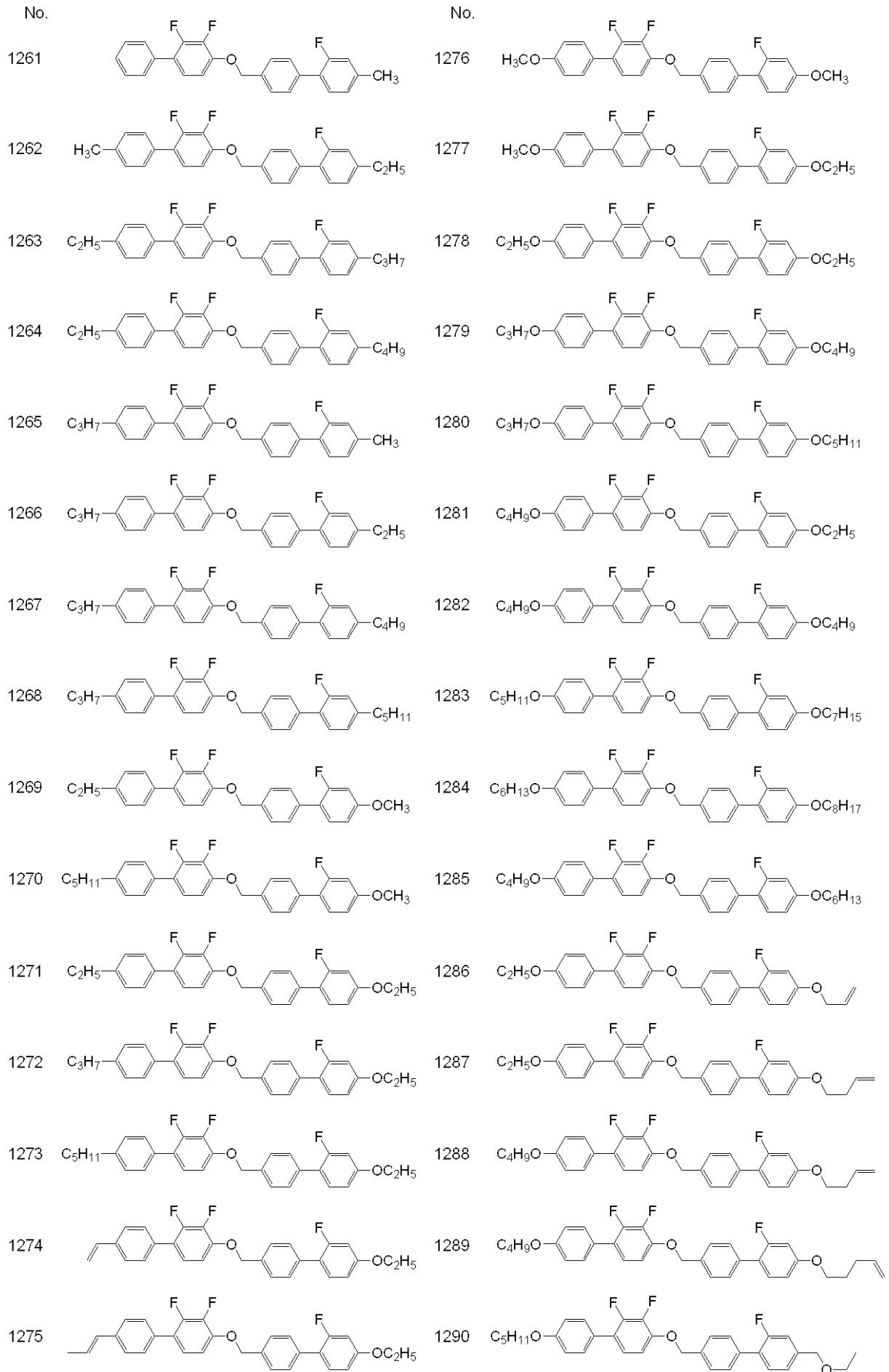


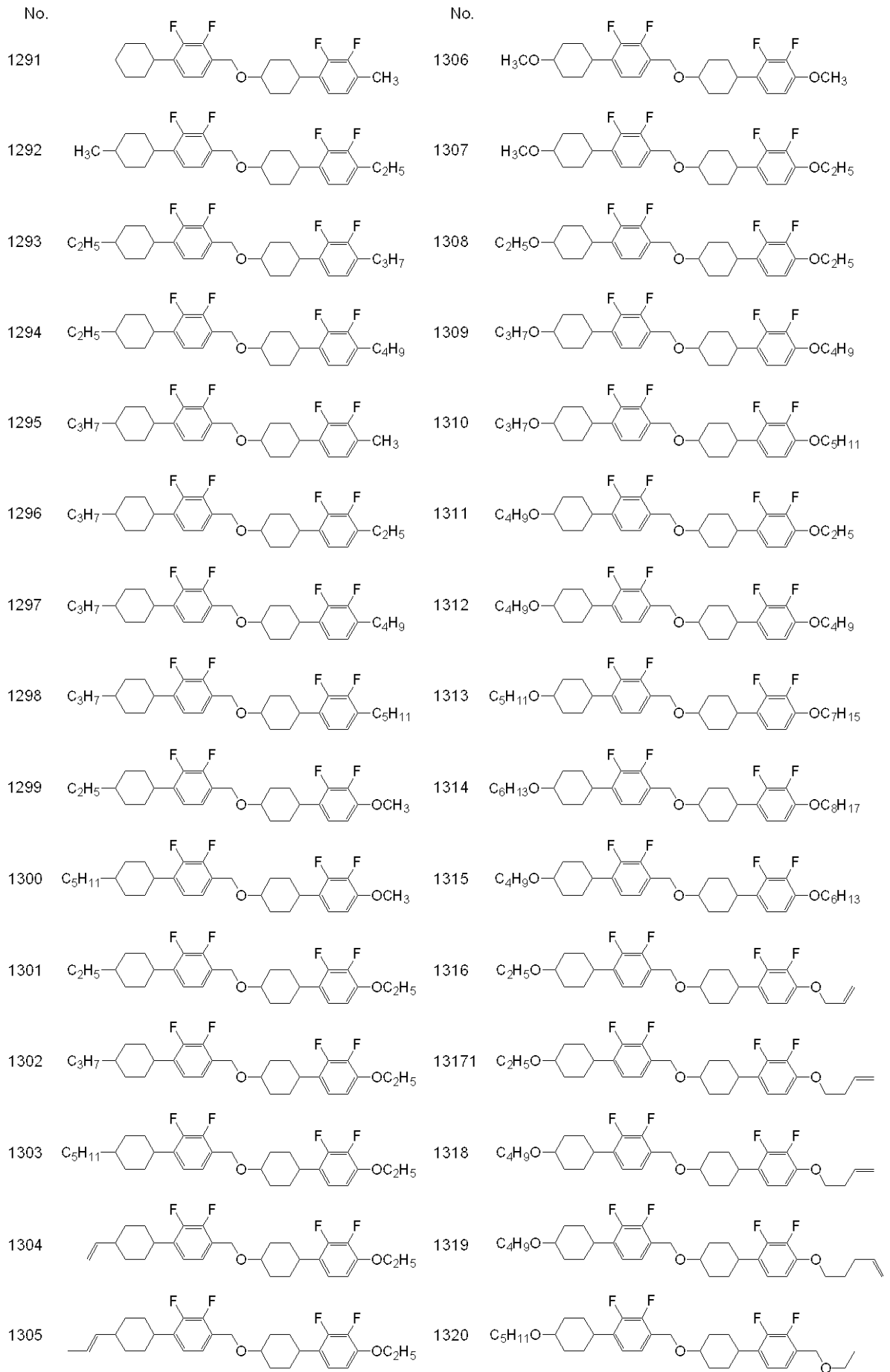


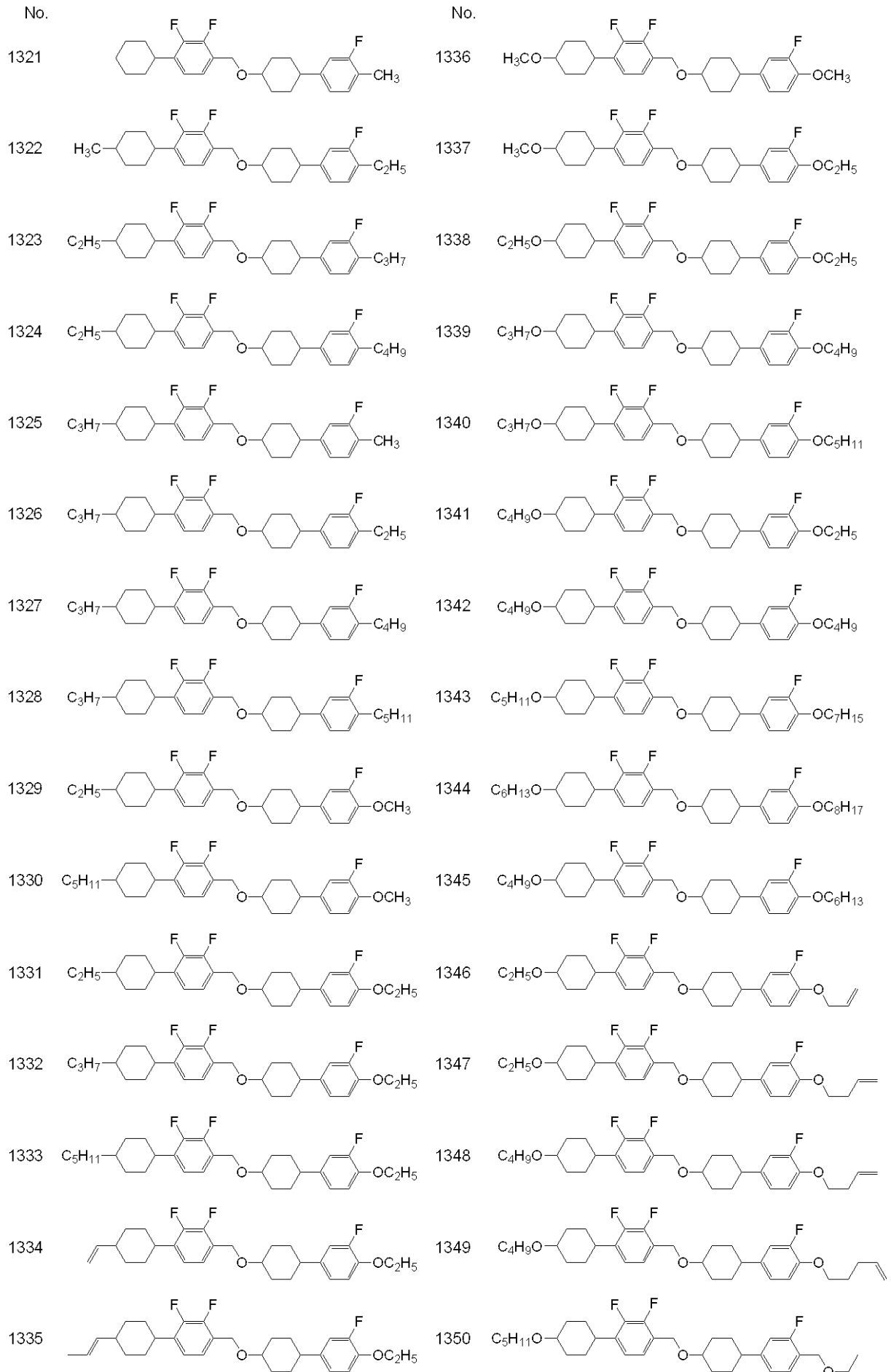


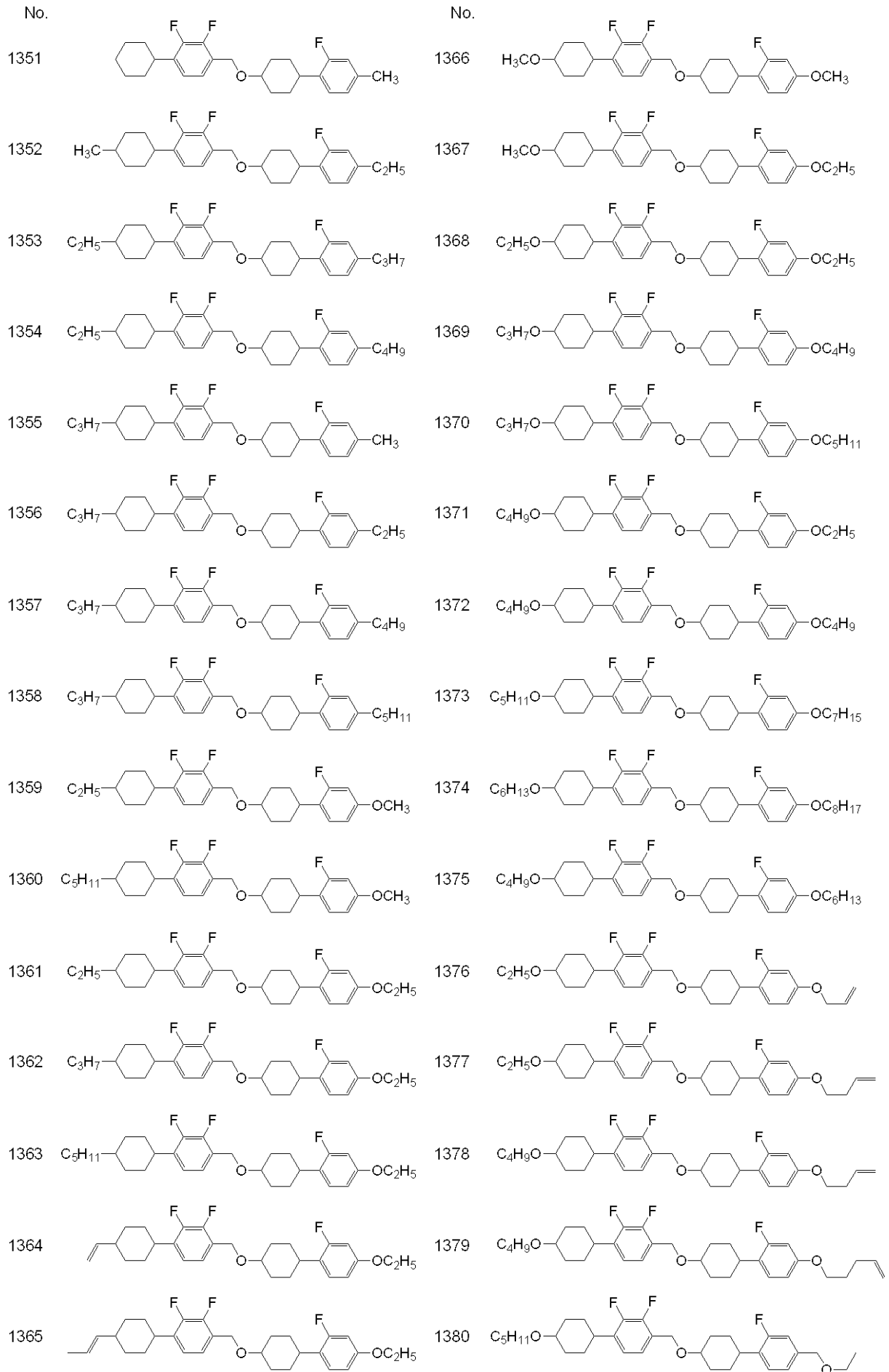


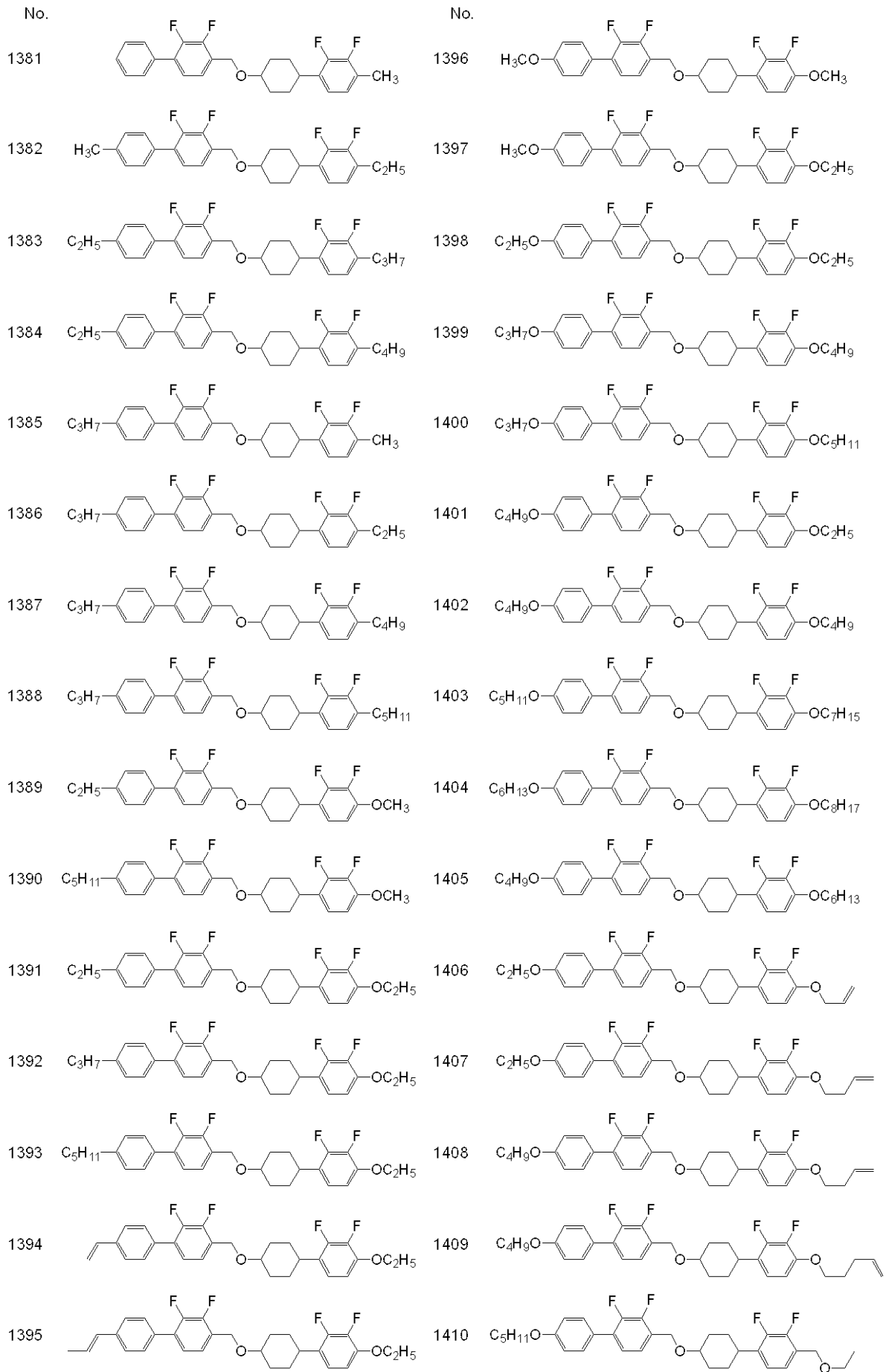
【 0 3 5 2 】

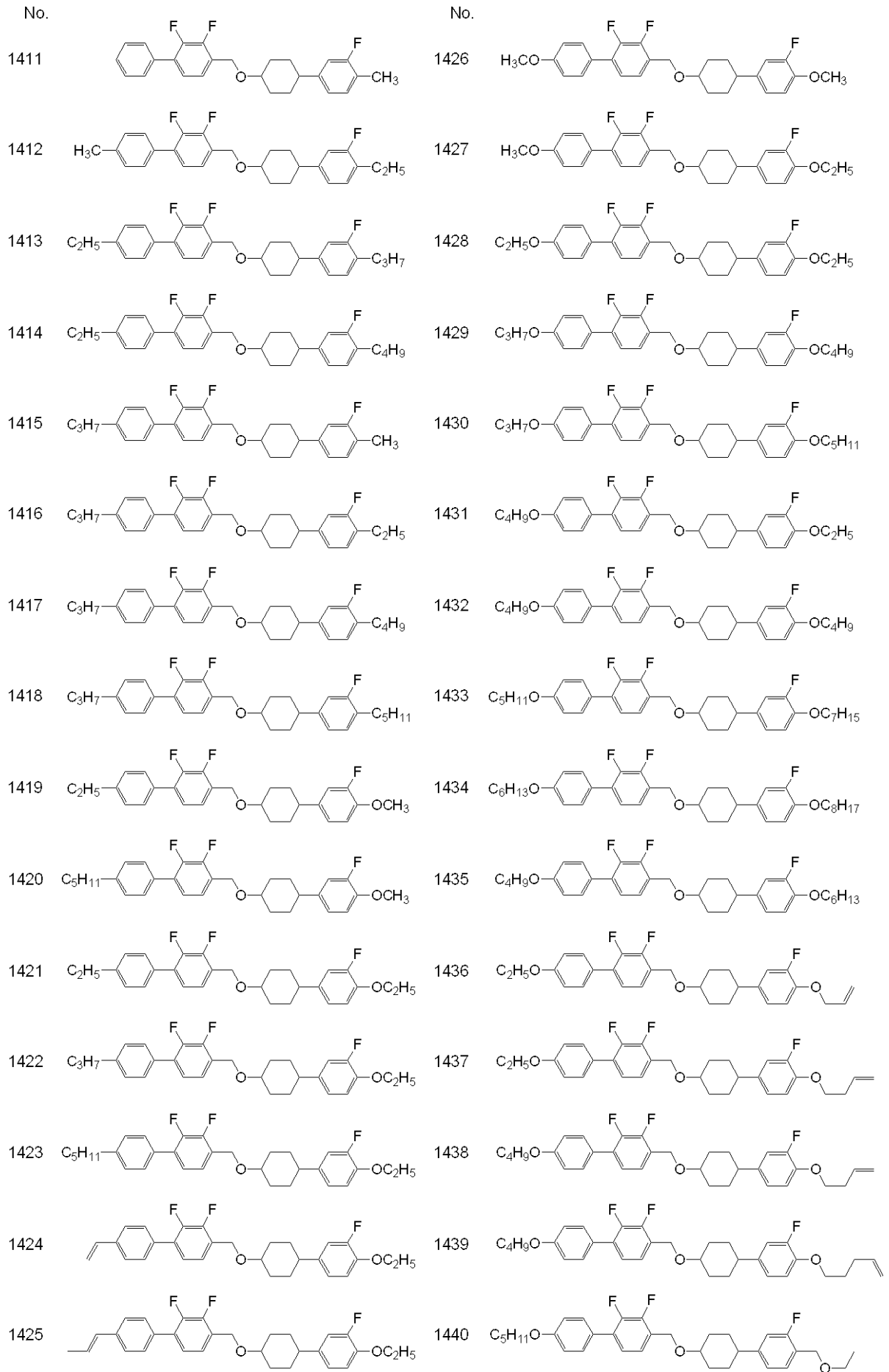












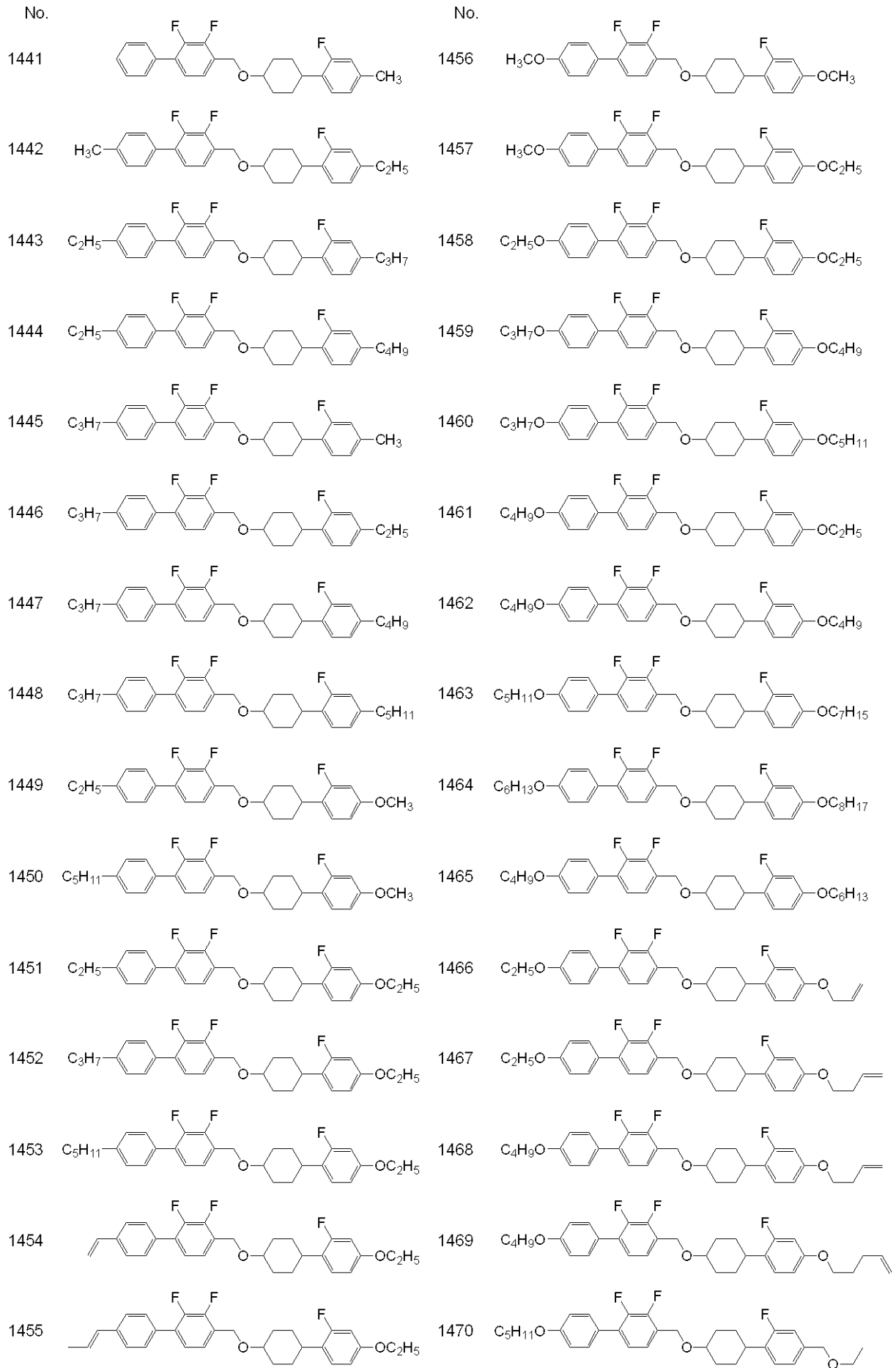
【 0 3 5 8 】

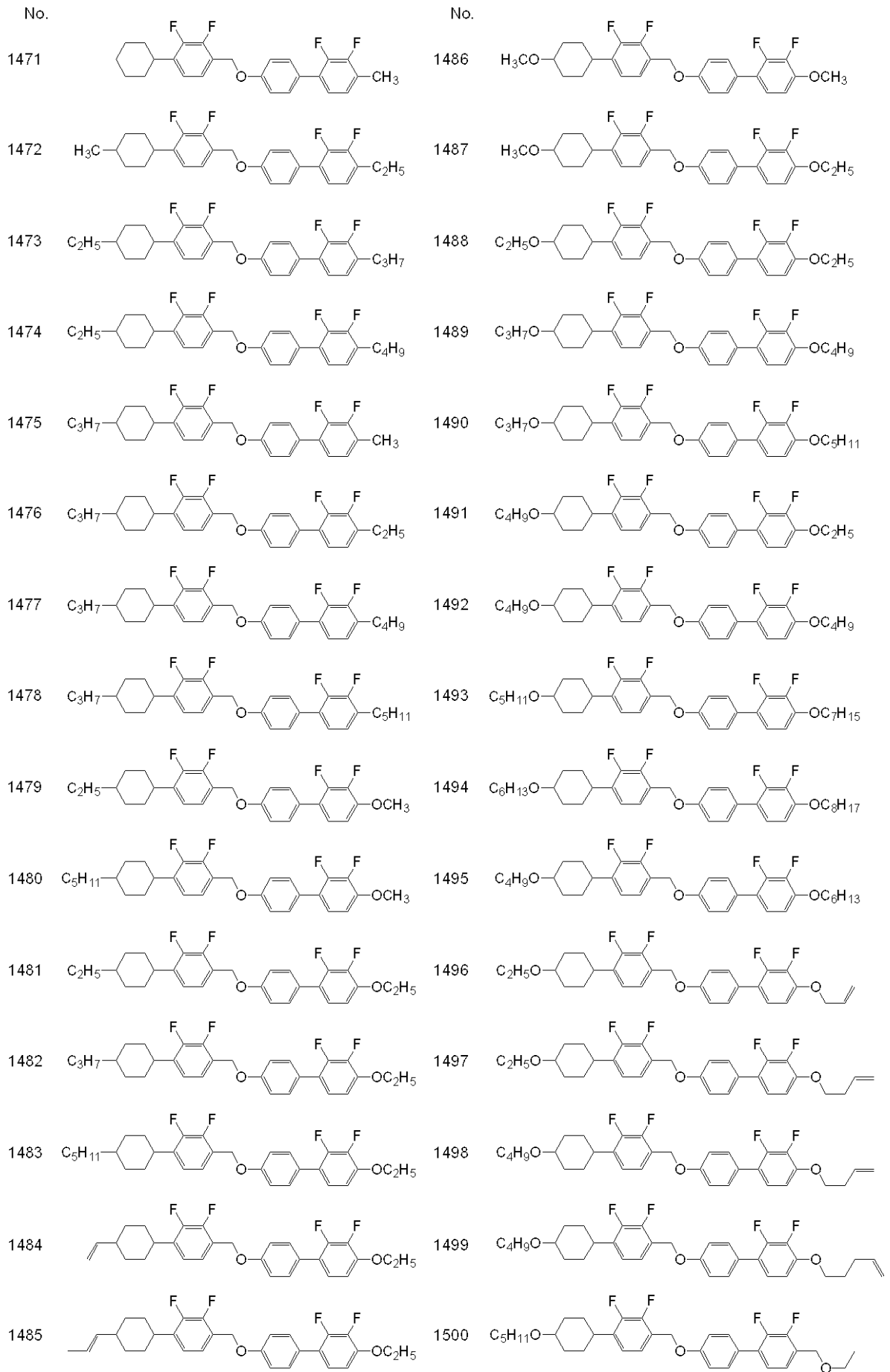
10

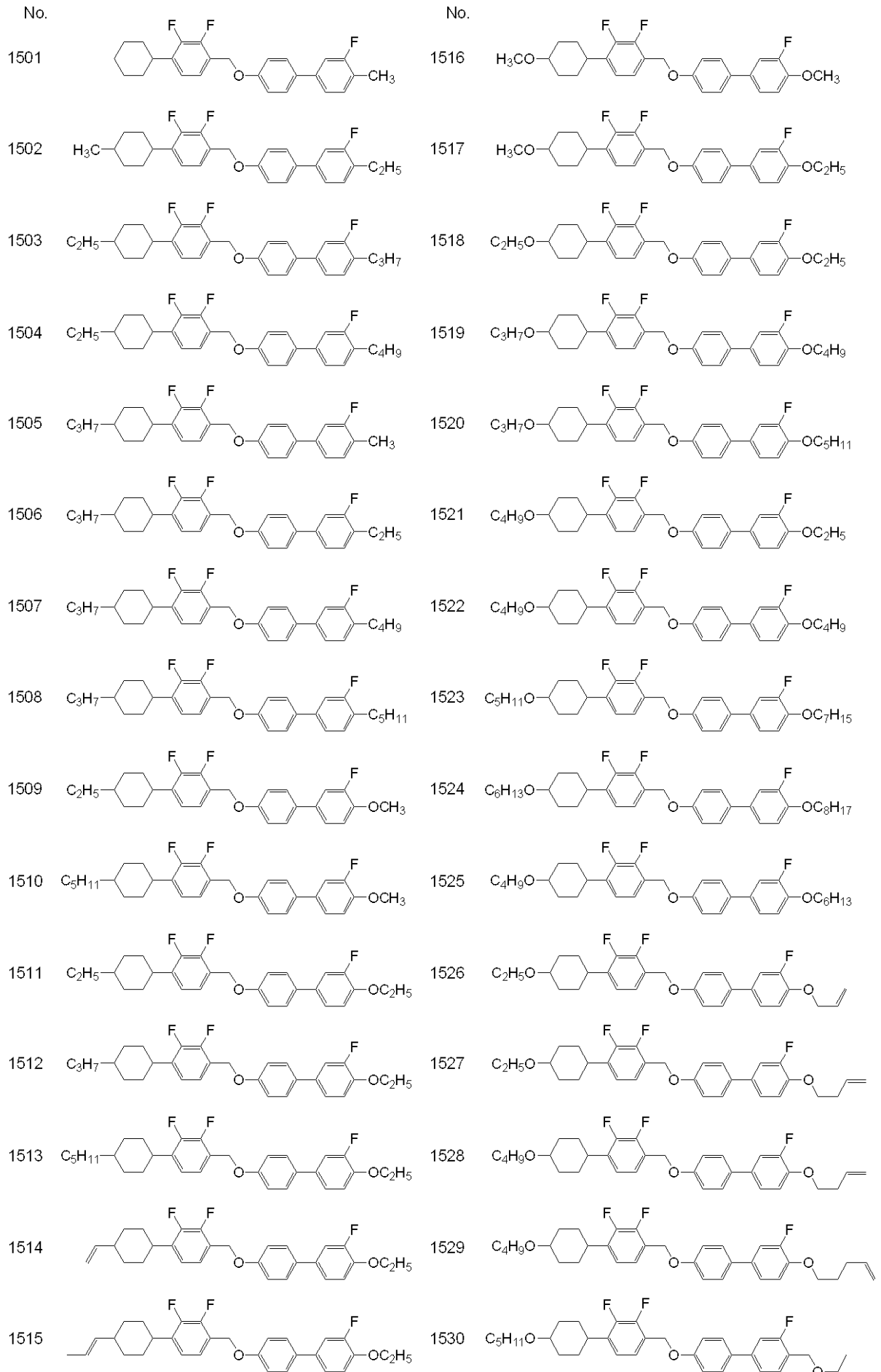
20

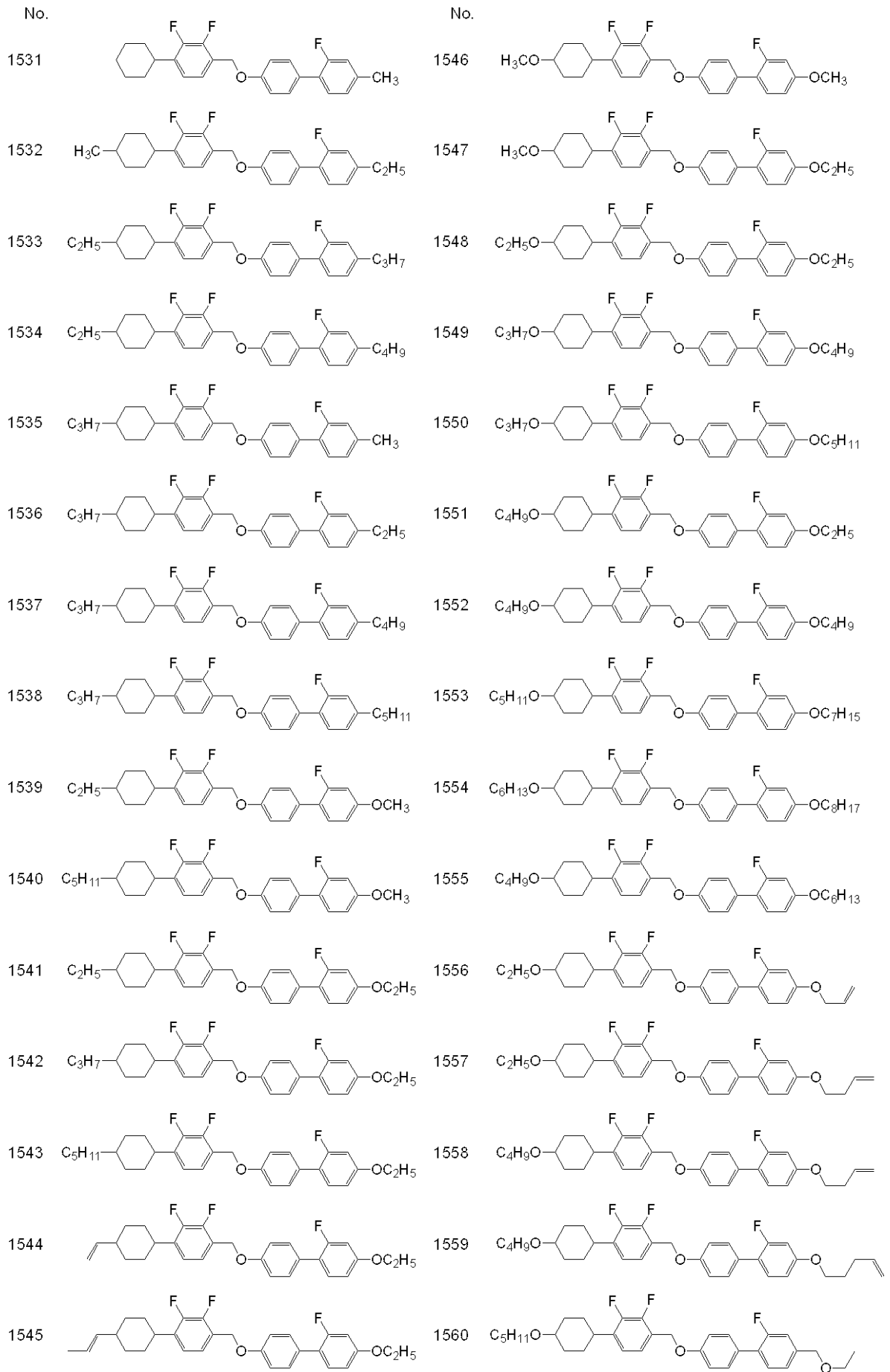
30

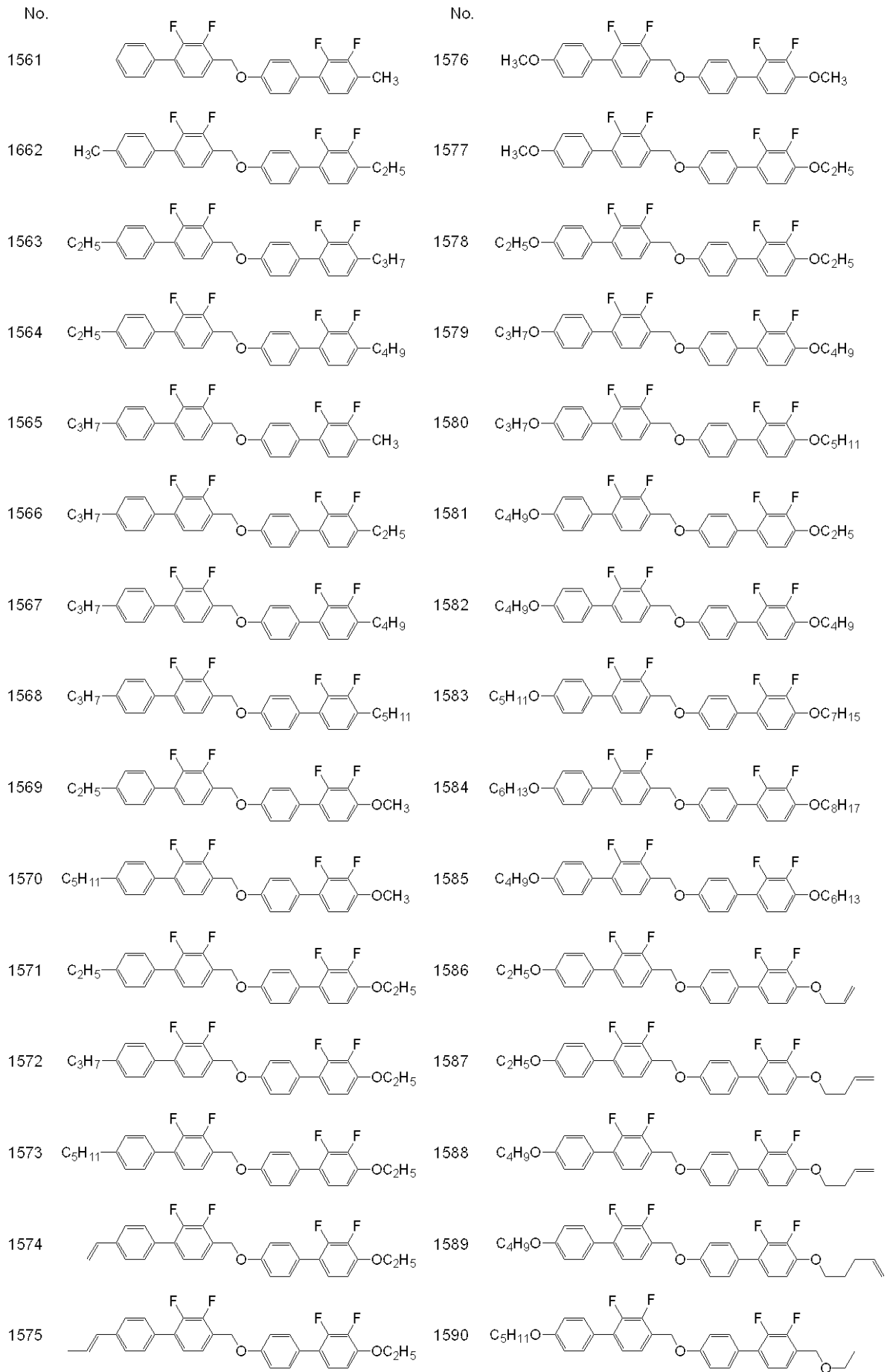
40

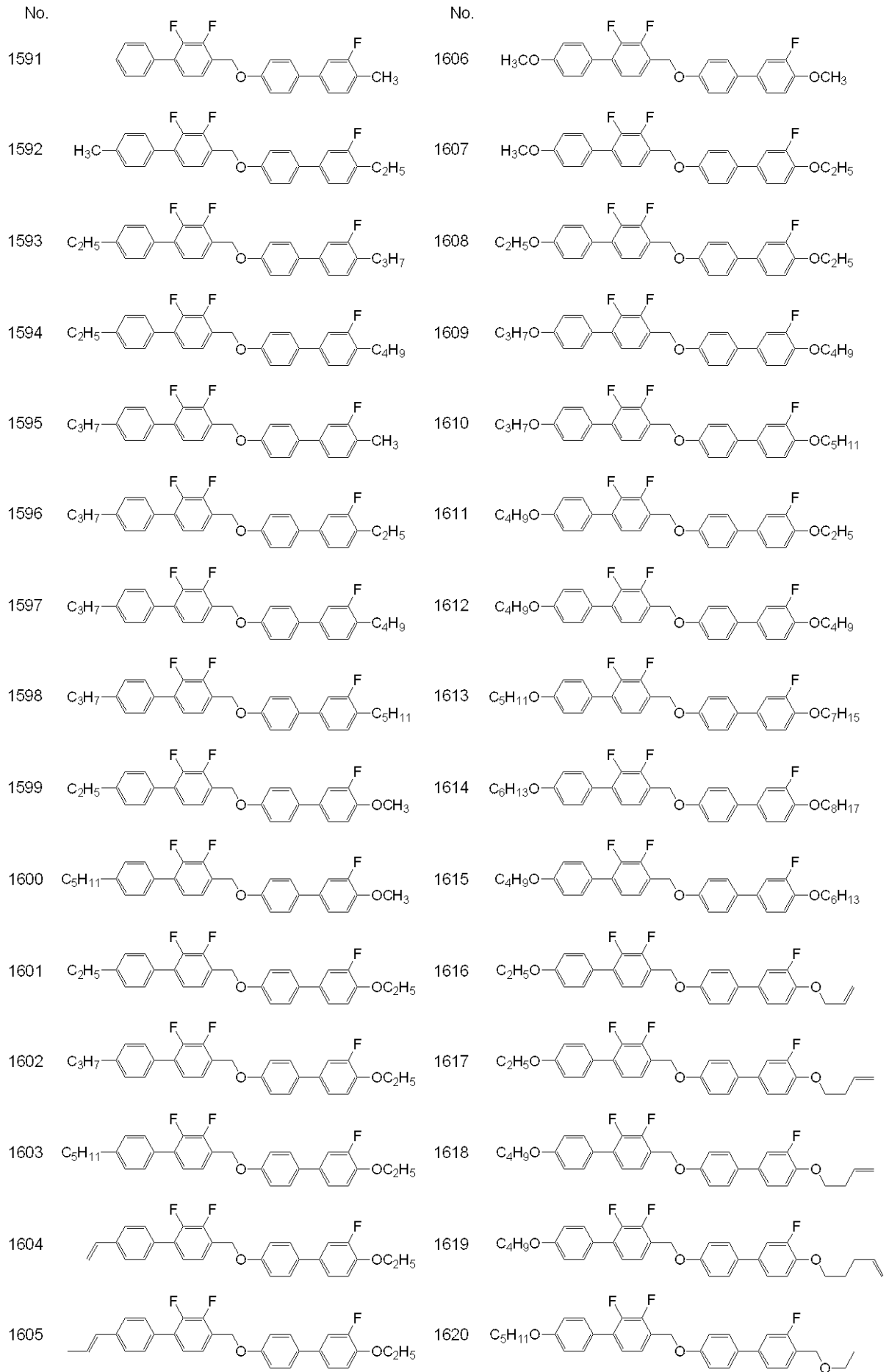


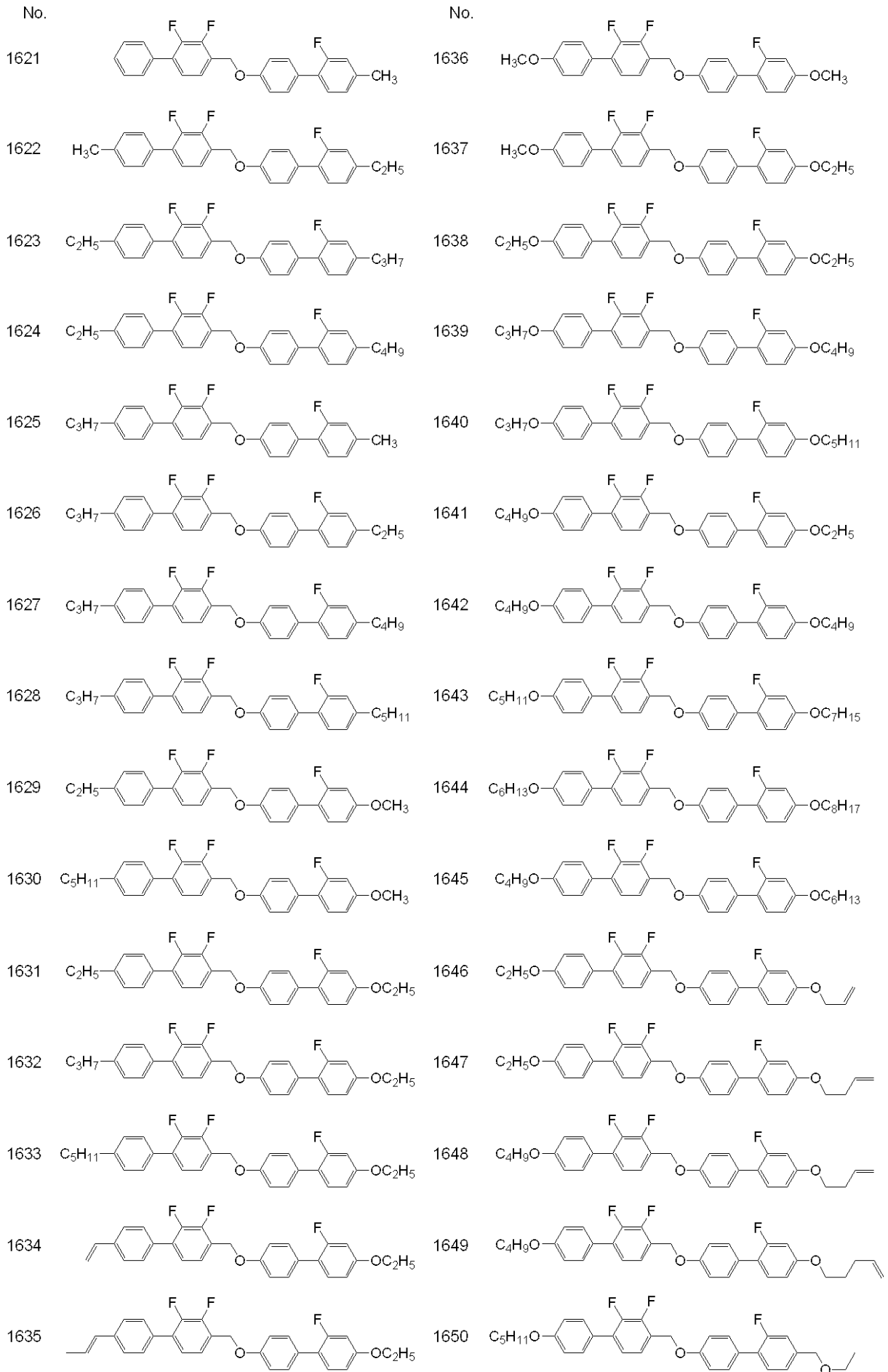


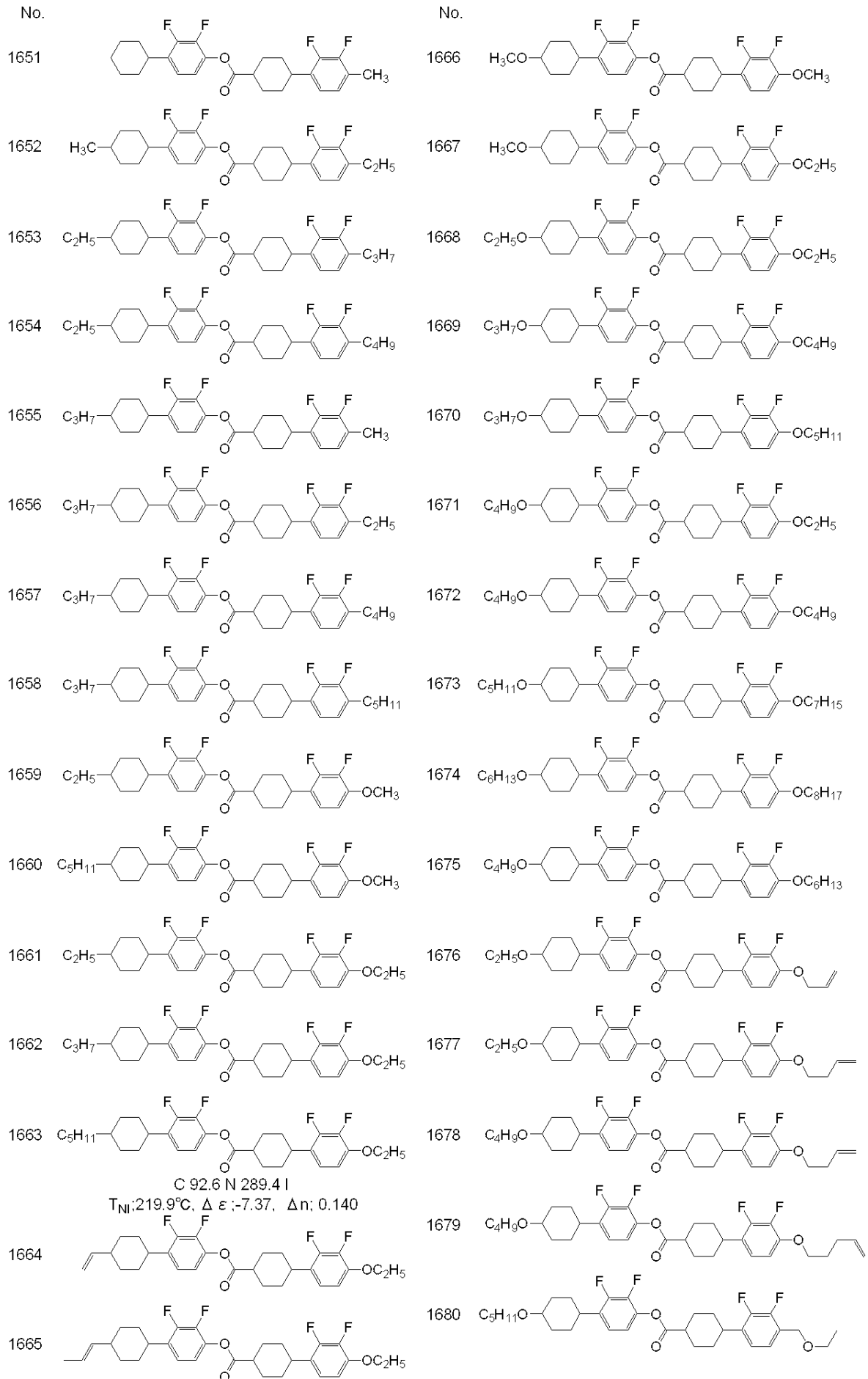


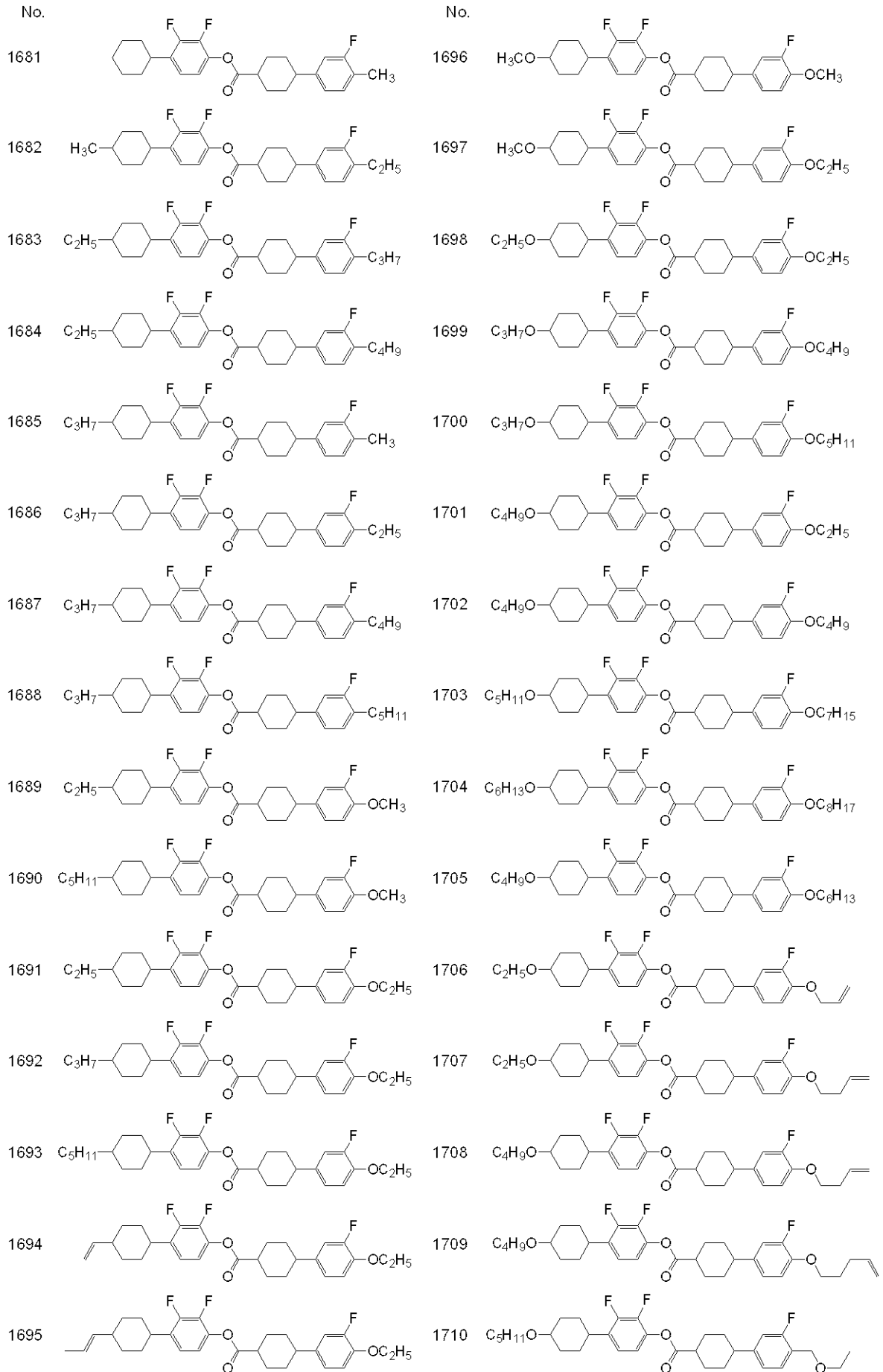


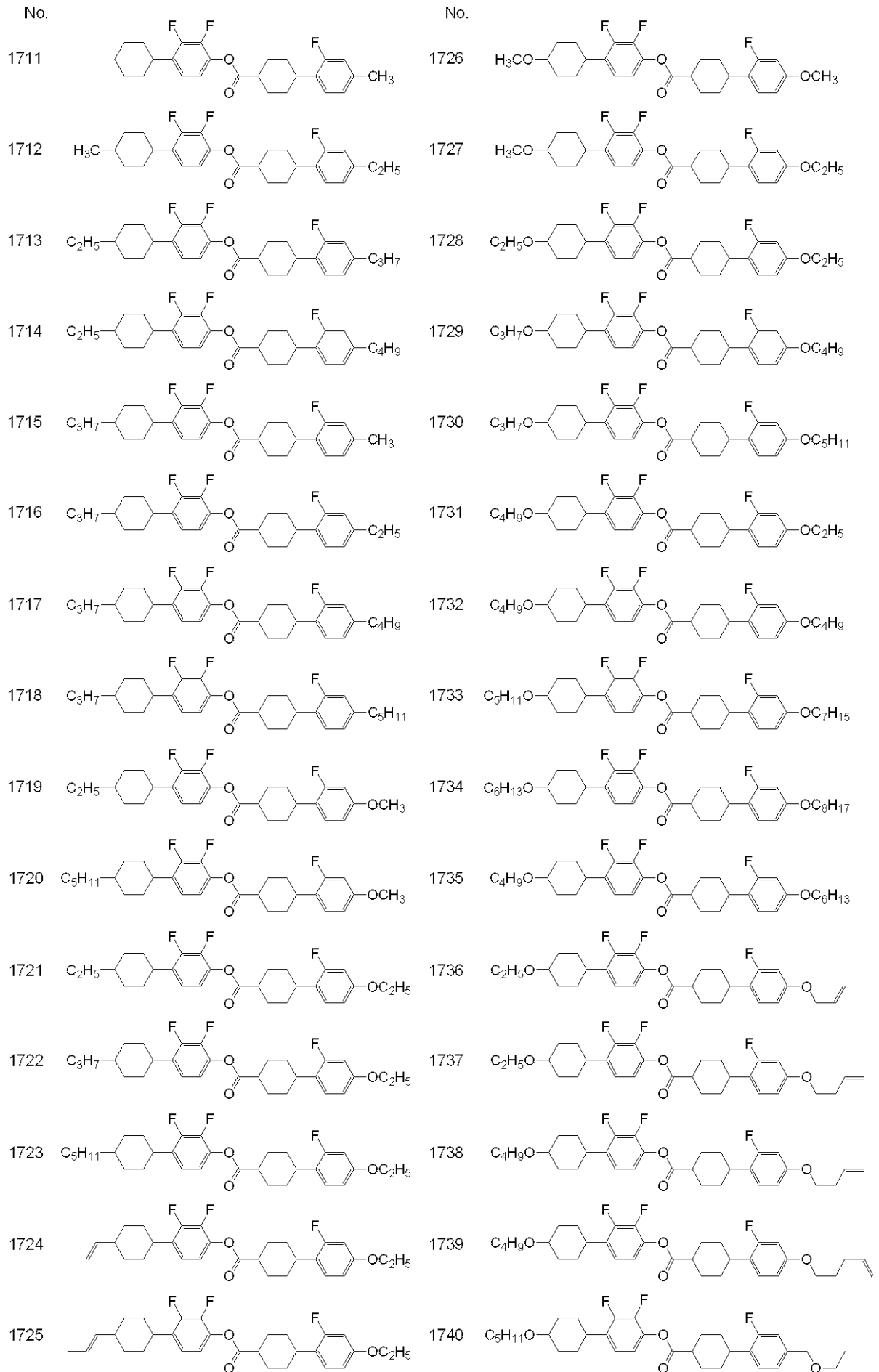


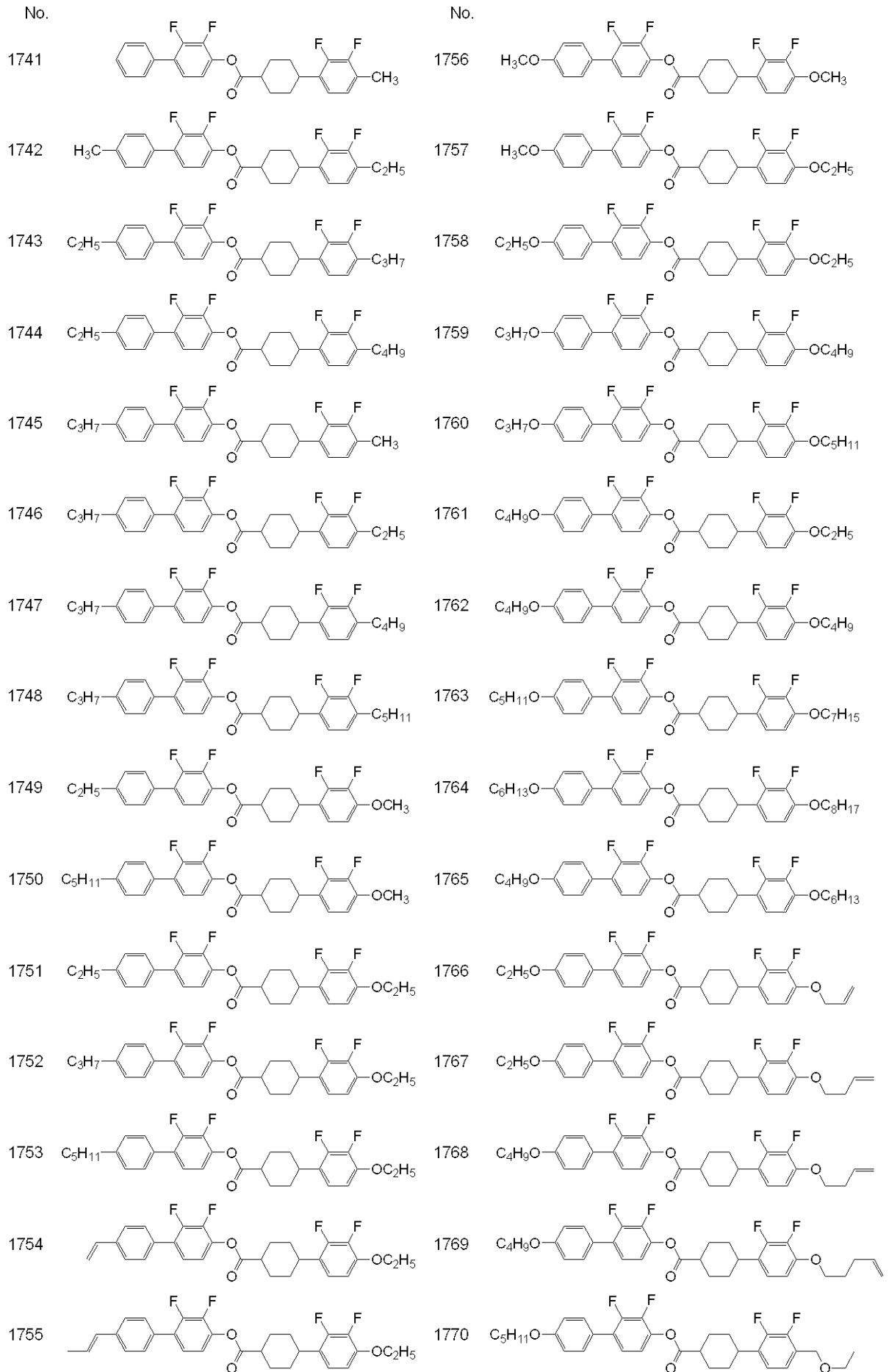












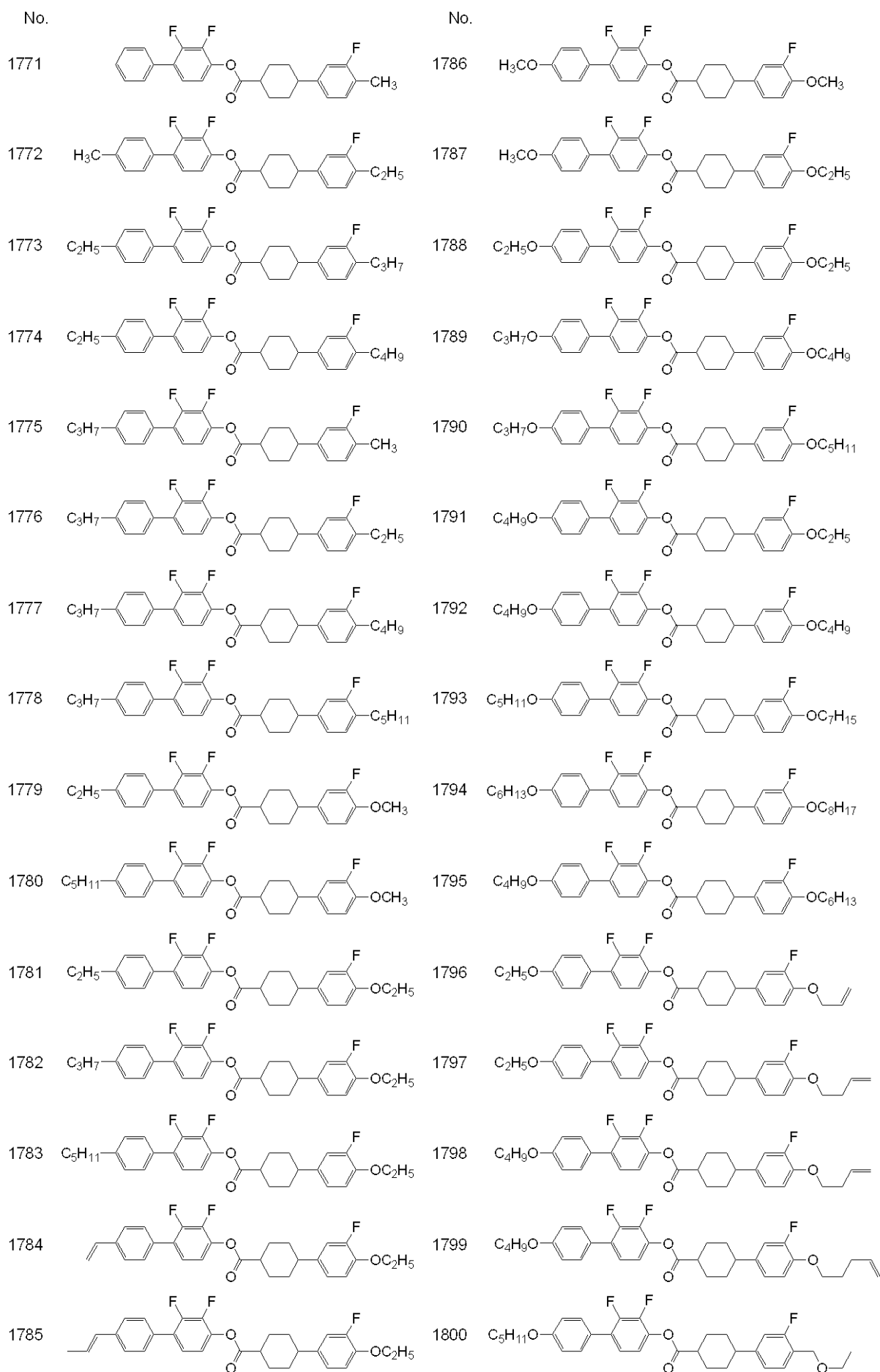
【 0 3 6 9 】

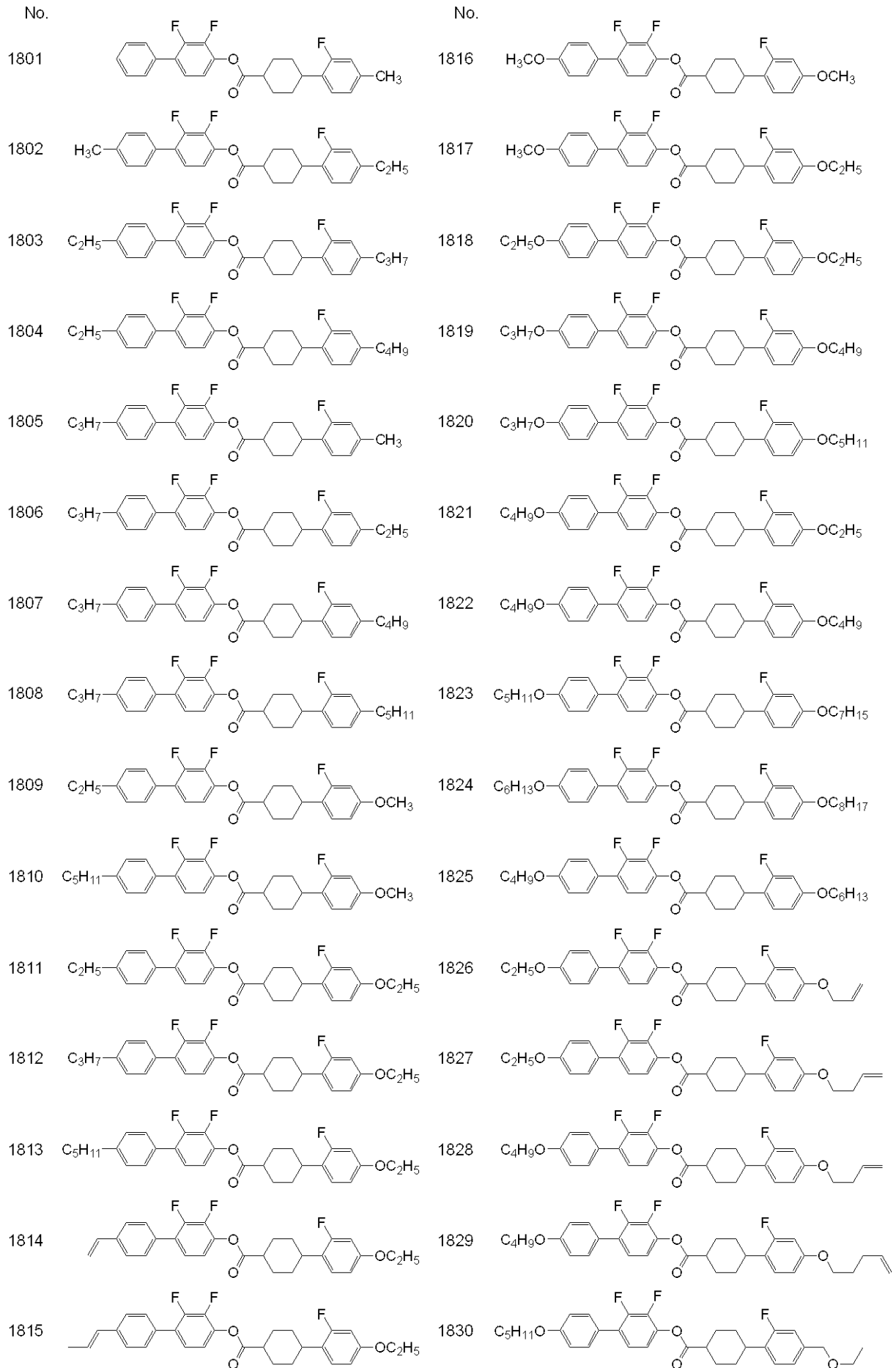
10

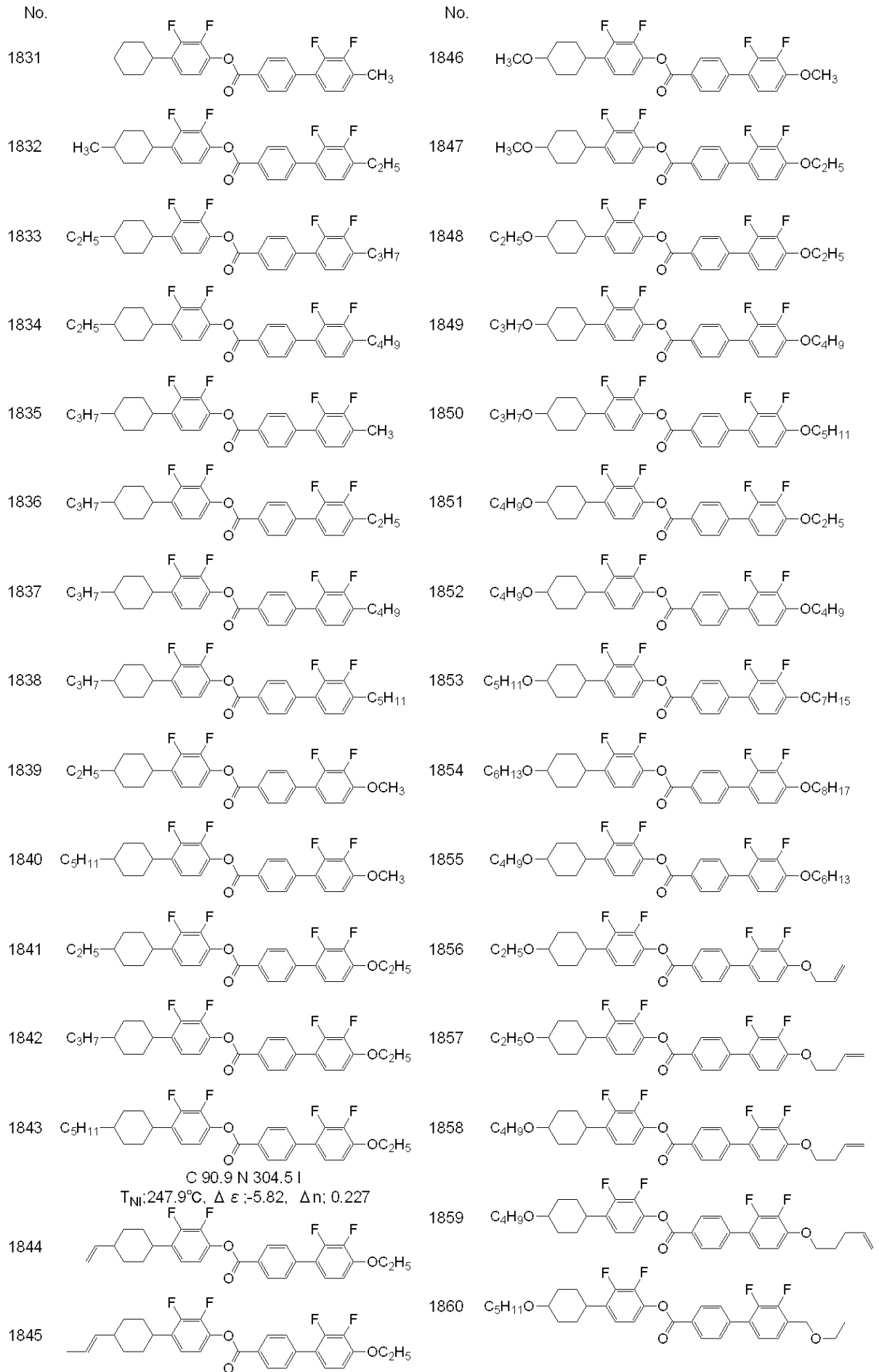
20

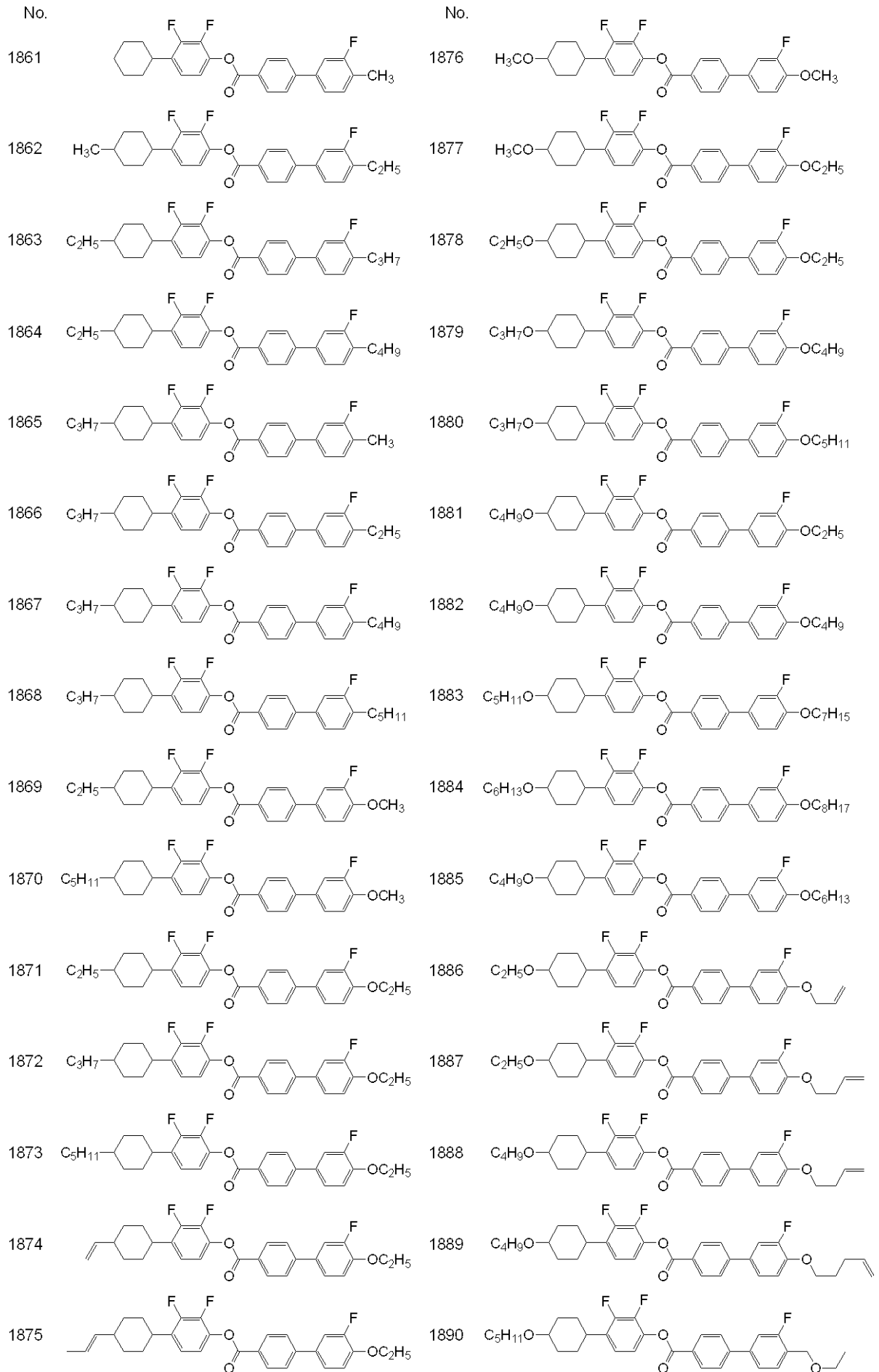
30

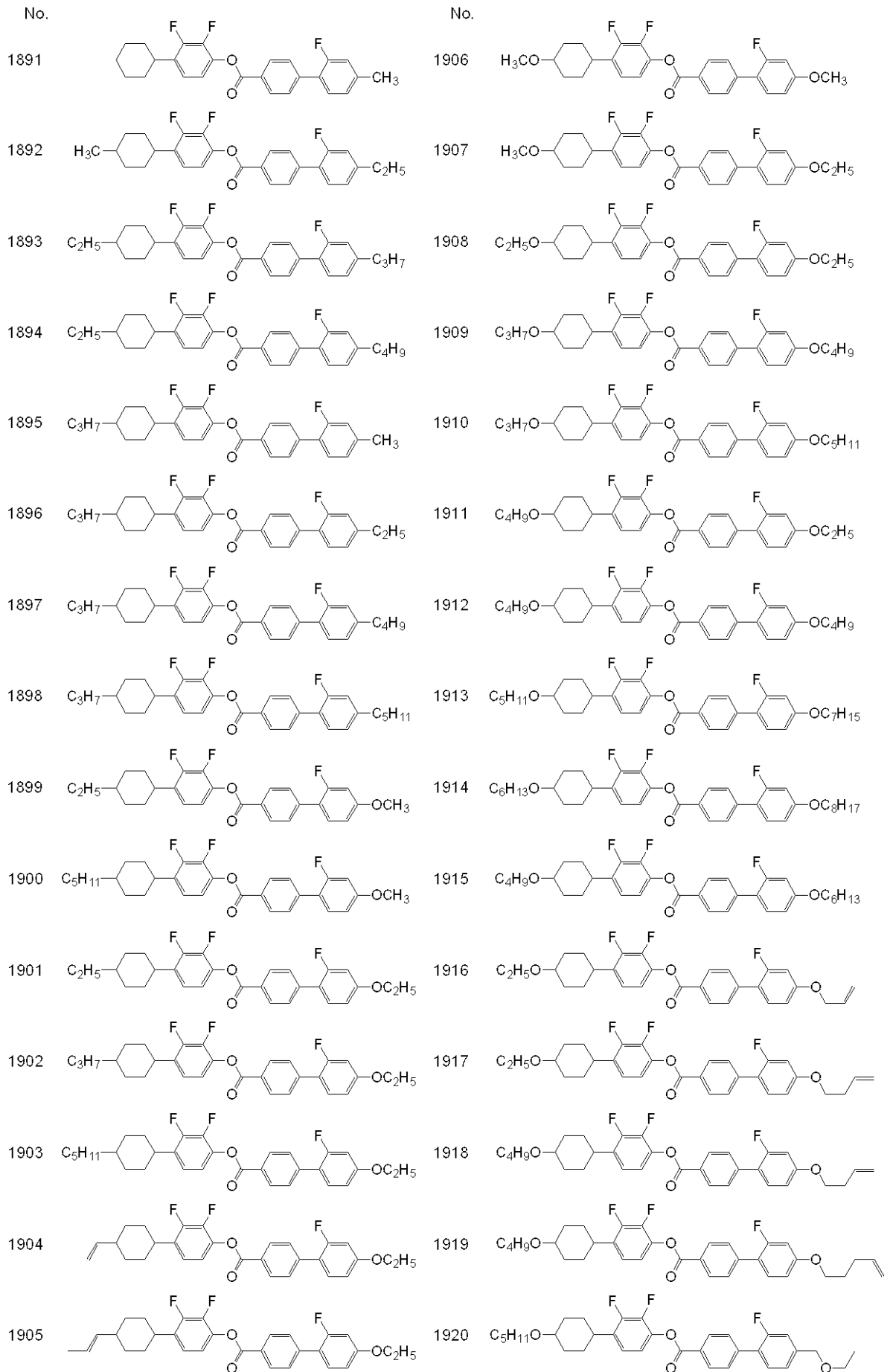
40

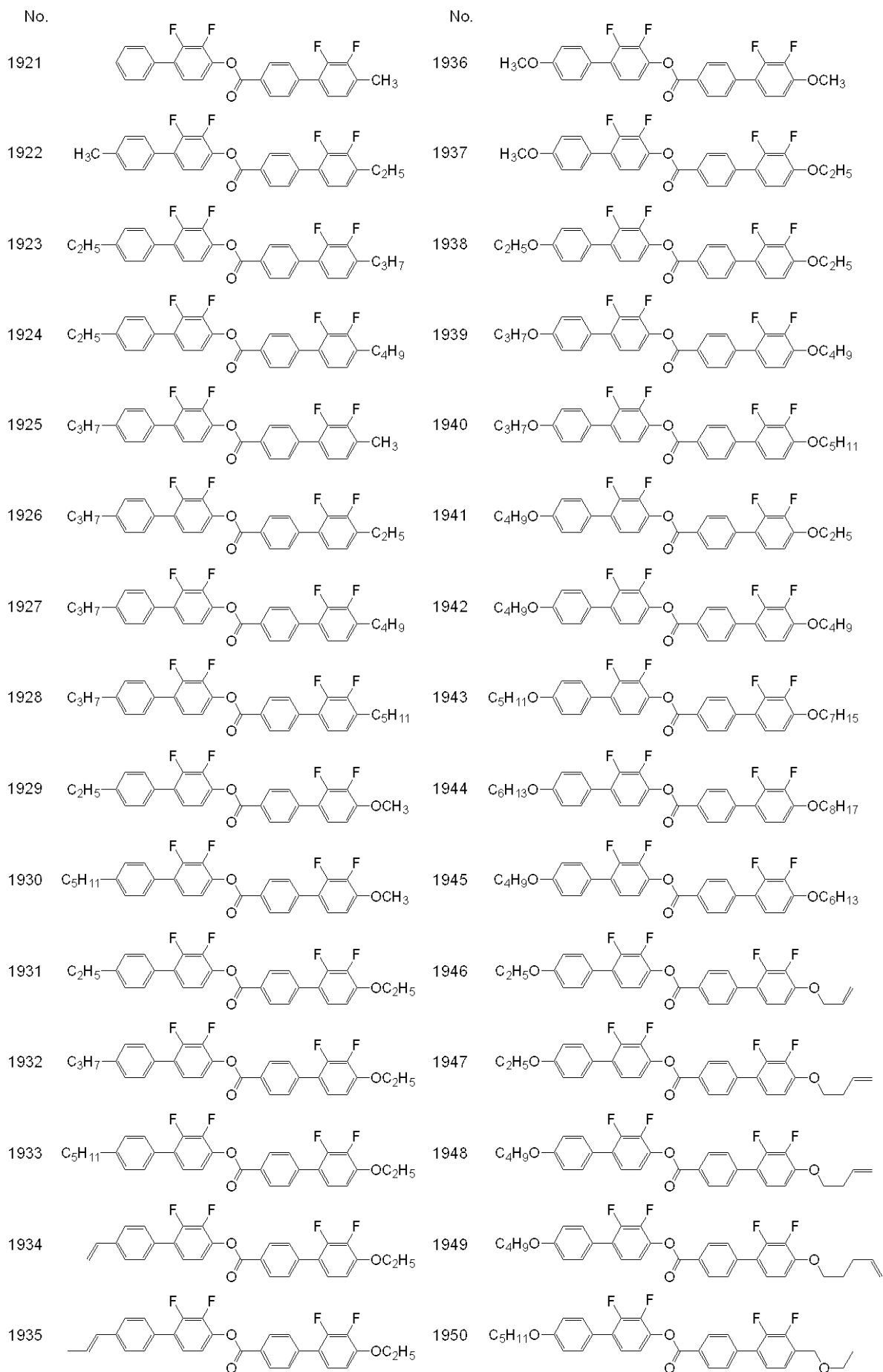


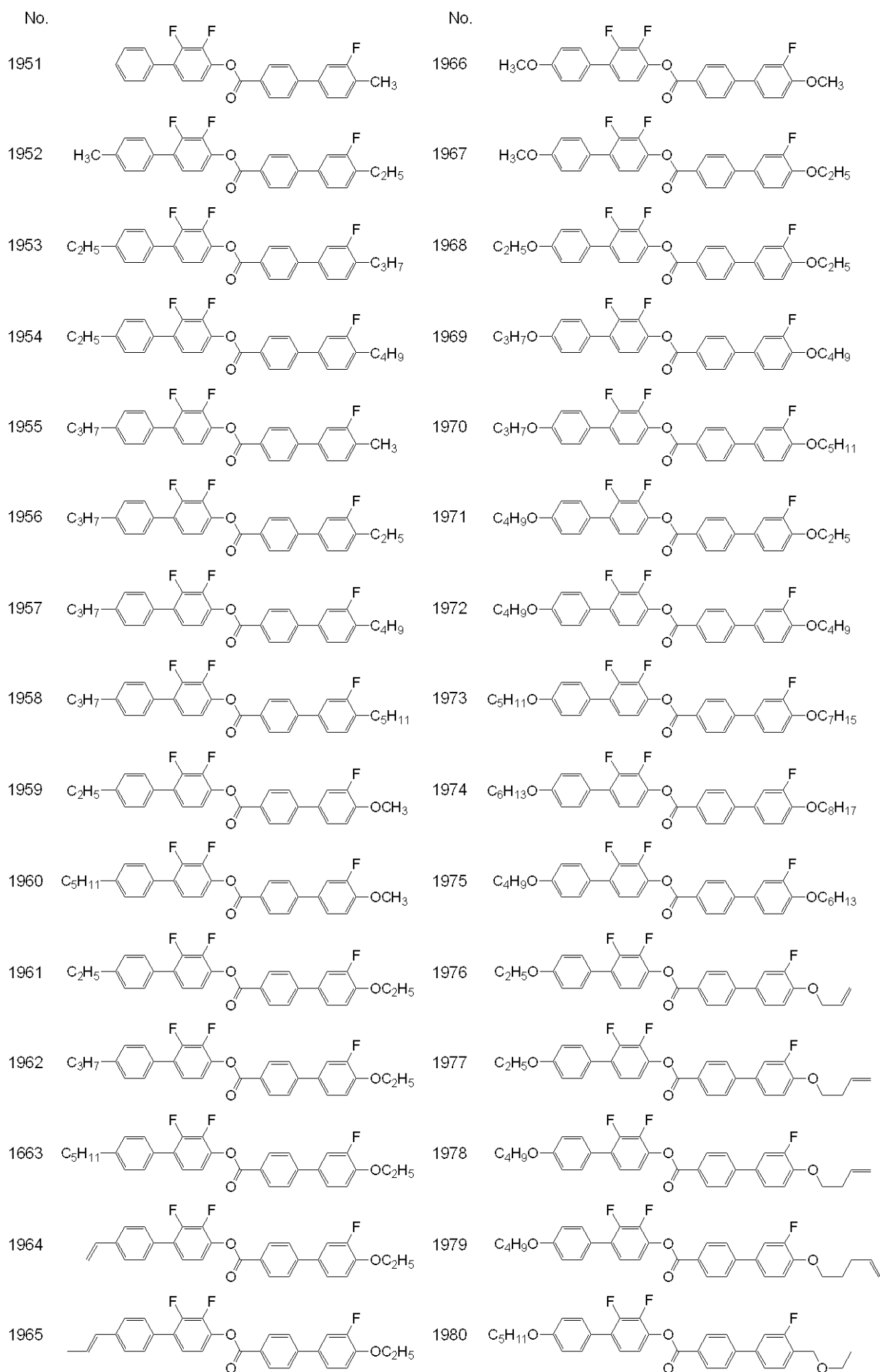












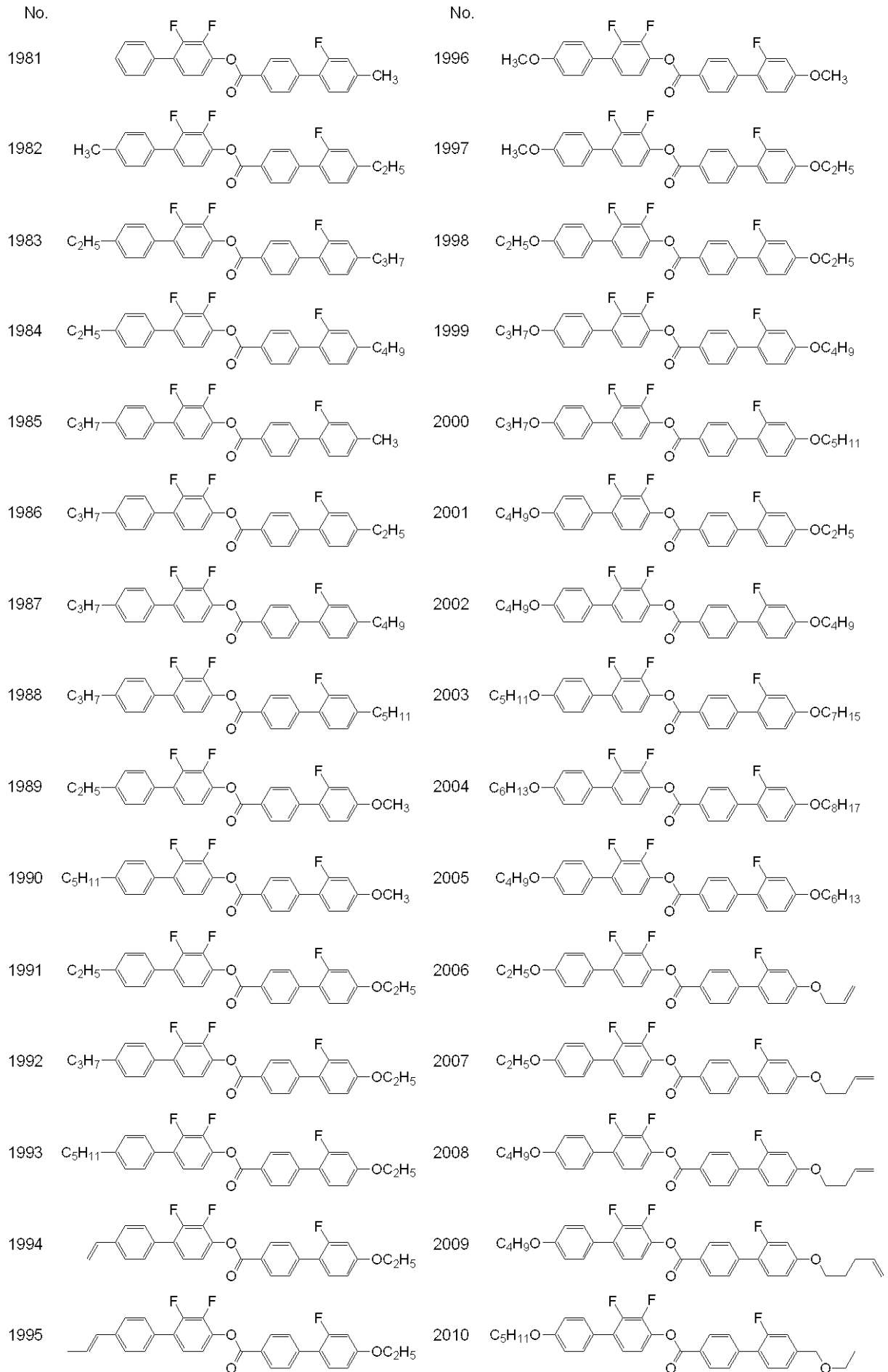
【 0 3 7 6 】

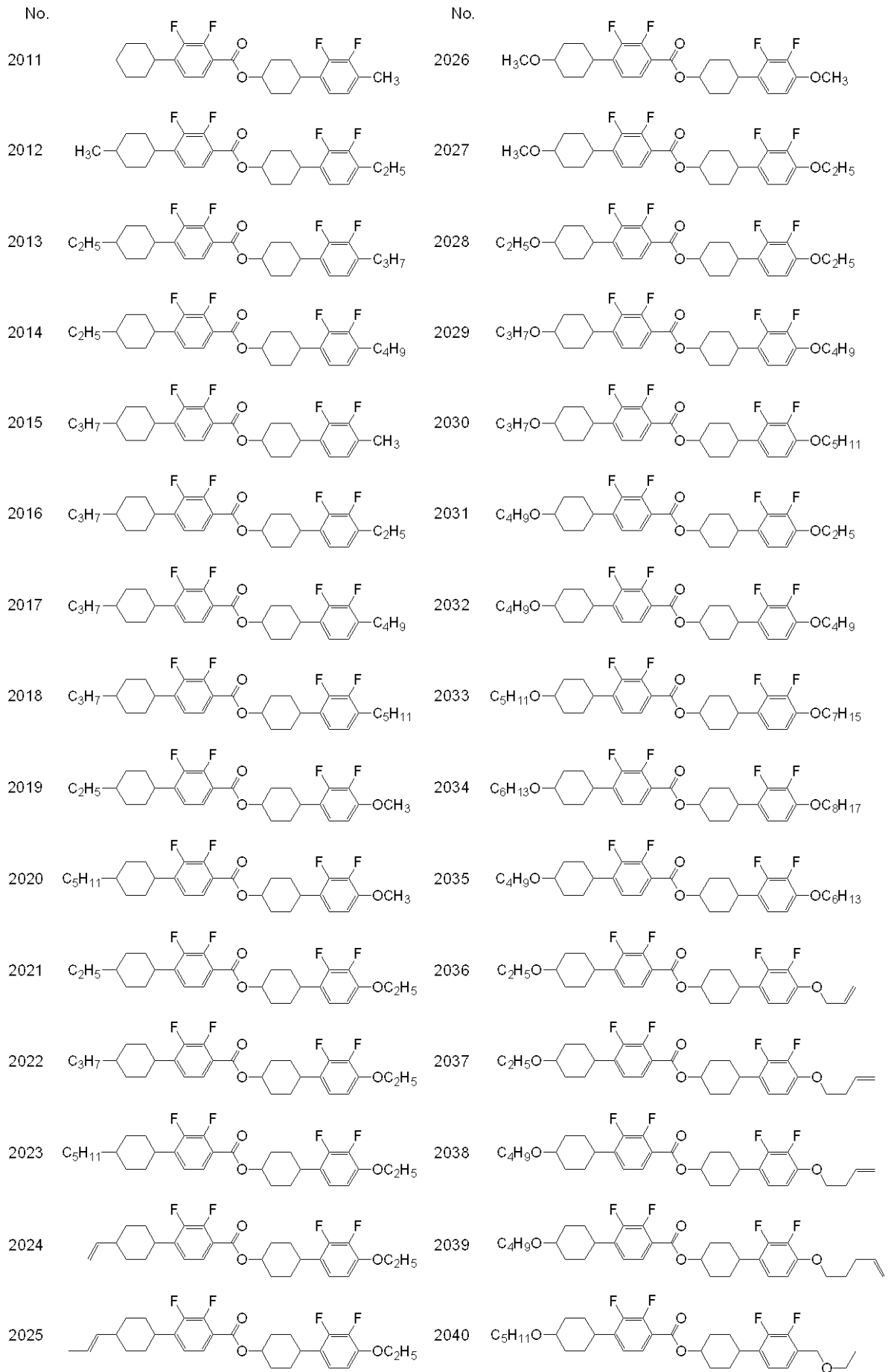
10

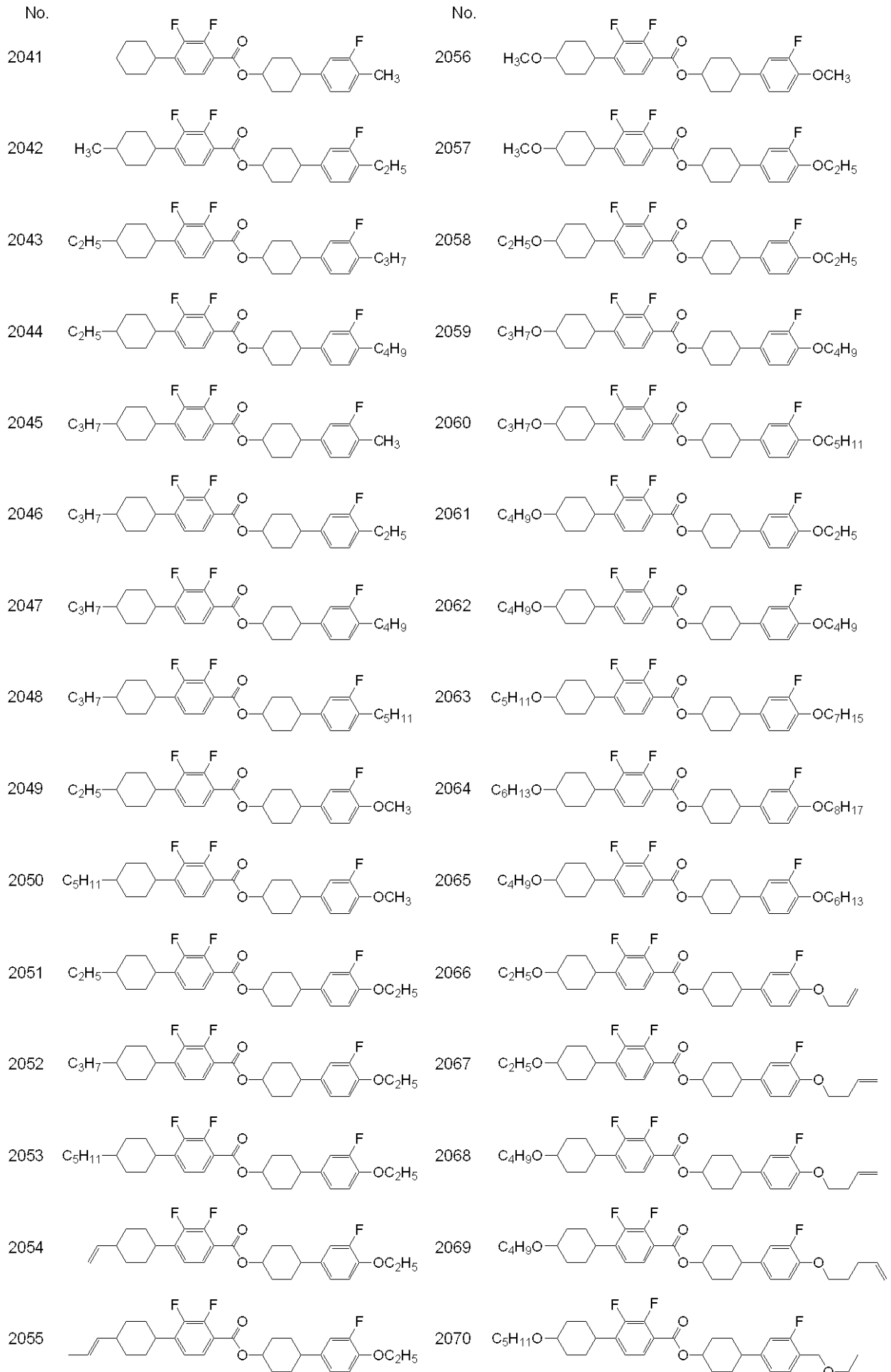
20

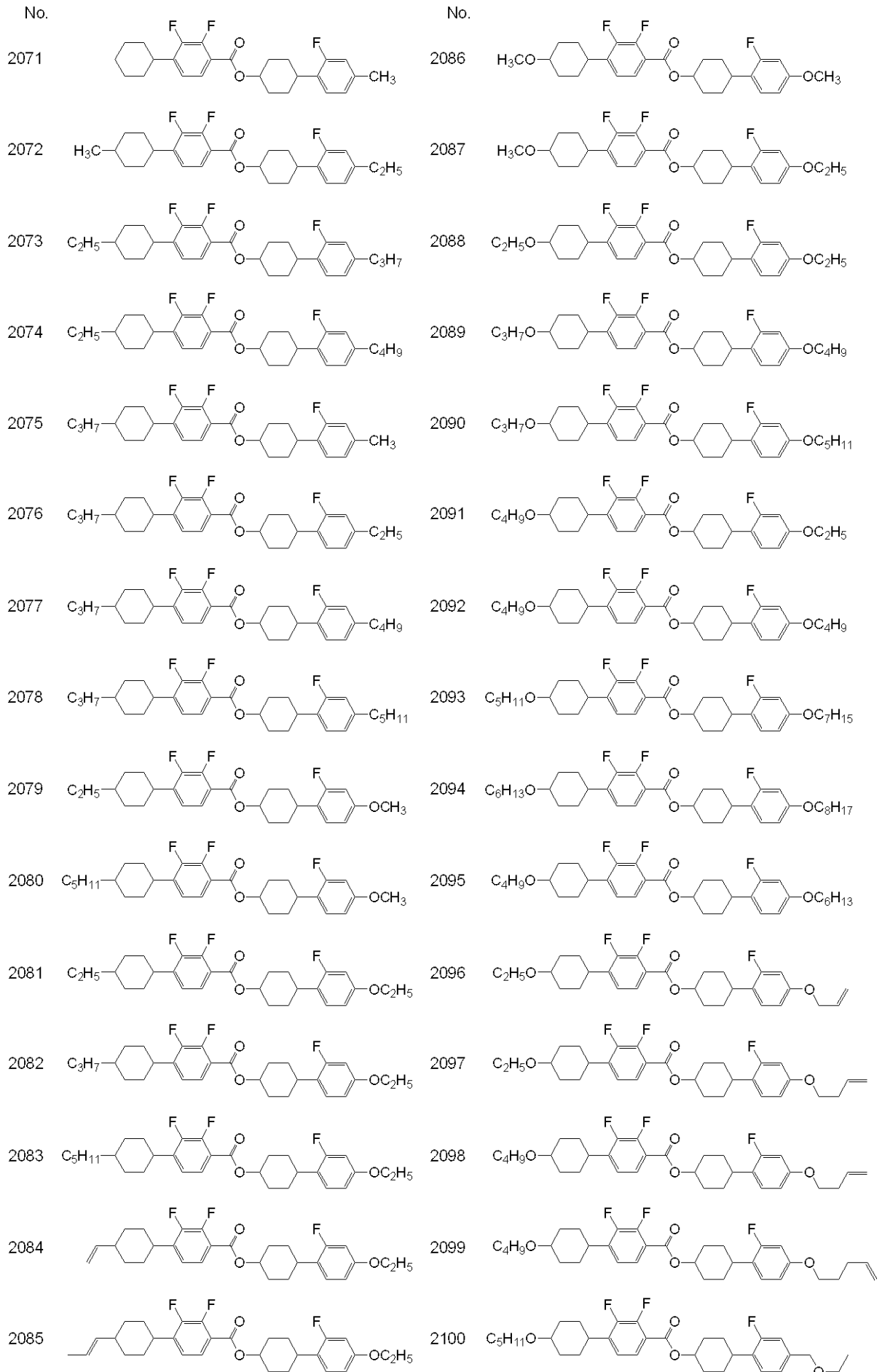
30

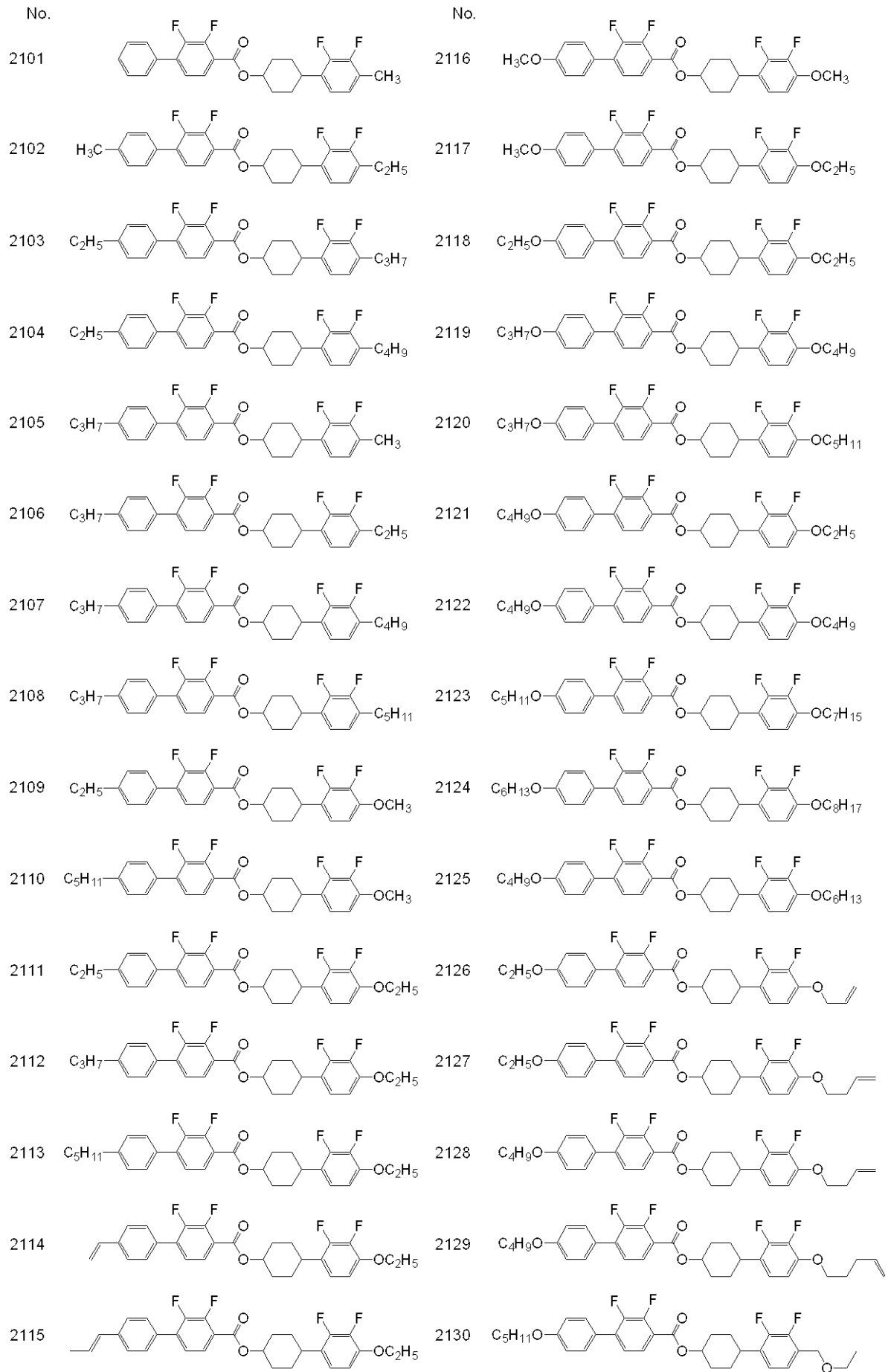
40









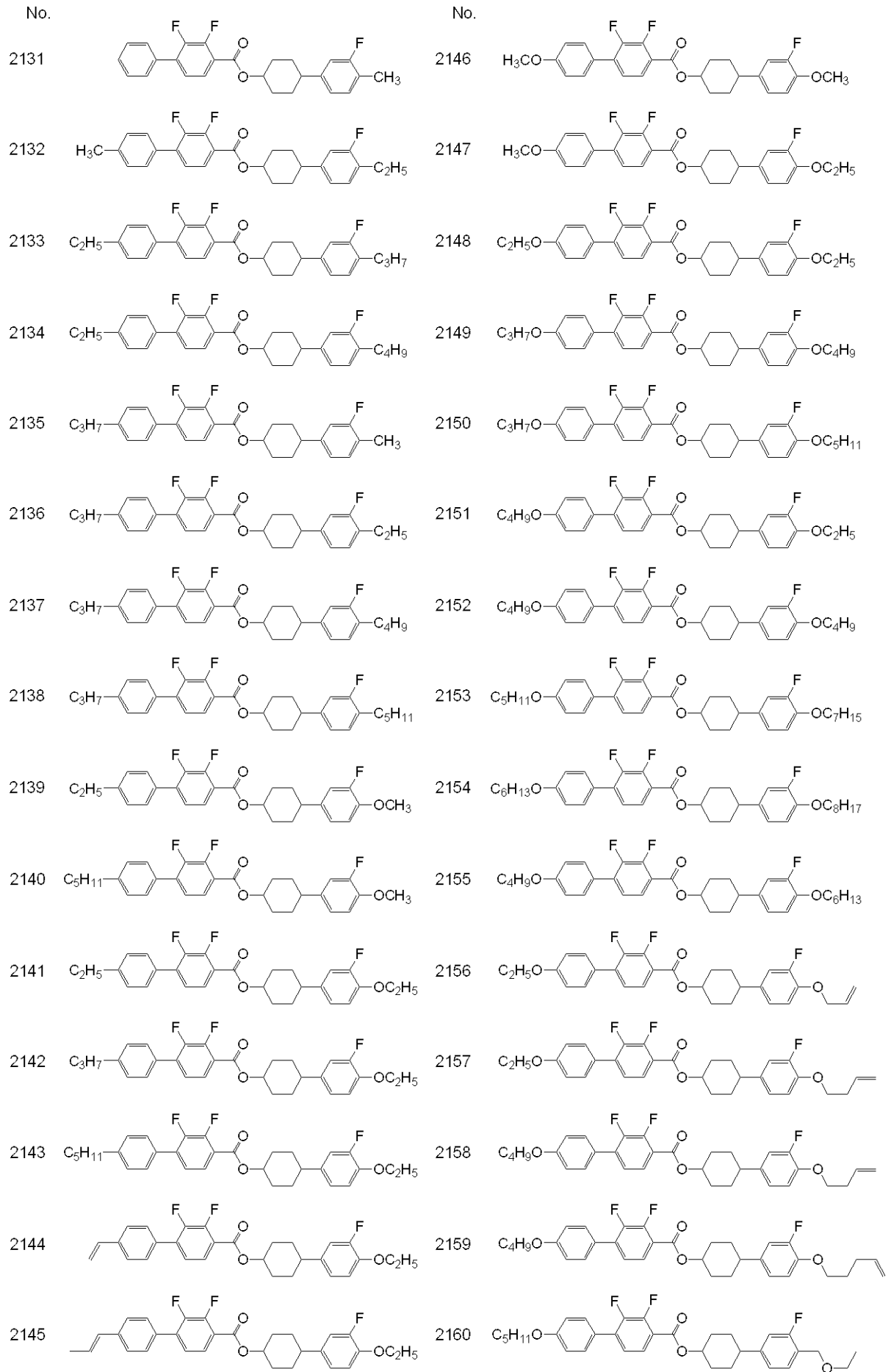


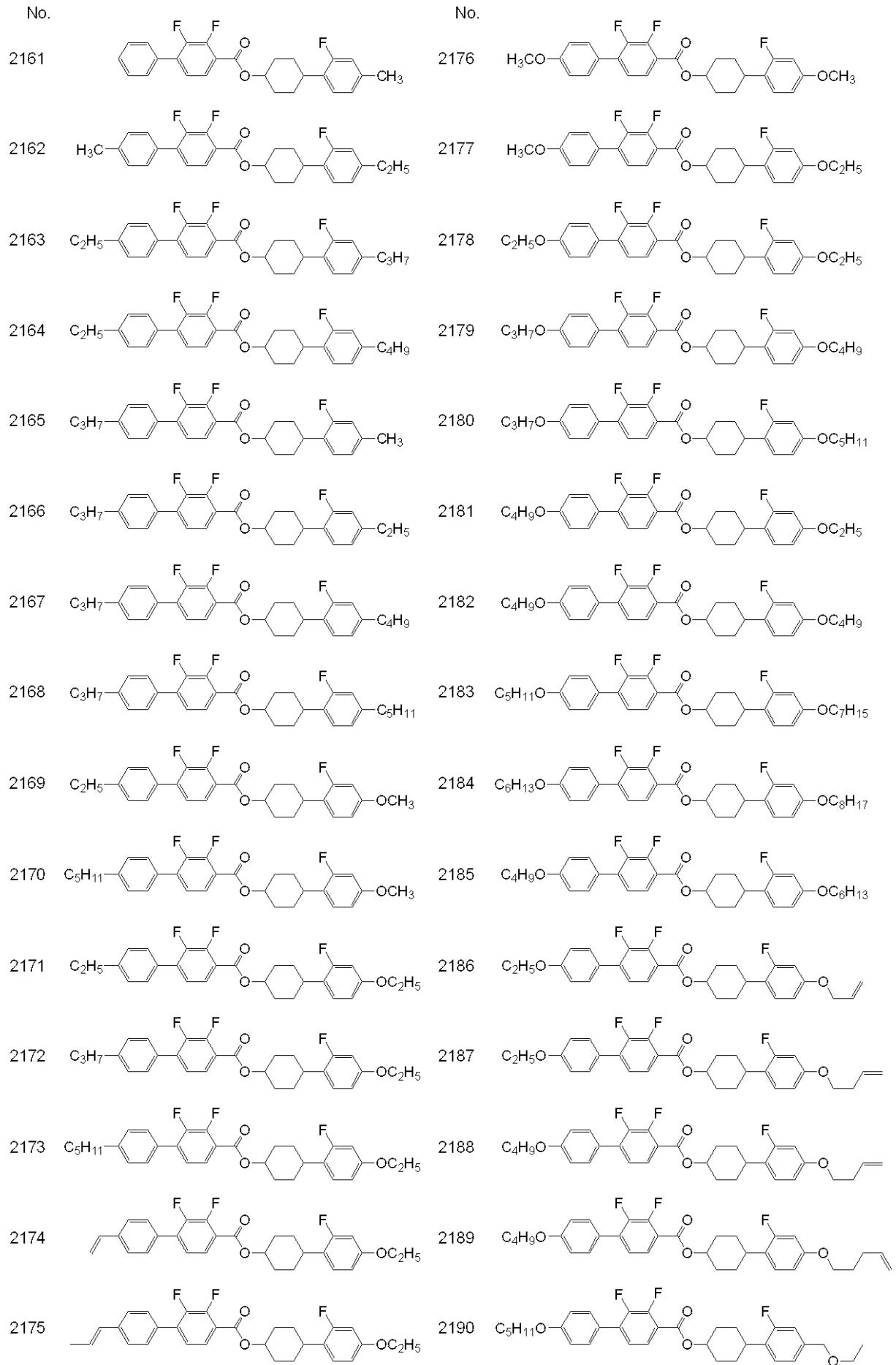
10

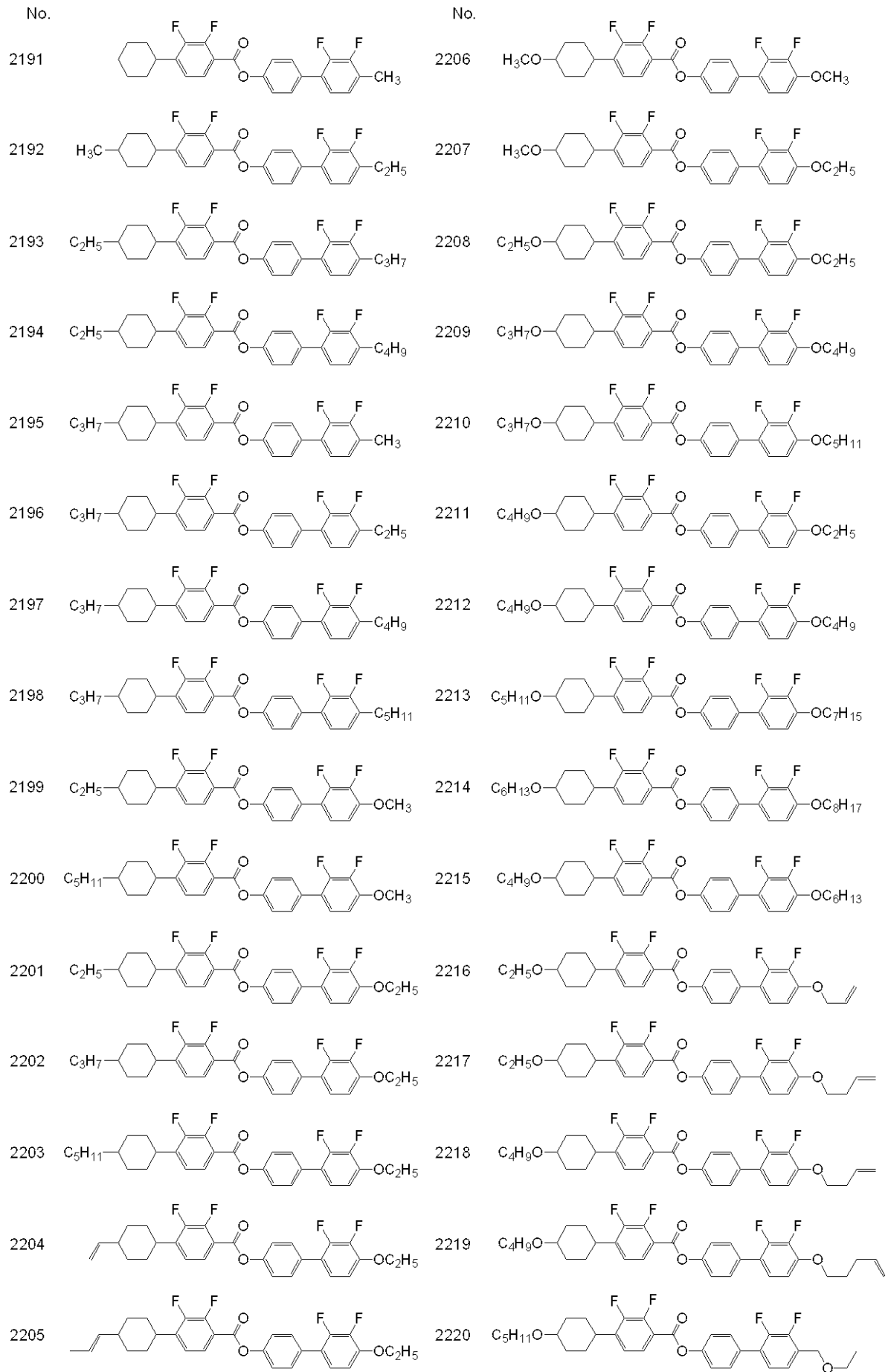
20

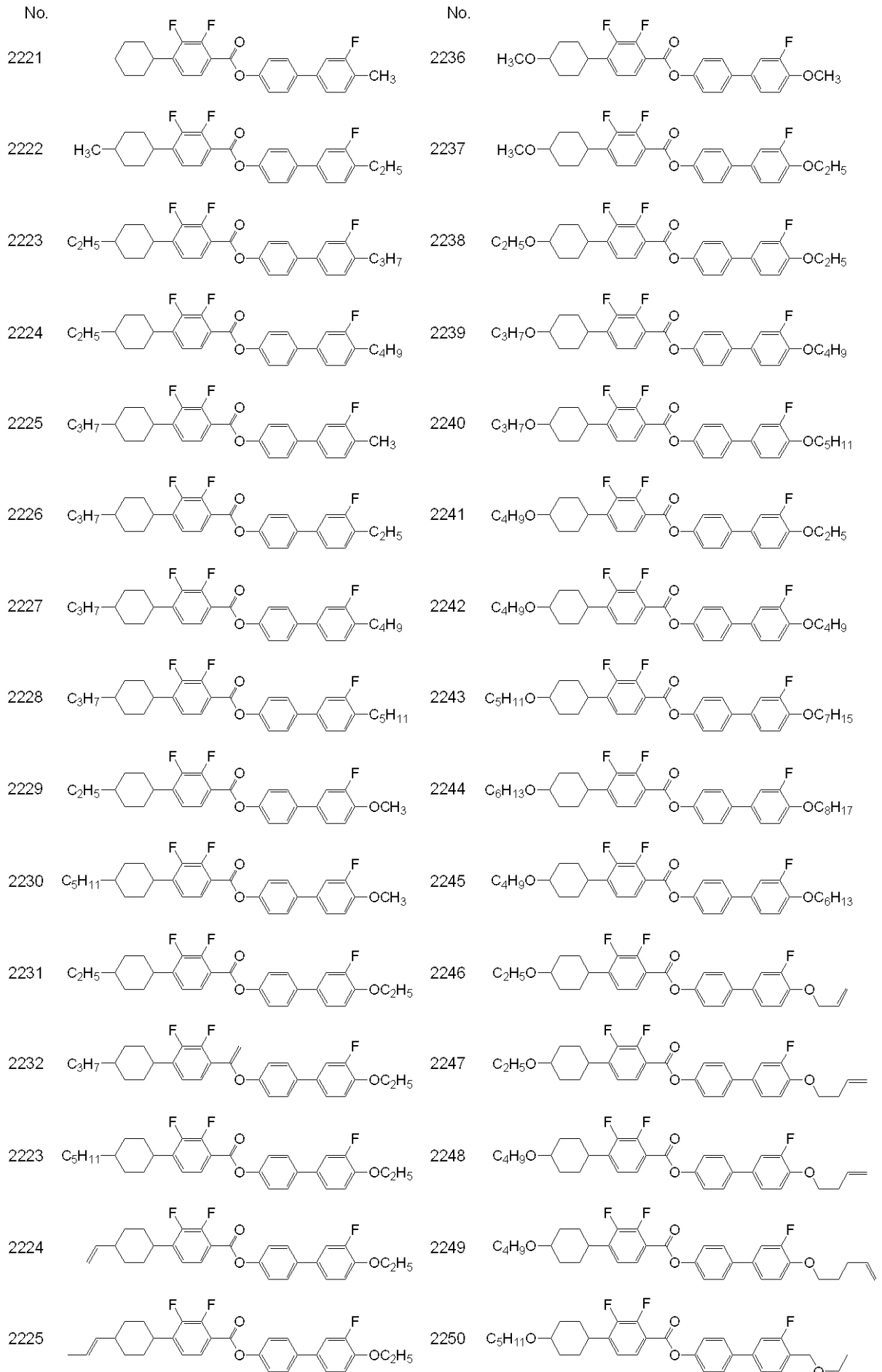
30

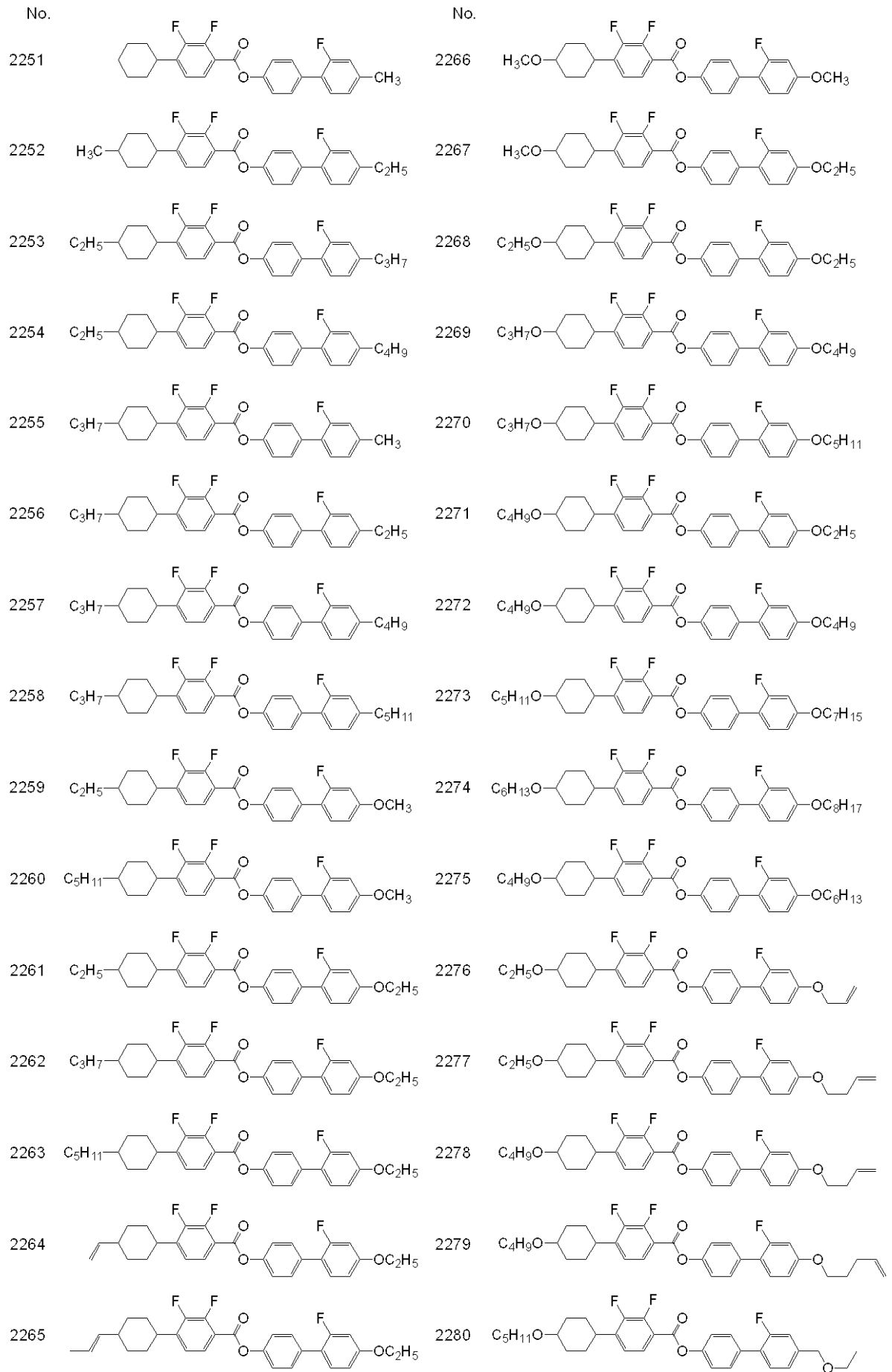
40

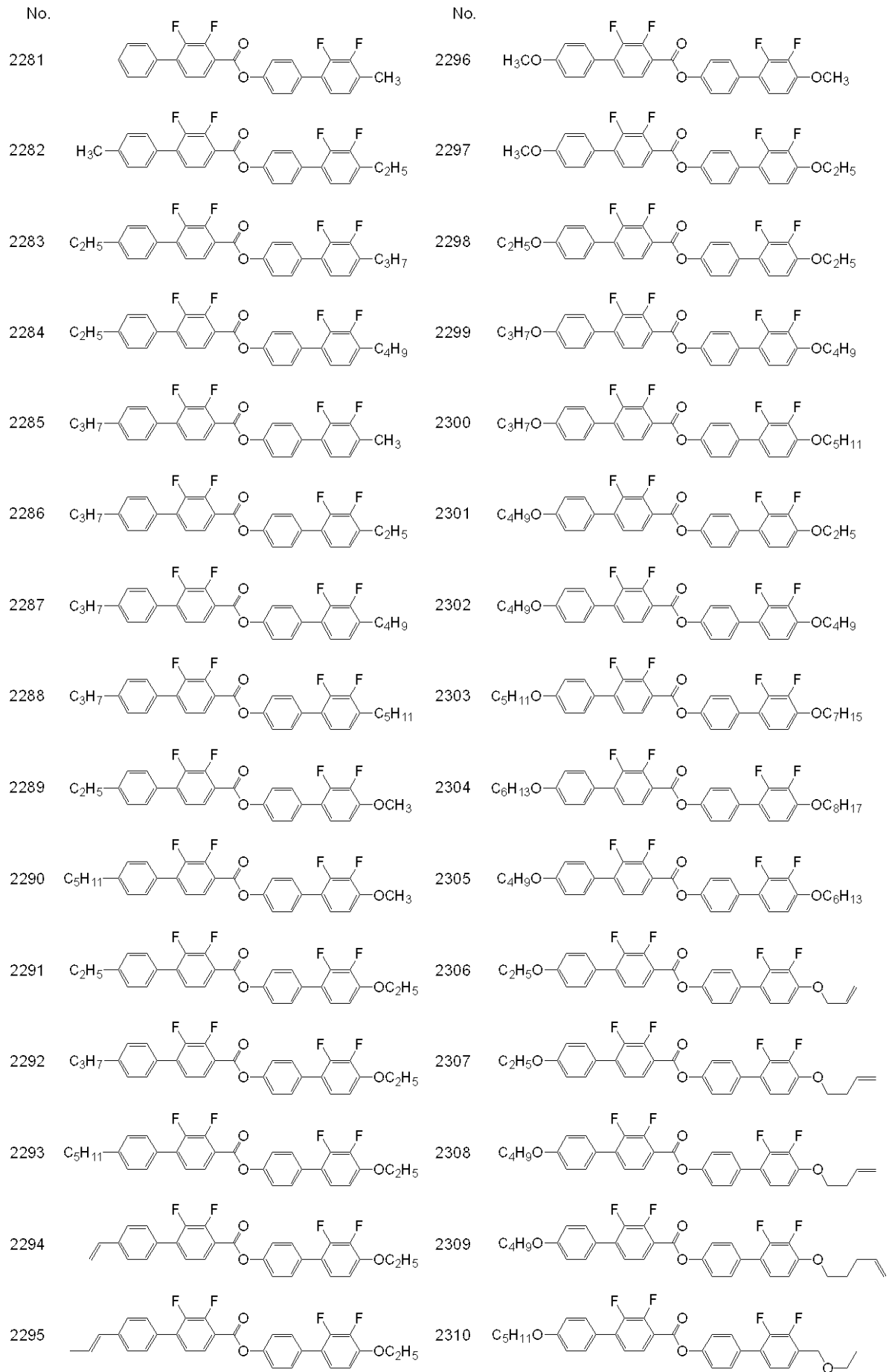


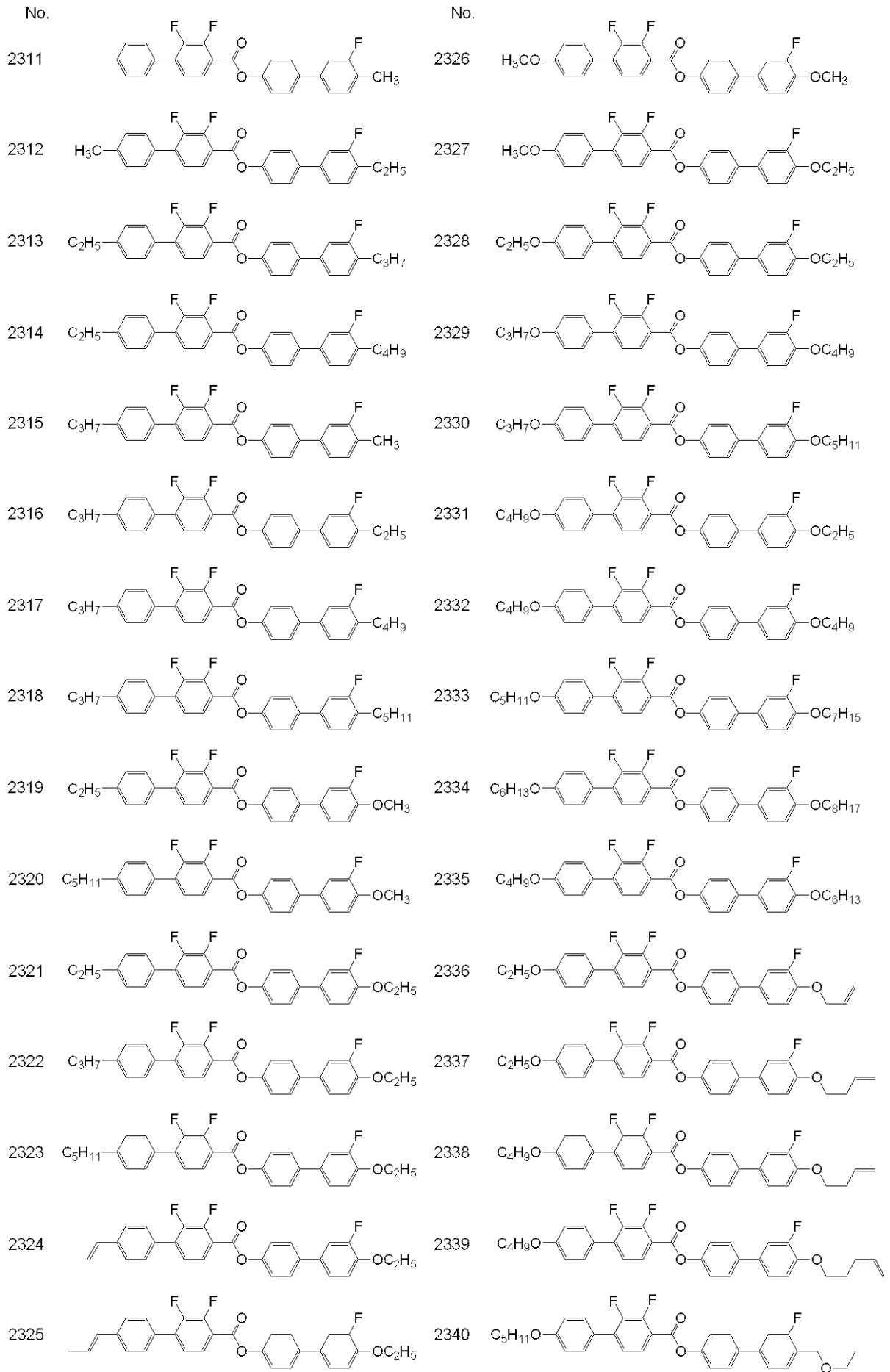


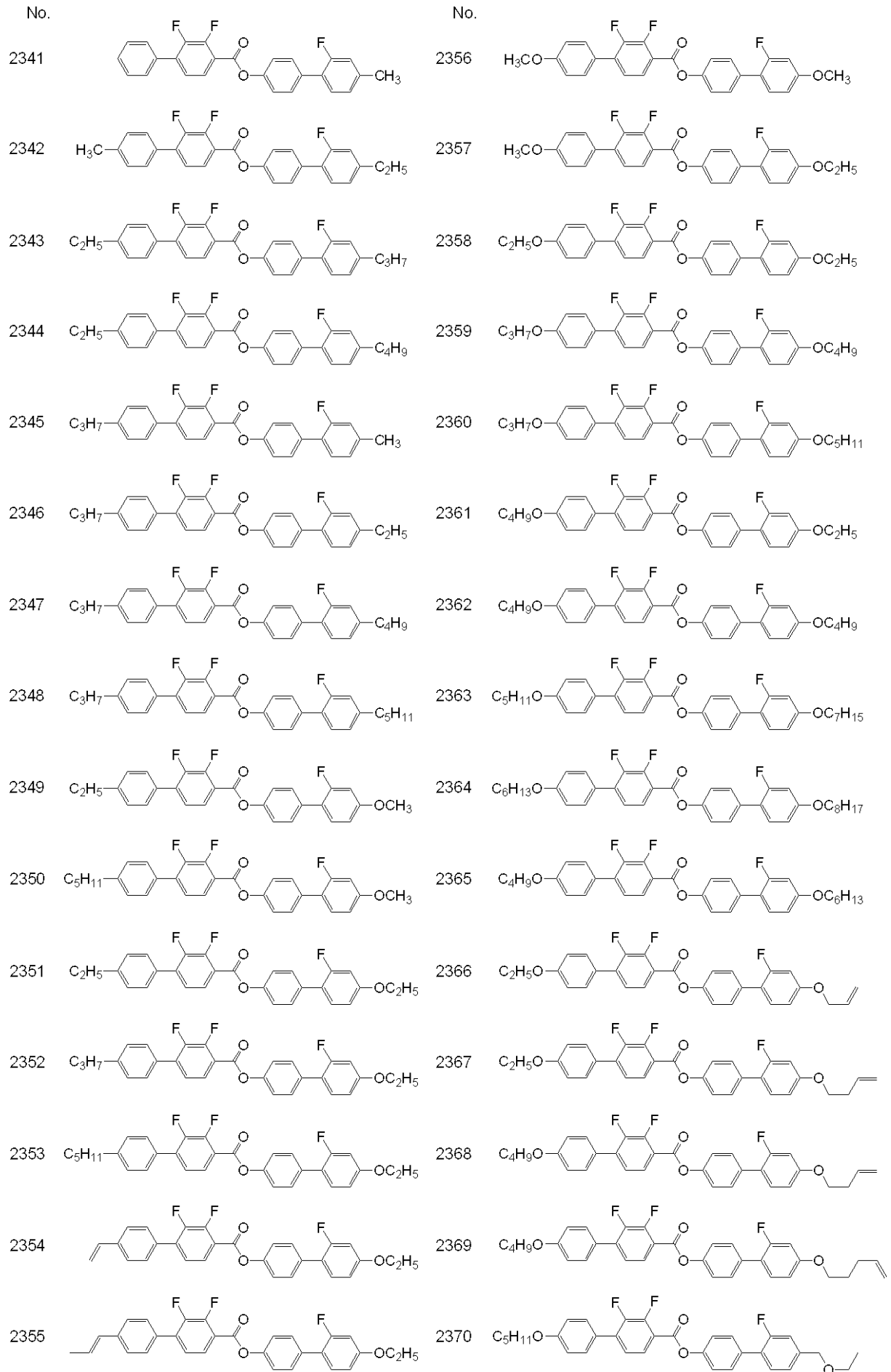


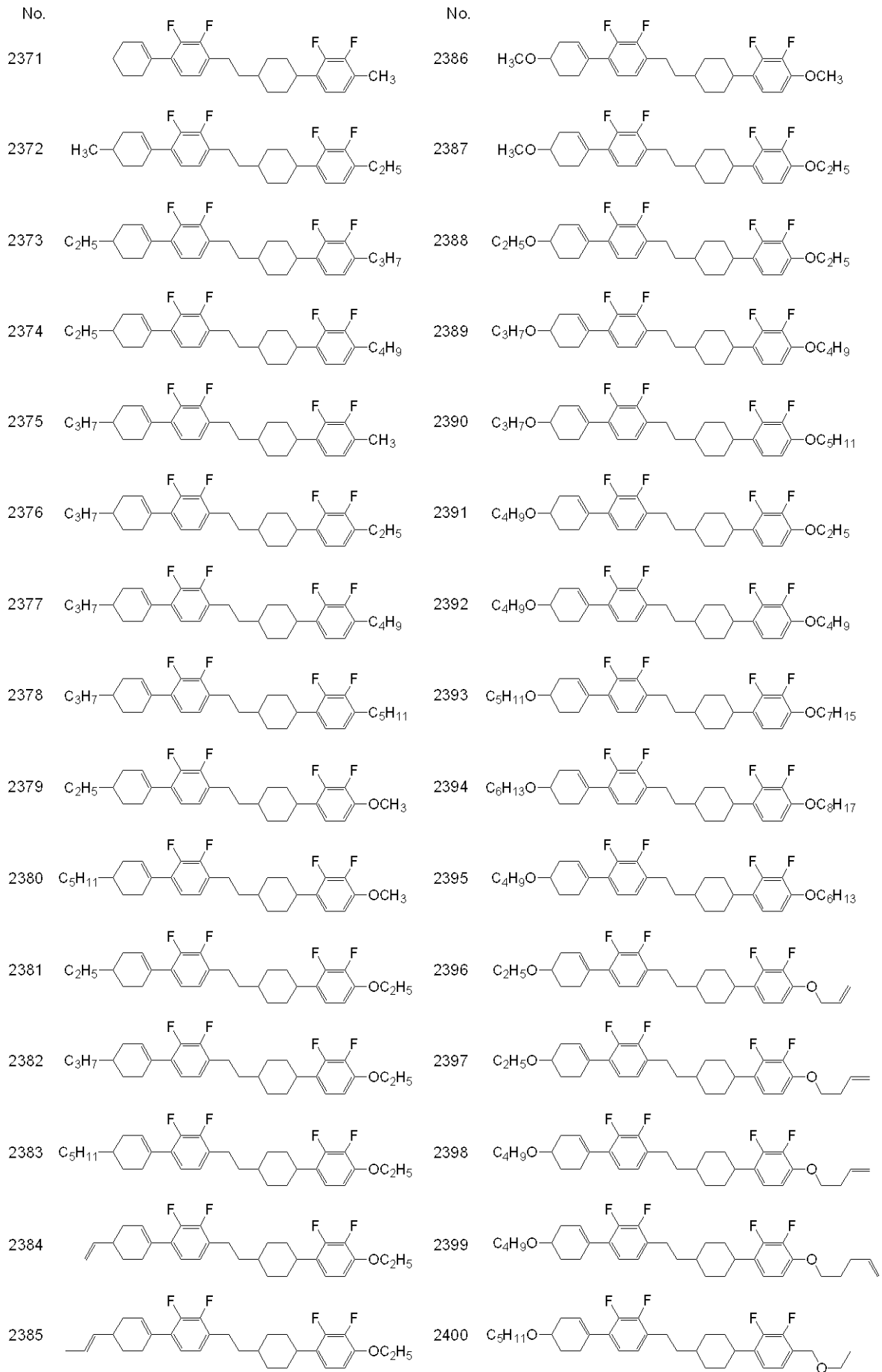


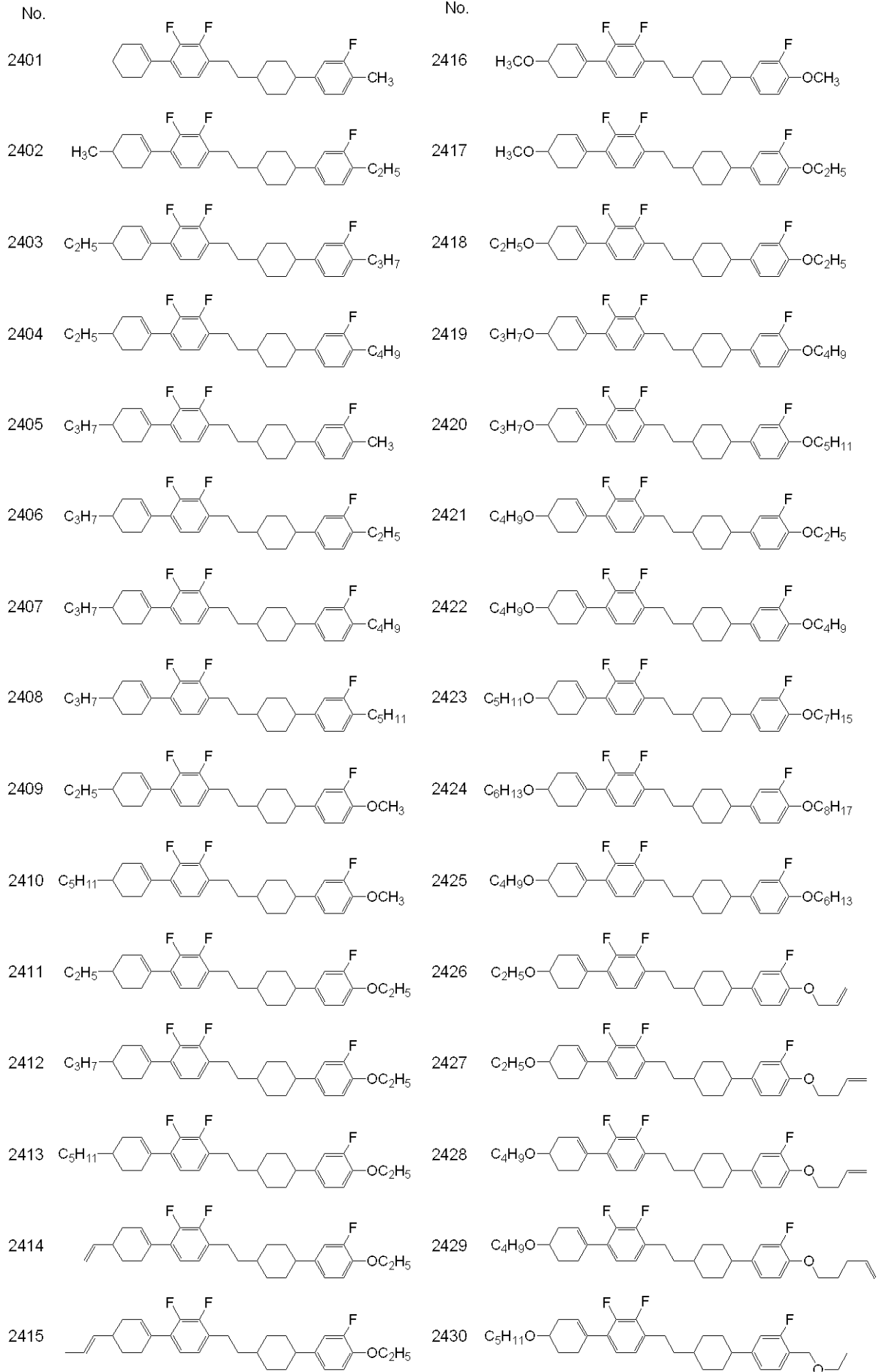


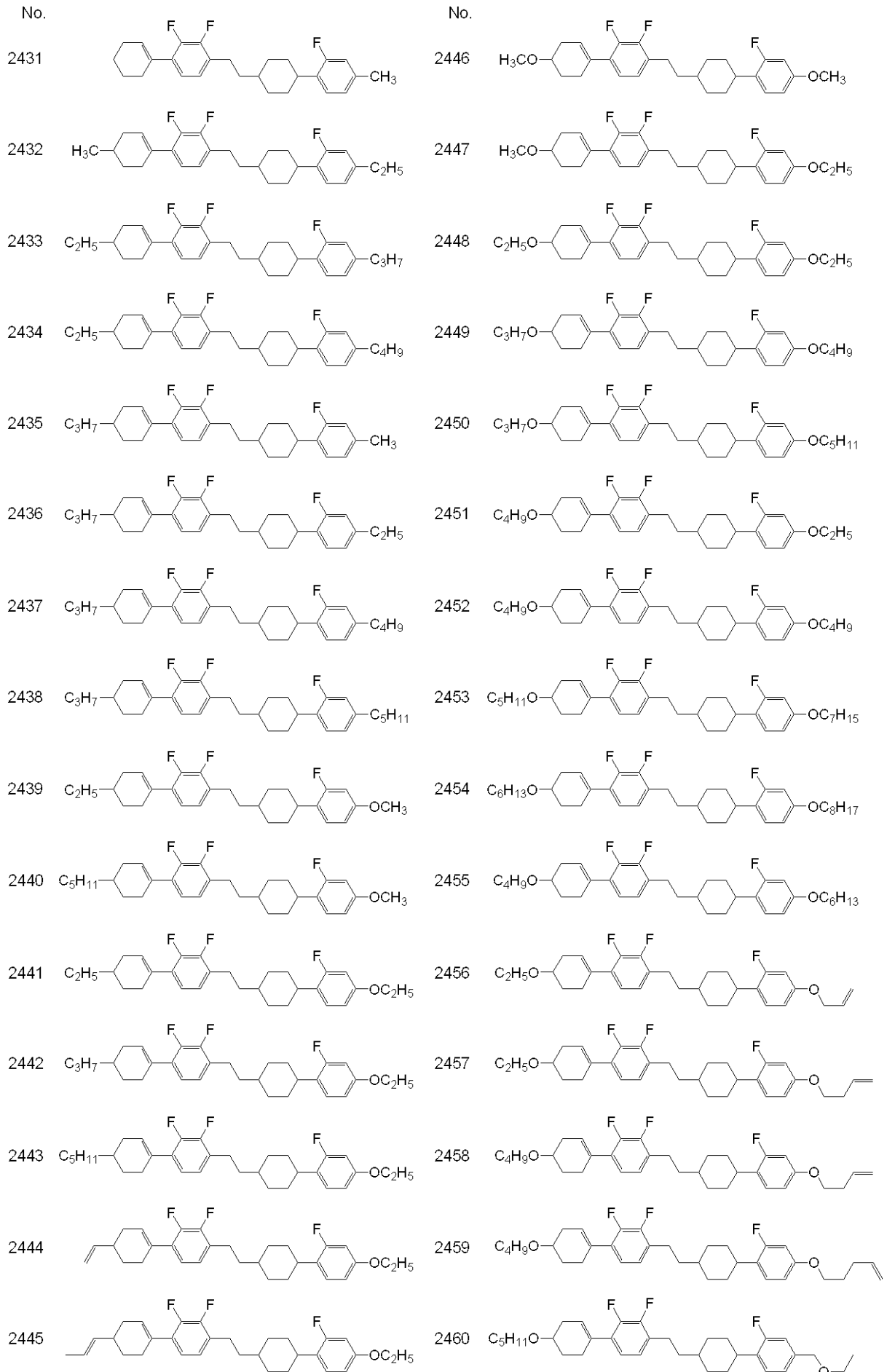


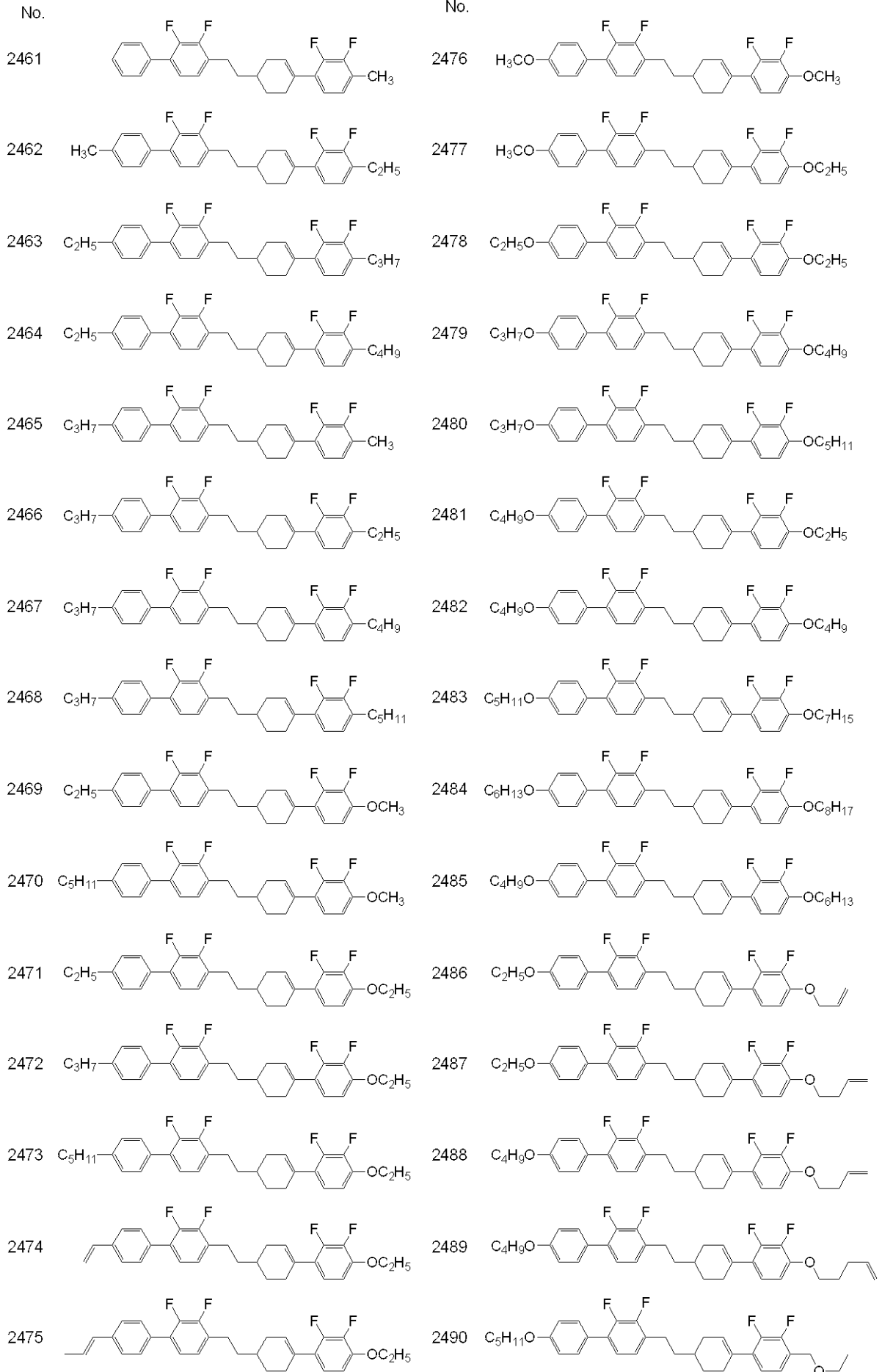


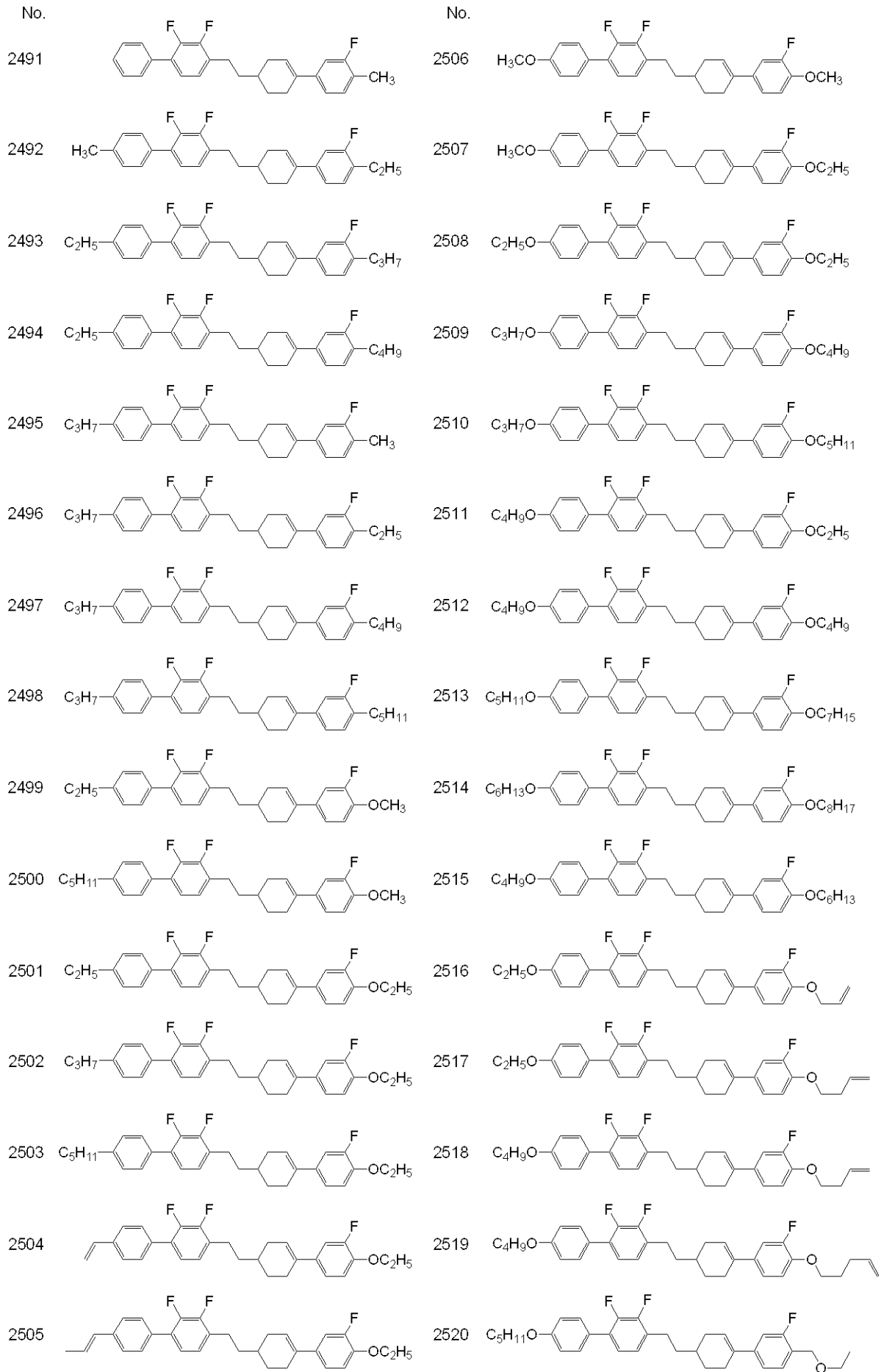












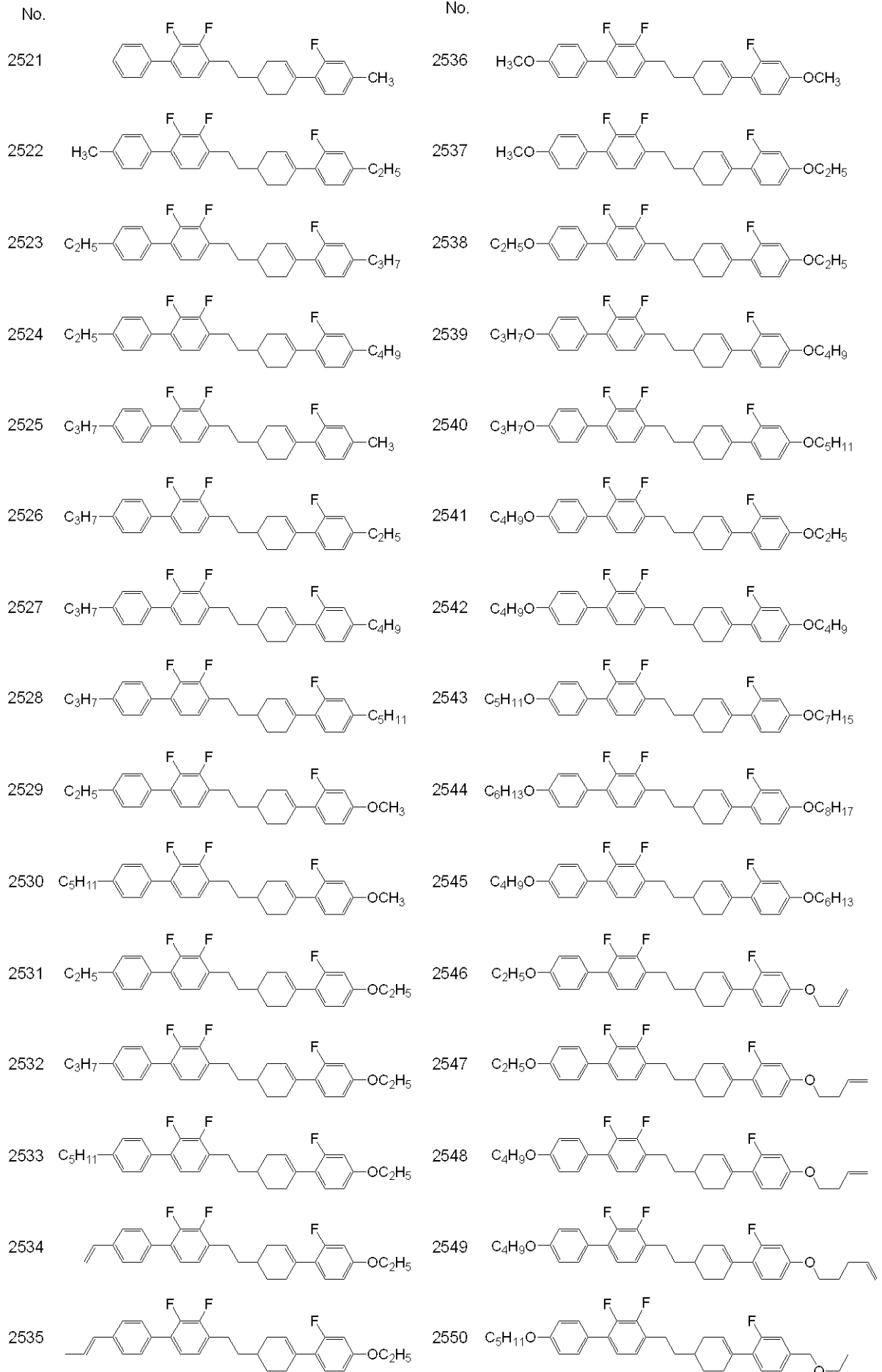
【 0 3 9 4 】

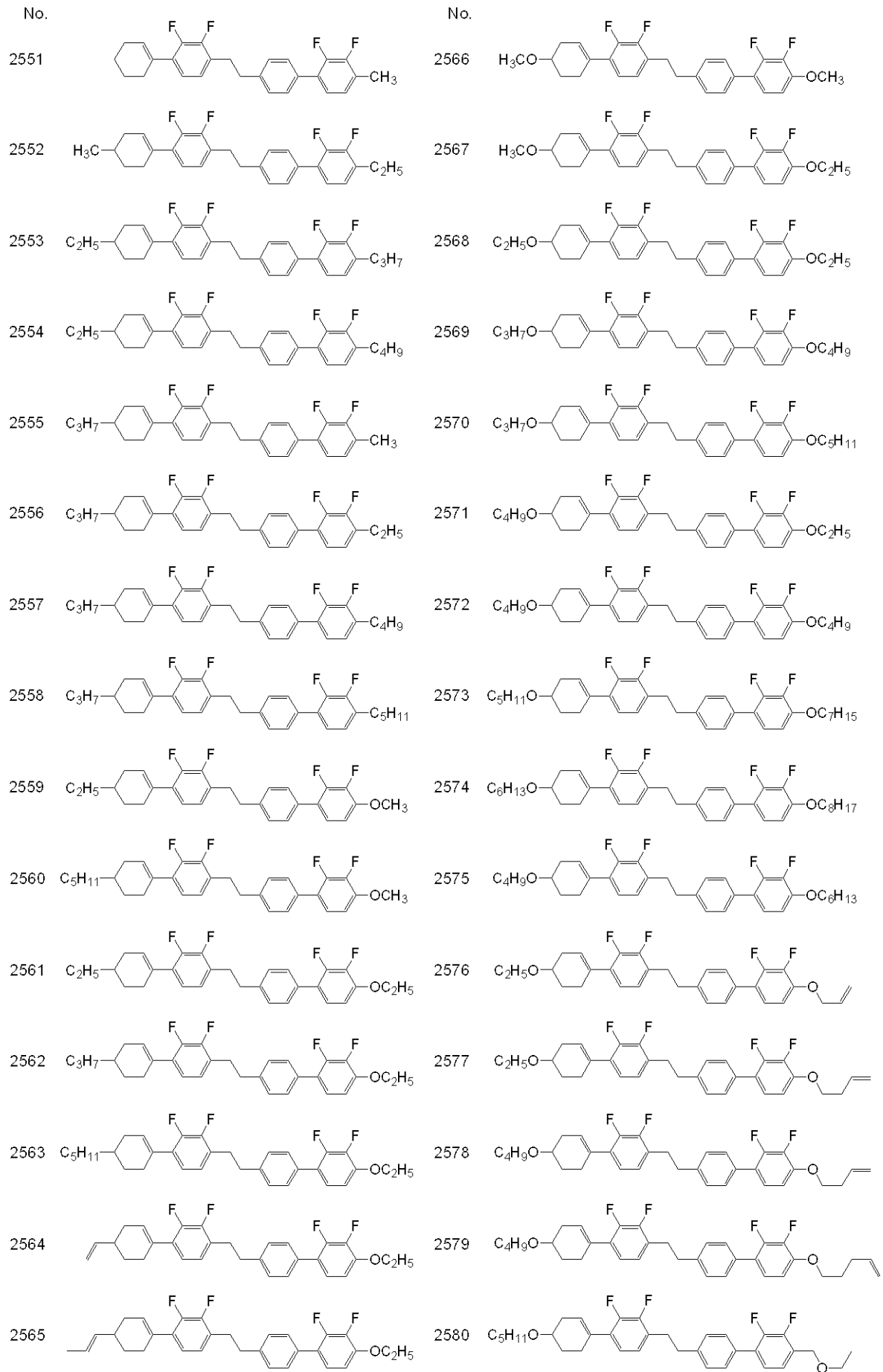
10

20

30

40



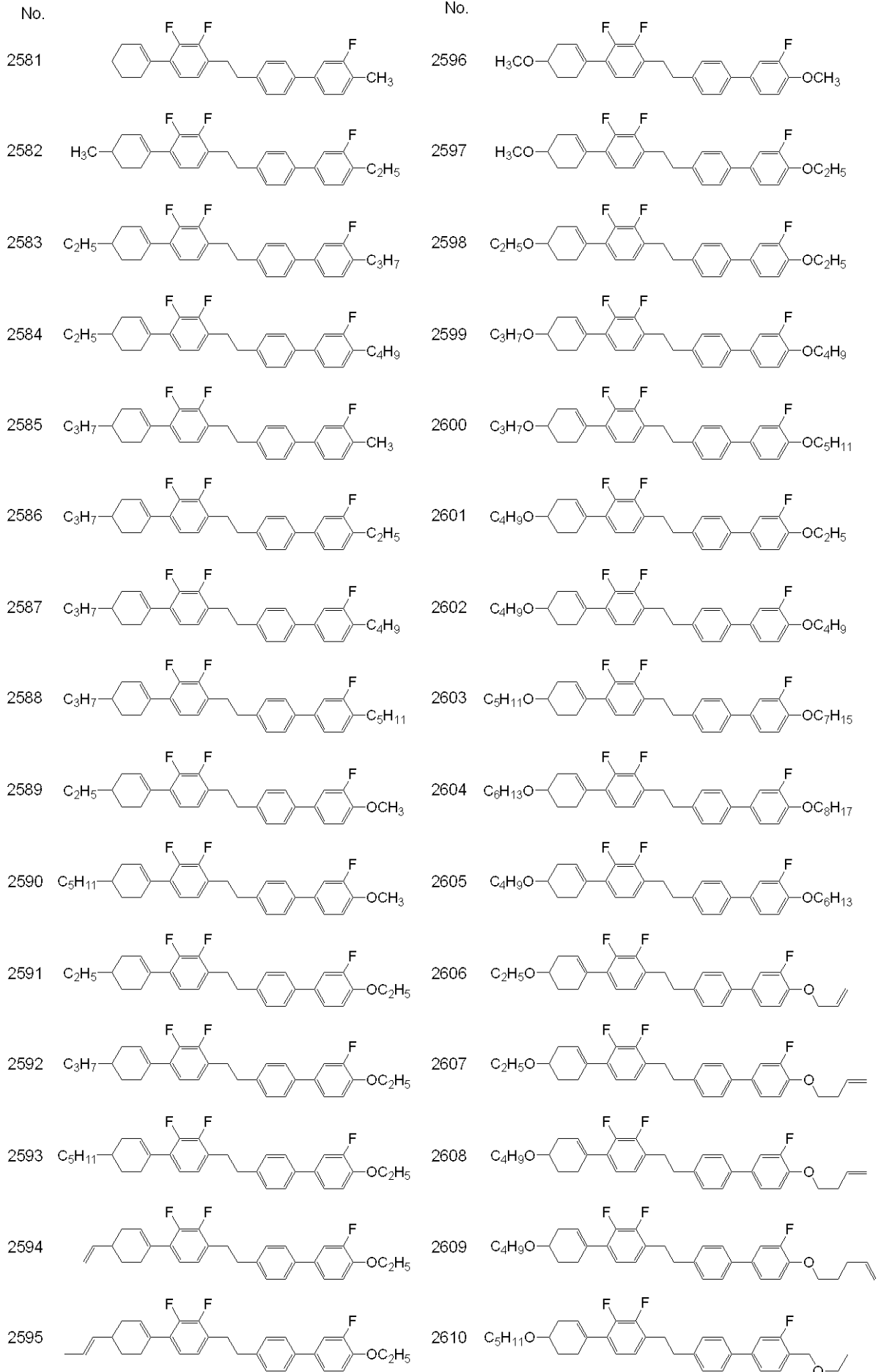


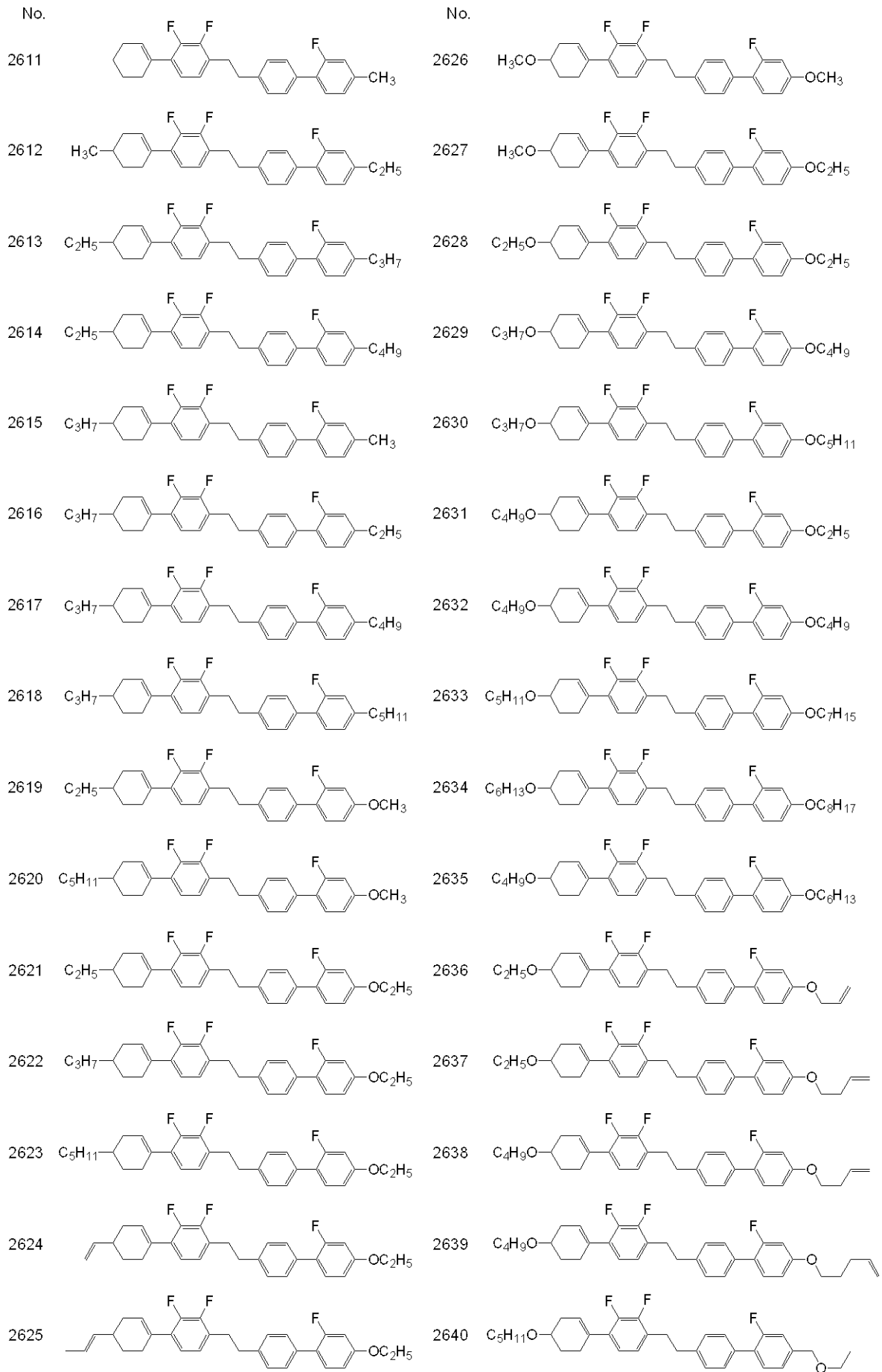
10

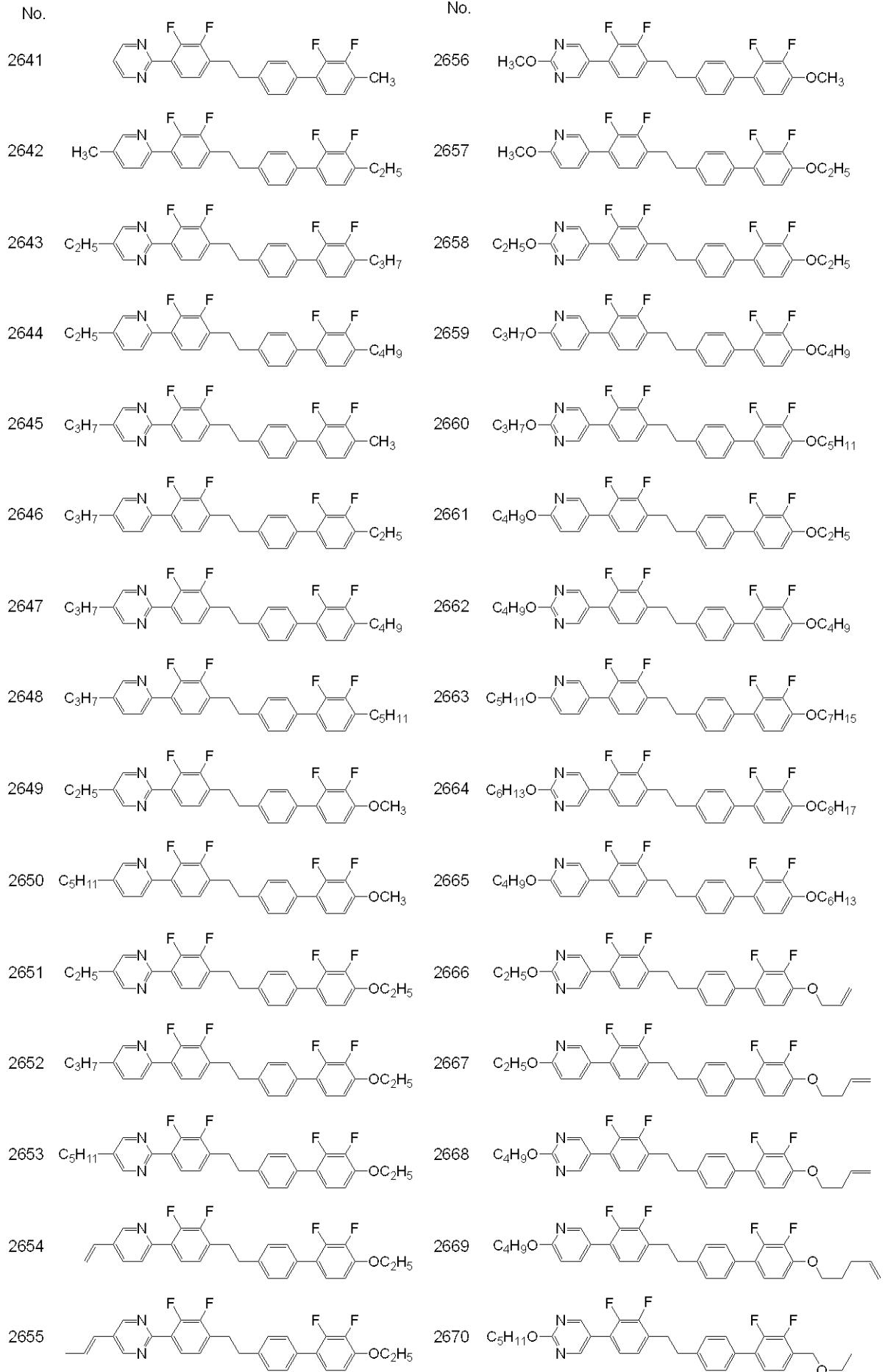
20

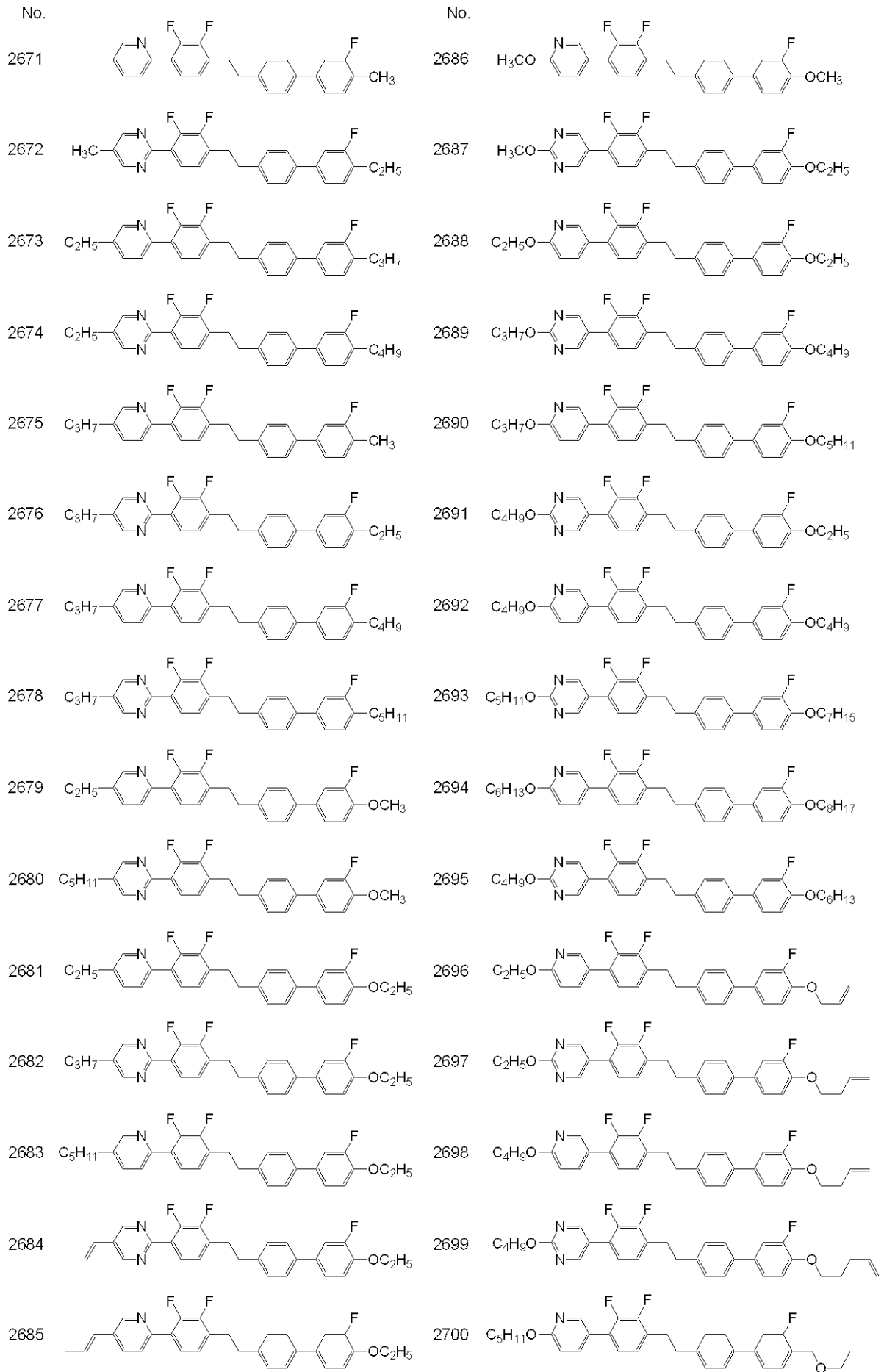
30

40

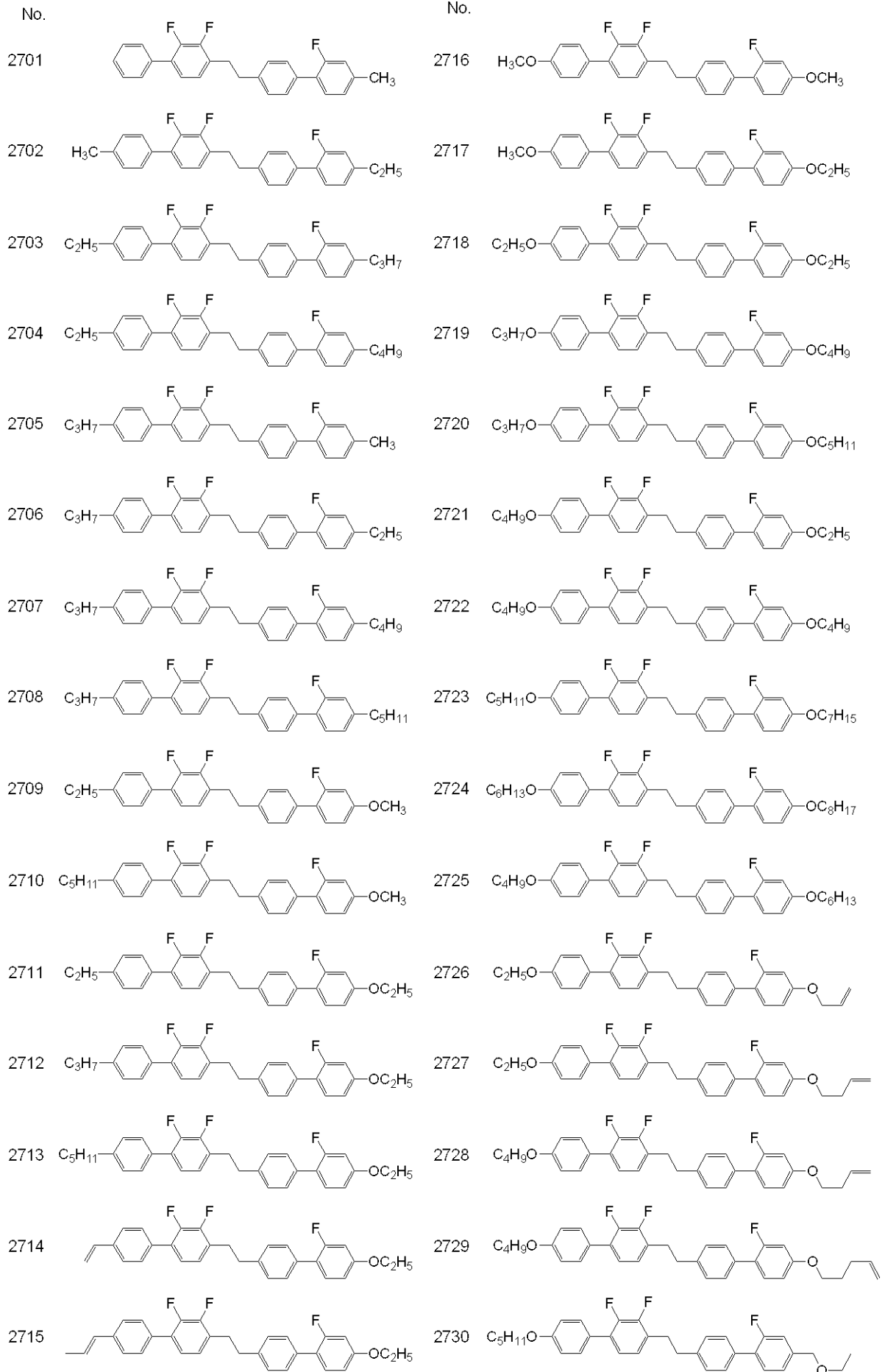


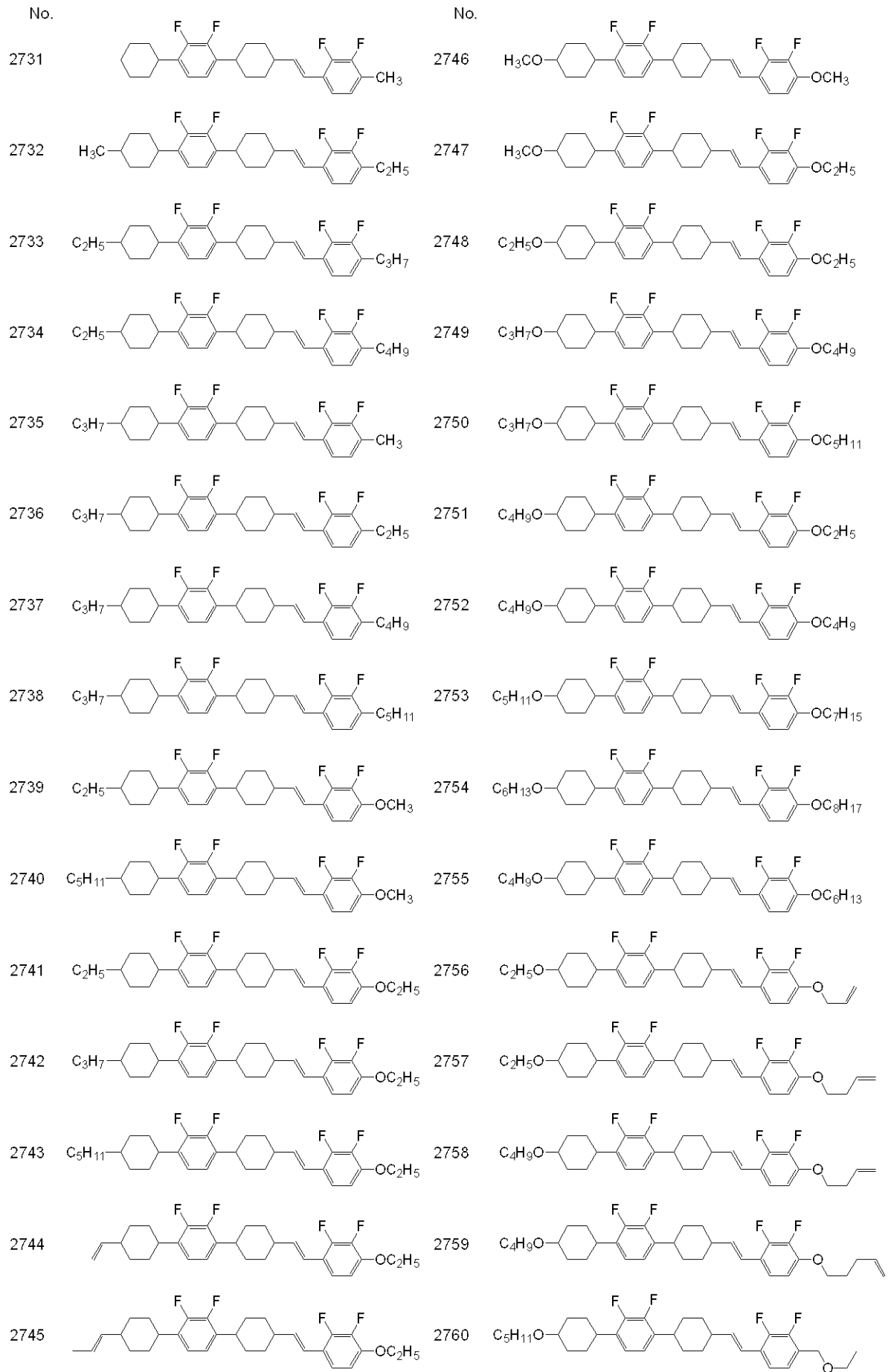


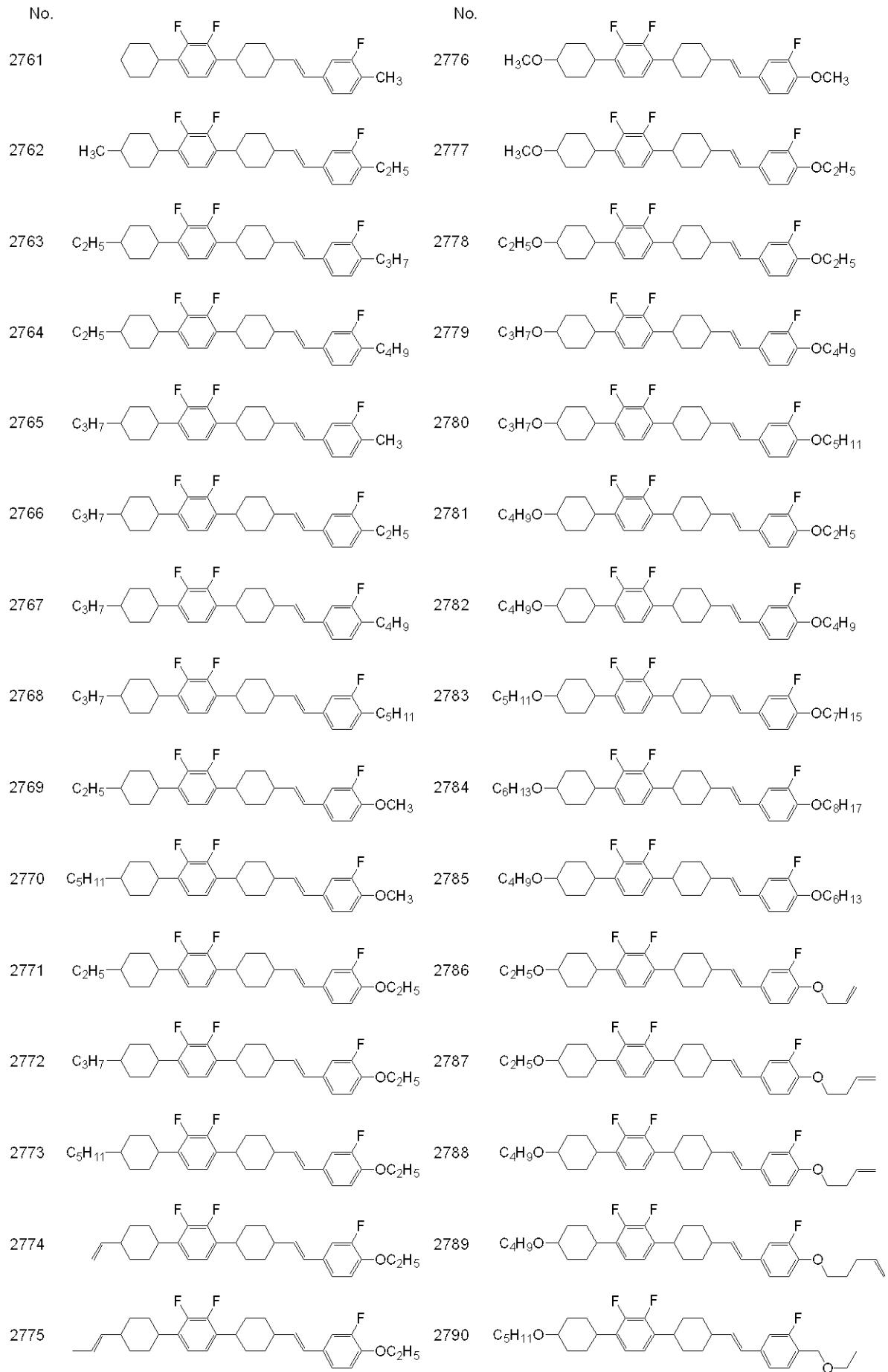


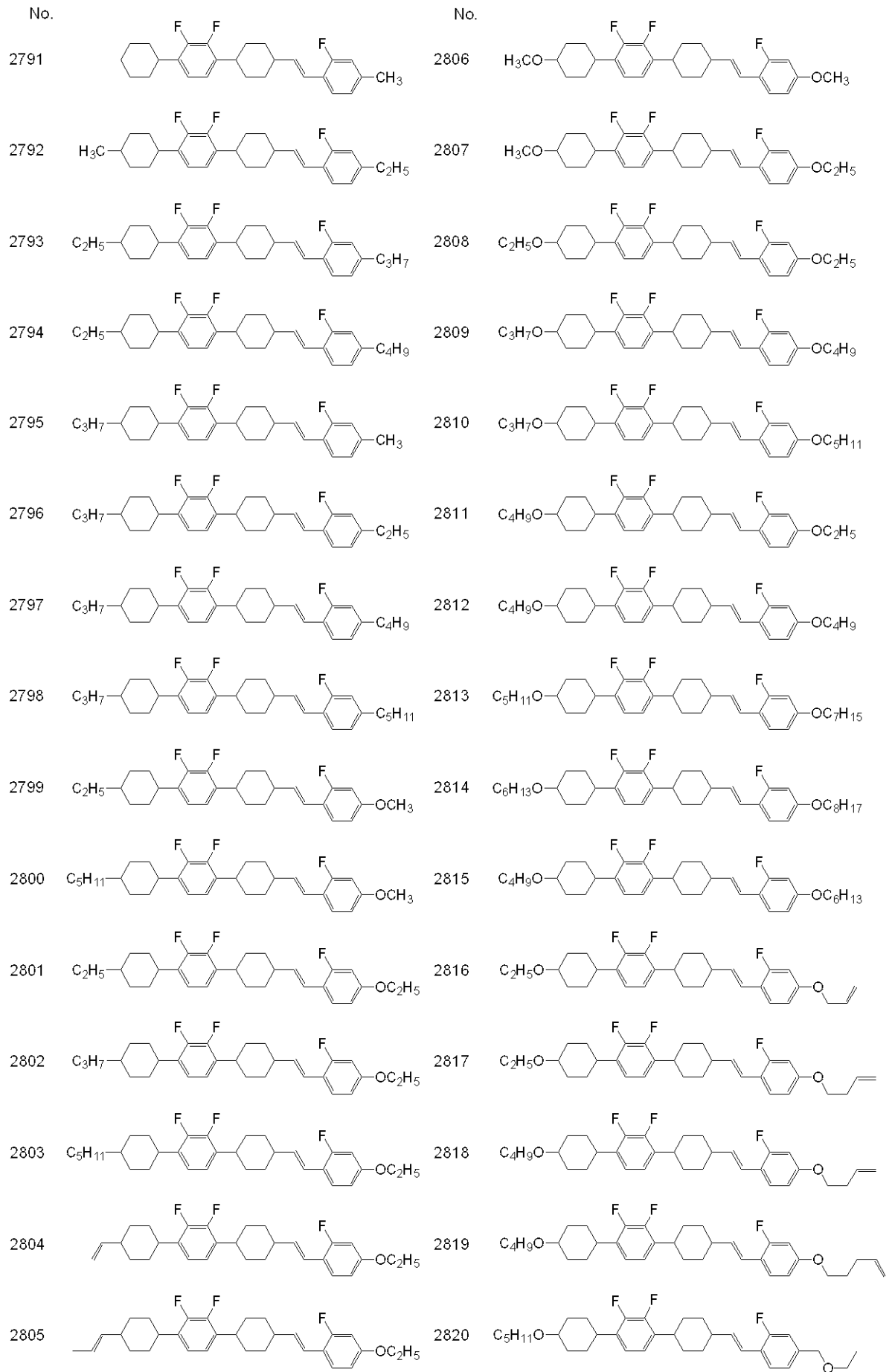


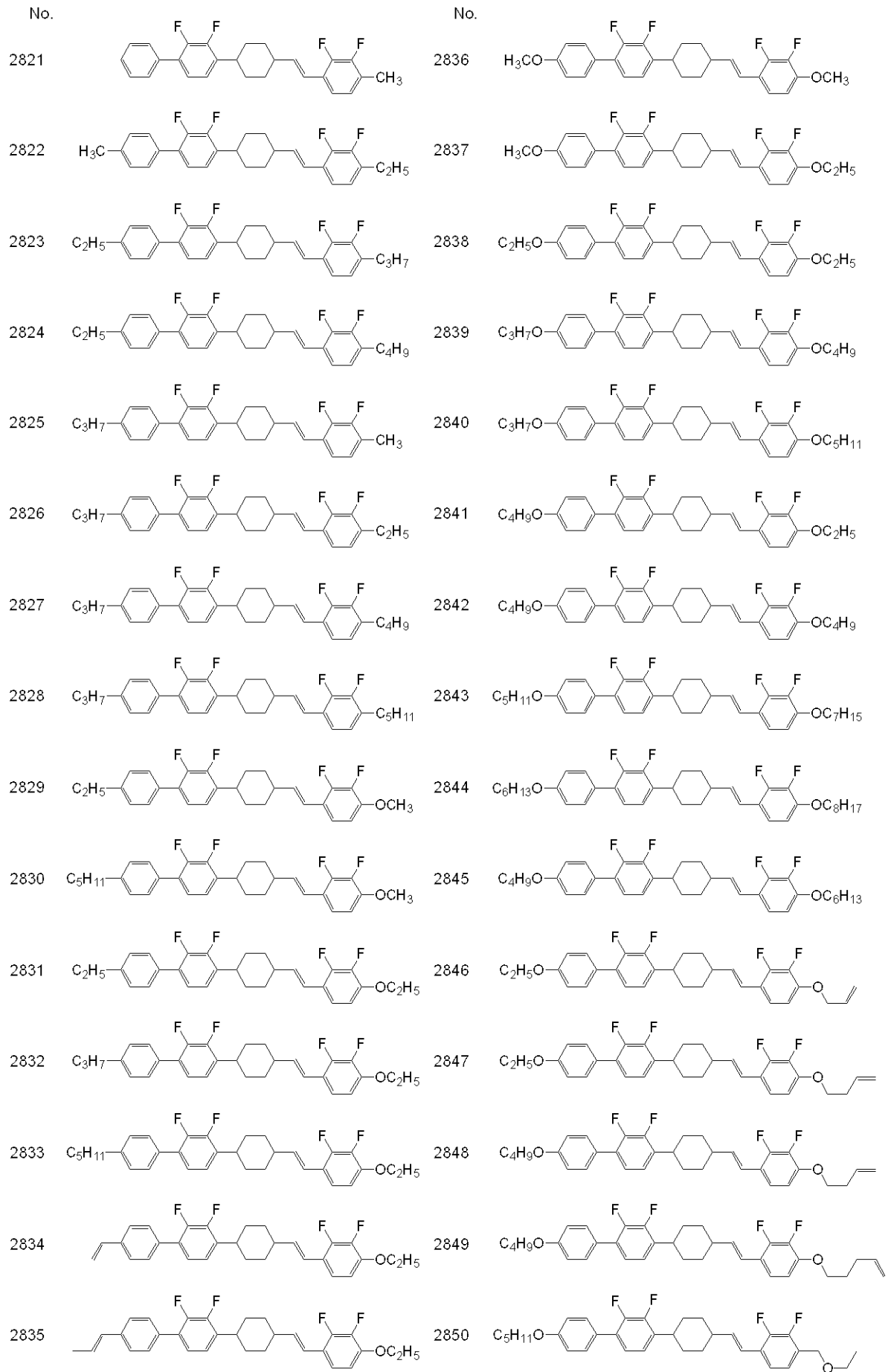
【 0 4 0 0 】









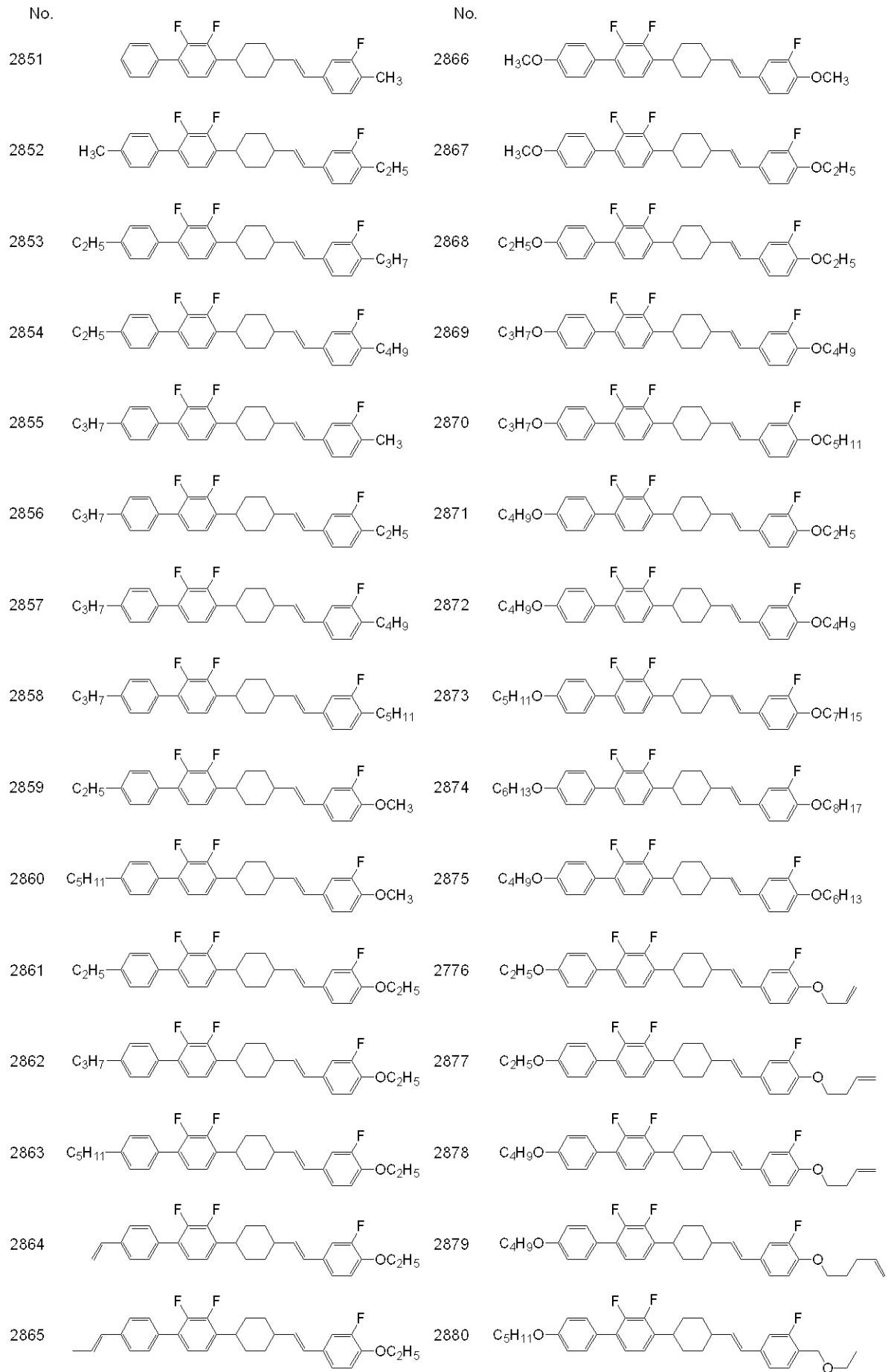


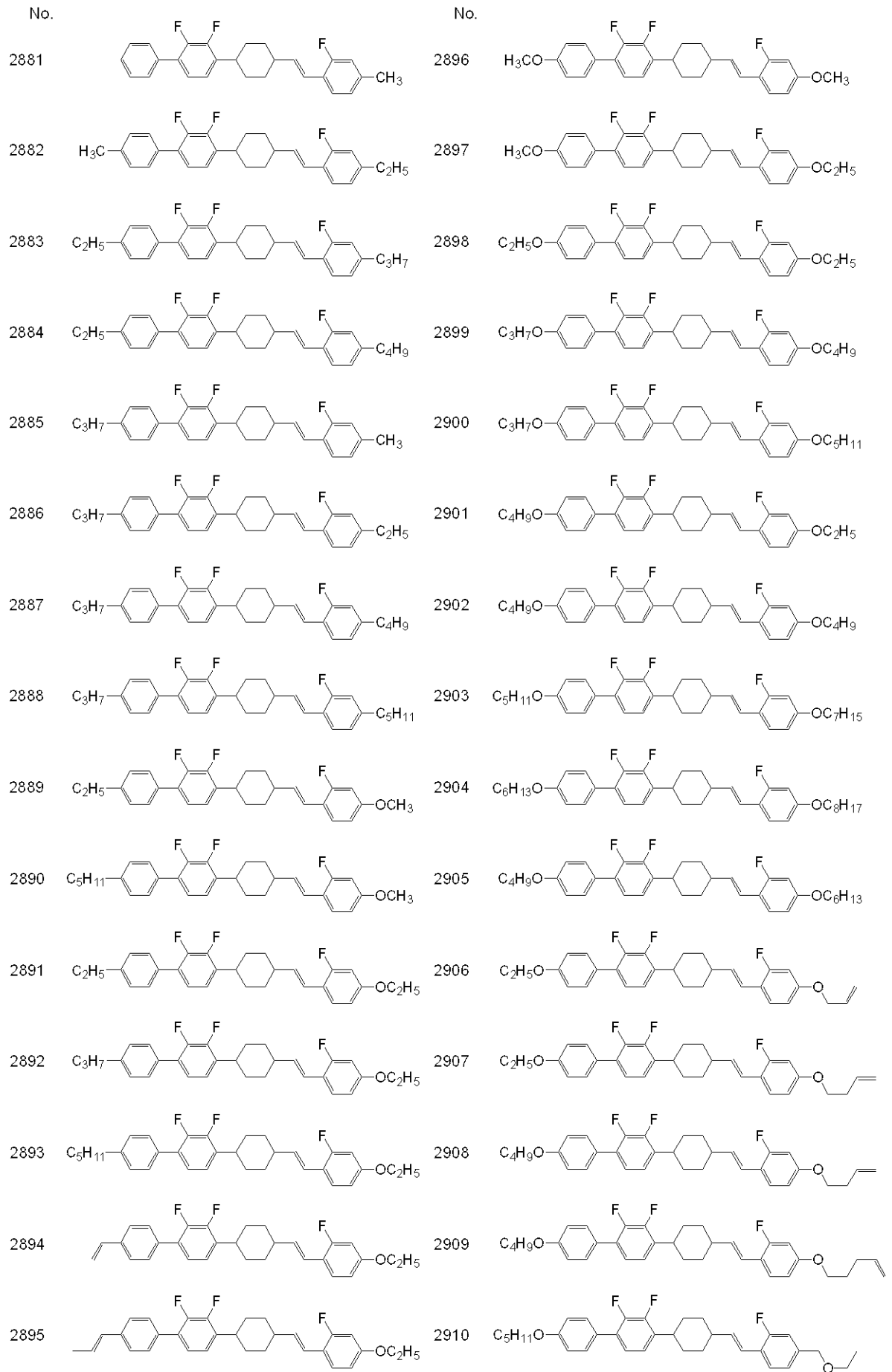
10

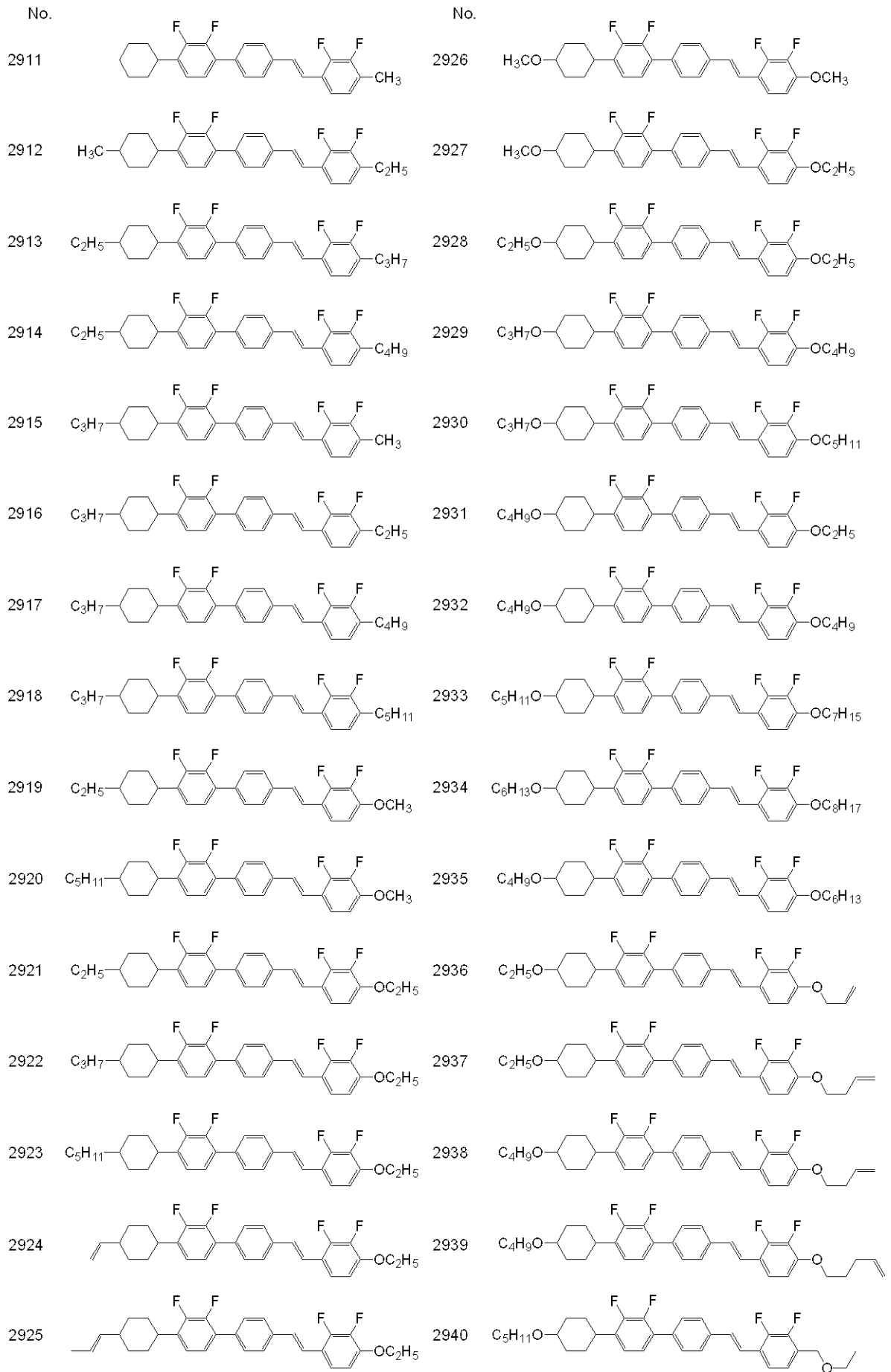
20

30

40





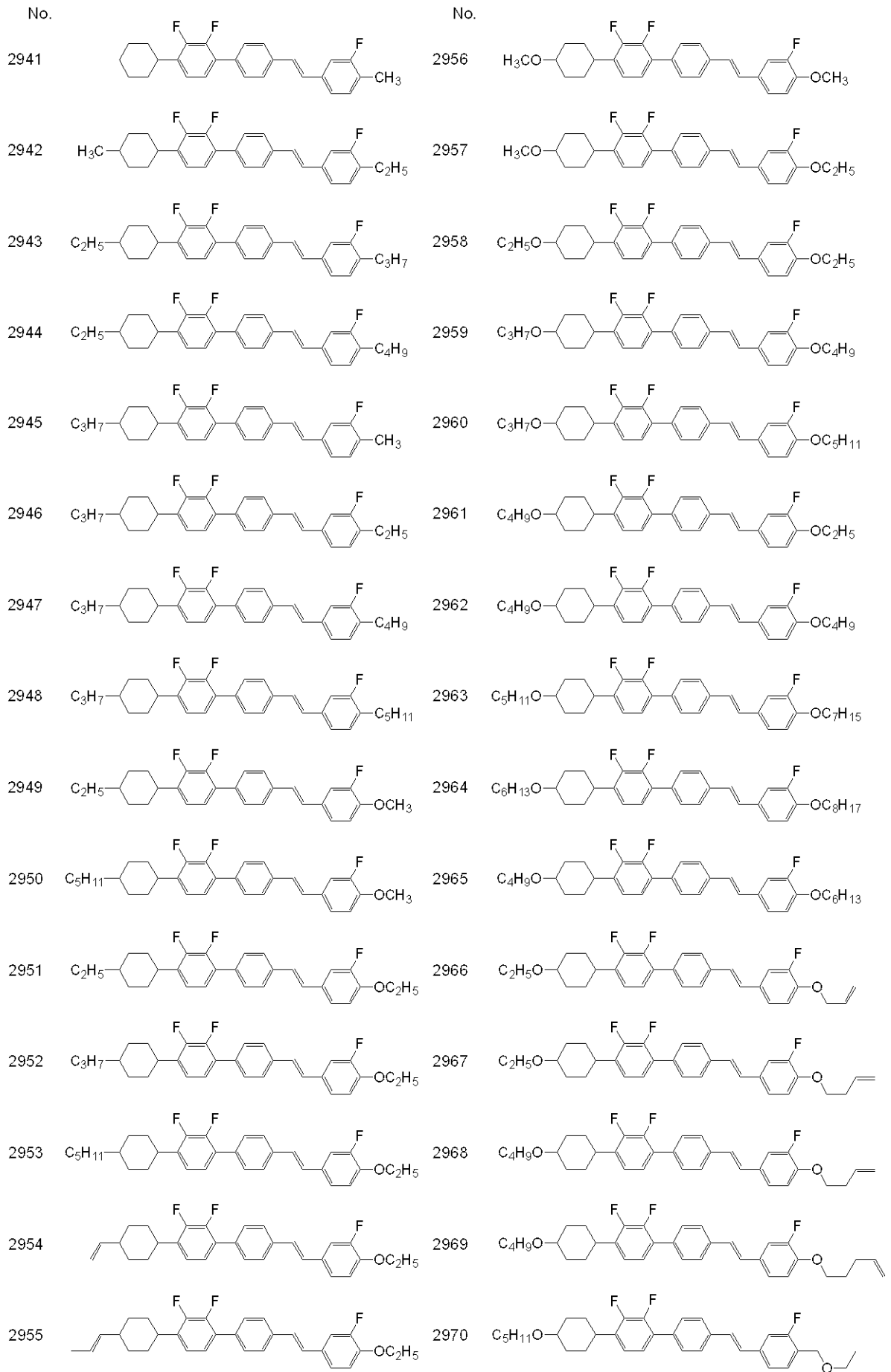


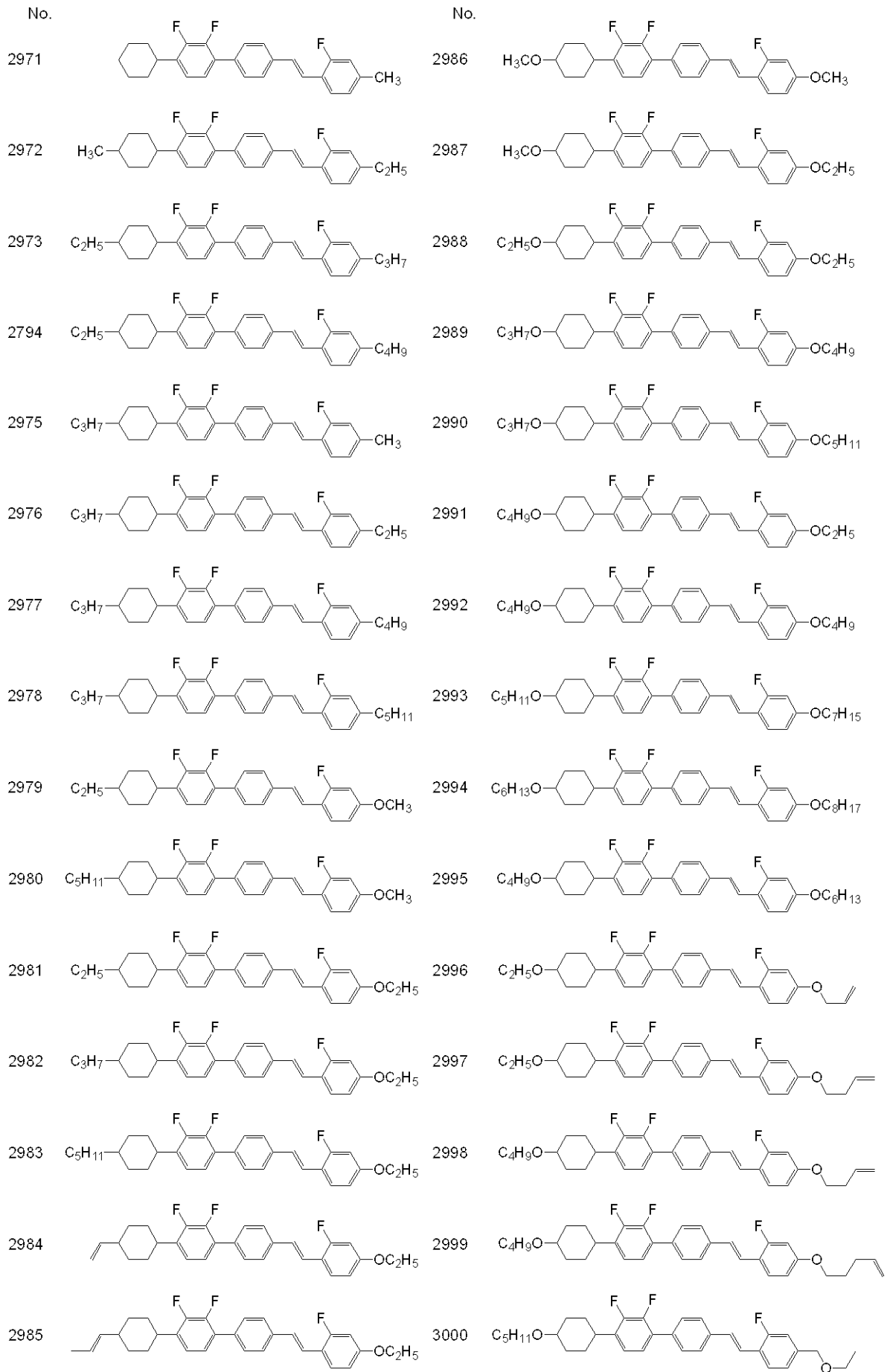
10

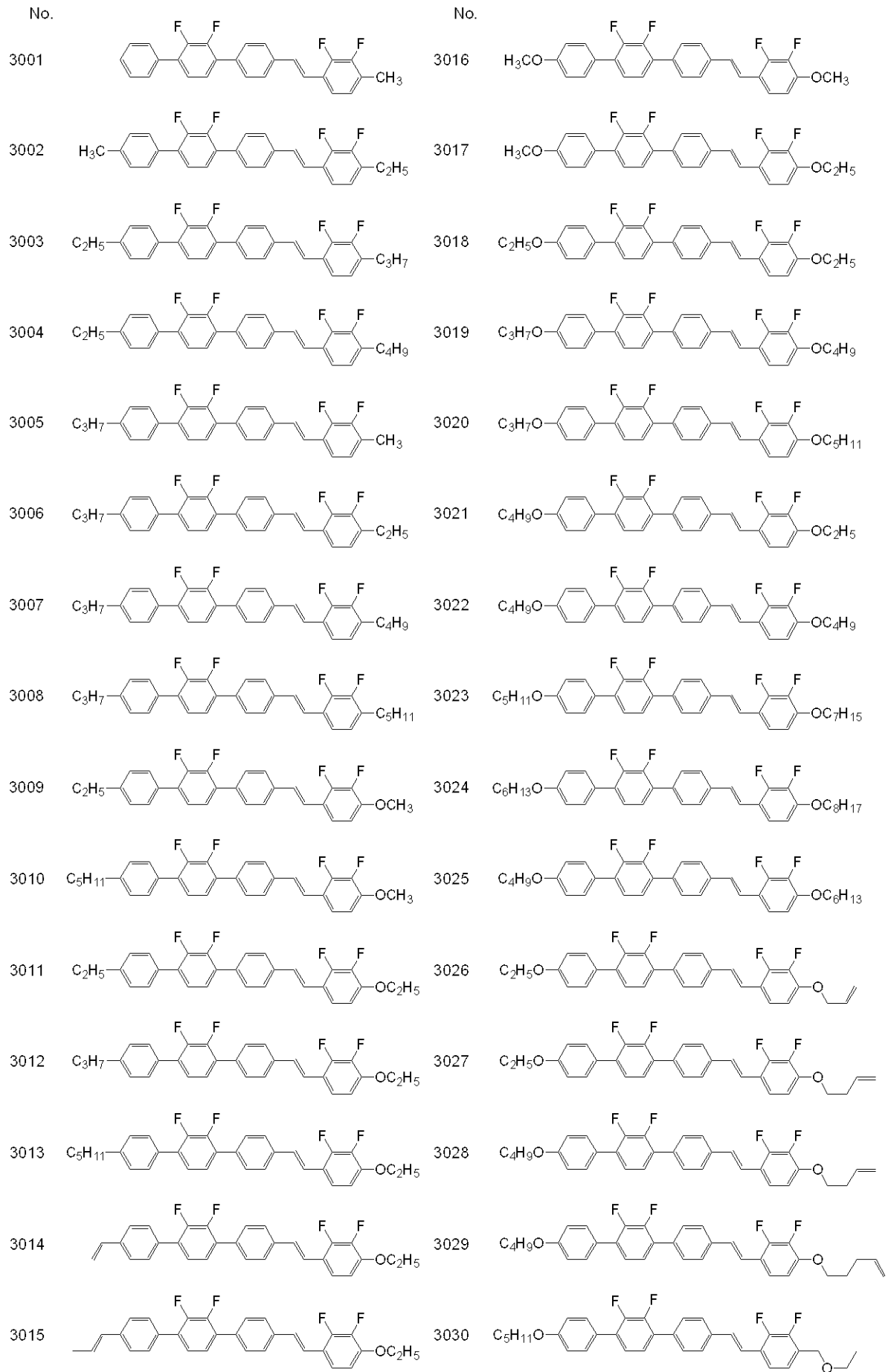
20

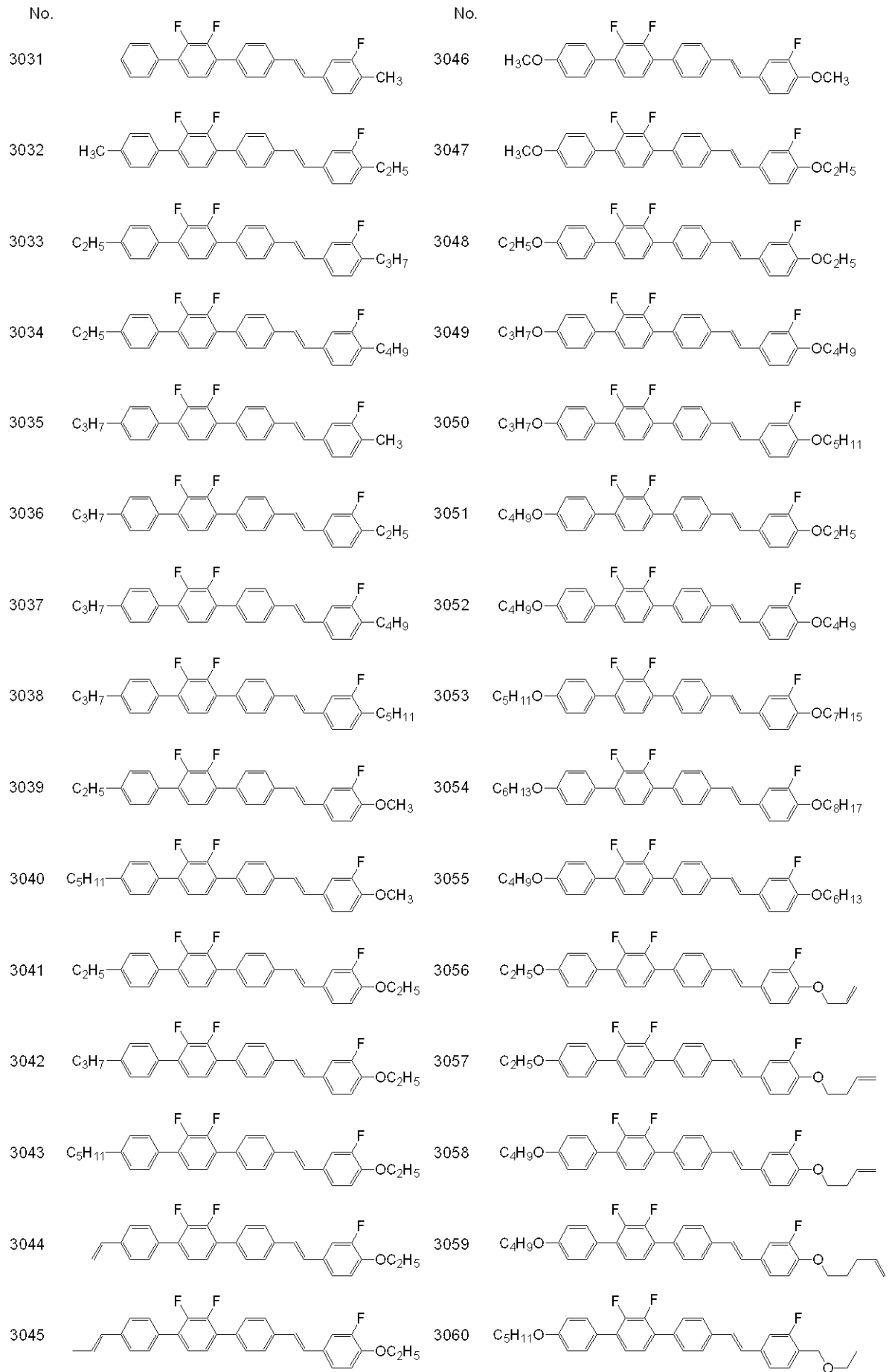
30

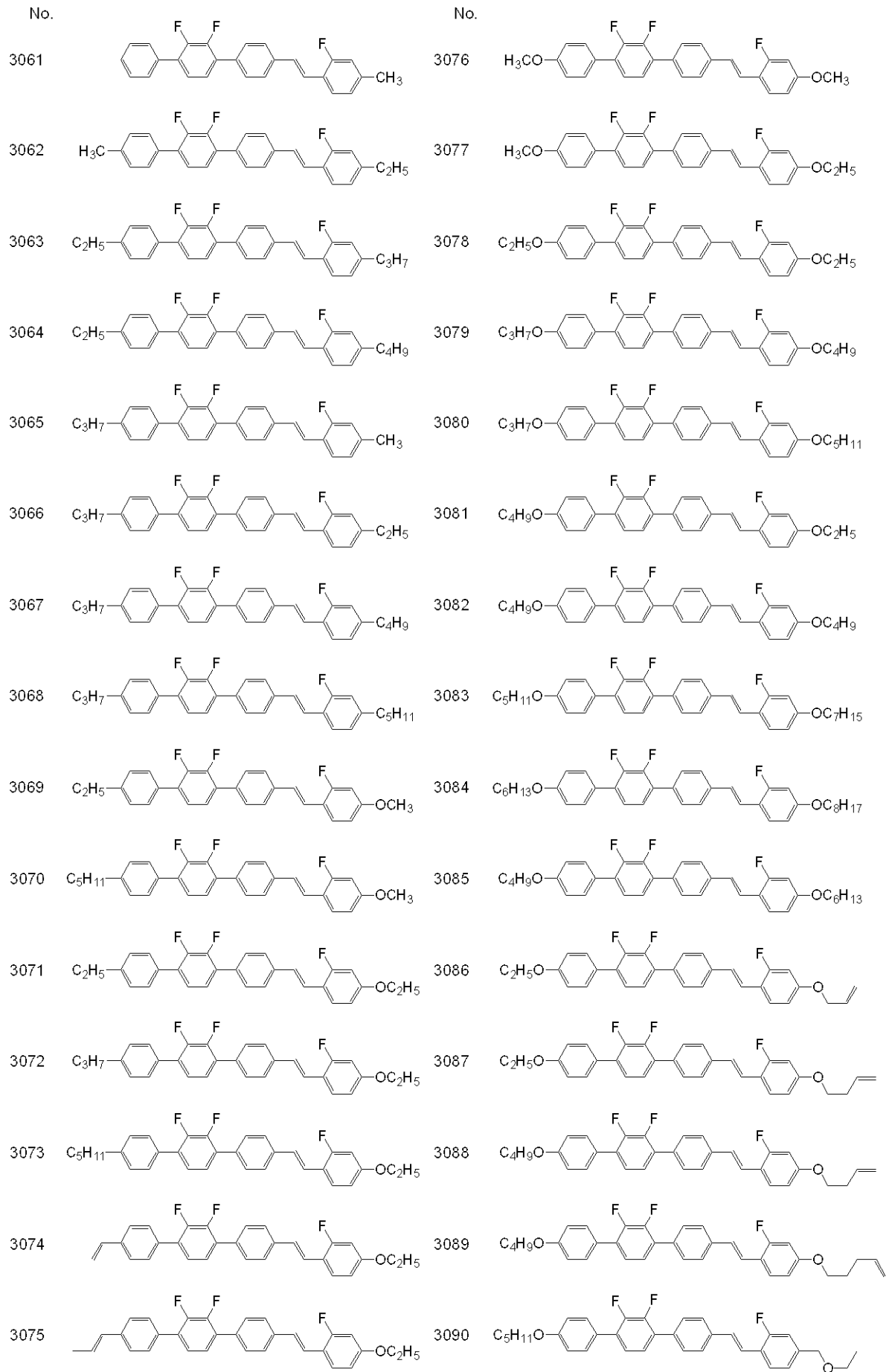
40

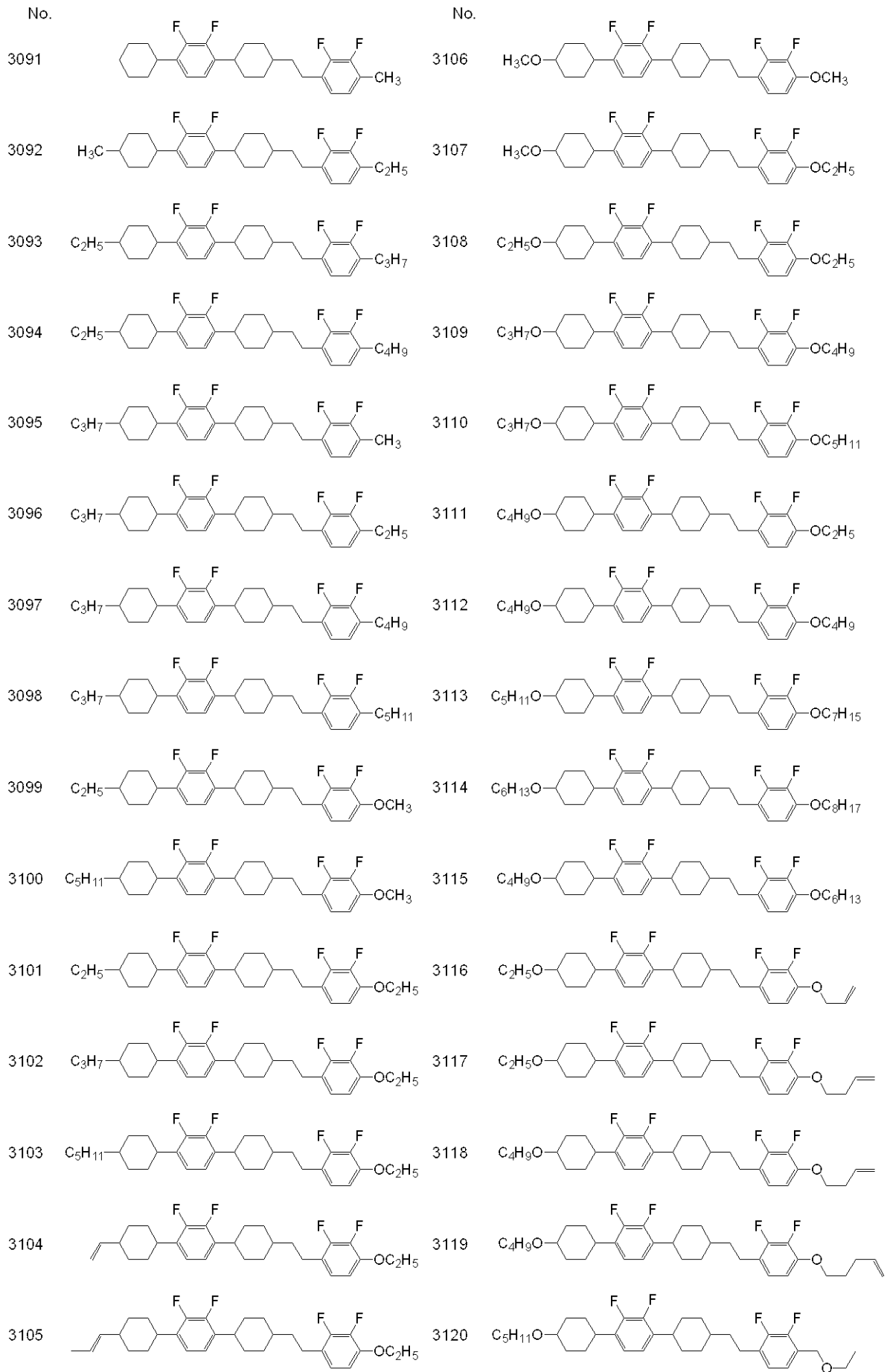










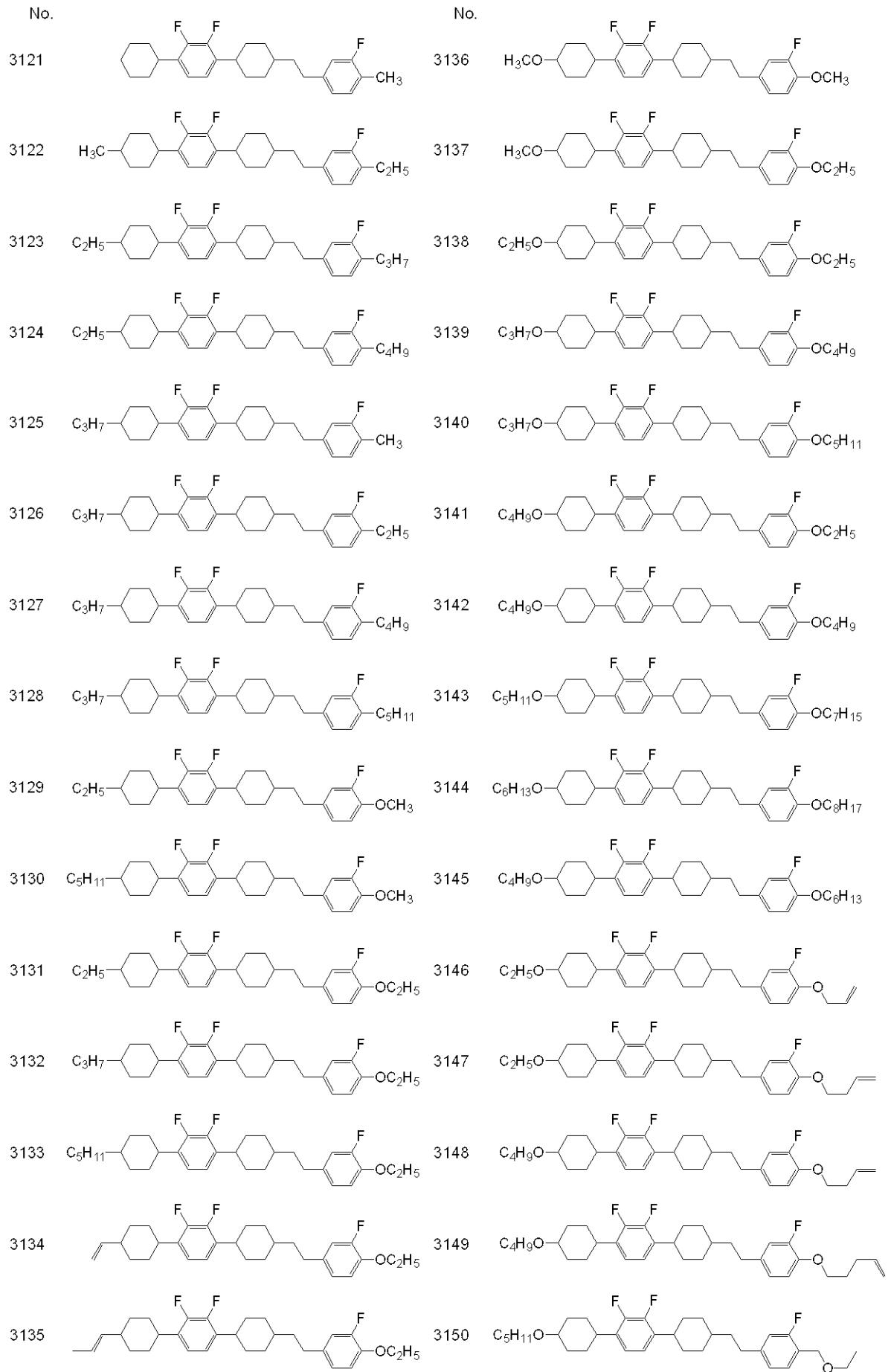


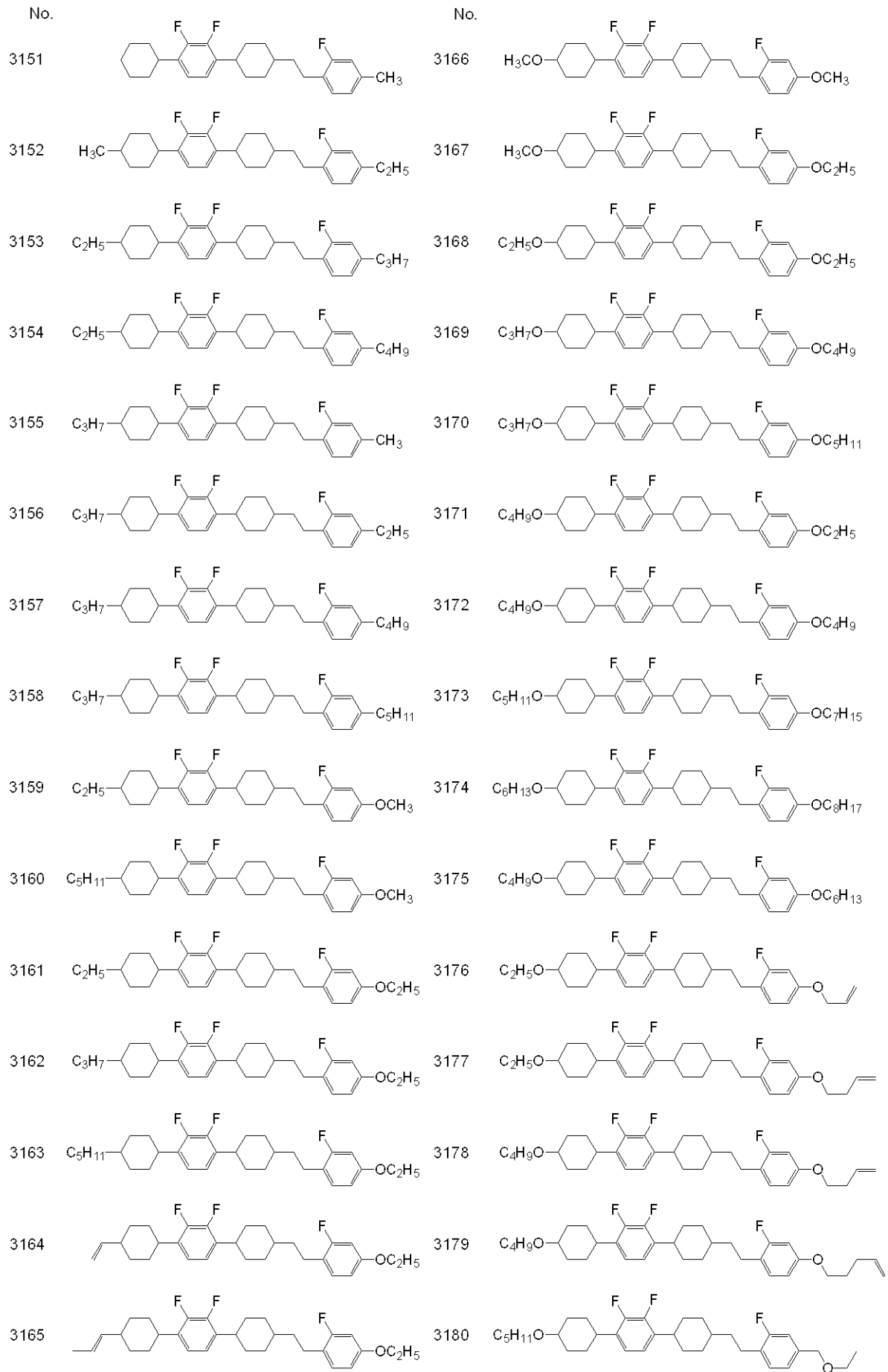
10

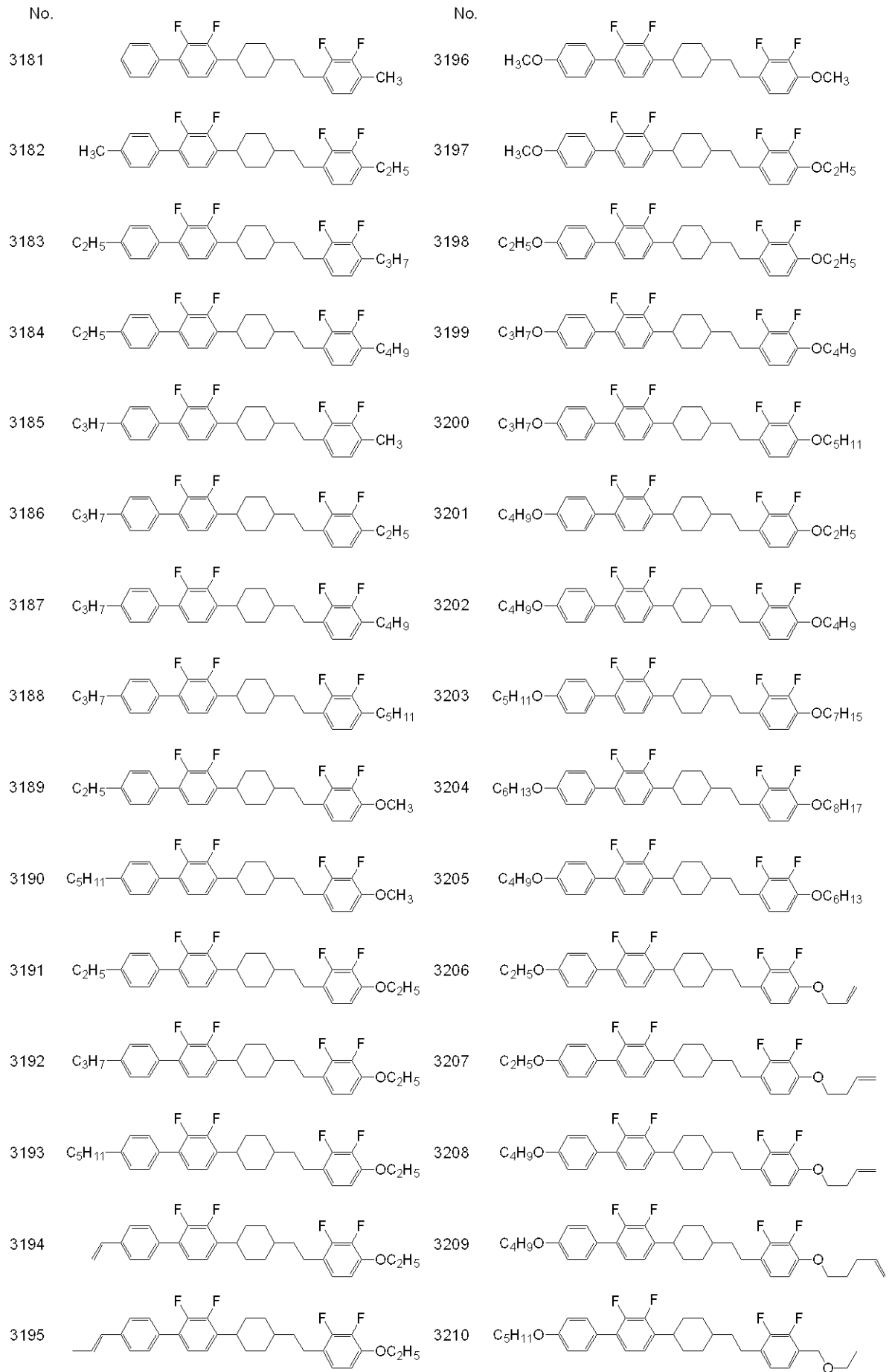
20

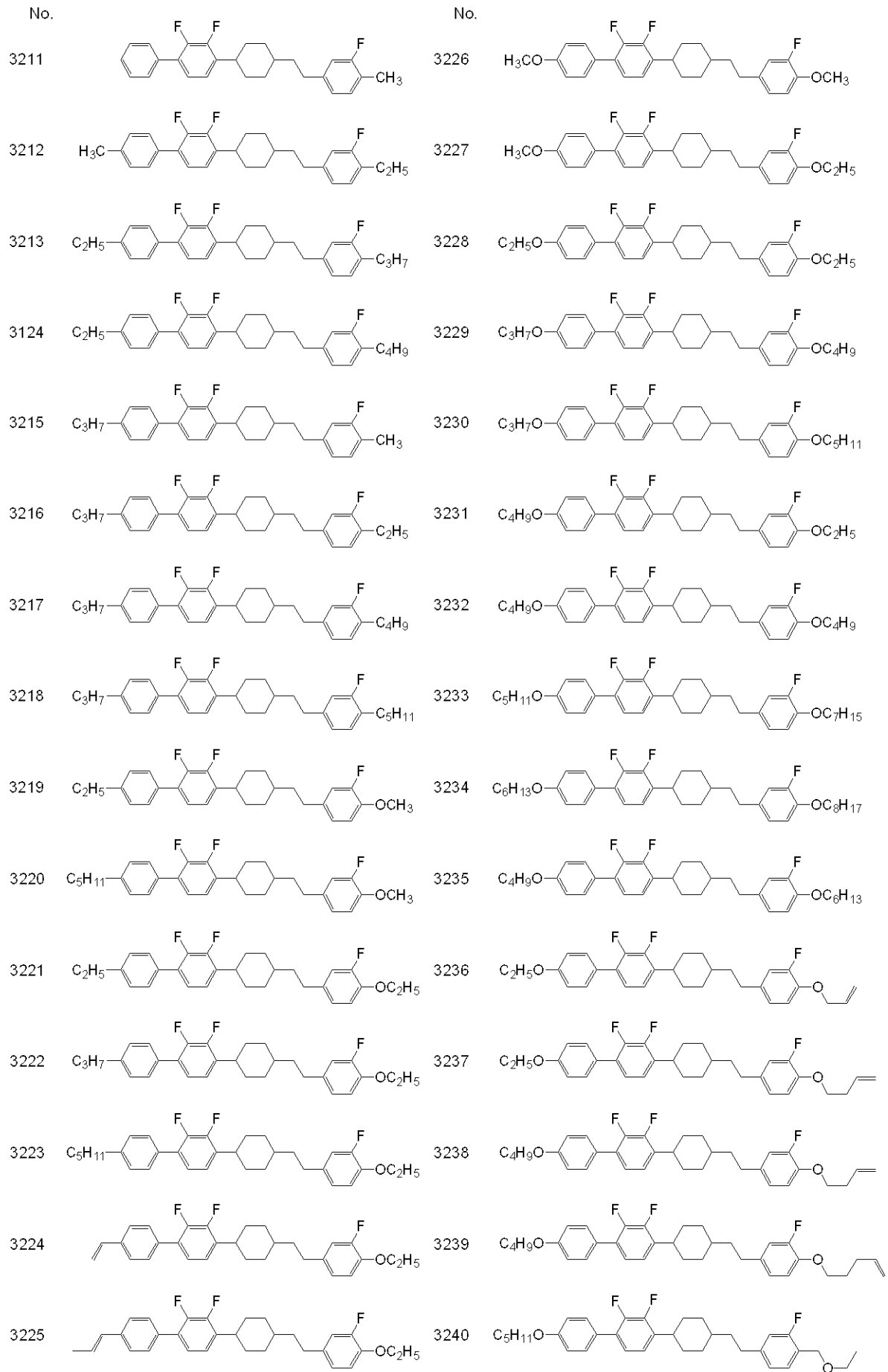
30

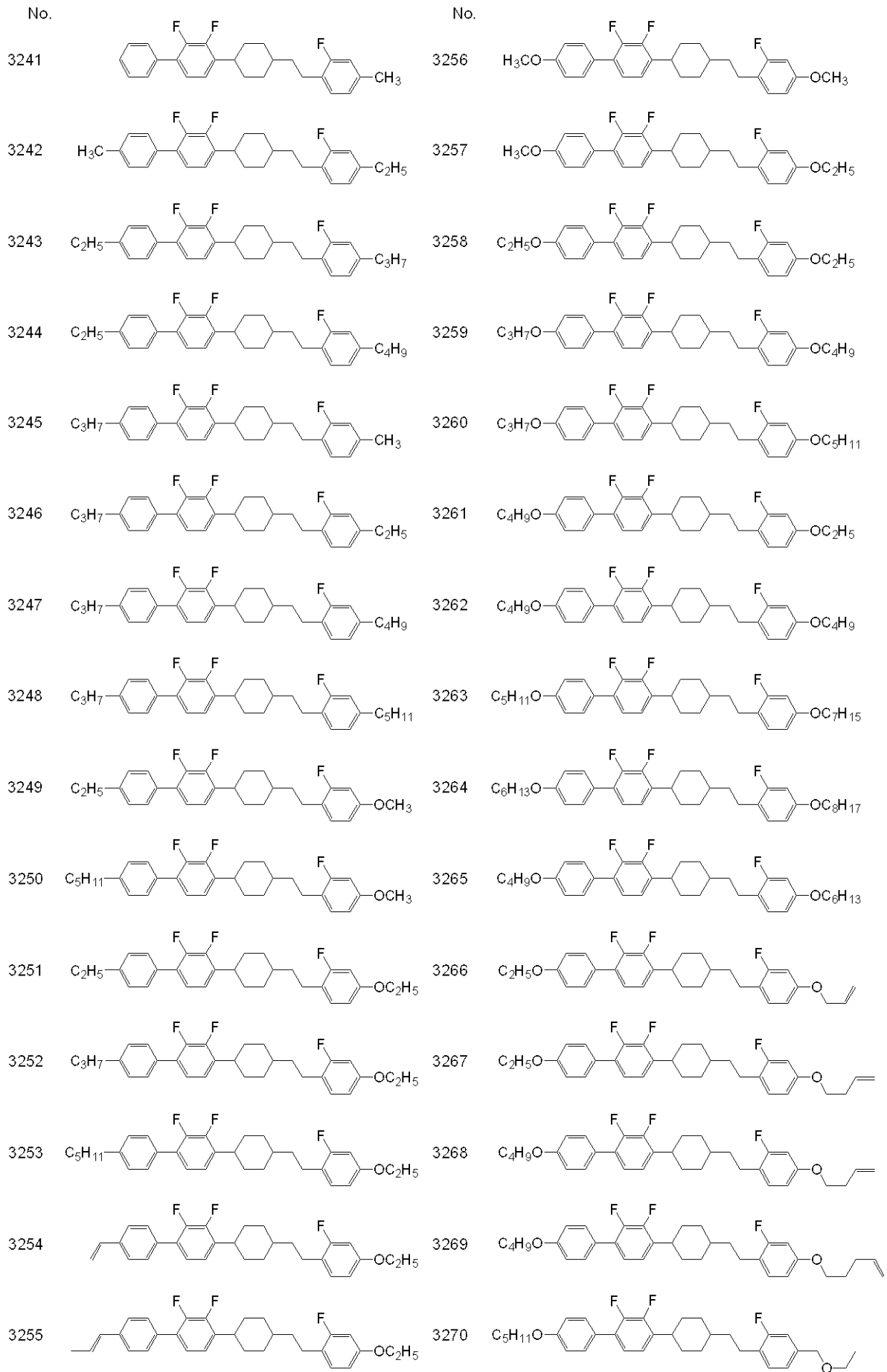
40

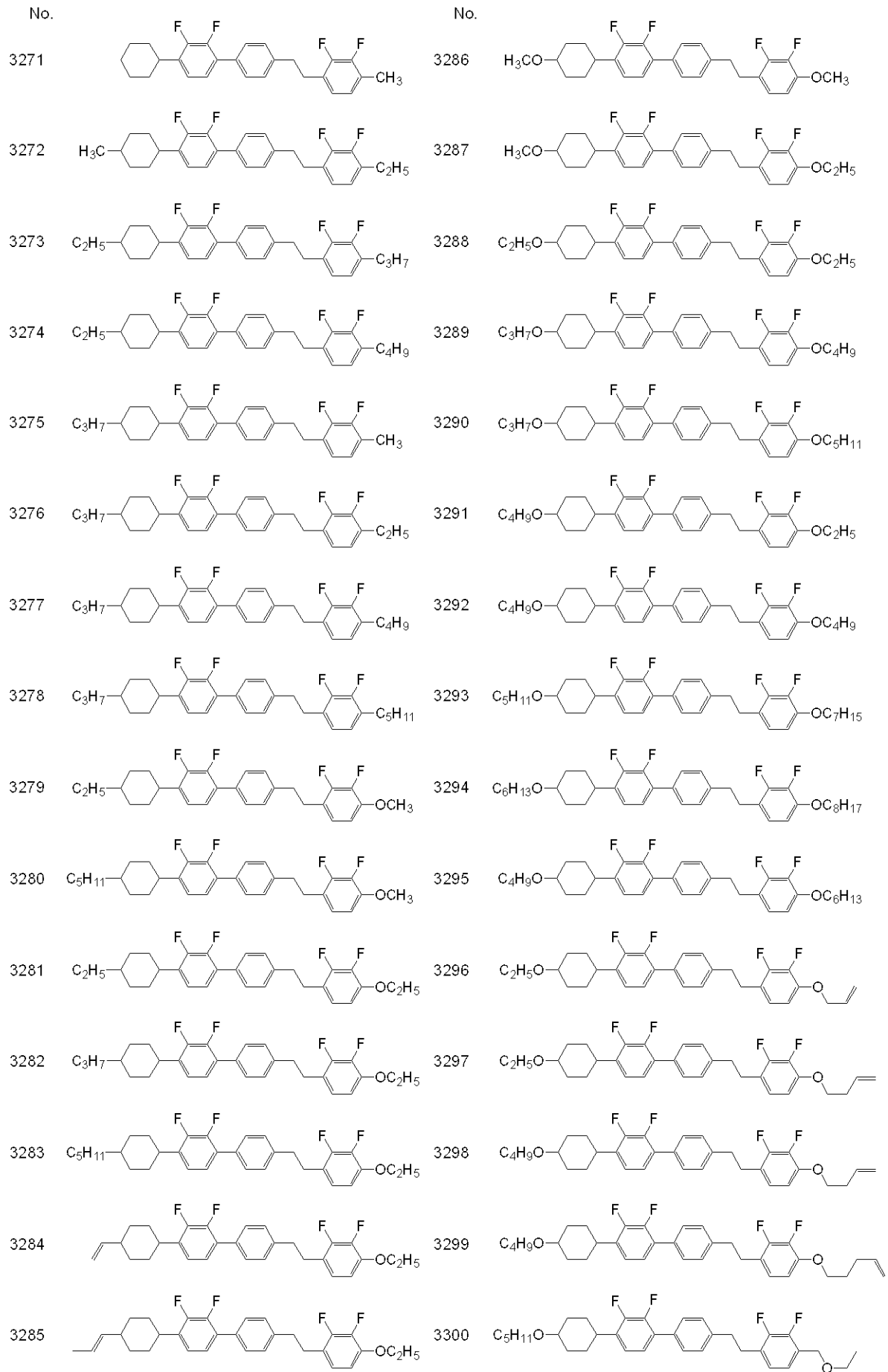


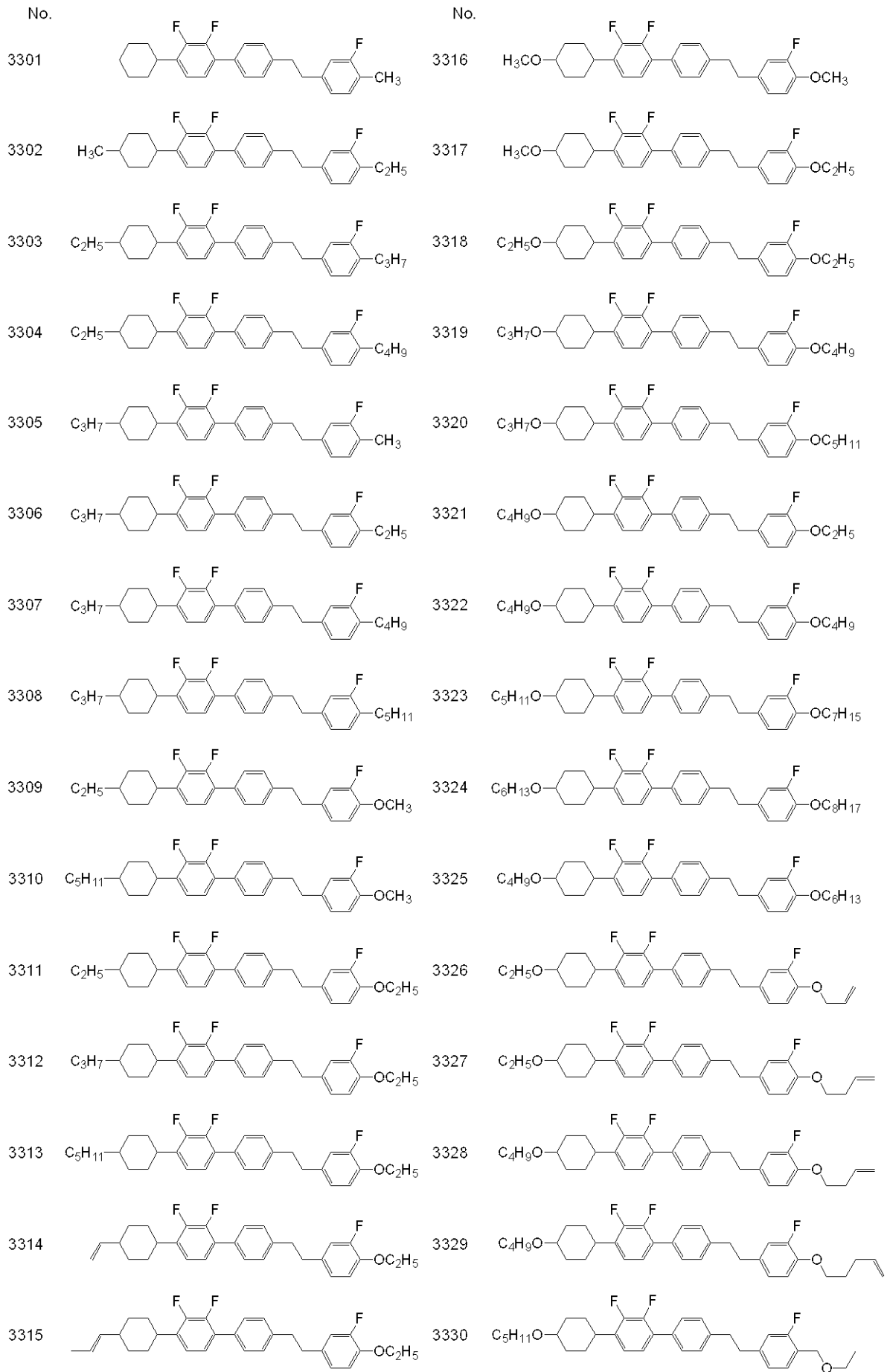


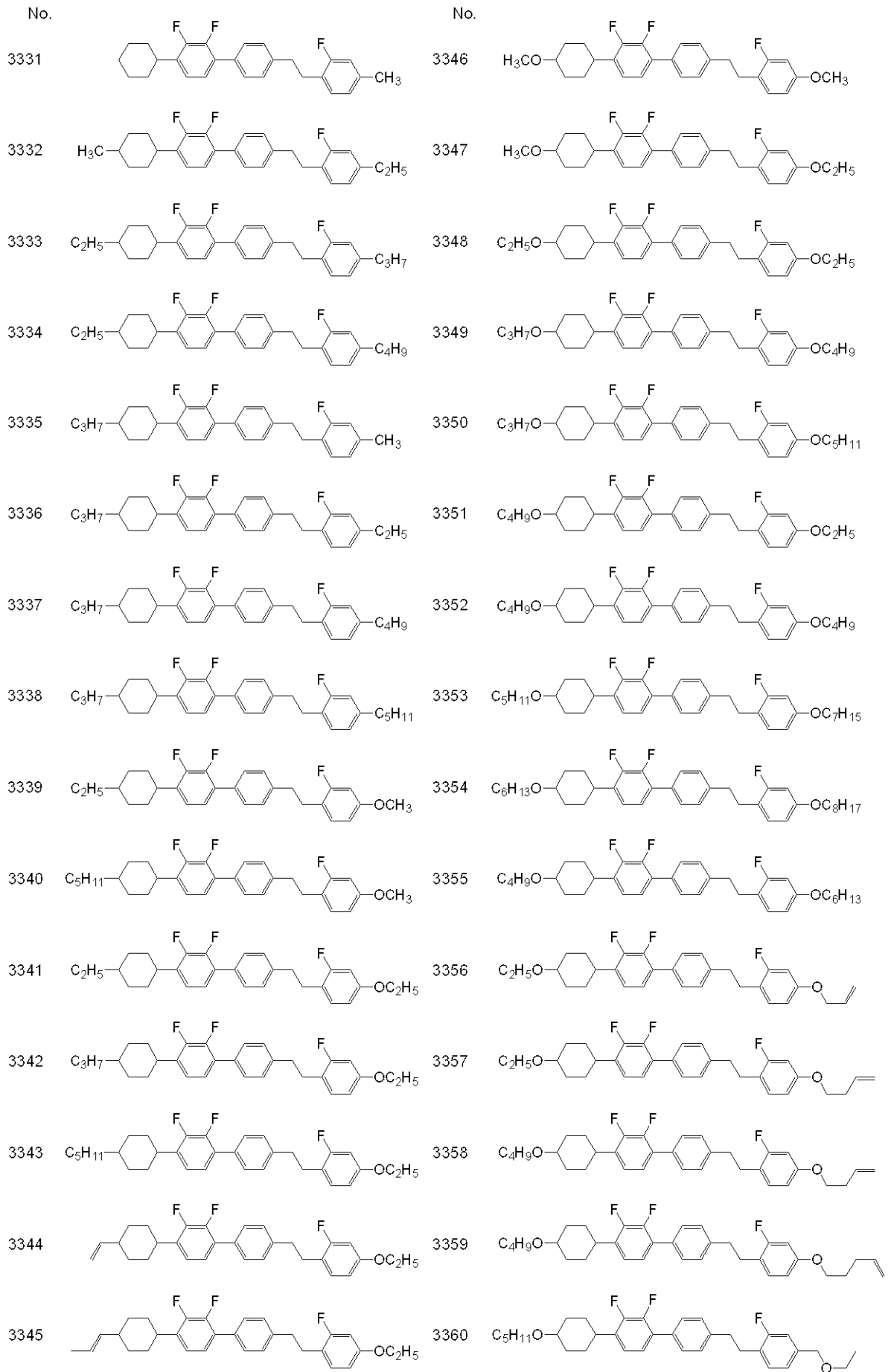


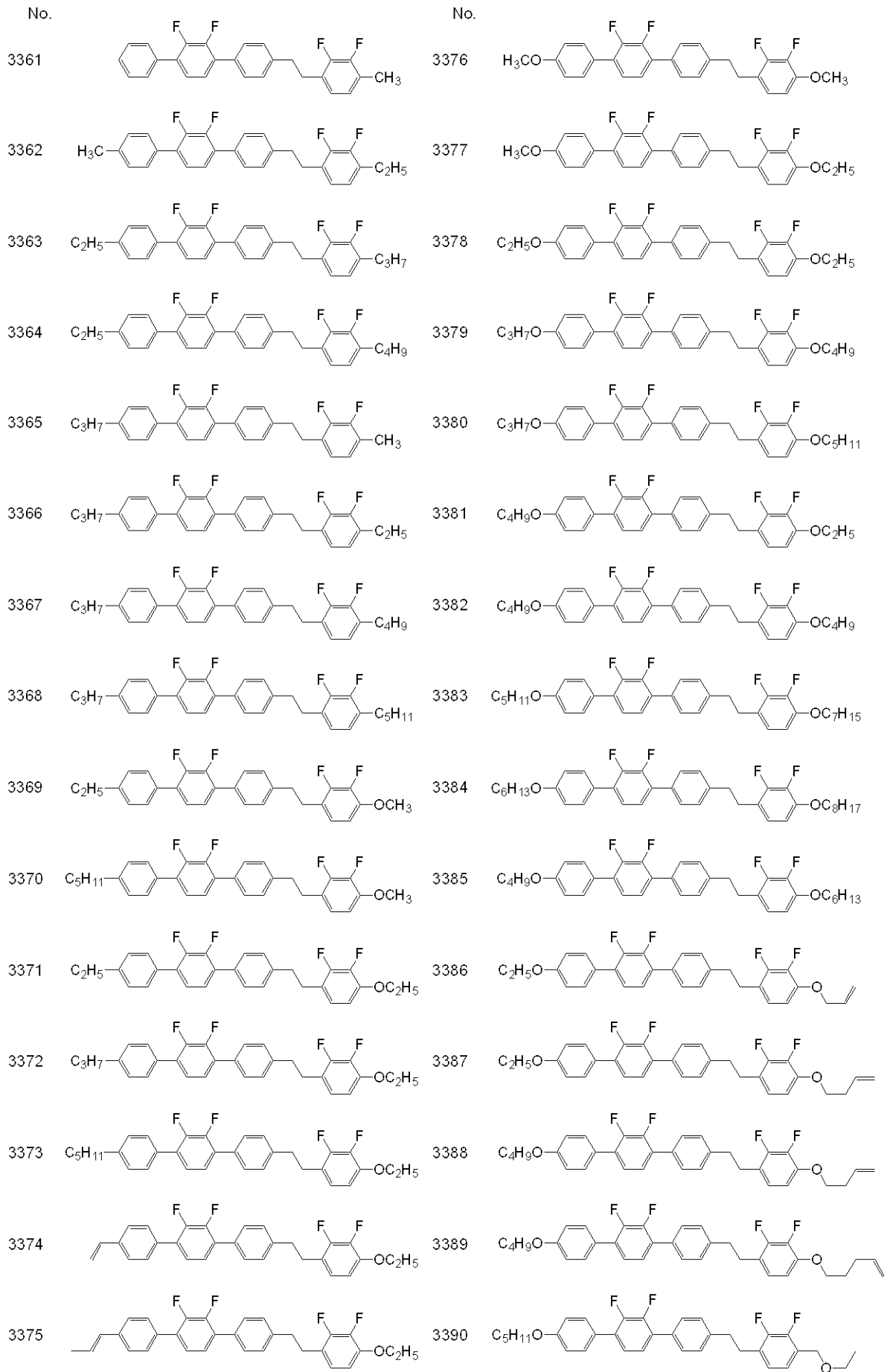


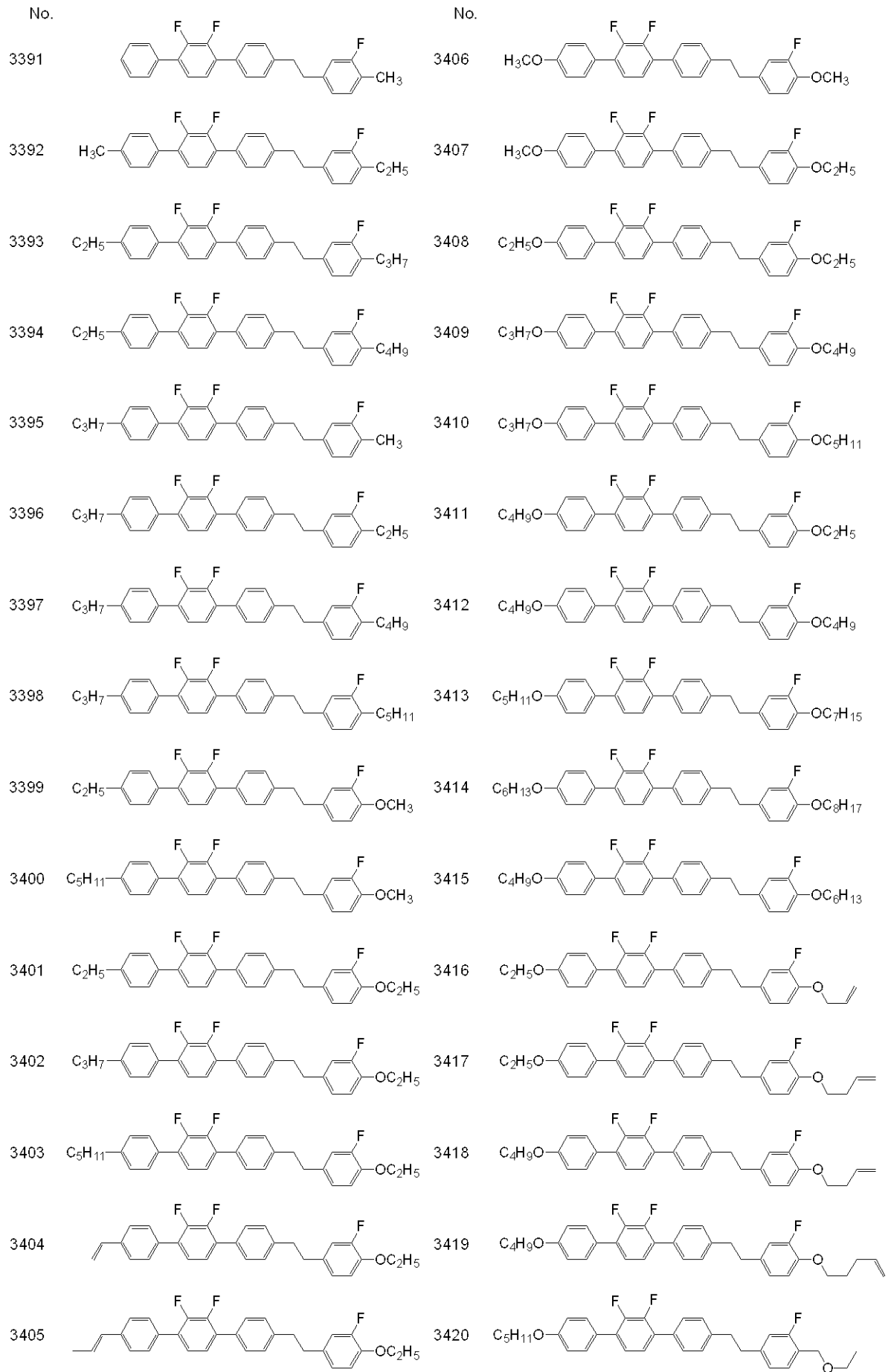


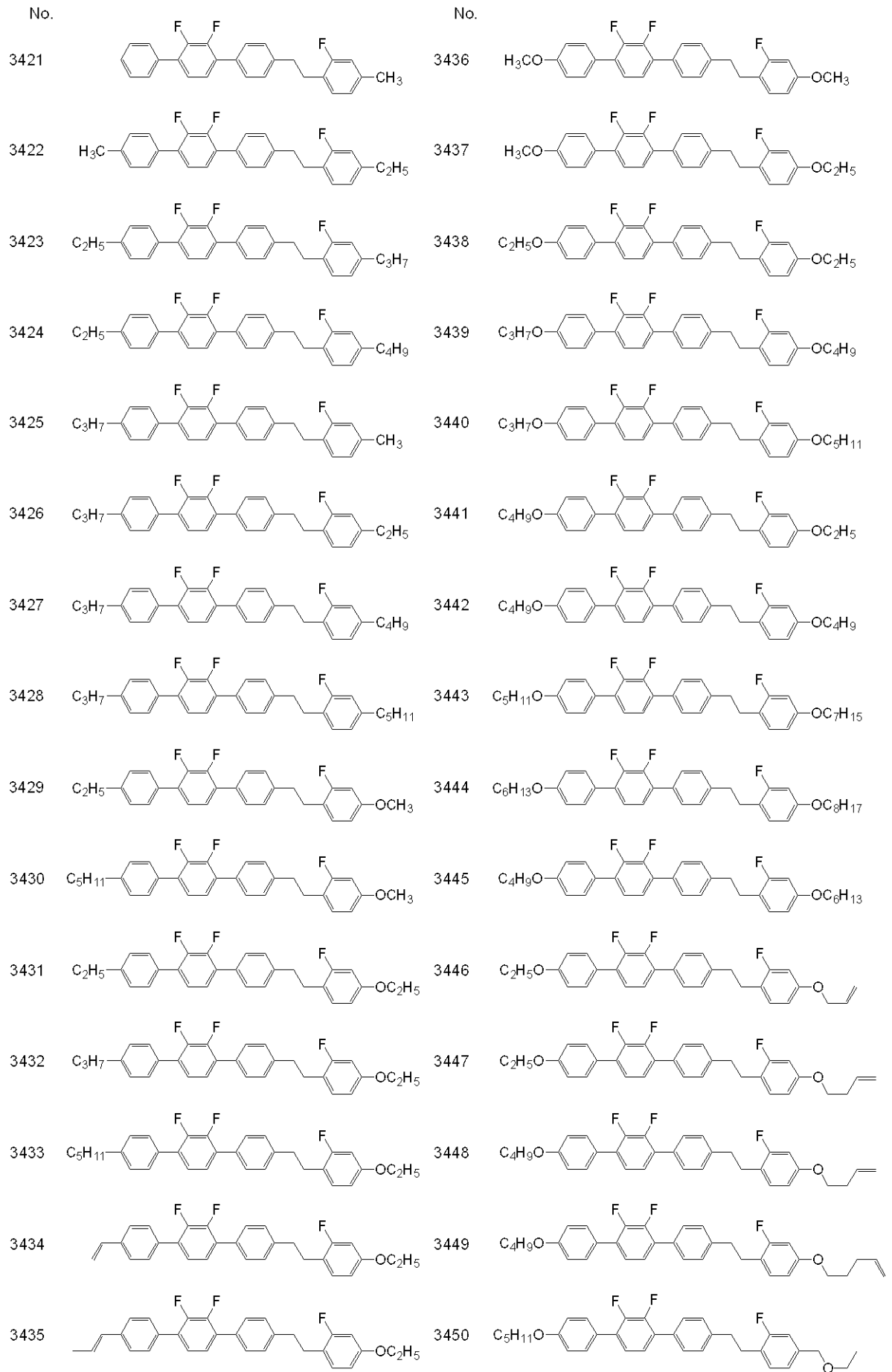


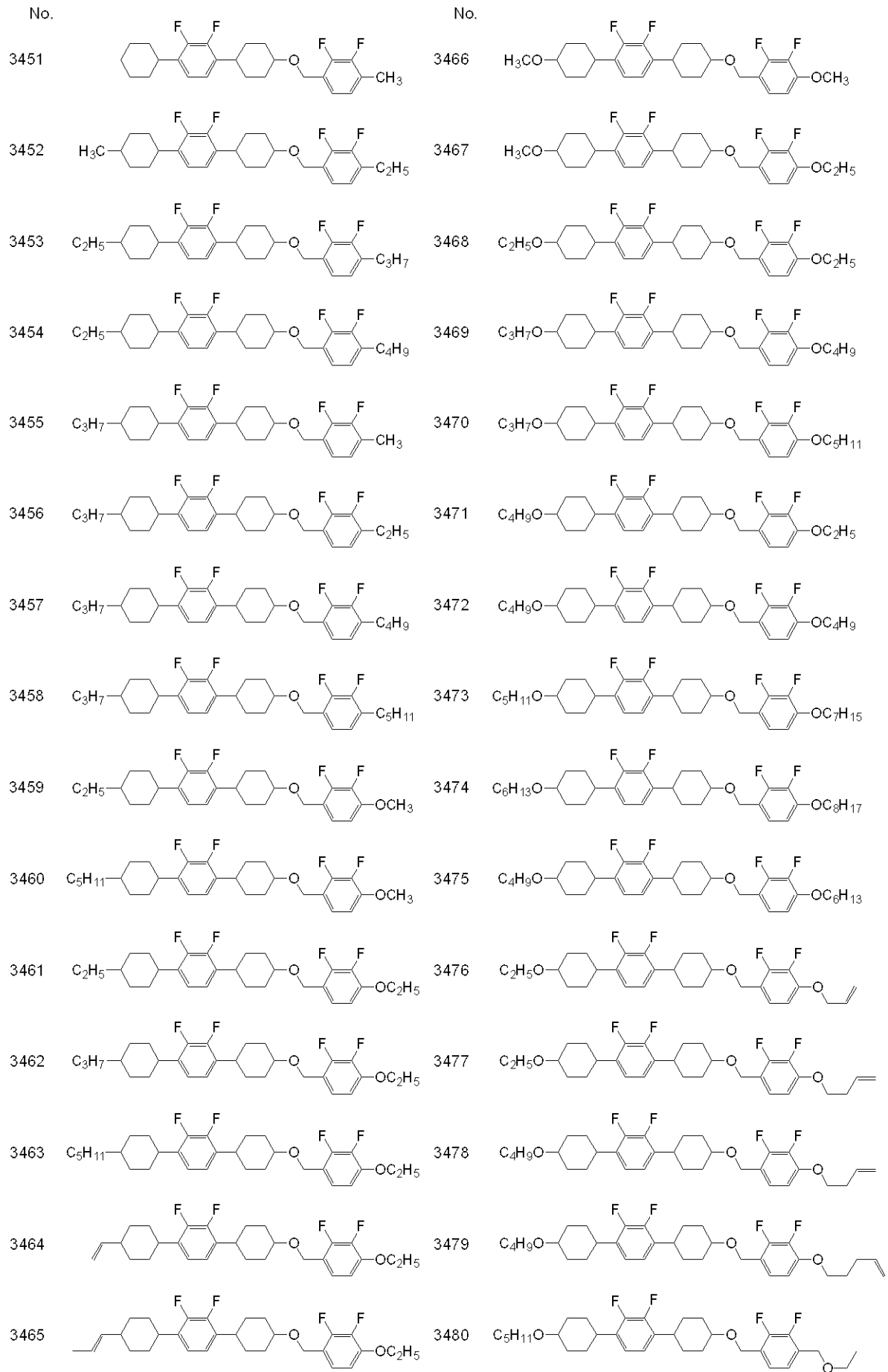


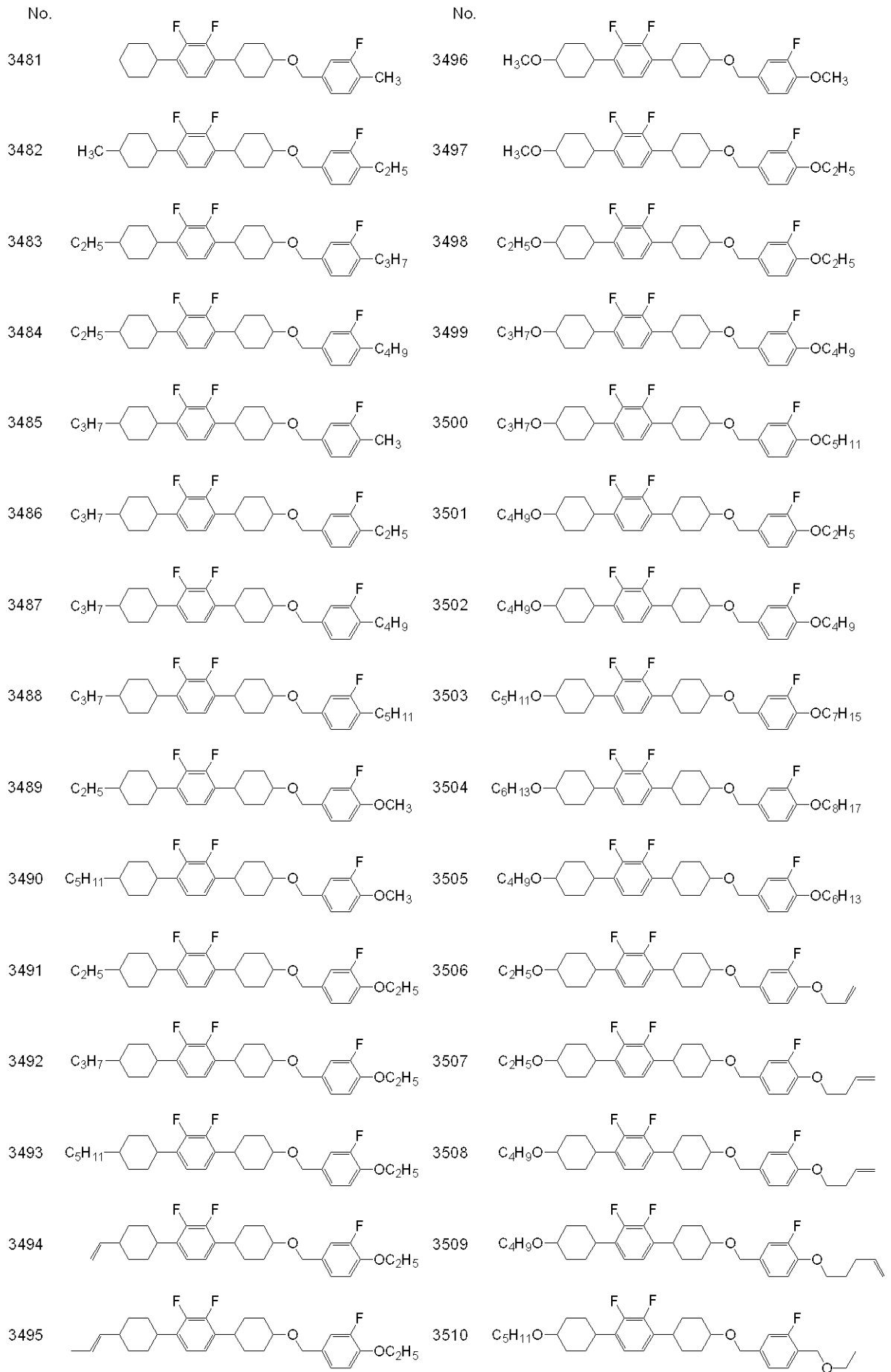


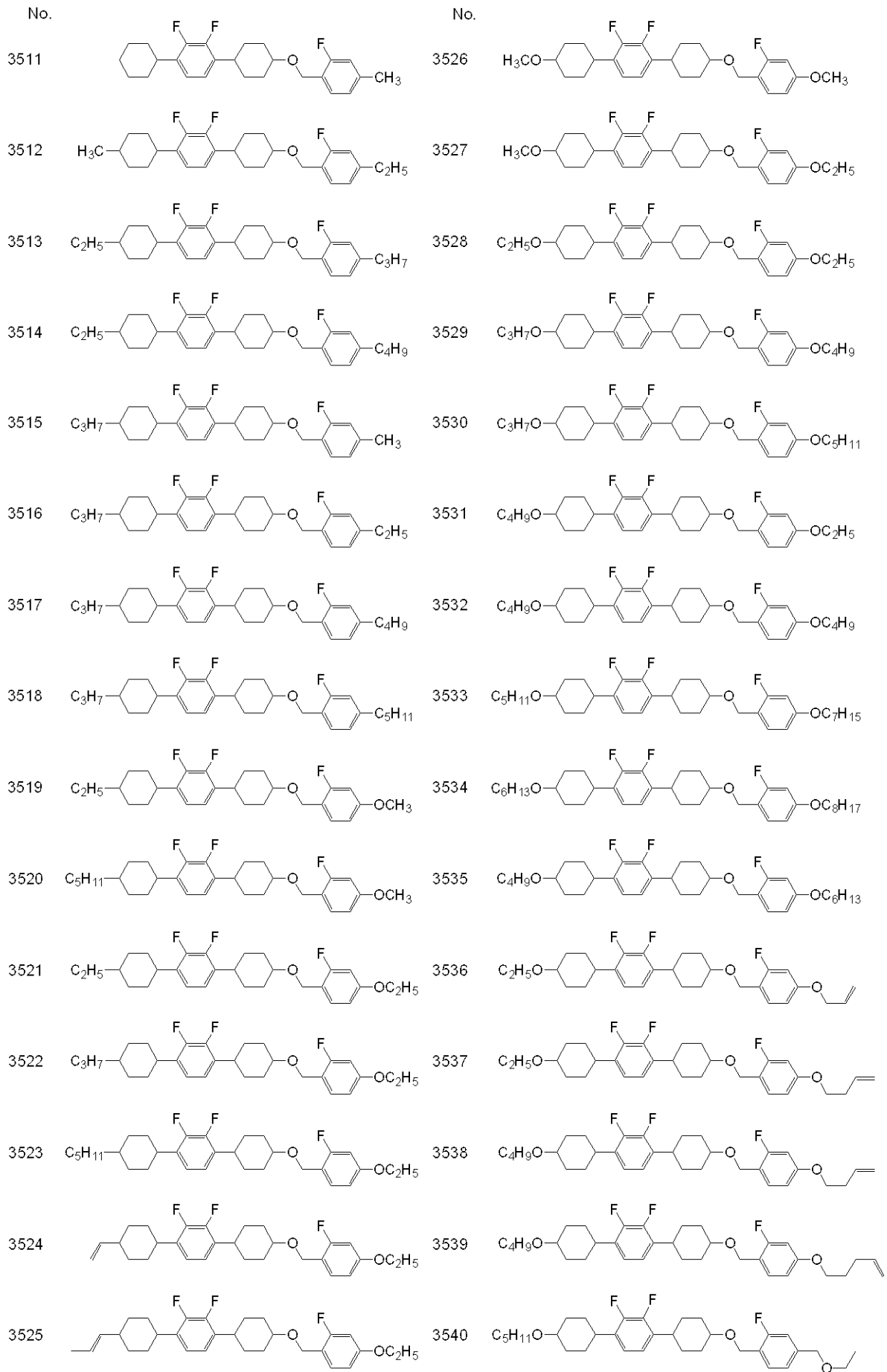


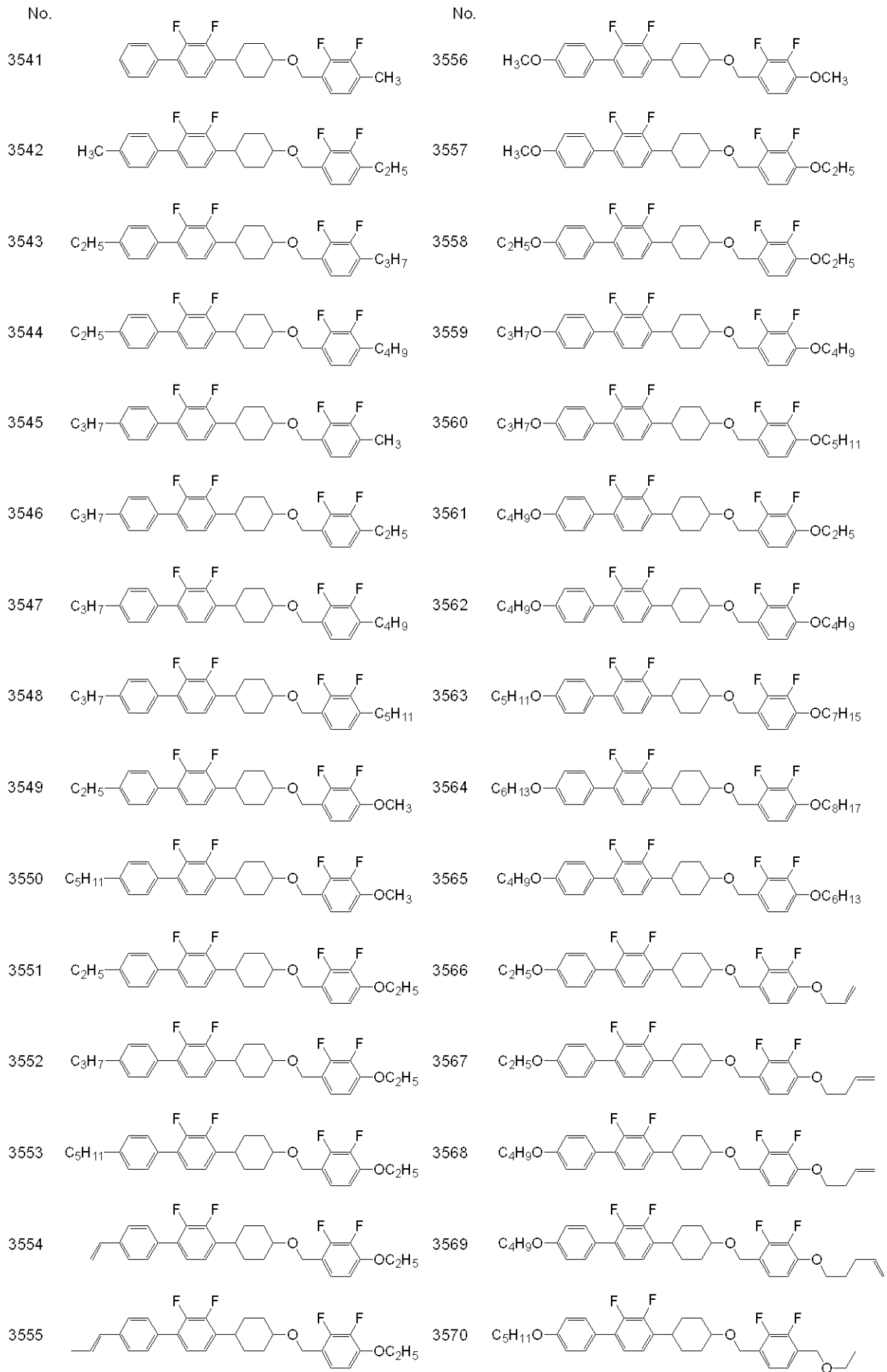


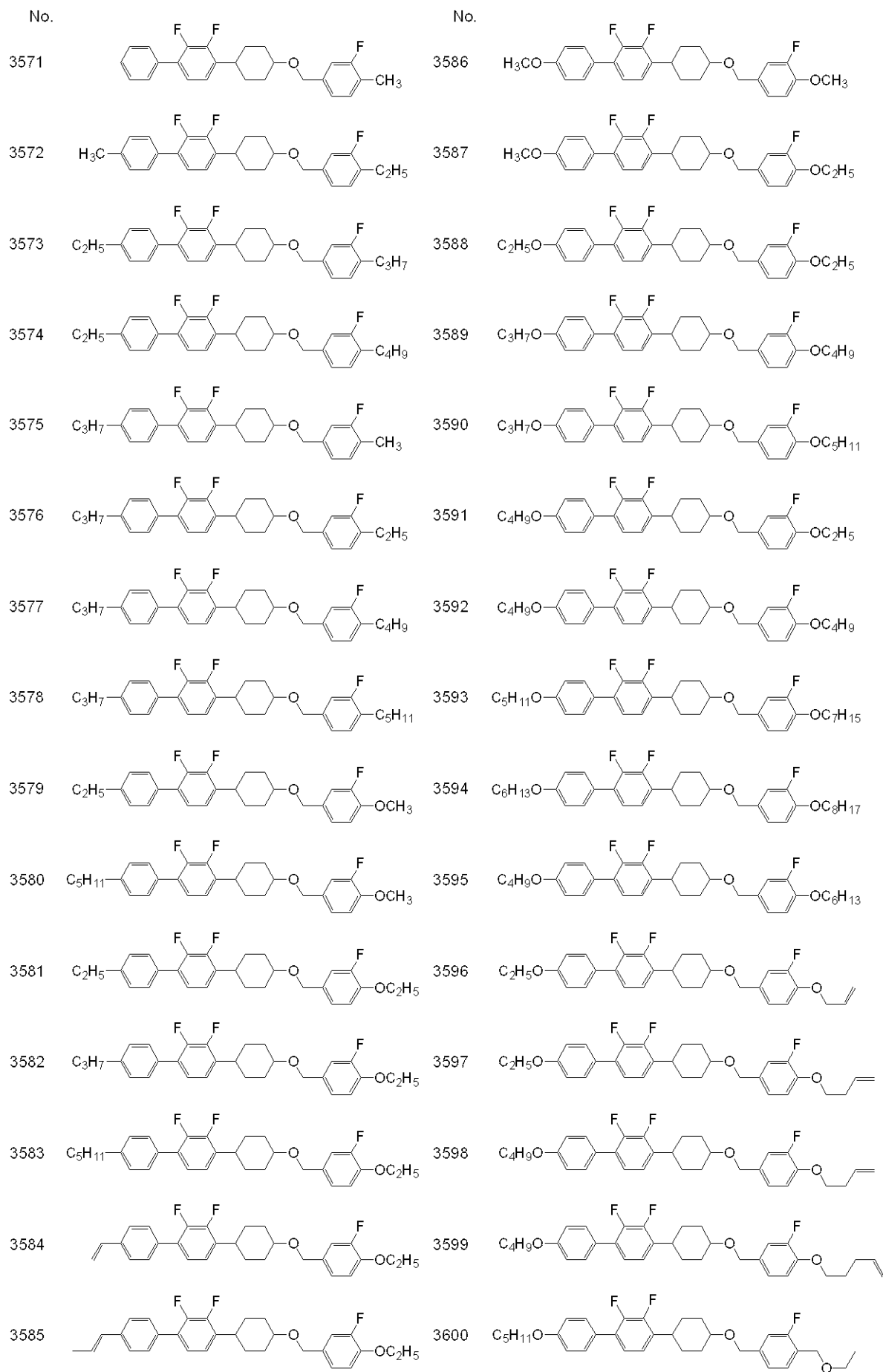










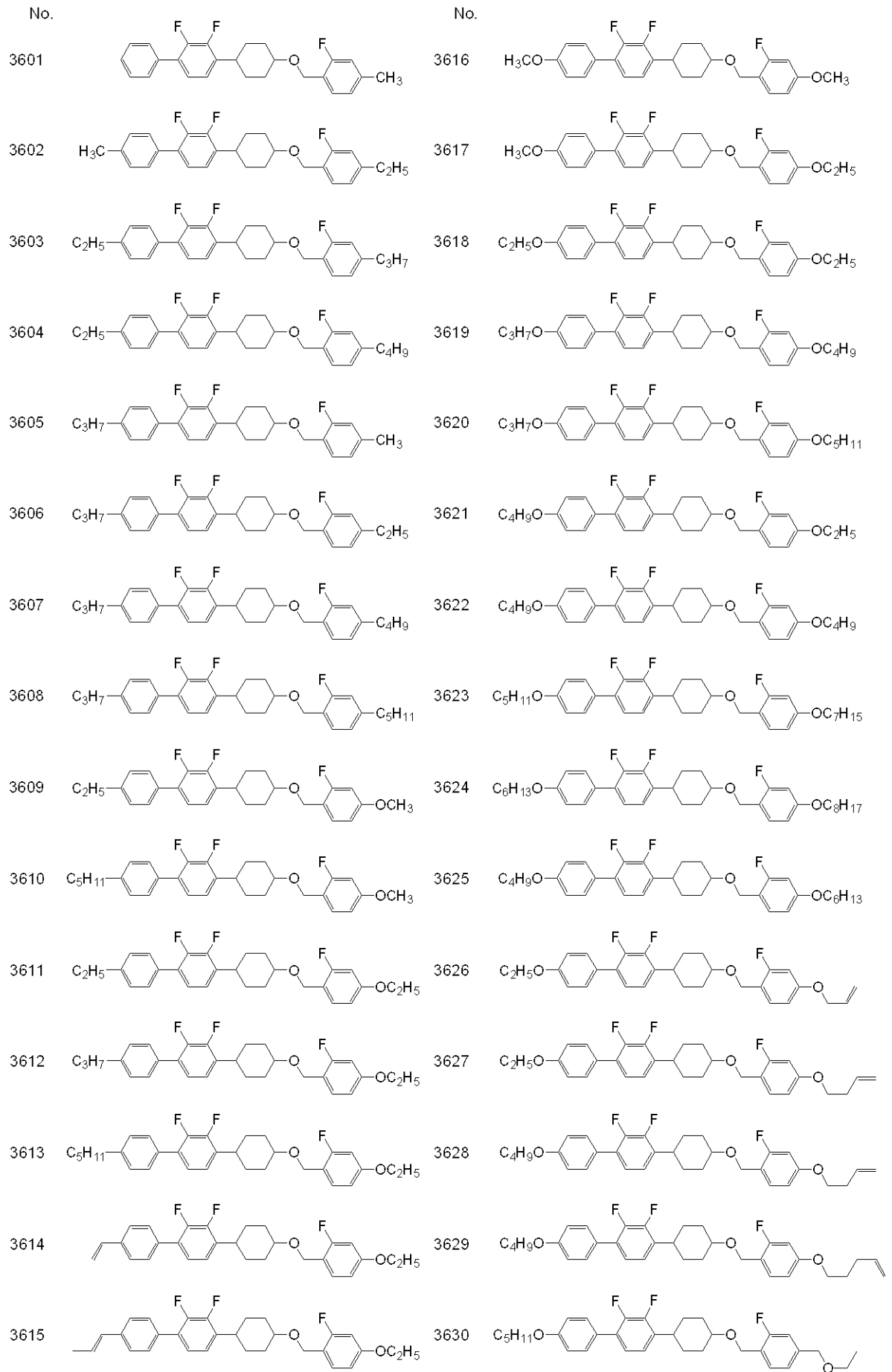


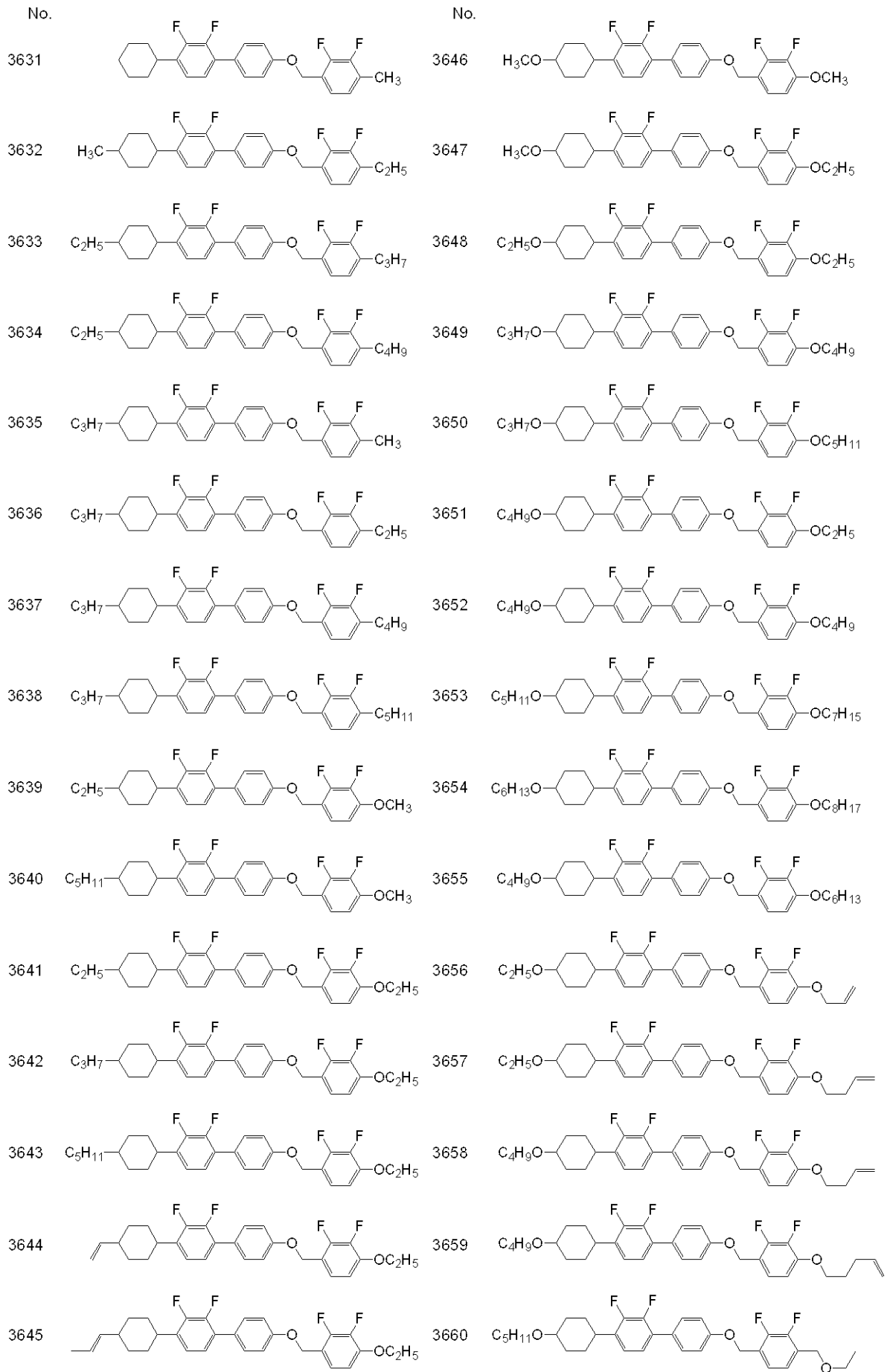
10

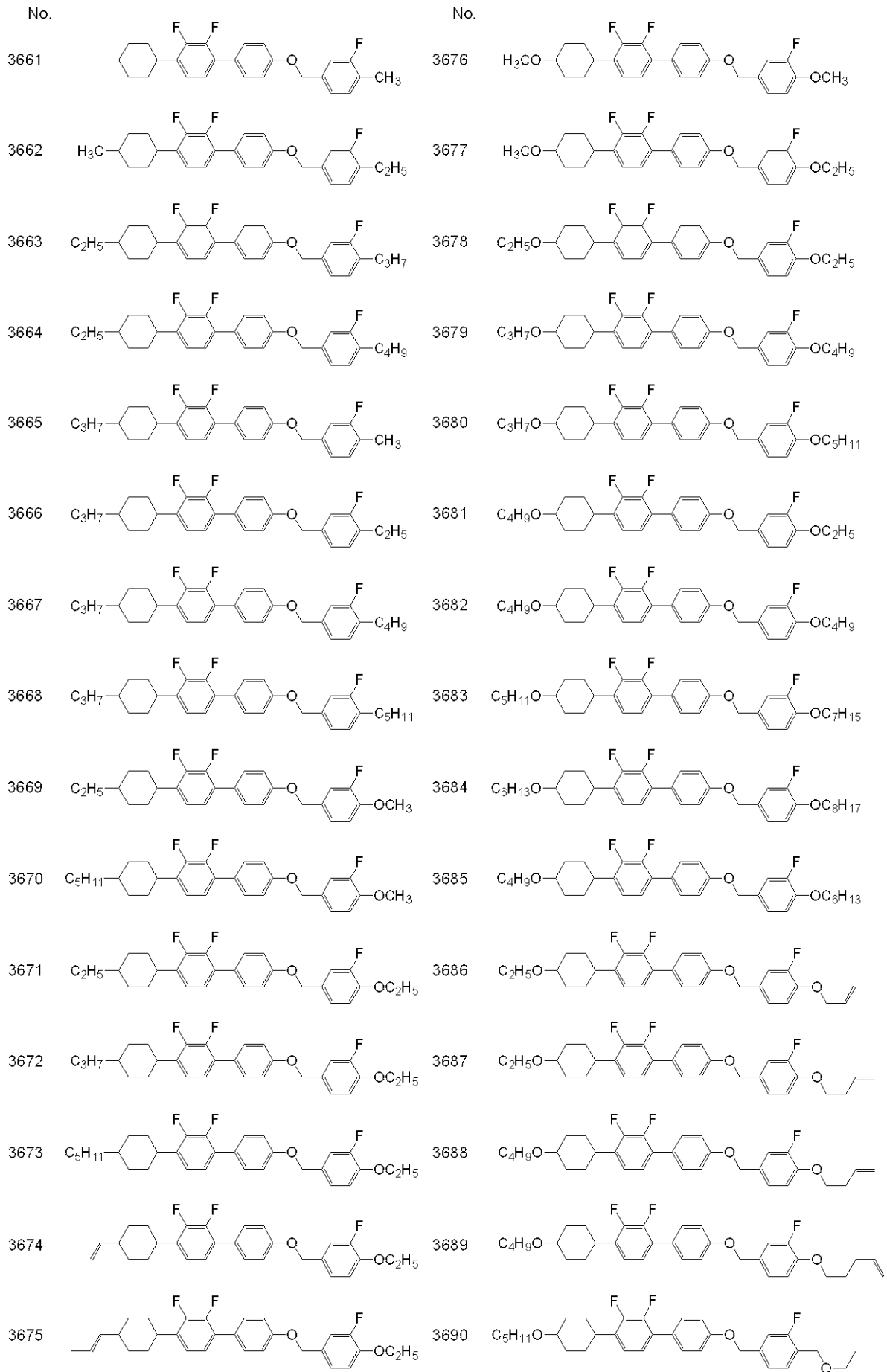
20

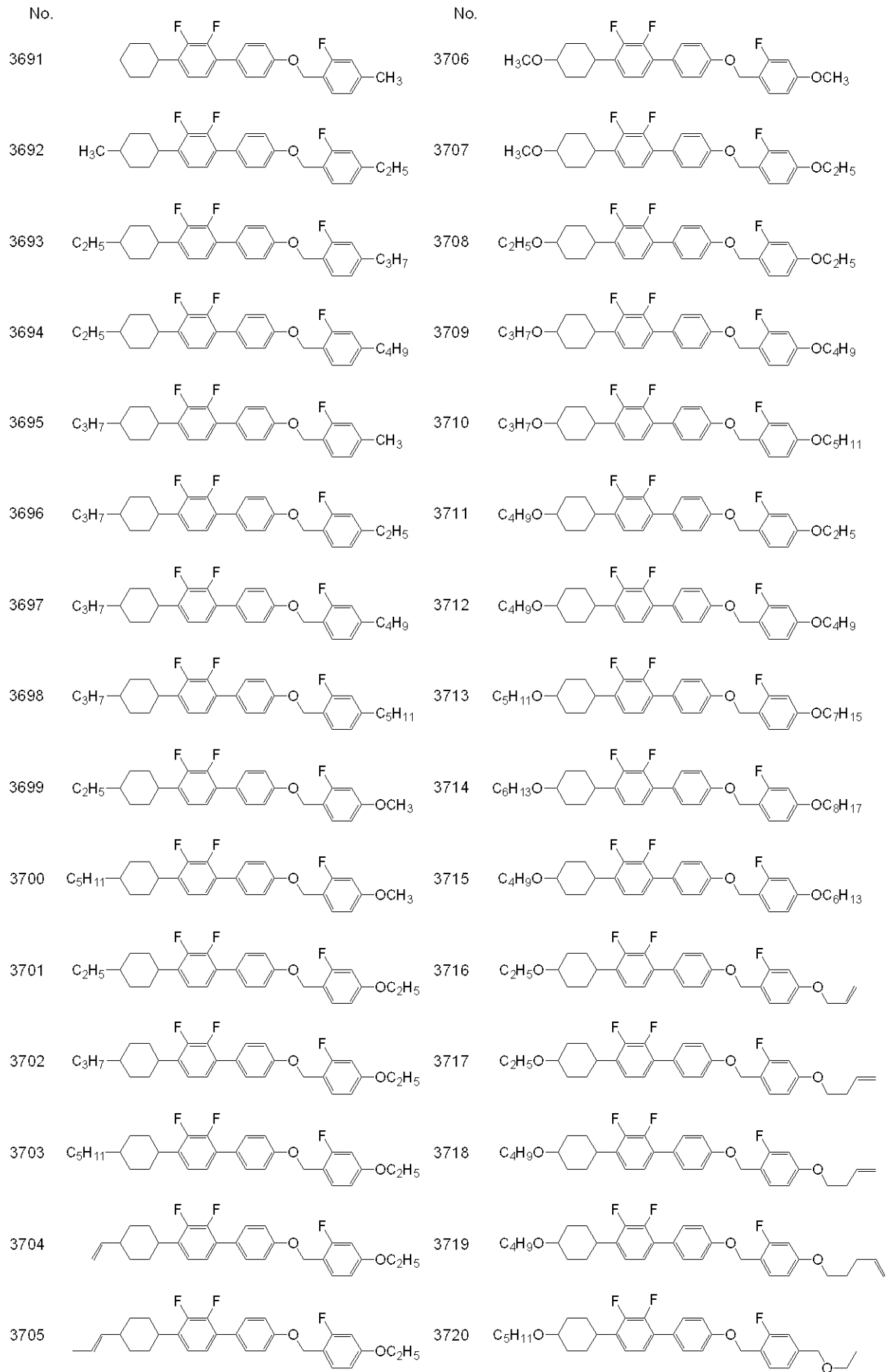
30

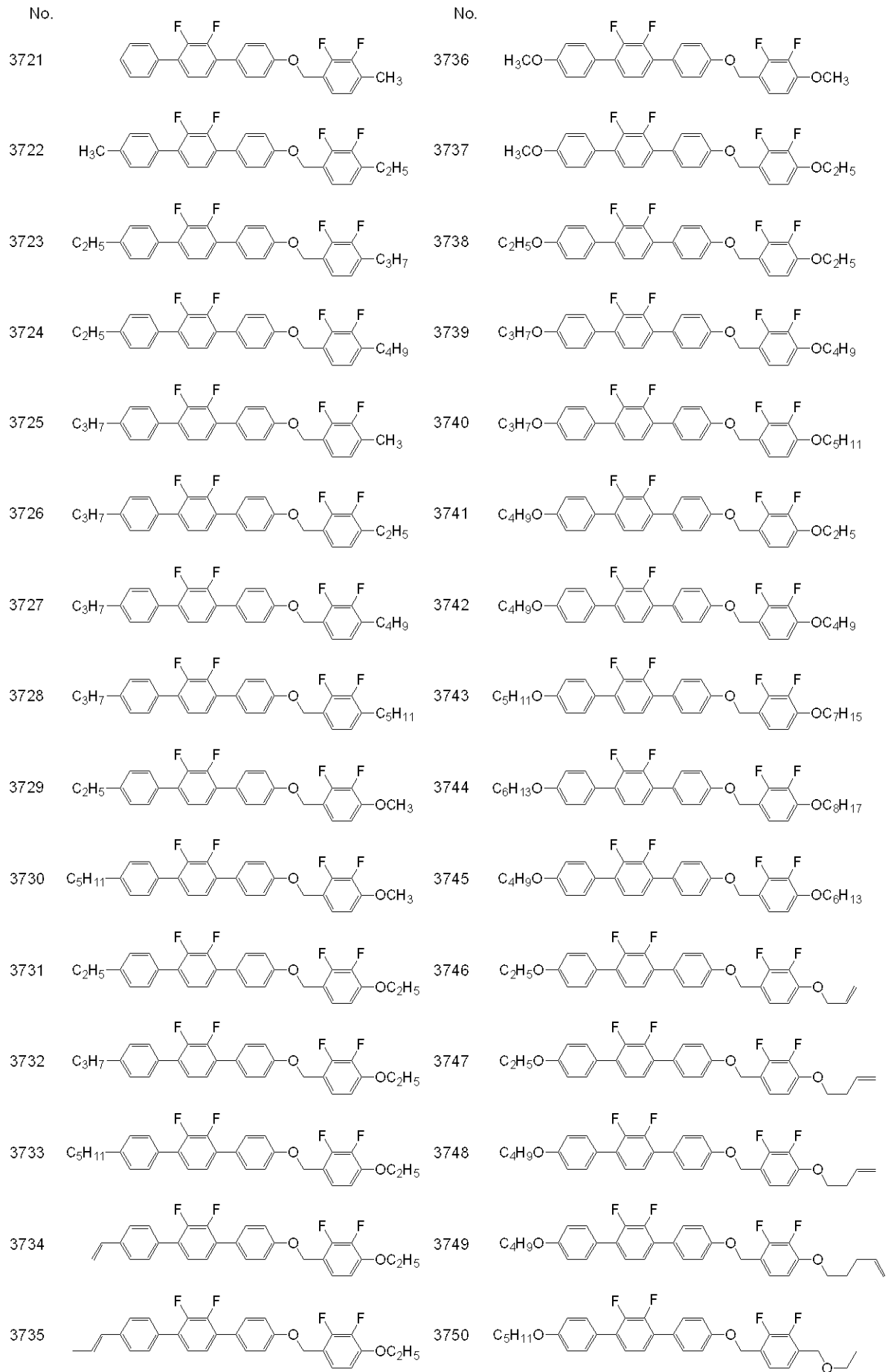
40

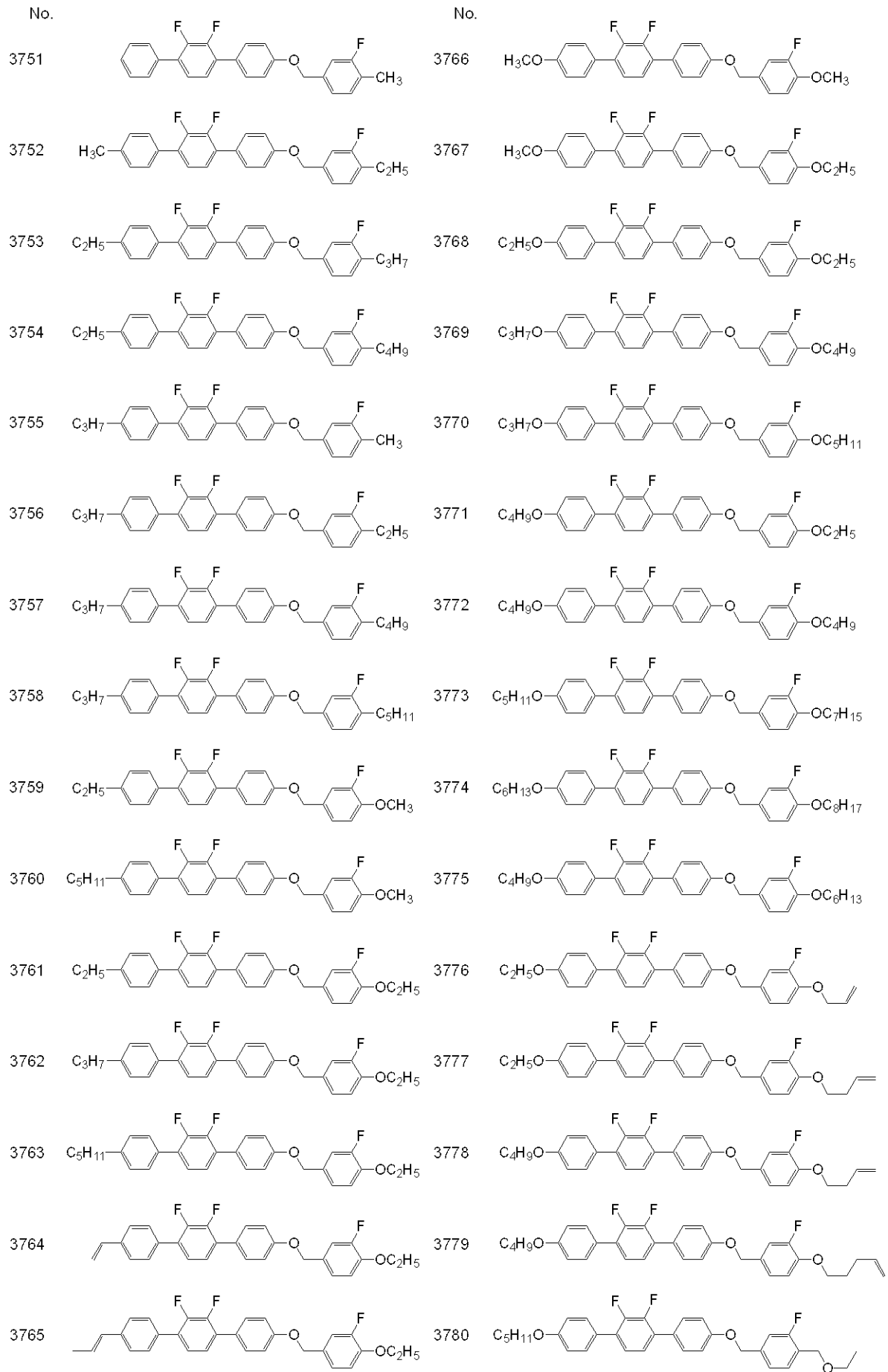


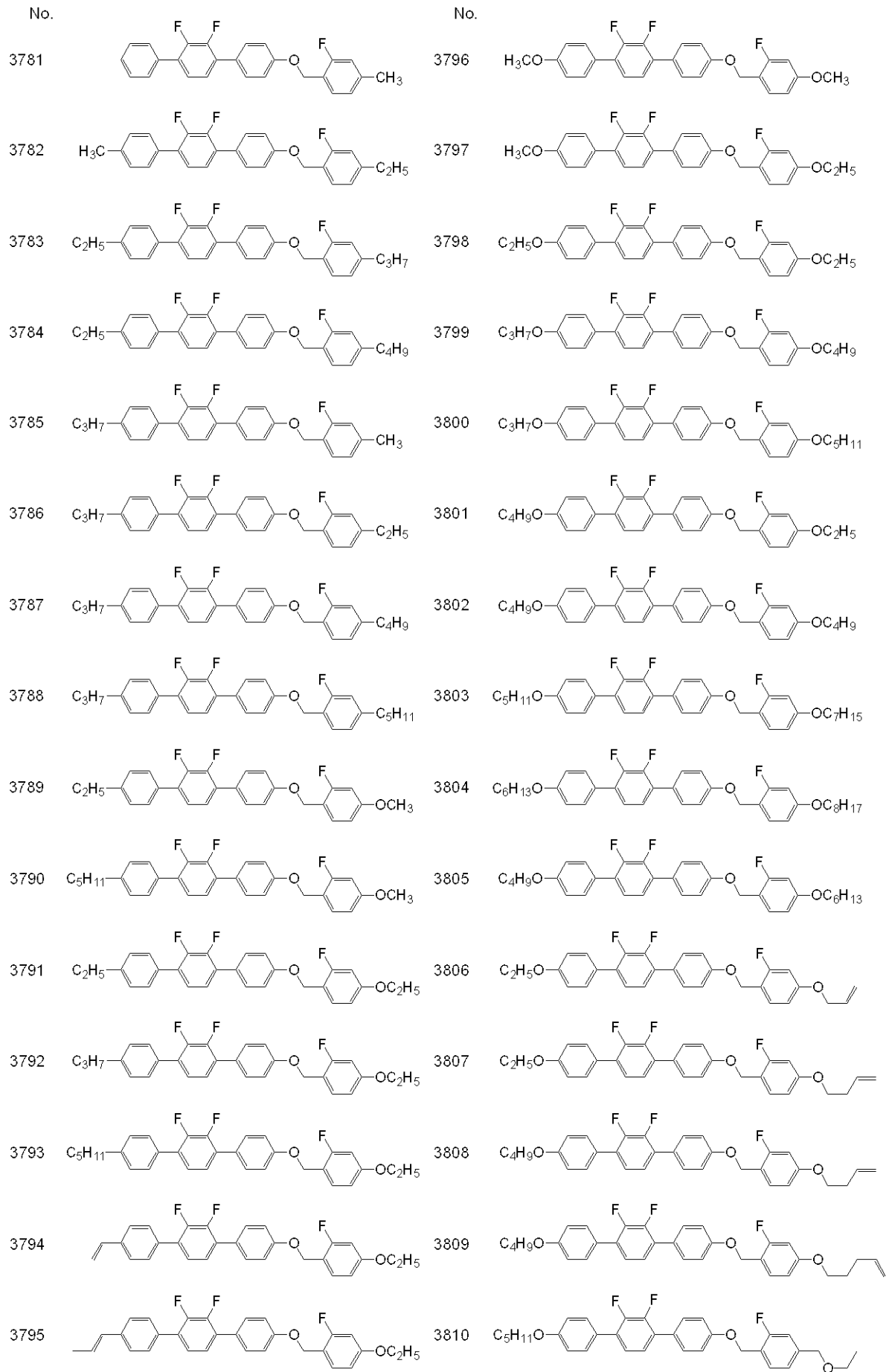


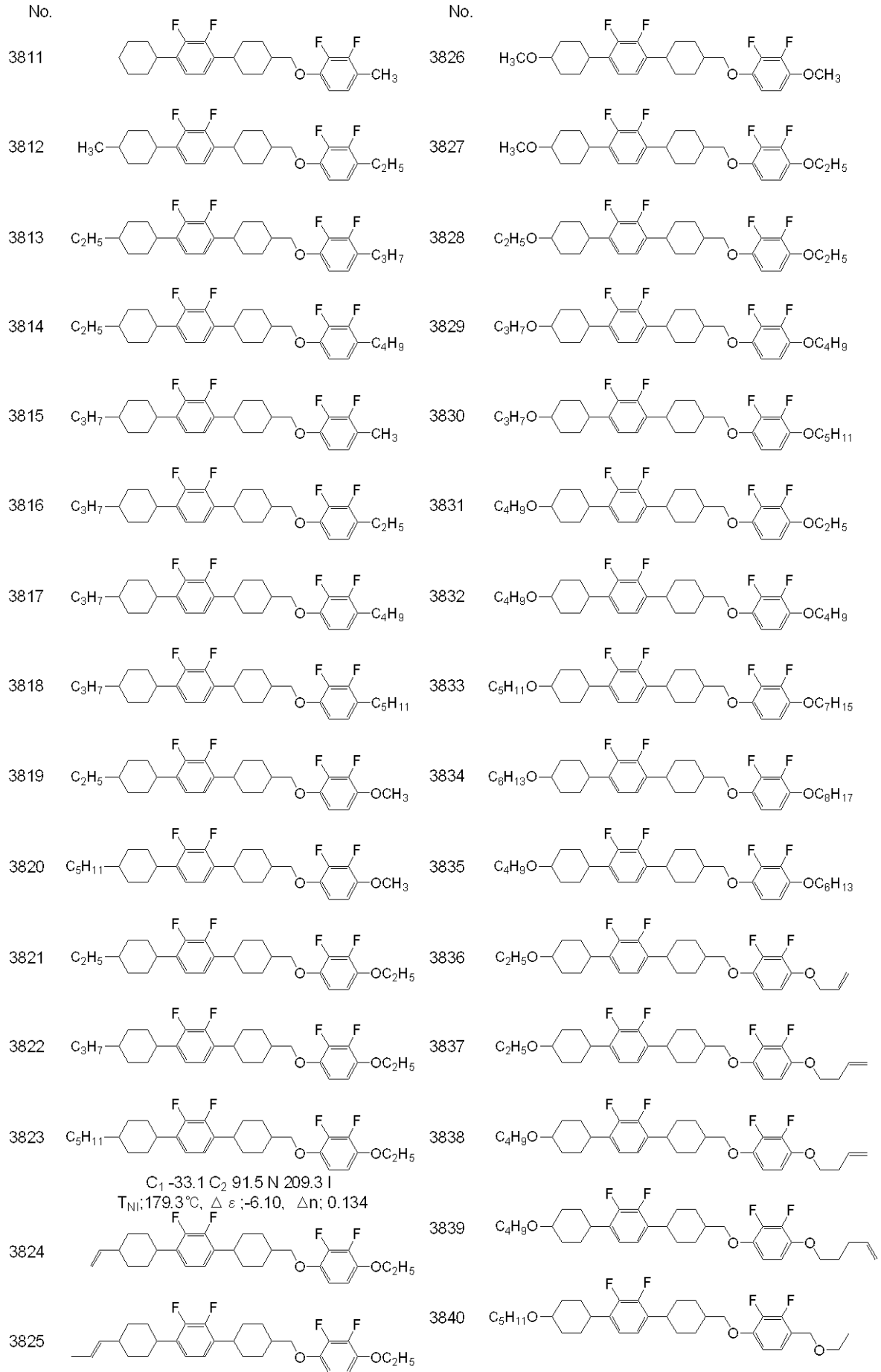












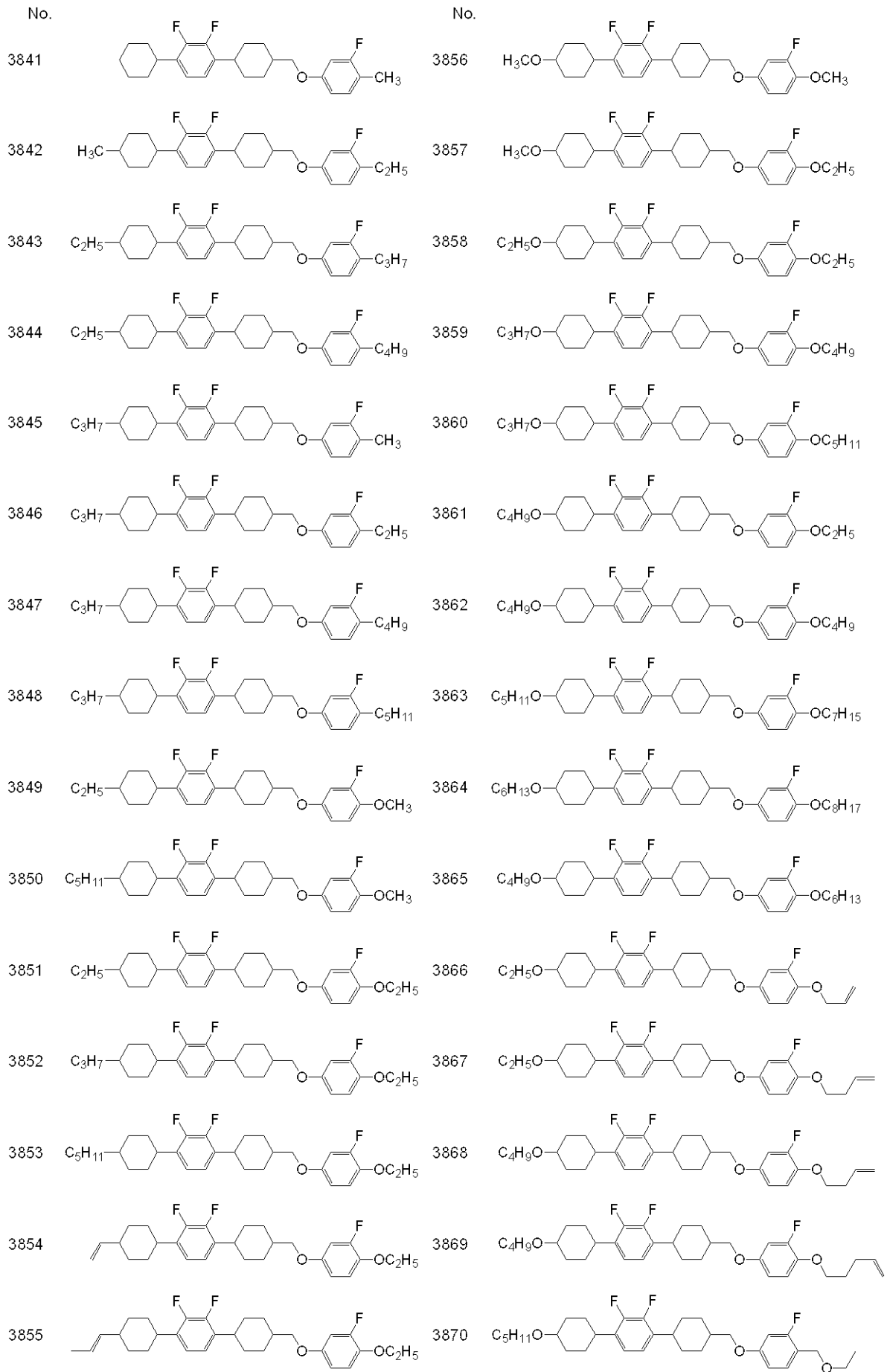
【 0 4 3 8 】

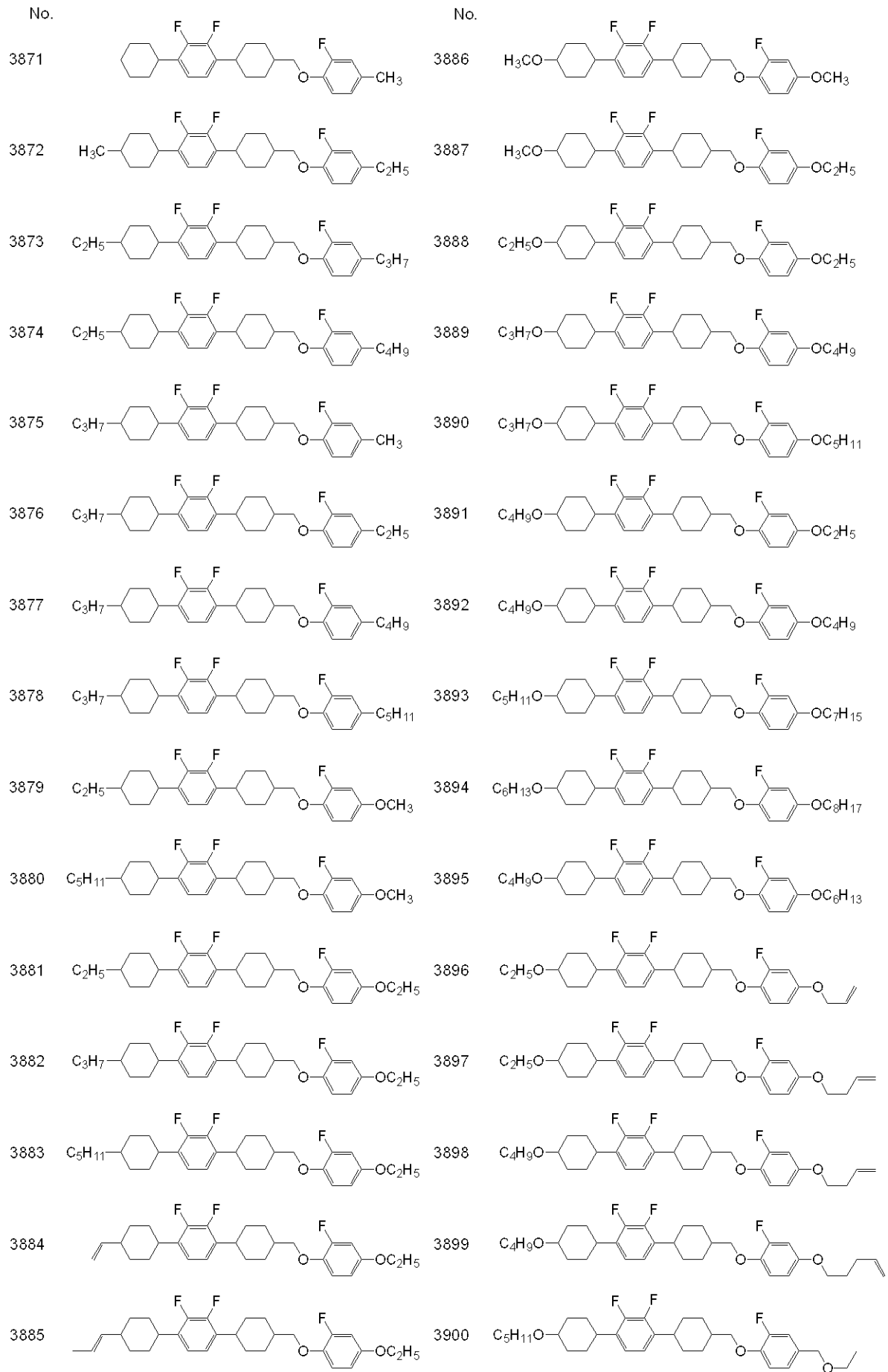
10

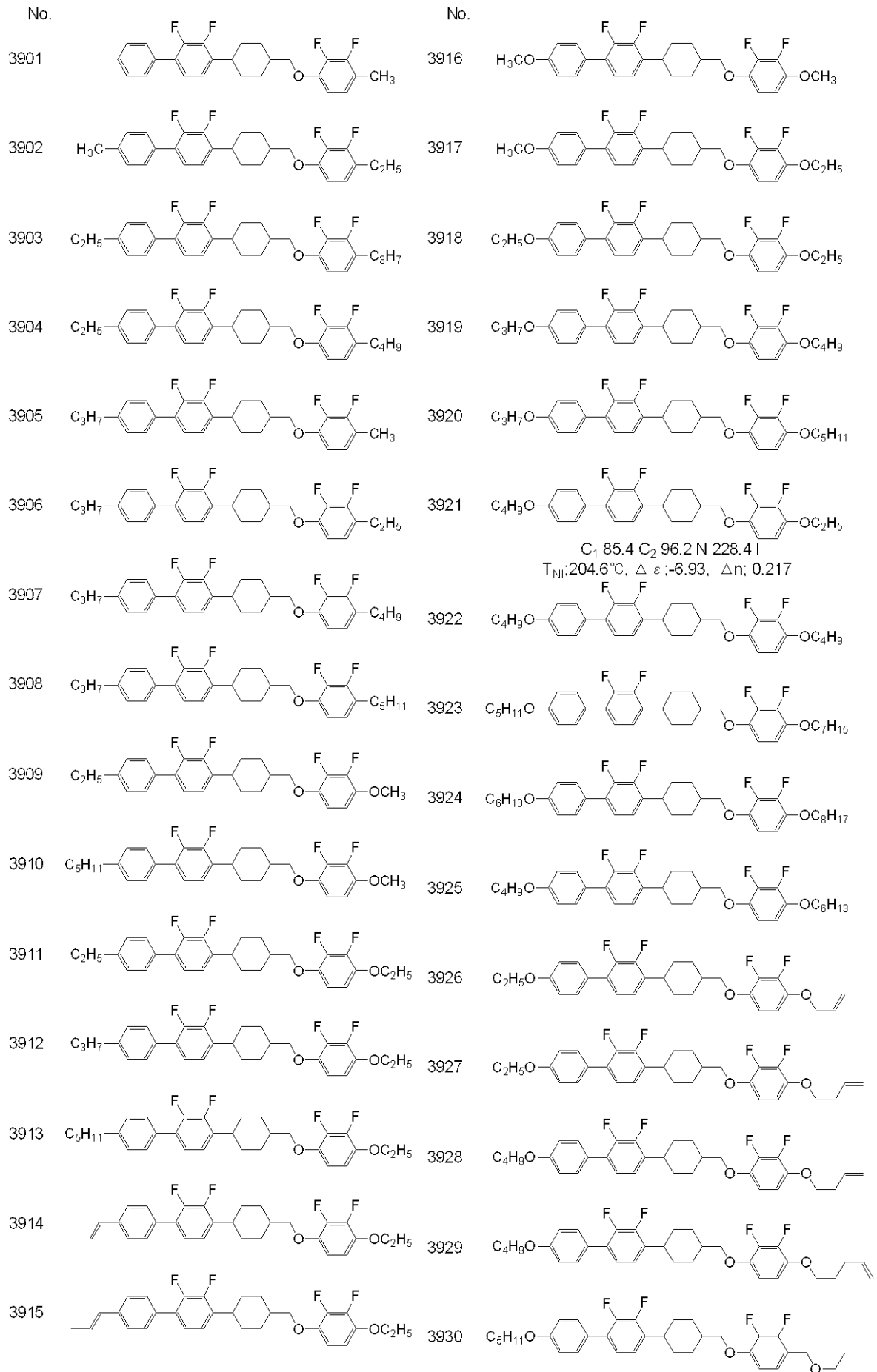
20

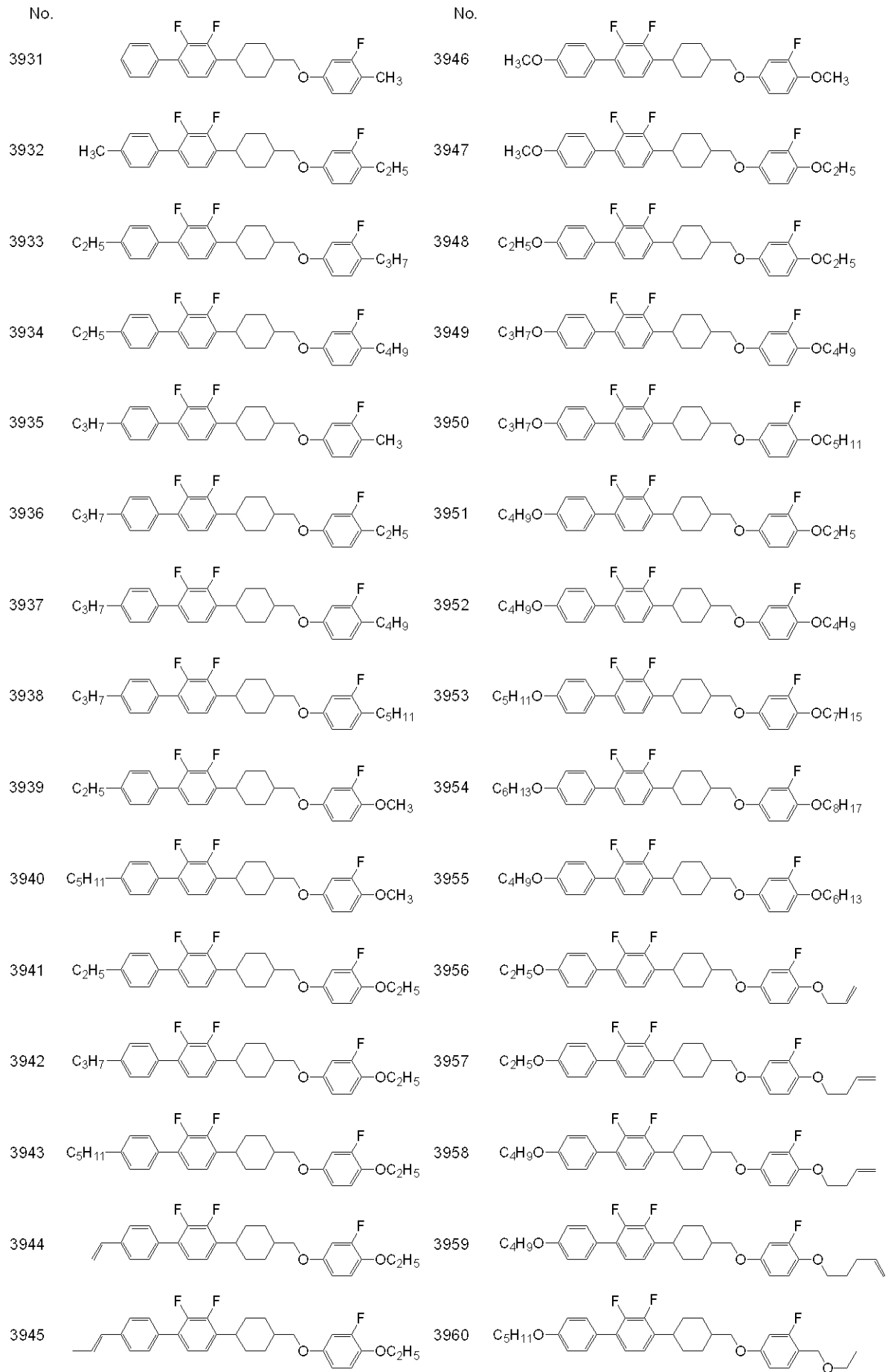
30

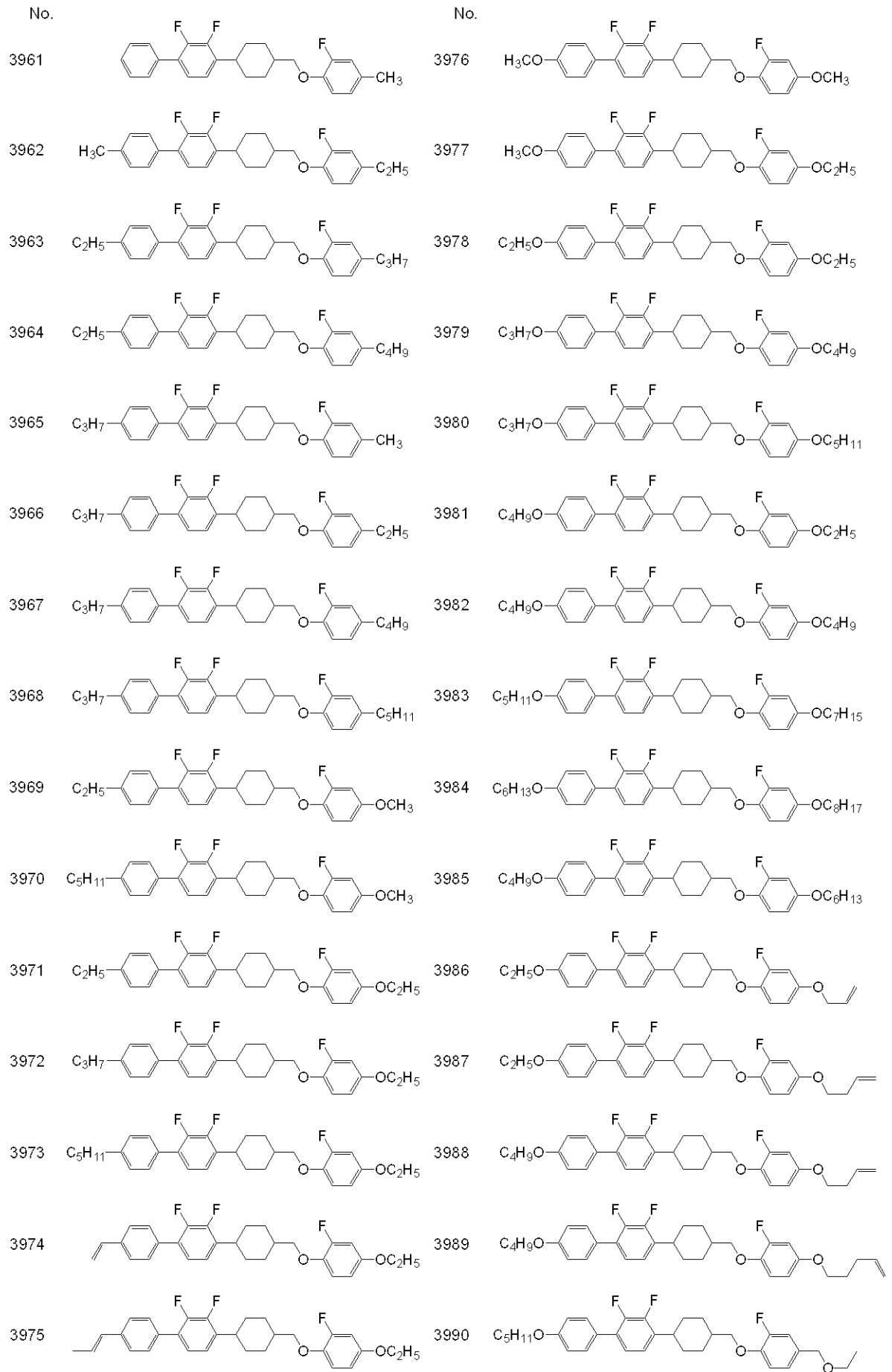
40

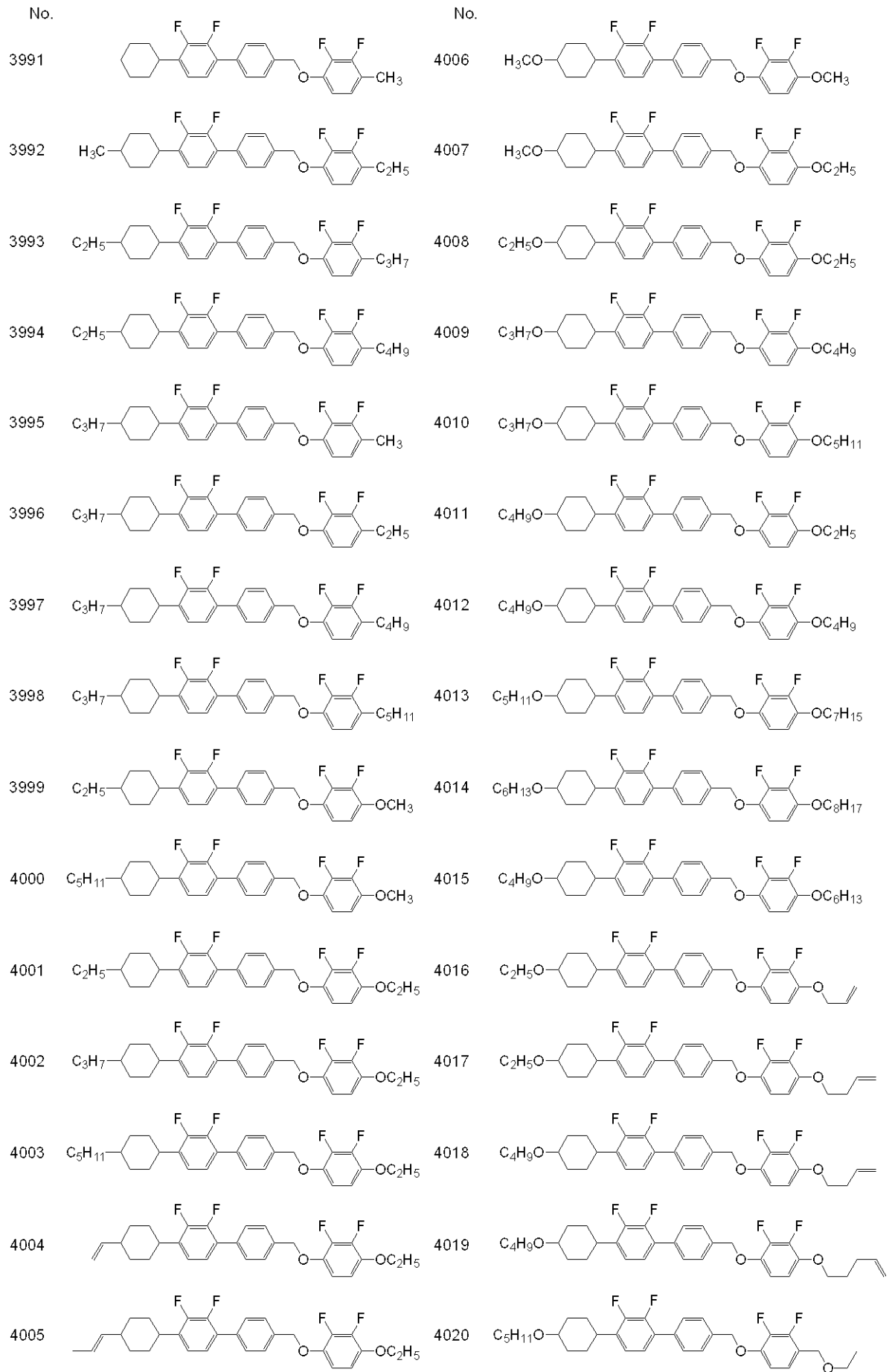












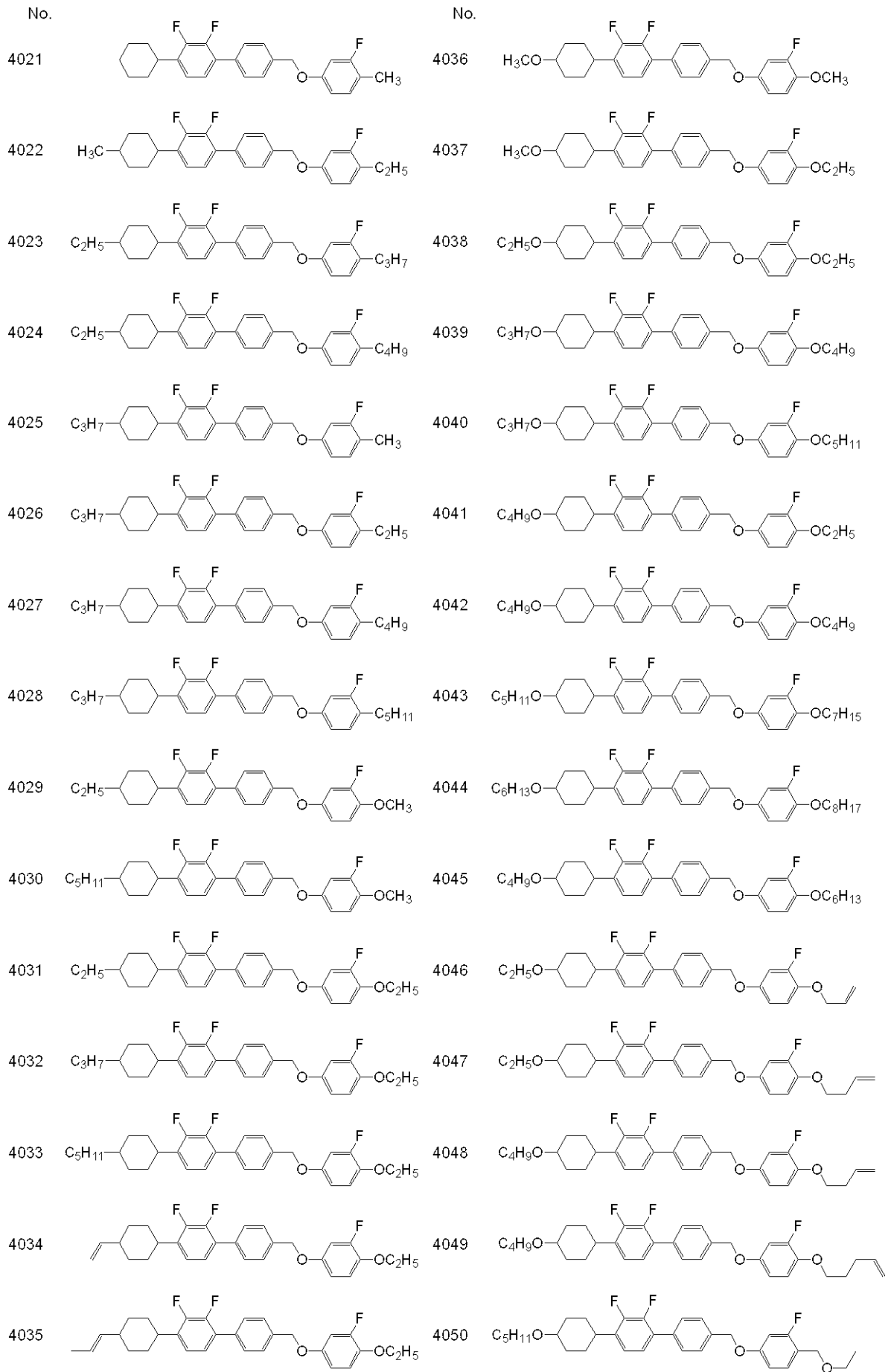
【 0 4 4 4 】

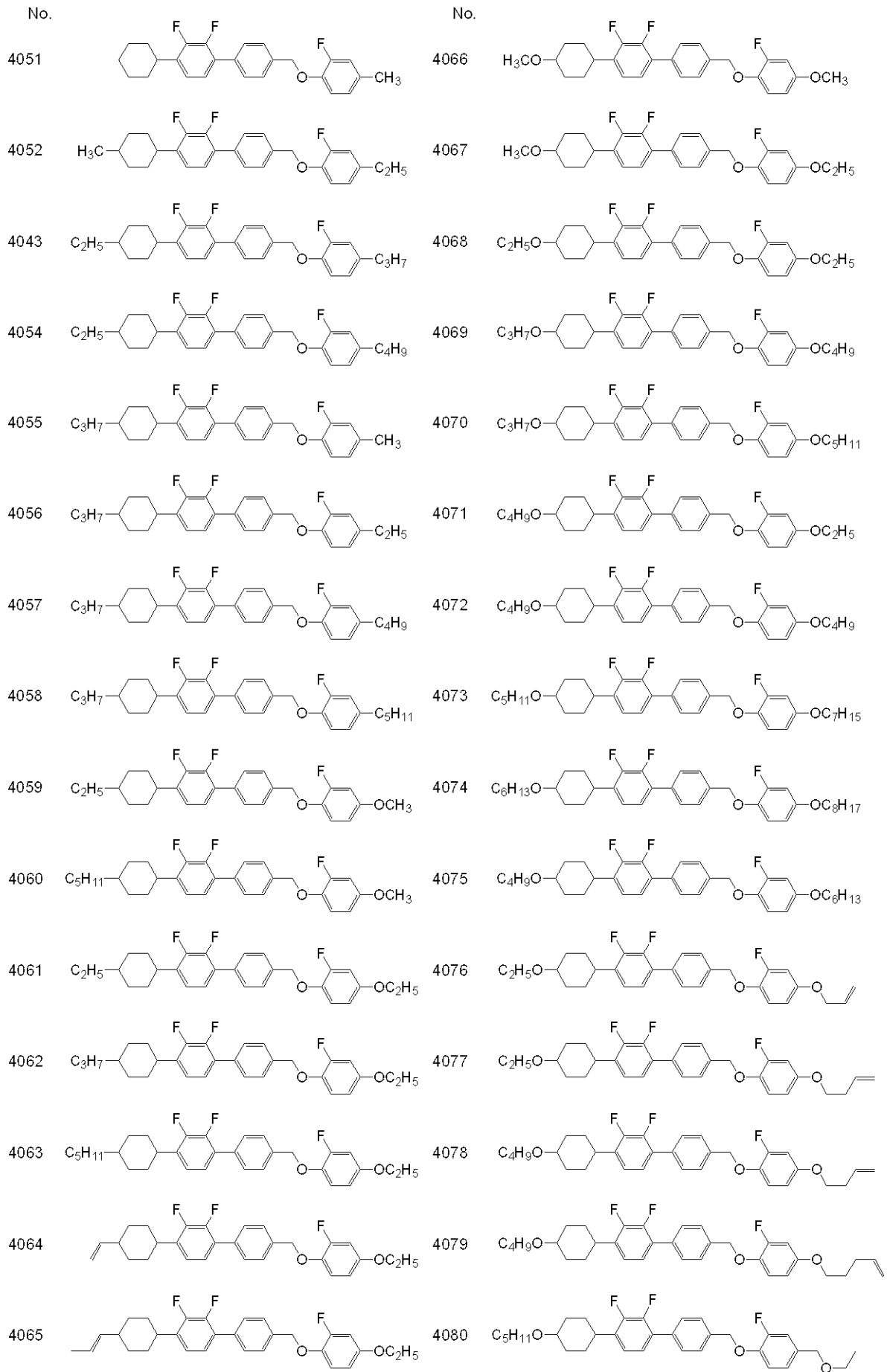
10

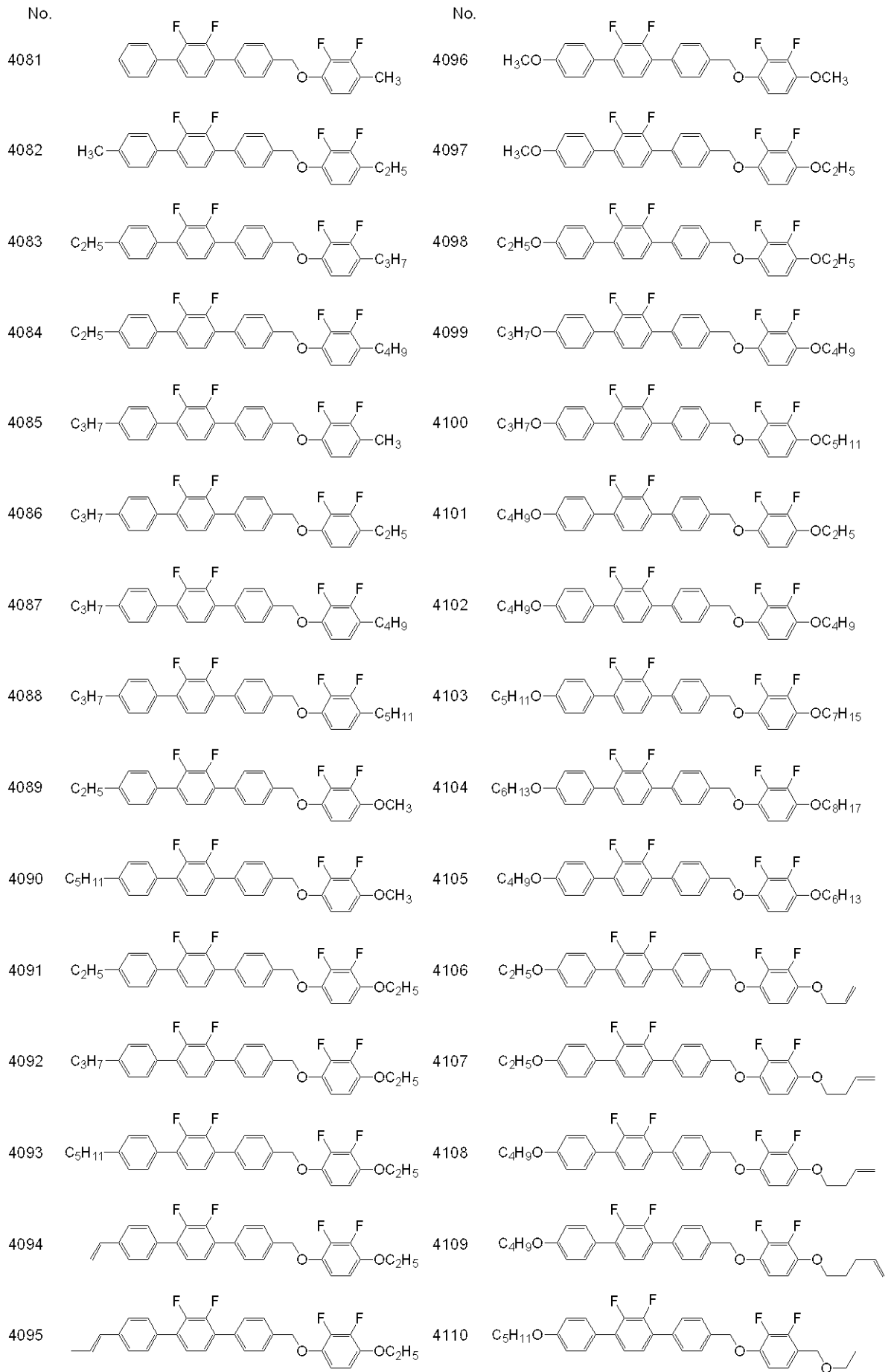
20

30

40





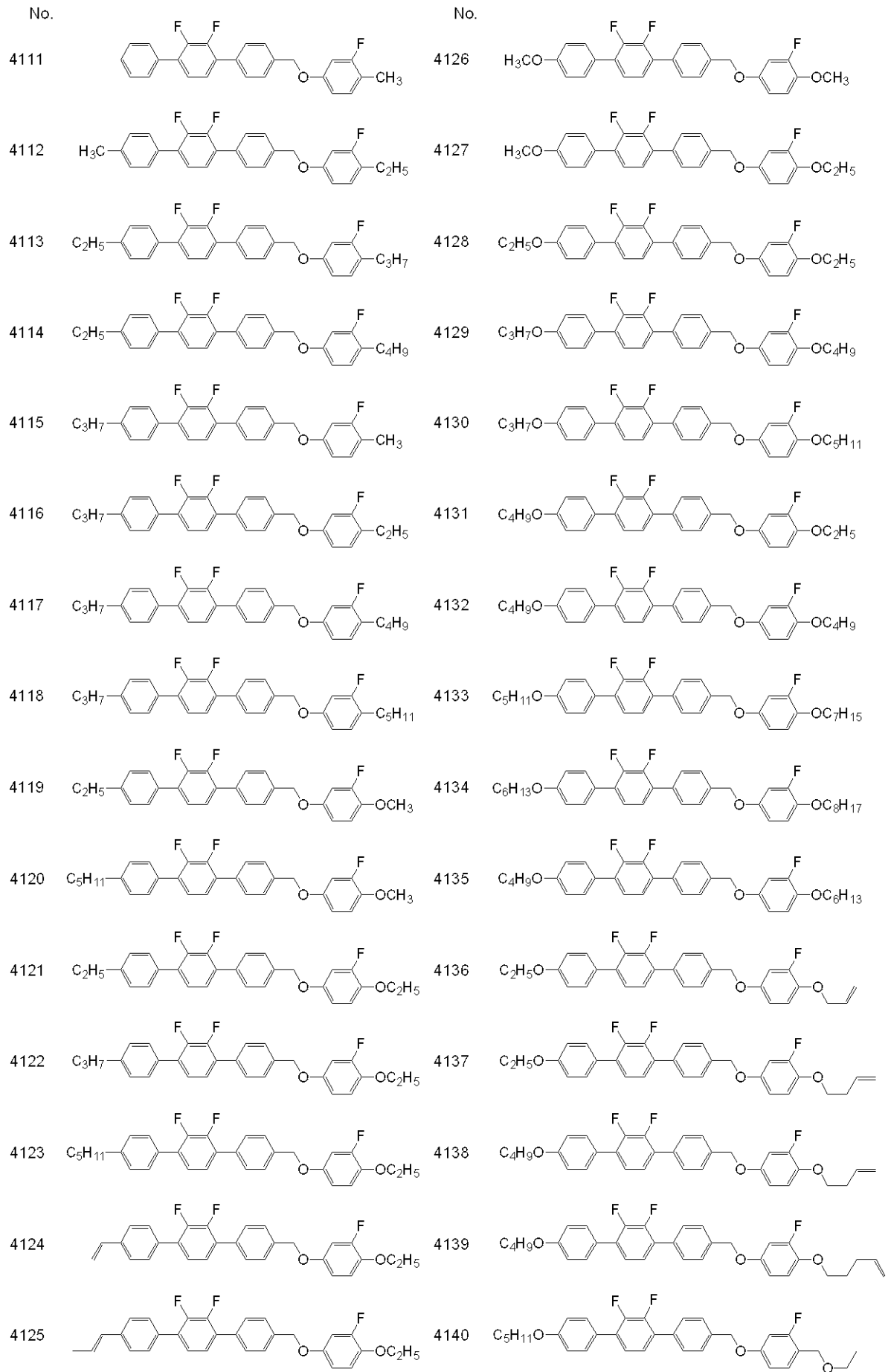


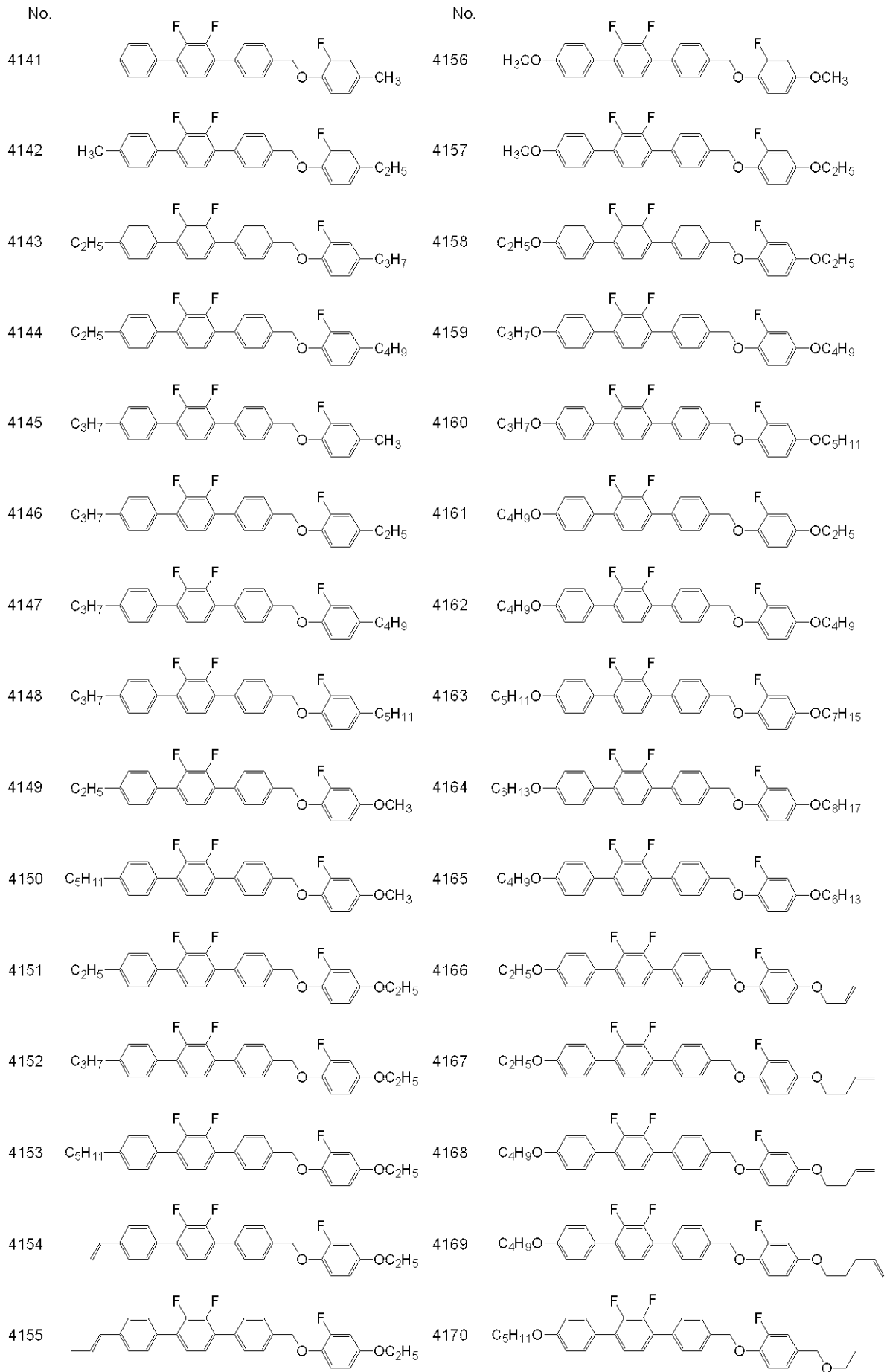
10

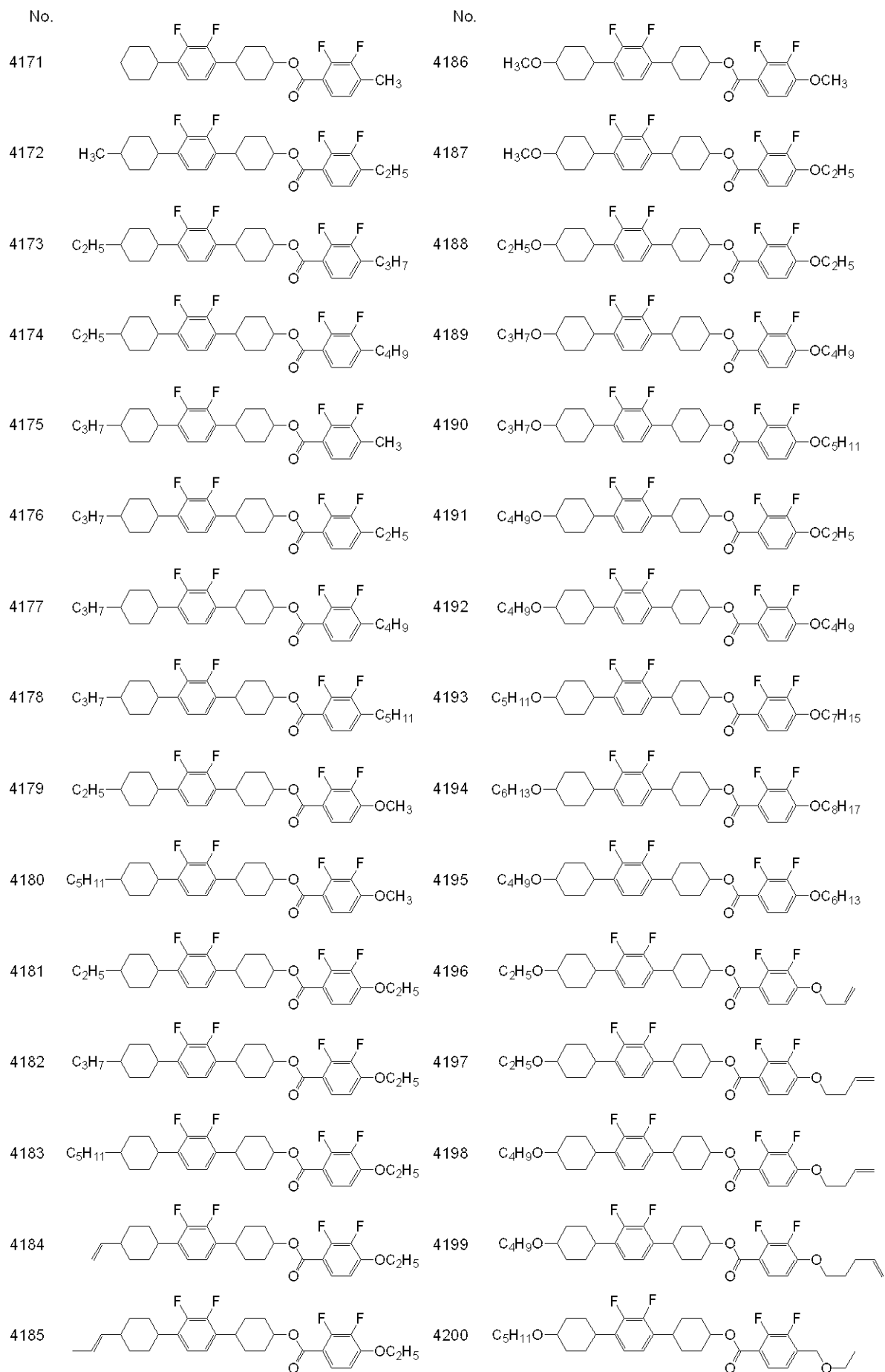
20

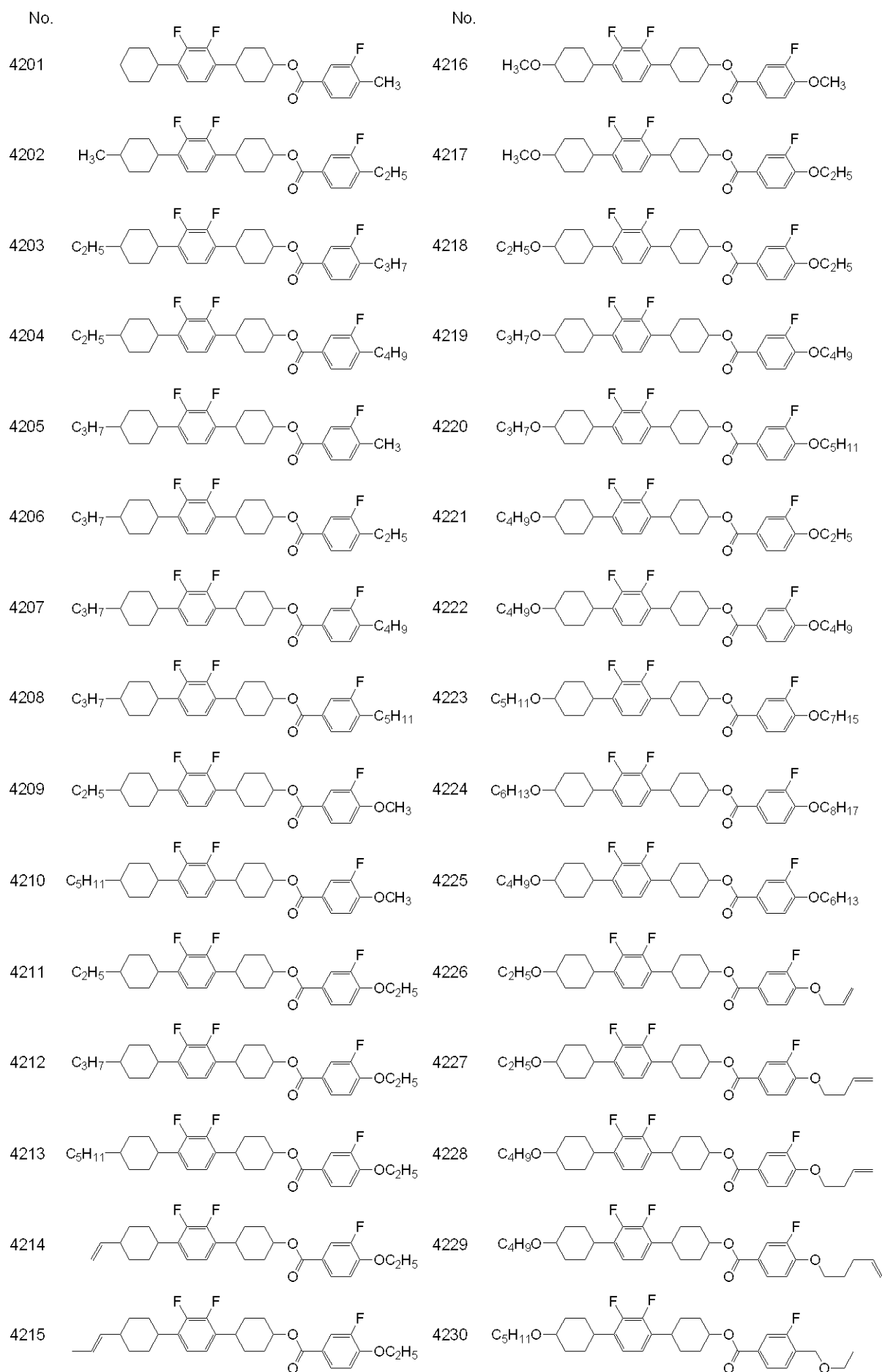
30

40









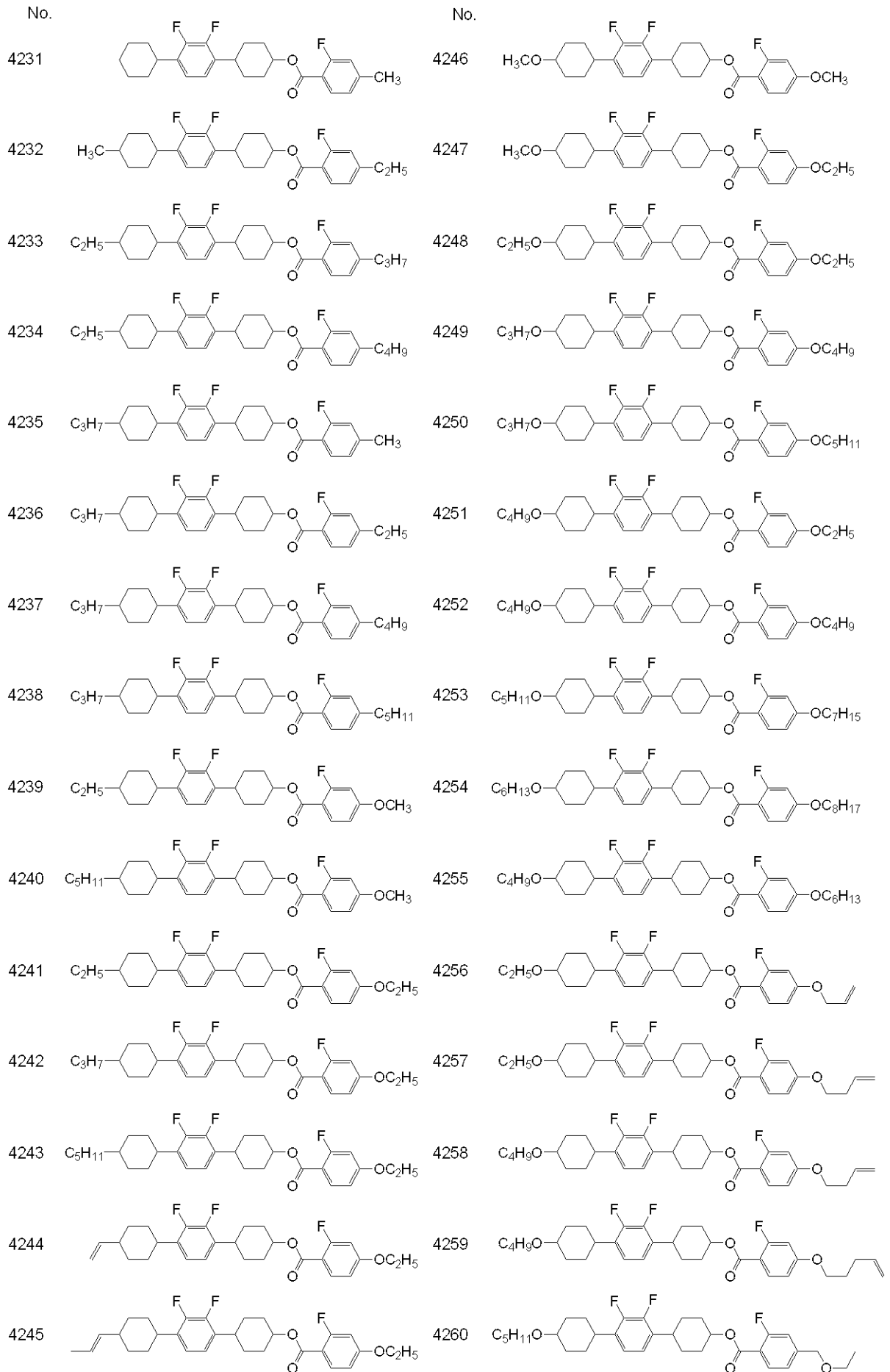
【 0 4 5 1 】

10

20

30

40



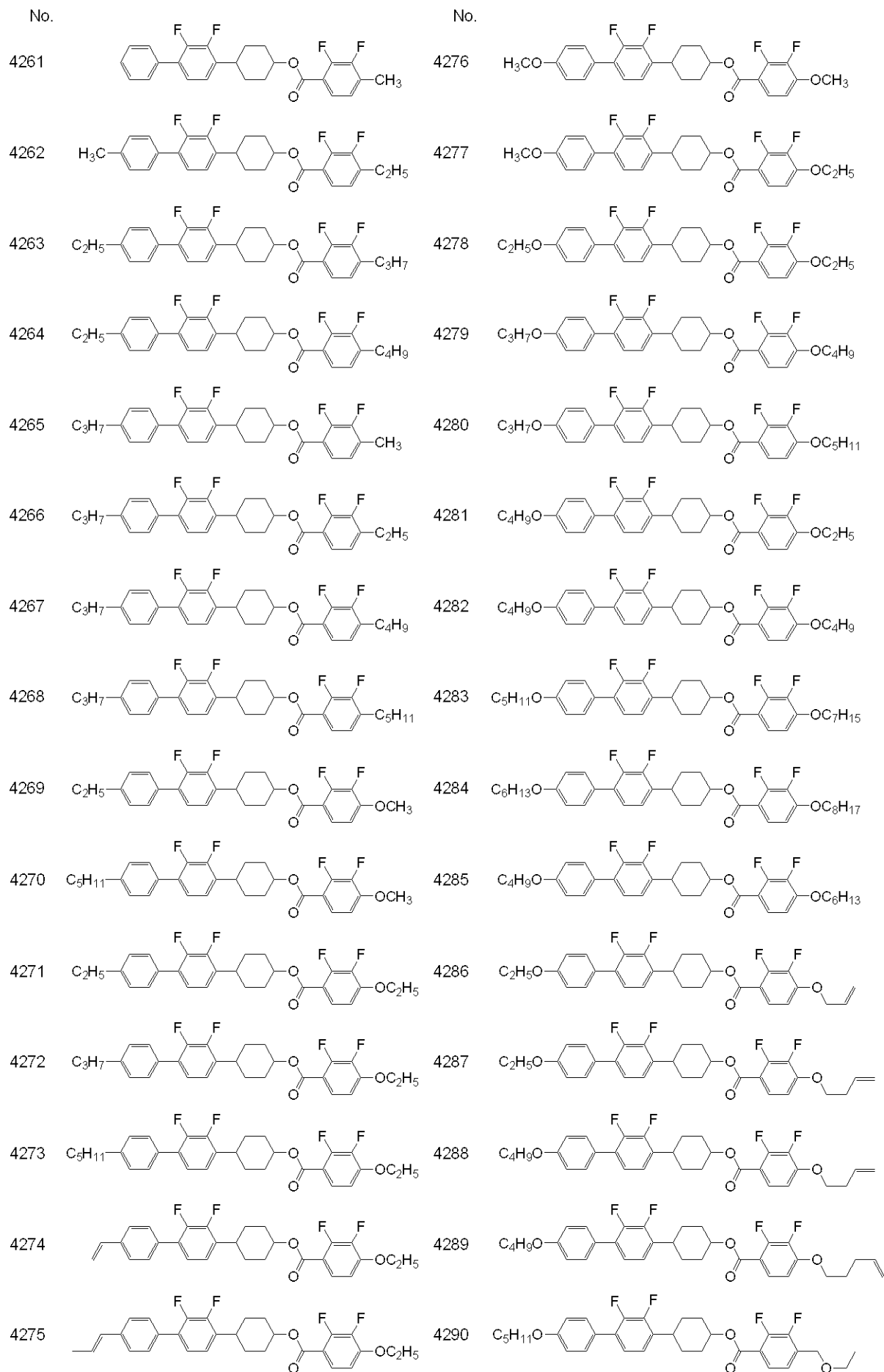
【 0 4 5 2 】

10

20

30

40



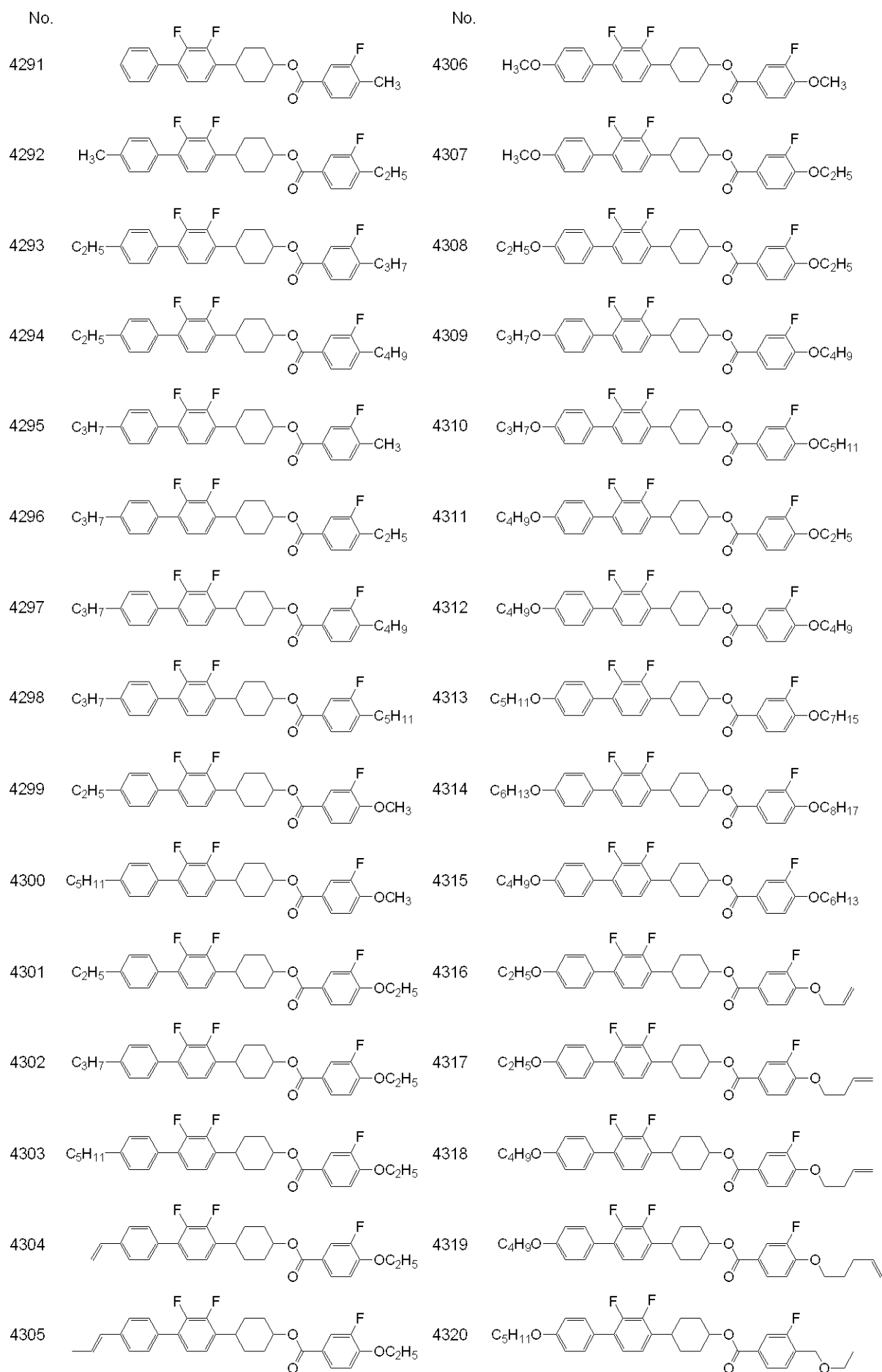
【 0 4 5 3 】

10

20

30

40



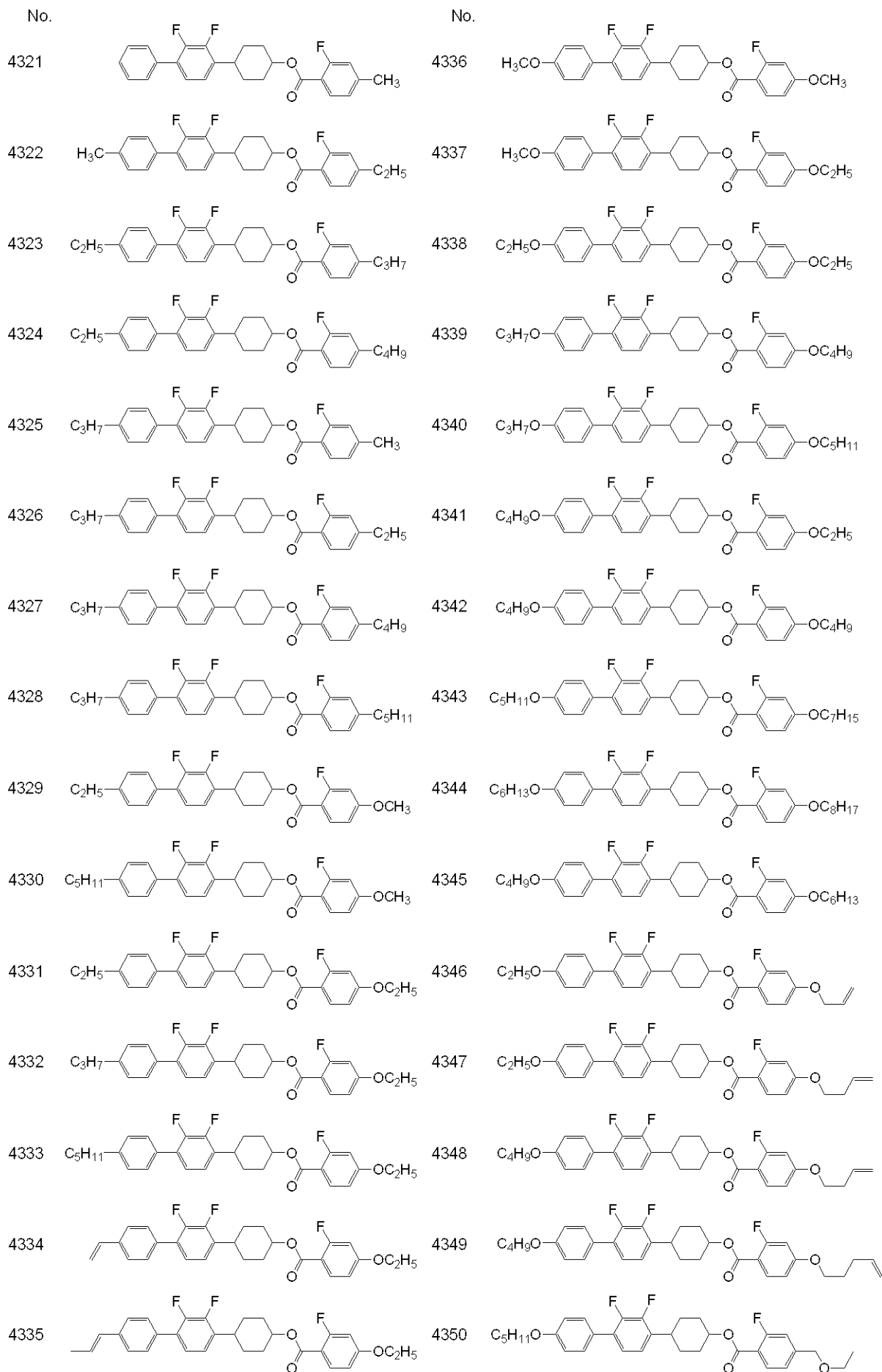
【 0 4 5 4 】

10

20

30

40



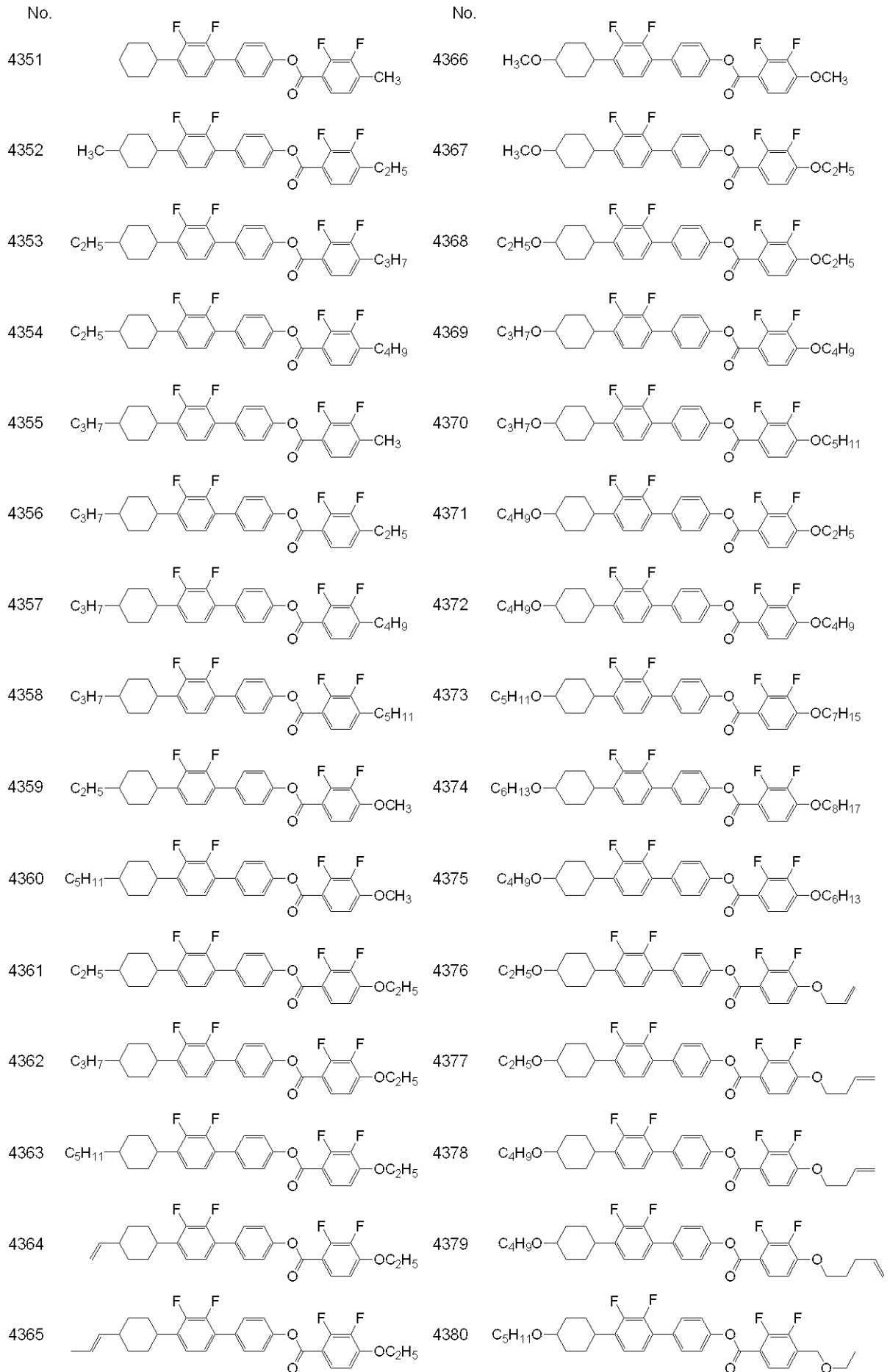
【 0 4 5 5 】

10

20

30

40



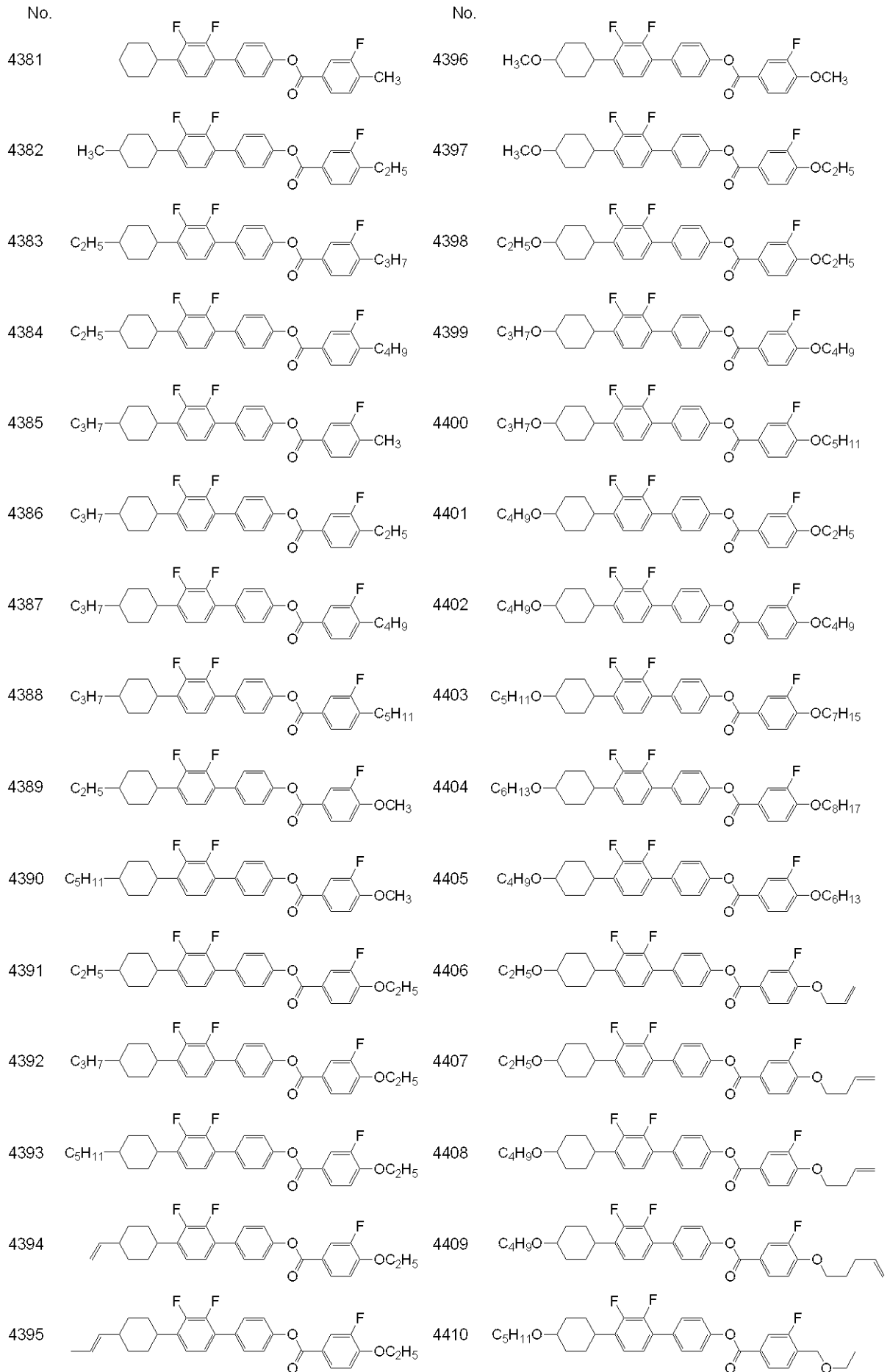
【 0 4 5 6 】

10

20

30

40



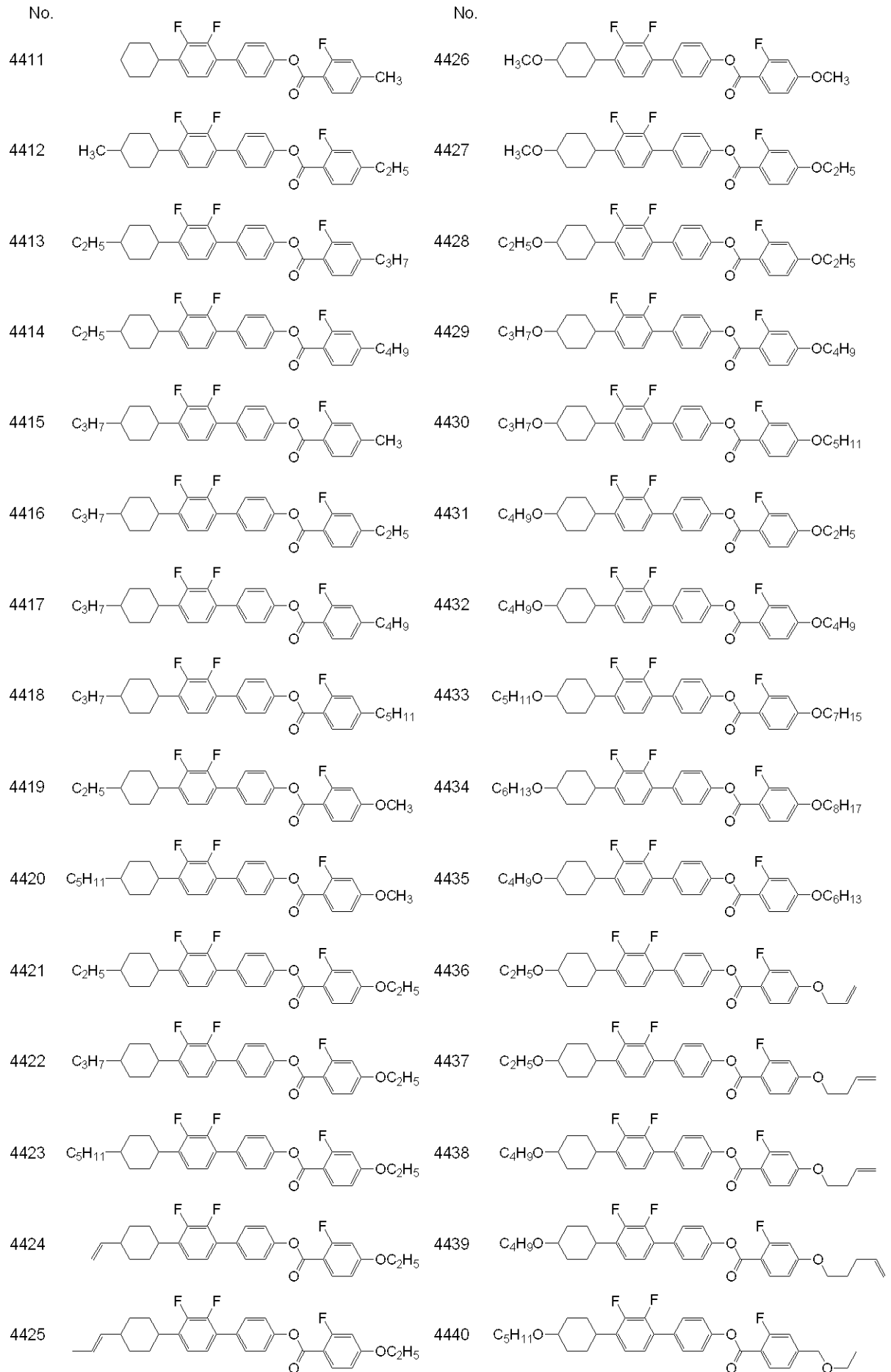
【 0 4 5 7 】

10

20

30

40



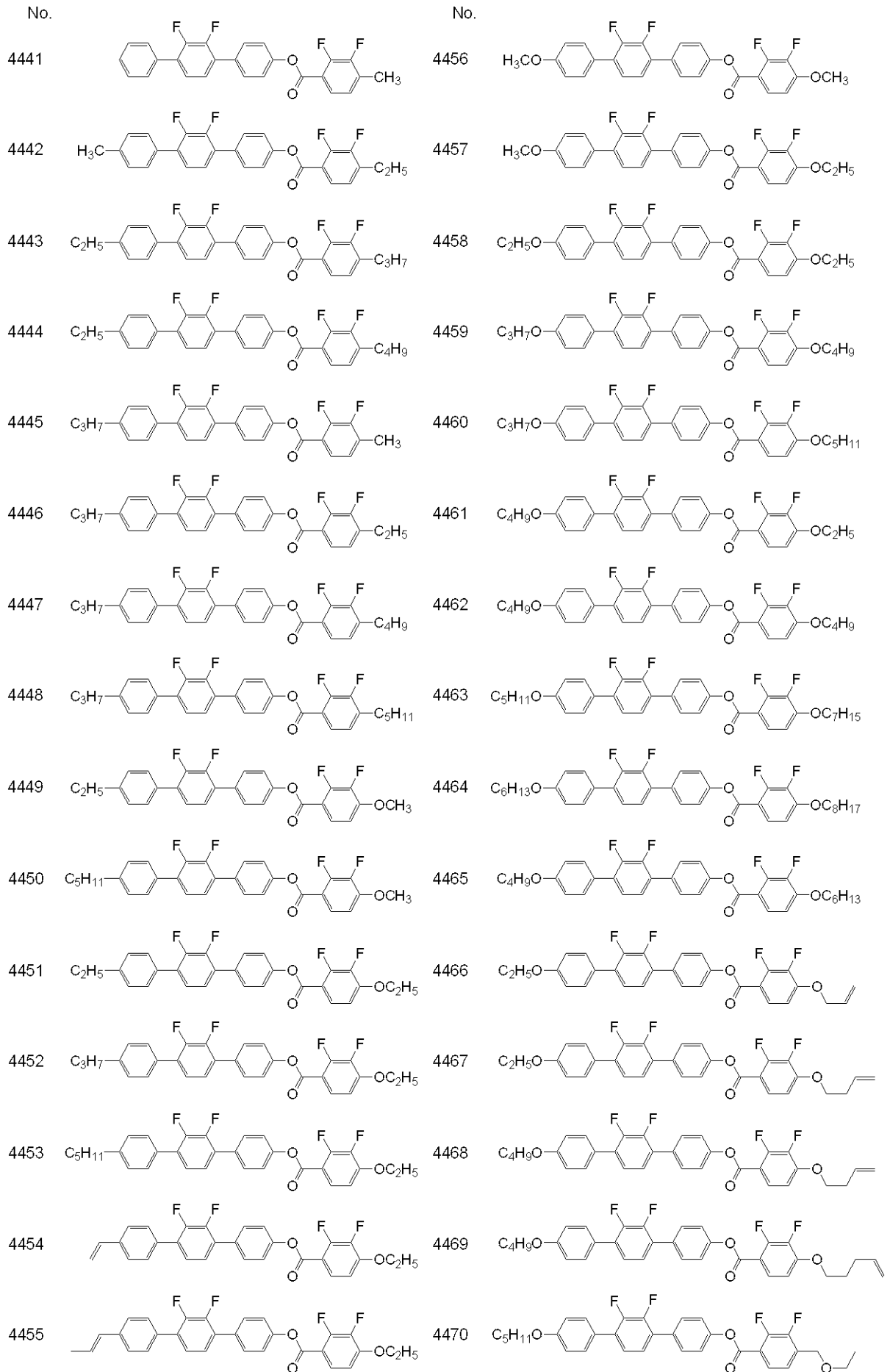
【 0 4 5 8 】

10

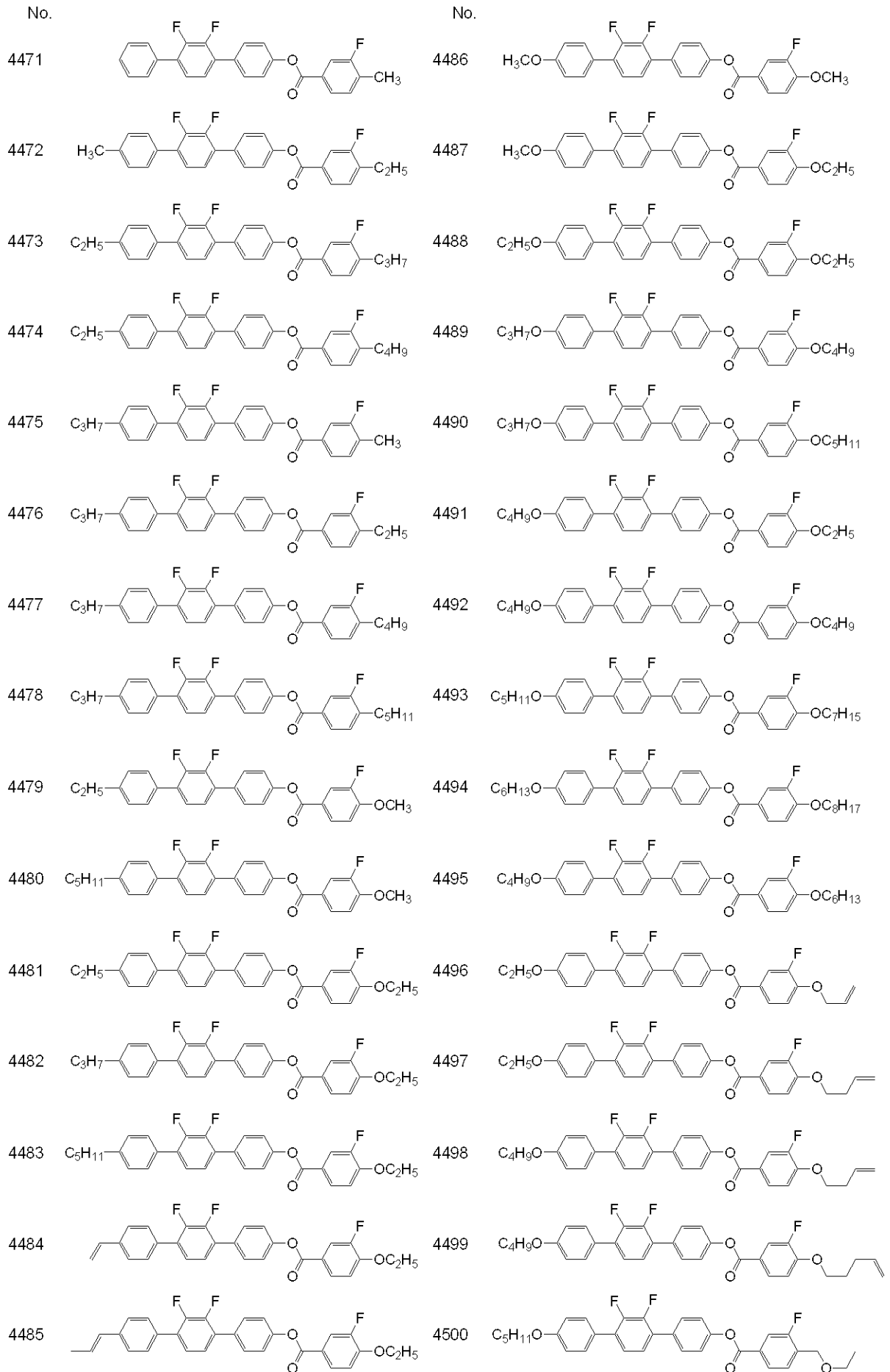
20

30

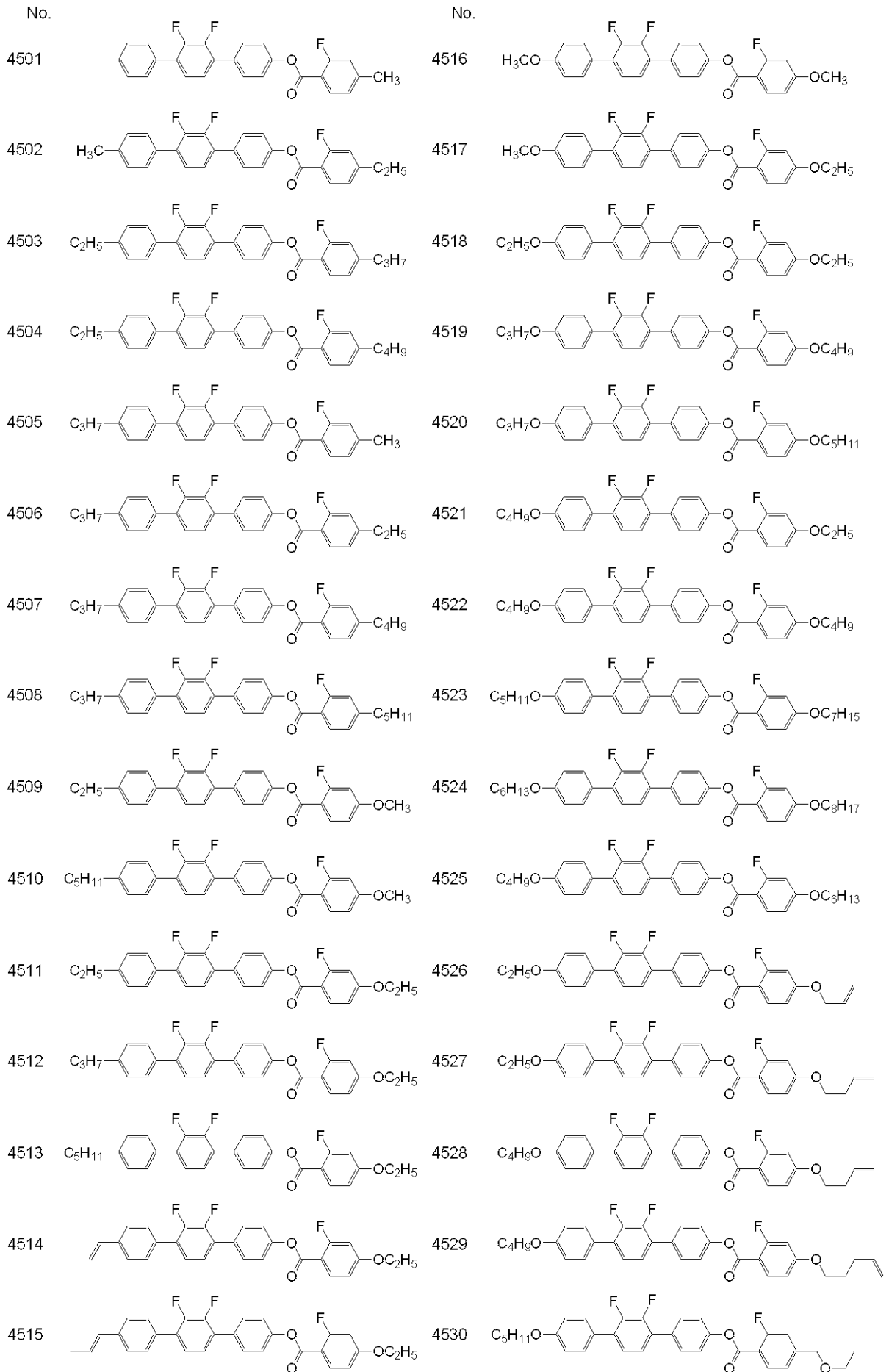
40



【 0 4 5 9 】



【 0 4 6 0 】



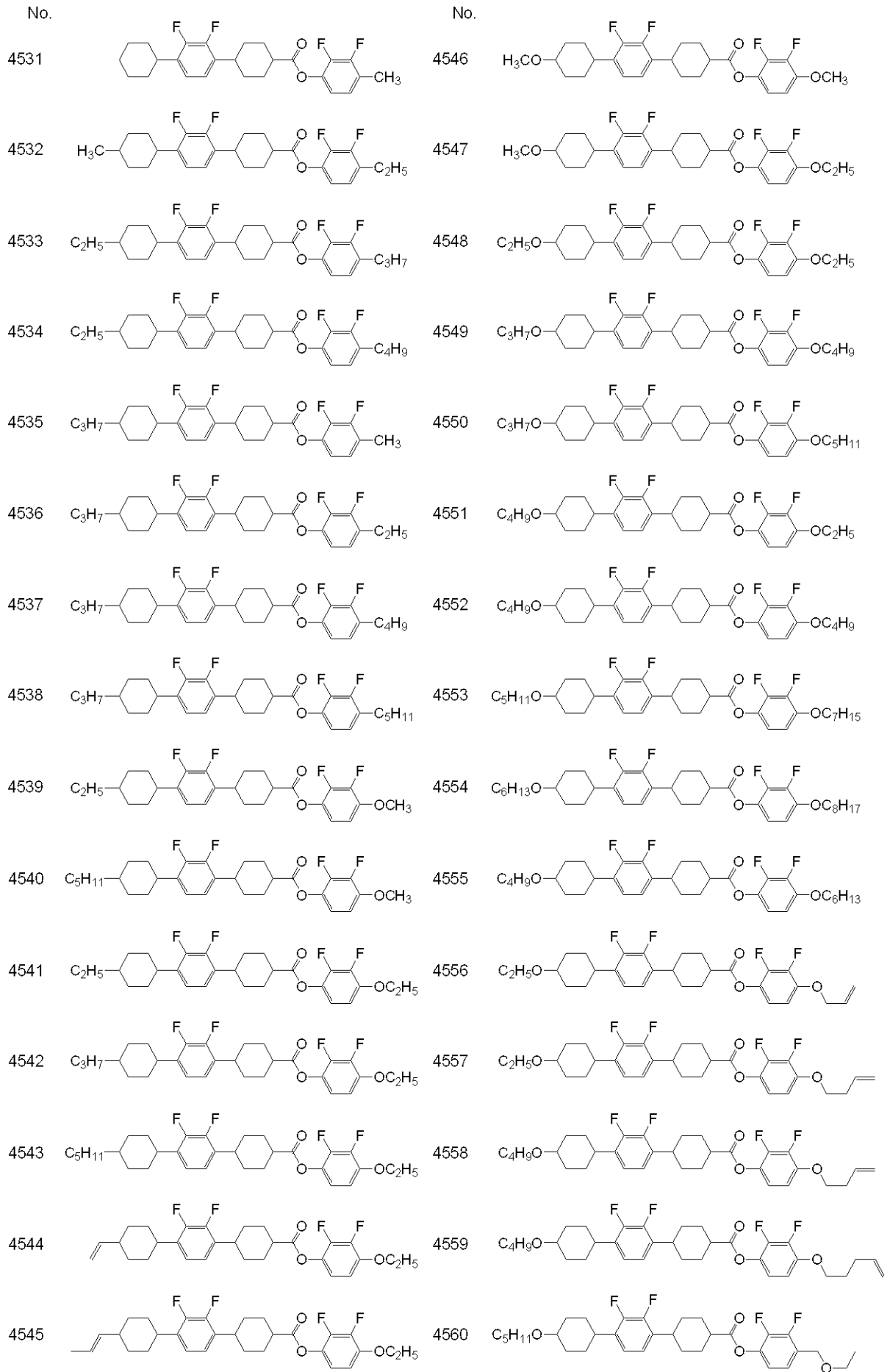
【 0 4 6 1 】

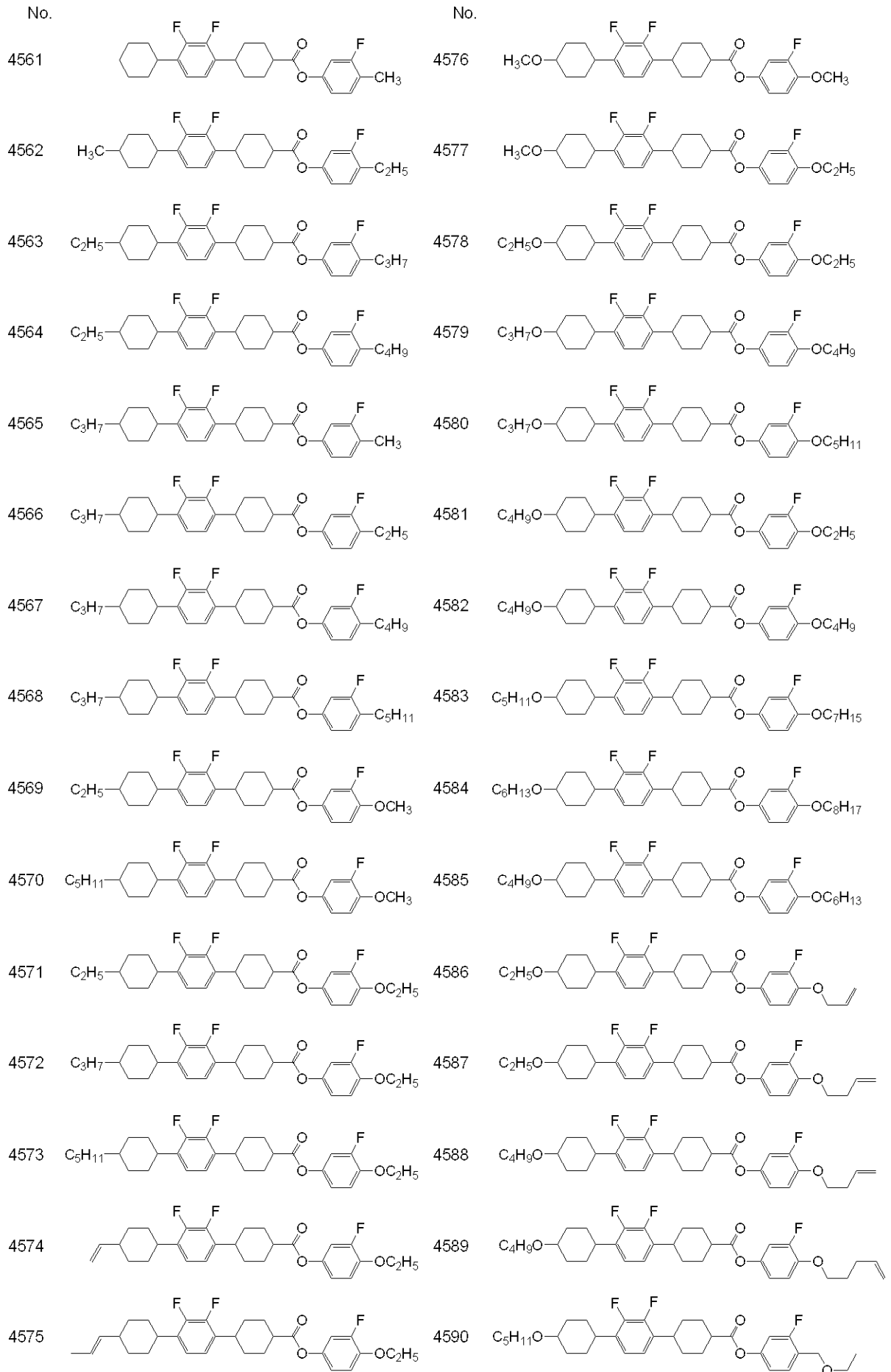
10

20

30

40





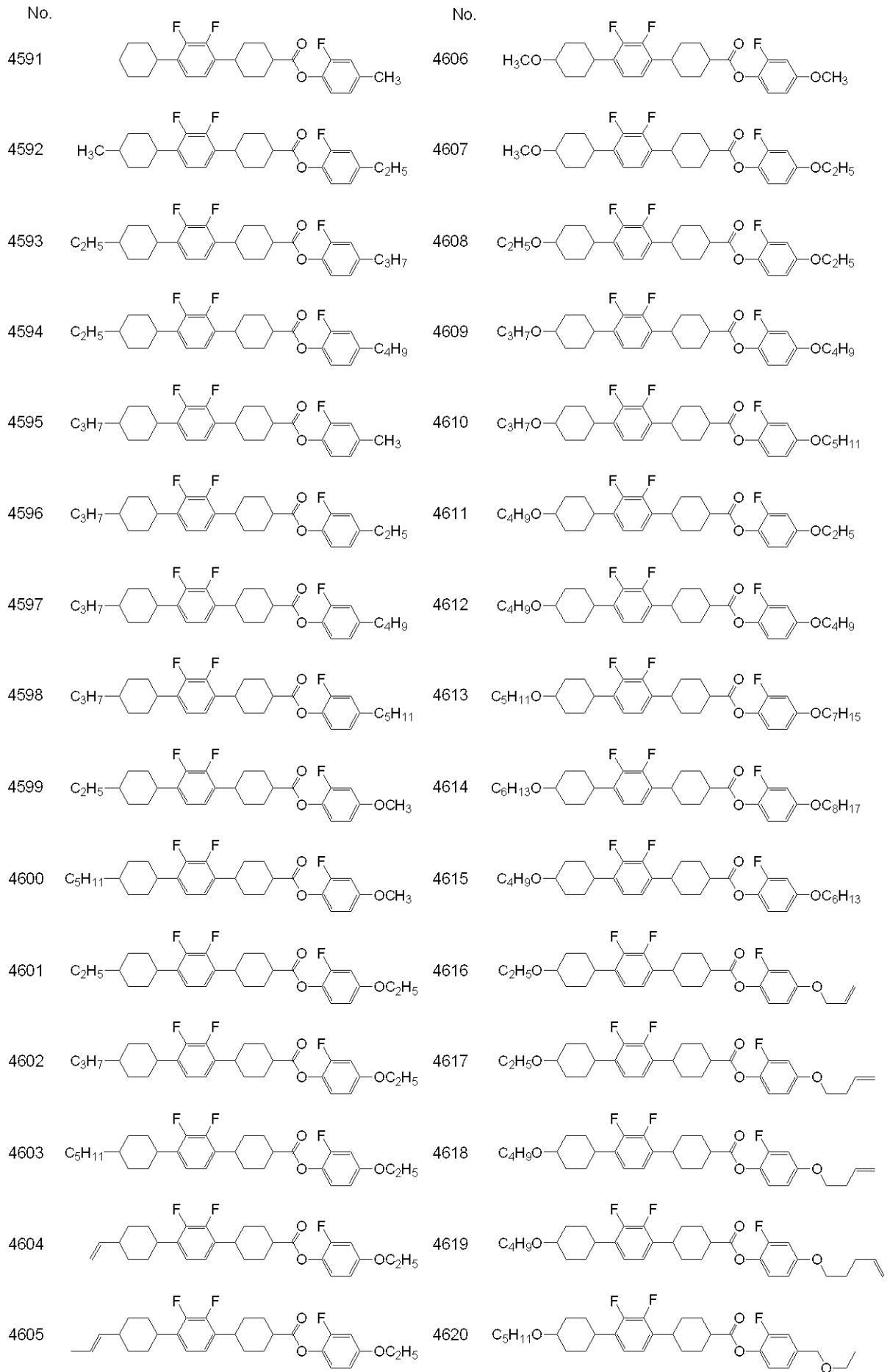
【 0 4 6 3 】

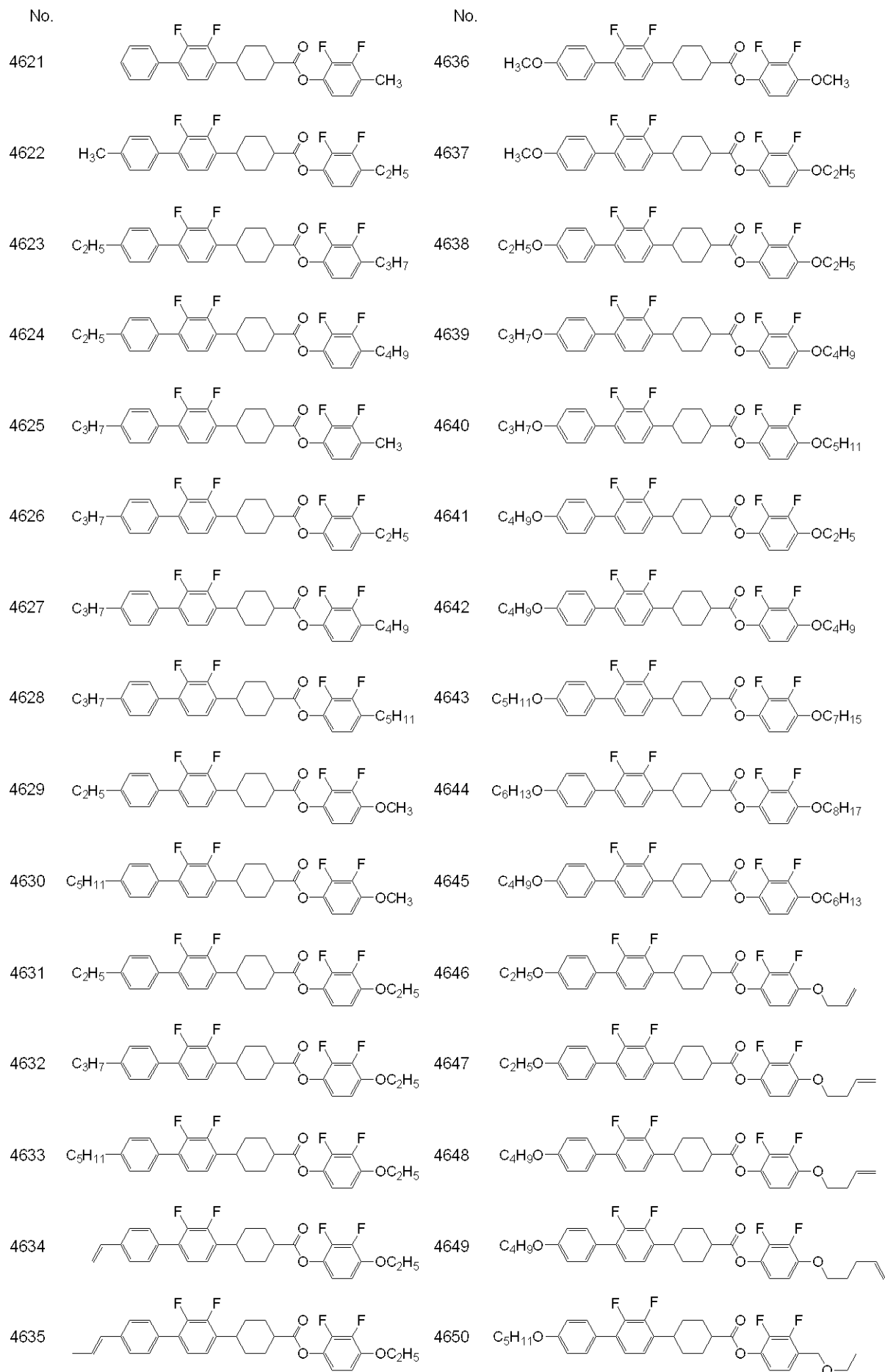
10

20

30

40





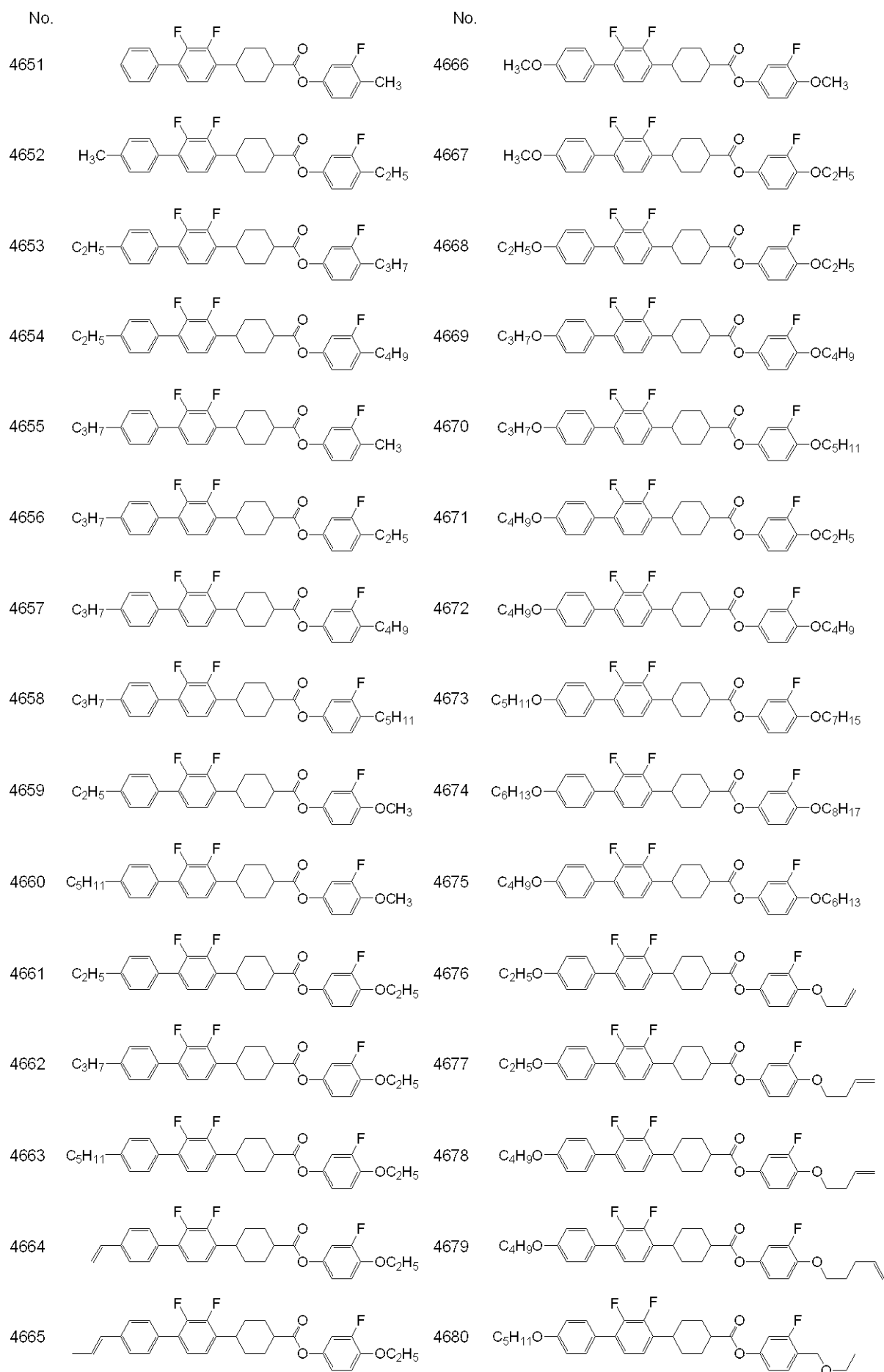
【 0 4 6 5 】

10

20

30

40



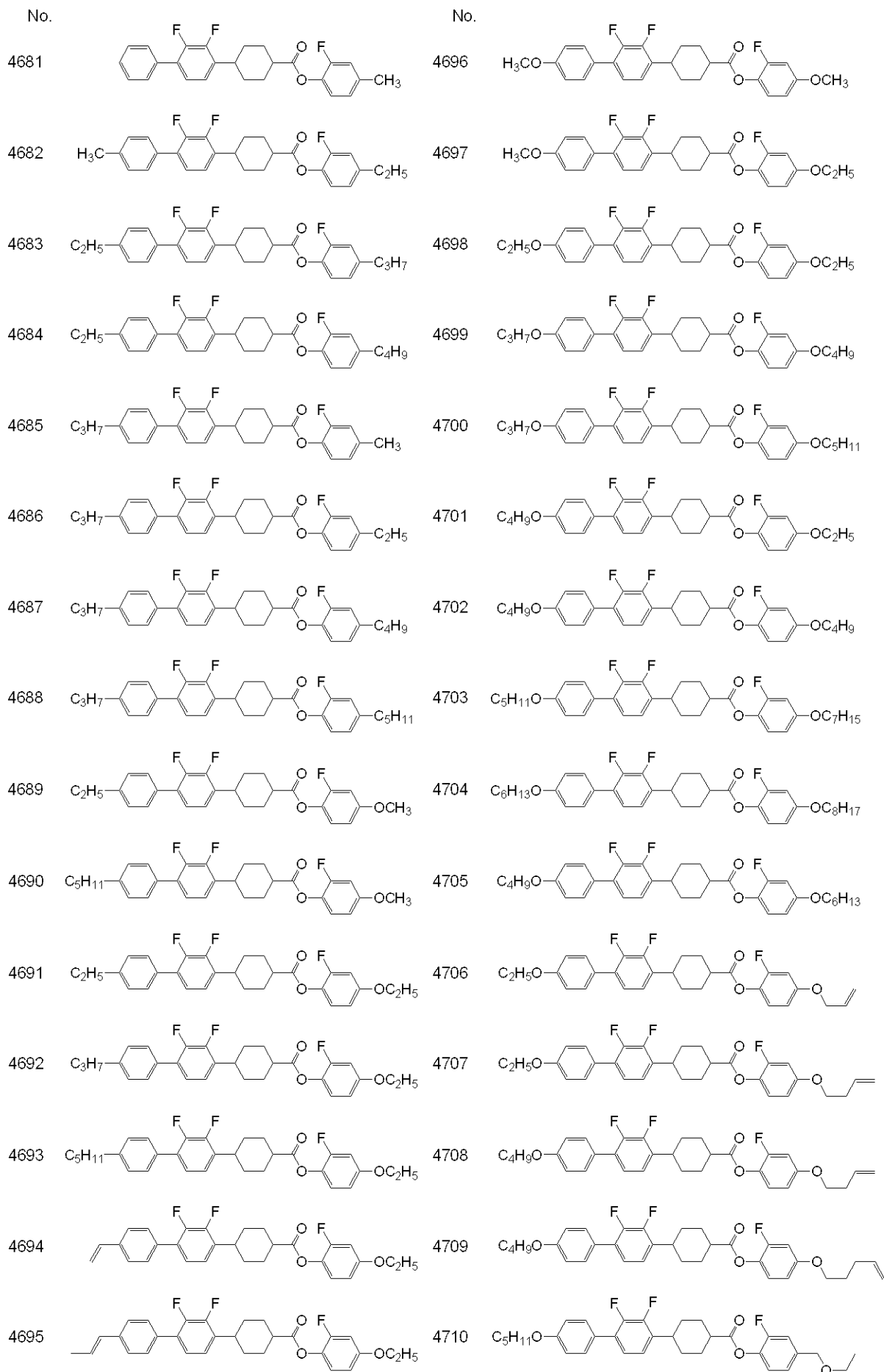
【 0 4 6 6 】

10

20

30

40



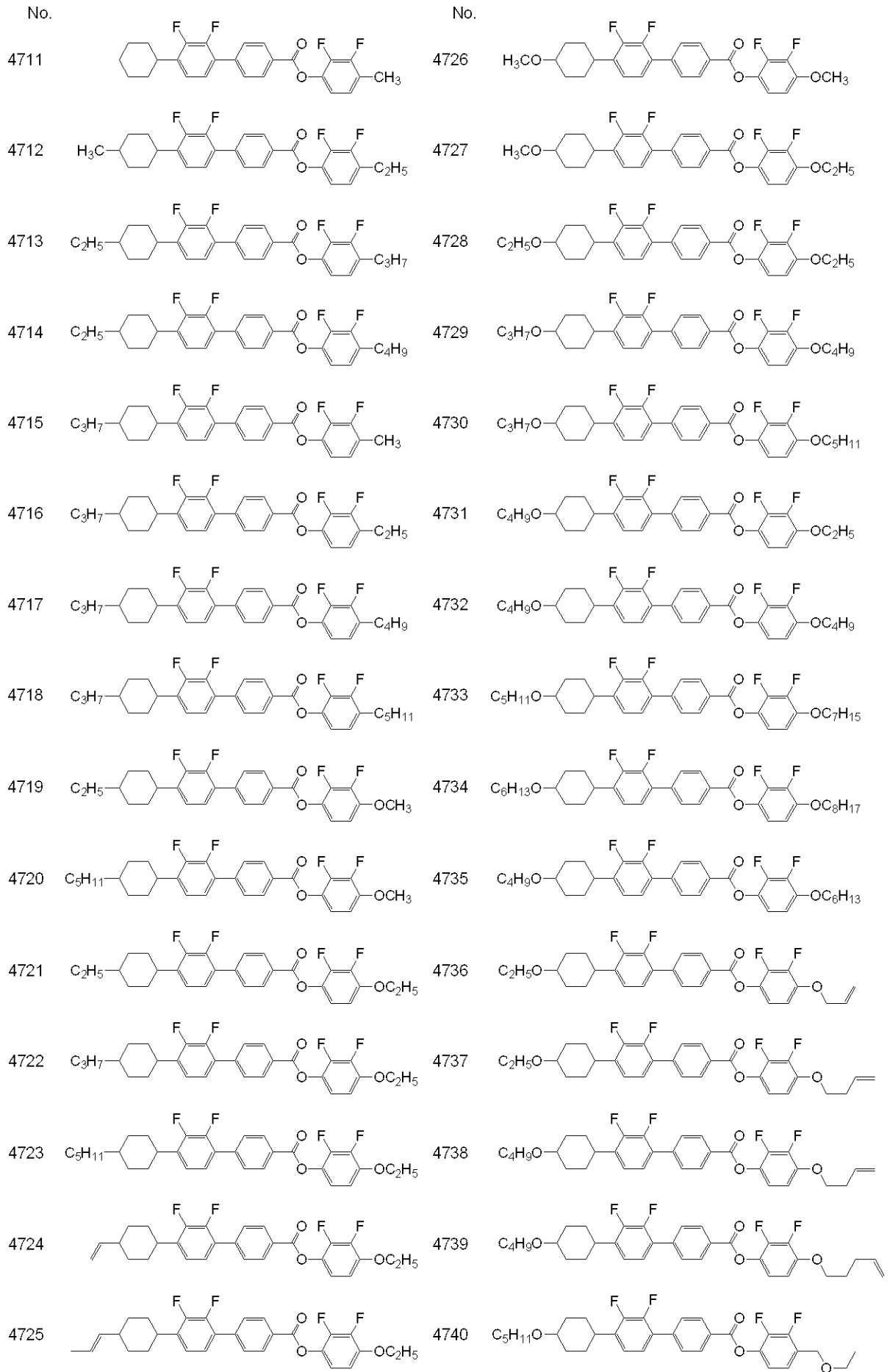
【 0 4 6 7 】

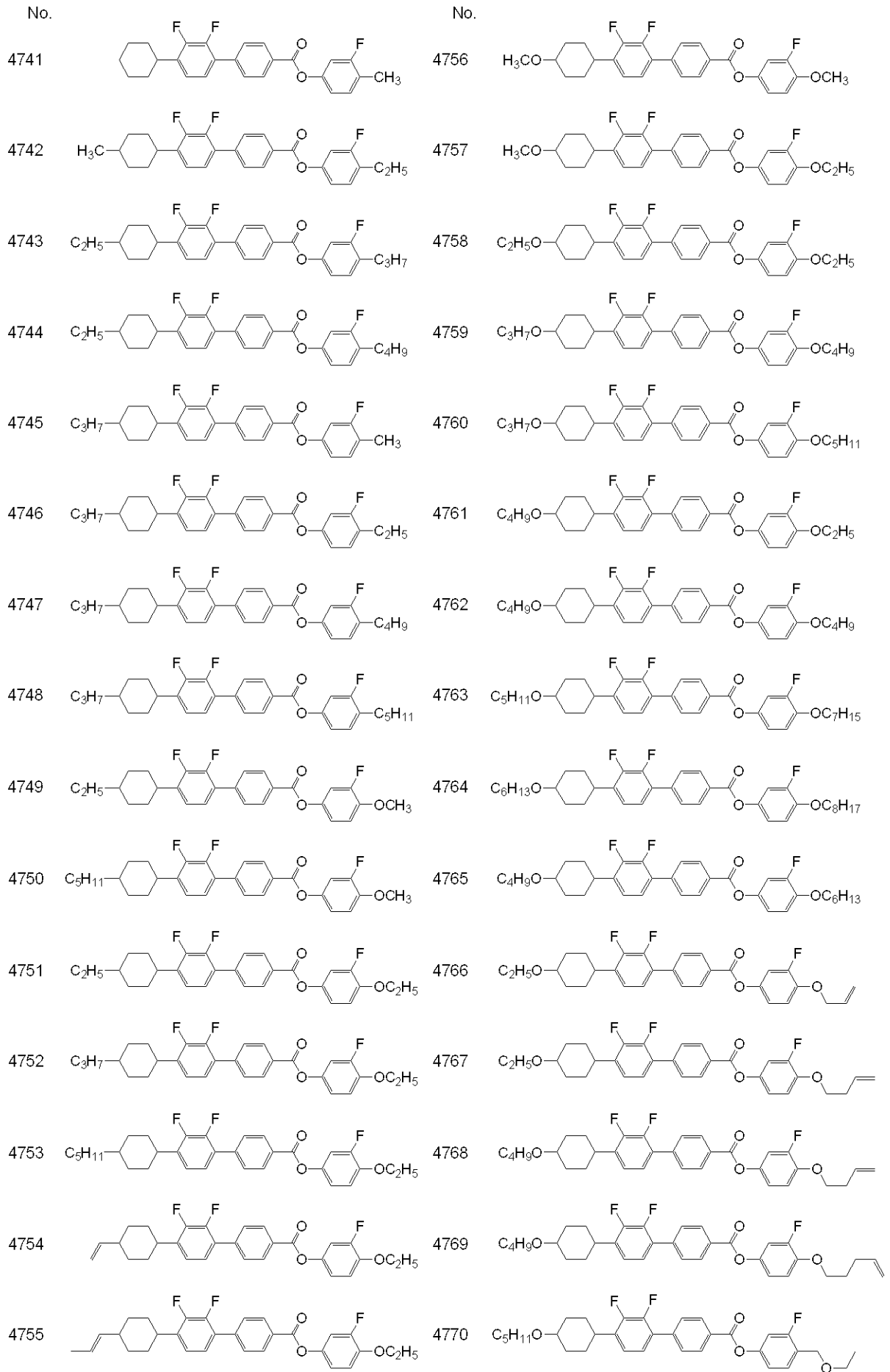
10

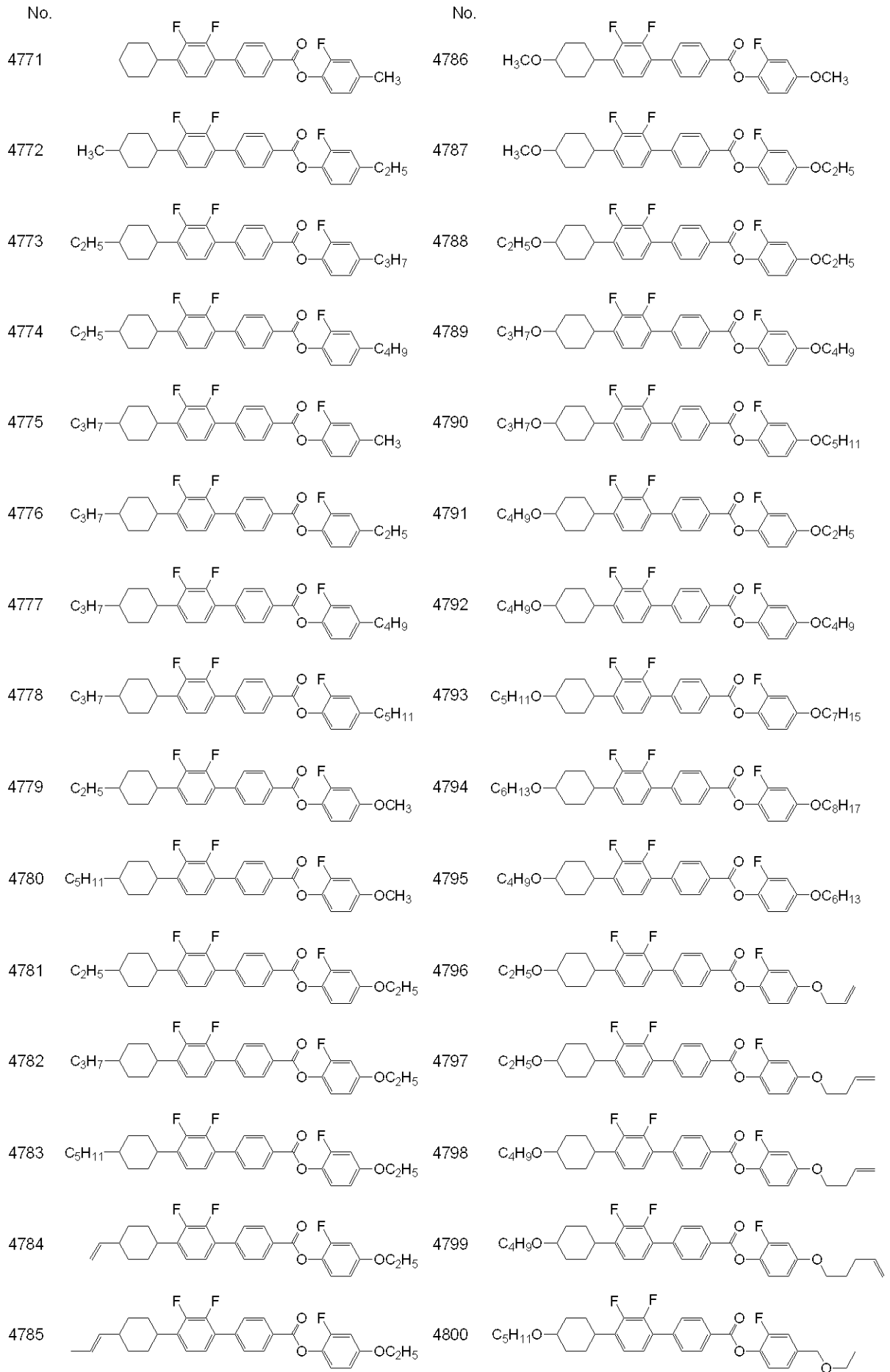
20

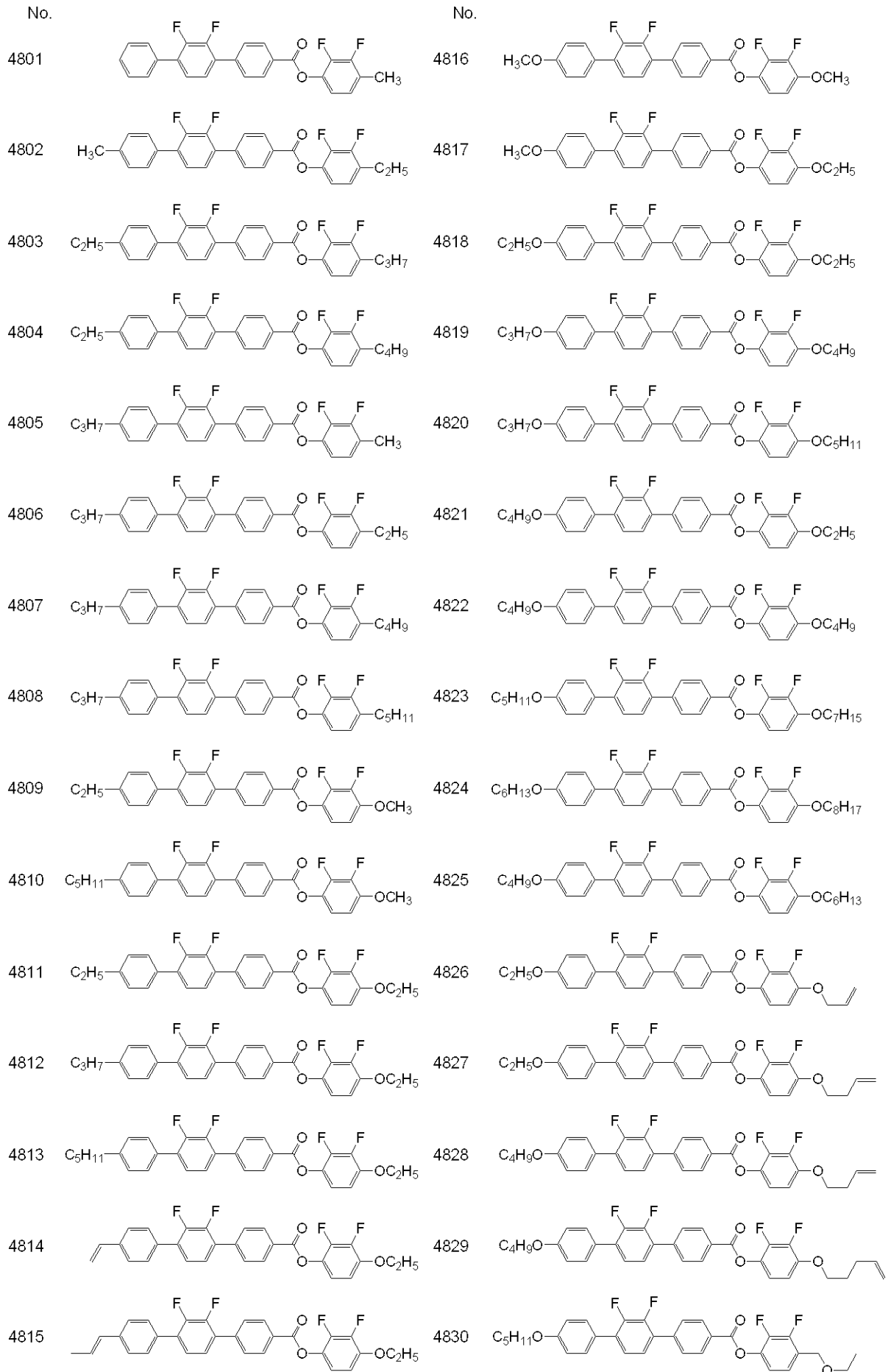
30

40









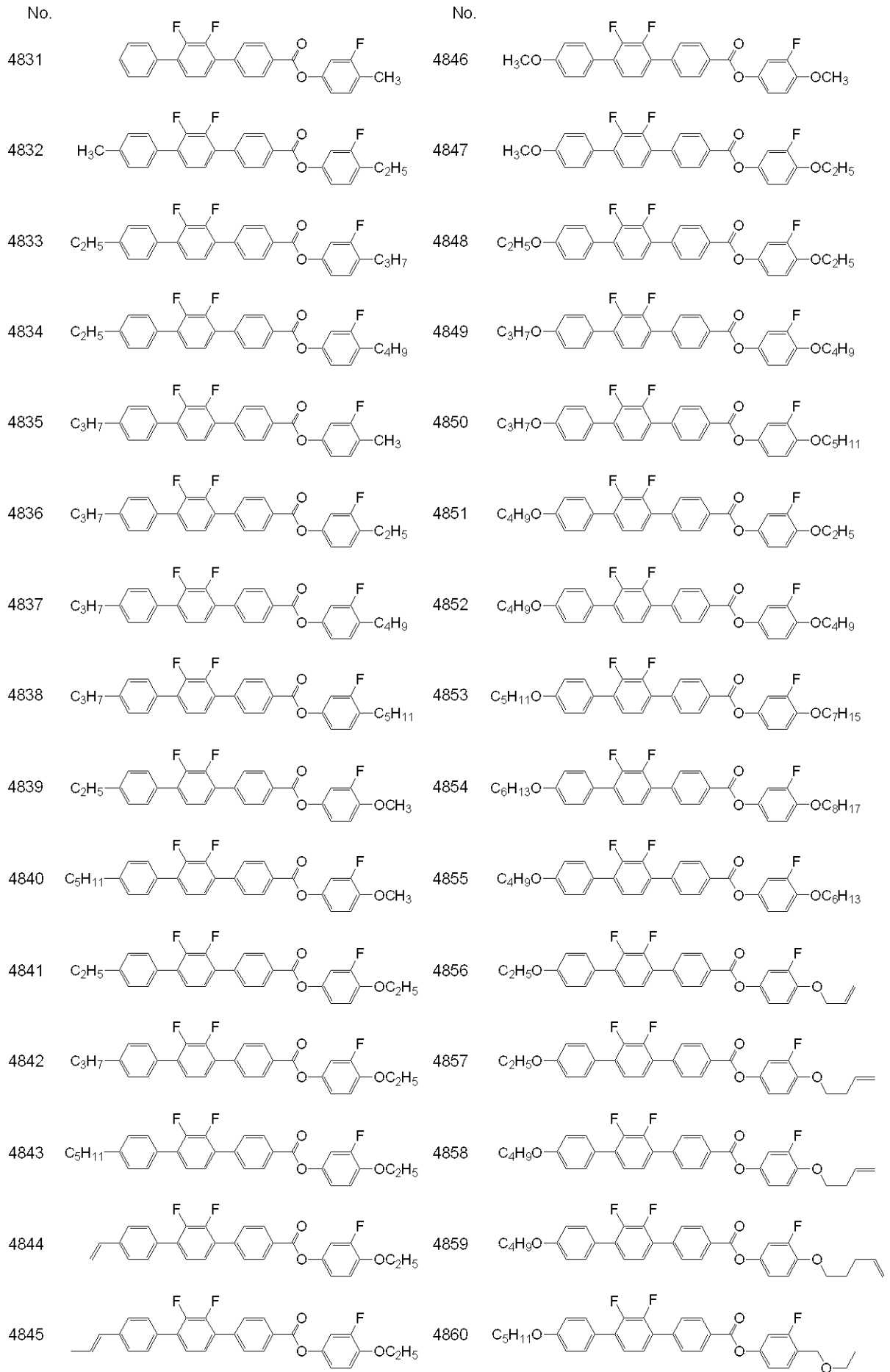
【 0 4 7 1 】

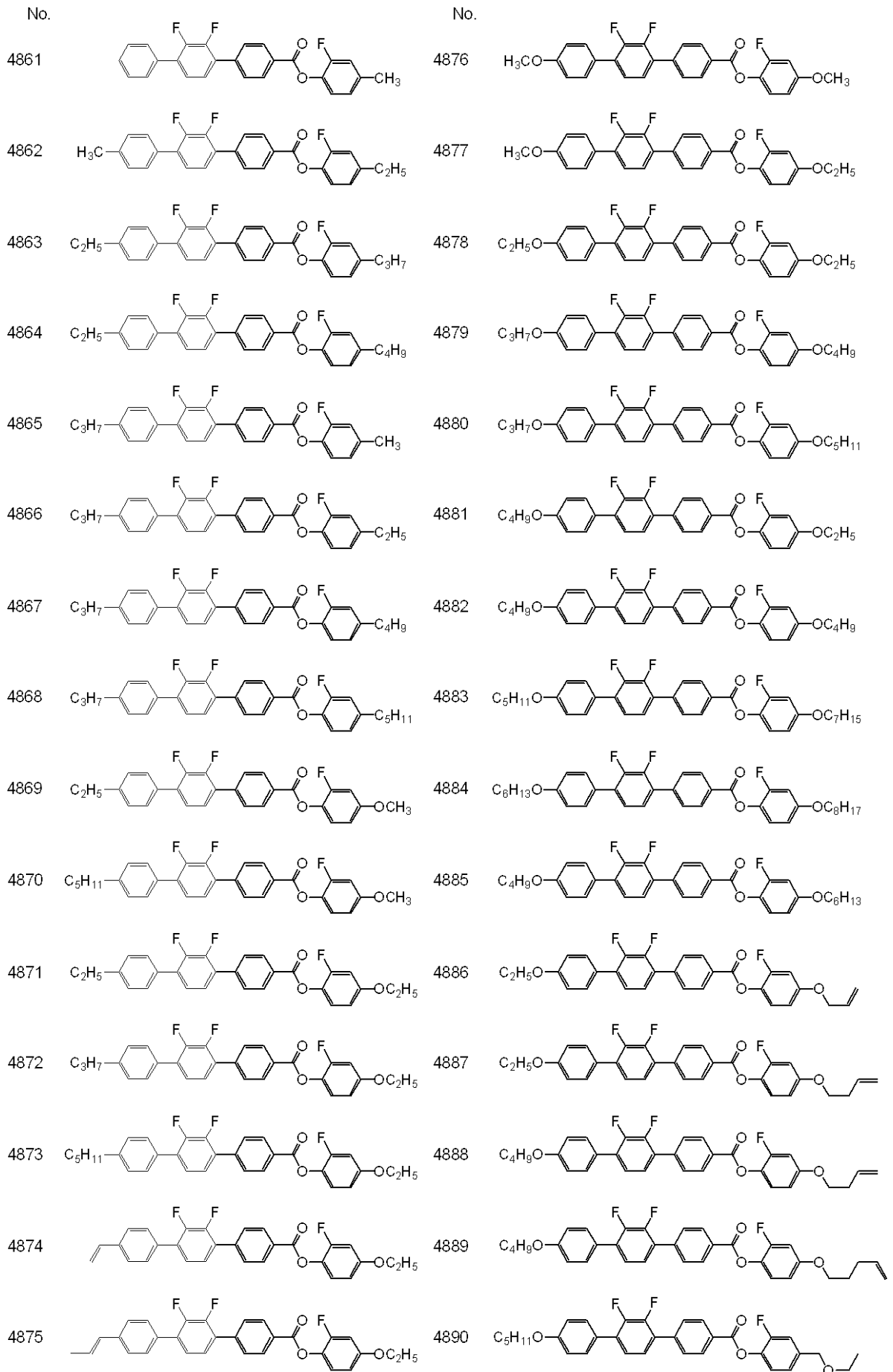
10

20

30

40





【 0 4 7 3 】

〔 比較例 1 〕

10

20

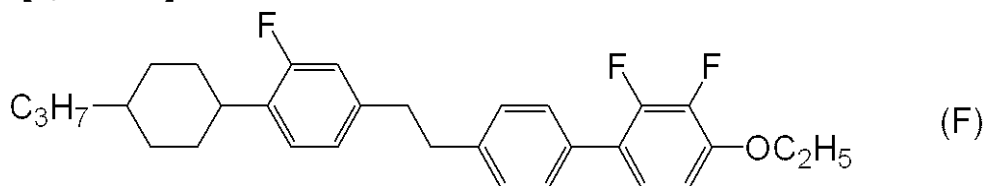
30

40

50

比較例として、4 - (2 , 3 - ジフルオロ - 4 - エトキシ - 1 , 1 ' - ビフェニルエチル) - トランス - 4 - プロピル - (2 - フルオロフェニル) シクロヘキサン (F) を合成した。

【 0 4 7 4 】



【 0 4 7 5 】

¹H - NMR 分析の化学シフト (p p m) は以下の通りであり、得られた化合物が、4 - (2 , 3 - ジフルオロ - 4 - エトキシ - 1 , 1 ' - ビフェニルエチル) - トランス - 4 - プロピル - (2 - フルオロフェニル) シクロヘキサン (F) であることが同定できた。なお、測定溶媒は C D C l₃ である。

化学シフト (p p m) ; 7 . 4 3 (d , 2 H) , 7 . 2 6 (t , 3 H) , 7 . 1 4 (t , 1 H) , 7 . 0 9 (t d , 1 H) , 6 . 9 3 (d , 1 H) , 6 . 8 6 (d , 1 H) , 6 . 7 9 (t , 1 H) , 4 . 1 5 (q , 2 H) , 2 . 9 3 (m , 4 H) , 2 . 7 9 (t t , 1 H) , 1 . 8 5 (m , 4 H) , 1 . 5 3 - 1 . 4 1 (m , 5 H) , 1 . 3 9 - 1 . 1 8 (m , 5 H) , 1 . 1 2 - 1 . 0 2 (m , 2 H) , 0 . 9 0 (t , 3 H) .

【 0 4 7 6 】

化合物 (F) の転移温度は以下の通りであった。

転移温度 : C 8 1 . 5 N 2 0 9 . 5 I

【 0 4 7 7 】

前述した母液晶 i として記載された 5 つの化合物を混合し、ネマチック相を有する母液晶 i を調製した。この母液晶 i の物性は以下のとおりであった。

上限温度 (T_{N1}) = 7 4 . 6 ; 粘度 (η₂₀) = 1 8 . 9 m P a · s ; 光学異方性 (n) = 0 . 0 8 7 ; 誘電率異方性 (ε) = - 1 . 3 .

【 0 4 7 8 】

この母液晶 i 8 5 重量%と、合成した 4 - (2 , 3 - ジフルオロ - 4 - エトキシ - 1 , 1 ' - ビフェニルエチル) - トランス - 4 - プロピル - (2 - フルオロフェニル) シクロヘキサン (F) の 1 5 重量%とからなる液晶組成物 i i を調製した。得られた液晶組成物 i i の物性を測定し、測定値を外挿することで比較化合物 (E) の物性の外挿値を算出した。その値は以下のとおりであった。

上限温度 (T_{N1}) = 1 9 5 . 3 ;

光学異方性 (n) = 0 . 2 0 7 ;

誘電率異方性 (ε) = - 4 . 7 6 ;

【 実施例 1 3 】

【 0 4 7 9 】

化合物 (N o . 1 8 4 3) の物性

母液晶 i 8 5 重量%と、実施例 7 で得られた 4 - エトキシ - 2 , 3 - ジフルオロ - 1 , 1 ' - ビフェニル安息香酸 - トランス - 4 - ペンチルシクロヘキシル - 2 , 3 - ジフルオロフェニル エステル (N o . 1 8 4 3) の 1 5 重量%とからなる液晶組成物 i i i を調製した。得られた液晶組成物 i i i の物性を測定し、測定値を外挿することで化合物 (N o . 1 8 4 3) の物性値を算出した。その値は以下のとおりであった。

上限温度 (T_{N1}) = 2 4 7 . 9 ;

光学異方性 (n) = 0 . 2 2 7 ;

誘電率異方性 (ε) = - 5 . 8 2 ;

【 0 4 8 0 】

このことから化合物 (N o . 1 8 4 3) は、融点が低く、上限温度 (T_{N1}) が高く、光学異方性 (n) を大きく、誘電率異方性 (ε) を負に大きくすることができる化合

10

20

30

40

50

物であることがわかった。

【0481】

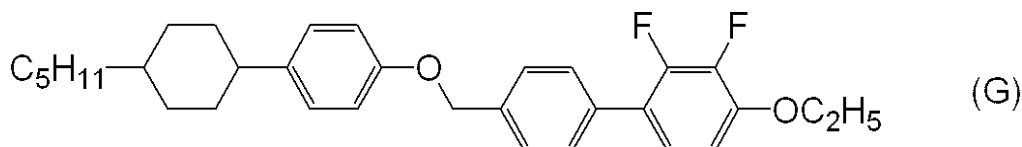
また、比較化合物(F)と比較して、上限温度(T_{NI})が高く、光学異方性(n)が大きく、誘電率異方性()が負に大きい化合物であることがわかった。

【0482】

〔比較例2〕

比較例として、4-エトキシ-2,3-ジフルオロ-4'-(4-ペンチルシクロヘキシルフェノキシメチル)-1,1'-ビフェニル(G)を合成した。

【0483】



10

【0484】

$^1\text{H-NMR}$ 分析の化学シフト(ppm)は以下の通りであり、得られた化合物が、4-エトキシ-2,3-ジフルオロ-4'-(4-ペンチルシクロヘキシルフェノキシメチル)-1,1'-ビフェニル(G)であることが同定できた。なお、測定溶媒は CDCl_3 である。

化学シフト(ppm); 7.50(q, 4H), 7.14(d, 2H), 7.09(td, 1H), 6.92(d, 1H), 6.78(t, 1H), 4.17(q, 2H), 2.42(tt, 1H), 1.86(m, 4H), 1.53-1.17(m, 13H), 1.08-0.98(m, 2H), 0.89(t, 3H).

20

【0485】

化合物(G)の転移温度は以下の通りであった。

転移温度: C 136.2 S_A 164.4 N 219.7 I

【0486】

母液晶i 95重量%と、合成した4-エトキシ-2,3-ジフルオロ-4'-(トランス-4-ペンチルシクロヘキシルフェノキシメチル)-1,1'-ビフェニル(G)の5重量%とからなる液晶組成物ivを調製した。得られた液晶組成物ivの物性を測定し、測定値を外挿することで比較化合物(G)の物性値を算出した。その値は以下のとおりであった。

30

光学異方性(n) = 0.167;

誘電率異方性() = -4.33;

粘度() = 139.3 mPa·s

また、液晶組成物vの弾性定数 K_{33} は14.37 pNであった。

【実施例14】

【0487】

化合物(No. 1123)の物性

母液晶i 95重量%と、実施例1で得られた4-エトキシ-2,3-ジフルオロ-4'-[2,3-ジフルオロ-4-(4-ペンチルシクロヘキシル)フェノキシメチル]-1,1'-ビフェニル(No. 1123)の5重量%とからなる液晶組成物vを調製した。得られた液晶組成物vの物性を測定し、測定値を外挿することで化合物(No. 1123)の物性値を算出した。その値は以下のとおりであった。

40

光学異方性(n) = 0.207;

誘電率異方性() = -7.40;

粘度() = 91.7 mPa·s

また、液晶組成物vの弾性定数 K_{33} は15.79 pNであった。

【0488】

このことから化合物(No. 1123)は、融点が低く、上限温度(T_{NI})が高く、光学異方性(n)を大きく、粘度()が小さく、誘電率異方性()を負に大きくす

50

ることができる化合物であることがわかった。

【0489】

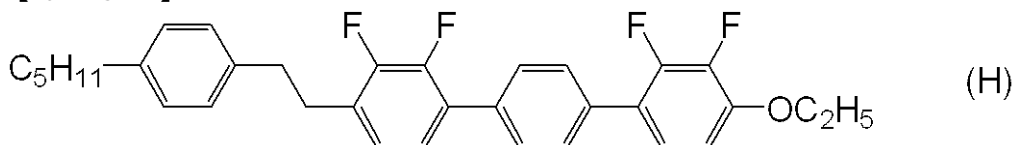
また、比較化合物(G)と比較して、光学異方性(n)が大きく、誘電率異方性(ϵ)が負に大きく、融点が低く、粘度(η)が小さく、弾性定数 K_{33} が大きい化合物であることがわかった。

【0490】

〔比較例3〕

比較例として、化合物(E)に類似の4-エトキシ-2,3,2',3'-テトラフルオロ-4'--(4-ペンチルフェニルエチル)-1,1'-ターフェニル(H)を合成した。

【0491】



【0492】

$^1\text{H-NMR}$ 分析の化学シフト(ppm)は以下の通りであり、得られた化合物が、4-エトキシ-2,3,2',3'-テトラフルオロ-4'--(4-ペンチルフェニルエチル)-1,1'-ターフェニル(H)であることが同定できた。なお、測定溶媒は CDCl_3 である。

化学シフト(ppm); 7.60(dd, 4H), 7.18-7.10(m, 6H), 6.97(t, 1H), 6.82(td, 1H), 4.18(q, 2H), 3.00(m, 2H), 2.93(m, 2H), 2.58(t, 2H), 1.61(m, 2H), 1.49(t, 3H), 1.39-1.27(m, 4H), 0.89(t, 3H)。

【0493】

化合物(H)の転移温度は以下の通りであった。

転移温度 : C 146.1 N 209.0 I

【0494】

母液晶i 95重量%と、合成した4-エトキシ-2,3,2',3'-テトラフルオロ-4'--(4-ペンチルフェニルエチル)-1,1'-ターフェニル(H)の5重量%とからなる液晶組成物viを調製した。得られた液晶組成物viの物性を測定し、測定値を外挿することで比較化合物(H)の物性値を算出した。その値は以下のとおりであった。

光学異方性(n) = 0.167;

誘電率異方性(ϵ) = -4.33;

粘度(η) = 139.3 mPa·s

また、液晶組成物viの弾性定数 K_{33} は14.37 pNであった。

【実施例15】

【0495】

化合物(No. 1041)の物性

母液晶i 95重量%と、実施例3で得られたトランス-4-(2,3-ジフルオロ-4-エトキシフェニル)-4-[2,3-ジフルオロ-4'-ブトキシ1,1'-ビフェノキシメチル]シクロヘキサン(No. 1041)の5重量%とからなる液晶組成物viを調製した。得られた液晶組成物viの物性を測定し、測定値を外挿することで化合物(No. 1041)の物性値を算出した。その値は以下のとおりであった。

上限温度(T_{N1}) = 202.6;

誘電率異方性(ϵ) = -6.44;

粘度(η) = 101.7 mPa·s

【0496】

このことから化合物(No. 1041)は、融点が低く、上限温度(T_{N1})が高く、誘

10

20

30

40

50

電率異方性()を負に大きくすることができる化合物であることがわかった。

【0497】

また、比較化合物(H)と比較して、上限温度(T_{NI})が高く、誘電率異方性()
が負に大きく、融点が低く、粘度()が小さい化合物であることがわかった。

【0498】

〔液晶組成物の実施例〕

以下、本発明で得られる液晶組成物を実施例により詳細に説明する。なお、実施例で用
いる化合物は、下記表の定義に基づいて記号により表す。なお、表中、1,4-シクロヘ
キシレンの立体配置はトランス配置である。各化合物の割合(百分率)は、特に断りのな
い限り、液晶組成物の全重量に基づいた重量百分率(重量%)である。各実施例の最後に
得られた液晶組成物の特性値を示す。

10

【0499】

なお、各実施例で使用する化合物の部分に記載した番号は、上述した本発明の第一成分
から第三成分に用いる化合物を示す式番号に対応をしており、式番号を記載せずに、単に
「-」と記載をしている場合には、この化合物はこれら成分には対応をしていないその他
の化合物であることを意味している。

【0500】

化合物の記号による表記方法を以下に示す。

【0501】

表 記号を用いた化合物の表記法
 $R-(A_1)-Z_1-\dots-Z_n-(A_n)-R'$

1) 左末端基 R-	記号	4) 環構造 -A _n -	記号
$C_nH_{2n+1}-$	n-		H
$C_nH_{2n+1}O-$	nO-		Ch
$C_mH_{2m+1}OC_nH_{2n}-$	mOn-		Dh
$CH_2=CH-$	V-		dh
$C_nH_{2n+1}-CH=CH-$	nV-		G
$CH_2=CH-C_nH_{2n}-$	Vn-		g
$C_mH_{2m+1}-CH=CH-C_nH_{2n}-$	mVn-		B
$CF_2=CH-$	VFF-		B(2F)
$CF_2=CH-C_nH_{2n}-$	VFFn-		B(3F)
2) 右末端基 -R'			B(2F,3F)
$-C_nH_{2n+1}$	-n		B(2F,3Cl)
$-OC_nH_{2n+1}$	-On		B(2Cl,3F)
$-CH=CH_2$	-V		
$-CH=CH-C_nH_{2n+1}$	-Vn		
$-C_nH_{2n}-CH=CH_2$	-nV		
$-CH=CF_2$	-VFF		
$-COOCH_3$	-EMe		
3) 結合基 -Z _n -			
$-C_nH_{2n}-$	n		
$-COO-$	E		
$-CH=CH-$	V		
$-CH_2O-$	1O		
$-OCH_2-$	O1		
$-CF_2O-$	X		
5) 表記例			
例1 5-HB(2F,3F)O1HB(2F,3F)-O2			例2 5-HB(2F,3F)O1BB(2F,3F)-O2
例3 3-HHB-3			例4 5-HBB(2F,3Cl)-O2

【0502】

特性の測定は以下の方法にしたがって行った。これら測定方法の多くは、日本電子機械工業会規格 (Standard of Electric Industries Association of Japan) E I A J ・ E D - 2 5 2 1 A に記載された方法、またはこれを修飾した方法である。

【0503】

(1) ネマチック相の上限温度 (NI ;)

偏光顕微鏡を備えた融点測定装置のホットプレートに試料を置き、1 / 分の速度で加

熱した。試料の一部がネマチック相から等方性液体に変化したときの温度を測定した。以下、ネマチック相の上限温度を「上限温度」と略することがある。

【0504】

(2) ネマチック相の下限温度 (TC ;)

ネマチック相を有する試料を 0、-10、-20、-30、および -40 のフリーザー中に10日間保管したあと、液晶相を観察した。例えば、試料が -20 ではネマチック相のままであり、-30 では結晶またはスメクチック相に変化したとき、TCを -20 と記載した。以下、ネマチック相の下限温度を「下限温度」と略することがある。

【0505】

(3) 光学異方性 (n ; 25 で測定)

波長が 589 nm の光を用い、接眼鏡に偏光板を取り付けたアッペ屈折計により測定した。まず、主プリズムの表面を一方向にラビングしたあと、試料を主プリズムに滴下した。そして、偏光の方向がラビングの方向と平行であるときの屈折率 (n)、および偏光の方向がラビングの方向と垂直であるときの屈折率 (n) を測定した。光学異方性の値 (n) は、(n) = (n) - (n) の式から算出した。

【0506】

(4) 粘度 (; 20 で測定 ; mPa·s)

測定には E 型回転粘度計を用いた。

【0507】

(5) 誘電率異方性 (; 25 で測定)

よく洗浄したガラス基板にオクタデシルトリエトキシシラン (0.16 mL) のエタノール (20 mL) 溶液を塗布した。ガラス基板をスピナーで回転させたあと、150 で1時間加熱した。2枚のガラス基板から、間隔 (セルギャップ) が 20 μ m である VA 素子を組み立てた。

【0508】

同様の方法で、ガラス基板にポリイミドの配向膜を調製した。得られたガラス基板の配向膜にラビング処理をした後、2枚のガラス基板の間隔が 9 μ m であり、ツイスト角が 80 度である TN 素子を組み立てた。

【0509】

得られた VA 素子に試料 (液晶組成物、または化合物と母液晶との混合物) を入れ、0.5 V (1 kHz、サイン波) を印加して、液晶分子の長軸方向における誘電率 () を測定した。

【0510】

また、得られた TN 素子に試料 (液晶組成物、または化合物と母液晶との混合物) を入れ、0.5 V (1 kHz、サイン波) を印加して、液晶分子の短軸方向における誘電率 () を測定した。

誘電率異方性の値は、 = - の式から計算した。

この値が負である組成物が、負の誘電率異方性を有する組成物である。

【0511】

(6) 電圧保持率 (VHR ; 25 と 100 で測定 ; %)

ポリイミド配向膜を有し、そして2枚のガラス基板の間隔 (セルギャップ) が 6 μ m であるセルに試料を入れて TN 素子を作製した。25 において、この TN 素子にパルス電圧 (5 V で 60 マイクロ秒) を印加して充電した。TN 素子に印加した電圧の波形を陰極線オシロスコープで観測し、単位周期 (16.7 ミリ秒) における電圧曲線と横軸との間の面積を求めた。TN 素子を取り除いたあと印加した電圧の波形から同様にして面積を求めた。電圧保持率 (%) の値は、(電圧保持率) = (TN 素子がある場合の面積値) / (TN 素子がない場合の面積値) \times 100 の値から算出した。

【0512】

このようにして得られた電圧保持率を「VHR - 1」として示した。つぎに、この TN

10

20

30

40

50

素子を100、250時間加熱した。このTN素子を25に戻したあと、上述した方法と同様の方法により電圧保持率を測定した。この加熱試験をした後に得た電圧保持率を「VHR-2」として示した。なお、この加熱テストは促進試験であり、TN素子の長時間耐久試験に対応する試験として用いた。

【実施例16】

【0513】

5 - HB (2 F , 3 F) O 1 HB (2 F , 3 F) - O 2 (No . 9 4 3)	6 %	
5 - HB (2 F , 3 F) O 1 BB (2 F , 3 F) - O 2 (No . 1 1 2 3)	6 %	
3 - HH - 4	(2 - 1)	5 %
3 - HB (2 F , 3 F) - O 2	(3 - 1)	1 6 %
5 - HB (2 F , 3 F) - O 2	(3 - 1)	2 1 %
2 - HHB (2 F , 3 F) - 1	(3 - 2 9)	5 %
3 - HHB (2 F , 3 F) - 1	(3 - 2 9)	7 %
3 - HHB (2 F , 3 F) - O 2	(3 - 2 9)	1 4 %
5 - HHB (2 F , 3 F) - O 2	(3 - 2 9)	2 0 %
NI = 8 3 . 8 ; n = 0 . 0 9 5 ; = 3 4 . 4 m P a · s ; = - 5 . 0 .		

10

【実施例17】

【0514】

4 O - BB (2 F , 3 F) O 1 HB (2 F , 3 F) - O 2 (No . 1 0 4 1)	6 %	
3 - HB - O 1	(2 - 4)	1 5 %
3 - HH - 4	(2 - 1)	5 %
3 - HB (2 F , 3 F) - O 2	(3 - 1)	1 2 %
5 - HB (2 F , 3 F) - O 2	(3 - 1)	1 2 %
2 - HHB (2 F , 3 F) - 1	(3 - 2 9)	1 2 %
3 - HHB (2 F , 3 F) - 1	(3 - 2 9)	6 %
3 - HHB (2 F , 3 F) - O 2	(3 - 2 9)	1 3 %
5 - HHB (2 F , 3 F) - O 2	(3 - 2 9)	1 3 %
3 - HHB - 1	(2 - 2 5)	6 %
NI = 9 1 . 2 ; TC - 2 0 ; n = 0 . 0 9 4 ; = 3 9 . 8 m P a · s .		

20

【実施例18】

【0515】

4 O - ChB (2 F , 3 F) O 1 HB (2 F , 3 F) - O 2 (No . 9 5 1)	5 %	
3 - HB - O 1	(2 - 4)	1 0 %
3 - HH - 4	(2 - 1)	5 %
3 - HB (2 F , 3 F) - O 2	(3 - 1)	1 2 %
5 - HB (2 F , 3 F) - O 2	(3 - 1)	1 2 %
2 - HHB (2 F , 3 F) - 1	(3 - 2 9)	1 2 %
3 - HHB (2 F , 3 F) - 1	(3 - 2 9)	1 2 %
3 - HHB (2 F , 3 F) - O 2	(3 - 2 9)	1 3 %
5 - HHB (2 F , 3 F) - O 2	(3 - 2 9)	1 3 %
6 - HEB (2 F , 3 F) - O 2	(3 - 2 9)	6 %
NI = 8 8 . 7 ; TC - 2 0 ; n = 0 . 0 9 1 ; = 4 0 . 8 m P a · s ; = - 4 . 0 .		

30

40

【実施例19】

【0516】

5 - HB (2 F , 3 F) H 1 OB (2 F , 3 F) - O 2 (No . 3 8 2 3)	9 %	
3 - HH - 4	(2 - 1)	8 %
3 - H 2 B (2 F , 3 F) - O 2	(3 - 3)	2 2 %
5 - H 2 B (2 F , 3 F) - O 2	(3 - 3)	2 2 %
2 - HHB (2 F , 3 C 1) - O 2	(3 - 5 9)	2 %

50

3 - H H B (2 F , 3 C 1) - O 2	(3 - 5 9)	3 %	
4 - H H B (2 F , 3 C 1) - O 2	(3 - 5 9)	2 %	
5 - H H B (2 F , 3 C 1) - O 2	(3 - 5 9)	2 %	
3 - H B B (2 F , 3 C 1) - O 2	(3 - 9 3)	9 %	
V - H H B - 1	(2 - 2 5)	6 %	
3 - H H B - 3	(2 - 2 5)	6 %	
3 - H H E B H - 3	(2 - 7 4)	3 %	
3 - H H E B H - 4	(2 - 7 4)	3 %	
3 - H H E B H - 5	(2 - 7 4)	3 %	
N I = 9 4 . 7 ; T C - 2 0 ; n = 0 . 0 9 8 ; = 3 0 . 0 m P a · s ;			10
= - 4 . 1 .			

【実施例 20】

【0517】

5 - H B (2 F , 3 F) H 1 O B (2 F , 3 F) - O 2 (N o . 3 8 2 3)		3 %	
4 O - B B (2 F , 3 F) H 1 O B (2 F , 3 F) - O 2 (N o . 3 9 2 1)		4 %	
3 - H H - 4	(2 - 1)	1 5 %	
3 - H 2 B (2 F , 3 F) - O 2	(3 - 3)	1 5 %	
5 - H 2 B (2 F , 3 F) - O 2	(3 - 3)	1 5 %	
3 - H H B (2 F , 3 C 1) - O 2	(3 - 5 9)	5 %	
2 - H B B (2 F , 3 F) - O 2	(3 - 9 3)	3 %	20
3 - H B B (2 F , 3 F) - O 2	(3 - 9 3)	9 %	
5 - H B B (2 F , 3 F) - O 2	(3 - 9 3)	9 %	
3 - H H B - 1	(2 - 2 5)	3 %	
3 - H H B - 3	(2 - 2 5)	4 %	
3 - H H B - O 1	(2 - 2 5)	3 %	
3 - H B - O 2	(2 - 4)	1 2 %	
N I = 8 9 . 3 ; T C - 2 0 ; n = 0 . 1 0 6 ; = 2 5 . 7 m P a · s ;			
= - 4 . 5 .			

上記組成物 100 部に光学活性化合物 (O p - 5) を 0 . 2 5 部添加したときのピッチは 6 1 . 3 μ m であった。

30

【実施例 21】

【0518】

2 O - B (2 F , 3 F) B E B (2 F , 3 F) H - 5 (N o . 1 8 4 3)		3 %	
2 O - B (2 F , 3 F) H E B (2 F , 3 F) H - 5 (N o . 1 6 6 3)		3 %	
2 - H H - 3	(2 - 1)	5 %	
3 - H H - O 1	(2 - 1)	4 %	
3 - H H - O 3	(2 - 1)	5 %	
5 - H H - O 1	(2 - 1)	4 %	
3 - H B (2 F , 3 F) - O 2	(3 - 1)	1 2 %	
5 - H B (2 F , 3 F) - O 2	(3 - 1)	1 1 %	40
3 - H H B (2 F , 3 F) - O 2	(3 - 5 9)	1 4 %	
5 - H H B (2 F , 3 F) - O 2	(3 - 5 9)	1 5 %	
3 - H H B (2 F , 3 F) - 2	(3 - 5 9)	2 4 %	

【実施例 22】

【0519】

5 - H B (2 F , 3 F) O 1 H B (2 F , 3 F) - O 2 (N o . 9 4 3)		5 %	
5 - H B (2 F , 3 F) O 1 B B (2 F , 3 F) - O 2 (N o . 1 1 2 3)		5 %	
3 - H H - 5	(2 - 1)	5 %	
3 - H H - 4	(2 - 1)	5 %	
3 - H H - O 1	(2 - 1)	6 %	50

3 - H H - O 3	(2 - 1)	6 %	
3 - H B - O 1	(2 - 4)	5 %	
3 - H B - O 2	(2 - 4)	5 %	
3 - H B (2 F , 3 F) - O 2	(3 - 1)	1 0 %	
5 - H B (2 F , 3 F) - O 2	(3 - 1)	1 0 %	
3 - H H B (2 F , 3 F) - O 2	(3 - 5 9)	1 2 %	
5 - H H B (2 F , 3 F) - O 2	(3 - 5 9)	1 3 %	
3 - H H B (2 F , 3 F) - 2	(3 - 5 9)	4 %	
2 - H H B (2 F , 3 F) - 1	(3 - 5 9)	4 %	
3 - H H E H - 3	(2 - 4 6)	5 %	10

【実施例 2 3】

【 0 5 2 0 】

5 - H B (2 F , 3 F) O 1 H B (2 F , 3 F) - O 2 (N o . 9 4 3)		6 %	
5 - H B (2 F , 3 F) O 1 B B (2 F , 3 F) - O 2 (N o . 1 1 2 3)		6 %	
2 - H 2 H - 3	(2 - 2)	5 %	
3 - H 2 H - V	(2 - 2)	1 7 %	
3 - H B B H - 5	(2 - 6 9)	3 %	
1 O 1 - H B B H - 4	(2 - 6 9)	3 %	
5 - H B B (3 F) B - 2	(2 - 7 3)	3 %	
V - H B (2 F , 3 F) - O 2	(3 - 1)	7 %	20
5 - H B (2 F , 3 F) - O 2	(3 - 1)	7 %	
3 - H 2 B (2 F , 3 F) - O 2	(3 - 3)	1 2 %	
5 - H 2 B (2 F , 3 F) - O 2	(3 - 3)	1 2 %	
3 - H B B (2 F , 3 F) - O 2	(3 - 9 3)	8 %	
5 - H B B (2 F , 3 F) - O 2	(3 - 9 3)	8 %	
2 - B B (2 F , 3 F) B - 3	(3 - 5 7)	3 %	

【実施例 2 4】

【 0 5 2 1 】

5 - G B (2 F , 3 F) O 1 H B (2 F , 3 F) - O 2 (N o . 9 4 0)		3 %	
4 O - B B (2 F , 3 F) H 1 O B (2 F , 3 F) - O 2 (N o . 3 9 2 1)		4 %	30
3 - H H - 4	(2 - 1)	1 5 %	
3 - H 2 B (2 F , 3 F) - O 2	(3 - 3)	1 5 %	
5 - H 2 B (2 F , 3 F) - O 2	(3 - 3)	1 5 %	
3 - H H B (2 F , 3 C 1) - O 2	(3 - 5 9)	5 %	
2 - H B B (2 F , 3 F) - O 2	(3 - 9 3)	3 %	
3 - H B B (2 F , 3 F) - O 2	(3 - 9 3)	9 %	
5 - H B B (2 F , 3 F) - O 2	(3 - 9 3)	9 %	
3 - H H B - 1	(2 - 2 5)	3 %	
3 - H H B - 3	(2 - 2 5)	4 %	
3 - H H B - O 1	(2 - 2 5)	3 %	40
3 - H B - O 2	(2 - 4)	1 2 %	

NI = 89 . 1 ; n = 0 . 1 0 6 ; = 2 6 . 6 m P a · s ; = - 4 . 4 .

【実施例 2 5】

【 0 5 2 2 】

5 - H B (2 F , 3 F) c h B (2 F , 3 F) - O 2 (N o . 1 2)		5 %	
3 - H B - O 1	(2 - 4)	1 0 %	
3 - H H - 4	(2 - 1)	5 %	
3 - H B (2 F , 3 F) - O 2	(3 - 1)	1 2 %	
5 - H B (2 F , 3 F) - O 2	(3 - 1)	1 2 %	
2 - H H B (2 F , 3 F) - 1	(3 - 5 9)	1 2 %	50

3 - H H B (2 F , 3 F) - 1 (3 - 5 9) 1 2 %
 3 - H H B (2 F , 3 F) - O 2 (3 - 5 9) 1 3 %
 5 - H H B (2 F , 3 F) - O 2 (3 - 5 9) 1 3 %
 6 - H E B (2 F , 3 F) - O 2 (3 - 2 9) 6 %
 N I = 9 0 . 5 ; T C - 2 0 ; n = 0 . 0 9 1 ; = 3 8 . 6 m P a · s ;
 = - 4 . 0 .

【実施例 2 6】

【0 5 2 3】

5 - H B (2 F , 3 F) c h B (2 F , 3 F) - O 2 (N o . 1 2) 3 %
 5 - H B (2 F , 3 F) H B (2 F , 3 F) - O 2 (N o . 1 3) 4 % 10
 3 - H H - 4 (2 - 1) 1 5 %
 3 - H 2 B (2 F , 3 F) - O 2 (3 - 3) 1 5 %
 5 - H 2 B (2 F , 3 F) - O 2 (3 - 3) 1 5 %
 3 - H H B (2 F , 3 C 1) - O 2 (3 - 5 9) 5 %
 2 - H B B (2 F , 3 F) - O 2 (3 - 9 3) 3 %
 3 - H B B (2 F , 3 F) - O 2 (3 - 9 3) 9 %
 5 - H B B (2 F , 3 F) - O 2 (3 - 9 3) 9 %
 3 - H H B - 1 (2 - 2 5) 3 %
 3 - H H B - 3 (2 - 2 5) 4 %
 3 - H H B - O 1 (2 - 2 5) 3 % 20
 3 - H B - O 2 (2 - 4) 1 2 %
 N I = 8 8 . 9 ; n = 0 . 1 0 3 ; = 2 5 . 5 m P a · s ; = - 4 . 4 .

【実施例 2 7】

【0 5 2 4】

5 - H B (2 F , 3 F) H B (2 F , 3 F) - O 2 (N o . 1 3) 6 %
 3 - H B - O 1 (2 - 4) 1 5 %
 3 - H H - 4 (2 - 1) 5 %
 3 - H B (2 F , 3 F) - O 2 (3 - 1) 1 2 %
 5 - H B (2 F , 3 F) - O 2 (3 - 1) 1 2 %
 2 - H H B (2 F , 3 F) - 1 (3 - 5 9) 1 2 % 30
 3 - H H B (2 F , 3 F) - 1 (3 - 5 9) 6 %
 3 - H H B (2 F , 3 F) - O 2 (3 - 5 9) 1 3 %
 5 - H H B (2 F , 3 F) - O 2 (3 - 5 9) 1 3 %
 3 - H H B - 1 (2 - 2 5) 6 %
 N I = 9 0 . 6 ; n = 0 . 0 9 2 ; = 3 9 . 4 m P a · s ; = - 3 . 5 .

【産業上の利用可能性】

【0 5 2 5】

本発明の液晶性化合物が、熱、光などに対する安定性を有し、広い温度範囲でネマチック相となり、粘度が小さく、大きな光学異方性、および適切な弾性定数 K_{33} を有し、さらに、適切な負の誘電率異方性、および他の液晶性化合物との優れた相溶性を有していること、また、この化合物を含有する液晶組成物が、熱、光などに対する安定性を有し、粘度が小さく、大きな光学異方性、適切な弾性定数 K_{33} 、および適切な負の誘電率異方性を有し、しきい値電圧が低く、さらに、ネマチック相の上限温度が高く、ネマチック相の下限温度が低いこと、さらに、この組成物を含有する液晶表示素子が、応答時間が短く、消費電力および駆動電圧が小さく、コントラスト比が大きく、広い温度範囲で使用可能であるので、液晶表示パネル、液晶表示モジュール等に使用することができる。

フロントページの続き

(51)Int.Cl.		F I	
C 0 9 K	19/12 (2006.01)	C 0 9 K	19/12
C 0 9 K	19/14 (2006.01)	C 0 9 K	19/14
C 0 9 K	19/16 (2006.01)	C 0 9 K	19/16
C 0 9 K	19/18 (2006.01)	C 0 9 K	19/18
C 0 9 K	19/20 (2006.01)	C 0 9 K	19/20
C 0 9 K	19/30 (2006.01)	C 0 9 K	19/30
C 0 9 K	19/34 (2006.01)	C 0 9 K	19/34
C 0 9 K	19/32 (2006.01)	C 0 9 K	19/32
C 0 7 D	319/06 (2006.01)	C 0 7 D	319/06
C 0 7 D	309/06 (2006.01)	C 0 7 D	309/06
C 0 7 D	239/26 (2006.01)	C 0 7 D	239/26
C 0 7 D	309/04 (2006.01)	C 0 7 D	309/04
C 0 7 D	213/30 (2006.01)	C 0 7 D	213/30
G 0 2 F	1/13 (2006.01)	G 0 2 F	1/13 5 0 0

- (56)参考文献 特開2008-088165(JP,A)
 特開2007-002132(JP,A)
 特開平02-004725(JP,A)
 国際公開第2009/034867(WO,A1)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

C 0 7 C 4 3 / 2 2 5
 C 0 7 C 2 5 / 1 8
 C 0 7 C 4 3 / 2 1
 C 0 7 C 6 9 / 7 5 7
 C 0 7 C 6 9 / 9 4
 C 0 7 D 2 1 3 / 3 0
 C 0 7 D 2 3 9 / 2 6
 C 0 7 D 3 0 9 / 0 4
 C 0 7 D 3 0 9 / 0 6
 C 0 7 D 3 1 9 / 0 6
 C 0 9 K 1 9 / 1 2
 C 0 9 K 1 9 / 1 4
 C 0 9 K 1 9 / 1 6
 C 0 9 K 1 9 / 1 8
 C 0 9 K 1 9 / 2 0
 C 0 9 K 1 9 / 3 0
 C 0 9 K 1 9 / 3 2
 C 0 9 K 1 9 / 3 4
 G 0 2 F 1 / 1 3
 CAplus / REGISTRY (STN)